Ver. 2.0

「電気通信施設」目次

- 本資料は雑誌「電気通信施設」の目次のみを抜粋したものです。
- 電気通信省の時代から電電公社の最後まで収録してあります。
- PDF ですがテキストが組み込まれているので検索が可能です。
- Vol 番号に 23 を足すと昭和の年になります。No は月です。
- Vol と No のみ掲載されたページはデータがないことを意味しています。
- 資料の詳細は国会図書館のデジタルコレクション（インターネット経由）で閲覧できます。

令和6年8月

関東電友会　東京無線支部

Vol.1　No.1

電気通信省施設局編集

新たなる装い－飯田電話局・靜岡電報局		1〜1
相踵ぐ台風－通信施設の惨状！		2〜3
知られざる工事を追つて－市内電話復興整備工事		4〜5
創刊のことば	林一郎	6〜6
施設發刊を祝して	山下知二郎	7〜7
技術への道	平井始	8〜9
資材部の再發足に當つて－（回顧とその展望）	高橋達男	10〜13
A 型自動交換機の最新標準調整法	天野利通；小野昭吉；石月鉄治；甘城神相	31〜44
ガスケーブルの解説	白須幸太郎	14〜21
無裝荷 24 通話路方式の實用化近し	橋本一郎	22〜26
電柱建植用建柱機の完成	小出梅雄	27〜30
隨想・無裝荷ケーブルの思い出	篠原登	45〜51
新機構の運用と標準指令	黒川金治	52〜57
物品取扱方法はどう変つたか	友枝參	58〜60
工程管理實施の急務	井元新一	61〜70
電氣通信諸法の動き	賀川明孝	71〜73
物資統制法規の變遷とその現状	園延愛助	74〜78
寄稿・新しい電波行政	網島毅	79〜81
工務彙報の總決算	小川豐一	82〜84
東京都市電氣通信部の巻		85〜86
丸の内電氣通信管理所の巻		87〜88
特輯 台風	施設局保全部	89〜100

Vol.1　No.2

電気通信省施設局編集

地下の或る構圖－引込ケーブル（丸の内局にて）		
夕陽を浴びて〔丸の内電氣通信管理所管内〕		1〜1
電話機が出來るまで〔日本電氣にて〕		2〜5
縦の協力と横の協調	村田直明	6〜6
會計制度改正のねらい	秋草篤二	7〜7
事業と現場のため生れ變つた－新しい研究所	小島哲	12〜16
統計から見たベルシステム	黒田雄三郎	17〜20
H 型交換機 1 次セレクタの A 繼電器動作限界	篠原紀元；溝口邦夫	21〜25
高利得空中線による 超短波回線の S/N 救濟	澁谷茂一	26〜30
新しい電信方式の考察	勝見正雄	45〜52
交流ダイヤル回線の新構想	水澤慶太郎；加藤鋹猪；鈴木立之	53〜63
質問箱		8〜8,31〜31,35〜35,38〜38,42〜42,100〜100
事業の合理化と従業員の訓練	須々木智也	64〜68
競爭入札に關する若干の考察	高橋達男；中川重次郎	69〜72
隨想 60 番物語	山田捨録	78〜81
隨筆 英語 ワイパー 靴	高井春雄	73〜75
技術員の新しい訓練方法	黒田雄三郎	82〜83
施設關係涉外事務は如何に進められているか？（その 1）	依田貞夫	84〜86
新しい文書の管理方式（その 1）	安田常雄	87〜88
亞歐米ところどころ	齋藤友吉	76〜77
建設工事標準單金の確立の急務	施設局施設部施設課	89〜93
キテイ台風	施設局保全部	94〜99
東京國際無線電氣通信管理所の巻・東京新宿電氣通信管理所の巻		101〜101
東京京橋電氣通信管理所の巻・東京墨田電氣通信管理所の巻		102〜102
無線月報の思い出 施設局保全部無線課 (86) 編集委員一覽		103〜103

Vol.1　No.3

電気通信省施設局編集

特集=表日本と裏日本の通信 化工事進む北陸縦貫無装荷ケーブル工事		1〜5
保全のもたらすもの	中尾徹夫	6〜7
電氣通信施設の現況とその將來－關東電氣通信局	佐々木卓夫	8〜14
時艱ということ	三宅福馬	18〜20
立場の相異	鈴木哉吉	16〜17
長距離市外ダイヤル	宮田光夫；宗雪滿夫	21〜29
無装荷ケーブル重信回線構成の實例－森・室蘭間	有賀主一；村田光弘	41〜53
『鐵筋コンクリートポール	妥女浩	54〜54
有線用眞空管は如何に改良されたか	神谷輝雄；楠五月；加藤武雄	60〜64
質問箱		15〜15,30〜35,55〜57,72〜72,75〜75,80〜80
讀者の聲	鈴木正一	36〜40
電氣通信建設工事に對する一つの考察	工藤隆三	65〜66
電力使用合理化の成果	吉見惣一	58〜59
地方に於ける通信部の性格	濱田宏輝	67〜67
『通信部の性格』についての濱田氏の寄稿に對する回答	施設局標準；指令準備室	67〜68
隨想 讀60番物語	山田捨録	69〜71
隨筆 事業と技術	河野喜雄	73〜74
固定資産會計のはなし－施設從業員のために	千田鎭雄	76〜79
その後の警察電話	黒川金治	81〜83
新しい企画による現場指導者の訓練－印刷電信保守の指導者訓練の實例	吉田正資；大谷薫	84〜86
施設關係涉外事務は如何に進められているか（その2）	依田貞夫	87〜89
新しい文書の管理方式－（その2）	安田常雄	90〜96
讀亞歐米ところどころ－パリ國際電信電話会議への旅路	齋藤友吉	97〜99
雪國と電話施設 新潟一寒村の郵便局長より	關芳朗	100〜102

Vol.1　No.4
電気通信省施設局編集

Vol.2　No.1

電気通信省施設局編集

新しい年に望む	林一郎	6〜7
電氣通信施設に對する抱負	平山温	8〜9
市内電話の夢	黒川金治	10〜11
一年の計	土居靖夫	12〜12
無線通信の將來	黒川廣二	13〜14
私の夢	木下正文	15〜15
將來の電信	薩川一義	16〜19
通信文化の夢	黒田雄三郎	20〜21
標準指令作成の構想	宮崎政義	22〜33
電氣通信技術標準実施方法制定の動き	田辺昇	34〜45
隨筆「微小」の話	篠原登	46〜47
隨想・・おどろき	中川薫	48〜49
搬送電流共同供給装置保守のあり方－搬送装置の現場調査をもとにして〔技術講座〕－	伊佐進；山本孝	50〜57
線路障碍の新しい探知方法－パルス試驗器－	妻藤達夫；村井勇夫	58〜64
電話トラフイツクの当面する諸問題	川田大介	65〜72
電蝕問題と選択排流器の近情	横山一夫	73〜78
ヒユーズ警報回路装置からの出火と之等の対策について	小関盛壽；鈴木信男	79〜83
續 60 番物語	山田捨録	84〜86
資材部機構の再編成	高橋達男	87〜93
新しい年を迎えて－現場の呼び（特集）		94〜108
隨筆・・プラント・エンヂニヤの夢	高井春雄	109〜114

Vol.2　No.2

電気通信省施設局編集

事務能率増進への道	伊藤誠	6〜7
資材の隘路を衝く	荻原博	8〜18
電気通信施設の現況とその将来	近藤潔	20〜26
交流式直通信号装置の変遷	志沢美夫	27〜35
搬送用海底ケーブルの変遷と今後の問題	橋本真澄；鈴木鉄也	36〜40
保号器の保守は如何にしたらよいか	蔵本力雄；太田乾次郎	41〜48
補助吊線の新設計法	奥井信行	49〜53
東京における電話障害修理の成果	佐々木卓夫	54〜56
電信事業の改善の方向	鈴木正一	59〜60
ケーブル絶縁監視用自動警報装置の作り方	杉浦暹	60〜63
アメリカ便り（第 1 信より第 3 信）	山田捨録	19〜19,26〜26
續 亞歐米ところどころ ── パリー國際電信電話會議への旅路	齋藤友吉	64〜66
複式簿記のはなし	千田鎭雄	67〜72
再訓練用レッスンプランのあらまし	吉田正資；小川豊一	73〜79
昭和 25 年度の建設勘定豫算のあらまし	施設局施設部管理課	80〜85
雪害の電気通信施設に及ぼす影響	関芳朗	86〜93
法律相談 國民全体の奉仕者とは何か	奥貞治郎	94〜97
〔特報〕第一回全國自動交換機調整競技大會	施設局保全部；市内機械課	98〜106
職場紹介 大阪都市電氣通信部の巻		107〜110

Vol.2　No.3

電気通信省施設局編集

巻頭言 資材の調達・配給は迅速・確實に	荻原博	10〜11
標準指令のその後の動き	施設局標準指令準備室	12〜12
1.4 號型（新型）電話機の出現	保坂忠夫	13〜22
2. 動物による電話ケーブルの障碍に關する研究（第 1 報・虫害に關する研究とその對策）	島田末太郎；中島茂；清水薫	23〜35
3. 送信管の增幅試驗について	杉山義一	36〜54
アメリカ通信=（第 4 信より第 7 信）	山田捨	55〜58
1. 昭和 25 年度損益勘定豫算のあらまし	小西大平	59〜65
2. 貯藏品勘定の當面する諸問題	大守坦	66〜70
3. 公共事業制度の概要	原田美信；柳井優；出村喜藏	71〜76
4. 統計の圖表化入門	森久	77〜92
事業と統計についての所感	富永修平	93〜93
ながさきものがたり	長崎電氣通信管理所	94〜95
舟艇と保線	川内電氣通信管理所	96〜97
全國主要無線局巡り（東海の卷）	施設局保全部無線課	98〜99
統計圖表から見た台風による電氣通信施設の被害	保全部管理課	100〜105
施設關係幹部訓練の實施迫る	須々木智地；吉田正資	106〜107
市外電話改良調査の成果上る		108〜109

Vol.2　No.4

電気通信省施設局編集

昭和 25 年度の施設計画	平井始	10〜10
マ元帥から電氣通信省全従業員に感謝激勵のメッセージ		11〜11
アメリカ通信	米沢滋	12〜16
電氣通信施設の現況とその將來 ── 東海電氣新信局	大谷昌次	17〜18
隨想・白い原稿紙	大橋幹一	19〜19
配給局運営に関する諸問題 − 問題の提起 −	高橋達男	20〜23
ある問題	花町幸保	24〜27
共電式交換機用に就て − 継電器の点検及び調度は如何にすべきか〔1〕 −	粟飯原清；高山正一郎	28〜46
新に採用した測定用発振器 − 測音 1 号 CR 発振器 −	只野豊治	47〜55
海底ケーブルを蝕むもの	古沢直成；江副卓爾	56〜59
搬送用増幅器を保守する人々のために	青江茂	60〜75
大型送信真空管壽命補償の回顧	伊藤未吉；平本精一；本郷志馬	76〜79
事業感想 ── 地方段階の本省に期待するもの	中國電氣通信局覆面子	80〜80
こんごうふえ	三宅福馬	82〜83
工事決算のはなし	千田鎭雄	84〜88
統計の図表化入門	森久	89〜97
認証事務問答	横井得二	98〜98
三重電氣通信部の巻		99〜99
岐阜電報局の巻		99〜100
無線局めぐり ── 關東通信局の巻		101〜102
電氣通信施設改善に對する現業員の聲	谷軍三	103〜105
「坊ちゃん」課長の記 ── 宮崎工事局の思い出	川崎鋼次郎	106〜113
統制回線障害統計	電気 通信省 施設局 保全部 管理課	114〜123
認証統計 ── 公共事業（建設勘定工事費）認証額表		122〜123
海外ニュース		81〜81
私のメモ		32〜45
読者の声		46〜46
質問箱		124〜124,125〜125

Vol.2　No.5

電気通信省施設局編集

建築雑感	中田亮吉	6〜7
昭和 25 年度電信電話建設工事計画の概要	平山温	8〜17
米國の電話電信事業とその技術	米沢滋	18〜25
アメリカ便り（第八信・第九信）── 現場と研究所	山田捨録	26〜29
適正要員算定上の基本的諸問題 ── 保守作業の能率調査を中心に	橋本一郎	30〜32
送信管在庫試驗の結果	東京國内無線管理所工務課	33〜35
陰極腐蝕の研究	中國電氣通信局保全部	36〜65
繼電器の點檢及び調度は如何にすべきか（その二）共電式交換機用に就て	粟飯原清；高山正一郎	66〜73
裸線搬送電話用自動利得調整裝置の保守	楠五月	74〜83
電氣通信線路技術競技近畿大會スナップ		84〜87
續 60 番物語 4. アメリカの巻（その一）	山田捨録	88〜91
何故從業員を訓練しなければならないか	黒田雄三郎	92〜93
電氣通信工作業務の近況	水尾安彦	94〜102
ウェスタンエレクトリック會社による資材配給業務	高橋達男	103〜110
保守費の分析について	吉岡正雄	111〜115
施設統計の解説	松尾義久	116〜118
目標は示された ── 施設次長・業務次長合同會議觀戰記	高橋達男	119〜121
編集小記		122〜122

Vol.2　No.6

電気通信省施設局編集

巻頭言 新機構一年を顧みて	林一郎	10〜11
電気通信施設の現況と将来－中国電気通信局－	兼松次男	12〜18
施設と会計	秋草篤二	19〜21
通話完了率向上調査会の動向	橋本一郎	22〜28
地下ケーブルの深度測定の一方法	吉田均；菅野和夫；大森忠夫	30〜31
新しい伝送局内施設々計とその意義	秦栄一	32〜43
新型磁器盤端子函の概要	若井順平	44〜48
ビーム空中線に於けるトラップの計算値	浦山正雄	49〜52
「坊つちやん」課長の記 ── 宮崎工事局の思い出（續）	川崎鋼次郎	53〜58
ごまめのはぎしり	廣島通	59〜61
隨想 訓練の前にあるもの	須々木智地	62〜63
工事報奨制についての一考察	星野圭佑；渡辺四郎	64〜72
米国に於ける配給局運営に関する資料	関英夫	73〜77
統計の図表化入門〔完〕	森久	78〜80
図表から見た施設の動き	施設局 管理課	81〜86
中国電氣通信局の巻 ── 小郡統制電話中繼所・下關電報局・廣島電話局		87〜90
全國主要無線局めぐり ── 關東電氣通信局の巻	施設局保全部無線課	91〜93
われ幻の魚を見しか ── C.C.S. プライス氏視察旅行隨行記	高橋達男	94〜100
福井市内電話線路震災復舊工事の完成	施設局建設部市内線路課 福井工事隊同人	101〜103

Vol.2　No.7

電気通信省施設局編集

巻頭言 道は近きにあり	村田直明	10〜11
業務の立場と施設への期待	堀雄一	12〜13
電氣通信施設の現況と將來 ── 北陸電氣通信局	三浦廣	14〜17
新型海底電線に対する一試案－技術講座－	高橋勝；山本定	18〜20
海底線障碍の電極による探知法－技術講座－	江副卓爾；渡辺太郎	21〜23
長距離通信回線保守上の諸問題－利得一定方式の実施に関して－技術講座－	田中浩太郎	24〜44
建柱工法の改良と工具類の試用－技術講座－	若井順平	46〜52
1 号 A 送話匣の過電流防止対策－技術講座－	宮田光夫；大久保弘六	53〜58
テープリレー式印刷電信交換の知識－技術講座－	電信 技術 同人	59〜62
ジヤック及プラグの磨耗限度－技術講座－	杉村興作	63
アメリカ便り ── 第 3 信	平井始	64〜64
〔工事スナツプ〕特殊 8 對搬送海底ケーブルの布設なる	施設編集部	66〜69
60 番物語－〔続〕4. アメリカの巻, その 2 －	山田捨録	70〜77
熱海大火における電気通信の防衛と復旧をめぐつて	加藤武雄	78〜79
アメリカ電話電信会社の 1949 年度報告	高橋達雄	80〜88
古い施設に新しき生命の復活－米国の工作工場の現状－	関英夫	89〜94
電気通信用品の残骸値改定の要点	渡辺四郎	95〜98
納入検査の直面する諸問題	小沢春雄	98〜102
隨想 藝術と技術	河野喜雄	103〜105
論説 地方管理所の獨立採算	鈴木正一	106〜107
自動改式工事成つた金澤電話局	北陸探訪子	108〜109
メーカー自ら墓穴を掘るか ── 「試作電話機の價格決定をめぐつて」に答える	施設編集部	110〜113
自動電話交換 30 年の回顧	渡辺孝正	114〜121
昭和 25 年度上半期建設勘定認証額比較分析圖表		23〜23,65〜65,102〜102,122〜126

Vol.2　No.8

電気通信省施設局編集

巻頭言 二三の反省	中尾徹夫	10〜11
Screw you up!	三宅福馬	12〜13
〔特集〕最近の電氣通信技術の動向		14〜28
市内電話－最近の電気通信技術の動向－	黒川金治	14〜21
市外電話・有線電信－最近の電気通信技術の動向－	土居靖夫	22〜26
無線通信－最近の電気通信技術の動向－	黒川広二	27〜28
管状表示器の調整法	鈴木正一	29〜34
長距離通信回線保守上の諸問題－利得一定方式の実施に関して〔その 2〕－	田中浩太郎	35〜53
第 2 回全國自動交換機調整競技大會を終つて	施設局保全部市内機械課	54〜59
いん・てい・ずう	高橋達男	60〜62
電話と建築	鈴木豊	63〜65
W.E.（ウエスタン・エレクトリツク）会社の購買機構及び状況	関英夫	66〜69
鈴廉電気通信学園第 3 回訓練生入学考査試験のあらまし	施設局 訓練課	70〜75
無線従事者国家試験の実施迫る!－施設部門無線従事者のために－	伊藤末吉；初見辰二	76〜81
統計雑記	片桐彌	82〜83
〔職場紹介〕全國主要無線局めぐり	施設局保全部無線課	84〜87
原子爆彈による電氣通信施設の被害状況	谷軍三	88〜97
來るぞ台風 ── 通路九州地方の特異性	三村一人	98〜105
アメリカ便り	木下正文	106〜106
連絡官物語	森元和	107〜111
編集小記		112〜112

Vol.2　No.9

電気通信省施設局編集

巻頭言 資材部門の最近の動向	萩原博	10〜11
施設局建設部長 辭任にあたりて	村田直明	12〜14
施設局建設部長 就任にあたりて	許斐三夫	12〜14
CCS スタツフによる地方通信局視察報告	C.E. Zahm ; C.R. Peddle ; J.M. Roche	16〜40
Business is Business	三宅福馬	41〜42
増圧式度数登算の異常	広田憲一郎 ; 山内正彌	43〜50
警報用継電器の断線不良はどうして起つたか	神谷輝男 ; 西松栄一	51〜56
小共電交換機保守の難点とその解決方法	高柳晃 ; 水沢慶太郎	57〜62
測搬 4 号真空管試験器を主とする有線通信用真空管の動作特性試験装置に対する検討	坂本一正 ; 大前義次	63〜69
非常災害時における応急工事の設計例	成沢泰四郎	70〜72
アメリカ便り	木下正文	15〜15
造無線設備の具備すべき條件	伊藤末吉 ; 初見辰二	73〜83
アメリカの職場訓練について − Productive training とその内容 −	山田捨録	84〜95
第一回印刷電信機調整競技會を顧みて	施設局保全部 電信機械課	93〜99
南樺太抑留のおもいで（その一）	山口久二	100〜103

Vol.2　No.11

電気通信省施設局編集

組織と能率	伊藤誠	14〜15
電気通信施設の現況と将来	諸沢忠治	16〜21
建設勘定工事の設計費についての考察	平山温	22〜24
新組織下における建設部の立場	富永修平	25〜27
プロジエクト シートの正確化に対する考察	東儀雄	28〜30
市内架空線路並加入者引込線點檢要領（グラビヤに因んで）	施設局・保全部	31〜34
2 号携帯試験器による市内ケーブル障碍測定を実施して	古沢真成；中村正行	35〜41
統計試験の取扱方	池永英夫	42〜52
2300 周波市外線信号方式	只野豊治	53〜55
搬送ケーブルの竣工規格（漏話）に関する一提言	橋本真澄	56〜58
電報局機械設計の諸問題	橋本満男	59〜63
《隨筆》アプレゲール・老鋪・若様	高橋達男	64〜65
Multi unit 電話局の建築に関するメモ	国方秀男	66〜71
W.A.Price 氏勧告余録	関英夫	72〜79
工事用物品の調達区分の再検討	種村省三	80〜82
Modern Manhole	長谷川菊次郎	83〜85
統計報告の調整	施設局管理課統計班	86〜89
無線従業員の技術訓練について	京極英二	90〜95
台風ジェーン近畿を襲う	近畿電氣通信局管理課	96〜99
座談會 アメリカの技術を我國の電氣通信事業に如何にアプライするか	米澤滋；横田信夫；平山始；山田捨録；平山温；木下正文；吉村克彦；吉田浩哉；林一郎；辻正；荻原博；許斐三夫；佐々木卓夫; 税所正芳；平野敏夫；橋本一郎；勝見正雄；黒川金次；黒川広二；宮崎正義；伊藤誠；中山次郎	100〜115

Vol.2　No.12

電気通信省施設局編集

巻頭言 技術者の反省	林一郎	10〜12
現場に於ける 2,3 の問題	佐々木卓夫	13〜16
電気通信サービス向上への道	東忠夫	17〜20
予防保全の話	C.R. Pedole	21〜24
W.A.Price 氏勧告余録 − 続 −	関英夫	25〜30
VHF 通信における干渉問題	林新二	31〜38
継電気の舌片又は接点の震動時間測定法	森本鋆	39〜40
加入者のダイヤルインパルスポーズの実状	長田武彦；鈴木増茂	41〜43
室内照明の設計概要	鳥居昂	44〜46
電磁オツシログラフによる商用周波ダイヤルの一考察	河添千里；勝丸国三；水沢慶太郎	47〜68
“T” ゾーンインスペクションをやってみましたか（Maryland 電話會社におけるケーブル豫防保全の話）	今川貞郎	69〜70
認知の訴 (Line Orejanezation)	瀬谷信之	71〜72
1 つの考え方	立川玄一郎	73〜74
電氣通信線路宅内技術競技會全國大會を顧みて	保全部；建設部	75〜86
建築物の安全性	中山義樹	87〜93
管理者としての現業幹部の地位ハーシイ教授の「管理者としての職長」を讀みて	鶴田重藏；河野喜雄	94〜101
流行歌・解析・女工	高橋達男	102〜105
施設改善に關する私の提案	谷軍三	106〜107
座談會 アメリカの技術を我國の電氣通信事業に如何にアプライするか（續）	米澤滋；横田信夫；平井始；山田捨録；平山温；木下正文；吉村克彦；吉田浩哉；林一郎；辻正；萩原博；許斐三夫；佐々木卓夫; 税所正芳；平野敏夫；橋本一郎；勝見正雄；黒川金次；黒川廣二；宮崎正義；伊藤誠；中山次郎；電通省記者クラブ；施設編集部	108〜114
地方だより	鈴木眞	115〜115

Vol.3　No.1

電気通信省施設局編集

巻頭言 年頭雑感	林一郎	10〜12
外界條件とその通信施設に及ぼす影響	C・E Zahn；今川貞彌	13〜21
通信部以下の機構改正の經緯とその運用	伊達孝則	21〜25
新機構下においては保全業務は此のように運行されねばならない	井上俊夫	26〜31
資材部の新機構	高橋達男；園延愛助	32〜37
〔講演速記〕回顧と前進	松前重義	38〜47
自動局に於ける電話料金制	粟飯原清；山内正彌	48〜53
ケーブル不良線の実態	橋本真澄	54〜61
市内ケーブルに於けるガス圧試験方式の利用	井坂栄	62〜66
低圧ヒユーズ筒の直流遮断容量	向井和夫；大川豊	67〜70
われわれは惡天候をいかに征服するか	今川貞郎	72〜74
電話開通工事のやり方	今川貞郎	76〜77
清潔な環境	山田捨録	75〜75
電話供養	廣島通	78〜82
豫算の話	森元和	83〜86
管理者としての現業幹部の地位－続－	河野喜雄；鶴田重蔵	87〜96
異動通知実施方法・サービスオーダー制度を繞る諸問題	沖田幸祐	97〜115
後記	K	116〜116

Vol.3　No.2

電気通信省施設局編集

巻頭言 協調と信頼	中田亮吉	10〜11
工事命令考査を省みて	磯木清一	12〜19
工事と物品の動き	友枝參	20〜26
アメリカ便り	木下正夫	27〜40
檢査雜感	石渡達夫	41〜43
市外線路の健康診断 − 技術講座 −	川庄須一	44〜47
米式建柱法の経済性とその標準化	辻正一	49〜57
実回線における 4 号電話機の明瞭度	宮田光夫；大久保弘六；池谷寛	58〜63
雪による電気通信線路の被害	関川市松	64〜69
室内増設ジヤックによるサービスの改善と増収	横山武之；竹内勇	89
御用聞, 鵜匠, 雜感	關英夫	70〜71
電氣通信技術標準實施方法その後の動き	吉田健次	72〜74
無線技術者のための電氣工作物規程	初見辰二；伊藤末吉	75〜80
要員の話	浦壽奈雄	81〜84
技能訓練の現状に對する一考察	須々木智地；京極英二；堤倉藏	85〜88
座談會 資材關係の先輩に物を聞く		90〜107

Vol.3　No.3

電気通信省施設局編集

巻頭言 理解と協力	許斐三夫	10〜11
故仁科博士の思い出	網島毅	12〜12
仁科芳雄博士を追悼して	米澤滋	13〜14
總ての「改善」は現場から來る（その 1）	木下正文	15〜22
電氣通信技術に關する國際會議とその動き	宮島錫三	23〜24
通信用有極継電器の動作理論の考察及び動作感度と動作歪についての私見	森本鋆	25〜29
高低の著しい土地に沿うガスケーブルの高度補正	坂本正春；自須幸太郎	30〜32
SJ 形印刷受信機部品の摩擦條件の分析	鈴木義彦	33〜40
陰極腐蝕の研究－続－	台木嘉人；富田憲夫；門田近太郎	41〜49
地下ケーブル障碍の障碍点探知に関する提案	平田久光	50〜51
鐵道通信の現状（グラビアに因んで）	古川滿智雄	52〜54
市内市外ケーブル接續競技をみて感じたまま	月生田隆義	55〜64
アメリカ便り	舟津重正；橋本一郎	65〜68
26 年度損益勘定豫算の解説	小西大平	69〜78
配給局の運營實績《昭和 25 年度上半期》	杉田虔二；瀬谷信之	79〜97
工事用物品の同時出荷について	鬼島英雄；種村省三；小路信一	98〜100
最近に於ける工作工場業務の概要	柳井又輔	101〜104
事業經營と未完成工事	平田穣	105〜107
局舎修繕費についての一考察	吉川顯作	108〜110
編集小記		111〜111

Vol.3　No.4

電気通信省施設局編集

《巻頭言》昭和 26 年度に於ける資材活動の目標	荻原博	12〜13
電気通信の現状と将来	林一郎	14〜21
昭和 26 年度電信電話建設工事計画の概要	角田和男；平山温	22〜37
印刷電信受信鑽孔中継方式の開始	河野誠一；中村敬	38〜42
特殊増設電話 (W.P.S.) に於ける技術的諸問題	宮田光夫；森島甚吉；石田義典	43〜48
市内回線への誘導妨害	勝丸国三；平三郎	49〜52
統計数字－ 1 －	川田大介	53〜56
技術に関する国際電気通信会議とその動き	宮島錫三	57〜69
隨想 渡米漫記	吉村克彦	70〜71
施設関係職員訓練の諸問題	須々木智地	72〜73
私達の職場をよくするもの	谷軍三	74〜75
第二丸の内電話局附帯設備の概要	鳥居昂	76〜80
無線従事者に対する電波監理委員会規則の改正	伊藤末吉	81〜84
新型リール採用の経緯	関英夫	85〜96

Vol.3　No.5

電気通信省施設局編集

最近の独乙電機事情	大富真	12〜14
保金に関する記録及び報告について	C.R. Peddle	15〜17
昭和 26 年度建設勘定予算のあらまし	施設局施設部管理課建設予算班	18〜26
脚光を浴びるプラントレコード	平山温	27〜30
自動交換機回路の解析	渡辺孝正	31〜40
無装荷 6 通話路搬送方式の自動利得調整に関する伝送上の諸問題	新堀達也	41〜47
H 形自動交換機の改訂仕様書について	水井三嗣；飯田武之	48〜58
統計数学の話 − 2 −	川田大介	59〜62
高調波歪減衰量測定値の検討	増田重男	63〜68
アンマとマッサージ	三宅福馬	69〜70
昭和 26 年度施設部門職員の訓練方針について	須々木智地	71〜72
統制経済の回顧と展望	高橋達男	73〜75
電気通信技術に関する国際会議とその動き（その 3）	宮島錫三	76〜78
道標 ── 現場主任と監督者に対する管理方法の指針	関英夫	79〜90
幻燈や映画を採用した新しい訓練のゆき方	京極英二	91〜98

Vol.3　No.6

電気通信省施設局編集

日本と米国の電話事業の比較	平山温	12〜21
電氣文明と精神生活	賀川豐彦	22〜24
市外電話回線の実態－ 1950 年－	崎田一夫；税所正芳	25〜36
密閉式 EE 型蓄電池について	黒川金治	37〜38
通信用継電器 Winding の温度上昇に関する 2・3 の考察	森本鋤	39〜41
釜石に発生した誘導妨害に関する一考察	片方善治	42〜45
新たに採用した螢光灯照明	宮本勝一	46〜49
統計数学の話－ 3 －	川田大介	50〜52
電柱冠防護施設の一考察	中川栄吉	53〜55
側溝利用地下ケーブル配線工法の考察	花岡達郎	56〜57
磁石式局所属私設共電式交換機局線回路の検討	竹中正規	68〜68
School-to-Home Service	関英夫	58〜60
ニューヨーク便り	高井春雄	61〜63
電気通信技術に関する国際会議とその動き（終編）	宮島錫三	64〜67
總ての改善は現場から來る（續）	木下正文	69〜76
サービスオーダー制度実施 1 ヵ年の回顧	岩永与吉	77〜80
統制経済の回顧と展望（その 2）	高橋達男	81〜83
品質管理とは	初見辰二；勝田日出夫	84〜89
隨筆 私の書庫	篠原登	90〜92
書評 真理が集団の手に	中井正一	93〜94
電話聞書	浦島敏弘	95〜98

Vol.3　No.7

電気通信省施設局編集

電気通信施設長期拡張計画に関する中間報告	山本英一郎；森脇潔	12〜18
ベルシステムの市内電話保全概況について	船津重正	19〜25
C.C.S. の置土産	関英夫	26〜34
電報局施設監査点検法の解説	大谷薫	35〜39
新形共電式加入者交換機交換取扱者標準負荷の検討	高柳晃；武田秋一	40〜43
漏話計算式の一提案	前田光治	44〜47
順位の相関について	池永英夫	48〜50
局外障碍に関する 2・3 の問題	橋本真澄	51〜61
統計数学の話－ 4 －	川田大介	62〜66
Bell System における Craftsmen 及び Supervisor	今川貞郎	67〜68
通信事業は如何に戦争に奉仕し又奉仕せしめられたか	田中浩太郎	69〜77
伸びゆく電波と電気通信展	編集部	78〜80
誌上紹介 被服類の展示会	資材部需品課	81〜81
現場の声 よく考えてみよう	寺西康治	82〜83
官庁契約の片務性	高橋達男	84〜91
応待改善	二大運動推進委員会	92〜96
私のメモ	渡辺一三四	97〜98

Vol.3　No.8

電気通信省施設局編集

《グラビヤ》P.B.X. の現況		4〜8
ひそかな願い	和気幸太郎	9〜10
欧米における通信工業を視察して	小林正次	11〜16
C・C・S・の置土産－保全に関する提案－	C・E Zahm ; C・R Peddle	16〜30
街頭電話について	黒川金治 ; 小和瀬豊作	31〜36
マルチュニット式の局内装置	山本英一郎 ; 村井勇夫	37〜45
充填ガス量算出図表について	海老原愼治 ; 今井保寿	46〜47
印刷電信機の安定度を上げるにはどうしたらよいか	井田智雄 ; 中村敬	48〜56
0.4 粍 2.400 対ケーブルの布設報告	若井順平	57〜59
残高のあるときの要求量に対する配分について	出原時男 ; 池永英夫	60〜61
統計数学の話－ 5 －	川田大介	62〜65
米国 NI 形搬送方式の概観	高橋敏朗	66〜67
私達の回線統制局の仕事について	篠原秀夫	69〜73
読者の声 事業管理の盲点	武藤武雄	74〜75
貯蔵品資金回転制度の実施について	北村武	76〜81
私の書庫	松前重義	82〜83

Vol.3　No.9

電気通信省施設局編集

市内加入者回線の新しい絶縁試験法	船津重正	38〜42
通信用電源施設は如何にあるべきか－ 1 －	有田博光	43〜47
鉄筋コンクリート電柱の設計と強度	采女浩；小和瀬豊作	48〜59
下関－門司間誘導妨害の一考察	門田近太郎	60〜64
長距離回線の位相特性並びに歪の相加	佐分利邦男；白石元	65〜69
統計数学の話－ 6 －	川田大介	70〜71
お別れに際して	林一郎	4〜5
施設の改善整備拡充の基本態度	吉田五郎	6〜7
サービス指数に関する考察－米国電気通信事業現察報告 (1) －	佐々木卓夫	8〜11
米国の統計機械と継電器を利用した新しい分類集計機	山下英男	32〜37
C.C.S. の置土産－通話完了率向上委員会の活動に関する提案	C.E. Zahm	12〜19
理想のストロージャスイッチへの一歩前進	渡辺孝正	25〜31
アメリカ便りとその解析－ストロージャ方式を中心として－	川田大介	20〜24
着々進む全ドイツの完全自動化	佐藤矩方	75〜77
米国における K 形搬送電話方式	高橋敏朗	90〜90
26 年度損益勘定実行計画	小西大平	78〜84
配給局の運営実績	瀬谷信之	85〜89
書評 行動の科学としての推計学	水野滋	91〜92
私の書庫	三宅福馬	93〜94

Vol.3　No.10

電気通信省施設局編集

電通一本化	平野敏夫	4〜5
電気通信機械工業における資材の現状と将来－１－	市瀬幸治	6〜12
工事命令に関する考察－米国電気通事業視察報告(2)－	佐々木卓夫	13〜19
C・C・S・の置き土産－建設に関する提案－	C.E. Zahm ; C.R. Peddle	20〜25
巴里の１週間の印象	黒川広二	26〜27
絶縁破壊試験器の利用	船津重正	28〜32
A 型自動交換機における出中継方式の融通性	N. Salvesen ; 川田大介	41〜43
1 号 B ラインファインダの欠陥とその対策	飯田穣治	44〜50
統計数学の話－７－	川田大介	51〜55
双信法による印刷通信	原田栄彦	56〜59
地中導体埋設工事に関する一考察	増田重男 ; 峯田良男	60〜63
搬送電信用電源の雑音保持規格	高橋久太郎	64〜68
機械室一試験台（市内）間の直通電話にかわるインターフォン装置	銅玄弘康	69〜70
加入者障碍申告回路に対する 113 用特殊聴話装置	銅玄弘康	71〜72
ドイツ連邦における鉄道電話の現況	佐藤矩方	73
品質管理の実施状況	初見辰二	74〜75
和文電信用タイプライター今昔話	広島通	16〜69
資材の脳み	瀬谷信之	80〜83
私の書庫	大橋幹一	84〜86
電話の生態の恰好な紹介－岩波写真文庫 34「電話」－	高橋達男	87

Vol.3　No.11

電気通信省施設局編集

大都市電話事業運営上の諸問題	辻正	10〜21
補正予算と明年度予算編成の構想	山本正司	22〜29
デイストリビューション・センター－米国電気通信事業視察報告 (3) －	佐々木卓夫	30〜32
総ての改善は現場から来る－開局の巻 (1) －	木下正文	33〜39
現像に適するマージユ測定法私見	大谷薫	40〜43
60Mc 用すだれ反射器空中線	澁谷茂一	44〜53
通信用 1 次電池は凡て塩化アンモン空気湿電池を使用せんとする提案	有田博光	54〜59
自動式特殊番号サービス受付台	Harvey W. Balzer	60〜62
統計数学の話－ 8 －	川田大介	63〜67
米国の電話局	高井春雄	68〜73
電柱敷地補償料の改正に関する主要問題	生出勝次郎	74〜79
トラフィック理論最近の動向	川田大介	80〜80
保全部十大目標	平野敏夫	81〜94

Vol.3　No.12

電気通信省施設局編集

C.C.S. の置土産－プラント・エンヂニアリングに関する提案－	C.E. Zahmand ; C.R. Peddle	12〜18
プラント・エンヂニアリングに関する覚書に接して	施設局施設部	18〜22
アメリカのベルシステムにおけるトラフィック計画部門の活動	米沢滋	23〜28
第 6 回 C.C.I.R 総会に出席して	黒川広二	29〜31
A 形自動交換方式における通知台サービス	H.A. Dliezel ; 高山正一郎	32〜33
小共電交換機のジヤック収容法と平衡用補助ジヤックの問題	高柳晃	34〜35
Cape Charles-Norfolk 超短波通信回線の示唆する諸問題	小西一郎 ; 林新二	36〜40
A 形自動交換機のバンク絶縁物の焼損原因	安達竹之進 ; 鈴木信男	41〜48
印刷受信機（黒沢形）保守上の重点	井田智雄 ; 中村敬	49〜53
統計数学の話－ 9 －	川田大介	54〜55
丙型超短波送信機の歪についての考察	前田謙次	56〜64
米国における最近のマイクロウエーブ中継装置の一例	伊藤弘一郎	65〜65
米国の電話局	高井春雄	66〜71
回線統制とは	五十嵐淳四郎	72〜77
電気通信旬間を記念する三競技大会を顧みて	施設局	78〜86
私の書庫	白井武	87〜90

Vol.4　No.1

電気通信省施設局編集

天皇陛下を鈴鹿学園にお迎えして	山下知二郎	8〜9
新年を迎えて	中尾徹夫	10〜12
1952 年における研究所の目標	平井始	13〜15
電報中継機械化の現況 − 1 −	施設部 市外課 電信 班	16〜18
最近の独乙長距離通信工学の発報	尾見半左右	19
学問・技術・事業	星合正治	29〜31
局間 2 次ラインスイッチに対する綜合的検討	川田大介；飯田穣治	32〜37
無装荷 24 通話方式商用試験の中間報告	山本孝	38〜40
P.B.X の本番撤去について	宮田光夫；森島甚吉	41〜44
全自動専用線テレタイプ中継方式	鈴木錠造	45〜47
ヨーロッパにおける電信電話事業と労働事情	永岡光治	48〜51
線路の盲点 − ルース台風被害を視て −	船津重正	52〜54
アメリカのベル・システムに於けるトラフイック計画部門の活動 − 2 −	米沢滋	55〜63
線路の予防保安 − 米国電気通信事業視察報告 (4) −	佐々木卓夫	64〜69
総ての改善は現場からくる − 開局の巻 (2) −	木下正夫	70〜75
仮払品制度の概要	鬼島英雄；高橋三省	76〜79
共用局舎の修繕問題	吉川顕作	80〜82
配給局標準在庫量の決定と補充要求	吉村克彦；池永英夫	83〜85
私の書庫	景山準吉	87〜88
新しい電気通信事業の在り方	篠原登	86〜98
プラントエンヂニアリングに関する覚書に接して	施設局施設部	28〜28
正誤及び解説		18〜18

Vol.4　No.2

電気通信省施設局編集

保全活動の基本	新堀正義	8〜8
電話払張への道	林一郎	9〜13
最近のドイツ長距離通信工学の発達 (2) − トールダイヤル方式について −	尾見半左右	14〜16
私の見たスイスとイギリスの無線施設	黒川広二	17〜20
トランジスターの解説	鈴木錠造	21〜28
ガスケーブルの温度測定法について	松原正一	29〜33
市外台における音量分布に関する統計	新堀達也	34〜37
最近における放送中継線	佐藤正男；中仮屋宗隆	38〜43
電報中継機械化の現況 (その 2)	施設部市外課	44〜49
ケーブル取替え区間選定の基準	松橋達良	50〜55
米国電気通信事業視察報告 (5) − 施設効果 (Plant Result) の綜合分析に関する考察 −	佐々木貞夫	56〜65
アメリカのベル. システムにおけるトラフィック計画部門の活動 − 3 −	米沢滋	66〜71
資材業務の経営分析	藤間義一；北村武	72〜79
市内ケーブル配線についての一考察	青空進	81〜82
新しい電気通信事業の在り方 − 続 −	篠原登	84〜94
解りますか		83〜83
質問箱		13〜13,28〜28,71〜71

Vol.4　No.3

電気通信省施設局編集

嗚呼稲田さん	梶井剛	8〜9
通信ケーブルの現況と二・三の所感	池田敬三	10〜15
有線通信機械工業界と発注方式の改善	楠瀬熊彦	16〜17
千代田局の設計概要	篠原紀元	18〜26
26 年度建設工事の事務処理経過の実態に対する一考案	中島源吾	27〜31
市内電話における TOK 分析とその結果の活用	内田徳	33〜39
直読インピーダンス測定器の誤差	只野豊治	40〜46
線路工事用器具と測定器類の紹介	高橋己則	47〜50
搬送電信用継電器の調整	斎藤忠四郎；滝沢二郎	51〜55
電波法施行に伴なう標準指令の解説補遺および無線局調書	大久保五郎	56〜59
通信用 1 次電池はすべて塩化アンモン空気湿電池を使用せんとする提案	有田博光	60〜66
調整工具の沿革	長島正隆	67〜71
明るくなつた茅場町の電話	安達良雄	72〜76
暫定技能標準の設定	松浦美喜雄；松山義郎	77〜82
私の書庫	幸前治一	83〜84
若き友へ	尾佐竹徇	85〜86
解りますか		32〜32
質問箱		17〜17,26〜26,66〜66,71〜71,76〜76

Vol.4　No.4

電気通信省施設局編集

電気通信機械用物質対策 – 無線関係 –	市瀬幸治	8〜12
27 年度損益関係実行計画概要	小西大平	13〜18
最近のドイツ長距離通信工学の発達 (3) – テレタイプ界の進歩 –	尾見半左右	19〜22
H 型交換機における 1 次プレセレクターのワイパー落ち込み障害	永江悟朗	23〜27
500 型空気湿電池の障害及びその判定法	中島宏	28〜31
H1 号市外出中継線装置 S 継電器の復旧不能障害の解析	高木慶三	32〜36
局間中継接続に起る交互動作の解析	川田大介	36〜40
16 周波伝送に関する一つの実験	只野豊治 ; 田中敏光	41〜44
整流器の能率はどのくらいあればよいか – 主として信号器について –	太田乾次郎	45〜50
新しい局内ケーブルの曲型枠	森原正喜 ; 千村茂允	51〜52
ケーブル埋設深度測定器の使用法	玉井明	61〜62
VHF 60Mc 帯外来雑音の実態とその処理方法	杉山利光	53〜57
電報通信機の平常保守	吉江忠徳 ; 石原治久	58〜60
電報局における予防保守計画の仕方	石原治久	63〜65
修理者の立場からみた指示計器	岡島三郎	66〜70
二線式電話回路を利用した 12 チャンネル搬送電信端局装置の通信試験	森田政雄	71〜74
2 号携帯試験器による地下ケーブル障害点現場測定法	松野純介	75〜77
H 型自動交換装置の中継線 (B 線) 断線および地気による誤接障害の探索装置の一考察	松井昇	78〜80
簡単な障害位置の直読測定法	梶山晋	81〜85
昭和 26 年度市内電話線路特別保守を実施して	東京都市 電気 通信部	87〜91
北国の工作工場における花園の実況	森田松五部	92〜95
納入検査の悩み	唐津一	96〜97
施設局の動き		

Vol.4　No.5

電気通信省施設局編集

ヨーロッパの電話	小島哲	8〜16
昭和 27 年度建設勘定予算の概要	施設局施設部管理課	17〜25
通信線の盗犯とその捜査	阪本実	26〜33
物品出庫単価の固定制度試行にあたつて	谷政三	34〜37
共電式市外交換機座席回路の限界継電器動作安全率の検討	高柳晃；長谷川栄一	38〜40
磁石局送話用電池の内部抵抗と漏話の関係	中島宏	41〜42
A 形コンネクタ下継電器の調整値変更	広田憲一郎；飯田穣治	43〜45
続 我々の職場から不良回線を抹殺しよう	内田徳	45〜48
磁石式局で多数共同を行う場合何故現用の 200Ω 加入者表示器を 1000Ω の管状表示器に取替えなければならないか	宮田光夫；森島甚吉	49〜54
長距離回線のレベル変動	大城正喜；塙武夫	55〜60
搬送ケーブル接続法の再検討	山口彊；木下文男	61〜67
鉛被非ケーブルの特殊接続工法	森原正喜；千村茂允	68
無線多重通信の一方式トインプレックス	清水保	69〜79
電信用地中導体の作用と保守	斎藤忠四郎	80〜85
〔建築〕建築技術調査会報告	建築部	86〜88
現用搬送電信装置の一誤謬防止対策	柵山友行；清水他喜次	89〜93
私の工夫 磁石式交換機用送話電池の簡単な切替法	福島昌信	16〜16
納入検査概況 – グラビアによせて	佐々木正俊	94〜98

Vol.4　No.6

電気通信省施設局編集

昭和 27 年度電信電話建設工事実施計画の概要	角田和男；米沢滋	8〜17
電気通信省建設工事を省みて	石渡達夫	18〜20
作業の安全化に関する活動	佐々木卓夫	21〜26
特殊番号誤接防止に関する一つの試み	川田大介	27〜31
商用周波交流ダイヤル装置保守の要点と保守用機械	志沢美夫	32〜39
装荷中継器はセルフバイアスでもよい	鈴木虎夫	40〜45
市内架空ケーブルのガス圧点検法	井坂栄；檜山茂樹	46〜53
市外電話ケーブル障害の原因と測定誤差の分析	竹内忠雄；鶴来嘉雄	54〜61
40〜200Mc VHF 電界強度計算法	澁谷茂一	62〜71
電信用電話回線の明瞭度	原田栄孝	72〜75
電報局保全成績の現状	施設局保全部 電信機械課	76〜78
標準局舎電気設備の設計法	宮本勝一	79〜84
私の提案 新堀氏の“市外台の音量分布に関する統計”に対する私の意見	横山孝雄	85〜86
H 型局間中継線装置の改良に関する一考察	山本勲	87〜89
管理部門等の無線従事者のために	伊藤末吉	90〜92
貯蔵品資金回転制度は成功したか	瀬谷信之	93〜96

Vol.4　No.7
電気通信省施設局編集

公社移行後われわれの身分はどうなるか	好本巧	8〜12
保守水準向上に関する循環論	長谷川章	13〜18
経営体における職員訓練	須々木智地	19〜23
施設部門職員の応待心得	島津治男	24〜26
海底線布設船乗組員殉職碑除幕式並に追悼式に参列して	高橋勝	27〜27
市外電話回線の残留損失についての諸問題	鳥山好三	37〜44
市外電話方式の経済検討	伊佐進	45〜50
有毒ガスの知識	北薗良雄	51〜56
市内ケーブル高抵抗絶縁不良障害に対する米国式絶縁破壊法の批判と B.W 法	河添千里；勝丸国三	57〜64
200Mc FM 回線の歪率特性の現状	林新二	65〜71
搬信増幅検波器盤の利得の低下と対策	滝沢二郎；和田英男	72〜75
〔建築〕東京・大阪・名古屋現業局の鋼製建具調査報告	建築部保全調査会	76〜79
〔その他〕電気通信技術標準実施方法の話	福田憲治	28〜36
手動交換局の度数制実施限界	高柳晃	80〜84
搬走電信における HO101F 真空管の取替時期	高橋三之助；松岡伝	85〜89
B 系列平形継電器の輸送事故とその対策	高谷善美	90〜93
紐回路併用のハウラ－回路	折笠富彌	94〜95
クロスバースイッチの歴史	山内正彌	96〜97
ふるさと日記	肥爪龜三	98〜101
配給局標準在庫量の決定に対する一考察	江口安雄	102〜106
購入物品の品質向上対策	大前義次	107〜110

Vol.4　No.8

日本電信電話公社施設局編集

公社特集		8〜26
《グラビア》電報局施設監査点検はこうする日米行政協定のもたらすもの	船津重正	27〜32
H 形 F 式局を含む加入者交流ダイヤルとインパルス修正回路	高木慶三；上遠野浩	33〜40
比重計の正しい読み方	菅原信夫	41〜41
搬送用紙蓄電器はよくなつたか	西松栄一	42〜49
地下ケーブルの柱上取付接触器の調整方法	玉井明；坂本正春	50〜54
バーレー法による障害点現地測定上の要点	村上護	55〜61
対米無線電話に応用される A4 秘話装置	笹本昇	62〜69
自動局 I.D.F. を巡る諸問題の解決案	川田大介	70〜76
多周波電動発電機の保守についての提案	川崎敏夫；中村太一	77〜84
螢光燈使用上の諸問題	鳥居昂	85〜89
標準インパルス発生装置	鈴木信男	90〜94
資材業務の運営実績	藤間義一	95〜99
集中常備品制度について	税所正芳；池永英夫；種村省三	100〜105
訓練成果の向上	京極英二	106〜109
写真紹介 ケーブル布設自動車		61〜61

Vol.4　No.9

日本電信電話公社施設局編集

抱負を語る	米沢滋；新堀正義；和気幸太郎；秋草篤二；中田亮吉	8〜17
職務分類と給与制度に関する考察	佐々木卓夫	18〜21
保全サービス指数に関する一考察	橋本満男	23〜26
フロレンスの国際電話諮問委員会の会議概要	赤羽良男	28〜32
H 形 F 式局を含む加入者交流ダイヤル	高木慶三；上遠野浩	33〜39
1 号レピータの諸問題	広田憲一郎	40〜46
真空管破損事故の発生状況とその原因	楠五月	47〜50
搬送波同期歪の通信品質に及ぼす影響	長瀬辰郎	51〜56
新らしいニツパの話	山口彊	57〜63
市内ケーブルにおける絶縁紙破壊の状況とその絶縁耐力－ B・W 法に関する報告 (2) －	河添千里；勝丸国三	64〜68
200Mc FM 回線の雑音分析	佐川正	69〜76
キータツチと電報の誤謬	河野誠一	77〜82
〔建築〕建築附帯設備	鈴木二郎	83〜87
印刷電信用 105V10A セレン整流器の出力電圧変動	塩見栄次郎	89〜94
被服費予算計理一元化のはなし－被服取扱手続要綱制定によせて	広島通；北村武	99〜102
配給業務運営上の問題点	三上正雄	104〜110
浜松局マルチケーブル, ジヤツク取替工事	浜松 電気 通信 管理所	95〜98
施設写真紹介		22〜22
質問箱	施設局施設部調査課	27〜27,39〜39,88〜88
原稿募集		103〜103

Vol.4　No.10
日本電信電話公社施設局編集

機構改革の動き	標準実施方法準備室	8〜12
取替補充の理論的考察 ── 特に積滞補充について	平山温	14〜18
給与制度はどうなるか	藤田栄吉	20〜22
電気通信技術の進路 ── 電話交換技術	施設部調査課	23〜28
建設工事成果分析の一例	井元新一；藤原耕佐久	29〜37
手動局定期試験－単局地共電式局－	高谷善美；高柳晃	38〜45
P・B・X・用電源の消費電量の算出について	中島宏	46〜47
40 回線 1 号 A 共電式構内交換機の改善すべき諸点	石田義典	48〜52
裸搬装置はこうして良くなつた	兄野豊治；松田正一	53〜61
搬送警報用 C 型ヒューズについて	小野俊雄；松田正一	62〜66
B・W 法実施上の諸問題－ B・W 法に関する報告 (3) －	河添千里；勝丸国三	67〜71
台風に対する市外裸線路設計の一考察	川庄順一；竹内寿夫	72〜77
200Mc FM 回線の漏話の改善	小西一郎；杉本浩康	78〜84
印刷電信回線の品質管理の成績	加藤幸作	85〜87
H 型自動局対自動レピータおよび二線式セレクタの改善－交流式局間中継装置－	山本勲	88〜92
H11 号対自動レピータの改造	喜多市次郎	93〜95
丁型受信機第 6 コード・バー動作不良障害の防止について	米沢信一	96〜98
こうしてサービスは向上した ── 横田局	高橋栄三郎	99〜102
電気通信旬間記念「懸賞論文」募集		13〜13
施設写真紹介		19〜19
質問箱		84〜84

Vol.4　No.11

日本電信電話公社施設局編集

新機構特集	佐々木卓夫	12〜36
温湿度調整	内田秀雄	37〜43
有線通信用真空管の購入検査の実状	佐藤敏夫；渡辺昇八郎	44〜47
市外電話における不良回線の実態	鳥山好三	48〜54
装荷ケーブル線路の障害点測定法	松尾哲郎；島田幸雄	55〜59
改良されたペンチ	山口彊	60〜64
短波受信機の選択特性	笹原正夫；飛山圭一	65〜68
〔建築〕局舎の消防法	建築部局舎；保全調査会	69〜73
東京及び大阪における自動局の適正電池容量の算出方法についての一案	山県保；中島宏	74〜76
112 号出中継線回路の回路方式改良	折笠富彌	77〜79
公衆電話の実態とそのサービス限界	大久保弘六	80〜84
ジャック盤操作時の瞬断とその対策	横須賀道弘；鈴木錠造	85〜89
己設裸線路に搬走周波を重畳する場合の諸問題	只野豊次	88〜94
かくしてサービスは向上した ── 松山電話局	長谷川茂	95〜98
技術競技の倫理性	三宅福馬	99〜100
グラビアによせて－第一回電気通信技術競技全国大会	施設編集部	101〜104

Vol.4　No.12
日本電信電話公社施設局編集

電気通信施設長期計画設定のその後の経過と今後の問題	橋本一郎	8〜10
電気通信技術の進路 ── 有線伝送技術	技師長室調査課	11〜17
自動交換機の品質はかくして向上する	渡辺孝正	18〜22
トラフイック自動記録装置	岩瀬鉄次郎	23〜29
漸進式切替方法について－工事本位の切替からサービス本位の切替前進	粟飯原清	30〜34
15 回線 1 号 A 共電式構内交換機の改善すべき諸点	石田義典	35〜40
市外電話方式の経済検討－ 2 －	伊佐進；福田唯久	41〜46
搬送用濾波器の劣化とその試験方法	田村昭；福田唯久	47〜54
交流 BW 法と直流 BW 法の得失	河添千里；勝丸国三	55〜59
搬送ケーブル接続の再検討－結合量と遠端漏話量との関係	山口彊；木下文男	60〜64
市外ケーブルの障害点測定の一方法	高橋敏朗	65〜69
200Mc FM 方式の障害統計	佐川正	70〜75
直流電信回線漏電対策の一方法－偏極電信法	下山祐之輔；河野誠	76〜78
私の提案 半田付工法	木下正文；新発田満二	79〜83
建築部材料試験室の現況	建築部設計課	84〜85
昭和 26 年度同時出荷の運用実績について	小路信一	93〜98
法的側面より眺めた仕様書の問題	小沢春雄	99〜101
インパルス試験器によりサービスは向上した	横手電報電話局	88〜92
総裁表彰・施設局長表彰に輝く人びと	施設局	86〜87

Vol.5　No.1

日本電信電話公社施設局編集

新春を迎えて	梶井剛；中尾徹夫	8〜11
新機構下の初代取扱局長はかく語る	山田捨録；大戸幸記；西常八；大築勇太郎；井上操	12〜17
電気通信技術の進路 ── 無線通信技術	調査課	18〜22
保全サービス指数に関する一考察（施設保全上または褒賞制度を主として）	橋本満男	23〜28
据置用エボナイトクラット式蓄電池の適正浮動電圧	塩見栄次郎；菅原信夫	29〜30
X-4 搬送電流発生器	鈴木虎夫	31〜38
市外通信の伝送標準	岡部夏雄	39〜42
BW 試験器－ BW 法に関する報告－ 5 －	河添千里；勝丸国三	43〜48
搬送電信における歪分布の態様	勝丸国三；林龍彦	49〜54
印刷電信機毎日点検の要点	鈴木義彦	55〜57
岡山－松江超短波伝播試験	河平忠彦	60〜64
障害申告受付席の算定基準	田村裕	65〜69
分捲電動発電機逆流による誘導発電機の運転	飯室馨；平井修	70〜74
市外ケーブル絶縁監視装置	高橋敏朗	76〜81
私の工夫 自動車用発電機の改造考案	水深十四清	82〜87
O 形搬送方式	伊佐進	88〜93
県倉庫より通信部倉庫への道	広島通	94〜96
硫酸銅注入電柱購入検査方法の改善について（成品検査方法の提案）	佐々木正俊；恩田太一；山本太郎	97〜102
かくしてサービスは向上した（近畿）福島電話局	山田留吉	103〜107

Vol.5　No.2

日本電信電話公社施設局編集

電信中継の機械化 グラビア	徳永正昭	3〜11
建設工事推進方策・特集	関雅雄	12〜38
回転率についての一考察	池永英夫；村上清吾	93〜96
こうしてサービスは向上した（上野電報電話局）	村上清吾；森本末五郎	99〜102
施設局の動き		97〜98
電気通信技術の進路（電信）	技師長室調査課	39〜42
季節的線路損失変動測定の一方法	石原治	43〜47
伝送特性自動絶縁装置の障害と保守上の注意	平塚清士	48〜53
搬送印刷電信回線における特性歪とその分布	勝丸国三；林龍彦	54〜61
黒沢製オペレーチングベールカムの不良分析	富田正典	62〜63
国際通信用空中線の保守作業の分析	熊谷久蔵	64〜68
市内ケーブル絶縁不良障害に対する BW 試験器の適用例	河添千里；勝丸国三	70〜74
〔その他〕能率調査を顧みて	古都勝寿	75〜78
1 号 E レピーター保守について及び試験用送受器の改良について	小西建一	79〜81
発信呼率の算定について	溝口邦夫；渡辺卓哉；太田勇	82〜88
200Mc PM 受信機スケルチ回路の動作安定化	松本高士	89〜90
電気通信線路工事用器具の改良	田中彌三臣	91〜92

Vol.5　No.3

日本電信電話公社施設局編集

水晶発振子が出来るまでグラビア	初見辰二；徳永正昭	3〜7
工事関係業務の反省特集		8〜8
電気通信工事関係業務の過去・現在・将来	佐々木卓夫	8〜30
保全成果測定に対する一考察	橋本満男	104〜108
施設面からみた電信電話事業会計の一考察	稲垣範三	99〜103
宅内工法監査結果の批判	山口彊；茂木正久	55〜61
搬送電信における不規則歪とその推定	勝丸国三；林龍彦	62〜67
200Mc 受信機の二信号選択度－ VF-12 方式の周波数割当の資料－ 1 －	林新二	68〜71
〔その他〕局舎の消防法（その 2）	建築部局舎保全調査会	72〜78
H 型簡易自動試験装置	榊原一夫；辻太郎	79〜81
架空ケーブル引留用電柱設計に関する一考察	原田安雄；山岸義人	82〜86
建設工事能率調査	鈴木春治；杉山衛；山口侃	87〜94
海外技術紹介 クロスバー交換方式の発達	山内正彌	95〜98

Vol.5　No.4

日本電信電話公社施設局編集

特集・本年度建設工事実施計画	中尾徹夫	12〜32
A 型集中自動監査装置における問題点	溝口邦夫；渡辺卓哉	33〜39
短距離裸線路の現状と搬送波重畳に関する考察	只野豊次；矢部久	40〜49
改良型 1 号 A 送話匣	宮田光夫；大久保弘六	50〜56
保安レベルの合理的算出についての一考察	田村裕	57〜62
L.I.D.F 活用についての現実的諸問題	松橋達良	63〜67
電報電話託送施設の改善	吉見惣一	68〜73
搬信用継電器定期取替週期について	高橋三之助；大島進	74〜28
FM 受信機の殘留振幅変調と振幅制限器の調整	松本高士	79〜83
MDE ジャンパー線の所要長算出表	新村長門	84〜87
英国に於けるマイクロ波中継方式	尾佐竹徇	88〜95
保全サービス指数に関する一考察（その 4）	橋本満男	96〜103
昭和 28 年度建設勘定予算の概要	施設局管理課予算係	110〜117
新道路法の下における道路占用の諸問題	生出勝次郎	106〜109
契約上の問題について	こじまいずみ	104〜105

Vol.5　No.5

日本電信電話公社施設局編集

特集・本年度保全工事実施方針		12〜12
保全の現状と今後のあり方	中尾徹夫	12〜20
最近における線路保全の諸問題	平山温	21〜28
市内機械保全の在り方	木村栄	29〜33
統計面より見た電信保全について	薩川一義	34〜37
市外電話回線保全の現況とその対策	大城正喜	58〜47
ケーブル接続点のシリカゲル乾燥工法	建設部工法課	52〜54
搬送電信歪の相加	勝丸国三；林龍彦	55〜60
FM 回線における多重伝播歪	小西一郎；杉本浩康	61〜64
200Mc PM 送受信機の改修	高橋則男；大久保伍郎	65〜72
自動簡易共同における改善すべき諸点	榊原一矢	73〜74
障害申告受付件数の分析ならびに不良回線対策の成果	安藤五郎；飛内正次	75〜80
搬送保守と推計学	田島博明	81〜89
50 ボー回線歪特性についての一考察	平沢誠啓	90〜95
建設工事能率課査	鈴木春治	96〜103
無人局用予備電力発電機	鈴木虎夫	104〜107
自動交換機の保守についての反省と期待	渡辺孝正	108〜108
空気調整装置の現状とその進むべき方向	有田博光	110〜118
質問箱		37〜46,47〜51,89〜89,103〜103,109〜109

Vol.5　No.6

日本電信電話公社施設局編集

電信電話の保全に関する当面の課題	米沢滋	12〜13
建設工事実施の事務処理要領	土居靖夫	14〜27
工事計画設定に伴う計画設計区分の改正	北原安定	28〜35
港湾無線電話施設とその動向	伊藤末吉	36〜39
28 年度建築工事概要について	本社建築部	40〜43
最近のベル電話会社の業績	船津重正	44〜52
東名阪間マイクロウエーヴ施設の概要	井手和彦	116〜122
新型交換用送受器の特性	高柳晃	53〜57
A 形スイッチの技術的改善事項	山内正弥	58〜61
C 形通信管寿命の現状	楠五月	62〜66
海底線断線半地気の暴露面積の推定	村田仁平	67
洞海湾における海底ケーブルの埋没	吉名真	68〜74
1 号皮むきニッパの使用工法	建設部工法課	75〜76
電報中継機械化の概要と運用成績について	斎藤忠四郎；鈴木義彦	77〜85
国際電信諮問委員会 (C.C.I.T.) に表明されている技術的諸問題について	勝見正雄	86〜92
200Mc 送受信機間の干渉－ VF-12 方式の周波数割当資料－ 2 －	林新二	93〜98
局舎の消防法	建築部 保全 調査会	99〜104
A 形自動局用試験台の改造	鈴木信男	105
米国における電子管交換方式	山内正弥	112〜115

Vol.5　No.7
日本電信電話公社施設局編集

昭和 27 年度建設勘定工事の繰越原因の分析と昭和 28 年度建設工事計画の完遂対策について	橋本一郎	12〜14
工事用車輌類の管理と運用	田淵石雄	15〜16
車輌計画の方針	山口久二；谷清	17〜23
工事用車輌維持費の処理	牧武男	24〜27
工事用車輌の管理	建設部工法課	28〜32
車輌工作工場の概要及び車輌取扱上の技術的諸問題	鈴木幸衛	33〜40
物品事務規程について	見上茂雄；新井守正	41〜47
〔電話機械〕市内電話試験統制関係標準実施方法の改訂	保全局市内機械課	48〜56
CR 発振器の障害とその対策	平塚清士	57〜62
S-18 方式を対象とする漏話補償について	山口開生；若山利夫	63〜70
水戸管内電報中継交換方式商用試験・中間報告－ 1 －	勝見正雄；中村敬	71〜83
港湾電話基地局の施設概要	小関清	84〜91
自動局用試験台・試験紐回路の欠陥とその対策における一考察	安達典彦	92〜93
電力機器の温度上昇試験における温度計の使い方	向笠和夫	95〜97
電報簡易中継交換の一方式	勝見正雄	98〜102
地下ケーブルの減衰量に及ぼす温度の影響	石井昭一；平塚憲一	103〜109
保全サービス指数に関する一考察－ 5 －	橋本満男	110〜117
東京電話局置局計画（案）について	橋本真澄；武田暹	118〜132

Vol.5　No.8

日本電信電話公社施設局編集

本年度の建設工事を如何にして消化するか	平山温	12〜37
本年度建設工事実施上のわれらの覚悟	佐々木卓夫	38〜42
本年度施設用物品の調達計画	税所正芳	43〜49
本年度建設工事の推進	建設部建設課	50〜56
建設勘定工事費の使い方	小沢春雄	57〜62
臨時作業員の諸問題	工藤隆三	63〜67
公社の当面する技術的諸問題	廻健三；黒川広二	68〜74
電力課発足に当って	森元和	75〜78
このようにして自動交換機器の品質は改良される	内田徳	79〜84
音声周波市外ダイヤル装置概要	上遠野浩；水沢慶太郎	85〜90
局内成端の混和物充填工法－市内ケーブル	小林好吉	91〜92
水戸局電報中継交換方式商用試験	技師長室調査課電信係	93〜101
搬送電信歪の合成総合歪に関する考察－終－	勝丸国三；林龍彦	102〜107
A 形自動応答装置	高橋久之	108〜110
磁石式二共同加入の信号漏洩防止対策	谷軍三；稲田幸明	111〜113
電報運信機の静電気	吉見惣一；鈴木錠造	114〜119
海外技術紹介 市内テレビジョン中継線	小西一郎	120〜124

Vol.5　No.9
日本電信電話公社施設局編集

資材の現状と将来のあり方	永田良孝	12〜15
物品契約上における諸問題	岩本巖	16〜20
検査業務の近況	東忠夫	21〜24
事務用物品はいかに調達されいかに配給されているか	大守坦	25〜29
資材倉庫の現状について	新井守正	30〜36
工作工場のすがた	資材局工作課	37〜41
新しい電気通信関係法と有線電気通信設備令	友枝参	42〜46
公衆電気通信法上にあらわれた公用使用権の特徴	生出勝次郎	59〜64
公衆電気通信法公布に伴う P・B・X の技術基準	足立尚敦	65〜69
昭和 28 年度技術調査の大要	廻健三；黒川広二	70〜76
音放回線の季節的等化度変動について	宮田輝；平塚憲一	77〜81
水戸局電報中継交換方式商用試験中間報告（その 3）	技師長室調査課	82〜90
搬信 12 形装置の保守	和田英男	91〜94
〔線路〕ペンチおよびニッパを使用される方々へ	山口彊	95〜96
200MC 受信機の混変調	林新二	97〜98
改良形簡易共同加入電話	石田義典	99〜104
共同電話の拡充をもつと図るべきではないか	高山正一郎	105〜109
A 形自動局における共同加入について	滝ヶ崎喜吉	110〜114
〝講評〟	技師長室調査課	115〜115
各種セレクターの全廻転試験およびセレクター, コンネクターのシュペーレン試験の能率向上に対する一考案	井上清	116〜119
海外技術紹介 トランジスタの通信界での応用分野	伊佐進；鈴木錠造	120〜126

Vol.5　No.10
日本電信電話公社施設局編集

搬送の歩いた道・これから歩く道	中尾徹夫	12〜30
搬送中継所に働く人々へ	中尾徹夫	31〜38
搬送施設の現状について	大城正喜；米沢滋	39〜53
搬送通信の現場における諸問題	谷川菊太郎	54〜57
搬送電信の展望	勝見正雄	58〜61
搬送機器の変遷と展望	只野豊次	62〜68
やさしい搬送の理論－ 1·2 －	河野誠一；廻健三	69〜72
金環蝕の思い出	松島正義	73〜73
東京大阪間音声周波多重電信創設当時の追憶	西橋市蔵	74〜76
〔電信〕水戸管内電報中継交換方式商用試験中間報告（その 4）	技師長室調査課	77〜85
改良された J 形印刷受信機の検速装置	斎藤忠四郎	86〜89
200Mc 送信機相互間の干渉－ 4 －	林新二	90〜98
試験台の集中運用は実現できるか	高山正一郎	99〜101
H-12 号一次セレクタ 11 ステップにおける P.J.V. リレー永久保持事故の減少対策について	吉田龍吉	102〜105
H12 号 1 次セレクタの W11 にて P.J.V. 継電器動作しきりの障害と防止策	小野実	106〜107
H 型交換区域における星型中継ケーブルの活用	勝丸国三	108〜116
二区間中継の搬送電信回線の安定化について	奈良克秋	117〜122
英国の加入者宅内における乾電池の採用	吉名真	123〜124

Vol.5　No.11

日本電信電話公社施設局編集

機構改正一年を回顧して	12〜41	
複雑な大東京に対処してゆくため	辻正	12〜17
仏作つて魂入れず	井上力夫	18〜20
成長する通信部	吉岡正雄	20〜22
京橋のひと隅から	中村海三	22〜28
歩きつゞけて一年目	安達敏夫	28〜31
よりよくする苦言	辻太郎	31〜33
リトル・ユトーピア	山田捨録	33〜37
工務人より事業人へ	今野融	37〜39
債券の地元引受第一号	山本善一	40〜41
建設工事計画の推進状況とその対策	施設局施設課	42〜44
建設工事の推捗状況とその見透し	建設部建設課	45〜51
施設用物品の調達状況とその見透し	資材局工材調理課	52〜57
局舎建築の進捗状況	建築部設計課	58〜60
保全の現状と当面する諸問題	岩田敏男	61〜65
撤去資材の活用により生まれた移動型簡易搬送装置	太田乾次郎	68〜78
搬送増幅器の雑音規格について	工藤理一郎	74〜78
市内線路平常障害の基準障害率	佐治信男	79〜84
カム・シャフト (SJ-2) の偏心による誤選択とその対策	中村敬	85〜90
VF-12 方式の周波数割当資料－ 5 －	林新二	91〜95
改正された超短波回線保守方法	大久保伍郎	96〜104
ベクトル軌跡による平衡結線網の設計	平野泰彦	105〜106
112 号市外出中継線装置の改善方法	幅敏治	107〜108
クロスバースイッチの機械的構造	池谷寛	109〜112
水害をいかに克服したか	熊本通信部	113〜115
水害でわれらは何を学んだか	福岡搬送通信部	116〜121
水害と無線	福岡無線通信部	122〜126

Vol.5　No.12
日本電信電話公社施設局編集

建築の現状と将来のあり方	中田亮吉	12〜15
マルチ電話局の設計と職員宿舎の設計 ── 今後の設計のあり方	建築部設計課	16〜28
建築工事現場というもの	渡辺日露司	29〜31
局舎保全の方策	所寅雄	32〜36
施設局舎の現状と改善	建築部保全課	37〜42
温湿度調整装置の設計規準案と 28 年度計画	鳥居昂	43〜45
不動産の買収についての諸問題	建築部管財課	46〜49
局舎計画上の諸問題	山口久二	50〜61
電力と局舎	森元和	62〜64
親和, 明朗, サービス	薄羽喜一郎	65〜66
建築部門への要望	今井一郎	67〜70
建築についての要望	山下太一	71〜75
駐留軍通信設備の保守受託について（保全サービス基本契約を終つて）	船津重正	76〜78
施設部門職員の訓練について私はこう思う	小川豊一	79〜87
〔電話機械〕新型公衆電話機	技師長室調査課手動係	88〜89
埋戻工法の地盤支持力に及ぼす影響	岩永三樹男	90〜96
真空管特性に起因する饋還増幅器の異状現象	平塚清士	97〜105
200Mc 超短波用真空管の保守	佐川正；大久保伍郎	106〜113
信 1 号有極継電器の保守に対する二, 三の考察	植田肇；大島進	114〜118
市外回線管理方式に関する一提案	高橋敏朗	119〜126

Vol.6　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	中尾徹夫	12〜13
昭和 28 年度建設勘定工事の完遂について（副総裁通達）		35〜39
建設勘定工事費と事務費の規定はどうなつているか	小沢春雄	40〜44
能率向上対策と貯蔵品回転率	山川和雄	46〜53
建設工事請負業者の工事能力の分析	池永英夫；大矢晴一；大槻繁右衞門	54〜58
現場から生まれる発明考案	大川五雄	59〜60
クロスバー自動交換方式	折笠寛	14〜19
マイクロウェーブ通信方式	林新二	20〜23
加入者電信方式	勝見正雄	24〜29
小自動, 小電信, 小中継所およびマイクロ施設の無人化に伴う電力設備	森元和	30〜34
A 形増圧式局における度数計の過動障害と試験機の改良	広田憲一郎	61〜68
増圧式度数計の異常登算とこれが対策としてのセレクタの改造	門野時夫	68〜69
A 形増圧式局度数計の試験時における過登算について	鈴木信男	70〜72
端子函, 補助端子函および切替盤の取付工法	小林好吉；千村茂允	73〜78
電信伝送上より見た回線の時々断	高橋久太郎；勝見正雄	79〜89
搬信用継電器の火花防止回路の改良	平沢誠啓；堀切延枝	90〜24
VF-12 方式の周波数割当	林新二	95〜98
L3 同軸方式	伊佐進	99〜105
フイルコ社製マイクロウェーブ通信装置の概況	松本高士	106〜111
中共を旅して	松前重義	112〜116
国土開発と通信施設	三宅福馬	117〜119
電柱敷地の使用及び補償に関する質疑とその回答（その 1）	施設局管理課	120〜126
質問箱		23〜23,29〜29,45〜45,78〜78

昭和 28 年度建設勘定工業費消化状況及び同比較表（12 月末現在）	施設局管理課	40〜41
市外線路ガスケーブルの設計について	海老原慎治	42〜45
色彩による工場管理	森田松五郎	46〜48
色彩と能率	金森潔	49〜52
現場の改善策一試験屋さんから線路屋さんへ	篠原英夫	53〜54
改正された P.B.X の技術基準	施設局市内課；増設宅内係	12〜18
新しい抜取検査基準	佐々木正俊；木前義次	19〜27
電波法に関する省令の改正	伊藤末吉；田中実	28〜32
建設工事の下請負について	永森四郎	33〜39
6 号形自動交換機の設計及びその工法－ 1 －	鳥巣享吉；木下正文	56〜64
S-18 方式用中継器の発振	青江茂	65〜72
印刷電信機の定期取替はいかにあるべきか	井田智雄；中村敬	73〜77
〔電信〕電信用電話回線として使用する簡易搬送装置調査報告	技師長室調査課	78〜84
4000Mc PPM 方式回線の現況	高橋則男；大久保伍郎	86〜93
加入者密度に対する適正局容量の決定	小松康展	94〜103
長期保管のための交換機の梱包	川田大介	104〜105
随筆 琉球の思い出	三村一人	115〜118
訓練修了者のゆくえ	小川豊一	106〜114
電柱敷地の使用及び補償に関する質疑とその回答（その 2）	施設局管理課	119〜125
質問箱		55〜55,85〜85,103〜103,105〜105
表紙解説		77〜77
編集後記		126〜126

Vol.6　No.3
日本電信電話公社施設局編集

昭和 28 年度建設勘定工事費消化状況及び同比較表	施設局管理課	42〜43
欧米見聞記 ── 技術の動向	梶井剛	12〜18
29 年度建設勘定工事実施計画の概要	佐々木卓夫	19〜33
昭和 29 年度建設勘定予算の概要	渡辺達之；小沢春雄	34〜41
建築基準法および同施行令 ── 局舎を計画する人々のために	山口久二	44〜51
専用設備端末機器等に関する技術基準並びに認定	大谷薫	52〜59
局内保全の良否の判定（その 1）アメリカ便り	今川貞郎	60〜64
カッパーウェルド線の物語	片方善治	65〜68
市内線路のプラント・レコードを改良する	山田捨録	69〜75
6 号形自動交換機の設計及びその工法－ 2 －	鳥巣享吉；木下正文	76〜85
密閉型蓄電池の現状	吉名貢	86〜93
改造された搬送電流共同供給装置の大要	吉村章雄；太田乾次郎	94〜98
新しい電信用測定器	黒岩庄吉；勝見正雄	99〜110
標準周波数の有線伝送方式	松田正一	111〜113
シーメンス社製伝票気送管装置の概要	阿部正雄	114〜118
スエーデンにおける無紐式市外交換機	杉村興作	119〜120

昭和 28 年度建設勘定工事費支出状況及び同比較表（昭和 29 年 2 月末現在）	施設局管理課	24〜25
同軸ケーブルによる多通話路搬送電話方式－ 1 －	北原安定	12〜23
解説 建設工事における債務負担行為	小沢春雄；稲垣範三	40〜42
建設工事実施の事務処理要領の問題点	中村信太郎	44〜52
S·O 工事用物品の要求と払出	安藤安男	56〜62
局内保全の良否の判定（その 2）アメリカ便り	今川貞郎	26〜38
6 号形自動交換機の設計及びその工法－ 3 －	鳥巣享吉；木下正文	64〜72
2 号形ランプの特性	高柳晃	73〜78
短距離搬送電話方式	只野豊治	79〜85
搬送印刷電信回線の品質管理	平沢誠啓	86〜96
新型超短波用電力増幅管 (2B94) の特性	佐川正	97〜100
報償制や能対費の合理的な配算	田村裕	101〜111
搬送電信のアースについて	檜山啓吾	112〜115
英国における技術の動向	廻健三	116〜123
競争入札に関し参加者の制限をめぐる問題	小島泉	124〜125
東. 名. 阪マイクロウェーブ遂に完成		53〜53
質問箱		39〜39,43〜43,54〜53,63〜63,111〜111
表紙解説		123〜123
編集後記	S	126〜126

Vol.6　No.5

日本電信電話公社施設局編集

同軸ケーブルによる多通話路搬送電話方式－ 2 －	北原安定	12〜24
昭和 28 年度建設勘定工事費支出状況表	施設局管理課	100〜101
6 号形自動交換機の設計及びその工法－ 4 －	鳥巣享吉；木下正文	25〜33
やさしい自動交換機回路図の見方	洞沢達美	34〜44
B.C.O. 障害の測定方法	但馬昭	45〜53
現用中継回線の鳴音安定度	笠原良守	54〜60
模写電送方式－ 1 －	勝見正雄	61〜66
新しいファクシミリ電送	桜井義郎	67〜71
200Mc 空中線自動選択切替器	稲波次夫；石田守	72〜75
1 号 A セレクタの復旧運動中におけるコール飛込みによる障害およびその対策	山下昭蔵	76〜81
A 形市内接続用セレクタ自動試験装置	原和夫	82〜87
現在問題となつている新しい技術	廻健三	88〜92
1953 年のベルシステム事業報告	船津重正	93〜99
建設勘定特別調査費経理事務処理要領の制定	小沢春雄	102〜106
東・名・阪山頂に輝くマイクロウェーブ		108〜109
〈随筆〉仕事と情熱	立川玄一郎	110〜114
なぜ伝送修理はうまくいかないか	村田欣三	115〜128
表紙解説		99〜99
編集後記	S	128〜128

Vol.6　No.6
日本電信電話公社施設局編集

同軸ケーブルによる多通話路搬送電話方式－ 3 －	北原安定	12〜26
昭和 29 年度建設勘定工事費支出状況表及び同 27.28 年度建設勘定工事費支出状況比較表（昭和 29 年 4 月末現在）	施設局管理課	34〜35
これからの市内回線網	水沢慶太郎	27〜35
多重搬送電話方式の基礎－ 1 －	只野豊治	36〜42
新しい鉛工のやり方	山口彊	43〜48
〔無線〕大阪‐福岡間マイクロウエーブ回線施設の概要	技師長室調査課	49〜58
完成されたマイクロウェーブ回線状況	井手和彦	59〜66
諸外国の電話機	高柳晃；杉村興作	67〜79
SATT 式自動記録およびその計算	鳥巣享吉	80〜88
昭和 29 年度の保全サービス基準はこうしてきめられた（その 1）	保全局市内機械課	89〜101
工事用車輛維持費計理事務処理要領の制定	小沢春雄；牧武男	109〜111
29 年度施設部門訓練計画	森山彰一	102〜108
電源全浮動方式の現在と将来	橋本徳三郎	118〜126
ジュート巻鋼管の再登場	小出梅雄；堤満穂	112〜117

Vol.6　No.7

日本電信電話公社施設局編集

火災は未然に防げる	平山温；所寅雄；山川和雄；高瀬英夫；薩川一義；大城正喜	12〜21
同軸ケーブルによる多通話路搬送電話方式－４－	北原安定	22〜37
わが国最初のクロスバー改式工事	鳥巣享吉；木下正文	38〜47
新しい中継交換方式により続々改式される電報局	原哲夫；三原祐登	48〜54
多重搬送電話方式の基礎－２－	只野豊治	55〜63
テレビジョンの有線伝送	伊佐進	64〜69
模写電送方式－２－	勝見正雄	70〜77
第２回電気通信技術競技会を顧みて	吉田浩哉；渡辺孝正；鳥海登；庄司養二	88〜91
昭和 29 年度の保全サービスはこうしてきめられた（その 2）	保全局線路課；保全局伝送無線課	92〜101
新しい工事計画区分と勘定科目との関係について	小沢春雄	102〜108
現場改善策・要求した資材がその日のうちに届く御用聞配給の実施 ── 横浜中央電話局における実例	山田捨録；相川玄太郎；徳永正義	109〜113
機械化された障害修理	田村克己	114〜117
アメリカの電話はこのように発達してきた－１－	廻健三	118〜125
これからの施設記録をどのように行うか	渡辺四郎	126〜128
新しいアルミ・ケーブル	古都勝寿	78〜81
無人化に伴う警報－制御系統のあらまし	松本高七	82〜87

Vol.6　No.8
日本電信電話公社施設局編集

市外交換の一大飛躍を図る V.F.D. 方式の実施	木下正文	12〜20
全道に拡がるラヂオ共同聴取の施設	村田光弘	21〜28
新しい形式のポリエチレン絶縁ケーブル	乙部和夫；植村春三	29〜35,86
昭和 29 年度建設勘定工事費支出状況表及び同 28,29 年度支出額比較表（昭和 29 年 6 月末現在）	施設局管理課	36〜37
電話局全浮動電源設備	吉名真	38〜45
搬送機器の小型化	伊佐進	46〜55
多重搬送電話方式の基礎（その 3）── 搬送増幅器の巻	青江茂	56〜61
陽の目を見た瀬戸内海の調査用海底ケーブル	江副卓爾；鈴木欽也	62〜71
加入者電話方式の考え方	勝見正雄；中村敬	72〜79
東仙間マイクロウェーブ施設概要－ 1 －	井手和彦	80〜86
6 号形自動交換機の設計およびその工法－ 5 －	鳥巣享吉；木下正文	87〜97
アメリカの電話はこのように発達してきた－ 2 －	廻健三	98〜102
建設勘定実行予算計理事務処理要領の改正点	小沢春雄	103〜106
荻窪工作工場経営白書－ 1 －	谷本秀三	107〜118
現場作業員の実働時間について	工藤隆三；津川四郎	119〜124

Vol.6　No.9

日本電信電話公社施設局編集

臨時極超短波部の発足に当つて	中尾徹夫	10〜10
臨時極超短波部のあらまし	臨時極超短波部	11〜13
局線と結合するインターホンの技術基準	木下正文	14〜22
3 号電話機の改良	久我泰三郎；高柳晃	23〜30
6 号形自動交換機の設計及びその工法－ 6 －	鳥巣亨吉；木下正文	31〜37
今後の局間中継線の技術的諸問題	村井勇夫	38〜43
多重搬送電話方式の基礎－ 4 －	石原治	44〜50
補助吊線の新しい設計	植村春三	51〜54
東一仙間マイクロウェーブ施設の概要－ 2 －	井手和彦	55〜59
これから使われるねぢ切り碍子	石川正；矢部久	60〜64
駐留軍との保全サービス契約	船津重正	105〜111
受電設備と電力料金	小山純一	65〜71
ドイツの加入者電信・T.W39(Telex) 方式	勝見正雄	72〜75
世界における自動交換技術の動向	池谷寛	76〜86
頽齢の西陣分局の施設	松下二龜太	87〜90
荻窪工作工場経営白書－ 2 －	谷本秀二	91〜104
推計学より見たデータのとりかたと見かた	唐津一	112〜116
推計学の使い方	大前義次	116〜124

Vol.6　No.10

日本電信電話公社施設局編集

座談会 新技術の動向と今後の課題	八木秀次；松前重義；梶井剛；中尾徹夫	12〜28
これからの保全のあり方	米沢滋	29〜34
これからの技術はどう変るか	廻健三	35〜43
S-18 方式を保守して	甲田林平	44〜48
東京・名古屋・大阪を結ぶ長距離 CLR を保守して	今井勤	49〜54
電報中継交換方式を保守して	永池澄	55〜62
電話にテレビに活躍するマイクロを保守して	古市米雄	62〜68
密閉型蓄電池の保守	佐野健	66〜72
6 号形自動交換機の設計及びその工法－ 7 －	鳥巣亨吉；木下正文	73〜79
多重搬送電話方式の基礎－ 5 －	伊佐進	80〜88
保全・運用一体の電報中継交換加入局の保守	鈴木義彦；齋藤忠四郎	89〜92
東仙間中間中継所無人化電源装置の設計	酒井和男；有田博光	93〜100
非常災害時に活躍する短波移動無線	四竈孝；小関清	101〜105
私の考察 デフレ下における電力需給契約の改正	橘田久武	106〜108
ITT の近況	川田大介	109〜112
最近における海外電気通信の状況	鈴木春治	113〜116
同軸ケーブルの接続	河添千里；江頭淳	117〜124

Vol.6　No.11

日本電信電話公社施設局編集

若き技術者のために	平山温	12〜13
ベルシステムにおける保全サービスとその管理	今川貞郎	14〜29
ケロッグクロスバー方式の変遷－１－	川田大介	30〜35
ディレクタのはなし	鳥巣京吉	36〜42
同軸ケーブルによる多通話路搬送電話方式－５－	北原安定	43〜51
市外架空ケーベル線路設計の根拠	妻藤達夫；塚田雷介	52〜62
木柱に替る通信用コンクリートポール－１－	高橋忠一郎；藤栄造	63〜71
VHF 簡易無線電話のあらまし	渋谷茂一	72〜78
テレビ中継回線の総合特性とその現状	小西一郎	79〜82
やさしい空気調整法の理論	武田正弘	83〜87
無電池式通信用電源	吉名真	88〜101
オランダの短距離搬送電話方式	石原治	102〜108
混線障害を容易に発見できる H 型中継線試験器	山本勲；竹中正規	109〜112
バッテンスキー改造による A.C. ダイヤル用インカミング・セレクタ試験	清水正能	113〜114
旧型搬送電信端局相互間 DOT 幅試験の簡略化	松沢弥八郎	115〜118
輝く電気通信記念日		119〜120
本年度の発明考案のあらまし	河井常次	121〜126

Vol.6　No.12

日本電信電話公社施設局編集

無線通信施設計画の諸問題	牧野康夫	12〜16
ベルシステムにおける新しい保全体制	今川貞郎	17〜24
ケロッグクロスバーの変遷（Ⅱ）	川田大介	25〜29
高崎局クロスバー改成工事は進む	今川貞郎	30〜40
保守を楽にする 1 号 B ラインファインダの改良	村瀬邦夫	41〜456
各種伝送方式の経済的検討	北原安定	46〜50
水晶濾波器とその障害の一例	鮎沢達男；室橋仁	51〜57
搬信 1 号増幅検波器の改善	技師長室調査課	58〜61
搬送電信の瞬間的レベル変動とその対策	村山好久；中沢勝巳	62〜64
東－仙間マイクロウェーブ施設の概要－ 3 －	井手和彦	65〜70
磁気増幅器を用いた浮動用整流器	後藤志郎	71〜79
昭和 29 年度建設勘定工事費支出状況表（昭和 29 年 9 月末現在）昭和 27, 28, 29 年度建設勘定工事費支出状況比較表昭和 27, 28, 29 年度建設勘定工事命令（認証）発令状況比較表	施設局管理課	80〜83
昭和 30 年度共通工事費の取扱	小沢春雄	84〜88
東北通信局管内の保全チェックから	肥後大介	89〜97
局舎設計上の諸問題	山口久二	98〜107
AQL とは	吉田周正；佐々木正俊	108〜112
独乙における回線鳴音安定度の計算法	宇草裕一；増田敏一	113〜115
配線盤ジャンパー線の所要長算出に関する 2 考案	技師長室調査課	116〜119
搬送中継器の出力雑音測定	岡崎昭二郎	120〜122
保全工事をこのように管理したい	小原猛	123〜126

Vol.7　No.1

日本電信電話公社施設局編集

新春にあたって	中尾徹夫	12〜13
合理化事業前進のために	近藤潔	14〜18
＜新年を迎えて＞よりよいサービスを行うために ── 現場からの抱負		19〜19
過ぎし年とこれからの年	鈴木一恵	19〜29
本年の課題の一端	阿部満	22〜25
私の三つのモットー	河手忠彦	26〜28
努力の結晶と新年の抱負	大林直樹	29〜32
望みと誓い	庄司茂樹	33〜36
自動改式へ	西常八	37〜39
こうして頂きたい	吉川武男	40〜42
デフレ下における加入者話中の減少について	登不二三	43〜45
明日への希望	福富礼次郎	46〜47
よりよい保守へ	前田光治	48〜50
＜私の抱負＞新年を期して		51〜51
雪国へ延びるマイクロ	長南英夫	51〜55
手あきのない工事を	鈴木一松	55〜59
保全の立場から	岩田敏男	60〜61
実行したい色々のこと	税所正芳	62〜66
建築家が考えること	所寅雄	67〜74
日本自立への努力	黒川広二	
見聞感ノート ── 主としてケロッグクロスバー交換機の保守について	内田徳	82〜89
電信事業経営の概観	橋本一郎	75〜89
海底線事業のあり方	落合岩男	92〜96
海底ケーブルの埋設状況	土谷宇三四	97〜108
昭和 27,28,29 年度建設勘定工事費支出状況比較表（昭和 29 年 11 月末現在）	施設局管理課	90〜91
昭和 30 年度建設勘定予算の編成	小沢春雄	109〜113
近く店頭にあらわれる 4 号 A 卓上公衆電話機	高柳晃；三浦保	114〜115
仕様書便覧〔無線部門〕Ⅰ極超短波関係	技師長室仕様課	116〜122
村落向け配線用電話線	橋本真澄	123〜126

Vol.7　No.2
日本電信電話公社施設局編集

品改の第一歩も現場からくる（その 1）	木下正文	12〜25
新しい自動即時方式－いわゆる ZZZ の出現－	山内正弥	26〜31
見聞感ノート－主としてケロッグクロスバー交換機の保守について－（その 2）	内田徳	32〜35
全国加入者ダイヤル法におけるセンダの機能	鳥巣享吉	36〜40
自動交換室における塵埃の調査研究－ 1 －	鈴木信男	41〜48
正しい密閉式蓄電池の扱い方	吉名真	49〜56
現場試験からみた短距離搬送方式	緒方研二	57〜68
関門国道隧道内の管路新設	小出梅雄	69〜74
専用電信より加入者電信への発展についての諸問題	三原祐登	75〜83
東仙間マイクロウエーブ施設概要－ 4 －	井所和彦	84〜88
負インピーダンスレピータ (E1, E2, E3)	只野豊治	89〜95
私の考察適確な常備定数の把あく	池永英夫	96〜99
昭和 27,28,29 年度建設勘定工事費支出状況比較表（昭和 29 年 12 月末現在）	施設局管理課	100〜101
電気料金の値上げと電気需給規則の改正	小山純一	102〜105
電気通信設備請負工事の監督に関する事務処理要領の制定（その 1）	永森四郎	107〜111
これからの施設記録はどうすればよいか ── 通信部長・取扱局長の声を聴く	渡辺四郎	112〜116
最近における通信局技術調査のうごき	古都勝寿	117〜121
〔無線部門〕Ｉ極超短波関係（その 2）	技師長室仕様課	122〜126
松江電報局よりの便り		106〜106

Vol.7　No.3
日本電信電話公社施設局編集

改善の途上にある近距離市外電話回線	大城正喜	12〜18
二共同加入の個別登算方式	杉村興作	19〜24
話題を呼んだ天気予報サービス	施設編集部	25〜25
名古屋における気象サービスの施設	庄司茂樹	25〜31
広島電話南局の開局から今日まで	寺西康治	32〜41
電話回線における伝送品質の表わし方	勝丸国三	42〜51
近く実施される短距離搬送用ケーブルのはなし	矢部久	52〜61
鉄道交流電化に伴う誘導問題	横山一夫	62〜67
奄美大島の通信施設	佐治信男	68〜75
阪－広－福マイクロ回線の建設工事のうごき	大槻由之助	76〜84
負インピーダンスレピーター－２－	只野豊治	85〜90
英国における国際加入電信の発展	三原祐登	91〜95
昭和 27, 28, 29 年度建設勘定工事費支出状況比較表（昭和 30 年 1 月末現在）	施設局管理課	96〜97
共同排流における通信ケーブルの保護問題	上池荘介	98〜102
新しい住宅電話	粟飯原清	103〜108
昭和 30 年度建設勘定特別調査費実行計画の概要	小沢春雄	109〜113
電気通信設備請負工事の監督に関する事務処理要領の制定（その 2）	永森四郎	114〜117
〔無線部門〕Ｉ極超短波関係（その 3）	技師長室仕様課	118〜121
新技術実用化の現況	古都勝寿	122〜126

Vol.7　No.4
日本電信電話公社施設局編集

私の見た欧米通信界（座談会）	佐々木卓夫	12〜32
自動交換機の保全品質管理	飯田穣治	33〜39
市外ダイヤルの拡大に伴う呼出音と話中音のゆくえ	高橋澄夫	40〜44
村落向け配線用電話線の問題点	橋本真澄	45〜51
ビデオペアケーブルによるテレビ中継方式	緒方研二	52〜57
総括局における電信中継交換の設計	三原裕登	58〜64
有線・無線伝送路の発達	宮下盛利	65〜70
極超短波技術とその回線網	小野浄治	71〜79
VHF 簡易無線電話のあらまし－ 2 －	渋谷茂一	80〜88
H 形自動局における中継線の試験方法	雑賀一	89〜92
A1 号インパルス試験機の改良	土橋武雄	93〜93
昭和 27,28,29 年度建設勘定工事費支出状況比較表	施設局管理課	94〜95
減価償却費の現状	小沢春雄	96〜100
改訂された局舎基準のあらまし	山口久二	101〜109
職場機械の紹介	桑野和夫	110〜112
極超短波関係（その 4）（Ｉ）仕様書便覧〔無線部門〕	技師長室仕様課	113〜116
表紙解説		93〜93

Vol.7　No.5

日本電信電話公社施設局編集

東京電気通信局の発足に際して	長谷川章	12〜18
新しいケーブルの話	朴木実	19〜30
スエーデンにおける X バー方式の発展	高井春雄	31〜39
木柱に替る通信用コンクリートポール－ 2 －	藤栄造	40〜48
搬送電話の部品不良－ 1 －	佐藤完二	49〜53
欧米における迂回中継の考え方	北原安定	54〜57
試作加入電信装置における諸問題	中村敬	58〜63
移動無線についての問題点	牧野康夫	64〜67
電気通信の国際性について	廻健三	68〜74
静岡・岐阜局全浮動装置のあらまし	橋本徳三郎	75〜81
6 号 B 着無料レピーターの改造	坂柳隆司	82〜84
昭和 29 年度建設勘定工事の計理状況	渡辺達之；小沢春雄	85〜90
昭和 30 年度の保全サービス基準の設定 ── 市内電話部門・線路部門（その 1）	保全局	91〜101
九州の離島通信のすがた	浦川親直	102〜107
列車誘導無線	殿井峯二	108〜112
別途預り事業品制度実施 1 ヶ年間の成果と今後の運用	中島源吾	113〜119
電力料金の節減	日比吉兼	120〜122
仕様書便覧 Ⅰ極超短波関係（その 4）	技師長室仕様課	123〜126

Vol.7　No.6
日本電信電話公社施設局編集

品改の第一歩も現場からくる	木下正文	12〜22
百万人のクロスバー－ 1 －	高井春雄	23〜31
新しい電話局電源・全浮動方式のほなし	森元和	32〜37
搬送電話の部品不良－ 2 －	佐藤完二	38〜44
新しい角度からみた市内配線法	朴木実	45〜50
東京・仙台間マイクロ回線に使用する新型中継装置	林新二	51〜60
イギリスにおける主要市外回線の経済比較	北原安定	61〜68
昭和 30 年度建設工事の実施計画	角田和男	69〜84
昭和 30 年度建設勘定予算の運用	小沢春雄	85〜92
昭和 30 年度保全サービス基準（その 2）	保全局	93〜104
開通工事の管理	鈴木一松；池永英夫	105〜110
仕様書便覧（その 6）〔無線部門〕Ⅰ極超短波関係	技師長室仕様課	111〜113
電話サービスからみた東京周辺地区の諸問題	伊藤一	114〜119
電話による診察 ── 北海道	荒木義之	120〜126

Vol.7　No.7

日本電信電話公社施設局編集

新しい技術と将来の保全（座談会）	北原安定	14〜34
百万人のクロスバー－ 2 －	高井春雄	35〜43
木柱に替る通信用コンクリートポール－ 3 －	藤栄造	44〜51
専用電信, 加入電信の伝送上の諸問題	佐藤喜一	52〜56
各種無線の伝送方式	牧野康夫	57〜60
最近の特別高庄受電設備	小山純一	61〜64
アメリカにおける村落電話網設計の要素	中谷邦夫	65〜73
第 3 回電気通信技術競技会を顧みて	米沢滋	74〜75
第 3 回競技会より ── 競技会の感想を語る	松前重義；黒田雄三郎；木村栄；神尾健夫；高洲湘二郎	76〜82
昭和 29 年度建設工事の実施結果から	建設部建設課	83〜91
昭和 30 年度建設勘定予算実行計画の実施についての問題点	土井大三	92〜95
棚卸の理論と循環棚卸	新井守正	96〜103
合成繊維の発達と公社の被服	大守坦	104〜108
原爆の灰燼の中から立上つた広島	世良健	109〜115
遂に宅内障害は克服された（信越通信局保全ルポルタージュ）	信越通信局保全部	116〜121
電話 200 万を突破す	小林金衛	122〜124
仕様書便覧〔無線部門〕Ⅰ極超短波関係（その 7）	技師長室仕様課	125〜128

Vol.7　No.8
日本電信電話公社施設局編集

戦後 10 年の回顧と 10 年後の夢	中尾徹夫；北原安定；橋本一郎；木下正文；渡辺達之；大城正喜；辻正；近藤潔；山田捨録	12〜31
実を結ぶ 10 年の歩み	橋本一郎；大谷昌次；税所正芳；所寅雄	32〜62
苦楽を共に 10 年間	山田捨録；神保三郎；瀬戸憲雄；谷川菊太郎；河手忠彦；徳永次男；佐藤千代喜；野村隼一	63〜98
新しいガス圧試験方法	北原安定	99〜105
S-18 方式の現状	大城正喜	106〜112
百万人のクロスバー－ 3 －	高井春雄	113〜118
小局経営合理化に関する一考察	角田和男；水沢慶太郎；小松康展；渡辺卓哉	119〜129

Vol.7　No.9
日本電信電話公社施設局編集

佐々木次長を囲んで“東南アジア諸国の電気通信事情を聞く”		10～19
技術研究合理化のための新機構について	石川武二	20～23
新機構における原価調査課の意義	永田良孝	24～26
新機構と施設局	橋本一郎	27～30
新機構における計画局の事務運行について	水尾安彦	31～37
構宅内電話の新サービス	足立尚敦	38～48
福岡中局における無調整塔載について	水井三嗣	49～56
小形実装搬送装置における問題点－１－	加藤弘	57～62
木柱に替る通信用コンクリートポール－４－	藤栄造	63～67
地下管路の現況と対策	堤満穂	68～76
直流印刷電信回線における通信線間の誘導妨害	平沢誠啓	77～84
マイクロウェーブ回線設計上の手引－１－	松本高士	85～92
交直流無停電々源方式の設計	有田博光	93～98
欧州諸国における電信方式の変貌	三原裕登	99～105
電話局舎設計の動向	佐藤亮	106～110
債務負担行為についての一考察	渡辺謙二	111～114
通信局だより 東北のあれこれ	小関盛寿	115～120
仕様書便覧〔無線部門〕1 極超短波関係（その 8）	技師長室仕様課	121～124

Vol.7　No.10

日本電信電話公社施設局編集

今後の同軸ケーブル方式の実施計画	佐々木卓夫	12〜28
広島－己斐間同軸ケーブル工事を体験して	山本孝	29〜37
同軸ケーブル方式の現場試験	緒方研二	38〜51
同軸ケーブルの製造	東野俊一	52〜56
欧米諸国の電信技術－１－	大谷薫	57〜66
高崎局の出来るまで	川田大介	67〜69
新しいダイヤルインパルス修正回路	上遠野浩	70〜77
続・百万人のクロスバー	高井春雄	78〜84
上信越ルート市外電話回線を保守して	森本鋳	85〜89
小形実装搬送装置における問題点－２－	加藤弘	90〜93
大都市市内線路の損失配分の考え方	勝丸国三	94〜103
マイクロウェーブ回線の無人化に関する諸問題	川原田安夫	104〜105
振幅変調方式か周波数変調方式か	北原安定	106〜111
セレン整流器の話	吉名真	112〜118
三公社の建設勘定	小沢春雄	120〜124
アメリカ軍に対する保全サービス－こんど保全基本契約はいかに改訂されたか	石山信敏	125〜131
仕様書便覧（無線部門）1 極超短波関係（その 9）	技師長室仕様課	132〜134

Vol.7　No.11

日本電信電話公社施設局編集

通信の品質とサービスの向上のために	中尾徹夫	12〜27
欧米諸国の電信技術－ 2 －	大谷薫	28〜39
百万人のクロスバー－ 2 －	高井春雄	40〜49
簡易裸搬送装置 OP 型の現場試験	西松栄一	50〜61
新しい小型線輪	齊伯哲	62〜67
搬送ケーブル張替工事と瞬断 ── 瞬断による搬信回路の障害状況（その 1）	平沢誠啓	68〜75
搬送ケーブル張替工事と瞬断 ── 瞬断原因の一考察（その 2）	朴木実；大友実	76〜79
マイクロウェーブ回線設計上の手引－ 2 －	松本高士	80〜87
電話局電源装置の問題点ところどころ	吉名真	88〜96
電信用差動二重回線の妨害電流減少対策	大橋一郎	97〜101
通信局だより 四国における二, 三の問題点について	日野憲一	102〜105
最近における資材管理について ── 近代的資材管理の道しるべ	南川利雄	106〜111
解説 IBM とは？	大石錦吾	112〜116
輝く第 6 回電気通信記念日		117〜119
本年度の発明考案 ── 輝く総裁表彰のあらまし	田中浩太郎	120〜127
設計面から見た職員宿舎の利用状況 ── 戸崎町・方南町アパートから	高柳仁；喜多幸次郎	128〜132

Vol.7　No.12

日本電信電話公社施設局編集

座談会 宅内サービスの将来を語る	佐々木卓夫；木下正文；黒川広二；田中一郎；川田大介；今川貞郎；足立尚敦；山田捨録	12〜28
電話機品質改良委員会の歩み－ 1 －	木下正文	29〜34
電話機品改調査からみた宅内保全の改善対策	今川貞郎	35〜40
屋外引込線とその工法	長田亀行	41〜49
いかにして電話機障害を 0.1 まで減少させたか	倉地政深	50〜55
沖縄より帰りて	北原安定	56〜58
欧米諸国の電信技術－ 3 －	大谷薫	59〜68
新形搬送用測定器	平塚憲一	69〜71
プラスチック線の取扱体験記	銅玄弘康	72〜73
エンヂンの自動制御装置の概要	橋本徳三郎	74〜76
温調に使われる自動膨脹弁の働き	稲生宏	77〜83
通信局だより 新時代を迎え発展する北陸の電気通信事情	北陸電気通信局施設部	84〜88
資材統計の IBM 化	高谷善美	89〜99
改訂された線路設備費	浜田治夫	101〜106
建設勘定工事と損益勘定工事の区分（建設勘定計理問答）	土井大三	107〜111
傭船契約について ── 貨物船復旧費をめぐつて	川中徳重	112〜114
国際電気通信連合 (I.T.U)	鈴木春治	115〜122
質問箱		40〜40,100〜100
表紙解説		68〜68

Vol.8　No.1

日本電信電話公社施設局編集

巻頭言・年頭所感『松の姿』	中尾徹夫	12〜13
公社 3 ヵ年の回顧 ── 施設局の立場から	佐々木卓夫	14〜23
電話機品質改良委員会の歩み－ 2 －	木下正文	45〜54
新技術ものがたり 同軸ケーブル方式 ── 特徴と歴史酌発展（その 1）	北原安定	55〜58
座談会 新技術を受入れた現場の体験	北原安定；須藤秀彦；野口謙也；佐藤祐一郎；石井伝；柏倉克己；松岡伝；古市米雄；山本欣一；藤井竜之；河田俊重；五十畑進	24〜44
近代化された WU 電信会社（米国）の局内施設	大谷薫	59〜65
伝送上よりみた#4 クロスバー交換機－ 1 －	土居靖夫	66〜71
フレオンガスによる市内架空ケーブルの精密点検方法	檜山茂樹	72〜79
マイクロウエーブ回線設計上の手引－ 3 －	松本高士	80〜85
化学浄水器の話	橋本徳三郎	86〜89
仏国における同軸方式 “S900-101” の搬送電流供給装置	伊佐進	90〜95
昭和 31 年度建設勘定予算要求の概要	施設局管理課予算係	121〜124
3 号共電式電話機の側音特性と鳴音対策	西沢秀雄	96〜100
吊線接続金物の引張り支持力について	原田安雄	101〜104
東南アジア開発に伴う技術援助	菅原正夫	105〜111
新潟大火を顧みて	鬼島英雄	112〜114
最近における資材管理について ── 近代的資材管理への道しるべ（その 2）	南川利雄	115〜120
計画的採煖方法	岩崎信義	126〜130
表紙 雲海に聳える双子無線中継所 解説		125〜125

Vol.8　No.2
日本電信電話公社施設局編集

昭和 31 年度建設勘定工事 ── 実施計画の特徴	税所正芳	12〜18
工法監査の結果から（その 1）	建設部工法課	19〜32
終局 3 千端子以下の自動改式局々舎設計の構想	山口久二	33〜43
同軸ケーブル方式（その 2）－ C.C.I.F の規格－	北原安定	44〜47
加入電信の技術について	大谷薫	48〜50
防火と建築	所寅雄	51〜54
通信線路の雪害の話	井坂栄	55〜61
雪と建築	大沢秀行；松浦兄弋	62〜67
伝送上よりみた#4 クロスバー交換機－ 2 －	土居靖夫	68〜72
同軸ケーブル方式の遠方監視打合機能	緒方研二	73〜77
24ch 搬送電信方式	勝見正雄	78〜85
中間中継所無人化の 200Mc 帯広－釧路回線を保守して	杉山利光	86〜91
二共同加入の局内原因不明の B.C.O 障害について	伊藤博治	92〜93
4 号 B 交流ダイヤル着信装置における復旧不能障害について	彦坂勇	94〜96
1 号自動監査装置試験回路の改造	原田稔	97〜98
＜通信局だより＞ファースト・インプレッション（東海通信局）	橋本真澄	99〜102
国鉄の通信について	川上寿一	103〜109
昭和 31 年度における業務考査の方向	小沢春雄；中野貢	110〜116
施設従業員のための営業知識	廻健三	117〜125
最近における資材管理について（終回）（その 3）－近代的資材管理への道しるべ－	南川利雄	126〜132

Vol.8　No.3
日本電信電話公社施設局編集

特集・保全の現状と将来への道	14〜	
保全に携わる皆様へ	米沢滋	14〜17
保全の現状と今後の問題点を衝く	保全局	18〜18
市内線路保全の諸問題と近代化への道	線路課	18〜21
未だ弱体化の市外線路施設	線路課	21〜27
保守の困難さをます土木施設	線路課	28〜30
5 つの問題点の解決策	市内機械課	31〜39
中継交換化を契機とし全面的に飛躍する電信施設	電信機械課	40〜44
足並み揃う搬送・無線の両施設	伝送無線課	45〜54
≪座談会≫品質管理を応用した新しい保全方法を語る	西堀栄三郎；磯部邦雄；井上俊雄；大城正喜；大谷薫；桑原源太郎；今川貞郎；飯田穣治；勝田秀雄；山本幹次；高瀬英夫	55〜70
新たに制定される保全工事々務処理要領の概貌	保全局線路課	71〜73
誘導と電蝕問題を衝く ── 通信妨害解決への主要課題	保全局線路課；電信機械課	74〜84
線路保全の技術的な二, 三の問題	保全局線路課	85〜88
≪グラビヤ≫フレオンガスによる市内線路の細密点検作業	保全局線路課	89〜92
通信局管内保全工事特別調査を実施して ── 北陸通信局の調査結果から	保全局	93〜97
技能向上を目指す現場訓練	保全局管理課	98〜101
施設記録の試行結果と今後の問題点	保全局管理課	102〜106
改正される特殊勤務手当	保全局管理課	107〜109
現場の厚生福利施設を巡つて	今井一郎	110〜114
四国の保全状況	鳥飼一太郎	115〜121
東海の保全状況	青山清嗣	122〜128
同軸ケーブル方式－ 3 －	北原安定	129〜135
加入電信方式の新設計	勝見正雄	136〜141
市外線路損失配分の考え方	宮森漸	142〜155
マイクロウエーブ回線設計上の手引－ 4 －	松本高士	156〜165
20KV 特高ループの送電について	田中実	166〜168
私の考案 電話機の使用度数と障害の頻度	菅野忠三	169〜172
私の考案 保全サービスレベル達成成果の評価方法	橋本満男；田村裕	173〜178
遅れる資材, 受取れぬ資材	加藤武雄	179〜185
温湿度調整装置の負荷と運転期間	新井忠美；稲生宏	186〜190

Vol.8　No.4

日本電信電話公社施設局編集

昭和 31 年度建設工事計画の概貌	佐々木卓夫	12〜38
国産新技術への道	石川武二	39〜46
工法監査の結果から（その 2）（終回）	建設部工法課	47〜53
STC マイクロ技術に学ぶ	林新二	54〜61
同軸ケーブル方式－ 4 －	北原安定	62〜69
伝送上よりみた#4 クロスバー交換機－ 3 －	土居靖夫	76〜79
自動交換室における塵埃の調査研究－ 2 －	鈴木信男	80〜88
新しい PVC 局内ケーブル	朴木実	89〜92
パラメトロンとは	新堀達也	70〜74
電報中継交換局間中継線の開通に関する諸問題	鈴木義彦	93〜100
配線用遮断器の検討	沢田豊	101〜106
私の考察 保守レベルの変動と不定時障害数（日別）の管理	武田正弘	107〜110
最近の海底線埋設工事概況	土谷宇三四	111〜116
臨時要求と在庫回転率の関係について	原田美信	117〜124
米駐留軍が使用している電気通信設備の使用料の問題	丸山幸男	125〜128
やさしいバイクガイドブック（その 1）	黒川実	129〜135
自動車事故の原因となる油圧式ブレーキおよび油圧式クラッチのベーパーロックについて	竹内茂男	136〜139
米国留学略記 ── 米国の大学生活を中心に	片方善治	140〜144

Vol.8　No.5
日本電信電話公社施設局編集

座談会 31 年度建設工事の推進対策を語る	佐々木卓夫；黒川広二；税所正芳；井上俊雄；森元和；佐藤亮；鈴木一松	12〜31
昭和 31 年度局舎建設の諸問題	中田亮吉	32〜34
昭和 31 年度の保全サービス基準設定の概要	保全局	35〜46
昭和 30 年度施設用物品の調達を顧みて ── その反省と要望	森元和	47〜53
同軸ケーブル方式－ 5 －	北原安定	65〜70
第 2 種クロスバー小自動方式	清水通隆	71〜76
ロールスリーブ接続とその工法	矢部久	77〜86
復調器の過負荷現象	塩原興一	87〜92
浜町局電源装置の概要	橋本徳三郎	107〜109
トランジスタの話	武田行松	54〜64
東仙札マイクロ電源の設計	有田博光	110〜115
共通制御式新形ラインファインダ	小林次郎；横山喜一郎；杉原治雄	117〜123
ノモグラフによるジャンパー線所要長の計算	水沼重男	124〜125
市外線装置（101 号 102 号）の再呼信号 回路における BB Relay の無用について	原田稔	126〜127
印刷電信機の障害原因を探究する一方法	矢萩常男；三浦文治	128〜134
4 心入端末装置 ── 海底線修理工事の無人化を図る	土谷宇三四；井川渉	135〜136
電電公社における温湿度調整装置の変遷	鳥井昂	137〜141
1956 年度における国際会議の展望	田中浩太郎	116〜116
昆虫による鉛被ケーブルの被害	宮本秀雄	142〜148
大阪・広島・福岡間マイクロウェーブ中継回線施設の概要－ 1 －	川原田安夫	93〜99
電信のオートメーションとセルフサービス化へ	佐藤喜一	100〜106

Vol.8　No.6
日本電信電話公社施設局編集

座談会 わが公社への批判から学ぶ	佐々木卓夫；秋草篤二；辻畑順一；中田亮吉；山本悌一郎；渡辺達之	12〜27
実用化研究の動向	岡田実	28〜33
昭和 30 年度建設工事の実施結果から	鈴木一松	34〜43
欧米の建築をみて（その 1）	佐藤亮	44〜49
同軸ケーブル方式－ 6 －	北原安定	50〜64
自動交換機の知識	高井春雄	65〜72
ビデオペアケーブル伝送方式	前田光治	73〜77
R.D. ワイヤ－ 1 －	山口彊	78〜91
交流電化と誘導防止対策	横山一夫	92〜99
マイクロ回線の遠方監視制御装置	小西一郎	100〜109
電信のオートメーションとセルフサービス化へ－ 2 －	佐藤喜一	110〜116
フロアスペースの節約による電力装置設計上の改良点	橋本徳三郎	117〜123
私の考案 特殊サービス応答秒数縮少方法 ── 受付ランプのフラッシュ装置について	高桑島生；高橋澄夫；中島栄之助	124〜130
土地等の使用等に関する日本国有鉄道との協定について	生出勝次郎	131〜136
建設工事の総合管理について（その 1）－本年度工事を円滑に遂行するために－	原田安雄	137〜144
昭和 31 年度建設勘定運用上の問題点	小沢春雄	145〜151
昭和 31 年度建設勘定予算実行計画実施の処理方法	牧武男	152〜156
公社外通信施設の紹介 警察通信の巻	村井敏夫；高橋澄夫	157〜162
やさしいバイクガイドブック（その 2）	黒川実	163〜172
ワイヤスプリング継電器	米沢平次郎	63〜64

Vol.8　No.7

日本電信電話公社施設局編集

説苑 別な世界を	中尾徹夫	12〜13
座談会・わが公社への批判から学ぶ・を読んで会計検査院新木課長感想を表明		14〜15
昭和 31 年度 技術訓練の概貌	保全局	16〜25
架空ケーブル障害の実体とその対策 ── 昭和 31 年 3 月 19 日,20 日のケーブル障害分析から	井上俊雄；平尾勇	26〜29
昭和 30 年度建設勘定工事費計理の概況	渡辺達之；小沢春雄	30〜33
建設勘定工事の総合的管理について（終回）（その 2）	原田安雄	34〜41
欧米の建築を見て（その 2）	佐藤亮	42〜46
同軸ケーブル方式－ 7 －	北原安定	47〜53
技術解説 ポリエチレンの話	稲井猛	54〜55
群集電話装置	長田武彦	56〜62
オートメーションと電信	三原裕登	63〜71
クロスバー回路入門－ 1 －	高井春雄	72〜77
横浜金沢局の従局方式から	高山正一郎	78〜83
8 号形自動交換装置と床荷重について	木村辰夫；相馬行夫	84〜87
R.D. ワイヤ－ 2 －	山口彊	88〜98
マイクロウェーブ中継用真空管の現況－ 1 －	小西一郎	99〜108
加入電信用印刷電信機のけん盤配置とその符号	勝見正雄	109〜115
マージュ測定器による搬信回線の障害探索方法	竹内純蔵	116〜119
磁気増巾器と自動電圧調整器	沢田豊；向笠和夫	120〜126
海外技術紹介 トランジスタの通信技術への応用	緒方研二	127〜130
私の考案 市外交換機 6 号座席ダイヤル回路のダイヤルシオント接点火花防止回路について	松浦義秋	131〜132
私の考案 予防保全についての一考案 ── 主として事前取替について	田井野治郎；佐藤完二	158〜165
第 4 回技術競技会を顧みて	保全局	133〜146
アメリカにおける移動無線通信	千野孝	147〜154
最近の海外雑誌から		156〜157
公社外通信施設の紹介 防衛庁の巻	浅野敏夫	166〜170

Vol.8　No.8

日本電信電話公社施設局編集

再任に際して	梶井剛	12〜13
説苑 一歩一歩の前進	米沢滋	14〜15
欧米の建築を見て（終回）（その 3）	佐藤亮	16〜22
同軸ケーブル方式－ 8 －	北原安定	23〜29
カラーテレビジョン	牧野康夫	30〜31
昭和 31 年度建設勘定工事第 3 次実施計画の概要	大谷昌次	32〜36
加入電信サービスの構想	宮川岸雄	37〜43
サービス ファースト ── 補充要求制度の改訂	森元和	44〜49
昭和 31 年度調査研究計画の動向	勝田日出夫；古都勝寿	50〜56
東京近郊自動即時化に伴う技術的な諸問題	渥見玄	57〜65
クロスバー回路入門－ 2 －	高井春雄	66〜76
宅内ブロック保守一年の経緯	佐野電報電話局	77〜83
実験結果からみた弧型ケーブル保護板	若生善衛；片方善次	84〜86
伝送品質の考え方	中仮屋宗隆	87〜92
マイクロウェーブ中継用真空管の現況－ 2 －	小西一郎	93〜97
専用電信回線のサービス向上の一方法	羽田正二；後藤明夫；竹内純蔵	98〜100
尼崎局における配電方式 6000V 昇圧化の対策	橋本徳三郎	101〜105
ディゼル機関発電機の防振据付	沢田豊	106〜112
私の考案 相互通話の可能な 2 線式分岐秘話共同電話	松田正一	113〜119
私の考案 自動通知機の考案	原田稔	120〜122
私の考案 専用電信端局操作装置の改良	竹内純蔵	123〜124
電気通信技術委員会の動向	黒川広二；田中浩太郎	125〜129
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	130〜134
財産単位制度の採用と予算実行計画	渡辺謙二	135〜141
電柱対価支払は合理的に行われているか？	鈴木良吉	142〜143
最近の海外雑誌から	田中浩太郎	144〜146
回線設計法の解説－ 1 －	笠原良守	147〜158
公社外通信施設の紹介 海上保安庁の巻	海保健郎	159〜166

Vol.8　No.9
日本電信電話公社施設局編集

説苑 アジア各国を歴訪して	佐々木卓夫	10〜12
昭和 31 年度建設勘定工事の促進について ── 促進の目的と最近の工事進捗状況	税所正芳	13〜23
無電話部落と町村合併対策の設計基準	大谷昌次	32〜39
大都市の市内電話番号計画	宮川岸雄；辻儷二	40〜46
技術解説 ダイフロンガス	吉村章雄	54〜55
クロスバー回路入門－ 3 －	高井春雄	56〜64
市外線装置の概要	広田憲一郎；金子宥円	65〜70
H 形 1A FUSE(VERT) の対策	三宅康靖；松永肇	71〜78
噴射清掃方式による自動交換室内の塵埃除去対策	大塚分局機械課	79〜82
市内星ケーブルの規格がどんなふうに変ったか？	朴木実；山口彊	89〜93
マイクロ回線設計のための天文測量法	渋谷茂一	94〜103
搬信 12 形装置の定電圧放電管は必要か？	和田英男；栢森喜弘；上岡良夫；大西幸夫	104〜107
既設局全浮動電源装置の設計と実施	橋本徳三郎；田中実；武藤帝一	108〜113
プラスチックケーブルの話（その 1）	朴木実	47〜53
伝送上より見た市外ダイヤル方式－ 1 －	緒方研二	83〜88
私の考案 H12 号 1 次セレクタ回路の改良	藤田晨二	114〜115
海外技術紹介 オランダの新短距離搬送方式とその原理（その 1）	只野豊治；村山好久	116〜123
置局計画序論	野木昭作	124〜130
制度化した建設勘定工事の年度振替について	土井大三	131〜135
企業の発展と技術の立場 ── 技術者の育成に力を注ぐ欧米各国	廻健三	136〜139
最近の海外雑誌から	田中浩太郎	140〜141
電気通信の生産と貿易 ── 有望視される通信プラント輸出	佐藤正男	143〜148
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	149〜154
職場めも ささやかなよろこび	牧野佐一	142〜142
対談 欧州諸国における電子交換の動向	喜安善市；黒川広二	24〜31

Vol.8　No.10

日本電信電話公社施設局編集

説苑 落穂拾い	和気幸太郎	12〜13
大都市を中心とした自動即時網計画	宮川岸雄；南隆蔵	32〜41
完成した東京・横浜間同軸ケーブル線路工事から	鈴木一松；伊佐進	42〜48
H 形自動局の統計的管理方式の導入 (1) －その考え方と実施方法の大要－	高瀬英夫；山本幹次；飯田穣治	49〜55
東京・仙台間極超短波回線の現況	大城正喜	66〜68
最近のマイクロウェーブ通信技術	大槻由之助	69〜75
プラスチックケーブルの話－ 2 －	朴木実	89〜98
自動式二共同加入方式の最近の動向	広田憲一郎	99〜105
石巻局で実施した宅内保全改善対策とその実績	貝守	107〜115
新技術ものがたり・同軸ケーブル方式（その 9）（終回）－欧米における同軸ケーブル方式 (3) －	北原安定	56〜61
技術解説・太陽電池 ── 太陽光線で働く電話の夢	佐方利道	62〜65
クロスバー回路入門－ 4 －	高井春雄	76〜83
新形自動交換機 EMD 方式－ 1 －	川田大介	84〜88
伝送上より見た市外ダイヤル方式－ 2 －	緒方研二	116〜122
常温混和物による市外ケーブルのガス隔壁工法	長田龜行；木下文男；藤村登	123〜131
搬送印刷電信回線の品質管理（Ｉ）	中久保卓治；平沢誠啓；池沢功	132〜135
私の考案 H21 号コンネクタの回路改善方法	安岡義幸；井阪幸正	136〜139
私の考案 二共同加入回線の B.C.O. 及びラインファインダ二重接続の局内障害の防止対策	北一男	140〜141
海外技術紹介 オランダの新短距離搬送方式とその原理（その 2）	只野豊治；村山好久	142〜147
原価調査一年の成果 ── 試作研究費の原価算入等について	永森四郎	148〜153
自動交換機調達の実体	小川豊一；大野守	156〜162
座談会 工事促進上のあい路を衝く ── 年度後半主力を注ぐ建設工事を前に	米沢滋；和気幸太郎；中田亮吉；山本英也；大谷昌次；渡辺達之；長谷川章；平野利秋	14〜31
図書紹介 岩波写真文庫“電話”	小沢春雄	154〜155
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	163〜169
最近の海外雑誌から		170〜171
科学技術振興を目指す 日本学術会議と科学技術庁	鈴木春治	172〜178

Vol.8　No.11

日本電信電話公社施設局編集

説苑 或る職場で	小島哲	12〜13
長距離即時網の将来	宮川岸雄	32〜39
加入電信工事を終つて	瓜生政一；神下金太郎	40〜44
新しいお客様を迎えて ── 加入電信の保守およびサービスオーダー等について	大谷薫；河野誠一	45〜50
F-24 電話方式と其の実施	大松沢剛	51〜56
H 形自動局の統計的管理方式の導入（Ⅱ）実施要領設定のための各種実験計画ならびに分析	山本幹次；村山久；辰巳茂徳	57〜66
クロスバー回路入門－ 5 －	高井春雄	67〜71
米国における新しいマイクロ	牧野康夫	72〜77
新形自動交換機 EMD 方式－ 2 －	川田大介	78〜83
プラスチックケーブルの話（その 3）	朴木実	84〜90
市内中継ケーブルのガス封入方式とその設計	村井勇夫	91〜100
温調装置と機械室	伊藤雅雄	101〜105
パッド・コントロール方式	石原治	106〜110
短搬方式中継所設定に関する考え方	只野豊治	111〜117
超短波可搬無線機の現状	鈴木義雄	127〜130
搬送印刷電信回線の品質管理－ 2 －	中久保卓治	118〜126
ケーブルヘット工法	平出五平；菊池義雄	131〜135
見透外遠距離通信方式	小西一郎	136〜142
米駐留軍との保全基本契約の改訂	折笠寛	143〜147
加入区域に関する諸問題	今村徳輔；高橋敏男	148〜155
本年度の発明考案 輝く総裁受彰のあらまし	田中浩太郎	156〜162
最近の海外雑誌から		163〜165
新仕様書の紹介	技師長室	166〜170
座談会 30 年勤続者を囲んで	渡辺達之；伊藤一；宮本勝一；伊田新作；藤江勇；山内勇；漆野豊；竹内鎮太郎；小林逸正；江黒修三；蓮見長三郎	14〜31

Vol.8　No.12

日本電信電話公社施設局編集

説苑 贅沢と云うこと	中田亮吉	12〜13
補充費に関する考察	水尾安彦；田村裕	33〜38
色彩照明調節の実験計画 ── 色彩管理調節委員会第 1 次報告	野村準一	39〜44
分局保全業務改善に関する調査報告	山本幹次	45〜54
ドイツを中心とした自動交換技術－ 1 －	川田大介	55〜61
通信用ハンダの知識 ── ハンダの性質を理解するために	影山信夫	62〜69
通話時分表示装置	高柳晃	70〜76
塵埃と障害との関係 ── 横浜港局一年間の保全成果	石井伝；飯田武之	77〜86
恐るべき配線障害に対するカルテ	小滝要；大前義次	87〜94
A.T.M.Combind Line Swith Board の設備取替工事は斯うして行われた	沖田右馬喜	95〜100
東京－仙台間マイクロウェーブ中継局の局内総合伝送特性	小西一郎	101〜107
局内連絡用模写電信装置 ── 電話・模写の混合使用方法について	桜井義郎	108〜114
変圧器の容量計算 ── 単相と三相負荷が同時にかかる場合	沢田豊；向笠和夫	115〜118
私の考案 20 回線 1 号単紐共電式交換機扱者回路の一部改善について	鷹羽忠男	123〜123
私の考案 新設計による VHF 用 IV 型空中線鉄塔	小関盛寿；中村三郎；斎藤政	119〜122
道路専用に関する当面の問題（その 1）	生出勝次郎；小出梅雄	124〜130
ナンバリング・プランとはどういうものか	辻儷二；宗雪満夫	131〜135
最近の海外雑誌から	田中浩太郎	136〜138
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	148〜156
数量化による施設取替の制定方法	佐藤真成；小原猛；高柳俊郎	139〜147
わが国最初の国産クロスバ小自動三和・香良州局設計の概要	高井春雄；長田武彦	14〜24
第 2 種クロスバ小自動（三和及び香良州局）自動改式工事の概要	清水通隆；新井満男	25〜32

Vol.9　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭所感 道眼. 情眼. 物眼	中尾徹夫	12〜13
説苑 年頭所感	石川武二	14〜15
私設有線電話施設の現状と農山漁村電話対策	角田和男；今村徳輔	34〜41
最近の建築設計上の問題点	佐藤亮；矢野敬一	42〜47
新しい技術はどのように実用化されているか ── 新技術への入門と理解のために	田中浩太郎	48〜59
ドイツを中心とする自動交換技術（その 2）	川田大介	60〜64
米国 AT&T 会社の移動無線電話	牧野康夫	65〜70
海外における最近の線路技術（その 1）	朴木実	71〜79
集線装置の試作品登場 ── 群衆電話その後の歩み	長田武彦；福富礼治郎	80〜90
5 号形公衆電話機の誕生	広田憲一郎；榎田久夫；久我泰三郎	91〜96
TX3 形電信中継交換装置	神下金太郎；清水他喜次；小久保昭次	97〜100
解説 真空管の陰極活生率とはどんなものか	色摩亮次郎	102〜111
東京, 横浜間同軸方式局内施設工事	伊佐進	112〜119
海外留学生だより 深刻な欧米の科学技術者の不足 ── －日本の技術移民の夢	田中浩太郎	120〜122
図書紹介 アメリカにおける電信電話	川田大介	101〜101
座談会 これからの電信電話事業展望	米沢滋；篠原登；大橋幹一；本多静雄	16〜33

Vol.9　No.2

日本電信電話公社施設局編集

説苑 テレビと「太陽の季節」	関雅雄	12〜13
短距離即時網構成上の諸問題	宮川岸雄；辻儷二；松田正彦	26〜33
最近の搬送保守	大城正喜	34〜40
ドイツを中心とする自動交換技術（その 3）	川田大介	41〜47
（続）加入区域に関する諸問題	今村徳輔；高橋敏男	48〜55
新しい伝送品質配分計画の考え方 (1)	中仮屋宗隆；米沢威行	56〜61
技術解説 加入者用の簡易裸線搬送電話	青木正一	62〜64
経済的な公衆電話保守の一方策 ── オペレーション・リサーチの応用例	小滝要；大前義次	65〜72
いかにして宅内ブロック別責任保守体制を行っているか	大西史朗	73〜77
解説 A 形 D.N（空番号），D.L（空段）回線通知装置	川口泰男；但馬昭	78〜87
解説 送受器 1 号 3 心らせんキャブタイヤ紐	竹村勝；重田袈裟美	88〜91
雪と山上勤務	鬼嶋英雄	144〜150
北国と雪	酒井尚志	151〜153
同軸ケーブルの新接続工法	朴木実；玉井明	92〜101
木柱支線の強度試験について	川島久治；内藤敏夫	102〜106
2000Mc 中継方式の概要	小西一郎；稲野龍三郎；松本高士；谷池宏	107〜114
私の考察 冬季間におけるダイヤル傷害減少対策の一考察	白木啓市	115〜122
私の考察 CZ-501-D, CZ-504-D 真空管について	丹野磐男	123〜130
私の考案 搬送電信伝送路の時々断による誤字発生と誤字検出法	鬼嶋英雄	131〜134
電信電話施設工事の債務負担行為の新しい運用	小沢春雄	135〜137
道路占用に関する当面の問題（その 2）	生出勝次郎；小出梅雄	138〜143
最近の海外通信だより	田中浩太郎	156〜159
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	160〜167
近鉄列車電話サービス	石原治	168〜170
本社機構の一部改正		154〜154
全国建設部長会議録		155〜155
座談会 売り上手, 買い上手 ── 資材よもやま話	森元和；大谷昌次；井上俊雄	14〜25

Vol.9　No.3

日本電信電話公社施設局編集

説苑 ゆとりと間	近藤潔	12〜13
長期計画の基本構想	宮川岸雄	14〜23
昭和 32 年度建設勘定工事第 1 次実施計画の概要	大谷昌次	24〜31
（続）東京近郊自動即時化に伴う技術的な諸問題	渥美玄；塩月昭義	32〜37
電信技術の新しい応用分野（その 1）	大谷薫	38〜44
海外における最近の線路技術（その 2）	朴木実	45〜53
英国郵政庁の学園生活	杉村興作	54〜58
新しい交換用計測器	米沢平次郎；三川保	59〜63
通信用接点の知識	土屋金彌	64〜68
東京市外局の記録受付装置	高柳晃	69〜73
自動式公衆電話機の障害とその対策	広田守；広田秀二	74〜80
市外集中方式の一案 ── 中国通信局で実施の磁石局用直通信号方式	門田近太郎；稲田幸明；住田俊宗；籔義寿	81〜84
市外台集中の標準方式 ── 講評にかえて	技師長室調査課；手動係	85〜87
新しい伝送品質配分計画の考え方（その 2）	中仮屋宗隆；米沢威行	88〜92
マンホール規格改正の要点	姫野梶彦	93〜97
電信中継交換における 50 ボー方式	清水他喜次	98〜101
搬送電信伝送路における衝撃性雑音の探究	森田政雄	102〜105
電力機器の騒音とその防止	沢田豊；向笠和夫	106〜111
ドイツの裸線搬送方式 ── Z3F Z12F 方式	只野豊治	112〜116
1 号 B 交流式直通信号着信装置における永久接続の防止方法	篠原一二	117〜119
5 号交流ダイヤル発信試験機の改造	池田文夫	120〜121
120IPM 警報装置の改造	池田文夫	122〜123
3 号 A セレクタの RC 抵抗線輪の焼損について	安部正雄；柴田喜久次郎	124〜125
私の考案 市外ケーブル線路における引留支線及び片支線の考え方	沼田龍雄	126〜127
私の考察 印刷受信機のカムシャフトのフレに対する一考察	神保朋重	128〜131
近代化された新宿総合倉庫	国分武男	133〜140
最近の海外雑誌から		142〜144
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	145〜150
PBX の工事担任者資格と公社工事の請負契約参加資格について		132〜132
全国保全部長会議（昭和 31 年度第 2 回）	上条清二郎	141〜141

Vol.9　No.4

日本電信電話公社施設局編集

説苑 時代感覚	横田信夫	12〜13
一日本人の優越感	和気幸太郎	14〜17
解説 今次のテレビ・チャンネルプランの構想	西崎太郎	18〜22
昭和 32 年度局舎建設工事計画の概要	所寅雄	23〜26
電話需要の長期診断	木村光臣	27〜32
電信技術の新しい応用分野（その 2）I.D.P. の活用	大谷薫	42〜47
ゲルマニウム整流器の話	高井春雄	48〜53
新しい通信用工具の紹介	影山信夫	54〜60
C.C.I.F. の近況	緒方研二	61〜66
英国の電話事情	杉村興作	67〜75
加入電信半歳の歩み	河野誠一	83〜87
同軸ケーブル方式の回線特性 ── 東京 − 横浜間, 東京 − 高崎間の調査試験結果から	山本周三；青江茂；石川光雄	88〜103
東京・横浜間同軸ケーブル搬送電話回線を保守して	神谷輝雄；近沢泰	104〜112
マイクロ回線設計のための天文測量法（その 2）	渋谷茂一	113〜117
電信回線における TOK, TCC 障害処理の新方法	須貝恒久	118〜123
電話局用中央式真空除塵装置の試み	山本修三；田中実	124〜128
海外技術紹介 米国における新しい電信サービスボード	河野誠一；高橋久太郎；塚本和孝	129〜132
私の考案 単独電話の機能を持つ自動式 4 共同電話方式	北村友治	133〜139
私の考案 3M 電話機磁石発電機の接点障害の防止方法	西原一郎	164〜164
新鋭海底線埋設機の誕生と埋設工法の確立	落合岩男；土谷宇三四；武内宏	140〜146
道路占用に関する当面の問題（その 3）	生出勝次郎；小出梅雄	147〜154
昭和 32 年度建設勘定予算の問題点	光武俊昭	155〜160
最近の海外雑誌より	田中浩太郎	161〜163
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	165〜170
東京 − 名古屋同軸ケーブルの線路設計（その 1）	伊藤一	33〜41
クロスバ回路 本論（その 1）	高井春雄；長田武彦	76〜82

Vol.9　No.5

日本電信電話公社施設局編集

説苑 一歩前進の跡	米沢滋	12〜13
東南アジアと電気通信 (1)	佐々木卓夫	14〜17
保全管理方式の実施に当って	井上俊雄	33〜37
東京一名古屋間同軸ケーブル線路設計について（その 2）	伊藤一	46〜53
電信技術の新しい応用分野（その 3）	大谷薫	54〜58
クロスバ回路 本論（その 2）	高井春雄；長田武彦	59〜66
六甲・龍王クロスバ局の開局	清水通隆；采女浩	67〜76
自動交換機の品質と保全成果	飯田穣治	77〜82
自動即時方式の生んだ問題点 ── 浜町分局の工事及び保守から	水井三嗣；菊地信一郎	83〜90
T-12 方式とは	山本周三；柿崎尚弘	91〜95
F-24 方式の特徴	貝塚博	96〜103
テレビジョン中継網運用の現況	阪本忠勝；松本高士	104〜110
加入電信における課金方式	高橋久太郎；原田栄彦	111〜119
試行結果からみた印刷電信機の統計的管理法	清水幸二	120〜125
その後のスリーエンジンの歩み	須藤秀敏；斎藤礼一	126〜133
私の考案 A 形増圧式度数計回路試験機の改造	川口幸太郎	134〜137
私の考案 予備機をいかに持つべきか ── 公衆電話の保守をめぐって	小滝要；大前義次	138〜141
空気調整装置の話	鈴木二郎	38〜45
解説 ヘーグにおける対船舶超短波無線電話国際会議	林新二	142〜149
建設勘定特別調査費の計画と実施	土井大三	150〜155
加入者線路に要する理想的な投資額の考え方	今村徳輔；益尾興	157〜166
最近の海外雑誌から		167〜170
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	171〜176
乙増の自営開放		156〜156
〔座談会〕31 年度建設工事の回顧と 32 年度工事への指針	米沢滋；小島哲；和気幸太郎；中田亮吉；秋草篤二；橋本一郎；税所正芳	18〜32

Vol.9　No.6

日本電信電話公社施設局編集

説苑	中尾徹夫	12〜14
海外技術協力の現状と展望	友枝参	15〜20
第 2 次 5 ヵ年計画における加入者充足並びに局建設の概要	角田和男	21〜36
昭和 32 年度調査研究計画の動向	森元和	37〜45
東京名古屋間同軸ケーブルの線路設計（その 3）	伊藤一	61〜67
財産単位制度の本実施に当って	矢永達三	68〜74
乙増の自営開放に伴う技術基準の大要	小川豊一	75〜81
クロスバ回路本論（その 3）	高井春雄；長田武彦	82〜90
これからの市外通話課金方式	広田憲一郎；義間敬之	91〜99
1 号時数計の取扱要領	高柳晃；榎田久夫；糸賀邦夫	100〜108
マンホール及び局内マンホール規格改正の要点（Ⅱ）	姫野梶彦	109〜115
市外 PEF ケーブルの試験接続方法	矢部久	116〜123
新しい導電材料 ── 導電性プラスチックスの塗料	稲井猛	56〜60
マイクロ回線の監視制御と回線切替機の現況	佐川正	124〜133
印制電信機の潤滑油の知識	斎藤忠四郎	134〜143
MGG はこうして廻っている ── 交直流無停電装置の特性について	須藤秀敏；飯塚文男	144〜151
海外技術紹介 大西洋横断ケーブル	山本周三	152〜157
私の考案 共同リレーセットの A2 号高度計試験機の改造	安部正雄	158〜158
架空ケーブル障害に対する新しい考え方	秋山文畿	159〜165
有線放送電話と地域団体加入電話		166〜167
軽車両の知識 (1)	黒川実	168〜172
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	173〜175
最近の海外雑誌から		176〜178
新技術はどのように保全されているか	大城正喜	46〜55

Vol.9　No.7
日本電信電話公社施設局編集

説苑 くさめ	小島哲	12〜13
第 2 次 5 カ年計画における市外サービスの構想（その 1）	宮川岸雄	14〜21
新技術はどのように保全されているか（線路技術の巻）	井上俊雄	22〜28
昭和 31 年度施設用物品は如何に調達されたか	大谷昌次	29〜36
やさしい建築音響の話	野村隼一；沖塩荘一郎	37〜44
クロスバ回路本論（その 4）	高井春雄；長田武彦	45〜53
昭和 32 年度の技術訓練	工藤隆三	58〜62
気送管の知識	川田大介	63〜67
新形市外台並びに新継電器群装置	高柳晃；桑野敏男	68〜71
ダイヤルインパルスに対する自動交換機の動向 ── 一般論と A 形交換機の限界値	広田憲一郎	72〜81
苦情申告例による試験統制実施法の解説	渡辺四郎；若山昇	82〜85
F-24 方式及び T-12 方式の工事設計	只野豊治；平塚清士	86〜94
新しいガスケーブル方式	若山利夫；玉井明；山本千沿	95〜100
無人化されたマイクロウェーブ回線を保守して	坂本忠勝；田中正也	101〜107
無誤字伝送方式	高橋久太郎；塚本和孝；辻岡健	108〜112
東通管内における最近の専用電信回線の実体	島田孝作；杉本啓次郎	113〜117
電力用継電器と保護方式	向笠和夫	118〜125
海外技術紹介 Ericofon ── エリクソンの新形電話機	広田憲一郎	126〜130
第 5 回電信電話技術競技会全国大会を顧みて	保全局	132〜145
旭川, 帯広マイクロウェーブ回線敷設選定記 ── 十勝岳・落合岳雪中登頂記	大槻由之助	146〜155
フィンランドの電話印象記	杉村興作	156〜158
海外技術連絡室情報 琉球（沖縄）	海外技術連絡室黒田調査員	161〜164
軽車両の構造明細書の見方（その 1）	黒川実	167〜172
最近の海外雑誌から		173〜175
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	176〜180
昭和 32 年度における債務負担行為	小沢春雄	54〜57
施設部長会議録	小沢春雄	131〜131
最近における資材ニュース	資材局工材調理課	165〜166
電柱敷地補償料の値上について	施設局管理課調査係	159〜160

Vol.9　No.8

日本電信電話公社施設局編集

説苑 昨日と今日	石川武二	12〜13
第 2 次 5 カ年計画における電話網基本計画（その 1）	辻儷二	14〜22
各種の共同加入用装置 ── 相互通話もできる秘話装置	森元和；広田憲一郎	28〜34
新技術はどのように保全されているか ── 電信技術の巻	大谷薫	35〜44
ホール・ソート・カードを採用した検査事務の能率化	内田徳；山本太郎	50〜56
解説 今回改正された電波法施行規則	田中実	57〜59
クロスバ回路本論（その 5）	高井春雄；長田武彦；林典広；田代穣次	60〜71
局引込みケーブルの新整理方式	山口彊；高橋忠一郎；阿見治良；姫野梶彦；桝沢磋	72〜78
シリコン碍子商用試験の結果	吉村章雄；井川聰明	79〜81
6000 メガによる無線送信所操縦回線	川原田安夫	82〜89
最初の加入電信宅内工事を経験して	内田美佐雄	90〜94
基礎研究の過去, 現在, 未来（その 1）	関壮夫	23〜27
海外技術紹介 カラーテレビジョン ── NTSC 方式の解説	小西一郎	95〜101
私の考案 A 形増圧式局のテストディストリビュータの回路改造	後藤壮二	102〜102
私の考案 自動即時レピータ用 6 秒主幹時計の警報回路	篠原寿人；池田文夫	103〜106
私の考案 ポリエステル樹脂を利用した電話機用破損筐体（フェノール樹脂醋酸繊維素系樹脂）の接着成形方法	渡辺儀一郎；佐藤正；荒屋義春	107〜110
昭和 31 年度建設勘定工事の総決算 ── 第 1 次 5 カ年計画 4 カ年の実績	原田安雄	112〜121
公社の職員アパートはどうなっているか ── 標準設計の解説	三宅敏郎	122〜133
理想的な工事用車両更改時期の考え方	北川郁夫；土井大三	134〜139
海外技術連絡室情報 中華民国（台湾）	黒田大三	140〜142
新しい市外電話回線保守方法の効果について	田井野治郎；佐藤完二	145〜157
軽車両の構造明細書の見方（その 2）	黒川実	158〜162
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	163〜169
最近の海外雑誌から	田中浩太郎	170〜172
最近における資材ニュース	資材局工材調理課	143〜144
建設部長会議録		111〜111
通信技術における今日の問題, 明日の問題 ── 電気通信技術委員会のうごき	田中浩太郎	45〜49

Vol.9　No.9

日本電信電話公社施設局編集

説苑 転換期	佐々木卓夫	12〜13
第 2 次 5 ヵ年計画における市外サービスの構想（その 2）	宮川岸雄	14〜22
第 2 次 5 ヵ年計画における電話網基本計画（その 2）	辻儷二	23〜32
新技術はどのように保全されているか ── 交換関係新技術の巻	高井春雄	33〜41
技術改良申告制度の実施	森元和	42〜45
決定されたテレビチャンネルプラン	香西茂男	46〜48
クロスバ回路本論（その 6）	高井春雄；長田武彦；田代穣次	49〜56
武蔵府中局及び蕨局クロスバ自動交換機の概要	細川孝行；小原明；長田武彦；田代穣次；島田博一；寺薗実	57〜64
短搬用市外ケーブルの漏話対策	若山利夫；矢部久；戸塚繁	65〜79
同軸中継方式の標準化	青江茂	80〜86
電流供給回路警報用継電気の保守	丹野磐男；小谷野光也	87〜88
マイクロウェーブ〝伝播計算法〟の解説 (1)	渋谷茂一	89〜96
オール・フロートは進んでいる ── 電話局用全浮動方式の特性	須藤秀敏；塩見栄次郎	97〜108
印刷電信機連続動作試験の自動化	竹内才次郎；相合孝太郎；横田敏男	109〜115
海外技術紹介 ドイツにおける地下管路施設の計画と設計	田中浩太郎；土橋英生	116〜120
私の考案 ZZZ 長時間通話監視回路の異常現象の解析とその対策 ── ZAI 号レピータの場合	牛島昭資	121〜127
構内交換電話指定用品の認定	小川豊一；大和信夫	128〜132
購入検査の話 (1)	柴田晶	133〜137
日本科学技術情報センターの設立	松本馨	138〜142
海外技術連絡室情報 南ベトナム	黒田大三	145〜146
最近の海外雑誌から		147〜148
西九州水害地における無線活躍記	福岡無線通信部短波保全課	149〜153
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	154〜160
昭和 31 年度分電柱敷地対価値の支払状況		143〜144

Vol.9　No.10

日本電信電話公社施設局編集

特集・最新技術の動向		14〜32
新技術はどのように保全されているか ── マイクロウェーブの巻	大城正喜	33〜41
手動従局合併に伴う回線網構成と回線算出基準	林典宏	57〜60
気象サービス番号の変更と今後の有料特殊サービス番号計画	宗雪満夫	61〜64
在日米軍との電気通信保全基本契約改正の要点	山本幹次	65〜68
新しく制定された「保全作業指導者手帖」と「保全部門応待要領」	桑原源太郎	69〜72
固定単価制とは	炭竈達朗	73〜77
クロスバ回路本論（その 7）	高井春雄；長田武彦	78〜84
切替装置による簡易な迂回中継	高山正一郎	85〜89
A 形 ZZZ の集中方式の概要	村瀬邦夫	90〜94
新しい考え方に基く新鉛工法	小野真正；影山信夫；黒田平八；檜山茂樹	95〜102
新形海底ケーブル	鈴木欽也	103〜110
マイクロウェーブ回線保守の報告 ── 主として障害統計より	坂本忠勝	111〜116
テレビジョン中継回線の標準規格と総合特性	小西一郎；杉本浩康	117〜122
印刷電信機の保守はこうしてよくなった	斎藤忠四郎	123〜130
ドイツにおける調歩式印刷電信機の調歩くずれ訂正装置	高橋久太郎；塚本和孝	131〜133
保全管理方式の実施状況 ── 第 1.4 半期の実施を顧みて	田村裕	134〜139
購入検査の話（Ⅱ）	柴田晶	140〜145
海上通信の強化策	小松功；山田広幸	148〜152
海外技術連絡室情報 ── タイ	黒田大三	155〜159
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	160〜162
良く使われる通信用語略語集		163〜171
最近の海外雑誌から		172〜174
東京通信局管内第 3 回車両技術競技会	水深十四清	146〜147
最近における資材ニュース	資材局工材調理課	153〜154
座談会 これからの技術者をどう育ててゆくか	仲谷泰吉；森元和；井上俊雄；鈴木清高；宮川岸雄；山田捨録	42〜56

Vol.9　No.11
日本電信電話公社施設局編集

説苑 無駄の効用	中田亮吉	12〜13
台湾・タイ・南ベトナム三国を訪問して	黒川広二	14〜15
本年度総裁表彰に輝く人々	田中浩太郎	16〜23
第 2 次 5 ヵ年計画における伝送路計画	鈴木一松	24〜32
トランジスタと通信技術（その 2）－色彩管理調査委員会第 2 次報告－	北原安定	33〜37
見透外伝播の知識	小西一郎	45〜50
クロスバ回路 本論（その 8）	高井春雄；長田武彦	51〜58
手動交換台を対象とした色彩調節のための実験について ── 色彩管理調査委員会第 2 次報告	野村隼一；鹿毛義次	59〜67
大阪近郊自動即時化に伴う工事概要と諸問題	竹林義松	68〜75
自動交換機の保全管理（その 1）－品質管理方式の導入－	高井春雄；田村善助	76〜82
ブチルゴム電力ケーブルの工法	武居稔	83〜85
新しい PVC 屋外線とその工法	長田龜行；重田袈裟美	86〜94
2000Mc マイクロウェーブ回線の工事設計大要	川原田安夫；鈴木義雄；中村郁夫	95〜98
加入電信における中心局方式の設計	中久保卓治；高橋久太郎；原田栄彦	99〜104
脚光をあびる逆電池 ── 特性と取扱い	須藤秀敏；酒井和男；吉野玄一	105〜112
・海外技術紹介・米国及びソ連における地下埋設ケーブルの雷害対策	若山利夫	113〜120
・各局めぐり・－九州の巻－九州災害の実体とその対策	柏木兵造	121〜128
最近におけるエレクトロニクスの動き	日高俊男	129〜135
太洋横断海底同軸ケーブルの構想	森元和；江副卓爾	38〜44
昭和 33 年度建設勘定予算案の概要	施設局管理課予算係	136〜139
海外技術連絡室情報 ── インドネシヤ	黒田大三	140〜143
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	144〜147
よく使われる電気通信略語集（その 2）		151〜156
最近の海外雑誌から		148〜150

Vol.9　No.12
日本電信電話公社施設局編集

説苑 親切・人情・人事管理	辻正	12〜13
解説 地域団体加入電話の技術基準	作道由男；平野元一	28〜37
DSA 台とサービスコードの概要	南隆蔵；加藤吉明	38〜44
近鉄列車電話サービスの概要	緒方研二	45〜49
本田水戸間 X-60 電話方式工事実施の大要	大松沢剛	50〜56
北九州各局の総合自動化並びに自動即時通話実施工事の概要	田中和雄	57〜65
磁石式局に対する半自動即時方式	杉本茂生；中村伸	66〜69
直埋地下ケーブルの心線移動障害	吉村章雄	70〜78
クロスバ回路本論（終回）（その 9）	高井春雄；長田武彦	79〜88
4 号電話機の障害を衝く－宅内保全改善への試み－	小滝要；大前義次	89〜100
標準用インパルス発生用ターンテーブルについて	大阪電気通信工作工場	101〜101
帯域外信号装置の問題点及び対策	石川光雄	102〜109
私の考案 伝送路の位相反転による搬放 2 形装置の残留損失周波数特性の変化	平野佳朗	110〜114
私の考案 信 180 形切替架装置の改良－ VT 形搬信装置商用試験により発見－	上岡良夫	115〜118
各局めぐり－東京の巻－東京における施設工事の特質	長谷川章	119〜125
第二新技術（論）－第二というのは二流の意味ではない－	山本幹次	126〜127
海外技術連絡室情報 セイロン	黒田大三	128〜131
最近の海外雑誌から		132〜135
よく使われる電気通信用略語集（その 3）		136〜139
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	145〜148
施設サロン		140〜144
座談会 人の振り見て ── 海外出張者の見聞談	森元和；緒方研二；鳥巣享吉；妻藤達夫；山本孝；深海規；杉村興作	14〜27

Vol.10　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭所感 終身之計	中尾徹夫	12〜15
説苑 散歩	米沢滋	16〜17
新年特集 通信技術の将来の展望 ── 電気通信技術委員会各主査に聴く	佐々木卓夫；小島哲；岡村進；和気幸太郎；黒川広二；橋本一郎；中田亮吉	18〜35
新年を迎えて・中央学園における訓練の状況と抱負	許斐三夫	36〜39
新年を迎えて・鈴鹿学園における訓練の状況と二, 三の問題点	伊達孝則	40〜45
小局における技術上の問題点 ── 主として無人小自動交換機について	森元和；池谷寛	64〜69
トランジスタと通信技術（その 3）	北原安定	70〜75
電子計算機の話	新堀達也	76〜79
エジプトの電話拡張計画	川田大介	80〜83
フランスの電話	輿寛次郎	84〜90
海外技術連絡室情報 ── フィリッピン	黒田大三	91〜95
新しく誕生した秘書電話装置	石田義典；広瀬琢朗	96〜99
PVC 局内ケーブルの新しい識別方式	鳥巣享吉；若山利夫；木下一郎	100〜104
新しい線路用工具の紹介	長田亀行；森戸克一	105〜111
海外技術紹介 人工衛星と通信技術	土橋英生；谷池宏；岩崎昇三	112〜120
日原団体加入電話の近況	小川豊一	121〜125
外国技術の導入をめぐる諸問題	白根礼吉	126〜130
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	131〜136
座談会 品質管理その後の歩み	磯部邦夫；井上俊雄；大谷薫；勝田秀雄；西村才一；大前義次；小島哲	46〜63

Vol.10　No.2

日本電信電話公社施設局編集

説苑 考えさせられること	小野恒造	12〜14
ケーブル鉛工個所の補強方法	井上俊雄；桧山茂樹	15〜19
完成した阪神間同軸ケーブル工事の概要	藤栄造；佐藤栄	20〜31
自動交換機の保全管理（その 2）－品質管理方式の導入－	高井春雄；田村善助	32〜40
A 型度数計の改良について ── ナイロン度数計の登場	長田武彦；橋本徳三郎	41〜45
自動交換機に関する一つの考え方 ── モータヴェーラ交換機の試行	高山正一郎	46〜50
高崎桐生間 T-12 方式綜合試験	早速広文；吉田学；美細津博	51〜60
短波海岸局における船舶通信の簡易化 ── RS-2201 形受信機の誕生	小西一郎；渡辺功；戎井良資	61〜66
電信中継交換における通過番号対照の自動化	鈴木義彦	67〜72
アルカリ蓄電池の知識	須藤秀敏；吉野玄一	73〜80
海外技術紹介 P-1 形搬送方式 ── アメリカのトランジスタ加入者搬送方式	山本周三	115〜120
割込信号（話中音・予報音）送出回路	小林皓；長谷川竹男	121〜121
重信線を使用する磁石式局用直流ダイヤル装置	木内康雄	122〜125
加入者ケーブル絶縁抵抗監視装置	石井伝；大木和雄	126〜128
加入電信における交換証の誤記防止回路	妹尾武男；岡正三；遠藤正	129〜133
裸線の重信交叉	矢部久	81〜87
やさしいモータヴェーラ交換機（その 1）	小林芳男	88〜97
マイクロウェーブ“伝播計算法”の解説 (2)	渋谷茂一	98〜103
各局だより・北陸の雪害	辻敬一郎	134〜137
マイクロ波周波数割当の諸問題	林新二	138〜144
海外技術連絡室情報 ── ビルマ	黒田大三	145〜149
最近の海外雑誌から		150〜154
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	155〜160
如何にして公衆電話の“レバース障害”を掴んだか？	小滝要；大前義次；石塚富蔵；吉田賢次	104〜109
H 形自働局における自然回復障害の実態を衝く	辰己茂徳；佐々木昭	110〜114

Vol.10　No.3

日本電信電話公社施設局編集

説苑 若き施設人へ	黒川広二	12〜13
市外装荷方式の変遷	朴木実	14〜19
建築工事報告－霞ヶ関電話局の設計	内田祥哉；高坂清一	20〜28
宅内保全の諸問題	杉村興作；広田秀二	29〜34
専用線の新サービス－気象図のファクシミリ放送	西条利彦；相多忠司	35〜40
株式放送	川上育夫	41〜45
トランジスタと通信技術（その 4）	北原安定	46〜49
自動交換機におけるインパルスの測定法	広田憲一郎；村瀬邦夫	66〜74
280 号形市外交換装置架	榎田久夫；杉本茂生	75〜80
新しい C-1 形搬放装置	山本周三；石川光雄	81〜90
市内線路の新設計法－架空ケーブルにおける吊線の設計	山口彊；阿見治良；佐藤義雄	91〜98
保守者のための蓄電池 XYZ	丹野磐男	99〜102
海外技術紹介 電子化された集線装置	福富礼治郎	103〜108
私の考案 電信回線の瞬断を容易に発見できる瞬断測定器	奈良克秋；小野幸男	109〜110
やさしいモータヴェーラ交換機（その 2）	小林芳男	50〜57
マイクロウェーブ“伝播計算法”の解説 (3)	渋谷茂一	58〜65
わが国技術の海外進出の現状	植田義明	111〜116
フランス滞在記	廻健三	117〜122
海外技術連絡室情報－インド－一般情勢の巻	黒田大三	123〜127
よく使われる電気通信用略語集（その 4）	技師長室調査課	128〜133
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	134〜142
最近の海外雑誌から		143〜148

Vol.10　No.4

日本電信電話公社施設局編集

論説 古き酒を新しき器に		12〜13
説苑 噪音の中に生きる	近藤潔	14〜15
昭和 33 年度建設勘定工事の実施計画 ── 実施計画策定上の問題点	北原安定	16〜23
自動交換機および局内設計の進歩 ── 第 1 次 5 カ年計画に対する交換技術者の貢献	川田大介	24〜30
市内線路の新設計法 架空ケーブル線路の電柱および支線の設計	山口彊；阿見治良；佐藤義雄	31〜37
建築工事報告 霞ケ関電話局の施工	佐野英夫；中山義樹	38〜43
今後の市外電話回線網構成と新市外電話回線の呼称方法	林典宏；萩原友司	44〜50
モスクワの電話事情（第一話）	高井春雄	51〜56
トランジスタと通信技術（その 5）	北原安定	57〜61
同軸ケーブルの保全 ── 保全方法の改正を中心に	池本晴雄	62〜67
搬送中継所の保全の考え方 ── 白金統制電話中継所の実例から	田井野治郎；近沢泰	68〜76
加入電信の区域外および集信方式の保守	和田英男	77〜82
クロスバ交換機用部品の概要	長田武彦	83〜88
12 チャンネル裸搬方式 ── 線路編	矢部久；石井英光	89〜97
マイクロウエーブ“伝播計算法”の解説 (4)	渋谷茂一	98〜105
Mag-Amp と AVR 早わかり（その 1）	須藤秀敏；菅原信夫	106〜110
海外技術紹介 ベルの新しいマイクロウェーブ方式 ── TH 方式	小西一郎	111〜117
私の考案 2 線式 5-B 交流ダイヤル発信装置の M.B 回路の改良	岩津長太郎	118〜119
近畿の巻 最近の四つの動き	浦川親直	120〜126
昭和 33 年度特別調査費予算実行計画の問題点	土井大三	127〜130
新しい交換機用ビニル紐	大河内正義；竹村勝；糸賀邦夫	131〜135
新しい建築材料の紹介	堤武作	136〜138
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	139〜142
最近の海外雑誌から		143〜147
特許の知識	輿寛次郎	148〜150
施設部長会議録	小沢春雄	151〜153
海外技術連絡室情報 ── インド－通信事情の巻	黒田大三	154〜158

Vol.10　No.5

日本電信電話公社施設局編集

論説 保全に関する六つの特質		12〜13
昭和 33 年度の新技術の動向	森元和	14〜19
昭和 33 年度施設用物品調達計画の概要	大谷昌次	20〜24
昭和 33 年度設計方針の展望	勝田日出夫；初見辰二	25〜34
わが半生記	荒川大太郎	35〜36
無線への愛着	網島毅	37〜39
海上通信の現状と将来	西崎太郎	40〜41
－建築工事報告－霞ヶ関電話局の温湿度調整装置	稲生宏	42〜47
トランジスタと通信技術（その 6）	北原安定	48〜51
南極通信の 1 ヵ年	橋本章三；三須操	52〜55
モスクワの電話事情（第二話）	高井春雄	56〜64
台湾に旅して	友枝参	65〜68
クロスバスイッチ	工藤哲夫	69〜78
交換証気送管装置の工事	榎田久夫；糸賀邦夫	79〜83
12 チャンネル裸搬方式 ── 装置編	西松栄一；加納実	84〜91
マイクロウェーブ“伝播計算法”の解説 (5)	渋谷茂一	92〜101
Mag-Amp と AVR 早わかり（その 2）	須藤秀敏；菅原信夫	102〜105
海外技術紹介 諸外国の細心同軸ケーブル－－フランスを中心として	若山利夫	106〜109
私の考案 VF12 方式等化器の特性	小山和男	110〜113
私の考案 加入電信宅内装置の“冗字および擬似インパルス防止回路”	遠藤正	114〜117
私の考案 ノモグラフによる局内障害管理図の作成	藤森和美；大滝一郎	118〜124
私の考案 発達調査と配線法	小原猛	125〜128
－東海の巻－市内線路設計上の二，三の問題	橋本真澄	129〜135
システムエンジニヤリングとは何か ── その発生と展望	田中浩太郎	136〜142
保全部長会議開催さる ── 昭和 33 年度の保全方針の協議	井上俊雄	149〜151
建設部長会議録	小沢春雄	152〜153
公社で使用される工事用車両	原七郎；伊吹皎	143〜148
最近の海外雑誌から		154〜161
新しい建築材料の紹介	堤武作	162〜164
投稿のお願いに代えて		165〜165
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	166〜174

Vol.10　No.6

日本電信電話公社施設局編集

論説 新技術と技術者		12〜13
特集 小形化・軽量化より見た通信技術の進歩		14〜63
昭和 32 年度建設勘定支出の概況	小沢春雄	84〜87
昭和 33 年度設計方針の展望	青山清嗣；村田盂	88〜99
WA 系継電器	篠原武雄	100〜106
横浜港局開局後 3 年間の保全成果より	飯田武之；大木和雄；石綿守夫；帆苅賢治；渋谷栄一	107〜112
同軸分岐方式のあらまし	石川光雄	113〜121
同軸ケーブルの割入れに対する考え方	村田保；西松栄一	122〜126
瀬戸内海沿岸サービスの概要	田中正也；松江重隆	127〜131
解説 Mag-Amp と AVR 早わかり（その 3）	須藤秀敏；塩見栄次郎	132〜139
着信無料装置の改造	荒牧多喜男	140〜141
端電池整流器の浮動・充電時における制御台ランプ表示の一方法	栃川茂	141〜141
簡単に出来る“漏話補償用素子の計算方法”	柴田正三郎	142〜147
通信局めぐり ── 東北の巻 東北管内における施設の特徴	仙頭由之	148〜151
科学技術と研究をめぐって	梶原明	152〜156
海外技術連絡室情報 ── パキスタン	友枝参	157〜161
最近の海外雑誌から		162〜165
新しい建築材料の紹介	中山義樹	166〜168
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	169〜173
投稿のお願に代えて	日本電信電話公社施設編集部	174〜174
座談会 技術者 5 年間の歩み ── 第 1 次 5 ヵ年計画に学ぶもの	米沢滋；佐々木卓夫；小島哲；和気幸太郎；石川武二；黒川広二；森元和；所寅雄；税所正芳	64〜83

Vol.10　No.7

日本電信電話公社施設局編集

電話から置き忘れられた日本の田舎 ── 電話密度の低い地域に対する普及上の問題点	北原安定	14〜20
共同加入電話や集線装置を活用しよう ── 交換技術より見た不可能地域の解決策	高山正一郎	21〜30
SC 形搬送方式と TZ 形無線方式 ── 不可能地域の解決策に登場した搬送・無線技術の特徴	山本孝	31〜34
昭和 33 年度設計方針の展望	高井春雄	35〜42
色彩照明調節の効果 ── 色彩管理調査委員会第 3 次報告	野村隼一；西郷正宣；梶田定雄	43〜53
プラン委員会に出席して	緒方研二	74〜79
海外技術連絡室情報 中国（台湾）の電気通信建設第 2 次 4 ヵ年計画	友枝参	80〜82
新しい集線装置 ── いかにして設計されたか	福富礼治郎	83〜89
－市内線路の新設計法－集線装置の線路設計	小池賢二郎；駒村吉男	90〜98
クロスバ交換機用架枠の概要	池谷寛；神宮司順	99〜106
その後の無装荷多重方式（その 1）－商用試験から見た－	石原治；青江茂；陸川泰志	107〜113
マイクロ回線の自動回線切替方式 ── 新しい AL-2 形回線切替制御装置	谷池宏；木村正道	114〜122
電信中継交換方式における集信回線の通過番号チエック方法	木植和夫	123〜126
電力用部品仕様書の処理要領	向笠和夫	127〜131
海外技術紹介 新しい小電力電源と電池	須藤秀敏	132〜137
私の考案 金属整流器による磁石式二共同信号漏洩防止法	門田近太郎；坂本学；野村寿太郎；山県保	138〜142
私の考察 品質管理の思想を導入した線路・宅内施設の保全の試み	斉藤哲夫	143〜148
通信局めぐり－中国の巻－広島の復興の状況と仕事のあれこれ	門田近太郎	149〜155
最近の海外雑誌から		156〜161
新しい建築用材料の紹介	高坂清一	162〜163
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	164〜170
計画部長会議のあらまし	安部孝	172〜173
投稿のお願いに代えて		171〜171
座談会 PBX の現状と将来を語る	高井春雄；辻儷二；福田宇平；足立尚敦；小川豊一；広田守；新発田満二；山田捨録；浜野重任；石上行春；川田大介	54〜73

Vol.10　No.8
日本電信電話公社施設局編集

正式サービスになった団体加入電話	高橋敏朗；平野元一	14〜22
地域団体加入電話の工事担任者認定制度	塩田芳秋	23〜26
建設勘定の弾力条項	小沢春雄	27〜31
同軸施設保全の 1 年半	大城正喜	32〜42
昭和 32 年度 資材調達の実績から	大谷昌次	43〜50
雑音に関する CCITT と CCIR との合同委員会に出席して	緒方研二	51〜57
海外技術連絡室情報 ニュージーランド	友枝参	58〜60
H 形局の局間 2 線中継方式の進歩	高山正一郎；永江悟朗	61〜69
クロスバ交換機用端子板	池谷寛；神宮司順	70〜77
新しい VA 形市外ダイヤル装置	上遠野浩	78〜85
短距離伝送路における搬送方式の地位（その 1）	山本孝；勝丸国三	86〜93
その後の無装荷多重方式（その 2）－商用試験から見た－	石原治；青江茂；陸川泰志	94〜98
加入者線搬送方式のあらまし	平塚憲一；若木正明	99〜104
新しい支線アンカー	長田亀行；若木正明；永戸謙二	105〜111
メーカ修理実施後 1 年間の歩み ── VT 形搬信端局装置用小形パネルの修理状況	竹内純蔵；横須賀道弘	112〜115
デイゼル機関発電機の自動起動装置	向笠和夫	116〜121
海外技術紹介 AMA の最近の動き	広田憲一郎	122〜130
私の考察 東京 24 局加入者ケーブル不良心線の調査結果から	倉信和夫	131〜138
通信局めぐり－北海道の巻－ 実を取る前に種をまく ── 本道開発計画と電信電話の歩み	荒木義之	139〜144
道路折衝に悩む人々（その 1）道路管理者の力強し－近畿管内の道路占用折衝面より－	各務和巳	145〜147
道路の掘さく半永久的に不可能 ── 建設に, 保守に困難性倍加する大阪都市の地下管路設備	山本栄	148〜151
最近の海外雑誌から		152〜158
新しい建築用材料の紹介	篠原康夫	159〜161
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	162〜167
読者の広場		168〜169

Vol.10　No.9
日本電信電話公社施設局編集

論説 電気通信と建築		12〜13
昭和 33 年度建設工事の遂行に寄せて		14〜15
西宮局 EMD 交換機の建設工事を終って	清水通隆；松尾士郎；浅野進；榊原一矢	16〜24
クロスバ局として誕生した武蔵府中局と蕨局	細川孝行；田代穣次	25〜29
改良鉛工法の完成 ── 鉛工技術革新の努力実る	井上俊雄；朴木実；長田亀行；桧山茂樹	30〜40
トランジスタと通信技術（その 7）	北原安定	41〜45
市外クロスバの実用化進む ── 4 線式市外自動中継クロスバ交換機	美間敬之；山部正一；鈴木立之	55〜61
クロスバ交換機用 L·C·R	池谷寛；神宮司順	62〜66
短距離伝送路における搬送方式の地位（その 2）	山本孝；勝丸国三	67〜76
同軸端局装置の標準化	石川光雄	77〜83
同軸ケーブル直埋布設張力について考究すべき諸問題	宮田昭一	84〜92
橋梁添架ケーブルの振動について（その 1）	吉村章雄；川上淳之助；松本和夫	93〜103
新しい電柱－パンザーマスト	鈴木欽也；関根敏雄	104〜112
4000Mc 小形装置の概要 新標準方式・SF-B3 方式	土井博之	113〜117
海外技術紹介 高速度ワイヤプリンタ	高橋久太郎；塚本和孝	118〜123
P·B·X5 回線（10 回線）夜間転換器の改造	柿沼隆	124〜124
ラインファインダのワイパーコード取付法の改善	安部正雄	125〜125
交流ダイヤル回線の復旧不良対策	篠原寿人	126〜128
所要ジャンパー線の算出方法	古屋利直	129〜132
通信局めぐり－巻頭の巻－座談会〝サックドレスからわらじばきまで〟	高谷善美；村田光弘；坂入泰蔵；奈良一也；岩田克也；鎌田博；椎名寿一；森久；橋本満男	133〜139
海外技術連絡室情報 海外からの研修生の受入れ	藤田正	140〜142
道路折衝に悩む人々（その 2）		143〜151
施設部長会議録	小沢春雄	152〜153
新しい建築用材料の紹介 ── 断熱材料	向井覚	154〜155
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	156〜160
最近の海外雑誌から		161〜166
読者の広場		167〜169
伸びゆくテレビ中継線網	高橋敏朗；田村昭	46〜54

Vol.10　No.10

日本電信電話公社施設局編集

論説 研究から現場まで		12〜13
基礎研究の過去・現在・未来（その 2）	関壮夫	14〜18
発達調査の概要と問題点	三宅正男	19〜24
生産の平準化を主眼とする施設用物品の新しい需給方式	大谷昌次	25〜31
自動即時用回線の算出方法 ── 部分共用方式, 切替装置を用いた迂回中継方式	加藤秀夫；瀧ケ崎喜吉	32〜39
全国テレビ中継網の設計 ── 運用のための諸装置を中心として	松本高士；海老原勇夫	40〜49
東京の中継線路網	藤原耕佐久	50〜54
クロスバ交換機用リード継電器の概要	池谷寛；神宮司順	55〜59
H41 号コンネクタの概要	永江悟朗	60〜64
H 形自動交換機の新しい装機方法	武居稔	65〜72
橋梁添架ケーブルの振動について（その 2）	吉村章雄；川上淳之助；松本和夫	84〜89
加入者宅内を保護する保安器の効用	若山利夫；杉山衛	90〜96
撤去印刷機の試用試験から	高橋久太郎；井田智雄；宮島利雄	97〜104
その後の無装荷多重方式 ── 商用試験から見た（その 3）	石原治；青江茂；陸川泰志	105〜114
海外技術紹介 欧米における宅内サービス	美間敬之；木村豊	115〜123
恵まれぬ農山漁村の通信設備	阿部功	124〜128
海外技術連絡室情報 ── インド	武重喜六	129〜133
川口電話局の水害による被害と仮復旧工事	保全局市内機械課	134〜135
建設部長会議録	小沢春雄	136〜137
新しい建築用材料の紹介 ── サツシュー	渡辺元	138〜139
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	140〜147
最近の海外雑誌から		148〜155
諸者の広場		156〜157
施設設計上よりみたトランジスタ短搬方式	加藤弘	73〜76
トランジスタ化した短搬方式（T-12S-Tr 方式）	石原治；藤田史郎	77〜83

Vol.10　No.11

日本電信電話公社施設局編集

論説 技術者の反省		12〜13
仕事と張り	石川武二	14〜15
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	輿寛次郎	16〜24
クロスバ交換機に採用した平形継電器と有極継電器	池谷寛；神宮司順	42〜46
加入電話需要調査の方法とその問題点	三宅正男；古都勝寿	47〜54
A 形バンク端子の磨耗現象とその対策	石川好男	55〜65
同軸ビデオ方式	石原治；前田光治；青江茂	66〜74
鉛被紙海底ケーブル接続工法の改善	武内宏	75〜78
マイクロウェーブにおける反射板中継方式の解説	高須勇；大迫泰造	79〜91
誤りが検出できる電信符号方式	茂出木孝男	92〜97
電力機器の脈動と雑音電圧	向笠和夫	98〜104
海外技術紹介 海外における見透外通信	小西一郎；谷池宏	105〜110
赤電話機における通話表示装置の改良	片岡利秋；栃川茂	111〜111
帯域時間登算装置における選出回路の改良	小林次郎；杉原治雄	112〜112
測定が簡単にできる補液兼用吸込比重計の改良	萱場久	113〜115
通信局めぐり ── 四国の巻 後進性は救われるか	鳥飼一太郎	116〜121
昭和 34 年度建設勘定予算案の概要	施設局管理課予算係	122〜125
「宅内保全の諸問題」を読んで	大野弘道；浅川敏夫	126〜129
私の考察 自動改式工事の工程管理に関する改善	五藤豊徳；小松昭；野口政美	130〜140
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	141〜143
海外技術連絡室情報 東南アジア各国の教育と訓練	井坂調査員	144〜147
輝く第 9 回電信電話記念日	星野	148〜149
津電話局だより 鈴鹿峠越し, ケーブル修理の一日	保全局線路課	150〜151
新しい建築用材料の紹介	高坂清一	152〜155
最近の海外雑誌から		156〜163
読者の広場		164〜165
座談会 中小都市向の電話 ── 「工事費低減方策に関する技術的諸問題」を巡って	高井春雄；森元和；青山清嗣；井上俊雄；勝田日出夫；杉村興作	25〜41

Vol.10　No.12

日本電信電話公社施設局編集

論説 技術者の成長		12〜13
公衆電話 60 年の歩み	久我泰三郎	14〜25
電波と法規	平本精一；田中正也；室生久雄；渡辺万寿治	26〜30
トラフィック需要予測の方法と問題点	三宅正男；矢頭澄生	31〜38
不可能地域の救済をいかにすべきか (1) －工事不能申込救済制度の改訂をめぐって－	今村徳輔；渡辺竜一；河井尚雄	39〜45
市内線路設計に関する経済比較法	小池賢二郎；駒村吉男	46〜55
構内交換電話指定用品の認定から見た新技術	小川豊一；大和信夫；広瀬琢朗	56〜65
建築技術面から見た同軸無人局舎の進歩	堤剛章；吉田邦男	66〜71
クロスバ交換機用熱継電器および冷陰極放電管	池谷寛；神宮司順	72〜75
残留側帯波法による長距離テレビジョン伝送方式	石原治；青江茂	76〜86
短区間のガス方式	若山利夫；矢部久；関口岩一	87〜92
新しい構造の多対 PVC 屋内線とその工法	大河内正義；重田袈裟美；竹村勝	93〜97
海底線と硫化水素ガス	武内宏	98〜102
テレビプログラム切替方式	木村正道	103〜110
名古屋電信総括局の方式	鈴木錠造；折井正好	111〜117
着信無料電話装置の改造	筧田安春；東海修一	118〜118
A 形機器におけるコヒラーの効果	北川政一	119〜120
加入電信伝送路の瞬断およびキャリヤストップ監視方式に対する改善	山下昭蔵	121〜126
通信局めぐり－大阪管理部の巻－“大阪電話のサービスあれこれ” ── 施設面からみて	内藤久応；赤井博郎；渡辺初男；松村勘三郎；山本栄；山野政信；松尾儀三郎；香月貞美；辻太郎；畠中欟；油谷文夫；針原主計；小阪貞夫; 太田勇	127〜135
“災害は忘れた頃に来る”伊豆の災害と復旧から思う	原田安雄	136〜142
海外技術連絡室情報 パキスタンの電気通信	西謙一	143〜146
エルサルバドルに旅して	山口彊	147〜149
－施設人のための事業知識（その 1）－昭和 33 年度の債務負担行為	小沢春雄	150〜152
最近の海外雑誌から		153〜159
新しい建築用材料の紹介	小野鶴蔵	160〜161
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	162〜165

Vol.11　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭のあいさつ	大橋八郎	12〜13
年頭所感	石川武二	14〜15
新年の抱負 ── 第一線各機関の長に聞く		16〜35
発達調査の巨視的取扱いとその問題点	三宅正男；野末正二	65〜72
ミリ波通信の研究	中村幸雄	73〜79
通信機器のトランジスタ化	緒方研二	80〜84
プラスチック化されたケーブル	若山利夫；矢部久	85〜90
先輩を訪ねて 新春対談	米沢与三七；和気幸太郎	36〜41
アンテナの知識	大槻由之助	91〜97
動く公衆電話の色々	田中正也	98〜102
専用設備の紹介 日通 3 形印刷電信中継機械化装置	神下金太郎；小久保昭次	103〜108
無駐在クロスバ局として誕生した平坂局と三河一色局	細川孝行；新井満男；神宮司順	109〜115
諸外国における電子交換機の動向	池谷寛	116〜122
最近の海外雑誌から		123〜130
仕様書面からみたメートル法	太田乾次郎	131〜133
－施設人のための事業知識（その 2）－分権制度	武田正司	134〜136
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	137〜141
新しい建築用材料の紹介	竹内正二	142〜144
座談会 新春展望	石川武二；米沢滋；佐々木卓夫；平山温；小島哲；和気幸多郎；所寅雄；税所正芳	42〜64

Vol.11　No.2

日本電信電話公社施設局編集

論説 事業を動かすものは人である		12〜13
新年度を迎えて	横田信夫	14〜15
海外技術援助計画の諸問題	木下正文	16〜21
ジュネーブの休日（第一話）－電信電話主管庁会議に出席して－	千代健	22〜26
アメリカにおける IDP の実情	新堀達也	27〜31
回路部品の研究	武藤時雄	32〜38
最近における伝送方式の発展 ── イギリスの巻	北原安定	39〜45
長期計画における改良率の建設単金に及ぼす影響 ── 巨視的長期計画策定の一方法	吉岡正雄	46〜52
長距離即時サービスの現状と問題点	作道由男；梅沢俊一	53〜61
仙台 LTS の概要	南隆蔵；細川孝行；美間敬之；山部正一；江口新太郎	62〜76
新市外ケーブルの構成	勝丸国三；矢部久；戸塚昌男	77〜86
自動局機械統制の解説（その 1）－ A 形を主体として－	石川好男；大滝寿朗	87〜93
三和・香良州・六甲・竜王クロスバ局その後の保守	斉藤浄	94〜100
商用試験結果からみた同軸ビデオ方式	石原治；前田光治；青江茂	101〜110
2,000Mc マイクロウェーブ回線を保守して（その 1）東京－甲府の巻	大場清次	111〜114
専用設備の紹介 日通 11 形印刷電信中継機械化装置	神下金太郎；小久保昭次	115〜120
クロスバ用の整流装置	須藤秀敏；塩見栄次郎	121〜127
102 号インパルス試験器の改造	真中和夫	128〜130
計数放電管利用による A 形増圧式加入者度数計監視装置	柏木博	131〜131
列監視信号装置の簡易化	栗原武雄	132〜132
試験台の話中調べ申告をどう見るか	児島義昌	133〜134
共電式局における局内障害対策	高橋善得	135〜141
私の現場訓練メモ	保全局管理課	142〜147
箱根の表玄関 小田原の特異性	浅見秀周	148〜152
ローカル施設と近代的サービスと	大川千国	153〜157
－施設人のための事業知識（その 3）－建設勘定の定員	小沢春雄	158〜159
施設部長会議録	小沢春雄	160〜161
資材部長会議録	新保武雄	162〜163
新しい建築用材料の紹介	向井覚	164〜165
最近の海外雑誌から		166〜171
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	172〜177

Vol.11　No.3
日本電信電話公社施設局編集

理解と協力	平山温	14〜15
ジュネーブの休日（第二話）－電信電話主管庁会議に出席して－	千代健	16〜21
アメリカのプラスチックケーブル	妻藤達夫	22〜27
アメリカの市外交換技術の背景 ── 料金制および各種の市外通話サービス	広田憲一郎	28〜36
海外技術連絡室情報 フイリッピンの電気通信サービス	三原祐登	37〜40
近く東京で開かれる通信専門会議	技師長室海外技術連絡室	41〜43
半導体の研究	新美達也	44〜49
周波数帯域の経済化よりみた広帯域伝送方式の考察	廻健三	50〜56
集中局以下の損失配分計画の考え方	塙武夫；米沢威行；笠原良守；伊藤和美	57〜66
新しい公衆電話機の登場 ── 小形卓上公衆電話機の実月化	美問敬之；久我泰三郎	67〜73
秘話式 2 共同電話 ── 設計上の諸問題	大久保弘六	74〜83
地域団体加入電話用の新交換装置	石田義典	84〜90
貴金属を用いたワイパ	池谷寛；中山正和	91〜96
自動局機械統制の解説（その 2）－ A 形を主体として－	石川好男；大滝寿朗	97〜104
スタルペスケーブルの採用	桧山啓吾；沼口隆四郎；鈴木千代蔵；富沢豊	105〜111
架空鉛被ケーブルの昆虫による被害	宮本秀雄	112〜118
SF-B3 方式（マイクロ小形化）の設計上の主眼点（その 1）	土井博之	119〜127
実用化されるゲルマニウム整流器	須藤秀敏；塩見栄次郎	128〜137
私の考察 加入電信宅内装置の再起動障害とその対策	山下昭蔵；土屋典男	138〜142
私の現場訓練メモ	保全局管理課	143〜147
現場だより 北のさいはて 稚内の通信	林太重	148〜151
施設記録の取扱いはこのように変りました	小島敏衛	152〜155
今回の機構改正の要点	生出勝次郎	156〜160
昭和 34 年度建設勘定予算の概要	施設局管理課予算係	161〜166
最近の海外雑誌から		167〜173
－施設人のための事業知識（その 4）－貯蔵品割掛費	藤田政晴	174〜175
新しい建築設備用材料の紹介	宮本勝一	176〜178
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	179〜181

Vol.11　No.4
日本電信電話公社施設局編集

昭和 34 年度技術の動向	緒方研二	14〜19
昭和 34 年度第 1 次実施計画の概要	北原安定	20〜26
加入電信の保全サービス	大谷薫	27〜30
市内電話長期計画の作り方（その 1）－第 2 次 5 ヵ年計画の改訂をめぐって－	角田和男；渡辺卓哉	31〜42
電話機設置基準の改訂 ── 標準機種の普及と旧形機種の陶汰	高井春雄；小川豊一；兼坂静雄	43〜51
新市外局の建設にともなう諸問題	川田大介	52〜56
アメリカの宅内サービス	広田憲一郎	57〜65
半導体パラメトロンの話	太田乾次郎	66〜71
自動局機械統制の解説（その 3）－ A 形を主体として－	石川好男；大滝寿朗	72〜80
新しい局内成端に使われる 3 号特殊混和物	牛島昭	81〜86
新しい距離ならびに抵抗直読の線路障害測定法	梶山晋	87〜92
SF-B3 方式（マイクロ小形化）の設計上の主眼点（その 2）	土井博之	93〜104
蓄電池の浮動電圧は 2.15V でよいか	須藤秀敏；塩見栄次郎	105〜107
磁石式直流ダイヤル発信回路におけるダイヤル回路ならびに扱者電話回路の改造	真中和夫	108〜109
公衆電話に対する通知台サービスについて	隅田順一郎	110〜110
6 号 25 ヶ付トランクスイッチ試験器	伊藤博治	111〜112
40 回線 1 号 A 共電式構内交換機交換手回路の改造	岡部学	113〜113
障害の発見が遅れないために ── TOK（異常なし）は果して異常ないか	芦原一夫	114〜116
市内, 市外結合コンネクタ計算法の再検討	中村千之	117〜121
私の現場訓練メモ	保全局管理課	122〜126
2,000Mc マイクロウェーブ回線を保守して（その 2）名古屋－高山の巻	伊藤彰	127〜134
現場だより 浮雲に飛ぶ電波 ── 南国, 鹿児島の無線通信	梅林一男	135〜138
工事用車両の配備基準	棚木大；伊吹皎	139〜144
工事用車両の整備計画を担当して	吉田博	145〜149
施設人のための事業知識（その 5）－電気通信設備の請負工事－	小沢春雄	150〜151
保全部長会議録	小島敏衛	152〜153
最近の海外雑誌から		154〜158
新しい建築設備用材料の紹介	宮本勝一	159〜162
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	163〜171

Vol.11　No.5

日本電信電話公社施設局編集

論説 計画技術の認識		14〜15
新しい工作工場の運営	杉田虔二；大野弘道	16〜21
市内電話長期計画の作り方（その 2）－第 2 次 5 ヵ年計画の改訂をめぐつて－	角田和男；渡辺卓哉	22〜33
市外電話料金体系における技術上の問題点	飯田穣治	34〜40
東京の局番オール 3 数字化へ	高山正一郎；加藤秀夫	41〜48
電波伝播の研究	深海規	49〜54
41 号形磁石式電話機の誕生	阿部正雄；馬場志津夫	55〜60
新しい加入者宅内サービス ボタン電話装置	石田義典；大和信夫	61〜69
自動交換機の新しい工法	高山正一郎；福冨礼治郎；武居稔	70〜76
自動局における回線雑音の実体	池谷寛；朝比奈一；飯村治	77〜81
自動局機械統制の解説（その 4）－ A 形を主体として－	石川好男；大滝寿朗	82〜89
ダイフロンガスによる直埋地下ケーブルの鉛被障害探索方法	吉村章雄；坂井健吉	90〜97
市内および中継ケーブルの局内成端工事の改良	牛島昭；倉茂正一	98〜107
600ch の実装成る！ SF-B3（マイクロ小形化）方式商用試験	土井博之；庄司正志；桑原守二	108〜115
電信時数計の概要とその利用法	斎藤忠四郎；清水幸二	116〜121
同期方式による加入電信集信方式	高橋久太郎；原田栄彦	122〜128
ZZZ 装置の改良 ── 予報音送出時間の短縮について	小林稔	129〜130
テストコードの試験装置	庄司喜勇	131〜132
私の考察 市街地における電源装置の騒音対策の一例	酒井昇；斎藤八郎	133〜136
現場だより 誕生間もない杉並電話局	山本英一郎	137〜143
私の現場訓練メモ	保全局管理課	144〜147
工事の機動化 工事連絡用車両無線機	原田阿久利；池本晴雄；田口信也	148〜153
施設人のための事業知識（その 6）臨時雇制度	小沢春雄	154〜155
最近の海外雑誌から		156〜161
建設部長会議録	小沢春雄	162〜163
資材部長会議録	依田貞夫	164〜165
新しい建築設備用材料の紹介	宮本勝一	166〜170
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	171〜177
研究実用化報告		178〜178

Vol.11　No.6

日本電信電話公社施設局編集

論説 国際通信と日本の立場		12〜13
電気通信東京会議の 2 週間		14〜31
昭和 33 年度施設用物品の調達実績と昭和 34 年度の調達計画	初見辰二	53〜60
アメリカのガスケーブル方式の動向 ── ガス吹流し方式	妻藤達夫	61〜64
自動交換機用試験機の新しい常備標準 ── 統計的方法による算出根拠	石川好男；辻明；味村重臣	65〜69
パンザーマストの試用試験結果と今後の方針	山口開生；鈴木欽也	70〜76
同軸ケーブルの障害	池本晴雄；小林孫四郎	77〜84
6Mc 同軸方式によるテレビ伝送の商用試験	石原治；貝塚博；青江茂；平塚憲一	85〜93
トランジスタ化された簡易無線機 ── TZ-67 形可搬無線機	土井博之；神門盛義	94〜104
縦と横から見た電報中継交換回路（その 1）	鈴木義彦；木植和夫	105〜109
新聞紙面の高速度ファクシミリ電送	黒岩庄吉；石川光雄	110〜115
電信機械化中継回線のマージュ測定	二川高秋	116〜118
自励交流発電機の解説	横坂敏夫；斎藤礼一	119〜122
ホールソートカードを利用した市内線路台帳	花岡達郎	123〜127
現場における線路施設の数量管理	成沢泰四郎	128〜132
H 形ワイパの磨耗とその原因	保坂実；宮沢昌男；西原純郎	133〜135
私の現場訓練メモ	保全局管理課	136〜141
農村の通信センター 富山県福野町	塩野友次郎	142〜147
段々畠に囲まれた四ツ浜電話中継所	山内義高	148〜149
半導体をめぐる諸問題	白根禮吉	150〜155
施設部長会議録	小沢春雄	156〜157
計画部長会議録	松本馨	158〜160
施設人のための事業知識（その 7）予算実行計画	小沢春雄	161〜163
最近の海外雑誌から		164〜170
新しい建築設備用材料の紹介	宮本勝一	171〜174
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	175〜182
研究実用化報告		183〜183
座談会 1 千億工事完遂への近道 ── 横たわる隘路の究明と解決策	北原安定；桑原源太郎；菅原正夫；土居靖夫；初見辰二；瀬谷信之；藤栄造；土屋進；江川直正；鳥居正也；岩館新一	32〜52

Vol.11　No.7

日本電信電話公社施設局編集

特集 大阪新市外局展望	川田大介；南隆蔵；小原明；山本周三；有田博光；小野哲男；桧山啓吾	54〜88
建築工事監理の意義と工事監督員の任務	佐藤亮	89〜92
「ブンケン」の実際	橋本真澄	93〜106
わが国の自動交換の過去, 現在そして将来は ── 自動交換 40 年を回顧して	渡辺孝正	107〜111
防衛庁における通信とエレクトロニックス	肥後大介	112〜116
押ボタン形の PBX“10 回線 3 号共電式構内交換機”	石田義典；坂本朔二郎	117〜124
マンホール内漏溜ガスの危険防止	田中全之助；松本和夫	125〜131
ボルメット放送回線の概要 ── 対航空機気象放送	朝比正雄；当間健治	132〜135
縦と横から見た電報中継交換回路（その 2）	鈴木義彦；木植和夫	136〜142
ねじの話 ── 印刷通信機用ねじを中心に	大森昭吾	143〜150
交流無停電電源装置のその後	山田藤次郎；内田義昭；上池啓一	151〜156
引続いて同じスイッチにどのくらい接続されるだろうか ── 現場調査のデータを基にして	上野恒夫；大橋俊一郎；伊藤兼治；杉本幸彦	157〜161
PO 障害はなぜ減らぬ	槇尾喜策	162〜166
ケーブル高抵抗地気障害位置測定法の分析	村上護	167〜170
即時回線計画上からみた呼量測定回数の検討	谷軍三；加藤裕三	171〜174
“博物館的”な京都上分局	赤堀鉄舟	175〜180
オペレーションズ・リサーチの手法による実況調査	佐々木昭	181〜186
“SiC バリスタ”とは	浅野勝；三上肇	187〜191
施設人のための事業知識（その 8）市町村納付金	小沢春雄	192〜194
最近の海外雑誌から		195〜201
新しい建築設備用材料の紹介 ── ワイヤダクト	宮本勝一	202〜203
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	204〜216
研究実用化報告		217〜217
特集 昭和 33 年度建設勘定工事を顧みて	税所正芳；飯田穣治；北原安定；青山清嗣；高井春雄；有田博光；野村治雄；野村隼一；菅原正夫；藤栄造；伊藤英一；森井常吉；扇谷正之介	14〜53

Vol.11　No.8
日本電信電話公社施設局編集

論説 加入電話 300 万と国民経済への寄与		12〜13
海底線の今日と将来	木村光臣	14〜21
技術委員会の答申よりみた新技術の動向	緒方研二	22〜29
通話品質の研究	三浦種敏	30〜35
沖縄の通信	渥美玄	36〜39
フランスの海底同軸見聞記	鈴木虎夫	40〜49
箱番からスマートな個室へ ── 新市外局に設けられた工事要員室	川田大介	50〜53
新しく制定された損失配分基準	塙武夫；勝丸国三；前田光治；笠原良守	54〜63
本配線盤の行詰りはもう恐くない！！ ── 新本配線盤および結合配線盤	高山正一郎；森島徳樹	64〜70
新しい A 形の試験機（その 1）	石川好男；村瀬邦夫；森尻茂；大滝寿朗	71〜78
軌道に乗った帯域外周波方式の展望	上遠野浩	79〜87
VFD（H 形）方式における市外通話品質の改善	酒井和義；岩井新次；赤川明	88〜92
新しいコンクリートポールバンドの装柱	杉田昭；桝沢磋	93〜101
油圧式貫入試験機の取扱い解説	棚木大；本田三郎	102〜111
トランジスタ化された 通話路変換装置と搬供装置	貝塚博；石川光雄	112〜119
躍進するマイクロ技術 6,000Mc 広帯域中継方式 (SF-U1)（その 1）	土井博之	120〜128
縦と横からみた電報中継交換回路（その 3）	鈴木義彦；木植和夫	129〜135
配電設備 6kV 昇圧にともなう補償基準の解説とその問題点	川北多美之佐	136〜145
市内線路の切替方法	高橋忠一郎	146〜152
保守要員の個人別技能管理の一方法	榎本正治	153〜156
伊豆大島町	伊沢義男	157〜163
北海道の電信センター	森山謙次郎	164〜168
高速度海底線埋設機	土谷宇三四；武内宏	169〜175
千代田丸乗船体験記	中村鉄治	176〜177
保全管理方式のその後の歩み	田村裕	178〜186
新しい建築設備用材料の紹介 ── リモコンスイッチ	宮本勝一	187〜191
提案制度から	施設局管理課考査係	192〜194
施設人のための事業知識（その 9）資産充当弾力	小沢春雄	195〜197
最近の海外雑誌から		198〜203
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	204〜213
ニュースフラッシュ		214〜214
研究実用化報告		215〜215

Vol.11　No.9

日本電信電話公社施設局編集

論説 巨視的な立場		12〜13
建設局の発足に当って	税所正芳	14〜17
臨時東京大阪市外局設計室の発足と今後の問題	大谷昌次	18〜21
技師長室と電気通信研究所の機構改正	宮崎政義	22〜25
研究の重要性	肥爪亀三	26〜28
平準発注の一方式 ── A 常備制度の拡大	初見辰二；小路信一	29〜33
岩国－小郡間同軸ケーブル線路工事から	牧村常松；荻原栄治	34〜40
フランスの線路技術	北川泰弘	41〜48
マイクロ回線に収容した搬送電信の試用成績	大谷薫；和田英男	49〜55
新しい A 形の試験機（その 2）	石川好男；村瀬邦夫；森尻茂；大滝寿朗	56〜64
PBX における新しい構内配線方法	武居稔；井上忠行	65〜73
合板は交換機にも進出した	阿部正雄；石田義典；坂本朔二郎	74〜82
交流を使用した市外台集中方式	志沢美夫；大野勉	83〜92
T-12-Tr 方式の概要	藤田史郎	93〜102
通話路変調器用の搬送電流	伊藤瑛二；高橋竜雄	103〜106
躍進するマイクロ技術 6000Mc 広帯域中継方式（その 2）(SF-U1)	土井博之	107〜121
アルカリ蓄電池を用いた新しい磁石局用電源装置	横坂敏夫；大川五雄	122〜127
10 回線 H13 号対交換機レビーター回路の改造	内山末吉	128〜129
SH-1 号 VFA 盤の回路改造	鳥山賢二	130〜131
京都中話式配線法	北川清	132〜135
弛度計算に便利な 3 次方程式の計算図表	増子広市	136〜138
専用電信回線の夜間休止時におけるバイブレーションの防止	福地豊次郎	139〜141
私の考察 予備機の問題 ── OR 的な実施例	佐藤完二；岩下善吉；藤森和美；大橋三喜男；足助三男	142〜149
観光都市軽井沢と電信電話	伝田今朝春	150〜153
夏山の通信施設	阿部功	154〜159
速かな景気回復と今後の課題 ── 34 年度経済白書から	谷山陽	160〜166
自動車・軽車両の日常整備ハンドブック	棚木大；柳井優；水深十四清；三上健次	167〜179
施設人のための事業知識（その 10）直営と請負	小沢春雄	180〜181
最近の海外雑誌から		182〜188
新しい建築設備用材料の紹介 ── 熱電対火災感知線	宮本勝一	189〜193
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	194〜197
ニュースフラッシュ		198〜199
研究実用化報告		200〜200

Vol.11　No.10

日本電信電話公社施設局編集

巻頭言 創刊満十周年の言葉	平山温	14〜15
「施設」創刊満十周年に寄せて	林一郎；中尾徹夫；石田義光；佐々木卓夫；高井春雄；成沢泰四郎；大前義次；深田瑞穂；小沢春雄	16〜29
座談会 お客さんの立場から見たマイクロウェーブ	三熊文雄；杉山一男；窪田亮明；村田孟；黒川広二；宮川岸雄；初見辰二	30〜42
マイクロ波方式の発達を顧みて	鈴木清高	43〜49
マイクロ波中継方式の設計	柿田潔	50〜56
マイクロ波回線の諸装置	土井博之	57〜61
マイクロ波伝ばんと置局	高須勇；三野昇	62〜70
マイクロ局の電源装置	有田博光	71〜75
マイクロ波回線と搬送装置	山本周三	76〜79
マイクロの局舎と道路, これからの問題	高柳仁；穴沢邦彦	80〜89
マイクロ波回線の現況	小西一郎；谷池宏	90〜105
座談会 マイクロ波 5 年の歩み ── 建設・保守に従事した現場技術者を囲んで	牛島義男；川本治雄；都司芳敬；井上良三；杉原三吾；三沢幸夫；丸井元；坂本忠勝	106〜124
電子交換の研究	川崎秀夫	125〜130
磁石式交換方式の問題点	高柳晃	131〜138
新しい A 形の試験機（その 3）	石川好男；村瀬邦夫；森尻茂；大滝寿朗	139〜145
市外 PEF-P ケーブル ── 設計・構造・接続工法	妻藤達夫；朴木実；山口開生；桝沢磋；鈴木欽也；若木正明	146〜162
雪と裸線路（その 1）	木村敏雄	163〜168
試作 VT24 形搬送電流供給架装置	高橋久太郎；黒岩庄吉；林竜彦	169〜179
アタミ国際観光温泉文化都市	内藤政次	180〜182
雲仙の四季	堀保助	183〜188
新工法シリーズ「新工法シリーズ」の企画に当って	岩館新一；桝沢磋	189〜191
AGC の保全調査報告 ── 実験計画法による実施例	小野仲三郎；諸星三代治；藤森和美	192〜198
工事用車両に関する二つの見解		199〜208
施設人のための事業知識（その 11）会計検査院	藤田政晴	209〜211
新しい建築設備用材料の紹介－光天井	宮本勝一	212〜215
最近の海外雑誌から		216〜221
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	222〜234
ニュースフラッシュ		235〜235

Vol.11　No.11

日本電信電話公社施設局編集

論説 災害防止と不燃都市		12〜13
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	後藤和夫	14〜21
タイ国の電気通信事業	山田捨録	22〜29
特集 再出発した第 2 次 5 ヵ年計画 ── 改訂の経緯とその内容	武田輝雄；三宅正男；角田和男；井上俊雄；鈴木一松；緒方研二	30〜87
伊勢湾台風中部日本を襲う	土居靖夫；神谷輝男	88〜97
去年狩野川, 今年伊勢湾 ── 2 年続きの災害と斗う東海局	有賀主一	98〜108
新東京中央電報局の設計概要	勝見正雄	109〜122
TX5 形電信中継交換方式 設計上の諸問題とその検討	勝見正雄	123〜132
加入電話需要の実態とその動向	三宅正男；野末正二；古都勝寿	133〜141
技術訓練の現状とその問題点	工藤隆三	142〜147
騒音は果して解消できるか！ ── 電力室等の二, 三の騒音対策について	飯塚裕；管野義隆；梶田定雄	148〜159
キャビネット形の AF 形自動式構内交換装置	石田義典；秋庭弘	160〜167
雪と裸線路（その 2）	木村敏雄	168〜173
私の考察 話中調べと話中率	菅野忠三	174〜180
私の考案 共同電話受話器半掛の対策	植田清志	181〜181
神秘と伝説の地 淡路島	岩沢甚太郎	182〜186
搬送新技術のセンター 青森東統制電話中継所	山本常一	187〜195
研究活動から見た科学技術の現状	玉置琢三	196〜200
自動車・軽車両の日常整備ハンドブック	棚木大；柳井優；水深十四清；三上健次	201〜208
新工法シリーズ		209〜211
第 10 回電信電話記念日	星野誠吉	212〜213
施設人のための事業知識（その 12）固定資産の撤去	小沢春雄	214〜215
施設部長会議録	小沢春雄	216〜217
建築部長会議録	川中徳重	218〜219
保全部長会議録	宗雪満夫	220〜222
新しい建築設備用材料の紹介 ── 連結式接地棒	宮本勝一	223〜228
最近の海外雑誌から		229〜235
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	236〜245
ニュースフラッシュ		246〜247

Vol.11　No.12

日本電信電話公社施設局編集

論説 長距離通信方式の将来		12〜13
東名阪同軸ケーブル方式回線開通に際して思う	黒川広二	14〜15
同軸ケーブルの憶い出	宮川岸雄	15〜16
同軸方式雑感	岡村進	16〜17
開通おめでとう	北原安定	17〜18
同軸ケーブル方式の発展	木村光臣	19〜22
同軸ケーブル方式の方式設計	緒方研二	23〜33
同軸ケーブル方式の線路設備	青山清嗣	34〜60
同軸ケーブル方式の搬送設備	勝田日出夫	60〜72
同軸ケーブル方式の電源装置	有田博光	73〜77
同軸回線の現況	神谷輝男；土居靖夫	78〜95
同軸ケーブル方式の将来	妻藤達夫	96〜105
座談会 発展期の同軸方式を語る ── 現場で感じたまま	岡本周三；安藤基次；大塩光；小泉園平；近藤哲男；橋本保；高橋碵男；神谷輝男	106〜130
完成した小形卓上公衆電話機	阿部正雄；久我泰三郎	131〜137
1 号ボタン電話装置の設計と工法	武居稔；菅原潔；大和信夫	138〜145
51 形磁石交換機 ── 小形表示器の使用と紐の増設	坂本朔二郎；大野勉	146〜154
VF2 形 1 号模写電送機（国鉄用）の概要	折井正好；茂出木孝男	155〜161
託送電報における照合方式	高橋久太郎；辻岡健	162〜167
仙台 LTS 建設工事面より	原七郎；深海健三	187〜202
技術革新の母体 電子技術の動向	小菅正夫	203〜209
リュピング法を採用した場合の原価に与える影響	越武雄	210〜213
H 形自動電話局における交換部品の貯蔵計画	中塩功	214〜220
待合せ行列論による統制台勤務者数決定の一方法	岩山政敏	221〜225
公衆電話機の保全管理	村上文章	226〜232
資材配給局における作業管理の序論としての錯誤の問題	黒木誠一	233〜236
新工法シリーズ 市外 PEF-P ケーブルの補強工法	若木正明	237〜239
施設人のための事業知識（その 13）道路占用の問題点	小沢春雄	240〜241
新しい建築設備用材料の紹介 ── 平体ビニール外装ケーブル	宮本勝一	242〜246
最近の海外雑誌から		247〜252
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	253〜268
ニュースフラッシュ		269〜269
座談会 在庫管理成功の秘訣 ── 資材調達の変遷より眺めて	税所正芳；大谷昌次；原田美信；種村省三；丸岡信次郎；伊藤伍一；初見辰二	168〜18

Vol.12　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭所感	横田信夫	4〜5
新春雑感	石川武二	6〜7
第二の人生		8〜33
特集 各部門から見た計画の完遂方策と問題点 ── 黄金の年に始まる改訂第 2 次 5 ヵ年計画		52〜81
公社における色彩管理調査委員会の歩み	多田武	82〜83
電力施設色彩調節の効果について ── 色彩管理調査委員会第四次報告	飯塚裕；梶田定雄	84〜88
アジアの電気通信 ── 1960 年の展望	船津重正	89〜93
ジュネーブ無線通信主管庁会議に出席して	林新二	94〜97
フランスの電話局だより	粟野敏雄	98〜100
電子管の研究	桑田正信	101〜106
日本国と大韓民国間における在日米軍専用市外電話回線に関する日米合同会議	肥後大介；福永忠義；新井俊一	107〜111
躍進する専用電信回線	鈴木錠造	112〜117
京都および名古屋新局用ゲルマニウム電源装置の商用試験	横坂敏夫；塩見栄次郎	118〜124
これからの保全体制はどうあるべきか ── 大阪生野分局の紹介	大田武	125〜132
施設人のための事業知識（その 14）債務負担行為の変遷	小沢春雄	133〜135
資材部長会議議事録	依田貞夫	136〜137
新工法シリーズ ── 本配線盤, 結合配線盤の付線色別法	牧野正男	138〜142
新しい建築設備用材料の紹介 ── 水中モータポンプ	新井忠美	143〜147
最近の海外雑誌から		148〜157
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	158〜170
座談会－新春放談－私が予想する十年後の電信電話	三宅正男；西林忠俊；橋本真澄；高井春雄；土居靖夫；大谷薫；初見辰二；林新二；緒方研二	34〜51

Vol.12　No.2

日本電信電話公社施設局編集

論説 公社技術の国際性		12〜13
昭和 35 年度建設勘定第 1 次実施計画の特徴	橋本真澄	14〜18
新しい保全工事用物品の在庫管理方法	田村裕；岩崎弘；大前義次	19〜29
同軸ケーブル線路工事における 2 号接触器試験実施上の諸問題	藤栄造；永山帯孝	30〜34
ジュネーブ周波数分配表 ── ジュネーブ無線通信主管庁会議より	林新二	35〜43
自動電話交換局における度数計カバー彩色のための実験 ── 色彩管理調査委員会第 5 次報告	飯塚裕；梶田定雄	44〜49
わが国初のサービスを始めた仙台 LTS ── 附帯工事試験と開通後の状況	今川貞郎；今野守；高平高	50〜67
クロスバ交換機を保守して	采女浩	68〜76
自動交換機保守作業の標準化 ── 作業標準実施方法の制定	池谷寛；大滝寿朗；小林芳男	77〜83
鉛被ケーブルの虫害対策	田井野治郎；大前義次；森安勇	84〜90
1ch 搬送電信装置の設計と適用	林龍彦；久野庸夫	91〜95
ゲルマニウム整流器の保護回路	太田乾次郎	96〜102
市内交換局の伝送特性 ── 交換局内損失・対地不平衡	朝比奈一；加藤勇	103〜112
5 号 B 交流ダイヤル発信装置の改造	白川昭弥	113〜113
気象サービス用 6 号 CA レピータにおける擬似インパルスの発生とその防止方法	木村偉一	114〜115
気象サービス用 6 号 CA レピータの問題点	石本洋輔	116〜118
ケーブル心線全線障害の場合の一測定法	中川恒夫	119〜120
ガスケーブルにおける地下温度決定法の一案	増子広市	121〜122
昭和 35 年度建設勘定予算案の概要	麻井栄一	123〜126
施設人のための事業知識（その 15）共通工事費	小沢春雄	134〜135
最近における電気関係の技術導入の実体	村山好久	136〜138
新工法シリーズ 改訂する裸線と PVC 屋外線の接続工法	重田袈裟美；中村昭夫	139〜144
新しい建築設備用材料の紹介 ── MY 式ボールタップと電極式液面制御器	西郷敏行	145〜149
最近の海外雑誌から		150〜161
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	162〜171
ニュースフラッシュ		172〜173
北見通信	久木田伍一	127〜133

Vol.12　No.3

日本電信電話公社施設局編集

論説 千五百億工事完全消化への道		10〜11
各国データ伝送の問題点 ── CCITT 問題 43 作業部会の活動について	大谷薫	12〜16
電信施設色彩調節の効果について ── 色彩管理調査委員会第 6 次報告	飯塚裕；梶田定雄	17〜25
フランスの電話局だより（第 2 話）	粟野敏雄	26〜28
ウエスタン・ユニオン電信会社の訓練センター ── 新技術導入訓練の参考のために	佐藤喜一	29〜32
C21 形クロスバ交換機 ── 標準化の完成	石川好男；福富礼治郎；三好明義	33〜44
ダイフロンガスによる管路ケーブルの鉛被障害探索方法	坂井健吉	45〜56
トランジスタ化された T-8S-Tr 方式	石原治；藤田史郎；一色博	57〜62
衝撃性雑音の妨害についての考え方 ── 特に交換機雑音について	都丸喜成	63〜66
私の考案 試験台試験紐回路の改造	荒牧多喜男	67〜67
市外集中回線および座席数算出の簡略化	谷軍三；柴田改次；加藤祐三	68〜71
市内ケーブルの障害測定の迅速化	松本清	72〜72
回線架 900A リレーの障害対策	二川高秋	73〜77
現場だより 館林と館林電報電話局	星野操	78〜79
分権に伴う「設備計画および工事計画の区分」改正の要点	出村喜蔵；原由之助	80〜84
工事用車両配備標準の設定にあたって	棚木大；伊吹皎	85〜92
新工法シリーズ 本配線盤・結合配線盤の付線色別法（続）	牧野正男	93〜97
施設人のための事業知識（その 16）特別調査費	小沢春雄	98〜99
最近の海外雑誌から		100〜107
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	108〜130
ニュースフラッシュ		131〜131

Vol.12　No.4
日本電信電話公社施設局編集

論説 大工事量をいかにこなすか		12〜13
画期的拡張工事の全貌とその対策	木村光臣	14〜17
昭和 35 年度新技術の動向	緒方研二	18〜22
昭和 35 年度設計方針の展望		23〜58
昭和 35 年度の調達計画と調達方針	初見辰二	59〜69
昭和 35 年度局舎建設計画の概要	鹿毛義次	70〜72
クエート風土記	山口六之助	73〜79
ニューヨークの電話	山内正弥	80〜85
米国遊学記 ── アメリカの大学教育と学生	田中浩太郎	86〜91
海外だより ── CCITT 会議模様	三原裕登	92〜93
神戸広島間同軸ケーブル施設工事線路設計の概要	上条清二郎	94〜102
線路品管の考え方（その 1）– 市内線路関係について –	橋本満男	103〜109
建築本体の色彩調節について ── 色彩管理調査委員会第 7 次報告	飯塚裕；管野義隆；梶田定雄	110〜115
名古屋新市外局の工事現場	井口重人	116〜122
A 形の新設計法 ── 架構造とセレクタ架	福富礼治郎；小口修；但馬昭；村瀬邦夫	123〜130
緊急通報装置の実用化 ── 公衆電話から貨幣なしで 110 番, 119 番へ連絡可能	久我泰三郎	131〜136
電話回線の残留損失	都丸喜成；名倉康秋	137〜148
私の考案 A 形 ZZ, ZZZ レピータの長時間通話に伴う警報処理の改善方法	菊岡広	149〜149
秋田県湯沢局の鉛被腐蝕を分析して	今野彦正；石田信	150〜151
オペレーションズ・リサーチ入門（その 1）	唐津一	174〜181
施設人のための事業知識（その 17）物品準備要求	小沢春雄	182〜183
建築部長会議録	川中徳重	184〜185
施設部長会議録	小沢春雄	186〜187
新工法シリーズ 市外 PEF-P ケーブル架渉工法の改訂について	若木正明	188〜191
最近の海外雑誌から		194〜202
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	203〜219
ニュース・フラッシュ		192〜193
座談会 体質改善が望まれる監督業	佐藤栄；井口重人；中山義樹；猪俣秀男；星野繁夫；田中彰二；大串真平；五十嵐国助；荒幡金蔵；小林篤；川鍋洸；武石丈夫；小川茂	152〜173

Vol.12　No.5

日本電信電話公社施設局編集

明日のために	石川武二	14〜15
今日の課題	米沢滋	16〜18
座談会 千億工事の回顧と千五百億工事完遂秘策	宮崎政義；井上俊雄；土居靖夫；鈴木清高；庄司茂樹；堀江義雄；菅原正夫；木村光臣；小川茂；初見辰二；大谷昌次；勝田秀雄；所寅雄；橋本真澄	20〜39
電気通信のさまざま ── 監理官室と公社以外の電話	鳥居正也；吉田周正；益尾興；大原文夫	40〜49
線路品管の考え方 ── 市外線路関係について（その 2）	橋本満男	50〜59
米国遊学記 ── アメリカの電話会社に学ぶ（その 1）	田中浩太郎	60〜66
局舎設計の標準方式の進め方	高柳仁；喜多幸次郎	67〜72
マルチ局の新しい考え方 ── 近接マルチ方式の採用について	渡辺卓哉；坂口正人；渡辺辰郎	73〜84
C41·51 形クロスバ交換機 ── LS 階梯を中心として	石川好男；中島一；式場英	85〜96
新しい A 形ラインファインダユニットの実用化	村瀬邦夫	97〜103
改良形コンクリートポール	永戸謙二	104〜110
トランジスタ化された音放中継装置	陸川泰志	111〜115
トランジスタ多重搬信の設計	高橋久太郎；岸上利秋；林竜彦；江頭望	116〜123
PT 用ヒューズ管の遮断試験	向笠和夫；近藤実	124〜126
ラインファインダ試験機ならびに試験回路の改造	真中和夫；深山謙治	127〜127
H 形試験台信号回路の改造	植田清志	128〜130
私の考察 同軸ケーブル方式の無駐在局非常災害時の回線救済方法	磯野徳広；和田浩	131〜135
東京電話局番 3 数字化 一斉切替工事とその成果	野口謙也；下鳥太郎	136〜150
オペレーションズ・リサーチ入門（その 2）	唐津一	151〜163
最近の海外雑誌から		164〜169
予算成立経過と拡充法	小沢春雄	170〜171
移動サービス	綾正行	172〜177
新工法シリーズ クロスバ局における 4 号 B 結合配線盤工法	梶原和雄	178〜183
施設人のための事業知識 ── 建設工事の報告（その 18）	小沢春雄	184〜185
資材部長会議録	依田貞夫	186〜187
保全部長会議録	平尾勇	188〜189
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	190〜207
ニュースフラッシュ		208〜209
仕様書便覧の活用について		19〜19

Vol.12　No.6

日本電信電話公社施設局編集

論説 クロスバ方式の導入について		12〜13
標準形クロスバと共に	小島哲	14〜17
クロスバ特集		34〜99
座談会 私の見たクロスバ交換機	浅野進；深海健三；吉岡延夫；神宮司順；田崎兵庫；島田忠一；三島洋一；伊木市郎；岩田満；飯田穣治	100〜114
海外技術連絡の実績と計画	山田捨録	115〜119
昭和 34 年度施設用物品調達の実績	初見辰二	120〜126
各国データ伝送の問題点（Ⅱ）	大谷薫	127〜131
CCITT 会議に出席して	三原裕登	132〜140
米国遊学記 ── アメリカの電話会社に学ぶ（その 2）	田中浩太郎	141〜147
カンボジア紀行	輿寛次郎	148〜155
可聴信号音関係の改善	宇草裕一	156〜161
ワンライティング・システム	井手和彦	162〜166
オペレーションズ・リサーチ入門（その 3）	唐津一	167〜174
新工法シリーズ 宅内接地工事の暫定措置と工法について	桝沢磋；重田袈裟美	175〜179
施設人のための事業知識（その 19）－修理－	小沢春雄	180〜181
最近の海外雑誌から		182〜190
新標準実施法の手引	技師長室仕様課	191〜194
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	195〜208
ニュースフラッシュ		209〜209
海外技術連絡室ニュース		210〜210
「施設」創刊十周年記念懸賞論文入選発表		211〜
座談会 クロスバという名の交換機をめぐって	緒方研二；井上俊雄；三宅正男；山内正弥；川田大介；小川茂；村山久；大友和蔵；清水通隆	18〜33

Vol.12　No.7

日本電信電話公社施設局編集

論説 空調設備基準の改正について		12〜13
局舎基準とその考え方	山本英一郎	14〜19
施設局舎における空調設置基準の改正	山本英一郎；中島賢三郎	20〜24
「損失配分基準の取扱い」の解説	都丸喜成	25〜29
新海底線布設船（350 トン型）の建造計画	河井正見；竹井幸男	30〜34
第二深川電話局における地盤安定工事	望月一郎	35〜42
搬送装置設計上の手引 ── 安全性ならびに保守調整上の問題（その 1）	山本周三；石川光雄	43〜47
見透し外通信と宇宙通信	千野孝；相多忠司	48〜54
A 形の新設計法 ── ラインスイッチとラインファインダの混用について	福富礼治郎；但馬昭；柏木静雄	55〜59
AF 形 PAX の設計	菅原潔	60〜66
人孔内にたまるガス	太田隆；中川喜策；松本恒敏	67〜76
中心局を 1 単位とした印刷電信機の集中保全方式	菅優；原清；高本隆之	77〜80
デイゼル機関発電機の並列運転	横坂敏夫；斉藤礼一	81〜85
私の考案 TZ-67 および TZ-65 形可搬無線機の対自動局用付加装置	山縣保	86〜89
チリ地震津波による災害	土居靖夫；神谷輝雄	90〜94
新工法シリーズ 筐体形装置工事における架台工法について	相馬孝次	95〜99
新しい話題 料金調査会の発足	千田鎮雄	100〜103
富士山頂臨時電話局（最高電話局）の開設に従事して	高田篤三	104〜105
施設人のための事業知識（その 20）年度末決算	小沢春雄	106〜107
オペレーションズ・リサーチ入門（その 4）	唐津一	108〜117
最近の海外雑誌から		118〜125
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	126〜138
ニュースフラッシュ		139〜140
海外技術連絡室ニュース		141〜141

Vol.12　No.8

日本電信電話公社施設局編集

論説 足下に火のつく前に		12〜13
道路の占用に関する新協定の締結にあたって	平山温	14〜16
8 月 1 日締結された新道路占用協定 ── 建設省・日本電信電話公社協定の成立経過等について	生出勝次郎	17〜22
技術委員会の答申案よりみた新技術の動向	緒方研二；後藤和夫	23〜29
昭和 36 年度建設勘定第 1 次実施計画の概要	橋本真澄	30〜38
特殊番号の再編成	半田恵一	39〜44
フランスの電話局（その 1）－主としてリヨンを中心とした市内電話局について－	粟野敏雄	45〜53
欧州各国の電信事情（その 1）	三原裕登	54〜61
A.T.T における市外自即回線の保守	水口一	62〜65
南極の通信事情	高室功	66〜69
新しい「架空ケーブル配線法」	駒村吉男	70〜75
電話回線の伝送周波帯域 ── 残留損失周波数偏差の配分	原田照男	76〜79
H 形自動局における交換機の障害管理	中塩功	80〜84
同軸方式伝送路保守上の問題点	西村才一；柿崎尚弘；木村俊夫；大北嘉治	85〜89
中継交換局における事故の分析結果から	只木進	90〜94
蒸気の噴出力を利用した碍子掃除機	台木嘉人	95〜99
懸賞論文 2 等入選作 ディジタル通信方式による将来の電信電話技術	吉田宏	100〜104
オペレーションズ・リサーチ入門（その 5）	唐津一	105〜113
予算定員と実行定員（その 21）施設人のための事業知識	小沢春雄	114〜115
新工法シリーズ 市外関係の新工法について	相馬孝次	116〜121
最近の海外雑誌から		122〜129
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	130〜137
新しい話題 新工業所有権法の改正要点	大久保欣哉；舟橋俊雄	138〜140
研究実用化報告 9 巻 11 号掲載予定論文		141〜141
ニュースフラッシュ		142〜142
海外技術連絡室ニュース		143〜143

Vol.12　No.9
日本電信電話公社施設局編集

論説 弾力性のある保守の体制を望む		12〜13
その 1 増大する建設勘定工事に対処するための撤去品利活用方策について	桑原源太郎；小沢春雄	14〜17
その 1 新しい撤去品利活用方策に対する技術認定標準について	初見辰二；永村春一	18〜22
各国データ伝送の問題点（Ⅲ）− CCITT43 作業部会各国の意見と実験調査成績および第 1 回会議の結論 −	大谷薫	23〜29
フランスの電話局（その 2）− 主としてリヨンを中心とした市内電話局について −	粟野敏雄	30〜36
欧州各国の電信事情（その 2）	三原裕登	37〜43
沖縄の電話事情	岩田克也	44〜48
保全管理方式の二, 三の問題点 ── 超過重複局をチェックして	橋本満男	49〜53
昭和 36 年度建設勘定予算概算要求について	扇谷正之介	54〜57
昭和 34 年度局舎建設工事費の決算状況を顧みて	小林保；川内野勝美	58〜62
損失配分達成のための新しい音声伝送機器 ── 沪波中・双中・端中（その 1）	石原治；八橋主計	63〜72
名古屋市外局に設備された C91 号受付装置の概要	鈴木立之；長山東；荒木一夫；栃川茂	73〜83
新しい打込式支線用根枷	永戸謙二；若木正明；森戸悦一	84〜88
早強セメント使用によるマンホール築造工法の改善	本田健	89〜96
電話回線の雑音規格 ── 線路雑音の配分	加藤勇	97〜102
車両整備管理者および整備責任者の配置と職務	棚木大；伊吹皎	103〜109
懸賞論文 3 等入選作 電信電話事業の技術革新とその問題	庄司源弥	110〜113
施設人のための事業知識（その 22）減価償却と耐用年数	小沢春雄	114〜115
新しい話題 建設請負工事に対する前金払の実施	西島輝治	116〜118
新工法シリーズ 市外関係の新工法について	相馬孝次	120〜125
パキスタンの電気通信訓練施設	海外技術連絡室	126〜127
最近の海外雑誌から		128〜135
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	136〜143
写真ニュース		144〜144
ニュースフラッシュ		145〜145
海外技術連絡室ニュース		146〜146
研究実用化報告 9 巻 12 号掲載予定論文		147〜147
オペレーションズ・リサーチ懸賞問題	白根禮吉	119〜119

Vol.12　No.10

日本電信電話公社施設局編集

論説 建設工事実施上の問題点		12〜13
特集 東京新市外局展望		14〜60
単式からクロスバ方式まで 70 年 国産技術の変遷	高井春雄	76〜92
加入者宅内付属装置の自営開放の背景	鳥居正也	93〜95
解説 加入電話等の付属設備の技術基準	武内幸蔵；広瀬琢郎	96〜101
続伸する建設工事に対処するための実施態勢について ── 長期要員対策と直営工事振興策 第 2 回施設部長会議より	小沢春雄	102〜106
フランスの電話局 ── 主としてリョンを中心とした市内電話局について（その 3）	粟野敏雄	107〜111
欧州各国の電信事情（その 3）	三原裕登	112〜115
A 形略監査装置の実用化	石川好男；池谷寛；村瀬邦夫	116〜121
損失配分達成のための新しい音声伝送機器 ── 沪波中・双中・端中（その 2）	石原治；八橋主計	122〜127
日本経済における電話建設業務のあり方について ── 1,500 億円建設工事完遂のための業務改善の一方策として	生出勝次郎	128〜133
施設の早期稼動対策の一環としての分局開始付帯工事（竣工検査を含む）の運営の合理化について	牛嶋昭資	134〜141
A 形自動交換機保守における若干の改善	長谷川彰一	142〜151
施設人のための事業知識（その 23）随意契約	小沢春雄	152〜153
施設部長会議録	小沢春雄	154〜155
新工法シリーズ 直埋・同軸ケーブルの布設工法の考え方	本田健	156〜159
最近の海外雑誌から		160〜166
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	167〜172
「対山荘雑記」を読んで	岡田実	61〜61
海外技術連絡室ニュース		173〜173
ニュースフラッシュ		174〜174
研究実用化報告 10 巻 1 号掲載予定論文		175〜175
座談会 電信 90 年の歩み ── 電信技術の発展を顧みて	石川武二；鳥海登；大橋幹一；大内誠三；吉田正資；松尾俊太郎；薩川一義；水鳥武三；大谷薫；三原裕登	62〜75

Vol.12　No.11

日本電信電話公社施設局編集

論説 所得倍増計画の波紋		12〜13
私の見た欧州電気通信界	米沢滋	14〜28
中近東あれこれ	島田芳浩	29〜38
パキスタン・イラン・トルコ間マイクロ回線調査旅行記（第 1 回）	横井大六；山根信義	39〜45
欧州各国の電信事情（その 4）	三原裕登	46〜56
最近におけるアメリカの近距離搬送方式の動向	水口一	57〜61
「新道路占用協定」について ── 技術面より見た逐条注解	青山清嗣；川原幾雄	69〜76
最近における自動交換機の品質と保守成績	池谷寛；野村恒雄；高橋章	77〜84
直埋ケーブルの雷害現象とその対策	新村長門；関根敏雄	85〜91
専用電信端末設備の保全検査結果	佐藤勢一	92〜96
首都圏における通信網の検討	蔵本力雄	102〜107
私の考察 HYB 結合による同軸ケーブルの単心伝送	井田香織；辻昭雄	98〜101
「私の考案」A 形帯域時間登算装置における着信者フッキングによる強制解放防止	大橋敏彦	97〜97
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	後藤和夫	62〜68
第 11 回電信電話記念日	星野誠吉	114〜115
施設人のための事業知識（その 24）附属設備の自営	小沢春雄	116〜117
通信部だより さい果ての通信部“釧路”	広川嘉三郎	108〜111
新しい話題 事務近代化準備室の発足にあたって	池永英夫	112〜113
新工法シリーズ 無ハンダ巻付接続工法	梶原和雄	118〜123
最近の海外雑誌から		124〜130
新仕様書の紹介		131〜138
海外技術連絡室ニュース		139〜139
ニュースフラッシュ		140〜140
研究実用化報告 10 巻 2 号掲載予定論文		141〜141

Vol.12　No.12

日本電信電話公社施設局編集

論説 事務近代化準備室の発足に寄せて		12〜13
通信電力の展望	原田安雄	14〜19
即時タンデム計画の変遷と大都市即時網設計上の諸問題	川田大介；平三郎；美間敬之	20〜27
市外線集中保守の成果と当面の問題	橋本満男	28〜30
最適設計対象期間に対する一考察 ── 設計は何年先までを見込むべきか	朴木実	41〜47
トランジスタ 2 線式搬送方式の施設設計の標準化	勝田日出夫；山田藤次郎；平塚清士	48〜53
パキスタン イラン トルコ間 マイクロ回線調査旅行記（第 2 回）	横井大六；山根信義	31〜40
〔海外技術連絡室情報〕英領ボルネオの電気通信事情	技師長室海外技術連絡室	117〜121
ステップ・バイ・ステップ自動交換機の異常障害とそのアクション	池谷寛；佐藤高明	60〜67
市外台の改良 ── 3 号形より 6 号形に至るまで (1)	鈴木立之；桑野敏男；荒木一夫	68〜80
最近の国鉄交流電化計画と誘導防止対策	横山一夫；新村長門；根本則夫	81〜91
加入電信宅内装置の機械的接点の改良とその成果	宮島利雄；遠藤正	92〜96
磁石局用電源に使用したアルカリ蓄電池（その 1）	横坂敏夫；大川五雄；開沼啓	97〜101
交換台電鍵の障害とその改善	野村昇二；石野安喜；野原博	102〜104
支線定規	増子広市	105〜106
施設人のための事業知識（その 25）電信電話債券	小沢春雄	122〜123
保全部長会議録	平尾勇	124〜125
新工法シリーズ 新形市内配線函・市内柱上保安器および切替端子函の実用と工法	中村昭夫	126〜130
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	131〜135
海外技術連絡室ニュース		136〜136
ニュース・フラッシュ		137〜137
通話サービスの管理	小林牧雄	54〜59
オーナードライバーのために ── 激増する車両事故に備えて	小野清；川崎嘉達	107〜111
地方学園における各種クロスバ訓練の実施	坂井哲雄	112〜116

Vol.13　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭所感	米沢滋	12〜13
事業に密着する研究所へ	小島哲	14〜16
新春所感	中田亮吉	16〜17
第 3 次 5 ヵ年計画の考え方	伊藤誠	17〜19
1961 年を迎えて	平山温	19〜21
今年は真の試金石	税所正芳	21〜22
1961 年への期待	黒川広二	23〜24
調達事務の近代化	行広清美	25〜26
今後の学園訓練のあり方	水尾安彦	26〜28
1961 年へ望む	浅野敏夫	29〜30
ローマ大会あれこれ	千代健	74〜79
新春随筆 ある結婚式	越智信平	80〜82
色彩管理このごろ	高橋勝郎；飯塚裕	116〜117
人工衛星・海底ケーブル・マイクロ中継 ── 国際技術協力の立場から	横井大六	57〜60
米国における宇宙通信計画 ── 宇宙通信についての周波数割当に関する公聴会における証言	松本高士	61〜65
アメリカのカラーテレビ中継とロング・ライン・システム	柿田潔	66〜73
無駐在自動局の現状と保守運用上の問題点	池谷寛；大滝寿朗	83〜91
長距離自動中継の現状	山部正一；上原亨	92〜96
警察用個別信号装置	阿部正雄；馬場志津夫	97〜102
橋梁添架ケーブルの振動について（その 3）	川上淳之助	103〜107
新しい搬送電信方式 ── 短距離搬送装置	高橋久太郎；林竜彦；吉永義雄	108〜115
施設人のための事業知識（その 26）設計の請負	小沢春雄	120〜121
新しい話題 空の公衆電話	綾正行	118〜119
最近の海外雑誌から		122〜127
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	128〜134
海外技術連絡室ニュース		135〜135
ニュース フラッシュ		136〜137
21 世紀の電話交換技術	広田憲一郎	31〜35
宅内技術の未来図	篠原紀元	35〜37
初夢に託す搬送技術	神谷輝男	38〜40
東・名・阪間導波管開通式における X 氏の挨拶	妻藤達夫	41〜43
オフィスに進出する電信技術	三原裕登	43〜46
未来の無線通信	菅原鼎山	46〜49
エネルギーと通信電力	原田安雄	50〜53
或る技術者の夢	横井満	53〜56

Vol.13　No.2

日本電信電話公社施設局編集

論説 通信からみた世界情勢		12〜13
第 1 回技術成果発表会から	後藤和夫	14〜24
局舎設計標準の解説	高柳仁	37〜39
騒音対策および測定調査結果	飯塚裕；菅野美隆	40〜47
市外台の改良 ── 3 号形から 6 号形に至るまで	鈴木立之；桑野敏男；荒木一夫	48〜58
A 形市外出中継方式の統一 ── トールトランスミッションセレクタは不要になった	福富禮次郎；小口修；高木慶三	59〜63
同軸ケーブルのガス圧特性と接触器試験方法	矢部久	64〜73
日本－琉球間マイクロ回線の伝ぱん試験から	西條利彦；大島松太郎	100〜107
請負工事予定価格算定の簡素化と単金化	山口六之助	25〜28
単価契約による請負工事を実施して	星野保；大前義次；高橋茂男	29〜36
TEX-S 形宅内装置の改良	高橋久太郎；遠藤正	88〜92
保全から見た加入電信	川端久喜	93〜99
電話局用敷地選定の要領	稲見伊孝；大沢尚	112〜120
東海における軽車両の管理および運営の現状	浦寿奈雄；鈴木三郎	121〜124
橋梁添架ケーブルの振動について（その 4）	川上淳之助	74〜87
磁石局用電源に使用したアルカリ蓄電池（その 2）	横坂敏夫；大川五雄；開沼啓	108〜111
施設人のための事業知識（その 27）	小沢春雄	130〜131
今日の建築用機械 デルマックの杭打機	建築局設計課	125〜129
新工法シリーズ ベル付転換器の工法	重田袈裟美	139〜140
最近の海外雑誌から		132〜138
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	141〜145
海外技術連絡室ニュース		146〜146
ニュースフラッシュ		147〜148
研究実用化報告 10 巻 3 号掲載予定論文		149〜149

Vol.13　No.3

日本電信電話公社施設局編集

論説 実用化研究の動向		12〜13
番号計画の改訂 ── その経過と内容の概略	角田和夫；半田恵一	14〜25
市外番号計画とその工事	川田大介；美間敬之；松尾士郎	26〜31
プラン会議の報告	緒方研二	32〜34
テレビ中継線計画を顧みて	浅古幸一	46〜51
自動交換機信号送出回路の平衡化について（その 1）− A 形交換機の平衡化 −	石川好男；村瀬邦夫	52〜58
トランジスタ搬放装置の概要	石川光雄；八橋主計；寺西昇	66〜73
直埋ケーブルの移動	山野政信；深瀬鋭次郎	74〜79
アメリカの ATT に学んで	清水通隆	35〜40
海底ケーブル埋設の現状	植村春三	41〜45
これからの電話機の名前のつけ方	中山洋三；木村豊	62〜65
停電白書 ── 予備エンジン	田川啓次郎；中村友一	98〜102
電信電話料金調査会の調査報告書から	千田鎮雄；山崎慎一	109〜111
鍵盤さん孔機の AB ロック機構	高橋久太郎；井田智雄；佐藤忠次	80〜85
トランジスタ化 11,000 方式の概要	松本高士；岩崎昇三	86〜91
マイクロ中継機の Delay 特性とアイソレータ効果	木村吉朗	92〜97
局舎（建築物）の新しい基礎工程	中山義樹	103〜108
市内架空ケーブル障害修理に試験器を活用していますか?	大前義次	59〜61
施設人のための事業知識（その 28）36 年度建設勘定予算定員	小沢春雄	120〜122
新工法シリーズ 双方向中継装置および VD 形中継線輪架の建設工法について	有馬弘郎	128〜133
最近の海外雑誌から		134〜139
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	140〜145
海外技術連絡室ニュース		146〜146
ニュースフラッシュ		147〜147
“第 2 回 O·R 懸賞問題解答募集”	C・E	112〜112
「オペレーションズ・リサーチ懸賞問題」 ── 当選にあたって	白根禮吉	113〜119
自己の力を知るべきこと ── 大洋ホエールズ三原監督に聞く		123〜127

Vol.13　No.4

日本電信電話公社施設局編集

論説 保全の立場		12〜13
保全業務の課題	田中浩太郎	14〜21
線路保全の現状	橋本満男	22〜31
変革・現状・反映面よりみて	油井隆弘	32〜36
保全業務の諸問題	小西一郎	37〜43
電信は特殊部落ではない	鈴木虎夫	44〜53
保全要員の変遷	松本馨	54〜59
昭和 36 年度建設勘定第 2 次実施計画ならびに年間計画の概要	橋本真澄	60〜67
昭和 36 年度資材調達計画	初見辰二 ; 原田美信	88〜92
資材局に導入されたワンライティング・システム	井手和彦	93〜101
経済比較の考え方	朴木実	141〜152
タイ国バンコック電気通信訓練センター	富田一彦	102〜107
欧州各国の地下線路施設	野口謙也	108〜113
CCITT 第 2 回総会に出席して	新堀達也	114〜120
トランジスタ安定度の現状	平塚憲一	121〜128
マイクロによるカラーテレビ伝送（その 1）理論的検討	松本高士	129〜135
VT 搬信用真空管の抜取試験	須崎昭二	136〜140
日比谷電電総合ビル建物概要	国方秀男	158〜159
施設人のための事業知識（その 29）共通施設	小沢春雄	160〜161
建設部長会議録	山口六之助	162〜163
計画部長会議録	村田欣三	164〜165
建築部長会議録	川中徳重	166〜167
新工法シリーズ 新形屋外切替盤の実用と工法	中村一三	168〜171
最近の海外雑誌から		153〜157
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	172〜175
研究実用化報告 10 巻 4·1, 4·2 号掲載予定論文		176〜177
海外技術連絡室ニュース		178〜178
ニュースフラッシュ		179〜179
4 つの主眼点	辻儁二	68〜70
自動即時網の構成に関する考え方	川田大介	71〜75
標準設計さらに前進	山本孝	76〜77
実施に入る道路占用新協定	青山清嗣	78〜80
テレビ中継線のカラー化へ	林新二	81〜83
標準実施方法の完成へ	原田安雄	84〜87

Vol.13　No.5

日本電信電話公社施設局編集

論説 建設工事近代化への接近		12〜14
線路工事近代化の全貌	木村光臣	15〜20
昭和 36 年度新技術の動向	緒方研二	21〜24
36 年度の技術訓練計画	荒木義之	25〜30
東京工作所の新発足	後藤睦美	31〜36
シリコン整流器の最近のすう勢	横坂敏夫	60〜63
続・局舎（建築物）の新しい基礎工法	中山義樹	64〜70
単局地自動局局舎設計の標準化	吉田耕三；工藤理一郎；増戸正	96〜105
用地取得についての 1 つの問題点	山村謙	126〜127
細心同軸ケーブル方式 ── 搬送編	石原治；石川光雄；副島俊雄	40〜49
自動交換機信号送出回路の平衡化について（その 2）– 平衡化に伴う各種装置類 –	小口修；村瀬邦夫；栗田義弘	50〜59
調 34 号トランジスタ多重搬信装置	高橋久太郎；林竜彦；吉永義雄	71〜81
話中音周波数の 400c/s 化および信号送出回路の平衡化に対する電力部門の諸対策	川北多美之佐；高沢徳次	106〜114
マイクロによるカラーテレビ伝送（その 2）仕様決定まで	松本高士	115〜121
〔私の考案〕BW 試験器と障害探索器を使用する 市内ケーブル障害位置測定方法の実験結果とその分析	小野要一郎	122〜125
施設人のための事業知識（その 30）加入者弾力	小沢春雄	136〜138
施設部長会議録	小沢春雄	128〜129
保全部長会議録	加藤武雄	130〜132
資材部長会議録	依田貞夫	133〜135
新工法シリーズ クロスバ自動交換機の信号線工法	梶原和雄	154〜159
最近の海外雑誌から		148〜153
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	139〜147
海外技術連絡室ニュース		160〜160
ニュースフラッシュ		161〜161
研究実用化報告 10 巻 5 号掲載予定論文		162〜163
公社の自主性の一里塚 ── 施設人のための事業知識（第一集）を読んで	高橋達男	37〜39
わかりやすい実験計画法入門（その 1）	唐津一	82〜89
色彩調節のオートスライドについて	飯塚裕	90〜95

Vol.13　No.6

日本電信電話公社施設局編集

論説 このごろの建設工事と物品		12〜13
通信技術の現状と将来	米沢滋	14〜21
データ伝送サービスについて	三原裕登；岡部年定	53〜58
昭和 35 年度施設用物品調達実績	初見辰二	59〜62
沖縄の電話事情	小原猛	63〜65
南米の電気通信事情（その 1）	古市米雄	66〜72
附属設備の自営範囲拡大後の新機器について	志村武雄；井駒半四郎；平井恒男	40〜45
600 形電話機	山口善司；阿部正雄	46〜52
座談会 将来の電話宅内サービスとその技術	鳥居正也；吉村直二；沖田幸佑；辻儷二；篠原紀元	22〜39
土浦－水戸間細心同軸ケーブル方式試用試験概要	新村長門；貝津良輔；貝淵俊二	73〜88
市内 PE-P ケーブルの障害状況	小池英明；林実信	89〜93
東－名－阪 6,000Mc 回線の概要と試験結果	斎藤雄一	94〜100
事務機械化における資料伝送方式	高橋久太郎；塚本和孝；茂出木孝男	101〜109
無停電交流電源装置の同期切替	横坂敏夫；飯塚文男	110〜116
反射損失および局内損失の見込み方	朝比奈一	117〜124
われわれはこうして保全参考値の実現に努力している	松野純介	147〜151
A 形無人局加入者の通話停止解除装置	筧田安春	152〜153
TEX-1 レジスタ（旧形）の誤蓄積防止回路	須賀楢次郎；山下昭蔵	154〜155
施設人のための事業知識（その 31）予算総則	小沢春雄	156〜157
新工法シリーズ クロスバ自動交換機の電池線工法	梶原和雄	163〜171
最近の海外雑誌から		172〜178
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	179〜188
海外技術連絡室ニュース		189〜189
ニュースフラッシュ		190〜190
研究実用化報告 10 巻 6 号掲載予定論文		191〜191
開講にあたって	白根	136〜136
基礎の数学（その 1）確率論	横井満	137〜146
わかりやすい実験計画法入門（その 2）データ解析	秋山貴美江	125〜135
建設事務手帖（その 1）契約関係書類と現場説明のあり方	三瓶栄一	158〜162

Vol.13　No.7

日本電信電話公社施設局編集

論説 新料金制度の前途		12〜13
料金合理化の実施によせて	大橋八郎	14〜14
料金制度切替の意義	平山温	15〜16
料金合理化実施準備委員会の動き ── 料金制度切替準備体制の動向	北原安定	17〜21
電話料金改訂の概要	千田鎮雄	36〜41
単位料金区域と市外番号計画	溝口邦夫	42〜47
料金制度切替に伴う新技術・改良技術	長田武彦	48〜55
料金制度切替に伴う工事計画	岩館新一；山内正弥；高山正一郎	56〜69
自動即時化の道は開かれた	川田大介	70〜75
座談会 軌道に乗った新料金制度	米沢滋；大泉周蔵；山下武；伊藤誠；平山温；税所正芳；大谷昌次	22〜35
物品購入検査の現状	吉名真；山本太郎	76〜84
改正された電波関係法規の概要	柿田潔	85〜88
電波法に基づく事務処理 ── その方法と改正要点等	井上良三；稲田晃	89〜91
交換網内 TS-XB ── C51 形市外クロスバ交換機の網内変動要因と影響	大久保弘六	92〜99
新形防蝕海底ケーブル	武内宏；渡辺太郎	100〜103
施設人のための事業知識（その 32）工事実施計画	小沢春雄	114〜115
新工法シリーズ RD ワイヤ用の端子函取付工法	中村昭夫	126〜132
最近の海外雑誌から		116〜122
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	133〜139
投稿のしおり	高柳晃	140〜142
海外技術連絡室ニュース		143〜143
ニュースフラッシュ		144〜144
研究実用化報告 10 巻 7 号掲載予定論文		145〜145
基礎の数学（その 2）確率論, 連立 1 次方程式	横井満	104〜113
建設事務手帖（その 2）工事単金とその修正方法	山口六之助	123〜125

Vol.13　No.8

日本電信電話公社施設局編集

論説 工事促進における 5 つの M		12〜13
非常災害対策規定はどう変わったか	浦川親直；神谷輝男	14〜17
最近の仕様書	三宅正男；佐藤正男；辻誠	62〜65
全世界自動通信網の動向	伊佐進	35〜42
全世界ダイヤル交換網と国内交換方式の規格統一の問題	広田憲一郎	43〜46
南米の電気通信事情（その 2）	古市米雄	47〜56
チリの電気通信事情	渡辺万里子	57〜61
座談会 後進諸国の電気通信事情とわが国の海外技術援助態勢	伊佐進；富田一彦；大槻由之助；角田和男；杉村興作；辻儷二；輿寛次郎；古市米雄；山根信義；山田捨録	18〜34
高圧配電電圧 6kV 昇圧に伴う措置	伊藤公雄；山岸善治	68〜73
市内線路に使用する函類	鳥山好三；永戸謙二	74〜77
マイクロ方式による回線網の構成	松本高士	78〜83
マイクロ回線設計法	桑原守二	84〜89
天草丸に採用された油圧式ケーブル布設引揚機	竹井幸男	90〜96
新しい A 形局間機器 ── 1 号 G レビータと 2 号 K セレクター	福富礼治郎；栗田義弘；但馬昭	120〜127
小形化された D ガス漏洩検出装置	戸塚昌男；坂井健吉	128〜136
TX-5 形電報中継交換方式の概要とその調査結果	平沢誠啓；井田智雄；渡部一夫	137〜143
書評 エレクトロニクス大辞典	緒方研二	66〜67
私の考案 私たちの考案した加入者回線自動試験器	小野要一郎；根岸嘉勝	151〜155
施設人のための事業知識（その 33）37 年度建設勘定定員の要求	小沢春雄	148〜150
最近の海外雑誌から		156〜162
新工法シリーズ 加入電信宅内装置工法	飯吉澄雄	163〜167
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	168〜174
海外技術連絡室ニュース		175〜175
ニュースフラッシュ		176〜176
研究実用化報告 10 巻 8 号掲載予定論文		177〜177
オペレーションズ・リサーチ講座（Ⅲ）在庫理論	白根礼吉	97〜104
わかりやすい実験計画法入門（その 3）2 元配置法で実験したデータの解析法	田口玄一	105〜119
建設事務手帖（その 3）業者提供物品の検査	柳沢忠雄	144〜147

Vol.13　No.9

日本電信電話公社施設局編集

論説 保全管理方式改訂への諸問題		12〜14
昭和 37 年度建設勘定工事の実施準備の概要	橋本真澄	15〜27
公衆電気通信設備自営用品認定事務処理要領の解説	志村武雄	28〜33
大阪 LTS 開始後の保全状況	原七郎；塚脇幹雄；山下裕	34〜43
斜回線設定に関する 2,3 の考察	蔵本力雄；桧山啓吾	44〜48
市内 RD ワイヤの障害状況	小池英明；篠金松	49〜53
時数計試験器	山部正一；根本昭二；大野勉；前田和伸	54〜62
東京中央電報局 TX-5 形電信中継交換装置の設計（その 1）	辻岡健；小久保昭次	93〜97
マイクロ回線設計法（Ⅱ）	桑原守二	98〜106
伝ぱん路で生ずるエコーがマイクロ回線のテレビ伝送に及ぼす影響	相原精一	107〜110
市内ケーブル障害位置計算法	村上護	111〜115
四国の農村公衆電話	矢野光信	80〜87
道路占用問題の 1 考察 ── 支障移転費の問題点	落合敬次郎	88〜92
最近の海外雑誌から		120〜126
新仕様書の紹介	技術局仕様課	127〜133
新工法シリーズ 同軸ケーブルの局内成端	若木正明	134〜140
海外技術連絡室ニュース		141〜141
ニュースフラッシュ		142〜142
研究実用化報告 10 巻 9 号掲載予定論文		143〜143
オペレーションズ・リサーチ講座（Ⅳ）線型計画法（その 1）	白根礼吉	63〜71
わかりやすい実験計画法入門（その 4）2 元配置法で実験したデータの解析法	田口玄一	72〜79
建設事務手帖（その 4）電気通信設備工事と抜取検査	東勝俊	116〜119

Vol.13　No.10
日本電信電話公社施設局編集

論説 戦線の整理を		12〜13
東京新市外局の開局まで	上条清一郎	14〜15
第 2 室戸台風本土縦断	浦川親直；井手和彦	16〜21
風ニモ負ケズ雨ニモマケズ ── 建築面よりみた第 2 室戸台風	鈴木二郎	22〜26
鹿児島－名瀬間見透し外マイクロ回線の設計と工事概要（Ｉ）	古市米雄；与田憲治	64〜72
市外交換設備の新しい管理法	山部正一；石綿守夫；岩森庄次	27〜34
料金制度切替に伴う A 形,H 形課金機器の改造	荒木一夫	35〜42
新しい A 形局自動課金機器 ── 距離別時間差登算装置	上遠野浩	43〜54
東海道新幹線建設に伴う誘導問題（その 1）	戸塚昌男；野呂泰；田中久也	55〜63
老朽ケーブル保全の実状	阿久津誠正；福富秀雄	73〜75
C-6M 同軸ケーブル方式の商用試験結果	青江茂；陸川泰志；牛島和彦	76〜81
搬送装置の検査方法改善 直視装置の導入による通話路変換装置の検査方法	桜庭平治；鈴木利弥；押田栄一	82〜87
市外引込ケーブル切替の状況と心線選択方法の改善と提案	松野純介	107〜111
計画部長会議録	村田欣三	112〜113
新仕様書の紹介		119〜125
最近の海外雑誌から		126〜131
新工法シリーズ 木柱の装柱	中村一三	132〜134
投稿のしおり（Ⅱ）		114〜115
海外技術連絡室ニュース		135〜135
ニュースフラッシュ		136〜136
研究実用化報告 10 巻 10 号掲載予定論文		137〜137
オペレーションズ・リサーチ講座（Ｖ）線型計画法（その 2）	白根礼吉	96〜106
わかりやすい実験計画法入門（その 5）机上実験	田口玄一	88〜95
建設事務手帖（その 5）建設工事請負契約における概算契約の実施について	塩田芳秋	116〜118

Vol.13　No.11

日本電信電話公社施設局編集

論説 トラフィック管理センターを設けよ		8〜9
本年度発明考案の総裁表彰から	後藤和夫	10〜17
公共用地取得に関する特別措置法の制定経緯とその概要	伊藤正芳	18〜23
解説 固定資産会計制度の改正（その 1）	辻操	24〜29
第 3 回日韓間米軍専用市外回線の保守に関する 日米合同会議	大槻由之助	30〜36
鹿児島－名瀬間見透し外マイクロ回線の設計と工事概要（Ⅱ）	古市米雄；与田憲治	64〜70
新しい H 形局自動課金機器 ── 距離別時間差登算装置	牛山文夫	37〜48
交換機雑音の実態と今後の問題	前田光治；加藤勇；藤村茂幸	49〜56
B40.40「架空ケーブル配線法」の問題点（解説）	駒村吉男	57〜63
マイクロ回線設計法（Ⅲ）	桑原守二	71〜79
第 3 回 O.R. 懸賞問題解答募集	技術局調査部門 C・E	80〜80
オペレーションズ・リサーチ懸賞問題	横井満；大前義次	81〜91
経営調査室長会議録	須々木重雄	97〜97
新工法シリーズ 誘導遮蔽線輪取付工法と遮蔽帯ケーブル接続工法	若木正明	115〜119
最近の海外雑誌から		120〜126
新仕様書の紹介	技術局仕様課	127〜136
ニュースフラッシュ		137〜137
海外技術連絡室ニュース		138〜138
研究実用化報告 10 巻 11 号掲載予定論文		139〜139
オペレーションズ・リサーチ講座（VI）線型計画法（その 3）	白根礼吉	98〜106
わかりやすい実験計画法入門（その 6）直交表 L_8 による実験	田口玄一	107〜114
建設事務手帖（その 6）電気通信設備請負工事の監督に関する事務処理要領（標準）の解説	三瓶栄一	92〜96

Vol.13　No.12
日本電信電話公社施設局編集

論説 中心技術となった新技術－新技術への期待と反省		12〜13
関門トンネル内同軸ケーブル施設工事の概要	炭竈達朗；山口喜八郎；高僑忠一郎	14〜21
解説 固定資産会計制度の改正（その 2）	辻操	35〜40
供給線路の技術基準の解説	志村武雄；井駒半四郎	41〜46
新料金制度に伴う課金用時間パルス供給装置（その 1）	上遠野浩	47〜55
多数共同電話の個別呼出 ── 有線放送電話と磁石式多数共同電話	阿部正男；馬場志津夫	56〜63
マイクロウエーブ国際ゼミナール	海外技術連絡室	22〜26
これからの EDPS による情報処理の進め方	永村春一	27〜34
土質と湧水	松井季昌	85〜87
割高保守費と設備更新基準	鈴木欽也	92〜95
掘さく溝内の施設に対する防護方法	戸塚昌男；小西隆雄；姫野梶男	64〜67
支線ブロックによる新しい支線工法	枡沢磋；中村一三；志村博正	68〜78
東京中央電報局 TX-5 形電信中継交換装置の設計（その 2）	辻岡健；小久保昭次	79〜84
本所電話局増築工事における H 型鋼杭の打込試験について（Ⅰ）	中山義樹	88〜91
資材部長会議録	浦寿奈雄	96〜97
建設部長会議録	山口六之助	98〜99
保全部長会議録	加藤武雄	100〜101
新工法シリーズ ラッピング工具および作業者の管理方法	加藤武雄	119〜121
最近の海外雑誌から		123〜126
新仕様書の紹介	技術局仕様課	127〜134
海外技術連絡室ニュース		135〜135
ニュースフラッシュ		136〜137
研究実用化報告 10 巻 12 号掲載予定論文		122〜122
オペレーションズ・リサーチ講座（Ⅶ）取替理論（その 1）	大前義次	102〜106
わかりやすい実験計画法入門（その 7）直交表 L_{16},L_{27} とその使い方	田口玄一	109〜114
建設事務手帖（その 7）続・電気通信設備請負工事の監督に関する事務処理要領（標準）の解説	三瓶栄一	115〜118

Vol.14　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭の挨拶	大橋八郎	12〜13
年頭所感	米沢滋	14〜15
新しき年を迎えて		16〜26
第 3 次 5 ヵ年計画のあらまし ── 5 年間に現在の加入者を倍増しサービスの画期的改善を図る	今川貞郎	27〜37
太平洋海底同軸ケーブルの構想	中仮屋宗隆	38〜45
本土－沖縄を結ぶマイクロ回線の設計概要	古市米雄；高須勇	46〜52
新料金制切替に伴うクロスバ課金機器	岩噌弘三；中沢八郎；式場英	60〜72
新料金制度に伴う課金用時間パルス供給装置（その 2）	上遠野浩	73〜82
ファイバークラッド式蓄電池	須藤秀敏；横坂敏夫	83〜87
GM-2 号マージュ測定器	酒井美高	88〜94
台湾の電気通信事情	柿田潔	53〜55
海外技術連絡室情報 イラクの電気通信事情	海外技術連絡室	56〜59
新工法シリーズ 細心同軸ケーブルの接続工法	若木正明	117〜123
最近の海外雑誌から		124〜127
ニュースフラッシュ		128〜128
研究実用化報告 11 巻 1 号掲載予定論文		129〜129
オペレーションズ・リサーチ講座（Ⅷ）取替理論（その 2）	大前義次	95〜100
わかりやすい実駄計画法入門（その 8）L_8 の直和法	田口玄一	101〜111
建設事務手帖（その 8）電気通信設備工事請負契約書の改正について	塩田芳秋	112〜116

Vol.14　No.2

日本電信電話公社施設局編集

論説 技術と来世思想		8〜9
「無線電話発祥記念碑」の建立によせて	熱田忠義	10〜12
カラーテレビ中継公社の進め方	林新二	13〜17
通話完了率向上対策	溝口邦夫；塩月昭義	18〜22
電気供給規程の改訂点と問題点	伊藤公雄；山岸善治	23〜28
市内線路はいかに保守すべきか ── 市内線路作業管理の考え方	小原猛	43〜49
通信用有極継電器接点の長寿命化	石井昭一	29〜37
1 本打工法による加入者宅内接地抵抗	大和信夫；秋庭弘；西郷正治	38〜42
超群自動レベル調整装置（SG AGC）	青江茂；金山賢一郎	50〜56
商用試験からみた SF-T1 方式	桑原守二；宮川久仁雄	57〜62
公社におけるテレビジョン中継業務とその現状（その 1）	平島一郎；中村祐介	63〜70
新しいトランジスタ短搬方式の中間中継所用電源	横坂敏夫；飯塚文男	71〜78
濁水につかった電力施設 ── 沼津電話中継所水害復旧報告より	日比吉兼	79〜84
東京通信局における 線路・土木部門プラントレコード整備方法の新しい試み	関摩喜二；関根正一；小関弥市	85〜93
私の考案 漏話補償用換算器の考案	柴田正三郎	94〜97
最近の海外雑誌から	山口昭穂	114〜117
新工法シリーズ 支線作業の革新 撚線結合金物とその工法	中村昭夫	118〜123
新仕様書の紹介	技術局仕様課	124〜124
研究実用化報告 11 巻 2 号掲載予定論文		125〜125
海外技術連絡室ニュース		126〜126
ニュースフラッシュ		127〜127
オペレーションズ・リサーチ講座（IX）取替理論（その 3）	大前義次	98〜103
わかりやすい実験計画法入門（その 9）データ解析通論と累積法	田口玄一	104〜110
建設事務手帖（その 9）搬送工事単金の全国一元化	浅野進	111〜113

Vol.14　No.3

日本電信電話公社施設局編集

論説 保全と建設		8〜9
フィリピンの援助計画について	角田和男	10〜20
オリンピック東京大会と電気通信	岩永三樹男；松岡吉五郎	36〜44
昭和 37 年度建設勘定第 1 次実施計画の問題点	橋本真澄	45〜53
通信局設計工事に関する交付要求手続改訂の要点とその問題点	柴田晶；武田正弘	54〜59
Ⅰ 1961 年秋の CCITT 諸会議の概要	広田憲一郎	21〜21
Ⅱ 第 4, 第 15 および第 16 研究委員会の議事から	神谷輝男	22〜25
Ⅲ 第 13, 第 11 両研究委員会の議事から（その 1）	島田博一	26〜30
Ⅳ 第 13, 第 11 両研究委員会の議事から（その 2）	広田憲一郎	31〜35
登算パルス雑音とその対策	前田光治；加藤勇；藤村茂幸	60〜69
海外技術連絡室情報 エチオピアの電気通信事情	海外技術連絡室	70〜74
最近の海外雑誌から		82〜85
新工法シリーズ 安全作業心得標準実施方法の制定にあたって（その 1）	中村昭夫	86〜90
海外技術連絡室ニュース		91〜91
ニュースフラッシュ		92〜93
オペレーションズ・リサーチ講座（X）待合せ理論（その 1）	佐治信男	75〜80
建設事務手帖（その 10）建設、建築両工事実施上の取決め事項について	堀尾周一	81〜81

Vol.14　No.4

日本電信電話公社施設局編集

論説 技術者の育成を		12〜13
現場訓練の教官制度の発足に際して	佐藤達也	14〜16
保全管理方式の改訂	小原猛；後藤和夫；田村善助	17〜24
電柱敷地補償料の改正	生出勝次郎；中村義治	25〜29
各種局内ケーブルの線長標示の採用	森戸克一	30〜31
同軸ケーブルの保守	矢部久；飯塚健二	32〜42
網状ラック工法試行結果（その 1）	岩瀬光男；有馬弘郎	63〜70
東海道新幹線に伴う誘導問題（その 2）	小原猛；戸塚昌男；野呂泰；田中久也	71〜84
本所電話局増築工事における H 型鋼杭の打込試験について（Ⅱ）	中山義樹	85〜89
公社におけるテレビジョン中継業務とその現状（その 2）	平島一郎；中村祐介	90〜100
保全資料の解析に推計紙の利用について	大野義雄	101〜109
第 4 回 OR 懸賞問題解答募集	技術局調査部門 C・E	43〜43
第 3 回 OR 懸賞問題の入選発表と解答	前田光治	44〜62
建設部長会議録	横内泰二	120〜121
保全部長会議録	加藤武雄	122〜124
新工法シリーズ 安全作業心得標準実施方法の制定にあたって（その 2）	中村昭夫	125〜129
最近の海外雑誌から	山口昭穂	130〜132
新仕様書の紹介		133〜142
海外技術連絡室ニュース		143〜143
ニュースフラッシュ		144〜145
研究実用化報告 11 巻 4,5 号掲載予定論文		146〜147
オペレーションズ・リサーチ講座（XI）待合せ理論（その 2）	佐治信男	110〜116
建設事務手帖（その 11）請負工事仕様書の統一の意義と工程調書の考え方について（通信線路工事関係）	小鷹融	117〜119

Vol.14　No.5

日本電信電話公社施設局編集

論説 新技術を育てるもの		12〜13
マイクロ縦断網完成に際して	浅野敏夫	14〜17
公衆電気通信設備の専用	廻健三	18〜23
昭和 37 年度 新技術の動向	山口昭穂	24〜30
CCIR Study Group IX および CMTT に出席して	井手和彦	31〜33
CCIR 第 5 研究委員会に出席して	岩井文彦	34〜35
ジュネーブにおける CCITT 会議について	重井芳治	36〜38
CCITT 特別研究委員会 A（データ伝送）会議の概要	梶正明	39〜43
対談 砂漠のクエート, 水田のタイ 両国駐在感想談	木下正文；牧野康夫；輿寛次郎	106〜125
東京市外局 TTS サービス開始状況 ── 保全管理と付帯試験のあり方	上原亨；新倉勝治；渋谷多喜夫	44〜52
料金制度切替に伴う時数計対策	坂本林一郎；前田和伸	53〜59
マイクロ回線の雑音切替方式	木村正道；室谷正芳	60〜67
加入需要と通話サービスとの関係	秋山文幾	68〜72
橋梁添架ケーブル耐火に関する考察	金坂和郎	73〜77
各種 TS の端局通信網への適用領域〈“0”集中方式・切替セレクタ方式・クロスバ方式〉	大久保弘六	78〜85
東京 TOS について ── トラフィックからみた C61 形の問題点	真竹芳樹；長田正造	86〜98
市内架空ケーブル障害の外的発生要因の分析（尺度解析による）	高草肇；西村孝博；大道隆	99〜105
信越通信局における資材調理の合理化	鈴木清；酒井忠義；田島勲	126〜131
最近の海外雑誌から	山口昭穂	144〜147
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	148〜155
新工法シリーズ 時間パルス供給装置建設工法	大野守	156〜168
海外技術連絡室ニュース		169〜169
ニュースフラッシュ		170〜170
研究実用化報告 11 巻 6 号掲載予定論文		171〜171
オペレーションズ・リサーチ講座（XII）シミュレーションとモンテカルロ法	佐治信男	132〜138
建設事務手帖（その 12）電気通信設備請負工事予定価格積算要綱の制定について	渡辺信雄	139〜143

Vol.14　No.6
日本電信電話公社施設局編集

論説 若き技術者諸君に望む		12〜13
料金合理化に対する施設計画の考え方と進捗状況の概要	北原安原	14〜22
料金合理化関連工事実施上の諸問題	小野俊雄	23〜32
特例料金区間の決定ならびに進め方	溝口邦夫	33〜36
新課金機器実用化の進捗状況と問題点	長田武彦	37〜42
料金合理化工事における保全の役割	宮田光夫	43〜46
料金合理化工事の物品調達	仙頭由之	47〜52
認可料金等との関連上措置すべき事項について	三池田治男	53〜57
建築標準設計をめぐる考察	佐藤亮	58〜60
大都市地下線整備のあらまし	松橋達良	61〜70
通信ケーブルの検査とその品質	山口彊；千葉芳毅；武部綱介	71〜77
「有線放送接続電話」試験実施に伴う検査結果	志村武雄	78〜80
線路工事近代化の動き	鳥山好三；山野政信	127〜133
アメリカの線路工事機械	山野政信	134〜139
C6 形自動交換機の概要と増設工事〈京都局増設工事の経過報告〉	深海健三；中沢八郎；小泉洋次；杏井弘	81〜92
新しいメータパルスレピータ	栗田義弘；高木慶三	93〜108
5 桁度数計〈長距離自即の開始に備えて〉	伊香恒夫	109〜112
マイクロ回線設計法（Ⅳ）〈実回線への雑音配分および瞬断に対する設計〉	桑原守二；室谷正芳	113〜120
トランジスタ短搬用新電力饋電方式	貝塚博；平塚憲一	121〜126
学園長会議録	柳沢茂	140〜141
新工法シリーズ クロスバ交換機用架台工法	相馬孝次	155〜165
最近の海外雑誌から		166〜170
新仕様書の紹介	技術局仕様課	171〜182
海外技術連絡室ニュース		183〜183
ニュースフラッシュ		184〜184
研究実用化報告 11 巻 7 号掲載予定論文		185〜185
オペレーションズ・リサーチ講座（XⅢ）ダイナミック・プログラミングおよびゲームの理論	横井満	142〜149
建設事務手帖（その 13）電気通信設備請負工事予定価格積算要綱の実施について	小松甲子夫	150〜154

Vol.14　No.7

日本電信電話公社施設局編集

論説 技術を根幹とする経営理念の確立		12〜13
電気通信技術委員会から	神谷輝男；山口昭穂	14〜23
小局経営の技術的問題点とその対策	渡辺卓哉；清時昇	24〜35
発明等の届出と補償について	田中平次郎；関根弥五郎；吉名真	36〜41
昭和 36 年度資材調達の実情から	藤田正；菊池通博	52〜56
欧米通信工業における国際カルテルの歴史と展望	高橋達男	57〜65
公社におけるオペレーションズ・リサーチ活動〈主として完全充足を行なうための局内設備数の試算について〉	高柳晃	118〜122
CCIR ワシントン中間会議の解説（宇宙通信）	林新二	42〜47
宇宙通信系と公社マイクロ回線との干渉問題	蔵方恒四郎	48〜51
宅内設備の保守（宅内作業管理の紹介と解説）	吉越一雄；遠藤昭治；森田千三	66〜71
架空線路構造の再検討（その 1）	青山清嗣；永戸謙二	72〜79
網状ラック工法試行結果（その 2）	岩瀬光男；有馬弘郎	80〜87
マイクロ回線に対するヘリコプターの干渉妨害調査	初瀬明；渋谷茂一；松島成幸	88〜98
多数回線障害時における情報連絡実施要領	窪宣正；副島弘暉	99〜103
千葉県下の農村公衆電話に対する保全対策	今井貞雄；海老根和男	104〜109
市内ケーブル障害の 1 時間修理も夢ではない（岡谷局の障害点測定と早期修理の状況から）	岡谷電報電話局機械課；線路宅内課	110〜117
経営調査室長会議録	村井勇夫	125〜125
計画部長会議録	南隆蔵	126〜127
資材部長会議録	今西三郎	128〜131
新工法シリーズ 共架用バンド取付工法	桜井幸春	143〜149
最近の海外雑誌から		150〜157
新仕様書の紹介	技術局仕様課	158〜169
海外技術連絡室ニュース		170〜171
ニュースフラッシュ		172〜172
研究実用化報告 11 巻 8 号掲載予定論文		173〜173
誌上コンサルタント開設 難問なんでもひきうけます		123〜124
オペレーションズ・リサーチ講座（そのXIV）クリチカルパス法, 順序付けの問題および電子計算機の概要	横井満	132〜139
建設事務手帖（その 14）新単金構成の概要	桝沢磋	140〜142

Vol.14　No.8

日本電信電話公社施設局編集

新技術の育成	米沢滋	12〜13
新技術の現状と将来の展望	黒川広二	14〜17
交換	清水通隆	18〜22
課金	長田武彦	23〜28
線路および地下施設	鳥山好山；田中全之助	29〜36
搬送	山本周三	37〜43
無線	柿田潔	44〜50
電信およびデータ伝送	三原裕登；米沢威行	51〜62
宅内	水沢慶太郎	63〜69
電力	須藤秀敏	70〜77
座談会 今後の施設拡充計画にいかに対処すべきか	中久保卓治；平三郎；田中浩太郎；白須幸太郎；春山巖；輿寛次郎	144〜157
昭和 38 年度実施準備計画について	橋本真澄	78〜84
今後の技術訓練のあり方	有賀主一	85〜87
川西電報電話局の設計を顧みて	杉村興作	88〜94
太平洋海底同軸ケーブル方式 (TPC) による日米半自動サービス	伊佐進；広田憲一郎	95〜101
新無線サービス	綾正行	102〜110
鹿児島－那覇間極超短波方式受託工事（線路）を終えて	高橋忠一郎	111〜116
同時動作数測定装置	半田恵一	117〜121
架空線路構造の再検討（その 2）	青山清嗣；永戸謙二	122〜131
搬送回線の問題点と障害状況	松島信雄	132〜138
空気調整装置引継要領の改正	斎藤礼一；辻岡五十雄	141〜143
施設部長会議の模様	生出勝次郎	170〜173
最近の海外雑誌から		174〜185
新工法シリーズ C4, 5 形自動交換機の疑似呼試験について	川島屹	186〜192
新仕様書の紹介	技術局仕様課	193〜201
ニュースフラッシュ		202〜203
海外技術連絡室ニュース		204〜204
研究実用化報告 11 巻 9 号掲載予定論文	宮内一洋；窪田啓次郎；伏見和郎；葉原耕平；平野順三；宮内富士夫；三石昭治；中野一浩；織田善次郎；荒田光；浅川俊文	205〜205
誌上コンサルタント開設 難問なんでもひきうけます		139〜140
多変量解析の手引（その 1）－データ解析・評価・予測の有力手法－	高橋澄夫；三重野博司	158〜164
建設事務手帖（その 15）標準請負契約約款改正案の主要点と電気通信設備工事請負契約について	塩田芳秋	165〜169

論説 技術系管理者に望む ── リーガル・マインドの訓練		12〜13
現場への信頼	宮川岸雄	14〜15
1. 総論	荒木義之	16〜21
2. 要員編	村山好久	21〜24
3. 線路編	松橋達良	24〜33
4. 機械編	宮田光夫	33〜45
5. 搬送編	松島信雄	45〜51
6. 無線編	井手和彦	52〜58
7. 電信編	勝見正雄	58〜65
8. 電力編	横坂敏夫	66〜72
座談会・現場保全 10 年を顧みて	神下金太郎；岸原貢；小田隆次；加藤務；大西省三；朝倉賢太郎；松山義郎；福島務；安達敏夫；坂本宏；伊藤信也；荒木義之	90〜109
アフリカの旅（その 1）	橋本真澄	80〜89
CCITT 第 12 研究委員会の報告および欧州の搬送技術	貝塚博	73〜79
電気通信における信頼性の概要（その 1）	白根礼吉；長谷川寿彦	120〜126
架空線路構造の再検討（その 3）	青山清嗣；永戸謙二	110〜119
マイクロ置局選定のための測量（その 1）	山根昇；北原輝雄	127〜133
市内 CCP ケーブルによる新配線法	宮沢照男；真鍋忠恒；駒村吉男；桜井幸春；花井正直；大西靖雄	134〜147
新しい A 形局間機器〈6 号形トランクスイッチシェルフ〉	福富礼治郎；栗田義弘；但馬昭	148〜151
C4, 5 形クロスバ工事用試験機器	石川好男；式場英；飯村治	152〜159
最近の海外雑誌から		180〜185
新工法シリーズ 75mm 鋳鉄管ならびにダクタイル鋳鉄管のスクリュ形継手	柴田茂治郎	186〜190
新仕様書の紹介	技術局仕様課	196〜204
研究実用化報告 11 巻 10 号掲載予定論文		205〜205
海外技術連絡室ニュース		206〜206
ニュースフラッシュ		207〜209
誌上コンサルタント開設 難問なんでもひきうけます		173〜179
技術原稿募集	柴田茂治郎	191〜195
データ解析・評価・予測の有力手法（その 2）多変量解析の手引	高橋澄夫；三重野博司	160〜167
第 4 回 OR 懸賞問題の入選発表と解答	中村義作	168〜172

Vol.14　No.10
日本電信電話公社施設局編集

論説 新料金制の実施を祝い全国市外自即化計画の歩みを論ず		12〜13
第 3 次 5 ヵ年計画の基本方針	伊藤誠	14〜15
電信電話拡充第 3 次 5 ヵ年計画概要	玉野義雄	16〜22
加入需要およびトラフィックの推定	佐治信男	23〜34
電話の増設と自動局建設の計画	杉村興作	35〜50
市外の即時化と今後の電信サービス	今川貞郎	51〜62
多ルート化と超多重化	鍋田宗三郎	63〜71
建設要員数算出方法に関する一考察	原田安雄	80〜85
工事用車両配備標準の改正にあたって	小野清；本田三郎	86〜95
電気通信における“信頼性”の概要（その 2）	白根礼吉；長谷川寿彦	96〜103
アフリカの旅（その 2）	橋本真澄	72〜79
ヨーロッパの旅 国際溶接会議に出席して	北後寿	104〜108
市外 PEF-P ケーブルの保守	川上庄造；徳永靖雄	109〜119
6,000Mc 方式の 1,800 チャンネル化	矢野常俊；桑原守二	120〜125
4,00Mc 可搬無線方式	青木昌司；平塚憲一；原田大久	126〜136
マイクロ置局選定のための測量（その 2）	山根昇；北原輝雄	137〜142
新しい磁石局加入者用電池 ── 加入者亜鉛酸空気湿電池	山田雅朗；蒲池忠善	143〜146
線路宅内障害の減少対策	石橋正一	147〜151
最近の海外雑誌から		162〜167
新工法シリーズ C4, 5 形クロスバ局の 5 号本配線盤ならびに 8 号保安器架工事	大野守	168〜176
新仕様書の紹介	技術局仕様課	177〜185
ニュースフラッシュ		186〜187
海外技術連絡室ニュース		188〜188
研究実用化報告 11 巻 11 号掲載予定論文		189〜189
データの見方・扱い方講座（Ⅰ）データに曲線をあてはめる方法（その 1）	白根礼吉；川端久喜；栃川茂	152〜161

Vol.14　No.11

日本電信電話公社施設局編集

論説“アンバランス”への反省		12〜13
公社建築	中田亮吉	14〜15
用地買収に対する一考察	伊藤正芳	16〜20
局舎建築計画と設計標準化	田中正孝	21〜26
局舎設計標準化の動向	中山義樹；喜多幸次郎；木村栄一	27〜40
建築技術的諸問題 ── 構造の立場から	後藤寛次；木村栄一	41〜46
建築設備	新井忠美	47〜50
共通施設	野田年三；大川治衛	51〜63
ある局長さんのご意見 ── 建物保全について	鈴木二郎	64〜68
局舎建築と損害補償問題	田淵石雄；阿部研	69〜71
将来の展望	佐藤亮	72〜74
アフリカの旅（その 3）	橋本真澄	75〜83
本年度発明考案の総裁表彰から	山口昭穂	84〜95
公社における購入検査〈その考え方と現況〉	去来川大	96〜99
高崎局建設工事回顧	太田勇	100〜103
電気通信における“信頼性”の概要（その 3）	白根礼吉；長谷川寿彦	104〜108
電子化した新形トラフィック測定装置〈1 号トラフィック監視装置〉	鈴木立之；高橋右一	109〜115
京浜港航路横断の深度 5m 海底線埋設工事	渡辺繁	116〜124
寒冷地における印刷電信機の速度低下とその誤びゅう	原口正美	125〜133
最近の海外雑誌から		142〜148
新工法シリーズ 市内・市外線路工法の統一に基いたワイヤクリップの適用と工法の改訂	中村昭夫	149〜156
新仕様書の紹介	技師長室仕様課	157〜167
海外技術連絡室ニュース		170〜170
ニュースフラッシュ		168〜169
研究実用化報告 11 巻 12 号掲載予定論文		171〜171
データの見方・扱い方講座（Ⅱ）データに曲線をあてはめる方法（その 2）	白根礼吉；川端久喜；栃川茂	134〜141

Vol.14　No.12

日本電信電話公社施設局編集

論説 建設投資反省の好機		12〜13
アフリカの旅（その 4）	橋本真澄	14〜20
セイロンの市外線路工事に従事して	照木広三郎	21〜27
シンハラ語英語両用印刷電信機およびセイロンの電気通信事情	穂積光夫；遠藤正	28〜32
建築電気設備の進歩について	新井忠美；高田章人	33〜41
検査に関する諸問題	山本太郎	42〜46
ガスケーブル保守の現状とガス保守作業の能率化	矢部久；牧絵義尚	47〜54
大都市におけるマイクロ電波干渉の現状と対策 (1)	初瀬明；蔵方恒四郎；渋谷茂一	55〜61
大代表リレーグループ	池沢英夫；栗田義弘；但馬昭	62〜66
最近の搬送用測定器	金山賢一郎	67〜73
データ伝送用試験装置とデータ伝送回線の伝送品質	茂出木孝男；今岡昭博	74〜85
トランジスタ化された多周波受信器	鈴木立之；天野昇知；森下智二；高木慶三	86〜93
東名阪 6,000Mc 回線を保守して	牛島義男	95〜101
H 形交換機の雑音とその対策	横浜中央電話局港分局機械課	102〜107
機械工事積算に当り別途積算材料の算出方法の簡素化について	平出清	108〜111
私の提案 線番略号の呼び方	小川一司	94〜94
建設部長会議録	横内泰二	112〜112
新工法シリーズ 6 号形市外台用架台工法	有田正身	121〜129
最近の海外雑誌から	山口昭穂	130〜135
新仕様書の紹介	技術局仕様課	136〜138
海外技術連絡室ニュース		139〜139
ニュースフラッシユ		140〜140
研究実用化報告 12 巻 1 号掲載予定論文		141〜141
データの見方・扱い方講座（Ⅲ）最小 2 乗法の考え方と手順（その 1）	白根礼吉；川端久喜；栃川茂	113〜120

Vol.15　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭所感	米沢滋	12〜13
現場を直視しよう	佐々木卓夫	14〜14
二つの課題	平山温	15〜15
標準化	小島哲	16〜16
経済転型期の技術革新	宮川岸雄	17〜18
長期計画の任務	宮崎政義	19〜20
昭和 38 年を迎えて	橋本一郎	21〜22
新春雑感	庄司茂樹	23〜23
将来の保全の問題	鈴木一松	24〜26
アフリカの旅（その 5）	橋本真澄	54〜61
パキスタンへの技術援助 ── 電気通信研究センターの設置	菅原鼎山；榎田久夫	62〜69
表現の明瞭化について ── 適切に意味を伝達するために有効な 6 つの段階（その 1）	木下正文；ATT 統計部	70〜81
撤去品の技術認定と利活用方策	柴田晶	27〜32
自動即時網保全上の問題点	太田勇	33〜39
アルミ被誘導遮蔽ケーブル	新村長門；江口誠	82〜91
SF-T2 方式の概要	室谷正芳；藤井一明	92〜99
VT 形搬信端局装置の保全状況	五十嵐正吉；須崎昭二	100〜104
データ処理の自動化	田場実	105〜109
新しい話題 東京通信局で試用中のポール電話	益尾興；柴山敏明；石田義典；石井一成	110〜114
座談会 無事実施できた新料金制度と今後に残された課題	川田大介；仙頭由之；宮田光夫；溝口邦夫；山口久二；村田保；美間敬之；北原安定	40〜53
計画部長会議録	南隆蔵	115〜115
施設部長会議録	生出勝次郎	116〜117
新工法シリーズ 屋内成端用 PVC ケーブルならびに信号線工法	有馬弘郎	133〜141
最近の海外雑誌から	山口昭穂	142〜150
新仕様書の紹介	技術局仕様課	151〜157
訓練のページ	職員局訓練課	158〜158
海外技術連絡室ニュース		159〜159
ニュースフラッシュ		160〜160
研究実用化報告 12 巻 2 号掲載予定論文		161〜161
データの見方・扱い方講座（Ⅳ）最小 2 乗法の考え方と手順（その 2）	白根礼吉；川端久喜；栃川茂	118〜127
建設事務手帖（その 12）線路工事関係の新しい検査方法について	永野忠夫	128〜132

Vol.15　No.2

日本電信電話公社施設局編集

論説 目標を確めよう		12〜13
市外電話伝送設備計画標準	都丸喜成；長瀬辰郎	14〜19
38 年度資材用品目単価表の制定と取扱区分の改訂	仙頭由之；斉藤八郎；林信之	20〜28
建設省標準請負契約約款の改正の要点と趣旨について（Ⅰ）	田淵石雄；阿部研	29〜34
工事完了後における事務処理の正確・迅速化について	辻操	35〜43
CCITT 第 15 研究委員会報告および欧洲各国の細心同軸について	鈴木虎夫	44〜50
可搬形自動交換機の実施〈C12 形クロスバ交換機の紹介〉	岡裕；田代穣次；三好明義；中島一	51〜63
アフリカの旅（その 6）	橋本真澄	64〜71
表現の明瞭化について ── 適切に意味を伝達するために有効な 6 つの段階（その 2）	木下正文	72〜78
第 3 回技術成果発表会から	山口昭穂	79〜86
C-12M 同軸ケーブル方式（その 1）	山本周三；青江茂；牛島和彦；飯田勝二	87〜101
PAX 用交換機の平衡化について（その 1）	秋庭弘；加藤彦次；大木芳造	102〜106
充実された地団用交換装置	大和信夫；馬場志津夫；秋庭弘	107〜118
電力用半導体素子 − SCR −	山田雅朗	119〜125
誌上コンサルタント発表（第 1 回）	高橋武男；誌上コンサルタント委員会	126〜129
最近の海外雑誌から		142〜150
新工法シリーズ 市内および中継ケーブルの局内成端（改訂）	桜井幸春	151〜157
新仕様書の紹介	技術局仕様課	158〜164
訓練のページ	保全局管理課	165〜165
ニュースフラッシュ		166〜167
海外技術連絡室ニュース		168〜168
研究実用化報告 12 巻 3 号掲載予定論文		169〜169
データの見方・扱い方講座（Ⅴ）直交多項式の利用のしかた（その 1）	白根礼吉；川端久喜；栃川茂	130〜138
建設事務手帖（その 17）契約業務における最近の話題	塩田芳秋	139〜141

Vol.15　No.3

日本電信電話公社施設局編集

論説 企業と技術と人		12〜13
経済的基礎設備容量の検討（その 1）	横井満；倉橋和夫；長谷川寿彦	14〜21
建設省標準請負契約約款の改正の要点と趣旨について（Ⅱ）	田淵石雄；阿部研	22〜27
工作所の色彩調節〈東京, 名古屋の試行を終って〉	鈴木二郎；鈴木蔀	28〜34
イラン事情ならびにその電気通信計画	藤記省三；塩月昭義	35〜41
道路整備に伴う支障移転工事の一方法	小松昭；中尾昭二；浜田昭二；森稔	48〜52
表現の明瞭化について ── 適切に意味を伝達するために有効な 6 つの段階（その 3）	木下正文	42〜47
マイクロウエーブ中継回線の置局選定はいかにして行なわれているか	蔵方恒四郎；三瓶博	53〜59
トランジスタ化した群, 超群搬供装置	青江茂；織田悦夫	60〜65
H 形自動局における集線装置の保守	可知輝男；石綿登四郎	66〜68
鼠害を防ぐ PVC 屋内線	新村長門；井出滋	69〜72
C-12M 同軸ケーブル方式（その 2）	山本周三；青江茂；牛島和彦；飯田勝二	73〜86
PV-L1 形低圧用避雷器	田川啓次郎；塩見栄次郎	87〜91
新工法シリーズ 電気通信土木工事工法書の解説	本田健	99〜103
最近の海外雑誌から		104〜108
新仕様書の紹介	技術局仕様課	109〜115
訓練のページ	職員局訓練課	116〜116
海外技術連絡室ニュース		117〜117
ニュースフラッシュ		118〜119
データの見方・扱い方講座（Ⅵ）直交多項式の利用のしかた（その 2）	白根礼吉；川端久喜；栃川茂	92〜98

Vol.15　No.4

日本電信電話公社施設局編集

〈巻頭言〉第 3 次 5 ヵ年計画の発足に当って	米沢滋	12〜13
昭和 38 年度建設勘定工事第 1 次実施計画の概要	妻藤達夫	14〜19
経済的基礎設備容量の検討（その 2）	横井満；倉橋和夫；長谷川寿彦	21〜25
建設省標準請負契約約款の改正の要点と趣旨について（Ⅲ）	田淵石雄；水落芳夫	27〜32
大阪におけるクロスバ TOS 工事をかえりみて ── H 形地域における最初の C6 工事	炭竈達朗；石川好男；稲田信；阿久根正造；小川竜一	33〜40
加入者のダイヤル習性 ── ダイヤルポーズを中心として	田代穣次；尾関正光	41〜52
パルス試験器を用いた加入者ケーブルの漏話修理	小林富士男；松本恒敏；川合幸雄	53〜57
電電テレビ中継センター (TRC) の設計	木村正道；前田隆正；矢野常俊	58〜66
クロスバスイッチによる TC 形電話託送装置	平沢誠啓；塩山豊蔵	67〜79
細心同軸ケーブル方式の商用試験中間報告	山本周三；貝塚博；副島俊雄	81〜89
TEX-2 形自動集信装置の保全	久野庸夫	90〜99
私の提案 請負工事における電柱敷地交渉の請負化	山崎恭夫	100〜101
誌上コンサルタント発表（第 2 回）	逗子時幸；誌上コンサルタント委員会	123〜128
保全部長会議録	後藤和夫	130〜130
施設部長会議録	両国正雄	131〜131
建築部長会議録	神田栄一	132〜132
建設部長会議録	横内泰二	133〜133
最近の海外雑誌から		134〜141
新仕様書の紹介	技術局仕様課	142〜145
海外技術連絡室ニュース		146〜146
訓練メモ	職員局訓練課	147〜147
ニュースフラッシュ		148〜148
研究実用化報告 12 巻 4 号掲載予定論文		149〜149
「施設」編集モニター募集		129〜129
電話番号の書き表わし方	半田恵一	20〜20
終戦直後の市外通話サービス制度のいろいろ	竹内純蔵	26〜26
〈質問箱〉甲種固定資産市外電話設備 自動局デスク（細分 No.9）について		80〜80
データの見方・扱い方講座）（Ⅶ）カード分類によるデータの分析－過去のデータの解析－（その 1）	白根礼吉；川端久喜；栃川茂	102〜109
電子計算機講座 Ⅰ総論	美間敬之	110〜122

Vol.15　No.5
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉新技術の進め方に対する反省	緒方研二	12〜13
第 3 次 5 ヵ年計画と新技術	林新二	14〜17
第 I 部 自即回線保守と市外回線自動試験装置	前田光治；島田康和	20〜24
第Ⅱ部 1 号 A 動作試験装置	久民実；本間良和	25〜32
第Ⅲ部 1 号 A 伝送測定装置	天野昇知；富永康	33〜39
固体電子化論理回路の解説	矢野常俊；宮崎末広	55〜63
道路管理行政の強化に伴う公社の占用関係（その 1）	生出勝次郎	65〜71
海外の電話局建築 3 題	沖塩荘一郎	73〜75
建築等工事損害補償関係事務処理要領の主要点について	土井大三；沓沢富二	76〜81
新規訓練と職場実習	村山好久	82〜84
工事関係車両等による交通事故の検討	鈴木忠次郎	85〜90
座談会 現場における保全上の諸問題	島津浩；渡辺勇；羽田正二；桑江敬治；石橋正一；小林六郎；前田隆正；神谷輝男	40〜54
S×S（A 形）用回線障害通知装置	益尾興；森尻茂；高橋徹	91〜94
吹流しガス方式	鳥山好三；山野政信；福富秀雄	96〜107
水銀電量計による電蝕測定	江口誠；平野竜夫	109〜117
新しい相互変調図表	高岸秀康	118〜122
SHF 回線に重畳した札幌－釧路搬信の瞬断・誤びゅう状況	奈良克秋；原秀夫	123〜125
4Mc 同軸ケーブル方式の安定度調査	山本周三；青江茂	127〜133
同軸ケーブル用測定器の解説	新村長門；森本三雄；貝淵俊二	134〜146
高圧接地保護装置の解説（接地継電器）	佐藤敏雄；佐藤秀雄	148〜151
最近の海外雑誌から		178〜180
新仕様書の紹介	技術局仕様課	173〜177
訓練メモ	職員局訓練課	183〜183
ニュースフラッシュ		184〜185
海外技術連絡室ニュース		186〜186
研究実用化報告 12 巻 5 号掲載予定論文		187〜187
〈豆辞典〉技術調査に使われる試験用語	竹内純蔵	147〜147
道越支線の補強効果について		18〜19
全浮動端電池方式の整流素子について		64〜64
保全管理方式について		72〜72
鋼心入 PVC 屋外線の鋼心の地気線代用について		95〜95
装荷線輪について		108〜108
一般真空管のスタンバイ動作について		126〜126
2 重接続の確率について		181〜181
公衆法第 5 条の解釈について		182〜182
データの見方・扱い方講座（Ⅷ）カード分類によるデータの分析－過去のデータの解析－（その 2）	白根礼吉；川端久喜；栃川茂	164〜172
電子計算機講座（Ⅱ）装置の構成	岸上利秋	152〜163

Vol.15　No.6

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉他山の石 ── 国鉄運営の批判に想う	北原安定	12〜13
裸線保守の現状と災害対策	矢部久；鈴木重次	28〜34
建設勘定工事（設備），工程管理の事務処理要領の解説	横内泰二；坂元信也；芹沢甚四郎	36〜47
米国における市内搬送方式 ── 特に PCM·T1 方式について	前田光治	49〜60
Japan Telecommunications Review（英文施設）の紹介	仁平勝；中村幸夫	118〜123
百年目の豪雪にいどむ現場	嶋本昌二	62〜67
新技術の積極的採用	水沢慶太郎	14〜16
伝送品質の確保	伊佐進	17〜18
配線ケーブル設計の合理化	横山一夫	19〜21
マイクロ回線網の発展	安藤健二	22〜23
電力設計の標準化	須藤秀敏	24〜24
C-82 形交換機の導入	村田光広	25〜27
2 号 A 市外監査機の実用化	村瀬邦夫；伊香恒夫	68〜77
A 形の新しいローカルセレクタ	福富礼治郎；栗田義弘；但島昭	79〜82
小型多対化された市内ケーブル用装荷線輪	新村長門；桜井国雄	83〜90
ミラーテストとバルーンテスト	島崎隆；塩沢惇隆；園田哲哉	91〜100
調 1083C 真空管商用試験結果	牛島和彦	101〜105
太陽電池電源装置の試用試験	田川啓次郎；蒲池忠善	106〜108
〈私の提案〉B1 号 D および B2 号 K セレクタについて	西村喜久雄	109〜111
誌上コンサルタント発表（第 3 回）	松野純介；誌上コンサルタント委員会	112〜117
新仕様書の紹介	技術局仕様課	147〜153
最近の海外雑誌から		154〜158
新工法シリーズ 市外配線函の取付工法	川野浩	160〜168
訓練メモ		170〜171
ニュースフラッシュ		172〜173
海外技術連絡室ニュース		174〜174
研究実用化報告 12 巻 6 号掲載予定論文		175〜175
電気通信技術委員会	竹内純蔵	48〜48
技術成果発表会	竹内純蔵	78〜78
亜鉛板取付について		35〜35
41 号 MR 電話機のフックスイッチ障害について		61〜61
市内ケーブルの装荷について		126〜126
チップ 1 号より 26 号までの用途について		159〜159
プラグ穴, 塞栓の正式品名について		169〜169
受付回線の保守について		171〜171
データの見方・扱い方講座（IX）カード分類によるデータの分析 − 過去のデータの解析 −（その 3）	白根礼吉；川端久喜；栃川茂	127〜135
Ⅱ. ソフトウエア	久保田亮	136〜146
建設事務手帖（その 18）工法監査の実施について	永野忠夫	124〜125

Vol.15　No.7

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉企業の安定発展	井上俊雄	12〜13
38 年度施設用物品の調達方針および調達見込み	仙頭由之	28〜35
準専用制度について	廻健三	36〜39
準専用の技術基準について	鈴木錠造；柳川輝夫；一色博	40〜45
局舎建築構造体の経済的考察	高坂清一	46〜53
道路管理行政の強化に伴う公社の占用関係（その 2）	生出勝次郎	54〜59
座談会「現場における保全上の諸問題」に答えて	後藤和夫	61〜65
南米ボリビヤ事情	松橋達良	68〜79
座談会 第 3 次 5 ヵ年計画の初年度にあたって	秋草篤二；平山温；金光昭；佐々木卓夫	14〜27
旧形市内クロスバ局の端増設計＜ケロッグ・C40.50·C41.51（第 1 版）の設計例＞	守家一夫；落合武；今泉秀安；大川勉	80〜87
大地の凍上による被害とその対策	山口昭穂；木村敏雄	88〜95
5.6mm（細心）同軸ケーブルの商用試験結果概要	鳥山好三；戸塚昌男；森本三雄；貝淵俊二	96〜100
瞬断対策としてのダイバシチ方式	工藤栄彦；林憲男；高野進一	101〜108
新東京統制電話中継所発足後の保全状況	上村優；近藤徳次郎；藤野英俊	109〜114
自動充電機能をもった可搬形交換局用電源	田川啓次郎；塩見栄次郎	116〜120
宇宙通信系と公社マイクロ回線との相互干渉調査結果	蔵方恒四郎；渋谷茂一；中野俊夫	121〜131
新工法シリーズ 75mm 硬質ビニール管の布設, 接続工法	長原昭彦	145〜150
最近の海外雑誌から		152〜157
新仕様書の紹介	技術局仕様課	158〜160
訓練メモ	職員局訓練課	161〜161
ニュースフラッシュ		162〜163
海外技術連絡室ニュース		164〜164
研究実用化報告 12 巻 7 号掲載予定論文		165〜165
「施設」編集モニターの選考発表	編集部	67〜67
セレン整流器の測定方法について		60〜60
電柱建設に伴う第三者権利について		66〜66
ヒューズの挿入方法について		115〜115
装置群管理について		144〜144
110 番, 119 番の電話機について		151〜151
電子計算機講座 Ⅳ. 事務の近代化	粟野敏雄	132〜143

Vol.15　No.8

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉新技術の成果と反省	肥後大介	12〜13
伝送機器の Tr 化	山本孝	14〜17
細心同軸ケーブル方式	山口開生；貝塚博	18〜25
6,000Mc マイクロ方式	柿田潔	26〜28
電気通信技術委員会の昭和 37 年度答申から	林新二；竹内純蔵	29〜39
専用に関する技術基準の改正について	廻健三	40〜43
専用端末技術基準の改正の趣旨と要点	鈴木錠造；一色博	45〜51
衛星通信について ── 方式の説明と実験結果の紹介（その 1）	桑原守二；村田忠明	53〜58
通話度数等に関する統計的な考察	秋山文幾	59〜62
書くことに強くなる本（その 1）	カーミット・ローランド；木下正文	85〜95
Ⅰ. 総会およびアジア地域プラン会議	横井大六	64〜65
Ⅱ. 第Ⅳ（宇宙通信）および第Ⅸ（無線中継方式関係）研究委員会	安藤健二	66〜72
Ⅲ. 第 XIII（移動業務関係）研究委員会	増田孝雄	73〜75
アメリカの品質活動の近況 ── 米国出張報告	白根礼吉	77〜83
PAX 用交換機の平衡化について（その 2）	秋庭弘；加藤彦次；大木芳造	96〜103
同軸ケーブルのガス小漏洩孔探索方法	鳥山好三；山野政信；福富秀雄	104〜111
線路用アルカリ蓄電池	坂井健吉	113〜119
東京中央電報局中継機械化後のサービス状況	岡田行雄	120〜127
トランジスタ搬送装置用 2 次避雷器（SC 搬送雷害対策）	原田大志；森下智二	128〜134
新工法シリーズ 同軸ケーブルの直埋接続点防護工法の改訂	川野浩	145〜147
最近の海外雑誌から		148〜151
新仕様書の紹介	技術局仕様課	152〜153
訓練メモ	保全局	135〜135
ニュースフラッシュ		154〜155
海外技術連絡室ニュース		156〜156
研究実用化報告 12 巻 8 号掲載予定論文		157〜157
〈豆辞典〉交換局内の配線盤の種類	深海健三	44〜44
市外電話回線障害時間管理のあり方について		52〜52
市外電話回線障害統計表について		63〜63
宅内用電池の使用区分について		76〜76
通話停止・休止の施行方法について		84〜84
阻止線輪 (Suppression Coil) 挿入 Q について		112〜112
発動発電機の力率について		144〜144
電子計算機講座 Ⅴ. 市外回線計画の自動化	渡辺竜一；多米勉；田場実；梅沢俊一	136〜143

Vol.15　No.9
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉小さな改良	鈴木一恵	12〜13
クロスバ交換方式	清水通隆	14〜20
市内 CCP ケーブルとその新配線方式	鳥山好三	21〜26
有線放送電話の公社線接続にあたって	鳥居正也	27〜32
市外局の位置設定についての一考察	加藤秀夫；吉沢孟次	33〜42
市外局の設定に伴う手動台の措置について	美間敬之	43〜45
構内交換設備等の技術基準の改正点	志村武雄	46〜50
衛星通信について ── 方式の説明と実験結果の紹介（その 2）	桑原守二；村田忠明	51〜55
電力施設設計上の課題	須藤秀敏	71〜75
電力工事の特色と実施上の諸問題	小泉園平；鬼木精一	76〜79
米国における電力供給方式について	園田信一	80〜91
書くことに強くなる本（その 2）	カーミット・ローランド；木下正文	92〜98
座談会 建設工事の第一線に立って	大月章市；石井博；浅野喜志男；梶原祐敏；菅野栄治；五十嵐国助；守安松雄；久野勝利；原田安雄	56〜70
A(H) 形 MF 信号送出装置の実用化	村瀬邦夫	99〜108
組立キャビネット形式の H 形 24V PAX4-L 形自動式構内交換装置	大和信夫；牧野正男；秋庭弘；大木芳造	109〜117
市外電話回線設計法の手引 ── G 部門標準実施方法を中心として	今村耕一；小林登	118〜126
電話交換網のデータ伝送品質	平沢誠啓；金井一夫	127〜137
搬送電信回線に対する瞬断の影響	杉浦淳一郎；松山光；宮城寛仁	138〜143
S 形信号機付加用品	後藤志朗；東濃勇；高沢徳次郎	144〜153
計算図表の応用による線路保守簡易化の一考察〈ケーブル障害の測定に際し距離計算を図表により判定する案〉	長田実；馬場清治	154〜159
最近の海外雑誌から	竹内純蔵	168〜169
訓練メモ	職員局訓練課	167〜167
新工法シリーズ C4,5 形クロスバ局における局内成端工法	桜井幸春	170〜173
海外技術連絡室ニュース		183〜183
新仕様書の紹介	技術局仕様課	174〜182
ニュースフラッシュ		184〜185
電子計算機講座 VI. 制御機器としての応用の実例〈テレビジョンプログラム自動切替装置〉	松本高士	160〜166

Vol.15　No.11

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉技術とサービスについて	新堀達也	8〜9
電気通信研究所の研究活動	相田実；上田常孝	10〜15
データ伝送サービスの発足について	米沢威行	17〜21
施設記録の現状と今後のあり方	松橋達良	22〜30
回線呼称方法の改訂について	林典宏	31〜37
米国におけるプラスチックケーブルの現状（その 2）	朴木実	39〜50
硬質塩化ビニル管の試用試験概要	北川郁夫；田中邦男	52〜57
誘導遮蔽線輪	戸塚昌男；貝淵俊二	58〜66
マイクロウエーブ回線の新しい保守	佐々木敏夫；出口富義；潮田巖；多田寛五	67〜75
電報集配信用模写電送機の実用化	杉浦淳一郎；松山光	76〜85
無停電電源装置の保守の現状	上池啓一；西重美；杉田五郎	87〜95
最近の海外雑誌から	竹内純蔵	118〜123
新工法シリーズ 無ハンダ圧着工法（その 2）	相馬孝次	106〜116
新仕様書の紹介		124〜132
訓練メモ	職員局訓練課	117〜117
海外技術連絡室ニュース		133〜133
ニュースフラッシュ		134〜135
読者から	安藤治夫	136〜136
研究実用化報告 12 巻 10 号掲載予定論文		137〜137
〈豆辞典〉デシベル	吉井範弘	86〜86
〈質問箱〉クロスバ局のアラームについて		16〜16
請負工事による固定資産の受渡しについて		16〜16
自動即時通話誤接障害の保留, 探索方法		38〜38
KA1 号レピータ		51〜51
支線ブロックの埋設方法について		96〜96
電子計算機講座 Ⅷ. 科学計算	池野信一	97〜105

Vol.15　No.12

日本電信電話公社施設局編集

地下街工事と通信線路		3〜7
越前・若狭だより ── 福井電気通信部		76〜80
〈論説〉当面の保全上の問題	初見辰二	8〜9
線路保全上の問題点	白須幸太郎	10〜13
市外クロスバ保全上の問題点	久語章司	14〜18
伝送路の現状からみた自即化への道	井出和彦；松島信雄	19〜23
電信保全当面の諸問題	勝見正雄	24〜27
座談会 最近における日本通信技術の海外進出について	飯島昌介；清宮博；森章；和気幸太郎；有馬純信；友枝参；庄司茂樹；井上俊雄；横井大六	28〜42
本年度総裁表彰に輝く発明考案から	山本孝	44〜50
自即網における回線設計ならびに開通工事の諸問題	田中浩太郎；山本茂文；酒見倉造	52〜59
施設用物品の購入価格の算定方法	福山裕之	60〜66
カンボジア事情	坂下隆義	68〜75
日米半自動サービスへの国際自動交換機	山部正一	81〜89
RD ワイヤの新しい断線障害探索方法	戸塚昌男；長田実；田中昭吉	91〜94
改良 C41·51 形自動交換機	田代穣次；式場実	96〜101
通話路変換装置と群通過沪波装置の減衰歪と位相歪	吉井範弘；原島進	103〜110
最近の海外雑誌から		122〜127
新仕様書の紹介	技術局仕様課	128〜130
訓練メモ	職員局訓練課	131〜131
ニュースフラッシュ		132〜133
海外技術連絡室ニュース		134〜134
読者から	松野純介	135〜135
〈豆辞典〉600 形電話機	大久保弘六	43〜43
大代表の販売	施設局機械課第 1 自動係	51〜51
P 線の地気	施設局機械課第 1 自動係	51〜51
中等部訓練の入試要綱	職員局訓練課教程係	67〜67
線路試験架紐回路のクロス理由	技術局調査部門交換担当	90〜90
MDF 連絡ボタン回路	施設局機械課第 1 自動係	90〜90
ケーブルの漏話特性の改善	技術局調査部門線路担当	95〜95
レベルマッチについて	計画局置局課設備係	102〜102
電子計算機講座 IX. OR 計算	大前義次	111〜121

Vol.16　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭所感	米沢滋	8〜9
年頭所感	佐々木卓夫	10〜13
年頭所感	平山温	14〜15
新春放談 局長・次長大いに語る	宮崎政義；大谷昌次；鈴木一松；中田亮吉；新堀達也；中村幸雄；橋本一郎	16〜27
マイクロウエーブ沖縄へ	葛原熊喜；田辺進；初瀬明；横尾和馬；小林逸正；安住忠一；笹原正夫	34〜43
カラーテレビ中継の現状と将来の展望	安藤健二	28〜33
線路近代化の動向	山野政信	44〜50
農村地域における電話需要の構造分析	佐治信男	51〜61
電気通信用シンボルの標準化	山口昭穂；牛山昭和	62〜64
欧州における宅内料金表示方式	美間敬之；大庭弘太郎	66〜74
米国の電気通信建築 2 例	沖塩荘一郎	75〜82
600 形電話機の実用化展望	高柳見；大久保弘六	83〜89
0.32mm 室内 PEF ケーブル	鳥山好三；新村長門	91〜96
600 形電話機使用の加入者線損失配分暫定基準（標準）の制定	島田博一；市川勉；南敏	97〜101
標準電気通信用シンボル（その 1）－ブロック・ダイヤグラム－	技術局標準課	103〜104
訓練メモ	保全局	119〜119
ニュースフラッシュ		116〜117
海外技術連絡室ニュース		120〜120
研究実用化報告 12 巻 12 号・13 巻 1 号掲載予定論文		121〜121
Microwave Communication	柿田潔	114〜114
オペレーションズリサーチ／理論と実際	高柳晃	114〜115
市外電話伝送	山口開生	115〜115
【豆辞典】電蝕	福富秀雄	90〜90
接点保護について		65〜65
1-F レピータ回路図		102〜102
ワット数の限界		118〜118
電子計算機講座 X．トラヒック・シミュレーション	鈴木立之；池沢英夫	105〜113

Vol.16　No.2

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉高さ制限は解かれたか	野村隼一	8〜9
建築基準法改正と高層建築	大沢秀行；北俊寿；沖塩荘一郎	10〜17
第 4 回技術成果発表会から	竹内純蔵；杉山衛	19〜26
S×S 局ローカルトレーンの 2 トレーン化について	加藤吉明	28〜34
最近の PBX 付属設備の動向	妹背聰	48〜49
宇宙通信と日本のマイクロ網	S.G. ルーツ；桑原守二	51〜58
座談会 施設部門における新規採用者の職場実習をめぐって	小山政二；横山満彦；平野利男；飯田誠一；大沢精一；板倉重史；筒井保；大川原孝詔；遊佐勝雄；岩並進；佐分利邦男；山本順一；佐藤達也	36〜47
ケーブル切替設計法について	中込四郎	59〜70
6,000Mc1,800 チャンネル方式の設計 (1)	岩崎昇三；林義明；矢野常敏；飯塚隆元；三好徹	72〜78
トランジスタ形信号機	東濃勇；高沢徳次郎	79〜86
標準電気通信用シンボル表（その 2）線路部門	技術局標準課	87〜87
パッケージタイプのクロスバ局		88〜89
ベルのホームインタホーン	竹内純蔵	90〜90
新仕様書の紹介 262 号 CXD 発信装置関係仕様書	技術局仕様課	92〜94
C11 形自動交換装置建設工法（その 1）	大野守；川島屹	99〜102
訓練メモ	職員局訓練課	98〜98
ニュースフラッシュ		116〜116
海外技術連絡室ニュース		117〜117
最近の電気通信技術	山本孝	96〜96
クロスバ部品概要	矢頭澄生	96〜97
伝送品質	長谷川寿彦	18〜18
通話当量	長谷川寿彦	35〜35
CCITT と ITU	市川勉	71〜71
新増設におけるコンネクタユニット		27〜27
D リレーの巻線について		50〜50
A 形増圧式度数計回路試験機		91〜91
1 号回転計を使用する理由		95〜95
TRF にプラグ挿入時のレベル変動		97〜97
電子計算機講座 XI. 情報交換とデータ伝送	平沢誠啓	103〜115

Vol.16　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉先進国への道	横井大六	8〜9
わが国の立場からみた全世界ダイヤル即時網の諸問題	広田憲一郎	10〜16
Ⅰ 周波数委員会を中心として	安藤健二	17〜19
Ⅱ 技術委員会を中心として	松本高士	20〜25
養成訓練制度の改正	佐分利邦男；柳沢茂	26〜32
共同溝の現状とその問題点	落合敬次郎	33〜40
パキスタンでの技術指導	宮地通	42〜46
架空ケーブルの雷害対策	新村長門；福富秀雄	53〜60
X-60-Tr 方式の商用化	青江茂；牛島和彦	62〜69
6,000Mc1,800 チャンネル方式の設計 (2)	岩崎昇三；林義昭；矢野常俊；飯塚隆之；三好徹	71〜77
調 37 号 50 ボーデータ伝送装置	信国弘毅；島崎恭一	79〜85
標準電気通信用シンボル表（その 3）通信網	技術局標準課	86〜86
最近の海外雑誌から 電子計算機による線路設計	竹内純蔵	87〜91
新仕様書の紹介 単頭プラグ仕様書	技師長室仕様課	92〜95
新工法 C11 形自動交換装置建設工法（その 2）	大野；川島	97〜100
訓練メモ	保全局	96〜96
海外技術連絡室ニュース		103〜103
ニュースフラッシュ		102〜102
〈読書案内〉新料金制と自動即時用機器	水沢慶太郎	101〜101
【豆辞典】ネーパー	名倉康秋	47〜52
【質問箱】ヒューズ溶断について		41〜41
搬送用信号配電盤の機能について		61〜61
「」回線 KA-1 号レビータ架について		70〜70
シェルフの継電器について		78〜78

Vol.16　No.4

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉3,000 億円の計画を前にして	角田和男	8〜9
昭和 39 年度建設勘定工事実施計画の概要	妻藤達夫	10〜14
電信事業についての私見	廻健三	16〜18
出荷調整制度の改善について	佐藤一郎	19〜24
衛星通信の歩み	安藤健二；桑原守二	25〜31
PCM 時分割多重伝送方式（その 1）	前田光治	32〜41
読者実態調査の結果と編集モニターの意見から	施設編集部	42〜45
座談会 全国自動即時化をめぐって	杉村興作；加藤秀夫；塙武夫；太田勇；古市米雄；蔵方恒四郎；菊地信一郎；橋本保；伊佐進	46〜64
PBX 設備の現状	大和信夫；秋庭弘；向井暉二	65〜69
PVC 信号ケーブル	川北多美之佐；貝淵俊二	71〜74
S-2 形双方向中継器の概要	石川光雄；矢島悍；近藤肇	76〜82
電話回線の通話音量（その 1）	前田光治；市川勉；菊池芳男	84〜90
短距離無線中継装置による仙台－石巻回線を保守して	堀越峻；藤井一明；菊地雅年；堀速夫	92〜96
私の提案 OA11, 12 号 D 発信装置誤警報の分析とその対策	大石洋太郎；服部道彦	97〜100
標準電気通信用シンボル表（その 4）交換部門		114〜114
宅内作業の合理化		115〜116
ベル系電話会社で実用化中の A 形局用共通制御装置	竹内純蔵	117〜117
ダイヤル組込式送受器	竹内純蔵	118〜118
C63 形自動交換機レジスタセンダ類仕様書	技術局仕様課	119〜120
TC-2 形電話託送装置仕様書		121〜122
新工法シリーズ 新しい曲線路用の補助吊線バンドの制定と工法	中村昭夫	123〜127
ニュースフラッシュ		128〜129
訓練メモ	厚生局訓練課	130〜130
海外技術連絡室ニュース		131〜131
宅内装置	美間敬之	132〜132
やさしい OR 入門	藤岡勇	132〜133
読者から	中村正吉	134〜
リード継電器	三好明義	75〜75
ATTM	清水重雄	83〜83
4 号形電話機と 600 形電話機の比較	大久保弘六	108〜108
A 形自動局試験台障害受付線回路の ANS コードによる発信者保留機能の付与		15〜15
セレン整流素子経年劣化による抵抗変化		70〜70
局線集中応答装置について		91〜91
450GE 継電器調整上の問題点の有無		101〜101
2 回線共通選択接続について		133〜133
線路・土木 (1)	朴木実	102〜107
無線 (1)	土井博之	109〜113

Vol.16　No.5

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉国民生活白書と電話	今井一郎	8〜9
大阪市外電話局運用サービスの回顧	内藤久応	10〜18
通信機器の固体電子化の歩み	鈴木義彦；土井博之；鈴木立之；貝塚博	19〜25
プラスチックケーブルの歩みと今後の課題	鳥山好三；新村長門	27〜35
本土－沖縄を結ぶマイクロ回線	笹原正夫；太田尚広；与田憲治；篠原敏浩	36〜42
請負工事の標準工数に関する諸考察	小原猛	44〜52
PCM 時分割多重伝送方式（その 2）	前田光治	53〜64
C22 形交換装置の概要	田代穣次；中島一；北村八郎	71〜77
大都市地域における加入者ケーブルの配線設計上の問題点	駒村吉男；小倉康次；山口鎮雄；杉田勇	78〜83
ホーンリフレクタ空中線とその給電系について	加藤誠二；川淵竜弥；林義昭	85〜94
無線機器における半導体の応用 (1)	矢野常俊；三好徹	95〜99
電話回線の通話音量（その 2）	前田光治；大蔵恭仁夫；堀秀夫；榎並章三	101〜106
標準電気通信用シンボル表（その 5）無線部門		135〜135
タッチトーンカードダイヤル装置		119〜120
通信機器に用いる各種付線方法の比較	竹内純蔵	121〜122
新工法シリーズ 市内装荷線輪の取付けおよび接続工法	桜井幸春	123〜130
新仕様書の紹介 2 号 BW 試験器仕様書	技術局仕様課	131〜132
訓練メモ	保全局管理課	134〜134
ニュースフラッシュ		136〜137
海外技術連絡室ニュース		140〜140
クロスバ C8 方式	榎田久夫	138〜138
電子計算機のことば	池野信一	138〜139
研究実用化報告 13 巻 5 号掲載予定論文		141〜141
標準実施方法	山口昭穂	100〜100
配線ケーブルと饋線ケーブル	高橋利男	118〜118
電柱敷地補償料の支出について		26〜26
1 号 FCONNd11, 12 接点について		43〜43
無鍵信号の信号トリップについて		65〜70
CS35 地団交換機回路について		84〜84
市外 PEF-P ケーブルについて		107〜107
構内交換機の漏話について		133〜133
線路・土木 (2)	朴木実	108〜113
無線 (2)	土井博之	114〜117

Vol.16　No.6

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉経済設計と信頼性	緒方研二	8〜9
昭和 38 年度建設工事遂行の跡をかえりみて	妻藤達夫	10〜17
昭和 39 年度技術調査研究実用化計画の概要	清水通隆	18〜24
専用設備端末機器等の検査事務処理要領の制定の趣旨と要点	川原田安夫；大庭弘太郎；篠原進	25〜30
無線による PCM 伝送	松本高士	31〜35
ヴェネズェラ事情	蔵方恒四郎；伊藤義三	36〜42
C11 形自動交換機の概要	鈴木正和；中村千之	43〜48
新方式の配電線からの誘導妨害について	福富秀雄；田中久也	49〜57
新しい地下ケーブルの設計法	駒村吉男	58〜63
専用市外電話回線設計法の手引	今村耕一	64〜71
11Gc 分岐方式商用試験結果	立川敬二；小林新平；飯塚隆之	72〜78
市外電話回線のレベル変動	市川勉；松尾義一；倉地光男	79〜86
データ伝送用変復調装置	金井一夫；今村晴彦	87〜93
M 形信号機付加用品について	東濃勇；高沢徳次郎	94〜106
標準電気通信用シンボル表（その 6）無線部門		137〜137
最近の海外雑誌から ベル研におけるトラヒック・シミュレーション	竹内純蔵	119〜122
新工法シリーズ ケーブル・ラック建設工法（その 1）	深海；大野	123〜127
新仕様書の紹介 市内 CCP ケーブルおよびその関連物品の仕様書制定	技術局仕様課	128〜136
訓練メモ	厚生局訓練課	138〜138
海外技術連絡室ニュース		139〜139
ニュースフラッシュ		140〜140
〈読書案内〉通信方式の基礎	平三郎	141〜141
線路・土木 (3)	朴木実	107〜113
無線 (3)	土井博之	114〜118

Vol.16　No.7

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉VA 活動の展開	井上俊雄	8〜9
昭和 39 年度施設用物品調達計画について	佐藤一郎	10〜12
電気通信技術委員会の答申から	清水通隆；渡辺義彦	13〜20
市外トラフィックの変動について	鈴木慶泰；内藤晶一	21〜28
電話交換における信号方式の現状と問題	鈴木立之	30〜37
価値工学について	佐藤正男	52〜57
座談会 通信局からみた技術と経営上の問題点	沼倉忠男；原田安雄；橋本真澄；林新二；川田大介；角田和男	38〜50
C82 および C63 クロスバ交換機の概要（その 1）	福富礼治郎；石井孝；上田裕	60〜67
C-5 形 XB 交換機の出線算出方法（その 1）	秋丸春夫；雑賀一	68〜73
プラスチックケーブルを用いた地下配線方式	松木昭；三宅将善；宮沢照男	74〜80
洞道工事におけるシールド工法の適用	姫野梶彦	82〜90
11Gc 方式の回線設計	桑原守二；藤岡宏衛	92〜97
市外電話回線の雑音および減衰量＆周波数歪	市川勉；原田照男；安藤寿哉；金井保	98〜106
新しい電信回線用測定器	杉浦淳一郎；松山光	108〜114
標準電気通信用シンボル（その 7）電信部門	深海健三；大野守	149〜149
ロンドンーパリ国際加入者ダイヤル方式		138〜138
米英両国を直接結んだ大西洋横断ケーブル ── 第 3 大西洋横断ケーブル		139〜140
エリクソンの新形端子函	竹内純蔵	141〜142
新工法 ケーブル・ラックの建設工法（その 2）	深海健三；大野守	143〜147
海外技術連絡室ニュース		150〜150
訓練メモ	保全局管理課	152〜152
ニュースフラッシュ		154〜155
〈読書案内〉クロスバ基本回路	矢頭澄生	151〜151
「施設」編集モニターの選考発表	施設編集部	59〜59
伝送量	名倉康秋	81〜81
Traffic	糸賀邦夫	115〜120
TOS と TIS	深海健三；大野守	148〜148
自営用品の認定について		29〜29
オッシログラフ回路について		51〜51
電源の接地等について		58〜58,137〜137
伝送損失設計について		91〜91
受電用遮断器の遮断容量について		107〜107
T-12-Tr1 形 FB 群変換装置について		153〜153
技術のはなし 搬送 (1)	貝塚博	121〜129
技術のはなし 交換 (1)	池谷寛	130〜134
施設人のための事業知識 (1) 自営用品の認定制度	生出勝次郎；小沢春雄	135〜136

Vol.16　No.8

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉はなやかな技術革新のかげに現場を支える根性	大槻由之助	8〜9
市外電話サービスの現状と改善計画について	杉村興作；三城勝彦	10〜20
マイクロ方式の現状と将来	松本高士	21〜29
異動通知実施方法の改正について	川原田安夫；加藤武雄；辻操	30〜33
電話局舎の設計について	松田正司	48〜52
座談会 電気通信工事事務所の使命を果たすために	岩倉一具；照木広三郎；伊貝暁；木梨定次；椿正実；野口有文；山崎芳雄；武田武雄；千野孝；大友実；中久保卓治	34〜47
C82 および C63 クロスバ交換機の概要（その 2）	福富礼治郎；千葉正人	53〜60
C-5 形 XB 交換機の出線算出方法（その 2）	秋丸春夫；雑賀一	61〜66
再設計された短搬方式（T-12SR 方式）（その 1）	石川光雄；池部剛次	67〜76
福岡地区近傍反射試験について	高村邦夫；関要；今村政光；浦園慎一；佐藤清運	77〜82
交換局の局内損失	市川勉；進九二雄；斉藤秀幸	83〜90
データ伝送用の伝送制御装置	今村晴彦；信国弘毅；金井一夫	91〜104
標準電気通信用シンボル（その 8）回路要素部門		146〜146
PBX を対象とした No.101 電子交換システム		134〜137
新しい補助受話器	竹内純蔵	138〜139
新工法シリーズ 道路舗装の本復旧工法	伊藤和五郎；本田健	121〜126
新仕様書の紹介 新しいネジ回しと各種調整工具仕様書	技術局仕様課	127〜133
海外技術連絡室ニュース		140〜141
〈読書案内〉電電しかられ役	森山彰一	142〜142
訓練メモ	厚生局訓練課	143〜143
ニュースフラッシュ		144〜145
読者から 構内移転工事費の有料化と単金制について	市田一雄	147〜147
搬送 (2)	貝塚博	105〜112
交換 (2)	池谷寛	113〜117
施設人のための事業知識 (2) 物品準備要求方法の現状・今後の方向	小沢春雄	118〜120

Vol.16　No.9
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉事業に密着した研究を進めるために	今川貞郎	8〜9
最近の電気通信研究所の研究活動	相田実；雁部頴一	10〜17
新潟地震の被害とその復旧	本社災害対策本部	18〜24
道路法の改正をめぐって	小沢春雄	25〜29
CAMA 方式	山本芳秀；美間敬之	30〜41
座談会 日米半自動サービスの開始にあたって	木村光臣；志村静一；池田茂樹；関邦秀；亀田治；伊佐進；松島信雄；広田憲一郎；緒方研二	42〜57
C82 および C63 クロスバ交換機の概要（その 3）	福富礼治郎；千葉正人	58〜65
A 形および H 形無駐在局用機器の実用化	永江悟朗；村瀬邦夫；鈴木貞三	80〜90
新しいプリント局内ケーブル	真鍋忠恒；佐々木修三	66〜71
再設計された短搬方式（T-12SR 方式）（その 2）	石川光雄；池部剛次	72〜79
オリンピックにおけるテレビ中継	桑原守二；桜井三夫；村上雅之	91〜94
TX-6 形電報中継交換方式（その 1）	木植和夫；山崎勝；渡部一夫	95〜106
搬送 (3)	貝塚博	107〜113
交換 (3)	池谷寛	114〜119
施設人のための事業知識 (3) 公衆通信と私設通信	生出勝次郎；小沢春雄	120〜123
標準電気通信用シンボル（その 9）回路要素部門		145〜145
無はんだラッピング接続法		129〜131
アメリカにおける通話音量の実態	竹内純蔵	131〜134
新工法シリーズ 市内ケーブル切替工法	中村昭夫	124〜128
新仕様書の紹介 搬送関係	技術局仕様課	135〜138
訓練メモ	保全局管理課	139〜139
海外技術連絡室ニュース		140〜140
〈読書案内〉600 形電話機	高柳晃	141〜141
ニュースフラッシュ		142〜144

Vol.16　No.10

日本電信電話公社施設局編集

創刊 15 周年にあたって	佐々木卓夫	8〜9
創刊 15 周年記念に寄せて	林一郎	10〜13
創刊 15 周年記念に想う	辻正	14〜15
自即網管理体系について	緒方研二；鈴木立之	16〜23
線路工事近代化連絡会の活動状況	線路工事近代化連絡会	24〜28
合理化のすすむ請負工事費積算方法	小原猛	29〜33
自営用品の一般認定と専用設備の適合審査	柳川輝夫；小林登；井上正喜	34〜41
マイクロウェーブ伝搬路の保護対策	生出勝次郎	42〜45
電源装置の固体電子化	後藤志朗	46〜51
創刊 15 周年記念懸賞論文入選発表		52〜52
第 1 部門 2 等 入選作 公社と企業性	井深次郎；石野文雄；国枝正弘；星野孔昭；中島賢一	54〜59
第 2 部門 1 等 入選作 今後の保全に題す	牛島義男	60〜64
第 3 部門 1 等 入選作 現場技術者の群像	渥美龍之	65〜70
創刊 15 周年記念懸賞論文審査概評	矢頭澄生	53〜53
本仕化された 600 形電話機	高柳晃；近藤久	71〜78
組込形になった受付電話装置およびボタン電話装置	栃川茂	79〜84
9.5mm 同軸ケーブルの構造・工法の改良	戸塚昌男；森本三雄；鍋田衛	85〜90
市内 CCP ケーブルの本実施について（その 1）	佐々木修三；中込四郎	91〜99
C-4M 同軸方式安定化試験の実施結果	鈴木勝夫	100〜104
無線機器における半導体の応用（その 2）	三好徹	105〜111
TX-6 形電報中継交換方式（その 2）	木植和夫；山崎勝；渡部一夫	112〜117
加入者線の現状とその分析（その 1）	長谷川寿彦	118〜132
土木 (1)	岩永三樹男	133〜137
電信 (1)	鈴木義彦	138〜143
施設人のための事業知識 (4) 38 年度決算と公社経営	小沢春雄	144〜146
「施設」ができあがるまで－各委員会の仕組みと作業工程	施設編集部	160〜162
米国の回線網管理	竹内純蔵	148〜151
標準電気通信用シンボル（その 10）回路要素部門		147〜147
訓練メモ	厚生局訓練課	152〜152
海外技術連絡室ニュース		153〜153
〈読者から〉第 1 回「施設」編集モニターの任期を終えて		154〜155
ニュースフラッシュ		156〜159
研究実用化報告第 13 巻第 10 号掲載論文		163〜163

Vol.16　No.11

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉農村集団自動電話・団地自動電話サービスの開始にあたって	平山温	8〜9
農村集団自動電話および団地自動電話の概要	池谷寛	10〜19
小局経営に関する諸問題	今村徳輔	20〜27
電気通信技術標準実施方法の諸問題	佐々木正俊	28〜33
接続有線放送電話設備の検査のあり方	川原田安夫；加藤武雄	34〜36
電話機設置基準の改訂	志村武雄；森田千三	37〜42
最近の検査と検査物品の品質	田中潤一；森屋光行	43〜48
近接マルチ局の MDF・試験台の収容方法	宮脇崇夫；増田利夫	49〜54
東海電気通信局における線路工事近代化の動向	佐藤四郎；永田浩通；吉野玄一	55〜58
米国における農村電話設備の概要と線路設計	横山一夫	59〜66
加入者与論調査結果からみた自即サービスの問題点	角田岩雄	67〜70
市内 CCP ケーブルの本実施について（その 2）	桜井幸春；伊藤宣弘；佐々木修三	71〜76
同軸ビデオ方式のカラー化	青江茂；飯田勝二	77〜82
新しい内航船舶電話サービス	山根信義；三野昇；青木昌司；橋本七郎	83〜91
加入者線の現状とその分析（その 2）	長谷川寿彦	92〜96
データ伝送用入出力装置	信国弘毅；今村晴彦	97〜102
電力用アルミニウム導体	本間哲夫；兎本日出男	103〜114
土木 (2)	岩永三樹男	115〜119
電信 (2)	鈴木義彦	120〜126
施設人のための事業知識 (5) 未完成施設	小沢春雄	128〜130
電話ケーブルを用いたテレビ電話	竹内純蔵	131〜134
標準電気通信用シンボル（その 11）回路要素部門		135〜135
〈読書案内〉電話交換機入門	山部正一	127〜127
海外技術連絡室ニュース		136〜136
ニュースフラッシュ		137〜139

Vol.16　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞保全サービス安定化への地味な努力を	勝田日出夫	8〜9
昭和 38 年度の保全成果	川原田安夫；江頭淳	10〜18
即時網保全管理について	近沢泰；柴田一雄	19〜25
Ⅰ.CCITT の活動状況と成果	鈴木虎夫；勝見正雄；清水通隆；前田光治	26〜38
Ⅱ.CCIR の活動状況と成果	土井博之；山根信義；松本高士	39〜49
東京重要産業地帯と名古屋・大阪自即	守家一夫；稲益三夫；光山政雄	50〜55
“ICMCI”（マイクロ波, 回路理論および情報理論に関する国際会議）の開催について	海外技術連絡室	56〜57
XB 自動交換機室の階高と建物の精度	三宅敏郎；小林健司	58〜62
雷害日記	足立徳蔵	63〜65
近畿電気通信局の線路近代化活動状況	植田義明；池上績	66〜70
H 形局用 MF 信号送出装置の改良	村瀬邦夫；高木慶三；戸川晟	71〜77
600 形電話機用工具の取扱方法	近藤久；長岡象一	78〜84
硬質ビニル管の商用試験等の結果	北川郁夫；西野博	85〜91
近距離 24chPCM 方式	坂下隆義	92〜96
11Gc 方式の置局設計	大谷津透	97〜101
トラブルレコーダの改良について	山崎勝	102〜105
電力装置を保守して	矢島藤一	106〜116
土木 (3)	岩永三樹男	117〜121
電信 (3)	鈴木義彦	122〜129
施設人のための事業知識 (6) 支障移転	生出勝次郎；小沢春雄	130〜131
9.5mm 同軸ケーブルの工法改訂	建設局工法課	132〜139
標準電気通信用シンボル（その 12）回路要素部門		140〜140
海外技術連絡室ニュース		141〜141
＜読者から＞現場における電話の保全と広報	木村敏雄	142〜145
ニュースフラッシュ		146〜147

Vol.17　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭所感	米沢滋	8〜9
年頭所感	佐々木卓夫	10〜11
年頭所感	平山温	12〜13
米国ベルシステムにおける電話事業	米沢滋	14〜29
電気通信用語の標準化	佐々木正俊；山口昭穂	45〜48
研修部技術科について	野村治雄；岩田正和	49〜53
関東電気通信局における線路工事近代化の動向	阿部功；金子實；坂本延行	54〜57
ペルー見聞記	吉田周正；清時昇；渡辺正信	58〜62
新春座談会 10 年後の電気通信事業－技術編－	佐々木卓夫；清水通隆；田中浩太郎；山内正弥；米沢威行；山根信義；新村長門；前田光治；美間敬之	30〜44
加入者回線試験器	永江悟朗；小林篤	63〜71
ガス連続供給方式による市内ケーブルの保守	徳永雅；前田喜久男；片瀬義之	72〜78
搬送方式設計（その 1）	副島俊雄	79〜83
マイクロウエーブにおける反射板中継方式	今村冨雄；宮代勝弘；林茂実	91〜98
C5 形・C6 形市外交換機適用標準	清時昇；滝ヶ崎喜吉；稲田邦雄；森武治	99〜105
大阪中央電報局の施設設計（その 1）	鈴木錠造；井田智雄；松葉猛	106〜111
プラスチック電槽を用いた密閉形蓄電池	田川啓次郎	112〜115
宅内 (1)	高柳晃	116〜121
電力 (1)	後藤志朗	122〜126
施設人のための事業知識 (7) 電柱敷地補償料	小沢春雄	128〜130
昭和 40 年度「施設」編集モニター募集		85〜90
新工法シリーズ ジュート巻鋼管の改良接続工法	長原昭彦	131〜134
ニュースフラッシュ		84〜84
〈読書案内〉建築工事請負契約の理論と実務	小沢春雄	127〜127
海外技術連絡室ニュース		135〜135

Vol.17　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞電話の需要構造について	今井一郎	8〜9
オリンピック通信施設の成果記録	今井一郎	10〜21
オリンピック組織委員会に参画して	村山好久	22〜24
座談会 技術成果発表会をめぐって	網野茂；星野孔昭；西野肇；永田哲一；田村寿；山本武行；久保井久夫；窪宣正	31〜41
第 5 回技術成果発表会から	曽根錦吾；土肥英郎	25〜30
四国通信局におけるプラントレコードセンタ	大橋一郎	42〜44
通信用トランジスタの使用状況	泉秀雄	45〜49
東京通信局における線路近代化の動向	三沢勲人；山谷友昭	50〜53
600 形電話機の使用区分	志村武雄；馬場志津夫；森田千三	54〜59
細心同軸ケーブル工事を施工して	本間寿雄；青山功；原毅；中村一三	60〜70
近距離 24ch PCM 方式（その 1）	坂下隆義；榎並章三；堀秀夫；田崎公郎	71〜77
大阪中央電報局の施設設計（その 2）	鈴木錠造；井田智雄；山田順一郎；松葉猛	78〜84
宅内 (2)	高柳晃	85〜90
電力 (2)	後藤志朗	91〜96
施設人のための事業知識 (8) 建設と固定資産	小沢春雄	102〜104
最近の海外雑誌から アナログ計算機を用いたシミュレーション	竹内純蔵	97〜101
新工法シリーズ ケーブル接続箇所の仮防水工法（その 1）	桜井幸春	105〜108
海外技術連絡室ニュース		109〜109
ニュースフラッシュ		110〜113
訓練メモ	保全局管理課	114〜114

Vol.17　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉あれから 1 年	野村隼一	8〜9
局舎特集	矢野敬一	10〜30
局内の増設工事規模をいかに定めるべきか	今村徳輔；中嶋栄之助	31〜37
市外クロスバ交換機の設計	榎田久夫；倉石順司；丹野武宣；木下光一	38〜45
中国通信局における線路近代化の経過概要	太田勇；伊達明光	46〜48
米国におけるセントレックスの現状	福富礼治郎	49〜55
ベルシステムにおける信頼性技術	大前義次	56〜59
600 形化した特殊簡易公衆電話機	高柳晃；木村豊；浅川泰亘	60〜67
改定弛度表の作成経過について	川下雄一	68〜74
搬送方式設計（その 2）	副島俊雄	75〜81
全トランジスタ化 60Mc 帯可搬無線機	山根信義；木村正道；甲斐格；近藤肇	82〜88
データ伝送用測定器	今村晴彦；信国弘毅；金井一夫	89〜95
無停電電源装置設置局所の停電状況と同装置の稼働の現状	横坂敏夫；上池啓一；藤村晟一	96〜106
宅内 (3)	高柳晃	107〜113
電力 (3)	後藤志朗	114〜119
施設人のための事業知識 (9) 竣功検査	生出勝次郎；小沢春雄	124〜125
最近の海外雑誌から トランジスタ増幅器内蔵の送受器	竹内純蔵	120〜123
新工法シリーズ ケーブル接続箇所の仮防水工法（その 2）	桜井幸春	126〜127
訓練メモ	保全局管理課	128〜129
海外技術連絡室ニュース		130〜130
ニュースフラッシュ		131〜132

Vol.17　No.4

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉増大する建設工事完遂方策特集に寄せて	平山温	8〜9
増大する建設工事完遂方策特集	緒方研二；小沢春雄	10〜35
座談会 10 年後の電気通信事業 ── 計画・施設編	佐々木卓夫；今村徳輔；伊藤義三；谷山陽；春山巖；渡辺卓哉；池谷寛	36〜47
保全部門における事務近代化の概況	今野彦正	48〜51
加入電信の受信さん孔サービスの概要と技術基準	幸前治彦	52〜59
論理的な回線集束法	川本治雄；吉田宏	60〜65
線路工事近代化活動の概況	山野政信	66〜69
加入者話中率および加入者呼量測定装置の実用化	村瀬邦夫；真竹芳樹；石川繁雄	70〜76
搬送回線と CX 回線に兼用できる新しい S×S 局用着信機器	高木慶三；高橋徹	77〜86
応急用同軸ケーブルの改良（その 1）	戸塚昌男；鍋田衛	87〜93
近距離 24ch PCM 方式（その 2）	坂下隆義；田崎公郎；平本盛徳	94〜102
全固体化 2000Mc 中継方式	海老原勇夫；渡辺桐夫；加藤誠二	103〜114
〈職場の改善例〉見事成功したケーブル罹障時間の短縮	村田銀一；山本巧	115〜119
管理技術 (1)	白根礼吉	122〜126
通信網 (1)	山縣保	127〜132
施設人のための事業知識 (10) 設計積算	丹羽秀二；小沢春雄	120〜121
〈新仕様書の紹介〉搬送関係・無線関係	技術局仕様課	133〜138
新工法シリーズ ケーブル編出し先行工法	遠藤智久	144〜147
最近の海外雑誌から PCM（パルス符号変調方式）の父	加納実	139〜142
海外技術連絡室ニュース		148〜148
訓練メモ	厚生局訓練課	149〜149
ニュースフラッシュ		150〜151
「施設」編集モニター選考発表	施設編集部	143〜143

Vol.17　No.5

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞ 40 年度の実施計画を進めるに当って	緒方研二	8〜9
昭和 40 年度建設勘定工事実施計画の概要	春山巖	10〜14
要員・経費と保全サービスとの関連について	浜崎一郎	15〜22
電子計算組織 7044 & 40 の導入経過	粟野敏雄；柴山敏明；大滝寿朗	23〜30
光通信の技術	土井博之；村田忠明	31〜36
市外クロスバ交換機中継方式の検討	大久保弘六；石井昭一；山田和之；秋山勝	37〜44
都心部ビル地域における電話需要予測について	式場英；石田都士夫	45〜49
停電始末記	金織薫	50〜51
私の提案 曲線路における L の計算法についての一考察	東俊之	52〜53
応急用同軸ケーブルの改良（その 2）	戸塚昌男；鍋田衛	54〜57
スタルペスケーブルの新しい外被接続工法	平三郎；新村長門；福富秀雄	58〜67
搬送方式設計（その 3）	副島俊雄	68〜73
11Gc 帯無線中継方式の新周波数配置	斉藤雄一；多田寛五；飯塚隆之；立川敬二	74〜79
宇宙通信地上局に対する公社マイクロ回線の置局設計	大谷津透；二宮靖彦；岩崎昇三；秋山忠	80〜87
新大阪中央電報局における託送電報の受付装置	木植和夫；上野幸雄；矢嶋国男	88〜96
＜職場の改善例＞こうして受付回路を改良した	鈴木増茂	103〜103
管理技術 (2)	白根礼吉	104〜108
通信網 (2)	山縣保	109〜115
施設人のための事業知識 (11) 債務償還	小沢春雄	116〜117
第 6 回技術成果発表会論文募集		97〜102
新工法シリーズ市内 CCP ケーブルの建設工法（改訂）	井口章	118〜125
最近の海外雑誌から アメリカの新しい自動車電話方式	加納実	126〜128
無線関係		130〜130
宅内関係		131〜131
訓練メモ	保全局管理課	129〜129
海外技術連絡室ニュース		132〜132
＜読書案内＞人間工学	川端久喜	133〜133
ニュースフラッシュ		134〜135
研究実用化報告第 14 巻第 5 号掲載予定論文		136〜136
読者から 喜びを感ずる仕事	松野純介	137〜137

Vol.17　No.6

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞資材特集によせて	税所正芳	8〜9
昭和 40 年度施設用物品調達方針ならびに調達計画	種村省三；武田正弘	10〜15
資材の流通機構の改善	古市米雄；武田正弘；四本辰巳；前島敏郎	16〜22
施設用過剰未稼働貯蔵品の使用認定	長田亀行	23〜28
施設用物品購入契約の現状と今後の課題	小西一郎	29〜31
新しい施設用の被服について	小西大平；平一人	32〜35
ITU 創立百周年に因んで	野口謙也	36〜40
全国即時化市外建設工事と調整	塙武夫	41〜51
SMS による網構成上の一考察	大久保弘六	52〜61
私の局で実施している工事日予約制度	市川隆久；塩口裕；森川正男	62〜67
構内交換設備の保全検査の実態	三橋高三	68〜71
クロスバ局用の新しい 1 号 B トラヒック監視装置	池沢英夫；星野勇	72〜79
加入者自営施設におけるクロスバ構内交換機の概要	石田義典；向井暉二	80〜86
近距離 24ch PCM 方式（その 1）	平塚憲一；大蔵恭仁夫；高木慶三；高橋徹	87〜95
中・短信送信機の小形化	佐川正；木村正道；神門盛義；渡辺松彦；山田幸輝	96〜102
8 ビットコードを伝送する新しい 200B & S データ伝送装置	信国弘毅；菅常一	103〜114
PV-T 形アレスタの商用試験結果	田川啓次郎	115〜117
管理技術 (3)	白根礼吉	120〜125
通信網 (3)	山縣保	126〜131
施設人のための事業知識 (12) 経営比率	小沢春雄	118〜119
最近の海外雑誌から 英国における最近の通信技術開発の状況	加納実	132〜136
第 2 回『施設』編集モニターの任期を終えて		138〜139
訓練メモ	厚生局訓練課	137〜137
ニュースフラッシュ		140〜141
海外技術連絡室ニュース		142〜142
研究実用化報告第 14 巻第 6 号掲載予定論文		143〜143

Vol.17　No.7

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉近ごろ感じること	新堀達也	8〜9
昭和 40 年度技術調査研究実用化計画の概要	清水通隆	10〜17
昭和 39 年度における研究所技術協力部の活動	都丸喜成	18〜23
座談会 農集・団地自動電話サービスを実施して	栗田義弘；滝沢純；安藤通；林典宏；平野好太郎；鈴木武志；稲田信；小畑昭雄；池谷寛	24〜35
新電気事業法の施行にあたって	酒井和男；佐藤敏雄	36〜39
H 形局舎におけるクロスバ建設工事	松永信男；磯貝金五；小川龍一	40〜48
賠償関係事件に現われた交通事故の実態	川中徳重	49〜52
電話用配管の設計心得	志村武雄；森田千三	53〜60
新しく採用された架空用金物と張力計	持田国臣；高徳恒	61〜67
4Mc 細心同軸ケーブル方式（P-4M 方式）	石川光雄；栗林勝	68〜76
マルチアンテナ方式による海上伝ぱん路の置局設計法	島崎隆；加藤正一；小井手明典	77〜83
サイリスタを使用した DC-DC コンバータ	大野伝次	84〜89
密閉形蓄電池の障害とその対策	横坂敏夫	90〜95
〈職場の改善例〉BW 試験器による障害測定の要領	高木宗一郎；杉山益男	96〜106
技術のはなし－搬送通信機器 (1)	貝塚博	107〜115
施設人のための事業知識 (13) 予算総則	波多野清；小沢春雄	116〜117
新工法シリーズ 分岐接続圧着工法	八橋主計	118〜126
最近の海外雑誌から 電子計算機を使用する配線設計	加納実	130〜135
〈読書案内〉		136〜137
〈新仕様書の紹介〉電信関係・機械関係		127〜129
訓練メモ	保全局管理課	138〜138
ニュースフラッシュ		139〜140
海外技術連絡室ニュース		141〜141

Vol.17　No.8

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉技術と合理	浦川親直	8〜9
データ伝送サービスの現状	幸前治彦	10〜16
“通信制御”を中心とするデータ伝送技術の展望	平沢誠啓	17〜23
データ伝送の新しい符号	鈴木錠造	24〜31
電気通信技術委員会の最近の活動	清水通隆；竹内純蔵	32〜38
昭和 39 年度の検査結果	田中潤一；森屋光行	39〜44
非常災害における線路関係設備被害の分析	斎藤芳雄；花岡達郎；野呂泰	45〜51
48V を使用した磁石局用交換装置とその電源装置	高木慶三；平井修；高橋徹	52〜62
TZ 形ダイヤル両方向装置	大野勉；西川昭次；宮川久仁雄；浜口文男	63〜68
防食形共電式構内交換機	石田義典；栃川茂	69〜75
近距離 24ch PCM 方式（その 2）	平塚憲一；大蔵恭仁夫	76〜90
4.4mm 同軸ケーブル	戸塚昌男；鏑田衛；栩木浩司	91〜101
DT-51 形データ伝送装置	島崎恭一；三橋喜一	102〜109
技術のはなし－電話トラヒック理論 (1)	佐々木幸彦	110〜117
施設人のための事業知識 (14) 予定価格の積算	宇野利勝；小沢春雄	118〜119
新工法シリーズ 75mm 硬質ビニル管の多段積布設工法	本田健	120〜122
最近の海外雑誌から アメリカにおける新製品紹介	加納実	123〜126
〈読書案内〉サービスオーダー工事	村田光弘	127〜127
〈新仕様書の紹介〉電力関係	技術局仕様課	128〜130
研究実用化報告第 14 巻第 8 号掲載予定論文		131〜131
海外技術連絡室ニュース		132〜134
ニュースフラッシュ		135〜135

Vol.17　No.9

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉クエイト国に使して	佐々木卓夫	8〜9
最近の海外技術協力について	林新二	10〜15
日本の伝送技術と CCITT 対策	前田光治	27〜33
新しい技術基準 ── 総論	島田博一；水口一	34〜39
ケーブル布設, 編出先行工法の実施結果	山本牧男；大野豊靖	40〜46
アメリカの市内線路設計（その 1）	新村長門	47〜55
座談会 10 年後の電気通信事業 ── 建設編	佐々木卓夫；伊佐進；松山清治；小出梅雄；鈴木清；岡裕；小菅正夫；矢頭澄生；高橋敏朗	16〜26
〈私の考察〉集線装置の現状	中沢健治	56〜59
自即公衆電話方式（その 1）	木村豊；上遠野浩	60〜68
600 形化された交換用送受器	木村豊；清武輝雄	69〜71
共電式構内交換機の諸問題と改造使用について	牧野正男；吉永竜介	72〜76
冷凍方式による乾燥空気供給装置	桜木俊彦；山内一郎	77〜83
トランジスタ, コンデンサ安定度の現状	石川光雄；色摩亮次郎；工藤孝一	84〜94
4,000Mc 固体電子化方式－方式設計（その 1）	岩崎昇三；大野伝次；木村吉朗	95〜106
技術のはなし－搬送通信機器 (2)	貝塚博	107〜115
施設人のための事業知識 (15) ATT の建設計画	小沢春雄	116〜119
新工法シリーズ ライナ工法による 6 号および 8 号形自動交換機建設	有馬弘郎	120〜123
〈読書案内〉標準作業図解集 ── 宅内編・市内線路編	山口昭穂	124〜124
〈新仕様書の紹介〉線路関係・各部門共通	技術局仕様課	125〜127
研究実用化報告第 14 巻第 9 号掲載予定論文		128〜129
最近の海外雑誌から マイクロエレクトロニクスの現状	加納実	130〜133
海外技術連絡室ニュース		134〜134
訓練メモ	保全局管理課	135〜135
ニュースフラッシュ		136〜137

Vol.17　No.10

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉企業の夢	黒川広二	8〜9
IEC をめぐる諸問題	佐々木正俊；高原靖	10〜17
新しい技術基準 ── 接続基準	山縣保；佐々木幸彦；藤木正也；鈴木輝信	18〜29
建設工事促進のための会計事務の簡素化	千田鎮雄；森田雅幸	30〜35
アメリカの市内線路設計（その 2）	新村長門	36〜42
現場からみた機械工事推進のための一提案	渥美龍之	43〜48
〈私の提案〉ボックス公衆電話機のサービス管理について	篠ヶ瀬広文；田中調治	49〜52
〈職場の改善例〉自動スイッチ注油作業の合理化	岐阜電話局施設部市内機械課	53〜55
“パターン化”された C3 形クロスバ局の設計	中村千之；大和馨	56〜64
自即公衆電話方式（その 2）	木村豊；上遠野浩	65〜72
新しく制定された塗覆装鋼管とその接続工法	伊藤和五郎；山口泰男；西野博	73〜78
全トランジスタ化した可搬無線機用端局装置	石川光雄；黒沢秀行	79〜90
マイクロフェンスによる置局設計法	島崎隆；小井手明典；北哲朗；小原正秀	91〜99
PCM 伝送路によるデータ伝送品質	川端久喜；於保昌二	100〜106
トランジスタを使用した短搬 AGC 局用電源装置	大野伝次	107〜113
技術のはなし－電話トラヒック理論 (2)	佐々木幸彦	114〜127
施設人のための事業知識 (16) 39 年度決算	小沢春雄	128〜130
新工法シリーズ 市外 PEF-P ケーブル C 部門標準実施方法の制定	若木正明	131〜134
電話交換技術の発展	加納実	135〜140
訓練メモ	厚生局訓練課	141〜141
研究実用化報告第 14 巻第 10 号掲載予定論文		142〜142
海外技術連絡室ニュース		143〜143
ニュースフラッシュ		144〜145

Vol.17　No.11

日本電信電話公社施設局編集

電信電話調査会の答申をうけて	米澤滋	8〜9
電信電話調査会報告書の意義	宮崎政義	10〜12
電信電話の現状と問題点	飯田穣治	13〜19
電信電話調査会の報告書から〈電話関係〉	北村武	20〜27
電信電話調査会の報告書から〈電信関係〉	人見世志夫；赤羽弘道	28〜32
新しい技術基準 ── 伝送基準	市川勉；原田照男；斎藤収三；大森喬	33〜42
ベルシステムビジネス通信セミナを受講して	鈴木義彦	43〜48
〈私の提案〉電報中継交換回線の線機的事故管理	木下清；堀内種男；立川義照	49〜51
〈職場の改善例〉心線障害から発展するケーブル障害の防止法	塩口裕	52〜57
C400 形クロスバ交換機の概要（その 1）	福富礼治郎；田代穣次；城水元次郎	58〜65
農村集団自動電話の秘話方式	油井隆弘；栗田義弘	66〜74
新しく指定書が制定された小形電話機	神保健二；山上功	75〜79
新しい構内用ケーブル	福富秀雄；佐々木修三	80〜82
PCM-24 方式の施設設計（その 1）	柿崎尚弘；東千昭	83〜95
4,000Mc 固体電子化方式（その 2）制御装置	矢野川與賢；川船武則	96〜102
加入電信のサービス信号装置および試験符号発生装置	杉浦醇一；倉田元稔	103〜109
商用化された DC-DC コンバータ	大野伝次	110〜118
技術のはなし－搬送通信機器 (3)	貝塚博	119〜123
施設人のための事業知識 (17) 監査報告書	小沢春雄	124〜125
新工法シリーズ 塗覆装鋼管の布設工法	長原昭彦	126〜130
最近の海外雑誌から ベルボーイサービス	加納実	132〜134
〈新仕様書の紹介〉線路関係・電力関係	技術局仕様課	135〜138
〈読書案内〉電話交換信号方式	水沢慶太郎	139〜139
研究実用化報告第 14 巻第 11 号掲載予定論文		140〜140
海外技術連絡室ニュース		141〜141
ニュースフラッシュ		131〜131

Vol.17　No.12

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉明日の保全のために	肥後大介	8〜9
保全の近代化	勝田日出夫	10〜22
座談会 10 年後の電気通信事業 ── 保全編	肥後大介；近沢泰；池本晴雄；久語章司；浜崎一郎；谷池宏；後藤和夫；長田武彦；小原猛	40〜49
電話創業 75 年の回顧	清水通隆	23〜30
米国における即時網管理	加藤秀夫	31〜39
〈私の考察〉同軸伝送路の等化度について	大田乾次郎；谷鶴三	50〜54
C400 形クロスバ交換機の概要（その 2）	福富礼治郎；田代穣次；城水元次郎	55〜63
線路工事用特殊車両	川崎嘉達；山内一郎	64〜74
構造特性編	戸塚昌男；鍋田衛	75〜77
工事編	大崎邦雄；鈴木悦治；二宮義之	78〜84
市内 PEF ケーブル	福富秀雄；久保田俊昭	85〜94
改良された加入者宅内保安装置	川口泰男；冨田巖	95〜102
PCM-24 方式の施設設計（その 2）	柿崎尚弘；東千昭；川俣勉	103〜110
4,000Mc 固体電子化方式（その 3）回線設計および主要装置	川船武則；高嶋公男	111〜119
技術のはなし－電話トラヒック理論 (3)	佐々木幸彦	120〜129
施設人のための事業知識 (18) 積滞管理	鈴木高富；小沢春雄	130〜132
最近の海外雑誌から 生き返ったパルプ絶縁ケーブル	加納実	133〜135
〈読書案内〉通信革命	小野浄治	137〜137
海外技術連絡室ニュース		138〜138
ニュースフラッシュ		136〜136
研究実用化報告第 14 巻第 12 号掲載予定論文		139〜140
昭和 40 年施設総目次		2〜12

Vol.18　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭所感	米沢滋	8〜11
年頭所感	佐々木卓夫	12〜13
年頭所感	平山温	14〜15
本年度の総裁・通信局長表彰に輝く発明考案から	竹内純蔵；高井章	29〜36
自営用品認定関係の規程改正にあたって	矢永達三	37〜42
米国における加入電信宅内装置の保全	鈴木義彦	43〜49
システムエンジニヤリングについて	島田博一	50〜55
欧州における課金方式	美間敬之	56〜63
〈私の提案〉断線障害測定法について	古谷兼次郎；古正清	64〜65
座談会 未来の都市と電気通信のあり方	高山英華；磯村英一；尾之内由紀夫；鹿野義夫；佐々木卓夫；今井一郎；緒方研二；大沢秀行	16〜28
C400 形クロスバ交換機の概要（その 3）	福富礼治郎；田代穣次；城水元次郎	66〜71
新しく登場するボタン電話装置（その 1）3 機種になった直営用ボタン電話装置	阿部正雄；石田義典；桜井弘毅	72〜77
線路宅内工事用の作業別キットについて	大友実；川上庄造	78〜90
本仕化される P-4M 方式（商用試験結果報告）	石川光雄；栗林勝	91〜99
250Mc 帯全固体電子化送受信装置	木村正道；樽林敬一	100〜106
電話交換網におけるデータ伝送品質特性	信国弘毅；菅常一	108〜114
充電乾電池を用いた小容量 PBX 用電源装置	平井修	115〜120
交流無停電電源装置等の自己励磁発電	東濃勇；上池啓一	121〜132
技術のはなし 測定法 (1)	柿崎尚弘	133〜139
施設人のための事業知識 (19) 公正報酬	小沢春雄	140〜141
新工法シリーズ 時間パルス試験装置の建設工法	有馬弘郎	142〜148
〈新仕様書の紹介〉線路関係		150〜151
ニュースフラッシュ		149〜149
海外技術連絡室ニュース		152〜152
研究実用化報告第 15 巻第 1 号掲載予定論文		153〜153
昭和 41 年度「施設」編集モニター募集		107〜107

Vol.18　No.2

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉技術と人	牧野康夫	8〜9
自動即時網管理方式 ── 電気通信技術委員会自動即時化部会答申	緒方研二	10〜17
第 6 回技術成果発表会から	曽根錦吾；土肥英郎	18〜24
資料収集システムについて ── データ伝送の使用例	山田藤次郎；村尾虎義	25〜32
防腐剤注入木柱の仕様と規格 ── 木柱仕様書の改正に寄せて	福島徹；黒川実	33〜36
フランスにおけるマイクロ波通信	桑原守二	37〜44
〈私の提案〉自即回線網ダイヤグラムについて	宇寿山芳男	45〜47
〈職場の改善例〉私たちの職場では作業体系と管理体系をこのように改善した	高木宗一郎	48〜53
C400 形クロスバ交換機の概要（その 4）	福富礼治郎；田代穣次；城水元次郎	54〜58
電話回線の新しい最小伝送損失計算法	市川勉；松尾義一；井上昌之	59〜64
TV プログラム自動切替制御装置	斎藤雄一；矢野川與賢	65〜74
新しく登場するボタン電話装置（その 2）標準化された自営用ボタン電話装置	阿部正雄；石田義典	75〜83
SZ 形通信ケーブルについて	新村長門；福富秀雄；佐々木修三	84〜89
SG 切替装置	青江茂；飯田勝二；堀口孝雄	90〜97
固体電子化された自動局用静止形信号電源装置	後藤志朗；東濃勇；中田静馬	98〜106
技術のはなし 測定法 (2)	柿崎尚弘	107〜115
施設人のための事業知識 (20) 支障移転の実状	坂野節夫	116〜118
新工法シリーズ スタルペスケーブルおよび市内 PEF-スタルペスケーブルの建設工法	井口章	120〜125
最近の海外雑誌から 顧客サービス調査	加納実	127〜131
〈新仕様書の紹介〉電力関係		133〜133
読書案内「よりよい経営のために」	北原安定	119〜119
訓練メモ	厚生局訓練課	134〜134
海外技術連絡室ニュース		135〜135
ニュースフラッシュ		126〜126
研究実用化報告第 15 巻第 2 号掲載予定論文		132〜132

Vol.18　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉通研の近況	早坂寿雄	8〜9
最近における電気通信研究所の研究活動	川田大介	10〜18
工事部の発足にあたって	大谷昌次	19〜21
自即データ通信網設計室の発足にあたって	緒方研二	22〜24
衛星通信会社（コムサット）社長の来訪について	海外技術連絡室	25〜27
工事仕様書と細部設計・積算（その 1）－増大する建設工事に対処して－	小原猛；丹羽悌二	28〜32
改訂された専用設備の用品認定手続と適合審査の方法	小林登；井上正喜	33〜40
建設工事への PERT の適用	渡辺繁；新里順一郎；永田博；桜井照芳	41〜48
本格化する線路工事近代化	後藤義一；吉野玄一；永田浩通	49〜54
〈私の提案〉B40.40「架空ケーブル配線法」について	安藤実	55〜57
〈職場の改善例〉私たちの職場では局内構成表を作成し合理的な管理を行なって作業能率をあげた	五十嵐晴男	58〜60
自動局の新しい加入者線路試験架	村瀬邦夫；大和馨；炭山英彦	61〜74
C400 形クロスバ交換機の概要（その 5）	福富礼治郎；田代穣次；城水元次郎	75〜81
加入者自営施設における小容量自動式構内交換機の概要	大和信夫；河崎勲	82〜87
硬質ビニル管路（多段積）（その 1）	伊藤和五郎；西野博	88〜94
標準同軸（C 形）接続工法	戸塚昌男；高萩和行；高山進三郎	95〜100
同一ケーブル内の短搬と PCM の共存条件	坂下隆義；平塚憲一；榎並章三	101〜107
データ伝送回線制御装置	茂出木孝男；島崎恭一；脇阪隆夫	108〜114
技術のはなし 測定法 (3)	柿崎尚弘	116〜123
施設人のための事業知識 (21) 市外電話回線粁程	阿部英雄	124〜125
新工法シリーズ C31 形自動交換機建設工法（ALC 局舎用基礎工事）	遠藤智久	126〜131
最近の海外雑誌から 米国の農村電話用加入者線搬送方式	加納実	132〜136
〈新仕様書の紹介〉電力関係		137〜140
読書案内「電電コーナー」	電電公社弘報課	115〜115
海外技術連絡室ニュース		141〜141
ニュースフラッシュ		142〜142
研究実用化報告第 15 巻第 3 号掲載予定論文		143〜143

Vol.18　No.4

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞公社における技術開発	清水通隆	10〜11
電話宅内機器の種類と制度の現状	牧野正男	12〜17
宅内機器の技術の動向	馬場志津夫	18〜22
自営宅内機器の技術の動向	古山彰彦	23〜30
宅内機器による新サービスの将来	水沢慶太郎	31〜33
オーストラリアのマイクロ工事について	大槻由之助	34〜35
オーストラリアのマイクロウエーブ建設工事（SEACOM 計画）に従事して	蔵方恒四郎	36〜44
衛星通信の現状とその将来	土井博之；小田茂	45〜54
CCIR 第 11 回総会の問題点と公社の態勢	土井博之；新井俊一	55〜61
工事仕様書と細部設計・積算（その 2）－増大する建設工事に対処して－	安部一郎；小関弥市；永田博	62〜76
伝送設備計画標準	河野誠一；久保雄一郎；渡辺昇八郎	77〜83
PBX 等自営用品認定事務処理要領の改正について	牧野正男	84〜89
これからの建築工事量とそれをとりまく諸問題	菊池健三；天野正路	90〜95
自動改式前線報告	松田孝造；野沢奎介；山本正浩	96〜100
＜私の提案＞ダイヤグラム管理のおすすめ ── 罹障時分の短縮と持越し減少対策のために	舟竹敏秀；高橋富雄；柿沼金次	101〜103
＜職場の改善例＞私たちは「A 形局における市外回線多数障害時のトーキサービス」をこうして行なっている	松山電話局機械課；四国電気通信局保全部市内機械課	104〜104
自動即時網管理装置の概要	菊池信一郎；池沢英夫；柴田一雄；木下光一；高月哲	106〜114
壁面設置が可能になった AF-2 形自動式構内交換機	大和信夫；河崎勲	115〜118
硬質ビニル管路（多段積）（その 2）	伊藤和五郎；西野博	119〜122
新しい自己支持形の市内 CCP ケーブル	福富秀雄；佐々木修三；久保田俊昭	123〜128
内航船舶電話方式商用試験結果の概要	桑原守二；高木慶三；高村充；吉田英一	129〜133
技術のはなし クロスバ交換 (1)	式場英	134〜140
施設人のための事業知識 (22) 実施計画	内藤豊	142〜143
新工法シリーズ 市内および中継ケーブルの局内成端工法の改訂	角田卓弥	146〜149
最近の海外雑誌から レパートリーダイヤラー & 無ハンダ接続用ラッピング工具		150〜155
＜新仕様書の紹介＞線路関係		156〜157
読書案内「三代のこころ」	北原安定	145〜145
海外技術連絡室ニュース		158〜158
ニュースフラッシュ		141〜141
研究実用化報告第 15 巻第 4 号掲載予定論文		159〜159
昭和 41 年度 機関誌「施設」編集モニターの選考発表	施設編集部	105〜105
「施設」企画・編集・技術講座担当委員会委員名簿		144〜144

Vol.18　No.5
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞技術の専門化と総合	黒川広二	8〜9
昭和 41 年度建設勘定工事実施計画の概要	春山巖	10〜15
保全部門における工作業務のあり方	山口久二	16〜22
全国カラーテレビジョン中継回線の完成	平島一郎；林義昭；木村吉朗；成竹正和	23〜32
農集・団地電話のその後の状況（その 1）	片山博雄；三好明義	33〜41
自動機械室の温湿度条件 ── 保守の現状と問題点	石神絢夫	42〜47
色彩管理委員会の近況	堀竹英弘；水野健五郎	48〜52
＜職場の改善例＞プラントレコードの積極的利用による架空線路設計の合理化	守家一夫；深瀬英夫	53〜55
改良されたクロスバ部品の概要	田代穣次；清水重雄	56〜63
小形増設ベル	川口泰男	64〜68
PCM-24 方式の商用試験中間結果	平塚憲一；坂下隆義；大蔵恭仁夫；榎並章三	75〜81
加入電信施設の設計	井田智雄；遠藤正；杉浦醇一	82〜85
海岸線の低空伝搬路における置局設計法	大沢一允；島崎隆；河田至郎；真鍋彰	86〜93
トンネルダイオードのマイクロ中継機への応用	斎藤雄一	94〜98
高品質化された C-4M 方式	青江茂；水野勝；篠田康明	99〜104
電力装置障害の現状	斎藤礼一；有山重治；高橋定三郎	105〜111
技術のはなし クロスバ交換 (2)	式場英	112〜119
施設人のための事業知識 (23) 資材の随意契約	西島輝治	120〜121
最近の海外雑誌から ケーブルガス圧遠隔監視方式		124〜127
＜新仕様書の紹介＞電力関係		130〜133
読書案内「最新宅内交換技術」	阿部正雄	122〜123
訓練メモ		128〜129
海外技術連絡室ニュース	市川量也	134〜134
ニュースフラッシュ		135〜136
研究実用化報告第 15 巻第 5 号掲載予定論文	大和淳二；吉田庄司；清水民雄；谷井琢也；高橋政次；藤間巷三；松村弘；池内淳一郎；高橋一郎；樋口政明；川本久之助；田中正男；関野吉広; 古川吉孝；青木達雄；久保田義則；松山謙太郎；今泉裕司；小野道雄；近藤衛；向坂博；金新良一；小野員正；八木祥次；今井啓二；内田正夫; 佐藤秀吉；古川吉孝；梶山健二	137〜137
第 6 回技術成果発表会論文募集	技術局調査部門	69〜69

Vol.18　No.6

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞これからの資材業務	井上俊雄	8〜9
オーストラリアのマイクロウエーブ回線開通式に列席して	大槻由之助	10〜12
昭和 41 年度 施設用物品調達計画	宗雪満夫；岩田克也；竹内哲	13〜17
交換技術の進展	水沢慶太郎	18〜25
PCM 方式の導入と伝送品質の向上	石原治	26〜27
電信事業近代化のための施設設計	幸前治彦	28〜29
線路設計の合理化	吉村章雄	30〜32
無線装置の固体電子化の推進と新規移動無線サービス	西条利彦	33〜35
電力設計の合理化	後藤志朗	36〜37
市外網の自即化の進展と自即公衆電話の導入	長田武彦	38〜43
座談会 10 年後の電気通信事業 ── 完結編	佐々木卓夫；平山温；黒川広二；早坂寿雄；庄司茂樹；宮崎政義；北原安定；緒方研二	44〜52
市内線路の保全活動を前進させるために	山本千治；花岡達郎；大塚典彦	53〜59
市外トラヒック予測業務と機械処理	松尾士郎；藤田宗太郎；内藤晶一	60〜68
工事用自動車配備標準の改正にあたって	杉野高義；田尻英一	69〜76
農集・団地電話のその後の状況（その 2）	片山博雄；三好明義	77〜90
“図説”サービスオーダ工事の実施状況	辻操；山内寿	91〜95
着局別呼数を分析する 1 号 A 呼数測定装置	池沢英夫；式場英；本郷千里	96〜102
600 形壁掛電話機の実用化	山上功；岩井晃	103〜105
共通形共電式構内交換機	石田義典；栃川茂	106〜112
短距離無線中継方式用制御装置	矢野川與賢	113〜117
TEX 形 A3 号宅内装置の概要	鈴木錠造；遠藤正；杉浦醇一	118〜124
読者から サービスオーダ予約装置	池田勉；牧山武一；小山禎一；中川茂文；菅沼進；中筋靖二	125〜133
技術のはなし クロスバ交換 (3)	式場英	134〜141
施設人のための事業知識 (24) 専用サービス	光武俊昭	142〜144
最近の海外雑誌から Datel によるデータ伝送	曽根錦吾	150〜153
打込式アンカ（すき形）の構造変更とその工法 & 鋼板組立柱（パンザーマスト）建設工法	若木正明；持田国臣	154〜158
＜新仕様書の紹介＞電力関係		159〜163
訓練メモ	保全局管理課	145〜145
読書案内「やさしい電気通信技術」「交換台・交換装置回路図集」	山口開生；高柳晃	148〜149
ニュースフラッシュ		164〜165
海外技術連絡室ニュース		166〜166
研究実用化報告第 15 巻第 6 号掲載予定論文		167〜167
第 3 回施設編集モニターの任期を終えて		146〜147

Vol.18　No.7

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉それからの電気通信	北原安定	8〜9
昭和 40 年度建設勘定工事の回顧	春山巖	10〜17
昭和 41 年度技術調査研究実用化計画の概要	小野浄治；加納実	18〜25
概算契約（直送）方式の試行とその成果の分析	青木靖芳；中島栄之助；桜井幸春；栗山清次	26〜28
プレハブによる無人局舎の標準化 ── その導入経緯と概要	向井覚	29〜35
英国における新サービス ── 自動車電話とデータ伝送	久保田亮	36〜40
〈私の考察〉請負工事（設備）積算事務の機械化について	今野守；関房吉；森田広	41〜48
〈私の提案〉市内 CCP ケーブル線番早見表について	多田二郎	49〜49
海外技術協力だより カンボジアに対する電気通信協力	北川泰弘	50〜55
応答サービス管理に役立つ 1 号応答サービス観測装置	片山栄清；石割浩司	56〜62
新しい 2 共同秘話装置 ── 3 号宅内リレー函	神保健二；山上功；忠津宏	63〜74
搬入が容易になった AF3 形自動式構内交換機	大和信夫；河崎勲	75〜79
本実施になった新しい地下配線方式	桜木俊彦；高政武夫	80〜86
Tr 同軸ビデオ方式	青江茂；飯田勝二；堀口孝雄	87〜94
SF-T2-2 方式 ── 方式設計および主装置	山本誠実	95〜102
大阪料金局用 CM100 形計算機	美間敬之；山部正一	103〜112
最近の印刷電信機	鈴木義彦；遠藤正	113〜119
技術のはなし クロスバ交換 (4)	式場英	123〜133
施設人のための事業知識 (25) 公共的必要余剰	小沢春雄	134〜136
最近の海外雑誌から 単一投入口公衆電話機	曽根錦吾	137〜139
新工法シリーズ 市外電話回線開通工事建設工法	中村裕	140〜147
〈新仕様書の紹介〉機械関係	技術局仕様課	148〜149
ニュースフラッシュ		150〜152
読書案内「電気通信標準用語事典」「データ伝送入門」	山口昭穂；長田武彦	120〜121
海外技術連絡室ニュース		153〜154
研究実用化報告第 15 巻第 7 号掲載予定論文		155〜155
優秀提案の紹介 0.65mm PVC 綿巻線（本社準備品）の廃止について	海野辰夫	122〜122

Vol.18　No.8

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞夢多く気宇広大に	庄司茂樹	8〜9
電気通信技術委員会の答申から	山内正弥；小川昭	10〜16
昭和 40 年度技術調査研究実用化計画の実施状況と成果の概要	小野浄治；若林昭一	17〜25
PCM-24 方式の導入	柿崎尚弘；藤田史郎	26〜36
新しい経済比較法（その 1）	金子宥円	37〜43
海外技術協力だより 韓国の電気通信	編集部	44〜50
＜読者から＞台風被害の早期想定と応援体制の確立	三島義郎；内山誠之助	120〜125
C400 形自動交換機施設設計標準実施方法の概要	宮津純一郎；但馬昭	51〜61
本仕化された自即用卓上公衆電話機 ── 商用試験を中心として	神保健二；木村豊；青木武司	62〜74
最近の自営機器における技術的諸問題	牧野正男	75〜80
市内 CCP ケーブル建設工法の改定	若木正明；井口章	81〜89
PCM-24 方式の外集局, 可搬形交換局に対する適用と設計（その 1）	東千昭；平塚憲一；飯塚文男	90〜96
2Gc 帯見通し内長距離海上伝搬路の置局設計法	大沢一允；島崎隆；加藤正一	97〜105
伝送品質の実態と今後の問題（その 4）ATTM による伝送損失の管理	市川勉；松尾義一	106〜111
サイリスタ化定電圧整流装置	大野伝次	112〜119
技術のはなし クロスバ交換 (5)	式場英	126〜137
施設人のための事業知識 (26) 減価償却	大上仁	138〜140
最近の海外雑誌から ドイツの市内プラスチックケーブル	曽根錦吾	142〜145
新工法シリーズ PCM-24 方式中継装置の建設工法	石橋淳太郎	146〜150
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	151〜153
読書案内「ベル・システムの建築」	清水通隆	141〜141
訓練メモ	保全局管理課	154〜155
ニュースフラッシュ		155〜155
海外技術連絡室ニュース	市川量也	156〜156
研究実用化報告第 15 巻第 8 号掲載予定論文		157〜157

Vol.18　No.9

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞サービスと品質要求	勝田日出夫	8〜9
最近における検査部の活動	村井勇夫；佐々木敏夫	10〜16
全国電報中継機械化の完成にあたって	鈴木義彦	17〜23
目標による管理 ── 関東電気通信局における業績基準制度（その 1）	金子実；中村克巳；森安勇；影山裕子	46〜55
新しい経済比較法（その 2）	金子宥円	56〜61
西大森（Ⅲ）局 C400 形自動交換機の工事実施成果について	花嶋宏；西脇忠夫	62〜66
海外技術協力だより パキスタン電気通信研究センター	菅原鼎山	81〜86
局外派遣用紙廃止による罹障時間短縮	安田誠男；富田忠；持田光男	67〜74
試験室作業改善の一例	海老原博；柿沼金次；谷畑八郎；大河内照雄	75〜80
座談会 試験台からみた保全サービス	石塚慎吾 市川文男 板谷徳久 清水勉 沢田達磨 工藤貢 貝和広 倉地孝 村田光弘 石川好男	24〜35
講演 ベルシステムおよびベル電話研究所の最近の動向について	W.H.Doherty；林新二	36〜45
振動疲労試験からみた鉛工法の再検討（その 1）	奈良富三郎；影山信夫；秋山正久；藤田朗夫	87〜92
市外クロスバ交換機の完成 ── C63 形，C82 形自動交換機の本仕化（その 1）	式場英；三上義隆；中村紀典	93〜98
ベル音量の調節できる電話機 ── 600 形ベル音量調節付電話機	神保健二；山上功；岩井晃	99〜102
洞道建設工事における新しい設計ならびに施工（その 1）	小出梅雄；山口泰男；山川喜弘；姫野梶彦	103〜110
PCM-24 方式の外集局, 可搬形交換局に対する適用と設計（その 2）	東千昭；片山栄清；川俣勉	111〜117
加入者線路にも使用されるスタルペスケーブル ── その設計の概要	中込四郎	118〜124
トランジスタ化 2Gc 方式	海老原勇夫；鈴木靖男	125〜130
定電圧 DC-DC コンバータの商用化	足立泰男	131〜136
技術のはなし クロスバ交換 (6)	式場英	138〜149
施設人のための事業知識 (27) 財政投融資計画	光武俊昭	150〜153
最近の海外雑誌から コール・ア・マティック電話機（押ボタン式オートダイヤル）	曽根錦吾	154〜156
〈新仕様書の紹介〉線路・電力関係	技術局仕様課	158〜161
読書案内「電話交換トラヒック」	雁部頴一	137〜137
ニュースフラッシュ		157〜157
海外技術連絡室ニュース	市川量也	162〜164
研究実用化報告第 15 巻第 9 号掲載予定論文		165〜165

Vol.18　No.10
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉量より質へ	橋本真澄	8〜9
電気通信設備の建設, 保全工事における直営・請負の区分に関する基本的考察	伊佐進；小菅正夫；出村喜蔵	10〜15
新技術導入にあたっての標準実施方法の役割とその改善	鈴木立之	16〜24
線路・土木工事機械化の促進について	鈴木清；川崎嘉達；三玉光彦	25〜33
空気調整装置基本計画 ── 通信設備室を対象として	野口徳信	34〜39
目標による管理 ── 関東電気通信局における業績基準制度（その 2）	金子実；中村克巳；森安勇；影山裕子	40〜45
海外技術協力だより メキシコ電気通信学園	出口富義；塩沢惇隆；原口正美；島村正三郎	46〜51
〈読者から〉われわれは PERT 法をこのように導入した	南隆蔵；岡本一男；中井正明	52〜60
〈私の提案〉ハウラ送出回路の改造について	今井正	61〜62
〈職場の改善例〉実況調査方法と市内設計の改善について	原瀬速美；岡本裕一	63〜74
振動疲労試験からみた鉛工法の再検討（その 2）	奈良富三郎；影山信夫；秋山正久；藤田朗夫	75〜80
市外クロスバ交換機の完成 ── C63 形，C82 形自動交換機の本仕化（その 2）	式場英；塩月安朗；中村紀典	81〜88
A 形スイッチのインパルス継電器接点損耗対策	村瀬邦夫；柳文治	89〜94
洞道建設工事における新しい設計ならびに施工（その 2）	小出梅雄；山口泰男；山川喜弘；姫野梶彦	95〜102
新しく登場する鋼管柱	山崎要；桜木俊彦；打尾弘	103〜110
最近の伝送装置障害状況	北村喜義；石野文雄；麻生実；下島満二	111〜117
模写電送機の開発とその設計 ── VF-5 形模写電送機を主体として	横須賀道弘；井田智雄；松沼好義	118〜124
SF-B5 用電源装置施設設計	松倉伸次；古川正三	125〜131
技術のはなし データ通信 (1)	米沢威行	132〜137
施設人のための事業知識 (28) 道路整備計画と電話事業	落合啓次郎	138〜140
最近の海外雑誌から ペンタコンタ遠隔加入者線装置	曽根錦吾	142〜144
新工法シリーズ 可搬形自動交換機へのケーブル引込および成端工法	角田卓弥	145〜149
〈新仕様書の紹介〉線路関係	技術局仕様課	150〜151
訓練メモ	保全局管理課	141〜141
ニュースフラッシュ		152〜153
海外技術連絡室ニュース		154〜154
研究実用化報告第 15 巻第 10 号掲載予定論文		155〜155

Vol.18　No.11
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞外国技術との接触を	林新二	8〜9
公衆電気通信業務の一元化をめぐって	北原安定	10〜14
昭和 40 年度の保全成果	村田光弘；阿部泰之	15〜21
金属ドラムの導入について	青木靖芳；持田国臣	22〜25
国際会議に出席して ── 第 11 回 CCIR 総会	肥後大介	26〜28
総会の成果と今後のために	西条利彦	29〜30
宇宙通信	岩崎昇三	31〜35
無線中継	桑原守二	36〜38
対流圏伝搬	池上文夫	39〜40
テレビ伝送	岩崎昇三	41〜42
移動無線	桑原守二	43〜45
講演・ベル電話研究所におけるシステム・エンジニヤリングおよび新技術について		56〜61
海外技術協力だより 東南アジアの電気通信とその背景	大町嘉秀	62〜67
座談会 全国即時網建設工事 5 カ年をかえりみて	勝見正雄；長橋金久；長沢進；山田俊一；作道由男；辻岡健；長谷川実；勝田勲；藤原満	46〜55
振動疲労試験からみた鉛工法の再検討（その 3）	奈良富三郎；影山信夫；秋山正久；勝田朗夫	68〜73
市外クロスバ交換機の完成 ── C63 形，C82 形自動交換機の本仕化（その 3）	式場英；三上義隆	74〜80
2 枚反射板によるマイクロウエーブ中継	島崎隆；飯塚隆之；西野孝平；甲斐格；上田至	81〜90
内航船舶電話方式の狭帯域化	高村允；佐藤征紀；福住和夫	91〜97
広帯域時間専用切替装置	堀口孝雄；八田孫延	98〜104
PCM-24 方式給電設計の解説	坂下隆義；榎並章三	105〜112
データ伝送用集合変復調装置	島崎恭一；鈴木祐敏	113〜119
技術のはなし データ通信 (2)	米沢威行	120〜128
施設人のための事業知識 (29) 決算の見方	小沢春雄	130〜131
最近の海外雑誌から 新しい短距離搬送方式	曽根錦吾	132〜135
＜新仕様書の紹介＞機械関係		136〜137
訓練メモ	厚生局訓練課	129〜129
ニュースフラッシュ		138〜138
海外技術連絡室ニュース		139〜140
研究実用化報告第 15 巻第 11 号掲載予定論文		141〜141

Vol.18　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞国土建設と高層建築	野村隼一	8〜9
大都市の発展と電気通信	矢野敬一	10〜14
最近の建築計画から	朝柄三十夫；岩附昇；小原誠	15〜21
超高速建築設計上の問題点	三宅敏郎；木村栄一；朝比奈八郎；白井和成	22〜26
活発化した海外技術交流について	林新二	28〜31
衛星通信地上局技術セミナーに参加して	小西一郎	32〜37
ZD 運動（その 1）〜その背景と実際〜	勝田日出夫；村井勇夫；佐々木敏夫	38〜43
電気通信設備工事請負契約書の改正	浦島敏弘；荒野竜一	44〜47
海外技術協力だより ノンブリ電気通信大学に勤務して	岩清水隆男；仁平勝；山田雅朗	48〜53
振動疲労試験からみた鉛工法の再検討（その 4）	池本晴雄；斎藤芳雄；奈良富三郎；影山信夫	54〜58
市外クロスバの適用標準	石井昭一；東野寿夫	59〜66
障害打合せ装置	石田義典；鈴木彬甲；山本順一；友野武	67〜72
新しい市内配線法（その 1）	滝沢純；中込四郎	73〜79
地下ケーブル移動	桜木俊彦；中村孝三；岩崎匡利	80〜90
それからの T-12SR 方式	石川光雄；海老沢延雄	91〜98
15Gc マイクロ方式 ── SF-F2 方式	山本誠実	99〜103
ユニット形発電装置	武藤進；佐田新一郎；小原誠	104〜109
技術のはなし データ通信 (3)	米沢威行	110〜116
施設人のための事業知識 (30) 別途預り事業品	高村武	118〜119
最近の海外雑誌から 地下プラスチック絶縁ケーブルのシース損傷部の探索法	曽根錦吾	122〜123
＜新仕様書の紹介＞機械関係		124〜125
訓練メモ		117〜117
誌上紹介・保全応対サービスに関する事例研究の進め方	石綿守夫	120〜121
読者案内 標準作業図解集「市外線路編」	鈴木清	126〜126
ニュースフラッシュ		127〜127
海外技術連絡室ニュース		128〜128
研究実用化報告第 15 巻第 12 号掲載予定論文		129〜130
昭和 41 年施設総目次		2〜12

Vol.19　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭所感	米澤滋	8〜11
年頭所感	黒川廣二	12〜13
電気通信機器工業の現状と当面する問題点	井上俊雄	14〜18
設計精度ならびに管理の向上のために	高橋敏朗	19〜25
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	小川昭；三角岑生	26〜31
ZD 運動（その 2）〜その効果と問題点〜	勝田日出夫；村井勇夫；佐々木敏夫	57〜61
「加入電話等の附属設備の技術基準」の改正	永江悟朗；牧野正男	62〜65
現場中心の新しい技術活動 ── 技術調査部の発足とその展開	白根礼吉；丹羽茂	66〜71
当面の保全サービス改善の基本方針	倉地孝	32〜34
持越障害の減少対策	村田光弘	35〜36
試験台サービスの改善	石川好男	37〜38
線路保全の当面の問題	池本晴雄	39〜41
即時網保全管理室の現状とその問題点	辻敬一郎	42〜43
災害対策について	近沢泰	44〜45
座談会 ソフトウェア技術者の養成について	川田大介；山田藤次郎；出原時男；美間敬之；浜崎一郎；米沢威行；高島堅助	46〜56
新通話路変換装置	石川光雄；海老沢延雄	72〜78
新しい市内配線法（その 2）	滝沢純；中込四郎	79〜90
神戸・横浜用 CM30 形計算機	美間敬之；副島弘暉；山部正一；吉野好展	91〜98
8 単位符号を使用したさん孔タイプライタ	茂出木孝男；脇阪隆夫；市川貞雄	99〜104
管路内通線機	倉信和夫；海瀬弘司；秋山靖夫	105〜107
技術のはなし データ通信 (4)	米沢威行	108〜115
施設人のための事業知識 (31) 債券発行による資金調達	関幸雄	116〜118
最近の海外雑誌から テレビによる新教育法	曽根錦吾	120〜121
新改良鉛工法について	石橋淳太郎	122〜125
＜新仕様書の紹介＞工具関係	技術局仕様課	126〜127
読書案内 正しい検査のすすめ方	鳥山好三	119〜119
ニュースフラッシュ		128〜129
海外技術連絡室ニュース		130〜132
研究実用化報告第 16 巻第 1 号掲載予定論文		133〜133

Vol.19　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞これからの保全	野口謙也	8〜9
災害の発生状況とその措置対策	近沢泰	10〜16
農林漁業地域に受入れやすくなった農村集団自動電話	春山巖；吉村章雄；片山博雄	17〜22
第 7 回技術成果発表会から	小野要一郎；川本博千	34〜41
信頼度を考慮した市外通信網構成法	山県保；楠五月；森成司	42〜49
JIS ネジの改正	鈴木立之；渡辺卓哉；牛山昭和；斎藤八郎	50〜55
マイクロ波進行波管の寿命延長と安定度向上対策	神原満男；川島富士男	56〜62
東京における線路保全統制室の活動	居波袈裟治	63〜74
米国のケーブル関係技術者との討議模様	福富秀雄	75〜77
海外技術協力だより フィリピン電気通信訓練学園	松橋達良	78〜83
＜私の考察＞市内地下ケーブルのガス障害について	青木茂晴	84〜87
国際電信電話諮問委員会 (CCITT) の活動状況		23〜33
交換局内における通話線の極性統一	采女浩；新里順一郎；佐野良臣	88〜96
市外クロスバ交換機の完成 ── C63，C82 形自動交換機施設設計	武内宏允	97〜102
マンホールスパンとケーブル布設張力との関係	伊藤和五郎；山田恵男；高山進三郎；種谷正	103〜110
市外回線簡易試験装置 (STTM)	近藤光洋；原島進	111〜116
20PPS ダイヤルの導入	馬場志津夫	117〜123
技術のはなし データ通信 (5)	米沢威行	126〜133
施設人のための事業知識 (32) 委託局	中山正己	134〜137
最近の海外雑誌から 地下施設にみられる各種ガスとその検出	曽根錦吾	138〜141
＜新仕様書の紹介＞電力関係		142〜142
読書案内 サービス精神	小沢春雄	125〜125
ニュースフラッシュ		143〜143
海外技術連絡室ニュース		144〜144
研究実用化報告第 16 巻第 2 号掲載予定論文		145〜146
昭和 42 年度「施設」編集モニター募集		124〜124

Vol.19　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉自主技術の確立	宮崎政義	12〜13
最近における電気通信研究所の研究活動 ── 基礎研究部の活動に重点をおいて	小口文一	14〜21
持越障害の実態とその改善対策	村田光弘；岡田行雄	22〜27
最近のクロスバ建設工事（その 1）	小原明；山本牧男；佐藤治伸	28〜34
物品検査機械化の動向	糸井栄一；村島豪一	35〜39
保全成果からみた加入電信 10 年のあゆみ	塘鹿雄；富田正典	40〜45
通信用導電材料としての銅およびアルミニウム	新村長門；福富秀雄	46〜51
物品調達の現状と問題点 ── コンクリートポールを例として	増田利夫	52〜56
海外技術協力だより リビアの電気通信事情	大橋一郎	57〜60
〈私の提案〉地団から農集への切替工事	安部勤	61〜62
金町電話局における夜間の電力保守について	大西広次	64〜70
追われる保全から追う保全へ	足立徳蔵	71〜77
窓口即決体制（異動統制席）の施行実施について	前島敏郎；森安正；浅野忠政	78〜82
電話サービス監査の自動化 ── 3 号監査機の出現	式場英；東野寿夫	83〜90
市外クロスバ交換機の完成 ── C63 形，C82 形自動交換機の本仕化と保全	斎藤正；福田繁；水芦一哲	91〜96
最近の搬送保守用測定器	近藤光洋；小宮政雄	98〜103
複局地のタンデム構成	島田博一；滝ケ崎喜吉；戸川晟	104〜108
計算機入出力用のさん孔機, 検孔機	伊藤雅信；足立邦彦	110〜112
技術のはなし データ通信 (6)	米沢威行	114〜122
施設人のための事業知識 (33) 電波法	平位忠郎	124〜125
最近の海外雑誌から 全世界を結ぶケーブルと通信衛星	曽根錦吾	126〜128
〈新仕様書の紹介〉搬送関係		129〜129
読書案内 PCM の基礎知識	藤田史郎	97〜97
ニュースフラッシュ		63〜63,109〜109,113〜113,123〜123
海外技術連絡室ニュース		130〜130
研究実用化報告第 16 巻第 3 号掲載予定論文		131〜131

Vol.19　No.4

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞一灯を点じて巨火とせよ	大谷昌次	8〜9
線路近代化の現況	山崎要	10〜16
最近のクロスバ建設工事（その 2）	小原明；佐藤治伸；小川竜一	38〜45
農集の現状とその保全成果	石川好男；吉永竜介	46〜50
環境騒音 ── その正しい評価のために	水野健五郎	51〜56
海外技術協力だより イラク共和国の電気通信事情	長沢拓也	64〜74
＜私の提案＞東京通信局における「加入者線路設備管理方式」について	田中満	57〜63
宅内保全の改善のために ── そのアプローチと現場における実施例について	石川好男	17〜18
宅内障害町別管理方法	佐竹藤太郎；田村昭夫	19〜22
宅内施設の群（区画）別管理	安藤舜皓；酒井顕光	23〜26
ダイヤル障害予防のための推計的手法による取替方法	高木宗一郎；藤田也男	27〜29
4 号ダイヤル宅内保全強化の一考察	舟竹敏秀；柿沼金次；岩崎弘；鳥井広吉	30〜32
TFP による宅内障害の改善	高宮寿；仲石巳之吉；佐竹軍治	33〜37
改良された農集交換装置	栗田義弘；内山鈴夫	75〜79
農村集団自動電話に付加する放送設備	柿崎尚弘；片山博雄；大井章；松永信男	80〜86
SD ワイヤ	新村長門；滝沢純；久保田俊昭	87〜95
新形鋼心入屋外線とその付属材料	大石忠夫；山田就将	96〜102
PCM-24 方式の避雷回路の動作とその改善	平塚憲一；田崎公郎；富田邦明	103〜108
回折網によるマイクロ波中継方式（その 1）松阪 – 伊勢 11Gc 回線の設計	三好徹；小井手明典；長者貞雄	109〜116
施設人のための事業知識 (34) 暫定予算	麻井栄一	120〜123
最近の海外雑誌から 押しボタンダイヤルと自動再発呼装置付の自動ダイヤル	佐々木幸彦	124〜127
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	130〜131
ニュースフラッシュ		128〜129
海外技術連絡室ニュース	市川量也	132〜132
研究実用化報告第 16 巻第 4 号掲載予定論文		133〜133
昭和 42 年度「施設」編集モニター選考発表	施設編集部	117〜117
第 4 回「施設」編集モニターの任期を終えて		118〜119

Vol.19　No.5

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉経済的な設計, 完全な設備	橋本一郎	8〜9
Ⅰ. 電力新技術の動向	酒井和男	10〜17
Ⅱ. 施設建設の合理化	後藤志朗；東濃勇	18〜23
Ⅲ. 保全上の諸問題	塙武夫；田川啓次郎	24〜32
線路作業における事故と安全作業の確保	池本晴雄	33〜39
最近のクロスバ建設工事（その 3）	小原明；遠藤智久；中村泰夫	40〜46
＜私の提案＞計算図表を用いることによる計算事務の合理化	渡辺竜一；藤田道夫	47〜53
最近の交換用部品	佐藤昌隆；炭山英彦	54〜58
C460 形自動交換機の概要	若本孝雄；千葉正人；岩井義人；成松誠	59〜74
樹脂コンクリート製ブロックマンホール	伊藤和五郎；中村輝夫	75〜79
CP-12M Tr 方式	青江茂；近藤光洋；原島進；国枝隆生	81〜90
移動無線に導入される新技術	桑原守二；高村充	91〜96
伝送品質の実態と今後の問題（その 5）リタンロス改善対策	市川勉；伊藤道彦；井上和也	97〜103
技術のはなし 誘導妨害とその対策 (1)	新村長門	104〜109
施設人のための事業知識 (35) 用地買収と土地の評価	小原正一	110〜113
最近の海外雑誌から 最新の応用科学衛星 (ATS) 実験	佐々木幸彦	116〜119
新工法シリーズ SD ワイヤ建設工法	持田国臣	120〜122
＜新仕様書の紹介＞交換関係	技術局仕様課	123〜125
ニュースフラッシュ		126〜127
読書案内 電子計算機 & リアルタイム・プログラミング, 加入者線路設計法 – 市内配線法	米沢威行；村田保	114〜115
海外技術連絡室ニュース	市川量也	128〜128
研究実用化報告第 16 巻第 5 号掲載予定論文		129〜129
第 8 回技術成果発表会論文募集		80〜80

Vol.19　No.6

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞公共的・社会的性格への発展	北原安定	8〜9
昭和 42 年度建設勘定工事実施計画の概要	千野孝	10〜15
昭和 42 年度施設用物品調達計画	宗雪満夫；岩田克也	16〜19
索引業務への電子計算機の導入 ── 仕様書管理業務における電子計算機の利用	渡辺卓哉；赤松正也	20〜27
最近のクロバス建設工事（その 4）	小原明；新井満男；岩森庄次	28〜35
新技術の商用試験はこうして行われる ── 新たに制定された「商用試験に関する事務処理要領」の解説	小野要一郎；土肥英郎	36〜41
建設勘定工事管理（設備）工事命令発出額報告システム	菊池通博；二宮静夫；蓬田信男；大内操	42〜52
＜私の考察＞将来の宅内設備の管理について	酒井顕光	53〜60
＜職場の改善例＞障害減少対策についての一考察	黒沢三之丞	61〜66
大局用 ATTM の本仕化 ── 1 号 C 形市外回線自動試験装置	石井昭一；東野寿夫；近藤光洋；原島進	67〜77
線路工事車	桜木俊彦；岩崎匡利	78〜90
高速位相合成スペースダイバシティ方式の商用試験結果報告	林義昭；鎌田靖彦	91〜102
オン・ライン・システムにおけるデータ伝送用通信制御装置（その 1）	川端久喜；伊藤雅信；三橋喜一；曽根信義	103〜110
PCM 回線に関する伝送基準 ── PCM-24 方式を対象として	古賀一徳；立松稔	111〜117
技術のはなし 誘導妨害とその対策 (2)	新村長門	120〜125
施設人のための事業知識 (36) 特許と実用新案	電気通信研究所情報特許部特許課	126〜128
新工法シリーズ アナウンスマシン建設工法	遠藤智久；山崎浩	129〜135
最近の海外雑誌から 電気通信の将来	佐々木幸彦	136〜139
＜新仕様書の紹介＞計測器関係	技術局仕様課	140〜141
読書案内 詳解 電気通信術語事典, クスロバ C400 方式, クロスバ C400 方式中継方式・動作図・障害探索	加納実；石川好男	118〜119
ニュースフラッシュ		141〜141
海外技術連絡室ニュース		142〜142
研究実用化報告第 16 巻第 6 号掲載予定論文		143〜143

Vol.19　No.7

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞技術による発展とその将来	肥後大介	8〜9
昭和 42 年度技術調査研究実用化計画の概要	加納実；若林昭一	10〜17
地銀協データ通信システムの設計概要	米沢威行	43〜49
昭和 41 年度における電気通信研究所技術協力部の活動	中村秀三郎；武田知己	50〜55
市外電話設備技術計画標準	飯島幸雄；在田政義；谷信義	56〜63
論理回路用シンボルの規格統一	宮地通；若井孝光	64〜74
クロスバ技術の確立	広田憲一郎	18〜21
合理化の徹底と将来への布石	高橋敏朗	22〜23
符号通信施設近代化のための施設設計	南隆蔵	24〜25
線路設計の合理化	村田保	26〜27
2Gc 小容量方式の導入と無線呼出サービスの実現化	永村春一	28〜30
進展する電力設備設計の合理化対策	後藤志朗	31〜33
自動即時網の発展と料金計算装置の導入	高柳晃	34〜39
データ通信設備工事の設計方針	米沢威行	40〜42
C460 形自動交換機施設設計のパターン化	寺本福寿；宮田文雄；服部親繁；中島一	75〜82
集合保安器の改良	吉川治男	83〜88
備讃海峡同軸海底ケーブル中継方式	原島進	89〜96
固定電子化された 4Gc 方式（SF-B5 方式）	林義昭；沢田順弘；鎌田靖彦	97〜105
オン・ライン・システムにおけるデータ伝送用通信制御装置（その 2）	川端久喜；伊藤雅信；三橋喜一；曽根信義	106〜112
共通線信号方式の概要	増田敏一；稲田干樹；渡辺良信	114〜120
蓄電池保守条件の調査結果	酒井和男；田川啓次郎；佐田新一郎	121〜126
技術のはなし 誘導妨害とその対策 (3)	新村長門	127〜131
施設人のための事業知識 (37) 施設用物品調達計画	青木靖芳；小沢春雄	132〜133
最近の海外雑誌から 電話回線における伝送遅延時間についての利用者の評価	佐々木幸彦	134〜137
新工法シリーズ 市内 CCP ケーブル地下配線建設工法	井口章	138〜143
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	144〜145
ニュースフラッシュ		113〜113
海外技術連絡室ニュース		146〜146
研究実用化報告第 16 巻第 7 号掲載予定論文		147〜147

Vol.19　No.8

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞社会開発と新技術	清水通隆	10〜11
第 29 回電気通信技術委員会から	鳥山好三；坂下隆義	12〜20
昭和 41 年度技術調査研究実用化計画の実施状況と成果の概要	加納実；若林昭一	21〜29
即時網保全管理の成果とその強化	倉地孝；河野誠一	30〜35
英米におけるデータ通信システム	塚本和孝	36〜43
東海電気通信局におけるマンホール内ガス事故防止対策	東海電気通信局線路工事近代化委員会	44〜51
＜私の提案＞同軸ビデオ方式の特異現象と措置	西原勲	52〜55
＜職場の改善例＞ 1 号地電圧計による測定法	佐原電報電話局線路宅内課	56〜57
＜職場の改善例＞市内クロスバ局における TOK 申告の集団管理について	浅海裕治	58〜62
＜職場の改善例＞鉛被ケーブル接続鉛工および CCP ケーブル接続等技能研究会実施報告	土居健造	63〜76
市外クロスバ交換機の完成 ── C63 形,C82 形自動交換機に関する網構成と設備算出	在田政義；田中淳三；谷信義	77〜84
とう道の標準設計（その 1）	山川喜弘	85〜92
その後の PCM-24 方式	藤田史郎；平塚憲一；大蔵恭仁夫；北村隆	93〜98
新形（21 号形）移動電話用接栓	吉川治男	99〜103
ハンディになった 400Mc 帯可搬無線機	木村正道；松島成幸	104〜110
整流装置の系列化	酒井和男；大野伝次；飯塚文男	111〜115
技術のはなし 電食 (1) 中における腐食	桜木俊彦	118〜126
施設人のための事業知識 (38) 施設用物品の調達	伊藤史朗	128〜129
最近の海外雑誌から 米国におけるさく進工法	佐々木幸彦	130〜133
＜新仕様書の紹介＞電力関係	技術局仕様課	127〜127
読書案内 続・最近の電気通信技術	高柳晃	117〜117
ニュースフラッシュ		116〜116
海外技術連絡室ニュース		134〜134
研究実用化報告第 16 巻第 8 号掲載予定論文		135〜135

Vol.19　No.9
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新しい計画の時代を迎えて	井上俊雄	12〜13
技術調査研究の長期計画	鳥山好三	14〜20
東名高速道路の通信施設	高橋敏朗；大原文夫；宮沢昌男；落合敬次郎	21〜27
流れ図用シンボルの規格統一とその使用方法	宮地通；藤原滋；若井孝光	62〜68
市内電話設備技術計画標準	松田正彦；峯俊一；藤岡勇	69〜75
＜職場の改善例＞一般障害修理における罹障時間短縮, 持越件数減少対策と実際	吉野玄一；土井一二；高木宗一郎；鈴木晋作	76〜84
訓練の現状と将来	植田義明	28〜35
長期訓練と中央学園	川原田安夫	36〜42
学園と職場のつながり	松橋達良	43〜48
座・談・会 見直される職場訓練	平岩勤；山本奐；田中吾郎；鎌倉米一；深町東馬；富岡五郎；安田健治；植田義明；佐藤義雄	50〜61
トラヒックデータの自動処理システム	式場英	85〜92
600 形電話機の通話当量	神保健二；山上功；古賀一徳	93〜96
とう道の標準設計（その 2）	山川喜弘	97〜102
ピンホール探知器	桜木俊彦；吉見一郎；青山隆次；有田秀昭	103〜108
移動無線におけるサービスエリア推定法	桑原守二；高村充；渡辺松彦；加藤正	110〜116
方位角計算の簡便法	河合好二郎；小井出明典；服部久郎；間瀬誠	117〜121
技術のはなし 電食 (2) その対策	桜木俊彦	122〜128
施設人のための事業知識 (39) 施設用品の調理事務と出荷	桜井幸春	130〜131
最近の海外雑誌から 実験用高速度ディジダル伝送システム	佐々木幸彦	132〜134
新工法シリーズ コンクリート製ブロック・マンホールについて	本田健	136〜139
＜新仕様書の紹介＞電信関係	技術局仕様課	140〜140
ニュースフラッシュ		109〜109,129〜129
海外連絡室ニュース		141〜142
研究実用化報告第 16 巻第 9 号掲載予定論文		143〜143
専門部技術科第 5 回生の募集		135〜135

Vol.19　No.10
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞期待される現場の技術者像	野口謙也	8〜9
国際電信電話諮問委員会東京会議	山県保；神宮司順；松尾士郎；半田恵一	10〜17
市内電話設備技術計画標準（その 2）	矢野敏行；永易正幹；服部満康	51〜57
建物等の維持管理	飯塚裕	58〜63
＜読者から＞電柱等敷地折衝状況	三矢武一；近藤国太郎	64〜66
直営工事実施の現状と問題点	佐々木原俊雄	18〜20
直営工事実施による技能取得状況管理の現況	坂本延行；加藤朝吉	21〜24
工事部における直営工事強化施策	永田浩通；中村信男	25〜28
工事課における線路部門新採者の職場集合実習	大石義一；森脇淑介；宇野年彦	29〜31
駐在所を含めた通信部の直営工事の実施について	西敏雄；宮原叶	32〜35
大森電話局における加入者開通工事を主体とした直営工事の現状と問題点	土居健造；大須賀治男	36〜41
座談会 私たち職場の応対サービス ── お客さんの満足をえるため	小関久道；峯岸勇；宮地重雄；中村秋男；郡正一；小笠原茂；岡田仁衛；倉地孝	42〜50
電話接続基準第 2 版の制定	山県保；真竹芳樹；鈴木輝信	67〜70
1 号 D 形 ATTM の実用化（その 1）	石井昭一；東野寿夫；近藤光洋；原島進	71〜80
電線用 PVC 材料 ── 仕様書規格の統一について	滝沢純；江口誠	81〜90
農集用自動中継装置	油井隆弘；内山鈴夫；木全松雄；川井英明	91〜96
主群自動レベル調整装置 (MG AGC) の試用試験結果	近藤光洋；原島進；秦英遠	97〜104
回折網によるマイクロ波中継方式（その 2）設計法および商用試験結果	海老原勇夫；沢田順弘；長者貞雄	105〜112
地銀協データ通信システム ターミナル装置	平塚清士；信国弘毅；茂出木孝男；鈴木祐敏	113〜119
技術のはなし 電食 (3) その対策	桜木俊彦	122〜127
施設人のための事業知識 (40) 物品購入価格の決め方	長尾泰一郎	128〜130
最近の海外雑誌から 自動回線試験のための新しい信号音検出装置	佐々木幸彦	131〜134
新工法シリーズ C460 形自動交換機プレハブ局舎建設工法	遠藤智久；小川竜一	135〜140
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	141〜141
海外連絡室ニュース		144〜144
ニュースフラッシュ		142〜143
研究実用化報告第 16 巻第 10 号掲載予定論文		145〜145
周波数単位について	平塚；信国；茂出木；鈴木	120〜121

Vol.19　No.11
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞管理手法の導入	勝田日出夫	10〜11
41 年度の検査活動と今後の動向	阿部正雄	12〜18
新製品の品質はいかにチェックされるか	古都勝寿；黒田寿彦；下田裕久；上岡良夫	19〜22
通信技術の海外進出と検査部の活動	小嶋国雄；酒井富男	23〜26
集合自動電話の概要	山部正一；新川吉雄	27〜33
保全サービス改善 3 ヵ年計画第 1 年目をかえりみて	池本晴雄；阿部喜雄；水野健二	34〜40
直営工事の成果と反省 ── 平局マイクロ工事を実施して	平島一郎；上池啓一；安倍幸夫；桜井三夫	41〜48
技能向上のための同軸ケーブル工事の接続実習を終えて	牛嶋研三郎；土井一二；野呂泰	49〜54
＜私の提案＞公衆電話室照明設備障害改善についての一施策	森田千三	55〜58
＜職場の改善例＞試験台応対サービスの向上について	横山敏男	59〜63
加入データ伝送方式＜その 1 ＞ 200 ビット／秒データ伝送装置	川端久喜；田中義昭；脇阪隆夫；松井嘉正	64〜76
C4. 5 形既設局市外交換機の増設設計	守家一夫；宮津純一郎；鈴木信吾	77〜85
1 号 D 形 ATTM の実用化（その 2）	近藤光洋；原島進；石井昭一；東野寿夫	86〜94
長距離 GD 中継線装置の概要	佐藤昌隆；岩井義人；炭山英彦；塩月安朗	95〜104
小規模集中局の手動台集中（その 1）中継方式と TP 用諸装置の機能概要	飯島幸雄；谷信義；谷井良臣	105〜112
終局 600ch の区間に適用される小容量 2GHz 方式	海老原勇夫；沢田順弘	113〜121
交流無瞬断切替装置	飯塚文男	122〜129
施設人のための事業知識 (41) VA 活動と共益制度	酒井神三郎	130〜131
最近の海外雑誌から 新時代を開く押しボタンダイヤル方式	佐々木幸彦	134〜138
新工法シリーズ 搬送装置（搬信装置を含む）撤去工事方法	和田治夫	139〜142
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	144〜144
読書案内 アメリカ電話事業論 & 交換網障害必携	村山久	132〜133
ニュースフラッシュ		143〜143
海外連絡室ニュース		145〜146
研究実用化報告第 16 巻第 11 号掲載予定論文		147〜147

Vol.19　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞局舎建設はどう動いてきたか	野村隼一	8〜9
建築からみた第 3 次 5 ヵ年計画と第 4 次 5 ヵ年計画への展望	菊池健三	10〜12
マイクロ無線局舎と鉄塔	木内正男	18〜19
局舎建設の工期と地下工法	宮恭	23〜23
局舎と防災	三沢弘	28〜28
最近の局舎設計例		13〜14,15〜16,17〜17,20〜20,21〜22,24〜24,25〜27,29〜29,30〜33,34〜35
技術革新下における搬送無線の保守	山根信義	36〜41
目標管理によるテレビプログラム切替時の AF 誤差率改善について	大竹巖	42〜45
定量的成果測定による保全工事の効率化について	丸川竜雄；篠田康明；中島正	46〜49
関東の無線部門における積極的保全活動	牛島義男	50〜52
伝送サービスの向上をめざした搬送保全活動	渋川竜之助；渡辺昭夫	53〜57
加入データ伝送方式＜その 2 ＞ 1,200 ビット／秒データ伝送装置	茂出木孝男；脇阪隆夫；鈴木祐敏；竹之内篤男	58〜63
加入データ伝送方式＜その 3 ＞遠隔試験装置	茂出木孝男；田中義昭；足立邦彦；鈴木祐敏	64〜71
6GHz1,800ch マイクロ波方式の固体電子化（SF-U3 方式の設計）	三好徹；田中良一；平林忠夫	72〜80
信号度数計電源装置の障害対策	東濃勇；斎藤礼一；江口孝	81〜90
小規模集中局の手動台集中（その 2）施設設計について	竹中正州；海哲男；中島一；奥村義治	91〜100
市内 CCP ケーブル心線の新接続工法	坂口正人；滝沢純；久保田俊昭	101〜107
オピニオンテストによる通話品質の評価	古賀一徳；松尾義一；田中秀穂	108〜114
技術のはなし 自即網のしくみ (1) 概念・生いたち・現状	山本茂文	118〜125
施設人のための事業知識 (42) 貸借対照表と損益計算書	内藤豊	126〜128
最近の海外雑誌から 押しボタンダイヤル電話方式に関する加入者習性	佐々木幸彦	129〜133
新工法シリーズ ポール用バンド取付工法	持田国臣	134〜137
＜新仕様書の紹介＞無線関係	技術局仕様課	138〜139
ニュースフラッシュ		115〜115
読書案内 わかりやすい C400 形クロスバ & 2 進数によるデータの表現	真山政義；平三郎	116〜117
海外連絡室ニュース		140〜140
研究実用化報告第 16 巻第 12 号掲載予定論文		141〜142
昭和 42 年施設総目次		2〜12

Vol.20　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	14〜17
年頭所感	黒川廣二	18〜19
電子交換機の現状	川田大介	20〜31
データ通信技術の動向	米沢威行；美間敬之	32〜46
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	坂下隆義；朝蔭裕	47〜54
地形図方式による施設記録整備の実施について	糸賀邦夫；熊谷圭介	55〜58
＜読者から＞同軸システムの伝送品質向上対策	都倉通朗	59〜65
Ⅰ. 概要	田場実	66〜67
Ⅱ. ハードウェア	渋谷多喜夫；伊藤雅信	68〜73
Ⅲ. オンライン用管理プログラム	渋谷多喜夫	74〜78
Ⅳ. 応用プログラム	平塚清士；信国弘毅	79〜83
2,400 ビット／秒のデータ伝送用変復調装置	伊藤雅信；三橋喜一；大森久和；曽根信義	84〜93
料金計算機およびデータ通信用電源装置	斎藤礼一；飯塚文男；清水武	94〜100
無停電電源装置の経年劣化状況とその対策	東濃勇；斎藤礼一；杉田五郎；小林巽	101〜107
技術のはなし 自即網のしくみ (2) 構成	山本茂文	108〜116
施設人のための事業知識 (43) 減価償却のはなし	丸山芳春	118〜120
話をする電子計算機のいろいろな応用	佐々木幸彦	122〜124
＜新仕様書の紹介＞計測関係	技術局仕様係	126〜128
読書案内 データ通信	米沢威行	117〜117
ニュースフラッシュ		125〜125
海外連絡室ニュース		129〜130
研究実用化報告第 17 巻第 1 号掲載予定論文		131〜131
昭和 43 年度「施設」編集モニター募集	編集部	121〜121

Vol.20　No.2
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉コンサルティング・サービス	松本馨	8〜9
最近の海外活動	海外連絡室	10〜13
座談会 新興国に対する公社の技術協力	石川好男；鈴木義雄；岩清水隆男；小嶋国雄；出口富義；杉浦吾男；滝田正利；松本馨	14〜24
第 8 回技術成果発表会から	篠原寿人；川本博千	25〜33
鉄道の電化等に伴う公衆電気通信線路の誘導障害対策工事に関する国鉄・電電協定について（その 1）	塩田芳秋；落合敬次郎；阿部和夫	34〜41
イラン国電気通信網計画と公社の技術協力	北川泰弘；小嶋国雄；桑原守二	42〜47
変ぼうする保全業務	丹野武宣	48〜52
保全作業の近代化を進めるために	池上績	53〜57
新しい保全体制	小野要一郎	58〜61
保全管理の合理化	川久保正人	62〜65
〈職場の改善例〉窓口即決承諾体制の実施と成果について	土居健造；小松崎伸	66〜71
〈職場の改善例〉金沢 TTOS(C82-A) の異常障害措置機能の改善	川島勝；岡島成昭；中野紀久夫；白川昭弥	72〜77
東名高速道路通信システム（その 1）	神宮司順；式場英	78〜90
改良 C22 形自動交換装置	油井隆弘；仲神徳彦	91〜96
電話需要の時系列予測方法の改善	伊藤和美；道祖尾毅久	97〜104
画像通信サービス	藤尾茂；海老原勇夫	105〜108
サイリスタ化電源装置の本格導入	酒井和男；大野伝次；斎藤礼一	109〜117
技術のはなし 自即網のしくみ (3) 通話の流れ・性質・網管理	山本茂文	118〜127
施設人のための事業知識 (44) 農村集団自動電話	落合敬次郎	128〜130
最近の海外雑誌から 無線呼出しシステム	佐々木幸彦	131〜135
新工法シリーズ A 形既設局へのクロスバ増設工法（基礎工事）	遠藤智久；小川竜一	139〜143
〈新仕様書の紹介〉線路関係	技術局仕様課	144〜145
ニュースフラッシュ		136〜138
海外連絡室ニュース		146〜146
研究実用化報告第 17 巻第 2 号掲載予定論文		147〜147

Vol.20　No.3

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞完全な建設工事	牧野康夫	12〜13
工事品質の向上について	輿寛次郎；鈴木宏	14〜21
建設工事における監督体制の強化	鈴木慶泰；佐々木原俊郎	22〜26
請負業者と工事品質向上対策	井田香織；沼田竜雄	27〜32
公社における JIS の活用と国際標準化業務	岩清水隆男；牛山昭和	33〜42
鉄道の電化等に伴う公衆電気通信線路の誘導障害対策工事に関する国鉄・電電協定について（その 2）	塩田芳秋；落合敬次郎；阿部和夫	43〜51
鉄道の電化等に伴う公衆電気通信線路の誘導障害対策工事に関する国鉄・電電協定について（その 3）	岡田清；南英雄；西村通男；平野正敏	52〜61
＜読者から＞委託交換局自動改式に関する一考察	亀島昭徳；田中康博；三島洋一；高月敏朗	62〜66
＜職場の改善例＞市外 PEF-P ケーブルのガス化工事の一例	吉橋登；小栗寿夫	67〜75
東名高速道路通信システム（その 2）	桑原守二；山上功；式場英	76〜86
自動接続試験装置（C400 形交換機用）の概要	佐藤昌隆；角田忠久；倉島渡	87〜94
シールド工法に使用するセグメントの試用試験	伊藤和五郎；山田恵男；青木輝雄	95〜101
CP-12M Tr 方式商用試験結果	青江茂；近藤光洋；原島進；仲沢英憲	102〜109
新しい移動無線 ── ポケットベル方式	木村正道；高木慶三；福住和夫；山田幸輝	110〜118
群馬銀行データ通信システムの概要	八橋主計；松村邦雄；渋谷多喜夫	119〜126
技術のはなし 衛星通信 (1)	室谷正芳	127〜137
施設人のための事業知識 (45) 共架・添架	落合敬次郎	140〜142
最近の海外雑誌から PBX 中継線の伝送品質の改善	佐々木幸彦	143〜145
新工法シリーズ ケーブル防水工法	持田国臣	147〜150
＜新仕様書の紹介＞電力関係	技術局仕様課	151〜151
読書案内 PERT の基礎と実務／資材の需要予測と品質管理	小原明；酒井神三郎	138〜139
ニュースフラッシュ		146〜146,152〜153
海外連絡室ニュース		154〜154
研究実用化報告第 17 巻第 3 号掲載予定論文		155〜155

Vol.20　No.4
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞創立 20 周年を迎える電気通信研究所	宮崎政義	8〜9
電気通信研究所の研究活動 ── 伝送研究部の活動を中心に	熊谷伝六	10〜15
全国市外番号の一部変更について	小菅正夫；飯島幸雄；榎本喜久雄	16〜21
110 番サービスの改善	守家一夫；宮沢昌男；今村耕一	22〜27
ブラジル電気通信事情	飯田穣治	28〜36
坂出市の人工土地に対する電話用配管ならびにケーブル配線	原田阿久利；松村正一；福本孝平	37〜42
東京通信局において実施中の電子計算機を用いた市内加入者線路設備増設計画について	安藤三春；白石保臣；横井良隆；田中満	43〜50
東京における長期地下施設計画（その 1）	村上文章；大木定道；関進；渡辺進	51〜65
＜私の提案＞つる植物による線路被害の防止法	山倉淑松	66〜68
加入者度数監査の集中化	宮川喬；浅水敏之	75〜84
標準化された集合自動電話交換機（その 1）	山部正一；大和信夫；米田信之	85〜90
画像通信機器の試用試験（その 1）	青江茂；藤尾茂；海老原勇夫；近藤光洋；堀口孝雄	91〜96
農林省情報交換システム	杉浦淳一郎；井田智雄；山本善生	97〜105
技術のはなし 衛星通信 (2)	室谷正芳	108〜119
施設人のための事業知識 (46) 財産単位制度	倉智正人	120〜121
最近の海外雑誌から 将来の伝送システムのためのバルク効果素子	星野孔昭	124〜128
搬送装置局内総合試験	和田治夫	129〜133
＜新仕様書の紹介＞搬送関係	技術局仕様課	134〜135
読書案内 電話文学散歩	土井大三	106〜106
加入電話 1000 万突破記念論文募集		69〜74
ニュースフラッシュ		123〜123
海外連絡室ニュース		136〜136
研究実用化報告第 17 巻第 4 号掲載予定論文		137〜137
昭和 43 年度 機関誌「施設」編集モニターの選考発表		107〜107
「施設」企画・編集・技術講座担当委員会委員名簿		122〜122

Vol.20　No.5

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞加入電話 1,000 万を突破して	橋本一郎	8〜9
これからの施設計画	北原安定	10〜15
昭和 43 年度建設勘定工事実施計画の概要	千野孝	16〜21
超高層ビルの配線	山口開生；宮脇崇夫；住本弥栄雄；小泉重二；青山隆二	41〜47
ATTM による回線品質管理	杉本省吾	48〜54
最近の電話局等の停電状況	平井修；江口孝	55〜58
東京における長期地下施設計画（その 2）	村上文章；大木定道；関進；渡辺進	59〜68
＜職場の改善例＞ビル電話相談室を中心としたビル電話配管設備の指導について	加瀬正雄；白井金次郎	75〜80
クロスバ交換方式の完成と新サービスの開始	福富礼治郎	22〜23
絶えざる技術革新に対応して設計方針の向上を	高橋敏朗	24〜26
符号通信の近代化	南隆蔵	27〜28
拡大固定配線区画の設定と農集局線装荷方式の導入	村田保	29〜30
マイクロ波伝送路の安定化と船舶等移動通信サービスの拡充	永村春一	31〜32
電力設備の設計方針	菊地通博	33〜35
市外サービスの高品質化	岩噌弘三	36〜38
データ通信設計体制の確立	米沢威行	39〜40
標準化された集合自動電話交換機（その 2）	山部正一；大和信夫；米田信之	81〜90
新しい加入電話需要予測方法と加入者線路設計	奥山良昭；中込四郎；石川公一	91〜100
新しい市内配線法（その 3）	長倉功；伊藤宣弘；奥山良昭；栗原隆一	101〜108
マイクロルートの置局選定における航空写真測量の適用	大沢一允；沢山政昭	109〜114
2GHz の見通し内長距離海上伝搬におけるフェージング現象の調査	矢野常俊；蝶野尚生	115〜121
技術のはなし 海底同軸ケーブル方式 (1)	青江茂	126〜133
施設人のための事業知識 (47) 電話料金	曽根吉嗣	134〜136
最近の海外雑誌から CATV システムと総合通信	星野孔昭	137〜140
新工法シリーズ 度数計自動撮影装置建設	山崎浩	141〜145
＜新仕様書の紹介＞電信関係	技術局仕様課	146〜146
読書案内 シカン坊物語／ああ電話 & プログラム学習による FORTRAN	橋本真澄；今井貞夫；塚本和孝	122〜125
海外連絡室ニュース		147〜148
研究実用化報告第 17 巻第 5 号掲載予定論文		149〜149
第 9 回技術成果発表会論文募集	技術局調査部門	69〜74

Vol.20　No.6

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞技術革新と製造業界	三宅正男	8〜9
昭和 43 年度施設用物品調達計画	谷山陽；小原明	10〜14
新しく制定された物品包装指定書	田村昭；久保田俊昭	15〜21
沖縄本島・先島間極超短波電話回線の建設について	千野孝；加藤磐；四戸稔；藤井一明	47〜55
＜職場の改善例＞ 5 号 A 卓上公衆電話機の金詰り防止対策について	蛯原一雄；太田慶蔵	56〜59
開道 100 年と北海道の電信電話		22〜43
北欧と北海道	山村贊平	44〜46
ケーブル接続作業中断時の防護について	持田国臣；井口章	60〜70
標準化された集合自動電話交換機（その 3）	山部正一；大和信夫；堀場信雄；米田信之	71〜80
新しく実用化された自即用ボックス公衆電話機	鈴木正和；牧野正男	81〜90
PCM-24 方式の海底ケーブルへの適用	平塚憲一	91〜95
2GHz 無線 PCM 方式（その 1）	室谷正芳；立川敬二；田中良一	96〜105
固体化された 11GHzSF-T1 方式	三好徹；沢田順弘；松本慎二	106〜115
技術のはなし 海底同軸ケーブル方式 (2)	青江茂	119〜127
施設人のための事業知識 (48) 自営設備の技術基準	岸田晃	128〜129
最近の海外雑誌から アメリカと西ドイツにおけるテレビ電話	星野孔昭	132〜135
新工法シリーズ CCP 用コネクタ取付工法	角田卓弥	136〜139
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	140〜141
読書案内 搬送電話	高橋敏朗	118〜118
ニュースフラッシュ		130〜131
海外連絡室ニュース		142〜142
研究実用化報告第 17 巻第 6 号掲載予定論文		143〜143
第 5 回「施設」編集モニターの任期を終えて		116〜117

Vol.20　No.7

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞今後の新技術の進め方	緒方研二	8〜9
昭和 43 年度技術調査研究実用化計画の概要	加納実；堀内千冬	10〜18
ポケットベル・サービス	永村春一	19〜26
小笠原諸島復帰に伴う電気通信施設の設置	中川金次郎；真田大	27〜34
昭和 42 年度における電気通信研究所技術協力部の活動	武田知己	35〜45
新しく発足した公社の電算機関係訓練について	植田義明；東野雅朗	46〜53
伝送品質の改善と 4 線式 TS の採用	住田俊宗；古賀一徳；松尾義一；立松稔	54〜60
同軸ケーブル方式工事（線路）施工上の問題点とその解決例	大矢晴一；田中巧；田中昭吉	61〜70
＜職場の改善例＞異常障害時における OD, OM 市外ダイヤル回線のケーブル切替えについて	中野幸郎；中山元治；中野政治	71〜76
＜職場の改善例＞一般加入者障害における修理時分予告サービスを実施して	斎藤孝市；三宮保；原口武男	91〜94
2GHz 無線 PCM 方式（その 2）	吉田和衛；立川敬二；田中良一	77〜83
クロスバ交換機用電子回路の標準化（その 1）	石井昭一；海老原初夫；松坂泰；保坂務	95〜104
新しい同軸ビデオ方式	青江茂；近藤光洋；堀口孝雄	105〜111
画像通信機器の試用試験（その 2）	藤尾茂；青江茂；海老原勇夫；近藤光洋；堀口孝雄	112〜117
本仕化された TC-2 形電報受付装置	木植和夫；山本善生；大友宏樹；門倉藤夫	118〜125
技術のはなし 海底同軸ケーブル方式 (3)	青江茂	126〜131
施設人のための事業知識 (49) 物品検査の現況	青木幸三	132〜133
最近の海外雑誌から オンライン・システムとマンコンピュータ・グラフィック	星野孔昭	135〜139
新工法シリーズ マイクロ空中線工事の導波管配管工法	上池啓一	140〜146
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	147〜147
読書案内 情報革新読本	横井満	134〜134
ニュースフラッシュ		84〜90
海外連絡室ニュース		148〜148
研究実用化報告第 17 巻第 7 号掲載予定論文		149〜149

Vol.20　No.8

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞第 4 次 5 ヵ年計画を迎えて	井上俊雄	8〜9
第 3 次 5 ヵ年計画の成果	石川好男	10〜23
昭和 42 年度技術調査研究実用化の成果概要	加納実；堀内千冬	45〜54
昭和 42 年度検査実施状況と成果の概要	阿部正雄	55〜63
座談会 第 3 次 5 ヵ年計画の回顧	黒川廣二；北原安定；井上俊雄；緒方研二；牧野康夫；橋本真澄；三宅正男；野村隼一	24〜44
＜私の提案＞ Test-Piece による無線用鉄塔塗装調査について	戸森喜三則	64〜68
＜私の提案＞ C61 形 TIS 交換機 OD 装置の MF 化について	吉田英一；井上昌之；定木直人；山崎喜正	75〜78
＜読者から＞ ND 運動を体験して	森満寿夫	79〜81
低接地工法（その 1）	山本千治；油井隆弘；佐藤寿彦	82〜88
クロスバ交換機用電子回路の標準化（その 2）	石井昭一；海老原初夫；三宅昭令	89〜98
PCM-120 方式（その 1）	坂下隆義；平塚憲一；川上大三；富田邦明	99〜108
技術のはなし 電子交換機 (1)	池谷寛	109〜115
施設人のための事業知識 (50) 給与と生産性	近藤有宏	116〜117
最近の海外雑誌から レーザ通信用非線形光学材料の研究	星野孔昭	119〜122
＜新仕様書の紹介＞工具関係	技術局仕様課	124〜125
読書案内 通信網とその保全	飯田穣治	118〜118
ニュースフラッシュ		69〜74,123〜123
海外連絡室ニュース		126〜126
研究実用化報告第 17 巻第 8 号掲載予定論文		127〜127

Vol.20　No.9

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞保全は軍隊なり	橋本真澄	8〜9
昭和 43 年十勝沖地震の災害について	池本晴雄；吉本幸弘	10〜19
第 31 回電気通信技術委員会から	鳥山好三；桑原守二	20〜28
メキシコの電信・電話事情とセンターの現状	原口正美	29〜35
最近におけるマイクロ回線の保全状況	出口富義；西野孝平；安達哲夫；田保瑞夫	36〜53
課金トランク試験の自動化	中島健一郎；高田嘉郎	54〜61
騒音対策用送受器	山上功；岩本久弘	62〜74
C23 形自動交換装置	中村泰夫；菅原潔；川井英明	75〜84
C93 形特番交換機の実用化	神宮司順；石井孝；東直毅	85〜91
CCP ケーブル建設工法（その 1）	安田丞善；井口章	92〜102
低接地工法（その 2）	林実信；岡山孝昭；内山鈴夫；森本武重	103〜110
衛星通信地球局と地上マイクロ局の共存	大沢一允；室谷正芳；板川凡夫	111〜119
技術のはなし 電子交換機 (2)	近藤貞吉	120〜128
施設人のための事業知識 (51) 線材と機材	田村昭	130〜131
最近の海外雑誌から 見通し内マイクロ波通信方式におけるスペースダイバシティ	星野孔昭	134〜138
新工法シリーズ PC30 形交換機の建設工法	田中優司；辻武志	140〜144
＜新仕様書の紹介＞搬送関係	技術局仕様課	145〜147
読書案内 通信土木施設 & 搬送電話方式	伊藤和五郎；青江茂	132〜133
ニュースフラッシュ		129〜129
海外連絡室ニュース		148〜148
研究実用化報告第 17 巻第 9 号掲載予定論文		149〜149
次号目次 10 月号掲載予定目次		139〜139

Vol.20　No.10

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞生きた数字	勝田日出夫	8〜9
加入データ通信方式	美間敬之	10〜20
加入データ通信方式のサービス内容	大前義次；小林登；伊藤宏	21〜26
加入データ通信方式の番号計画・網構成・課金方式	小菅正夫；中谷邦夫；小野秋一	27〜32
電気通信技術標準実施方法の制改定・配布業務の現状と今後の問題点	蔵内照智；加藤勇	33〜39
全国自動即時の飛躍的拡大にあたって	小菅正夫	40〜43
電子計算機による誘導予測計算について	山本千治；林実信；高島秀行	44〜50
加入電話 1,000 万突破記念論文入選発表	施設編集部	52〜52
1,000 万加入電話の保守と今後のあり方	新村登	54〜61
建設工事品質向上のための具体策	佐藤圭	62〜68
これからの機械保守と ZD 活動	藤本昌俊	69〜73
1,000 万加入電話の保守と今後のあり方	貫田卓也	74〜79
加入電話 1,000 万突破記念論文審査概評	新川吉雄	53〜53
＜職場の改善例＞交通戦争下における線路障害について	小林光雄	91〜94
マイクロ波回線置局設計法の改善（その 1）	寺井寛治；河合好二郎；伊藤好誉	80〜90
クロスバ建設工事における局内ケーブル布設方法の改良について	鈴木慶泰；新井満男；小川龍一；山崎浩；井石雅雄	95〜104
農集用同調電鈴	油井隆弘；中村泰夫；内山鈴夫	105〜113
CCP ケーブル建設工法（その 2）	安田丞善；井口章	114〜124
技術のはなし 電子交換機 (3)	近藤貞吉	126〜131
施設人のための事業知識 (52)	勝屋俊夫	132〜133
IBM1287 による光電読取り法	星野孔昭	134〜140
＜新仕様書の紹介＞電力関係	技術局仕様課	142〜143
読書案内 仕事に役だつやさしい統計と OR	松島康夫；江副力	125〜125
ニュースフラッシュ		51〜51
海外連絡室ニュース		144〜144
研究実用化報告第 17 巻第 10 号掲載予定論文		145〜145
次号目次 11 月号掲載予定目次		141〜141

Vol.20　No.11
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞3 週間の愛国心	庄司茂樹	8〜9
日本万国博覧会と電電公社〜EXPO'70 に期待と協力を	田中浩太郎	10〜16
日本万国博覧会における会場管理運営のためのデータ通信システム	伊佐進	17〜26
電気通信設備請負工事の最近の諸問題	原田安雄	27〜34
新しく登場する押しボタンダイヤル電話方式	池谷寛	35〜40
目で見る昭和 42 年度保全成果〜保全サービス改善 3 ヵ年計画の第 2 年目をかえりみて	池本晴雄；水野健二	41〜51
米国における EDPS 教育の現状	高柳晃；星正也；相原保；島崎恭一	52〜61
加入データ通信方式 ── センタ設備（その 1）	大前義次；石川光雄；塩沢惇隆；井上良一	62〜70
C93 形交換機の導入方針と施設設計の概要	守家一夫；小西昭雄；奥村義治	71〜79
集中局 4 線交換の採用に関する電話伝送基準の一部改定について	古賀一徳；立松稔	80〜90
押しボタンダイヤル電話方式の概要	大西祥暉；若本孝雄；田島清；山上功	91〜102
PBX オートダイヤル装置	山部正一；鈴木邦男	104〜114
新しい搬送局内配線方式	矢永達三；浅野宇一；和田治夫	115〜123
固体化マイクロ波方式に用いられる半導体	三好徹；田中良一；平林忠夫	124〜132
技術のはなし 電子交換機 (4)	近藤貞吉	133〜139
施設人のための事業知識 (53) アメリカの電話料金の決定原則	増田悦三	140〜141
最近の海外雑誌から 米国におけるコンピュータ・コミュニケーションシステムの動向	星野孔昭	142〜146
＜新仕様書の紹介＞測定器関係＆電信関係	技術局仕様課	148〜149
読書案内 電子回路を学ぶ人のために	池谷寛	147〜147
海外連絡室ニュース		150〜150
研究実用化報告第 17 巻第 11 号掲載予定論文		151〜151
次号目次 12 月号掲載予定目次		103〜103

Vol.20　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞都市化への対応	野村隼一	8〜9
建築業務における電算機の利用	滝野文雄；野口優；筑紫正宏；加藤毅夫；浦本昌昭	10〜20
データ通信局舎設計上の問題点	大沢弘；阿部敏孝；堀竹英弘	21〜26
海外技術協力と建築	沖塩荘一郎	27〜28
線路専用庁舎について ── 関東電気通信局の場合	宝木冨士夫	29〜34
電子交換と局舎設計	大川治衛	35〜35
建築の創造プロセス－万国博における実例分析	松木侃	36〜37
高度な環境性能の追求－通研集積回路 (IC) 実験室	松本文郎	38〜38
資材業務の変化に対応する倉庫建築－四国配給局倉庫	松本文郎	39〜39
局舎プレファブ化の 1 つの試み－万国博電報電話局の場合	白井和成	40〜40
高層化する宿舎〜三ノ橋職員宿舎	細川精一	41〜41
構造設計における 1 つの試み－東北電気通信局庁舎	杉山正禧；宮田昇	42〜42
超短波用鉄塔の設計－船舶電話用標準鉄塔	杉山正禧	43〜44
公社色彩管理のあゆみ ── 委員会の解散にあたって	西郷正宣；桑原達雄	45〜50
準専用方式による為替通信システムの設計	花嶋宏；神山治文；秋池政二；住田輝芳	51〜60
加入者線装荷方式	山本千治；丸山芳春；石原広司	61〜74
マイクロウエーブ国際セミナー	依田貞夫；稲野竜三郎；横山保	75〜82
小容量交換機用自即公衆装置の実用化	油井隆弘；中村泰夫；仲神徳彦	83〜90
6GHz SF-U3 方式商用試験結果と本仕様化について	三好徹；平林忠夫	92〜98
標準化された M 系列継電器	山部正一；石田義典；花谷幸雄	99〜104
PCM-120 方式（その 2）	坂下隆義；副島俊雄；田崎公郎	105〜110
加入データ通信方式 ── センタ設備（その 2）	山田雅朗；亀島昭徳	111〜111
簡易計算サービス	志沢美夫；長谷川光男；山口欣二	111〜118
科学技術計算サービス	種田彬；鳥谷正彦；田中敏光	118〜126
マイクロ波回線置局設計法の改善（その 2）	寺井寛治；島崎隆；伊藤雄一	127〜135
技術のはなし 電子交換機 (5)	近藤貞吉	137〜143
施設人のための事業知識 (54) 線路設備費	東光大	144〜145
最近の海外雑誌から 世界最初の PCM 交換機	星野孔昭	149〜152
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	153〜155
読書案内 クロスバ建設概要＆通信ケーブル方式概要	鈴木慶泰；村田保	146〜148
ニュースフラッシュ		91〜91
海外連絡室ニュース		156〜156
研究実用化報告第 17 巻第 12 号掲載予定論文		157〜158
次号目次 1 月号掲載予定目次		136〜136
昭和 43 年施設総目次		2〜12

Vol.21　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	8〜11
年頭所感	黒川廣二	12〜13
Ⅰ. 総説	山根信義	14〜18
Ⅱ. 電気通信技術標準実施方法（保全部門）の基本的改定	小野要一郎	19〜20
Ⅲ. り障時間の短縮と工事障害の減少	六戸満	21〜22
Ⅳ. 付帯工事（自機）管理の改善実施について	神保健二	23〜25
Ⅴ. 非常事態の措置計画と災害演習	谷池宏；小林陸奥夫	26〜27
Ⅵ. 職員の技術力向上と士気高揚	佐藤義雄	28〜30
座談会 保全体制の大転換を目ざして	橋本真澄；山根信義；黒田平八；網蔵金徳；木内茂夫；鈴木康雄；笉谷竜夫；田中俊夫；石川毅；大原善助	31〜43
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	桑原守二；飯野理	44〜50
＜職場の改善例＞マンホール鉄蓋鳴動防止対策について	江川宏；宇都宮熊夫；森稔；野本佐紀雄	75〜78
通信局特集 東京電気通信局 東京の電信電話		51〜74
共通制御式になった新形自動式構内交換装置	山部正一；石田義典；飯塚文男；中川史郎；草野民三	79〜90
CP-12MTr 方式の線路設計ならびに建設工法	玉井明；小西洋市；佐藤認；大井茂夫	91〜102
無線呼出方式〜“ポケットベル”商用試験結果	木村正道；高沢徳次郎；萩平忠利；堀崎修宏	103〜110
加入データ通信用宅内装置	川端久喜；茂出木孝男；井田智雄；町野俊明	111〜124
TEX-C4 形加入電信交換装置（その 1）交換装置の概要	木植和夫；遠藤正；大友宏樹	125〜133
技術のはなし 電子交換機 (6)	近藤貞吉	134〜140
施設人のための事業知識 (55) 公衆電話のうつりかわり	鈴木正和	142〜143
最近の海外雑誌から レーザと PCM	星野孔昭	144〜147
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	148〜150
ニュースフラッシュ		151〜151
海外連絡室ニュース		152〜152
研究実用化報告第 18 巻第 1 号掲載予定論文		153〜153
次号目次 2 月号掲載予定目次		141〜141

Vol.21　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞品質と評価	倉地孝	8〜9
あたりロット検査方式の開発 ── 検査の歴史と新検査方式の導入	阿部正雄	10〜19
運輸省自動車局データ通信システムの設計概要	米沢威行；津田宏明	20〜31
第 9 回技術成果発表会から	加納実；篠原寿人；榎義彦	32〜41
国際電信電話諮問委員会 (CCITT) 第 4 回総会の報告	半田恵一	42〜52
メキシコオリンピック電気通信とわが国の技術協力	佐治信男；大迫泰造	53〜64
東名高速道路通信施設の保全について	小野要一郎；庄司蓮次	66〜71
施設記録の 20 年	吉本幸弘；熊谷圭介	72〜77
本仕化された自即用ボックス公衆電話機	牧野正男；忠津宏；小松崎和重	78〜90
主群切替装置について	青江茂；石川光雄；石野文雄；岡田成俊	91〜101
PCM-120 方式（その 3）	坂下隆義；平塚憲一；川上大三	102〜109
TEX-C4 形加入電信交換装置（その 2）課金装置の概要	木植和夫；遠藤正；田中務	110〜118
技術のはなし 抜取検査と品質管理 (1)	阿部正雄；小西省三；山本太郎	119〜129
施設人のための事業知識 (56) マイクロ波伝搬障害の防止	落合敬次郎	130〜131
最近の海外雑誌から 米国における衛星通信の現状	星野孔昭	132〜136
新工法シリーズ 新しい縦割り, 胴継鉛工法	杉谷叡彦	138〜142
＜新仕様書の紹介＞伝送無線関係	技術局仕様課	144〜147
ニュースフラッシュ		65〜65,137〜137
海外連絡室ニュース		148〜148
研究実用化報告第 18 巻第 2 号掲載予定論文		149〜149
次号目次 3 月号掲載予定目次		143〜143

Vol.21　No.3
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞電子交換方式の研究を省みて	宮崎政義	8〜9
電気通信研究所の研究活動 ── 電子部品研究部の活動を中心に	小島卓哉	10〜22
十勝沖地震を契機とする災害対策について ── 主として恒久対策について	石川好男；大田彦三郎	23〜34
公害防止対策としてのマンホール鉄蓋の改良	伊藤和五郎；姫野梶彦；青木輝雄	35〜42
専用設備の動向	竹内純蔵；丸山一水	43〜51
＜職場の改善例＞ VF4 形模写電送機の特異障害について	宮崎貞雄	52〜53
運輸省データ通信システム－（その 1）センタ装置－	内田義昭；藤原緝；松木光晴	54〜61
運輸省データ通信システム－（その 2）管理プログラム－	藤原緝；板倉征男	62〜74
“自動車専用道”非常電話システム	鈴木正和；神宮司順；中村千之；秋庭弘	75〜84
高損失救済のための加入者線双方向中継器	石野文雄；黒沢秀行；片山孝彦	85〜93
マイクロ波 PCM 方式の回線設計法（その 1）	立川敬二	94〜102
技術のはなし 抜取検査と品質管理 (2)	阿部正雄；小西省三；山本太郎	103〜114
技術のはなし 特許出願の基礎知識	大宮謙三；森尻茂	115〜124
施設人のための事業知識 (57) A 級異常障害	船窪静夫	126〜127
最近の海外雑誌から 聴覚情報の神経符号への変換	星野孔昭	128〜132
＜新仕様書の紹介＞電力関係	技術局仕様課	133〜135
海外連絡室ニュース		136〜136
研究実用化報告第 18 巻第 3 号掲載予定論文		137〜137
次号目次 4 月号掲載予定目次		125〜125

Vol.21　No.4

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞情報化社会への胎動と投資計画	井上俊雄	8〜9
AT&T 社ロムネス会長の来訪	松本馨	10〜12
日本万国博覧会と電気通信館	大沢秀行	13〜20
第 4 次 5 ヵ年計画の概要	石川好男	21〜26
第 4 次 5 ヵ年計画における発達調査の概要	岡裕	27〜40
電話増設および局建設計画	山縣保	41〜54
市外サービス計画および新規サービスの進展	小菅正夫	55〜62
第 4 次 5 ヵ年計画における伝送路計画	窪宣正	63〜71
収支および資金調達計画	星正也	72〜76
1,700 トン型敷設船津軽丸の建造	竹井幸男；桑原幸二郎；竹村慶治郎	77〜83
海底同軸ケーブル中継方式試用試験の事前調査	山本千治；玉井明；飯田光夫；安井敏行	84〜94
＜職場の改善例＞建設工事を通じて保全業務の改善を図った	西岡隆興；五十川義一；大西広次	95〜106
遠距離集中試験装置	宮川喬；清水重雄；炭山英彦	107〜114
集合自動電話用 PC41 形交換装置の概要	小畑昭雄；堀場信雄；関口明信	115〜126
マイクロ波 PCM 方式の回線設計法（その 2）	立川敬二	127〜134
運輸省データ通信システム－（その 3）宅内装置および通信制御装置－	伊藤雅信；脇阪隆夫；阿部英雄	136〜145
運輸省データ通信システム－（その 4）業務処理－	田中邦則；今村晴彦	146〜156
技術のはなし 抜取検査と品質管理	阿部正雄；小西省三；山本太郎	157〜165
施設人のための事業知識 (58) 有線音楽放送	落合啓次郎	166〜166
最近の海外雑誌から N3-L 接続装置	高井章	171〜174
＜新仕様書の紹介＞搬送関係	技術局仕様課	175〜177
読書案内 電子計算機／リアルタイム－システムの設計・管理・運用	美間敬之	168〜168
ニュースフラッシュ		135〜135,169〜169
海外連絡室ニュース		178〜178
研究実用化報告第 18 巻第 4 号掲載予定		179〜179
次号目次 5 月号掲載予定目次		167〜167
「施設」企画・編集・技術講座担当委員会委員名簿		170〜170

Vol.21　No.5

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞未来へ生きる	北原安定	8〜9
昭和 44 年度 建設勘定工事実施計画の概要	千野孝	10〜16
電気通信技術の動向 ── 昭和 44 年度技術調査研究実用化計画の概要	辻明；堀内千冬	33〜41
保全管理方式の改定	柳生淑郎；水野健二	42〜47
テレビジョン中継映像音声同時伝送方式	三好徹；鎌田靖彦；細田彰	48〜62
＜私の提案＞集合自動電話設備工事を経験して	小西健一；岡田隆	63〜70
新サービスの拡大と設計精度向上施策の設計への反映	福富礼治郎	17〜18
市外伝送路の安定化と伝送品質の向上	小山内昭三	19〜20
符号通信と専用設備の拡大	工藤理一郎	21〜23
線路の合理化, 経済化, 安定化	村田保	24〜25
無線方式による災害対策の推進	小野浄治	26〜27
電源システムの信頼性向上と設備の合理化	菊池通博	28〜29
災害に強い高品質市外網へ	岩噌弘三	30〜32
災害対策用 TZ-400 形システム	木村正道；石野文雄；中村千之；渡辺竜雄	71〜86
C410 形自動交換機（その 1）大容量集合自動電話交換機	上原亨；若本孝雄；田宮忠雄	87〜96
交換装置の耐震性について	鈴木慶泰；小川龍一；斎藤勝彦	97〜103
経済化された転換器－現用転換器に代わる 10 号形転換器	鈴木正和；花谷幸雄；秋庭弘；安田穣	104〜108
集中局 4 線交換の採用に伴う市外回線伝送損失設計（G62.10）の改定について	境良夫；加藤祐三；岸信治	110〜118
東名高速道路用監視テレビ方式の商用試験結果について	青江茂；近藤光洋；石川定美	119〜126
電話局における受配電系統の全自動化設計概要	竹内一雄；山村久	127〜134
技術のはなし 抜取検査と品質管理 (4)	阿部正雄；小西省三；山本太郎	135〜142
施設人のための事業知識 (59) サービスオーダ制度	黒子恭正	144〜145
最近の海外雑誌から 米国とフランスの自動車電話	高井章	146〜149
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	150〜151
読書案内 情報化社会をひらく「データ通信」	神谷輝男	143〜143
海外連絡室ニュース		152〜152
研究実用化報告第 18 巻第 5 号掲載予定論文		153〜153
次号目次 6 月号掲載予定目次		109〜109

Vol.21　No.6

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉資材業務の進むべき道	三宅正男	8〜9
昭和 44 年度施設用物品の調達とその課題	谷山陽；小原明	10〜17
通話完了率	福井謙三	18〜29
日本万国博覧会の運営・出展に活躍する新しい電気通信技術	上原亨；青江茂；陸川泰志；塚本和孝；木村正道	30〜42
〈私の提案〉回線管理法－増設電話部門が担当するクロスバ交換設備の収容回線管理方法	舟竹敏秀；小林邦彦；古谷進；磯貝隆平	63〜67
通信局特集 九州電気通信局 九州電気通信局を紹介する		44〜62
C410 形自動交換機（その 2）大容量集合自動電話交換機	千葉正人；田宮忠雄；久米祐介	68〜76
プラスチックケーブルの障害現象とその位置測定方法	高橋洋一；高橋秀靖；新田義孝	77〜84
長スパン管路の適用	伊藤和五郎；姫野梶彦；青木輝雄	85〜92
同軸ケーブル搬送方式の等化調整について	青江茂；近藤光洋；秦英遠	93〜99
交換機等の対地平衡度規格について	住田俊宗；朝比奈一	100〜104
技術のはなし 抜取検査と品質管理 (5)	阿部正雄；小西省三；山本太郎	105〜110
施設人のための事業知識 (60) 総合収支率	近藤有宏	114〜115
点と線と面	森山彰一	111〜113
昭和 43 年度電気通信研究所情報特許部“特許部門の概況”	電気通信研究所情報特許部特許部門	118〜120
最近の海外雑誌から コンピュータによる国際テレックス交換	高井章	121〜125
新工法シリーズ SD ワイヤ建設工法	川瀬貞夫	126〜131
〈新仕様書の紹介〉搬送・無線関係	技術局仕様課	132〜134
読書案内 技術先端産業／有線電話伝送工学	美間敬之；新村長門	116〜117
海外連絡室ニュース		135〜136
研究実用化報告第 18 巻第 6 号掲載予定論文		137〜137
次号目次 7 月号掲載予定目次		43〜43

Vol.21　No.7

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞施工技術	牧野康夫	8〜9
建設工事と施工技術	原田安雄	10〜15
直営工事の実施状況と問題点	池沢英夫；宮脇崇夫	16〜19
東海工事事務所における技能向上施策について	桧山茂樹	20〜26
通信部の直営工事体制について	平野好太郎	27〜35
新潟電話局における加入者開通工事を主体とした直営工事の現況	山田堅治	36〜40
長野〜直江津間 CP-12MTr 方式を直営工事で実施して	熊谷直宗；山岸義人；小松幸重	41〜44
東京無線通信部における直営工事のあゆみ	青木善二；宮代勝弘	45〜49
昭和 43 年度検査概況とその活動	福増満広	50〜58
昭和 43 年度における電気通信研究所技術協力部の活動	奈良富三郎	59〜74
＜職場の改善例＞既設設備を活用した加入者回線試験器の使用能率改善の一施策	松下英元；楠信美；川澄国雄	75〜80
C410 形自動交換機（その 3）大容量集合自動電話交換機	宮川喬；久米祐介；畠山秀久	81〜86
静電誘導形心線対照器	西村通男；高島秀行；青山隆次；織笠誠司	87〜91
本仕化された鋼管柱	伊藤和五郎；姫野梶彦；安延信一	92〜99
全面改訂された“伝送設備技術計画標準”－（その 1）伝送特性配分を中心として－	海老原勇夫；金子一男；平本盛徳	100〜111
TS4 線化に伴い再設計された端中継器	石野文雄；海老原延雄；片山孝彦	112〜120
全固体電子化可搬形テレビジョンリンク	菊池芳男；松本慎二	121〜127
技術のはなし IC について (1)	平井実	128〜136
施設人のための事業知識 (61) 目標による管理	渡辺正夫	138〜140
訓練ノート 専門部別科データ通信班の発足		141〜141
最近の海外雑誌から 30 回線用会議電話装置	高井章	142〜145
新工法シリーズ 新形公衆電話室	寺尾礼二；小川正義；鴨下文夫	148〜151
＜新仕様書の紹介＞電信関係	技術局仕様課	152〜153
ニュースフラッシュ		146〜147
海外連絡室ニュース		154〜154
研究実用化報告第 18 巻第 7 号掲載予定論文		155〜155
次号目次 8 月号掲載予定目次		137〜137

Vol.21　No.8

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞標準化について	緒方研二	8〜9
第 33 回電気通信技術委員会の答申から	土井博之；藤岡宏衛	10〜20
昭和 43 年度技術調査研究実用化の成果概要	辻明；堀内千冬	21〜31
電子交換機の実用化状況	山内正弥；城水元次郎；池谷寛	32〜39
公社における訓練近代化のための研究活動－情報化時代の訓練技法	高橋澄夫；相原保；山口昭穂	67〜74
INTELSAT 会議に出席して－インド洋インテルサット 3 号衛星のサービス開始の打合せ	栗木富男	75〜79
座談会 情報社会における公社の役割	白根礼吉；下河辺淳；菊竹清訓；安良城勝也；米沢威行；土井博之；石川好男；千野孝；田中正孝	40〜66
＜職場の改善例＞試験台応答サービスの向上対策について	三橋高三	80〜83
騒音防止送受器の概要－商用試験を終え今秋から本格導入	鈴木正和；高橋徹；岩本久弘	84〜93
18mm 海底同軸ケーブルの接続工法	玉井明；安井敏行；根本哲男	94〜106
電子回路パッケージ試験器の実用化－ EC-A 形パッケージ試験器	石井昭一；海老原初夫	107〜110
市外 PEF-P ケーブル建設工法－標準実施方法のおもな改正点	渡辺進；西垣靖夫	111〜115
トランジスタおよびコンデンサの実用寿命	青江茂；工藤孝一；渡辺桐夫	117〜126
災害時の連絡を確保する孤立防止用無線方式	木村正道；中村千之；山岸亘；堀崎修宏；椿功	127〜135
DT-1251 形文字表示装置	塘鹿雄；富田正典；石田耕	136〜143
技術のはなし IC について (2)	平井実	144〜155
施設人のための事業知識 (62) 固定資産回転率	中野雅男	156〜157
訓練ノート 訓練センタの整備について		158〜158
最近の海外雑誌から スピーカ電話機	高井章	160〜164
読書案内 電子計算機の基礎	神谷輝男	159〜159
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	166〜167
昭和 44 年度工事成果発表会開催		165〜165
海外連絡室ニュース		168〜168
研究実用化報告第 18 巻第 8 号掲載予定論文		169〜169
次号目次 9 月号掲載予定目次		116〜116

Vol.21　No.9

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉働き甲斐のある職場づくり	橋本真澄	8〜9
保全サービス改善の成果－保全サービス改善 3 ヵ年計画をかえりみて	山根信義；飯村治	10〜19
災害対策あれこれ	小松康展；船窪静夫	20〜28
近畿防災演習のあらまし	田中浩太郎	29〜36
十勝沖地震 1 周年を迎えて防災演習	渡辺義彦	37〜41
ポケットベル・サービス開始後 1 ヵ年を振り返って	田保瑞夫；金成正幸；小沢恒夫	42〜51
ケーブル外被についての諸問題	新村長門	52〜58
最近における自営用品の動向	大和信夫；渥美龍之	59〜65
料金改訂関連工事の実施について	福富礼治郎；田村善助；片山栄清	66〜71
〈職場の改善例〉近畿電気通信局における音声ケーブル回線設計の EDPS 化について	東千昭；稲垣彌；谷山昇一；岸聰一	72〜82
改良された 3 号ボタン電話装置	小畑昭雄；鈴木邦男；小林哲夫	83〜88
海底同軸中継方式	青江茂；山本千治；近藤光洋；玉井明	89〜96
4 心応急同軸ケーブル	山本千治；玉井明；森安勇	97〜102
全面改訂された“伝送設備技術計画標準”－（その 2）伝送方式適用上の技術条件	藪田稔	104〜114
定電圧変圧器形整流装置	塩見栄次郎；北村隆	115〜120
4GHz 全固体電子化方式の設計－ SF-B6 方式の概要	菊池芳男；青木繁次	121〜126
最近のマイクロ工事試験－工法書「工 N34.101 極超短波施設工事試験一般」の解説	都倉満；加藤誠二；深見昭成	127〜134
技術のはなし IC について (3)	平井実	135〜142
施設人のための事業知識 (63) 単価契約	森田雅幸	148〜148
新工法シリーズ 道路用非常電話設備建設工法	田中優司	143〜147
訓練ノート 生きた訓練をするために		150〜151
最近の海外雑誌から 経済的な燃料電池	高井章	152〜157
〈新仕様書の紹介〉機械関係	技術局仕様課	158〜159
ニュースフラッシュ		149〜149
海外連絡室ニュース		160〜160
研究実用化報告第 18 巻第 9 号掲載予定論文		161〜161
次号目次 10 月号掲載予定目次		103〜103

Vol.21　No.10
日本電信電話公社施設局編集

国益と国民の要望にそう	米澤滋	8〜9
「施設」20 周年を祝して	篠原登	10〜13
海外技術協力と公社の立場	松本馨	14〜15
海外技術協力活動の現況	三島義郎	16〜20
ブラジル通信公社との技術協力の現況	滝本仁	21〜24
ラパス電話会社に勤務して	藤井義人	25〜29
ペルー電気通信委員会に勤務して	富田貫一；杉浦文雄	30〜33
コロンビア事情	清水直	34〜41
中央アメリカの電気通信	海外連絡室	42〜46
沖縄本島・先島間極超短波電話回線の建設工事を終えて	加藤磐；四戸稔；足立照男	47〜57
技術向上に資する搬送無線訓練センター－関東・中国・北海道の現状	窪田寛治；梶山元治；岩淵勇三；田山忠信	58〜63
マイクロ工事品質の向上と改善	前田謙次；上池啓一	64〜70
ケーブル用分解組立形金属ドラムの導入について	伊藤和五郎；森本三雄；本郷璞	71〜74
＜私の考察＞電話中継所の保全成績測定の一考察	松沢憲一；小島安弘；成松国郎；阿部充孝；右近市郎	75〜79
＜職場の改善例＞私たちの職場では信号電源装置断続接点の診断法を考案して作業能率をあげた	原田良次；島本孝則；宮田康寛	80〜82
新しいケーブル外被構造（その 1）－市外 PEF-CS ケーブル	山本千治；西村通男；高島秀行	83〜88
その後の CP-12MTr 方式－長期安定度試験結果とマンホール内設置 P － AGC の初期特性試験結果	池部剛次；稲塚和郎；小川謹一郎	89〜95
2GHz PCM 方式（2S-P1 方式）の商用試験結果について	三好徹；田中良一；倉本実；塩田善昭	96〜106
専用橋の標準設計（その 1）標準設計の概要	山岸康利；太田孝；藤木成孝；山川喜弘	107〜116
オピニオンテスト等による通話品質の評価	津田勝；古賀一徳；田中秀穂；柿原英人	117〜122
全静止形信号電源装置	斎藤礼一；篠原進；米岡泰	123〜130
万国博データ通信システムについて（その 1）－システム設計	松尾士郎；塚本和孝；藤原広；野口昭雄	131〜139
DEX-2 号電子交換機（その 1）概要, 通話路系装置	倉地光男	140〜145
技術のはなし IC について (4)	平井実	146〜153
施設人のための事業知識 (64) 資金計画	西剛	154〜155
訓練ノート 訓練近代化について		156〜159
最近の海外雑誌から アポロ 8 号の通信系	高井章	162〜165
読書案内 電話宅内技術概論／図説・電子計算機とプログラミング	福富礼治郎；美間敬之	160〜161
新工法シリーズ 鋼管柱建設工法	児玉成男；折式田敬剛	168〜171
＜新仕様書の紹介＞搬送関係	技術局仕様課	172〜177
ニュースフラッシュ		166〜166,167〜167
海外連絡室ニュース		178〜178
研究実用化報告第 18 巻第 10 号掲載予定論文		179〜179

Vol.21　No.11

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞協力こそ明日を造る	庄司茂樹	8〜9
情報化社会における公社の課題	神谷輝男	10〜12
データ通信の現状	井手和彦	13〜17
専用データ通信システムの設計業務とは	伊佐進	18〜22
加入データ通信の意義と設計の重点	広田憲一郎	23〜28
データ通信の需要動向と販売	窪田貫	29〜34
データ伝送・宅内技術の動向	朴木実	35〜41
通信局データ通信部の誕生とその業務	平野元一；山田雅朗	42〜46
検査業務の合理化－ EDPS の導入について	阿部正雄；尾嶋正義	47〜55
テレビジョン中継サービスの現状と問題点	安倍幸夫；田中陽之助	56〜68
昭和 44 年度工事成果発表会を開催して	宮脇崇夫；曽我部竜夫	75〜79
私たちはこうして合理的な保全体制と成果の向上を図っている	吉川精二	80〜85
中継所の全職員が実施した直営工事	速水実；三木富雄	86〜90
DEX-2 号電子交換機（その 2）中央制御系	倉地光男	91〜97
公衆電話 3 分打切装置の概要	中島健一郎；飯野嘉郎；千葉正人；中村泰夫	98〜108
ボックス公衆電話の障害監視装置	鈴木正和；牧野正男；小松崎和重；小川正気	109〜113
専用橋の標準設計（その 2）標準設計の概要	山岸康利；太田孝；藤木成孝；山川喜弘	114〜122
新しいケーブル外被構造（その 2）－ラミネートシースケーブル	新村長門；小川清；岩崎匡利	123〜128
内航船舶電話方式で用いられる電波不感海域対策用無線装置	西野孝平；杉原寛；福住和夫	129〜136
万国博データ通信システムについて（その 2）－ハードウェア	塚本和孝；藤原広；福岡宜禎；野口源治；桑原清人	137〜146
技術のはなし 光通信について	平野順三	147〜152
施設人のための事業知識 (65) 細部設計	曽我部竜夫	154〜155
訓練ノート 拡大される通信訓練		156〜157
最近の海外雑誌から 英国における最近の線路技術	高井章	158〜161
読書案内 データ伝送の基礎知識	田鎖幸雄	153〜153
＜新仕様書の紹介＞電力関係	技術局仕様課	162〜163
ニュースフラッシュ		69〜69
海外連絡室ニュース		164〜164
研究実用化報告第 18 巻第 11 号掲載予定論文		165〜165
次号目次 12 月号掲載予定目次		70〜74

Vol.21　No.12
日本電信電話公社施設局編集

本文 アメリカ合衆国とラテン・アメリカ諸国を回って	米澤滋	12〜52
東京旧中電局舎の撤去に思う	大沢秀行	53〜55
データ通信局舎の実施例と設計上のその後の問題点	大沢弘；堀竹英弘；青山明義；加藤吉男；村上達男	56〜61
純鉄骨造による電話局の試設計	小原誠	62〜65
第 2 電気通信研究所計画	沖塩荘一郎	66〜69
騒音規制法と公社の対策	小原誠；桑原達雄；森知行	70〜81
建築工事総合積算（1 次）システムについて	筑紫正宏；浦本昌昭；目黒昭彦	82〜88
居住実態調査に基づく今後の宿舎建築のあり方	船窪宣夫	89〜92
即時網の異常ふくそう対策	福富礼治郎；坂井哲雄；横倉章	93〜99
宅内工事の合理化対策とその一部試行の概要について	牧野哲夫；渡辺繁；清田実	100〜108
＜職場の改善例＞私たちの保全業務改善	小林孝光；中津原勝郎；山本雅士；吉田正直	109〜111
東京・大阪で商用試験を開始した自動通知案内装置の概要	上原亨；宮川喬；川本博千；竹田元亮	112〜120
DEX-2 号電子交換機（その 3）ソフトウェア (1)	向井暉二	121〜128
高音量付属電鈴－騒音環境で使用される付属電鈴	鈴木正和；秋庭弘；尾関弘直；松尾義明	129〜134
新しいケーブル外被構造（その 3）－信頼性の高い混和物入ケーブル（市内 CCP-JF ケーブル）とこれを使用した新地下配線方式について	新村長門；丸山芳春；長倉功	135〜140
プラスチックケーブルの新しい補修工法	小川清；松本喜一	141〜145
新しい鋳鉄管－ネジ継手方式によるダクタイル鋳鉄管	伊藤和五郎；姫野梶彦；安延信一	146〜154
万国博データ通信システムについて（その 3）－ソフトウェア	塚本和孝；大滝寿朗；栗本武；北川裕；高石浄	155〜165
技術のはなし 符号通信技術の基礎 (1)	副島俊雄	166〜170
施設人のための事業知識 (66) 景気変動と公社の収入	小寺利夫	171〜175
訓練ノート 充実してきた職場訓練	小野寺英記	176〜177
新工法シリーズ 引上げ用分岐鉛管による接続工法	佐久間雄一	178〜184
最近の海外雑誌から 米国のテレビ電話方式（その 1）	高井章	185〜188
読書案内 やさしい電子交換機	石川好男	189〜189
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	190〜190
海外連絡室ニュース		192〜192
研究実用化報告第 18 巻第 12 号掲載予定論文		193〜194
次号目次 1 月号掲載予定目次		191〜191
昭和 44 年施設総目次		2〜12

Vol.22　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	8〜9
年頭所感	黒川廣二	10〜11
DIPS 計画について	関口良雅；岸上利秋；美間敬之	12〜19
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	藤岡宏衛；飯野理	20〜26
道は自ら拓く	村山好久	27〜29
大学部教育の現状	鈴木義彦	30〜34
座談会 大学部生活をふり返って	村山好久；広末浩；和田浩；吉田光男；松沢清和；松原洋祐；米田忠幸；三内浩；岩原勝治；首藤隆；節政重行；白戸秀孝；佐々木章；平野一哉	35〜51
高損失加入者対策	村山久；住田俊宗；津田勝；田中秀穂	52〜57
修理時刻予告方式の一方法	高橋宏造；丸山五和男	58〜61
加入者回線試験器の利用範囲拡大について	鳥山政義	62〜68
高損失加入者用電話機の概要－昨 12 月から商用試験開始	鈴木正和；高橋徹；岩本久弘	69〜73
DEX-2 号電子交換機（その 4）ソフトウェア (2)	向井暉二	74〜80
本仕化された事業所集団電話交換機－ PC31 形, PC42 形交換機の概要（その 1）	小畑昭雄；堀場信雄；米田信之	81〜87
穴掘建柱車と建柱作業機械化の問題点	奥村知衛；児玉成男；吉田慎	89〜94
12MHz 同軸方式における VSB-TV 伝送について	青江茂；池部剛次；秦英遠；小川謹一郎	95〜104
マイクロ無線中継所空中線系の災害対策	伊藤雄一；戸上和久；沢山政昭	105〜109
技術のはなし 符号通信技術の基礎 (2)	副島俊雄	110〜117
施設人のための事業知識 (67) 道路通信	落合敬次郎	118〜120
新工法シリーズ 電気的保護	川瀬貞夫	121〜125
最近の海外雑誌から 米国のテレビ電話方式（その 2）	高井章	126〜130
〈新仕様書の紹介〉機械関係	技術局仕様課	131〜131
海外連絡室ニュース		132〜132
研究実用化報告第 19 巻第 1 号掲載予定論文		133〜133
次号目次 2 月号掲載予定目次		88〜88

Vol.22　No.2

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉近ごろ, 嬉しかったこと	橋本真澄	8〜9
座談会「働きがいある職場づくり」をめざして	池本晴雄；山崎要；山根信義；宍戸道平；前田利通；佐藤優；酒井昭二；山岸健；東正博；藤井博；浅村伊佐男	10〜24
浅海用海底同軸中継方式の試用試験について	青江茂；山本千治；玉井明；石野文雄；飯田光夫；岡田成俊；石原広司；秦英遠；涌井裕	25〜43
運輸省自動車局データ通信システムに使用している住所コードについて	三島洋一；大江一郎	44〜47
米国のデータ通信技術の動向	美間敬之；筑後道夫	49〜56
〈職場の改善例〉AX-42 回線接続架の障害時間短縮対策について	関原克年；広瀬進；草深清	57〜59
〈職場の改善例〉部外工事に起因する障害減少対策	小川芳信	60〜64
異常ふくそう対策用トラヒック制御装置	石井孝；千葉正人；吉岡正紀	65〜74
押しボタンダイヤル電話方式の商用試験結果	池谷寛；鈴木正和；上原亨；田島清	75〜83
全面改訂された“伝送設備技術計画標準”（その 3）信頼度を考慮した伝送路網計画法	前原豊；黒田耕司	84〜91
本仕化された事業所集団電話交換機－ PC31 形, PC42 形交換機の概要〈その 2〉	小畑昭雄；堀場信雄；関口明信；渡辺昭雄；中村直；鈴木信一	92〜99
小笠原短波回線の商用試験結果について	木村正道；片山修二	100〜107
1,200 ビット／ 秒データ宅内装置	川端久喜；茂出木孝男；松井嘉正；島谷正三	108〜115
技術のはなし 符号通信技術の基礎 (3)	副島俊雄	116〜119
施設人のための事業知識 (68) 誘導障害対策	落合敬次郎	120〜122
訓練ノート 電算機の自学自習用テキストについて	永易正幹	123〜123
最近の海外雑誌から 米国における新しい同軸ケーブル	高井章	124〜126
ニュースフラッシュ		127〜127,130〜131
最近における電気通信技術の進歩と成果／市外線路保全技術ハンドブック	原田安雄；三沢勲人	128〜129
海外連絡室ニュース		132〜132
研究実用化報告第 19 巻第 2 号掲載予定論文		133〜133
次号目次 3 月号掲載予定目次		48〜48

Vol.22　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉人間とコミュニケーション	宮崎政義	12〜13
電気通信研究所の活動状況 ── 宅内機器研究部を中心に	伊藤義一	14〜26
座談会 技術成果発表会に参加して	朴木実；網野茂；渡辺喜三郎；河地千里；瓜生政司；石川巖；鈴木胤顕；宮脇陞；神保健二	27〜38
第 10 回技術成果発表会から	辻明；稲田邦雄	39〜51
〈私の提案〉都内主要道路の交通事情と道路上工事について	村上文章；高島久男	52〜68
〈職場の改善例〉自動改式局におけるサービス開始時加入電話需要予測方法改善の一方策	景山寛	69〜80
〈職場の改善例〉新規開通工事の予約実施について	増島良平	81〜87
〈職場の改善例〉釧路局におけるケーブル不良心線管理について	加賀谷武男	88〜91
電話回線のリタンロス	津田勝；立松稔	92〜97
接続子形保安器用本配線盤の概要	上原亨；宮川喬；加藤保	98〜107
PCM-120 方式の商用試験結果報告	副島俊雄；村田武夫；川上大三；富田邦明；真柄成一	109〜120
15GHz 960ch 短距離 (SF-F2) 方式商用試験の結果について	菊池芳男；松本慎二；久保庄二	122〜127
DT-2401 形データ宅内装置の概要（その 1）	塘鹿雄；七原充；塩田正義；江口宏	128〜132
固体電子化マイクロ無線用電源について	大房三夫；内村清澄	133〜141
技術のはなし ミリメートル波通信方式 (1)	宮内一洋	142〜146
施設人のための事業知識 (69) 共同溝	落合敬次郎	148〜149
最近の海外雑誌から L － 4 同軸ケーブル搬送方式における主群の分岐・そう入方法	高井章	150〜152
昭和 45 年度「施設」編集モニター募集		147〜147
ニュースフラッシュ		121〜121,153〜153
海外連絡室ニュース		154〜154
研究実用化報告第 19 巻第 3 号掲載予定論文		155〜155
次号目次 4 月号掲載予定目次		108〜108

Vol.22　No.4
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞:生き金は大きく使い, 死に金は細かく惜しめ	神谷輝男	12〜13
座談会 新しいデータ通信実施体制 ── その 1 年を振り返って	米沢威行；松尾士郎；柿崎尚弘；美間敬之；鈴木錠造；榎田久夫；工藤理一郎；平野元一；浅村伊佐男；加藤秀夫	14〜28
展示・試験システムの概要	松尾士郎；鈴木貢；秋池政二；岩滝浩洋	29〜37
実験を開始した自動遠隔検針方式	大野伝次；江口新太郎；粟村大吉；大原明雄	75〜82
＜職場の改善例＞山形統制電話中継所における職場研究活動	守屋昭之助；那須正直	83〜86
＜職場の改善例＞信号用有極継電器の接点調整について	大藪修；橋本重正	87〜92
＜第 10 回技術成果発表会発表論文から＞ C400 形交換機における C400A-2DPOR の RK 不動障害の原因調査について	高橋要；立松勲；江戸満	93〜98
Ⅰ. 変わりゆく近畿圏と電気通信		38〜49
Ⅱ. 万博と取り組む近畿電気通信局		50〜62
Ⅲ. 業務改善をめざして		63〜74
万国博会場で使川される押しボタンダイヤル方式のボタン電話とカードダイヤル	鈴木正和；小畑昭雄；高橋徹；鈴木邦男；松尾義明；小林哲夫	99〜107
新しい地下配線方式	新村長門；丸山芳春；長倉功；夢藤昌彦	108〜115
固体電子化された 120ch 山岳回折見通し外方式	三好徹；松木圭祐	116〜124
近傍反射波の測定について	戸上和久；伊藤正；西垣甫	125〜131
オピニオンテスト等による通話品質の評価（その 2）	勝田勝；田中秀穂	132〜135
DT-2401 形データ宅内装置の概要（その 2）	塩田正義；辻昭；江口宏；松原五夫	136〜144
技術のはなし ミリメートル波通信方式 (2)	深津良治	146〜149
施設人のための事業知識 (70) 都市計画と公衆電気通信施設	落合敬次郎	150〜151
新工法シリーズ 宅内配線工法（宅内工事合理化対策試行用）	田中優司	152〜156
最近の海外雑誌から IBM2750 音声・データ交換システム	船井一美	160〜164
訓練ノート 電算機関係の訓練について	厚生局訓練課	165〜165
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	166〜167
ニュースフラッシュ		158〜158
海外連絡室ニュース		168〜168
研究実用化報告第 19 巻第 4 号掲載予定論文		169〜169
次号目次 5 月号掲載予定目次		145〜145
昭和 45 年度工事成果発表会論文募集		157〜157
「施設」企画・編集・技術講座担当委員会委員名簿		159〜159

Vol.22　No.5

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞科学技術と人間性 ── アポロ 13 号に想う	北原安定	8〜9
昭和 45 年度建設勘定工事実施計画の概要	齋伯哲	10〜16
映像伝送サービスおよび高速模写伝送サービスについて	小山内昭三；工藤理一郎；青江茂；陸川泰志	35〜41
信用金庫データ通信システム	城戸利燕；吉野好展	42〜47
新しい下部支線	大浜成雄；西野博；安延信一	49〜53
＜第 10 回技術成果発表会発表論文から＞ V-1-Tr 形 FAR 通信路変換装置の CH R-B 盤の周波数ひずみによる OM 回線の不接障害について	江坂勉	54〜56
＜私の提案＞地下線路測量のための曲線図表について	真壁芳郎	57〜59
＜職場の改善例＞過大引抜力を要する管路ケーブルの撤去工法について	海老沼三郎；小島親光；森島康武	60〜65
新サービスの提供と省力化の推進	福富礼治郎	17〜19
高度化計画と合理化, 省力化の推進	小山内昭三	19〜21
電信事業の改善と新しい専用サービスの拡大	工藤理一郎	21〜23
線路設計の安定化, 合理化, 省力化	江頭淳	24〜27
より完全な設備の設計	小野浄治	27〜29
電源システムの設計方針	岩淵文雄	29〜31
電話網の信頼性向上	村上治	32〜34
データ通信展示試験システムについて	下田裕久；松下孝；佐々木昭夫；桑原清人	66〜77
DT-2401 形データ宅内装置の概要（その 3）	七原充；辻昭；山本敏晶	78〜84
短縮ダイヤル用情報転送装置の概要	千葉正人；福井敏明	85〜93
き線ケーブル配線法商用試験	丸山芳春；長倉功；長田実	94〜106
業務用宅内機器	鈴木正和；牧野正男；広瀬琢朗；秋庭弘；小松崎和重；小川正気	107〜119
第 2 種集団電話用信号機の静止化	高沢徳次郎；腕木治	120〜126
技術のはなし ミリメートル波通信方式 (3)	宮内一洋	127〜133
施設人のための事業知識 (71) 電信電話債券	浜崎隼彦	134〜136
新工法シリーズ 加入者装荷線輪の取付け	花田宏	140〜143
最近の海外雑誌から No.2 ESS のシステム構成と目的	船井一美	144〜148
訓練ノート 昭和 45 年度の訓練の特徴	厚生局訓練課	150〜150
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	151〜152
ニュースフラッシュ		153〜153
読書案内 データ通信の基礎／技術叢書「C82 形市外交換設備」	田中浩太郎；池谷寛	138〜139
海外連絡室ニュース		154〜154
研究実用化報告第 19 巻第 5 号掲載予定論文		155〜155
昭和 45 年度機関誌「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	137〜137
第 11 回技術成果発表会論文募集		149〜149
次号目次 6 月号掲載予定目次		48〜48

Vol.22　No.6
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞省力化雑感	三宅正男	8〜9
昭和 45 年度施設用物品調達計画	今井貞夫；菊池通博	10〜15
撤去品等の新しい利活用方策	竹内清三郎；村井敏雄；栃本卓	16〜20
昭和 45 年度技術調査研究実用化計画の概要	辻明；大西靖雄	41〜49
国際無線通信諮問委員会 (CCIR) 第 12 回総会の報告	川原田安夫；室谷正芳	50〜60
回線呼称方法の改訂について	飯島貢；藤岡豊	61〜71
＜第 10 回技術成果発表会発表論文から＞急速凍結工事における凍結ゾーンの図解による簡易推定方法	中野洋次郎	72〜74
＜私の提案＞新しい受信機入力の測定方法	下岡敏男；久保庄二；鶴山末義	76〜78
明日の飛躍	村山好久	21〜22
専門部訓練の現状	岩田正和	23〜26
座談会 専門部を語る	岩田正和；阿部泰之；有馬憲一；鈴木秀夫；清水克夫；人見雅彦；中田賢；高木忠己；栗塚忠夫；後藤詔生；倉本稔; 川北春雄；上薗修；深瀬源作；玉地忠雄；山田康雄；森憲一郎	27〜40
孤立防止用無線方式の九州管内実施結果について	渡辺審也；木村正道；中村千之；栗原勝美；椿功；遠藤茂	79〜85
災害対策用 11GHz 帯可搬形無線方式の概要	三好徹；渡辺松彦；田中良一；富田邦明；小川謹一郎；腕木治	86〜95
DEX-2 号交換機の建設工事について	中村伸；陸川直則；小川龍一；吉田弘	96〜109
DT-101 形（100bit/s）搬信端局装置の概要	石川光雄；鈴木祐敏	110〜117
PCM-120 方式（その 4）超群符号変換装置の概要と商用試験結果	坂下隆義；村田武夫；富田邦明；直井学	118〜123
技術のはなし“とう道”について	安部孝	124〜129
施設人のための事業知識 (72) 債務償還	近藤有宏	130〜131
新工法シリーズ DT-101 形搬信端局装置建設	佐藤忠敏	134〜135
最近の海外雑誌から ボタン電話用表示ランプとしての発光ダイオード	船井一美	136〜139
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	144〜145
ニュースフラッシュ		140〜141
読書案内 やさしいデータ伝送	神谷輝男	142〜143
海外連絡室ニュース		146〜146
研究実用化報告第 19 巻第 6 号掲載予定論文		147〜147
第 7 回「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	132〜133
次号目次 7 月号掲載予定目次		75〜75

Vol.22　No.7

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞建設工事における「進歩と調和」	原田安雄	8〜9
線路工事施工合理化の考察（その 1）	上久保忠男；西山正	36〜41
よりよい設備のために	竹内純蔵；三角岑生	42〜48
パキスタン, インド, セイロンの電気通信事情について	今村徳輔	49〜55
名古屋の加入データ通信システムの設計概要	鈴木錠造；秋元稔	56〜65
＜第 10 回技術成果発表会発表論文から＞ VHF 空中線系における相互変調妨害の検討	鈴木靖男；渡辺健；高岡功	66〜71
新しい「工事規格書」について	沼田竜雄；豊義秀	10〜15
建設工事推進のための部外接衝	吉田新次；宮本義信	16〜20
座談会 増大する建設工事推進のために	佐々木猛；土田作次；坂野満郎；黒田晴夫；野村俊雄；小形典巳；打和祐賢；山崎要；高田隆志；土居健造	21〜35
本仕化された C410 形交換機	竹中正州；千葉正人；久米祐介；小出隆昭	73〜83
電子計算機を用いた通信網のトラヒックシミュレーション	真竹芳樹；吉江英昌；是近利武	84〜87
PCM-24 方式用伝送路切替装置	坂下隆義；桜井伸篤；川上大三；真柄成一	88〜93
アルミ被覆鋼より線を用いた架空ケーブルつり線と付属材料	大浜成雄；木下一郎；細田博史	94〜99
平衡形市内・市外ケーブルの広帯域漏話特性	山本千治；西村通男；高島秀行	100〜109
11GHz 帯アルミだ円導波管	菊池芳男；神谷清美；鷲津孝則	110〜115
技術のはなし 移動無線 (1)	中野俊夫	116〜122
施設人のための事業知識 (73) 電信電話事業の生産性	星野省	128〜129
新工法シリーズ クロスバ交換機のリレー端子布線工法の変更	片山龍治	123〜127
最近の海外雑誌から 国際回線の信号方式	船井一美	130〜133
訓練ノート ティーチング・マシンについて	厚生局訓練課	134〜134
＜新仕様書の紹介＞電信関係	技術局仕様課	138〜139
読書案内 電気通信小六法	北原安定	135〜135
ニュースフラッシュ		136〜136,137〜137
海外連絡室ニュース		140〜140
研究実用化報告第 19 巻第 7 号掲載予定論文		141〜141
次号目次 8 月号掲載予定目次		72〜72

Vol.22　No.8

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉研究の成果を高めるために	緒方研二	8〜9
第 35 回電気通信技術委員会の答申から	土井博之；藤岡宏衛	10〜18
線路工事施工合理化の考察（その 2）	杉田昭	19〜26
中継架空線路への市内 CCP ケーブルの使用について	永田博；江川宏	27〜30
昭和 44 年度における電気通信研究所技術協力部の活動	奈良富三郎	31〜42
第 10 回技術成果発表会発表論文から 20 回線用電話集信回路架装置からの “115” トーキーサービスについて	保崎員章；山瀬清治；中江祐次	43〜45
本仕化された C93 形特番交換機	石井孝；加藤隆；紅林芳夫	46〜50
広帯域サービスのための既設市外伝送路特性について（その 1）	青江茂；沖見勝也	51〜57
データ通信電力設備の設計について	開沼啓；坂本誠也；福島肇	58〜64
東・名・阪における加入データ通信システムの網構成	中村宏一郎；花輪二郎；羽田正二；篠崎一也；佐藤雅生	66〜75
銀行用データ宅内装置の概要	種田彬；市川貞雄；名波光彦；長沢一真	76〜84
技術のはなし 移動無線 (2)	中野俊夫	88〜95
施設人のための事業知識 (74) 内部競争体制	潟沼憲三	85〜87
新工法シリーズ アルミ導帯工法（耐震工法関係）	丹羽義寿	96〜100
最近の海外雑誌から L-4 同軸方式によるディジタル伝送	船井一美	101〜105
訓練ノート CAI について（その 1）	厚生局訓練課	109〜109
〈新仕様書の紹介〉搬送関係	技術局仕様課	108〜108
読書案内 テレコミュニケーション／網管必携	田中浩太郎；南隆蔵	106〜107
海外連絡室ニュース		110〜110
研究実用化報告第 19 巻第 8 号掲載予定論文		111〜111
次号目次 9 月号掲載予定目次		65〜65

Vol.22　No.9

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞電気通信に花を咲かせるために	橋本真澄	8〜9
昭和 44 年度技術調査研究実用化の成果概要	木庭功；上池啓一	50〜60
線路工事近代化連絡会の動向	三沢勲人；三崎貢	61〜66
昭和 44 年度の保全成果をみる	田中潤一；星武典	67〜76
無線用標準局舎および標準鉄塔	中島賢三郎；丹生谷健一；大森敏郎；飯塚隆之	77〜87
＜職場の改善例＞私たちの職場では同軸コード先端処理工具を作成し作業能率をあげている	中島伊作	88〜90
新技術の動向	去来川大	10〜13
電力設備の現状	岩淵文雄；三城勝彦	14〜26
新しい電力保全	加藤純雄	27〜32
鈴鹿学園における電力技術の訓練	有馬憲一	33〜37
座談会 電力設備の保守を担当して	青山義之；根本勝；南場春雄；今村文夫；広忠信；吉田勉；横田俊夫；山田敏昭；入岡浩；関武守；富樫力；古川一郎；加藤純雄	38〜49
短縮ダイヤル用記憶装置の概要	竹中正州；千葉正人；福井敏明；佐久間信行	91〜101
電話安定基準	青沼英生；真竹芳樹；今城斌	102〜104
C-60M 方式について	澤田新一郎	106〜118
東京－大阪間テレビ電話伝送試験結果報告	矢野常俊；山本孝美	119〜124
本仕化された 2,400 ビット／ 秒変復調装置	松井敏夫；曽根信義；山本隆	125〜134
専用データ伝送用回線設計	東千昭；福永保治；松沼好美	135〜139
技術のはなし 事業所用電話 (1)	小畑昭雄	140〜145
施設人のための事業知識 (75) 付替制度	高橋三吉	146〜147
最近の海外雑誌から 満 4 歳を迎えた ESS	船井一美	148〜151
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	152〜152
読書案内 電子交換機／コンピュータ アプリケーション入門	水沢慶太郎；井出和彦	154〜155
海外連絡室ニュース		158〜158
訓練ノート CAI について（その 2）	厚生局訓練課	156〜157
ニュースフラッシュ		153〜153
研究実用化報告第 19 巻第 9 号掲載予定論文		159〜159
次号目次 10 月号掲載予定目次		105〜105

Vol.22　No.10
日本電信電話公社施設局編集

創業 100 年にあたって	米澤滋	8〜9
＜論説＞創業 100 年に想う	庄司茂樹	10〜12
座談会 創業 100 年の歩みをかえりみて	梶井剛；荒川大太郎；松前重義；篠原登；林一郎；吉田五郎；石川武二；佐々木卓夫；黒川廣二	13〜35
線路技術	橋本真澄	36〜46
交換技術	三宅正男	47〜56
搬送技術	熊谷伝六	57〜63
電信およびデータ通信技術	緒方研二	64〜74
無線技術	川原田安夫	75〜83
電力技術	原田安雄	84〜89
建築技術	向井覚	90〜98
加入データ通信システムのサービスインを迎えて	廣田憲一郎	99〜104
試行にはいった加入者線路設備管理方式	山県保；金子宥円；牧絵義尚；熊谷圭介	105〜112
マンホール改造の設計方法	志村博正；山岸康利；太田孝；深田修司	113〜120
本仕化された自動通知案内装置（その 1）	千葉正人；小林嘉一；東山福男；川本博千	121〜129
48kbit/s 広帯域データ伝送システム（その 1）	砂川博；鈴木祐敏；下條義康	131〜140
高速模写伝送サービス用装置について	池部剛次；岩森庄次；山田協右；中川史郎	142〜151
電話回線の通話音量	住田俊宗；加藤勇；小池章三	152〜156
技術のはなし 事業所用電話 (2)	小畑昭雄	157〜163
施設人のための事業知識 (76) 業務委託費	東野宗恵	164〜164
最近の海外雑誌から テレビ電話信号の符号化と帯域圧縮について（その 1）	船井一美	166〜170
新工法シリーズ 地下管路のダクトソケット設置工法	村瀬昇；川合幸雄	171〜175
読書案内 データ通信／データ通信端末装置	緒方研二；伊佐進	176〜177
海外連絡室ニュース		178〜178
ニュースフラッシュ		130〜130,165〜165
研究実用化報告第 19 巻第 10 号掲載予定目次		179〜179
次号目次 11 月号掲載予定目次		141〜141

Vol.22　No.11
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞7ヵ年計画作成にあたって	浦川親直	8〜9
電信電話拡充7ヵ年計画	古都勝寿；山県保；松田利三；前原豊；星正也；辻明	10〜50
昭和45年度工事成果発表会開催される	土居健造；井手靖治	51〜57
農協用データ通信システム	桜井義郎；北村喜義	58〜64
万国博データ通信システムの成果について	伊佐進；塚本和孝；藤原広；野口昭雅	86〜96
通信局特集 信越電気通信局		65〜85
本仕化された自動通知案内装置（その2）	柳沢信吉；本郷千里；荻原正；古屋靖夫	97〜103
本仕化された主群切替装置	青江茂；石野文雄；岡田成俊；荒巻敏夫	104〜111
万国博における携帯無線電話方式	西野孝平；中野俊夫；杉原寛；片山修二	112〜120
48k bit/s広帯域データ伝送システム（その2）	砂川博；曽根信義	121〜131
標準形銀行用データ宅内装置の概要	種田彬；市川貞雄；名波光彦；長沢一真	132〜139
技術のはなし 事業所用電話(3)	小畑昭雄	143〜149
施設人のための事業知識(77) 人件費	星野省	140〜141
最近の海外雑誌から テレビ電話信号の符号化と帯域圧縮について（その2）	船井一美	150〜153
新工法シリーズ ケーブルキャップ取付工法	江口誠；竹内秀元	154〜157
＜新仕様書の紹介＞電力関係	技術局仕様課	158〜159
読書案内 可搬形クロスバ	水沢慶太郎	161〜161
海外連絡室ニュース		162〜162
ニュースフラッシュ		160〜160
研究実用化報告第19巻第11号掲載予定論文		163〜163
次号目次12月号掲載予定目次		142〜142

Vol.22　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞地域環境と建築	大澤秀行	8〜9
局舎と地域環境	沖塩荘一郎；田中順三	10〜15
大阪データ通信専用局舎計画	松田正司	16〜20
建築関連法規の改正と今後の建築	柴田尚毅	21〜24
建築工事と公害	折笠弥	25〜33
重油だき暖房用ボイラの脱硫装置について	野口優；伊東正夫；西村誠吉；間下欣二	34〜38
亜硫酸ガス除去フィルタについて	玉谷省輝；小池敏夫；伊東正夫	39〜42
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	藤岡宏衛；山田就将	43〜49
総裁帰朝報告特集		71〜84
販売在庫管理システム	鈴木錠造；森岡武；吉見一郎；羽田正二	50〜70
電話計算システム	美間敬之；柴山敏明；佐藤完二；志沢美夫	85〜94
通話中着信装置	竹中正州；千葉正人；小谷武福	96〜104
住宅団地における新しい地下配線方式	木下一郎；西野博；長倉功；中村輝夫	105〜109
施設人のための事業知識 (78) 単位料金区域	島崎泰夫	110〜111
最近の海外雑誌から 明日の電話機の設計	船井一美	112〜116
新工法シリーズ 最近の建設工法（無線）	鎌田靖彦；鷲津孝則	117〜121
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	122〜124
ニュースフラッシュ		125〜125
海外連絡室ニュース		126〜126
研究実用化報告第 19 巻第 12 号掲載予定論文		127〜128
次号目次 1 月号掲載予定目次		95〜95
昭和 45 年施設総目次		2〜11

Vol.23　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	8〜9
電気通信研究所における最近のトピックス	上田常孝	10〜22
複局地における新保全体制	田中潤一；佐々木原俊郎；丹羽悌二	23〜28
加入電信の課金方法の変更について	工藤理一郎；吉田亮；東千昭	29〜33
自即申告における TOK, TCC の実態調査	新村登；若林展	34〜45
第 1 回保全業務改善成果論文発表会を開催して	柳生淑郎；土生順平	47〜51
インパルス性雑音の実態とその評価	住田俊宗；加藤勇；千田博之；菊池尚一	52〜58
事業所集団電話用 SA100 形受付台	竹中正州；久米祐介	59〜65
費用の変動を考慮した経済比較法	青沼英生；本田茂；城崎龍太郎	66〜74
ガス隔壁付きケーブル	新村長門；小川清；渡辺正幸	75〜79
新しいテレビジョンプログラム切替装置	矢野常俊；林憲男；小田切章	80〜88
加入電信新課金機器の概要（その 1）	木植和夫；塩山豊蔵；渡辺憲司	89〜96
施設人のための事業知識 (79) データ通信の料金	川口寿男	98〜99
電信関係	技術仕様課	100〜102
ニュースフラッシュ		46〜46
海外連絡室ニュース		103〜106
研究実用化報告第 20 巻第 1 号掲載予定論文		107〜107
次号目次 2 月号掲載予定目次		97〜97

Vol.23　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞これからの海外協力活動	太田勇	8〜9
有線電気通信設備令の改正について	糸井栄一	10〜14
新しい保全管理方式	飯村治；星武典	53〜59
第 11 回技術成果発表会から	木庭功；高橋卓三	60〜68
＜第 11 回技術成果発表会発表論文から＞同軸ケーブル局内端末問題点とその対策	高尾忠典；木下隆介	69〜73
海外技術協力活動の現状	藤井義人	15〜19
東南アジア地域の発展途上国に対する技術協力	東勝俊	20〜25
モンクット王工科大学ノンブリ分校	伊藤雄一；増田敏一；斎藤進；曽我正義	26〜29
セイロンの電気通信事情	野尻久；浅古幸一；飯島幸雄；飯田光夫	30〜35
パキスタン電気通信研究センタ	折笠寛；水谷宏；杉山安一	36〜40
日本青年海外協力隊に参加して	岩田美人；大久保孝彦；堀川武；宮内章	41〜43
ベルシステムとの技術交流	半田惠一	44〜48
国際会議雑感	松本高士	49〜52
短縮ダイヤル用局内機器施設設計の概要	坂井哲雄；鈴木貞三；成田譲；相沢源一	74〜79
ボタン電話用コネクタ	小畑昭雄；奥野淑；小林哲夫；高西義雄	80〜84
無電源地区用電源	高沢徳次郎；腕木治	86〜94
応急市外ケーブル	如沢清；高島秀行；加藤正明；栗林仁	95〜102
加入電信新課金機器の概要（その 2）	東千昭；植田肇；根元義夫；早水俊夫	103〜112
施設人のための事業知識 (80) 間接費	潟沼憲三	114〜115
読書案内 データ通信コンピュータ基礎用語事典	鈴木錠造	119〜119
ニュースフラッシュ		113〜113,116〜116
昭和 46 年度「施設」編集モニター募集		117〜118
海外連絡室ニュース		120〜120
研究実用化報告第 20 巻第 2 号掲載予定論文		121〜121
次号目次 3 月号掲載予定目次		85〜85

Vol.23　No.3

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞交換技術の本質について	三宅正男	8〜9
電子交換機の歩み	山内正弥	10〜16
総合電気通信網と電子交換機	水沢慶太郎；松田利三	17〜25
座談会 電子交換機の実用化をめぐって	近藤貞吉；新井満男；式場英；中谷邦夫；城水元次郎；伊吹公夫；守家一夫；秋丸春夫；池谷寛	26〜36
D10 号形自動交換機の概要	池谷寛；近藤貞吉；式場英；但馬昭	37〜45
わが国のクロスバ技術の発展	福富礼治郎	46〜54
電子交換機の施設設計	藤倉琢尉	55〜65
弔辞	米澤滋	66〜67
追悼のことば	秋草篤二；庄司茂樹；篠原登；橋本一郎；三宅正男；緒方研二；遠藤正介；川原田安夫；田中浩太郎；土井博之；青江茂；長津正次	68〜76
市内電話設備技術計画標準の改定について	武内宏允；福井一郎	77〜82
改正特許法と特許の基礎知識	弘中明徳；横山昭男	83〜91
＜第 11 回技術成果発表会発表論文から＞障害転送自動記録装置と無駐在局制御装置の開発について	中川昇；横川享勇；鏡敏雄；鈴木俊一	92〜96
＜昭和 45 年度保全成果発表会発表論文から＞浜坂局における局外作業体制について	池田寿和；大井正夫；中村理一	97〜100
電話計算システム（DIALS）用ライブラリの概要	加来億一；石原毅；高橋忠世；天水昇；加藤寛治	101〜107
市内クロスバ用自動集中試験装置の概要	竹中正州；三好明義；榎義彦；愛沢慎一	108〜116
D10 号形自動交換方式（その 1）	石井昭一；倉地光男；田島久彰；小林隆男	118〜129
12MHz システム切替方式について	青江茂；石野文雄；岡田成俊；真柄成一；堀尾忠親	130〜136
災害対策用 11GHz 帯可搬形無線方式	矢野常俊；山本孝美；冨田邦明；小野伸治	137〜146
海底埋設ルート調査装置	鈴木欽也；玉井明；涌井裕；森健二	147〜156
施設人のための事業知識 (81) 原因者負担金・受益者負担金	落合敬次郎	158〜159
訓練ノート 専門部教程の改正について	厚生局訓練課	157〜157
ニュースフラッシュ		160〜161
海外連絡室ニュース		162〜162
研究実用化報告第 20 巻第 3 号掲載予定論文		163〜163
次号目次 4 月号掲載予定目次		117〜117

Vol.23　No.4

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞現実に即して	神谷輝男	8〜9
科学技術計算システム（DEMOS）	美間敬之；大前義次；佐藤完二；伊藤宏	10〜25
札幌オリンピック電気通信対策	山口美英	26〜37
札幌オリンピック・データ通信システム	一色博；寺本福寿	38〜48
災害に対する準備と心構え	川本治男；仲沢英憲	49〜54
新サービスに対処した地下配線管路の多条化	江頭淳；永田博	55〜58
新屋内配線方式について	牧野正男；丸山芳春	59〜64
＜第 11 回技術成果発表会発表論文から＞モデム連続試験器（チェッカ）の試作	矢野勉	65〜67
＜昭和 45 年度保全成果発表会発表論文から＞電力部門における士気高揚施策	田村芳美；柳町善春；熊谷幹男	68〜71
新しく登場したホームテレホン	小畑照雄；奥野淑；小林哲夫；高西義雄	72〜76
新しい加入者線路の配線法	福富秀雄；木下一郎；長倉功	77〜82
9.5mm 18 心同軸ケーブル	山本千治；如沢清；高島秀行	84〜90
盛土区間通信地下施設の地震対策に関する一考察	大浜成雄；西野博；安延信一；孫田忠誠	92〜99
新しく実用化する自立柱	大浜成雄；西野博；安延信一；道元信利	100〜105
CATV 方式について	陸川泰志；平塚憲一；石川定美；福富秀雄；西村通男；松本光生	106〜117
11GHz 全固体電子化固定形テレビジョンリンク	菊池芳男；松橋昭一	118〜124
科学技術計算システム（DEMOS）言語処理プログラムの概要	長谷川光男；小林国治；中津川丹；小口貢	125〜137
科学技術計算システム（DEMOS）用ライブラリの概要（その 1）	加来億一；山崎勝；新谷八郎；池田修	138〜143
施設人のための事業知識 (82) 企業収益率	坂本俊一郎	144〜146
方形導波管のフランジ付け現地加工について	渡辺正；鎌田靖彦；三宅史雄；近藤寛	148〜151
＜新仕様書の紹介＞無線関係	技術局仕様課	153〜155
読書案内 販売在庫管理システム	神谷輝男	157〜157
カラースライドの案内 コンピュータ入門	平三郎	91〜91
「施設」企画・編集・技術講座担当委員会委員簿		160〜160
昭和 46 年度工事成果発表会「論文募集」		152〜152
ニュースフラッシュ		147〜147,156〜156
海外連絡室ニュース		158〜159
研究実用化報告第 20 巻第 4 号掲載予定論文		161〜161
次号目次 5 月号掲載予定目次		83〜83

Vol.23　No.5

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞これからの研究所の課題	緒方研二	8〜9
研究体制の拡充強化と最近の電気通信研究所の活動状況	伊藤義一	10〜15
昭和 46 年度建設勘定工事実施計画の概要	齋伯哲	16〜22
新サービスの適用拡大と設備近代化の推進	丹野武宣	23〜24
第 2 世紀の伝送設備を	青江茂	25〜26
情報化社会への進展に寄与するサービスの提供	小嶋国雄	27〜29
弾力的な線路設計	江頭淳	30〜31
災害対策の推進と設計の合理化	岩崎昇三	32〜34
サービスの多様化に対応する電力設計	岩淵文雄	35〜37
電子交換機の設計	村上治	38〜40
＜第 11 回技術成果発表会発表論文から＞ PCM24 方式中間給電局用電源装置の改造について	水木政美	41〜44
＜昭和 45 年度保全成果発表会発表論文から＞誤操作障害防止対策について	島岡宏次；中君孝；森永敦雄；太田忠次	45〜48
D10 号形自動交換方式（その 2）	石井昭一；倉地光男；田島久彰；小林隆男	49〜64
電子交換機用電源装置	去来川大；三枝守彦；塩見栄次郎；原口昭二；森勇	65〜74
寒冷地用屋外線の商用試験について	久保田俊昭；平野正弘；千葉孝一	75〜83
電話計算システムの回線対応装置	野口源治；星川紀弥；高井啓；安藤誠；宮脇勝利	84〜91
電話計算システム（DIALS）のシステムプログラム（その 1）	山口欣二；田中嘉信；森道直；広木正倫	92〜99
科学技術計算システム（DEMOS）用ライブラリの概要（その 2）	伊藤弘一郎；熊谷和紀；島野正三；天水昇；加藤寛治；鈴木健司	100〜108
技術のはなし データ宅内装置 (1)	川端久喜	109〜115
施設人のための事業知識 (83) 公社の民間金融機関利用	東野宗恵	116〜117
新工法シリーズ CP21 形自動式構内交換装置の建設工法	酒井正男	120〜123
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	124〜126
訓練ノート 電子交換機の訓練について	厚生局訓練課	130〜131
海外連絡室ニュース		132〜132
ニュースフラッシュ		118〜118,127〜127,128〜128
研究実用化報告第 20 巻第 5 号掲載予定論文		133〜133
昭和 46 年度機関誌「施設」編集モニターの選考発表		129〜129
次号目次 6 月号掲載予定目次		119〜119

Vol.23　No.6

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞システム化の概念による研究開発の推進	小口文一	8〜9
昭和 46 年度技術調査研究実用化計画の概要	五嶋一彦；大西靖雄	10〜19
ロサンゼルス地震の調査報告	杉田昭	35〜41
線路設備からみた有線電気通信設備令の改正について	安部孝；鈴木尚孝；高野和生	42〜46
高速道路用通信の協定と基本システム設計（その 1）	西島輝治；落合敬次郎	47〜53
通信局特集 東北電気通信局 東北の現状と躍進のいぶき		20〜34
＜第 11 回技術成果発表会発表論文から＞大島〜宮塚における 2GHz 回線のフェージングについて	青沼実	54〜57
＜昭和 45 年度保全成果発表会発表論文から＞共通服務局での保全業務改善について	野上肇；筒井砂雄	58〜63
＜職場の改善例＞異常障害時の初動措置迅速化のための一方法について	高橋利夫；九十九紘慈；福本満明；猪野武一；上杉篤美	64〜68
D10 号形自動交換方式（その 3）	石井昭一；倉地光男；田島久彰；小林隆男	69〜75
レジンコンクリート製ブロックマンホール	大橋弘之；西野博；田中軍治	76〜81
パルスを用いたプラスチックケーブル用浸水障害測定器	山内一郎；如沢清；横田悦男；一杉晃	82〜89
CP-2 − Tr 形同軸ビデオ方式	池部剛次；江尻正義	90〜98
孤立防止用無線方式の電波不感地対策	木下隆介；西村栄吉；森勇；椿功	99〜104
電話計算システム（DIALS）のシステムプログラム（その 2）	進九二雄；藤田芳弘；池田幸雄；島田晃	106〜112
科学技術計算システム（DEMOS）の管理プログラム（その 1）	大前義次；藤原滋；立花佑介	113〜119
技術のはなし データ宅内装置 (2)	川端久喜	120〜127
施設人のための事業知識 (84) MAPS（資材業務の事務機械化）	赤松正也	128〜129
新工法シリーズ 引留工法の施工合理化	竹内卓；丸山茂和	130〜133
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	134〜135
訓練ノート 専門部の近況	厚生局訓練課	141〜141
第 8 回「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	138〜140
読書案内 仕事の知恵	林達夫	137〜137
海外連絡室ニュース		142〜142
ニュースフラッシュ		136〜136
研究実用化報告第 20 巻第 6 号掲載予定論文		143〜143
次号目次 7 月号掲載予定目次		105〜105

Vol.23　No.7
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞ 46 年度物品調達にあたって	山本孝	8〜9
昭和 46 年度施設用物品調達計画	今井貞夫；菊池通博	10〜15
よりよい品質のために	竹内純蔵；三角岑生	16〜21
座談会 公衆電気通信法の改正をめぐって	三宅正男；伊佐進；横井満；中山隆夫；松田利三；小嶋国雄；田中潤一；中嶋栄之助；田中浩太郎	22〜37
総合銀行システムの概要	立岡芳彦；島崎恭一	38〜49
高速道路用通信の協定と基本システム設計（その 2）	志村武雄；飯島貢；木内康雄；菊地郁夫	50〜58
＜第 11 回技術成果発表会発表論文から＞大束伝送路の切替時のレベル低下について	久世雅弘；薬師輝雄	59〜62
＜昭和 45 年度保全成果発表会発表論文から＞ 5 号 A 卓上公衆電話機の金詰り対策について	長坂鐘治；宮田隆司；寺田正弘；間宮清寛	63〜67
D10 号形自動交換方式（その 4）	向井暉二；中島汎仁；森邦彦；水谷明；後藤俊邦	68〜81
テレビジョン中継網における映音同時伝送の全国導入	川船武則；松本圭祐；林憲男；橋谷貞亮；高椋茂登	82〜93
見通し内海上長距離伝ぱんマイクロ波方式の回線設計法	河野十三彦；伊藤好誉	94〜105
加入電信用サービス信号装置の概要	岡田行雄；塩山豊蔵；渡辺憲司；山森俊彦	107〜114
電話計算システム（DIALS）のシステムプログラム（その 3）	山口欣二；広木正倫；塩見昭彦；丹治昭	115〜120
科学技術計算システム（DEMOS）の管理プログラム（その 2）	立花佑介；榎本宏太郎；浜口友一；村田紀男	121〜131
技術のはなし データ宅内装置 (3)	川端久喜	132〜138
施設人のための事業知識 (85) 事業運営方策	潟沼憲三	140〜143
新工法シリーズ 移動発電装置用接続箱建設工法について	山崎健蔵；丹羽義寿	144〜149
訓練ノート CAI の実習システムについて	厚生局訓練課	139〜139
海外連絡室ニュース		150〜150
研究実用化報告第 20 巻第 7 号掲載予定論文		151〜151
次号目次 8 月号掲載予定目次		106〜106

Vol.23　No.8

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞現場の技術	原田安雄	8〜9
単一から複合化へ	佐藤義雄	10〜13
特殊技能からの脱皮	杉田昭	14〜20
交換機工事における熟練技能からの開放	塩月昭義	21〜24
多様化と合理化の調和	三城勝彦	25〜32
回線開通工事の明日への課題	杉浦彰夫；根本昭二	33〜37
新しい工程管理	上久保忠男；高田隆志；土居健造	38〜46
第 37 回電気通信技術委員会の審議から	山崎要；田村恵一	47〜57
広域時分制の実施について	長田武彦；飯村治	58〜66
大都市のとう道断面の改訂について	安部孝；山岸康利；太田孝	67〜73
最近 3 ヵ年の異常障害発生状況と減少対策	本田実；仲沢英憲	74〜82
＜私の提案＞転換式付属電話方式の改良について	原田稔	83〜84
D10 号形自動交換方式（その 5）	村田忠明；梅村静宏	85〜97
浅海用 CS-36M 形海底同軸ケーブル中継方式	石野文雄；堀口孝雄；秦英遠	98〜107
テレビ回線制御システム (MASCOT)（その 1）	滝本仁；碓井孝義；古田武；酒井克行	109〜116
科学技術計算システム（DEMOS）の管理プログラム（その 3）	大前義次；高倉慶充；石川宏；杉山進	117〜128
電子交換機用回路図の見方	倉地光男；木内浩	129〜134
技術のはなし 信頼性と安定基準 (1)	楠五月	136〜141
施設人のための事業知識 (86) 債券発行差損償却費	西島輝治	142〜143
I-2050 料金計算システムにおける工事および性能試験について	佐藤忠敬；杉山晃也	144〜149
＜新仕様書の紹介＞電力関係	技術局仕様課	150〜150
読書案内 移動通信方式	川原田安夫	151〜151
ニュースフラッシュ		135〜135
海外連絡室ニュース		152〜152
研究実用化報告第 20 巻第 8 号掲載予定論文		153〜153
次号目次 9 月号掲載予定目次		108〜108

Vol.23　No.9
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞労働疎外の坂道にいどむ	松橋達良	8〜9
線路工事近代化連絡会の新しい活動の方向	出村喜蔵；福富秀雄	10〜15
昭和 45 年度の保全成果をみる	田中潤一；滑川義人	16〜25
特定通信回線の技術基準について	小嶋国雄；石原勇	26〜30
直営データ通信システムの現状	神保健二；飯田明敏	31〜38
昭和 45 年度技術調査研究実用化の成果概要	木庭功；上池啓一；安永治男	39〜51
昭和 45 年度における電気通信研究所技術協力部の活動	黒田鎮次	52〜62
電力・鉄道の技術革新に対応する今後の誘導問題について	山内一郎；横田悦男	63〜71
D10 号形自動交換方式（その 6）	吉村武；有馬修二	72〜82
C6 形および C8 形自動交換機における固定収容方法の採用について	横倉章；岡島成昭；塩川亘	83〜92
管路内ケーブルのガス障害修理時における臨時隔壁工法について	加藤正明；篠崎静男；山口八郎；市川明	93〜98
平衡対ケーブルを用いた画像伝送サービス方式	池部剛次；佐藤文克；江尻正義	100〜109
テレビ回線制御システム (MASCOT)（その 2）	滝本仁；碓井孝義；柴田守一	110〜119
システムシミュレーションによる電話計算システムの処理能力評価	田中嘉信；森道直；広木正倫；池田幸雄	120〜126
技術のはなし 信頼性と安定基準 (2)	楠五月	130〜137
施設人のための事業知識 (87) 銅価格の変動と建設勘定工事実施計画	千葉正人	127〜129
新工法シリーズ 切替接続盤取付工法	花田宏	138〜141
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	143〜143
海外連絡室ニュース		144〜144
読書案内 実務家のための OR 技法とコンピュータ	植田義明	142〜142
研究実用化報告第 20 巻第 9 号掲載予定論文		145〜145
次号目次 10 月号掲載予定目次		99〜99

Vol.23　No.10

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉総合通信網構想をより深く理解するために	北原安定	8〜9
広域時分制工事の概要	水澤慶太郎；斎藤浄	10〜20
新しい型式審査制度の実施について	小嶋国雄；弘法堂一雄	21〜25
中規模電子計算機によるバンキング・システムの概要	八橋主計；富田英雄	26〜36
カラー電話機の販売にあたって	渡辺義彦	37〜41
テレビ回線制御システム (MASCOT)（その 3）	滝本仁；碓井孝義；戸上和久；大滝映夫；安藤巌；金島正基	42〜52
新しいマイクロ波回線切替制御装置	矢野常俊；山本孝美；林憲男；近藤幸好	53〜61
販売在庫管理システムにおける利用者プログラムの設計（その 1）	羽田正二；小野貞雄；林紘一郎	62〜67
電話計算システムの加入者習性について	森道直；嶋崎正弘	75〜79
本土・沖縄間加入電信サービスに使用された新装置	塩山豊蔵；黒住恭司；諫山徹也；植田肇	80〜89
J-2502 号 A 回線制御装置テストプログラムの改良について	平位忠郎；加藤寛爾；中ノ殿寿	90〜101
技術のはなし 信頼性と安定基準 (3)	楠五月	102〜108
施設人のための事業知識 (88) 安全管理者	徳善義昌	112〜113
新工法シリーズ DT-48K 形変復調装置等の建設工法について	渡辺武	114〜117
〈新仕様書の紹介〉データ通信関係	技術局仕様課	109〜111
訓練ノート 教程教科書委員会	厚生局訓練課	118〜118
海外連絡室ニュース		122〜122
読書案内 電子交換の基礎用語	廣田憲一郎	120〜120
ニュースフラッシュ		68〜74,121〜121
研究実用化報告第 20 巻第 10 号掲載予定論文		123〜123
次号目次 11 月号掲載予定目次		119〜119

Vol.23　No.11

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉無線通信の今昔	川原田安夫	8〜9
本土・沖縄間マイクロ回線工事の概要	山根信義	10〜17
宇宙通信に関する世界無線主管庁会議に出席して	岩崎昇三；林義昭；山本誠実	18〜25
新しい無線技術の動向	林義昭	26〜32
公社のマイクロ回線建設と国際協力の現状	平島一郎；栗木富男	33〜39
マイクロ無線の保全状況	川上育夫	40〜48
エチオピアのマイクロ網計画調査に参加して	佐藤光明	49〜57
遠隔データ処理方式の概要	小野秋一；宮鍋恒也	58〜63
ジュネーブにおける電気通信展	松本慎二	64〜67
広域時分制用機器について（その 1）	飯村治；三好明義；片山龍治；久米裕介；森下俊三	75〜86
電子交換における事業所集団電話サービス機能	但馬昭；高崎昭	88〜101
専用橋下部構造の標準設計	山岸康利；太田孝；藤木成孝	102〜111
無電源地域の通信用電力設計	中島宏；吉田政弘；内村清澄	113〜120
販売在庫管理システムにおける利用者プログラムの設計（その 2）	羽田正二；林紘一郎；榎孝芳；福島武志	121〜129
技術のはなし 管路とマンホール	佐々木康雄	130〜139
施設人のための事業知識 (89) ドラッカーとトフラー	竹内節	140〜141
新工法シリーズ 高速道路用非常電話機の取付方法	石井泰治；野本佐紀雄	144〜150
〈新仕様書の紹介〉線路関係	技術局仕様課	68〜74
海外連絡室ニュース		152〜152
研究実用化報告第 20 巻第 11 号掲載予定論文		153〜153
不法行為と損害賠償の常識	塩田芳秋	142〜142
交換装置保守の手引き	中谷邦夫	151〜151
ニュースフラッシュ		112〜112,143〜143
次号目次 12 月号掲載予定目次		87〜87

Vol.23　No.12
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞建築の新技術	大澤秀行	8〜9
建築生産の工業化について	三宅敏郎	10〜14
建築生産近代化への歩み	田中順三	15〜22
建設産業の構造変化	厨川昭二	23〜26
局全設計におけるコスト計画	西沢博	27〜32
超高層局舎の工事監理システムについて	折笠弥	33〜41
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	田村恵一；山田就将	42〜49
完全な設計を実現するために	井深次郎	50〜56
本文 ヨーロッパ諸国を廻って		75〜93
グラビア 米澤総裁ヨーロッパを視察		71〜74
広域時分制工事の実施体制について	上久保忠男；奥村通泰	58〜63
広域時分制の先行工事とその実施結果について	斎藤浄；篠原寿人；飯村治；野上正栄	64〜70
広域時分制工事における建設工法について	角田喜宏；松田満；田尻穣	94〜103
昭和 46 年度（第 3 回）工事成果発表会から	土居健造；吉田篤	104〜110
局舎計画標準（R80.10「局舎計画」）の制定について	小西篤夫；高屋昭太郎；加藤敏	111〜116
広域時分制用機器について（その 2）	竹中正州；小林嘉一；堀崎修宏；東山福男	117〜128
広域時分制工事の施設設計について	篠原寿人；八木惇夫；成田譲；佐々木和夫	129〜139
PEX20 形専用線交換機	土屋博；中西達；越野一男；渡辺明正	140〜147
IC 化された PCM-24 中継装置	市川勉；桜井伸篤；黒岩七生	148〜153
DT-1211 形プリンタ	田中義昭；渡辺孝彦；山本敏晶	154〜159
販売在庫管理システムにおける利用者プログラムの設計（その 3）	羽田正二；久野庸夫；高崎雄三	160〜165
信用金庫システム（その 1）	城戸利燕；加藤寛爾；萩原信之；小平博之；新実昭治	166〜174
技術のはなし 電子交換の ABC(1)	式場英	176〜180
施設人のための事業知識 (90) 組織能力開発訓練	竹内節	182〜183
新工法シリーズ 標準高速道路用交換装置建設工法	高田貢；後藤俊司	184〜192
海外連絡室ニュース		181〜181
研究実用化報告第 20 巻第 12 号掲載予定論文		193〜
ニュースフラッシュ		175〜175
次号目次 1 月号掲載予定目次		57〜57
昭和 46 年度施設総目次		2〜11

Vol.24　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	8〜9
＜論説＞屋久杉をこえて	庄司茂樹	10〜11
これからのデータ通信業務	伊佐進	12〜16
加入電信からも利用できる販売在庫管理サービス	森岡武・中村鉄治	17〜22
アメリカの情報処理サービスを見て	松尾士郎・大塚順三	23〜32
海底同軸方式開発の現状と動向	鈴木欽也；石野文雄	33〜37
社内テレビ電話システム	平塚憲一；村田完二；栗原武雄；如沢清；堀口孝雄；矢野常俊	38〜44
同軸ケーブル伝送方式の土木設計	黒木義人；岡山孝昭；田中一馬	45〜49
D10 号形交換機における市外交換機能	阿部正之；三原種昭；田島久彰；水沢純一；上田正弘；山村重光	50〜59
情報処理装置用静止形交流電源装置	去来川大；蒲池忠善；飯塚文男；関野吉宏	60〜68
響導装置付曳行式布設同時埋設方式の試用試験の結果について	鈴木欽也；三宅将善；涌井裕；徳岡正章	69〜87
CD 形監視統制装置	石野文雄；大坪勝；山田協右	88〜95
内航船舶電話方式における不感地対策方式商用試験結果	中野俊夫；岩沢修	96〜101
札幌オリンピック・ジャンプ競技用宅内装置の概要	三橋喜一；富田正典；松井嘉正；稲田勇	102〜109
信用金庫システム（その 2）	桑原紫朗；中川良長；橋本雅汎；杉山元伸	110〜119
技術のはなし 電子交換の ABC(2)	式場英	120〜124
施設人のための事業知識 (91) 生産性と人件費	淵上良彦	126〜127
DT-48K 形 A データ送受信装置,DT-48K 形 磁気テープ伝送装置の建設工法について	佐藤忠敬；杉山晃也	128〜134
ニュースフラッシュ		135〜135
海外連絡室ニュース		136〜136
研究実用化報告第 21 巻第 1 号掲載予定論文		137〜137
次号目次 2 月号掲載予定目次		125〜125

Vol.24　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞創造への自覚	井上俊雄	8〜9
広域時分制工事における保全部門の役割について	中谷邦夫；本間弘	10〜15
通信土木技術の課題	杉田昭；村上文章	16〜27
最近における道路占用等の問題	西島輝治	28〜34
昭和 46 年度（第 2 回）保全業務改善成果論文発表会から	海老根和男；岡本勝	35〜40
霞ヶ関電話局電子交換機 DEX-21	守家一夫；新井満男；中村隆一	41〜49
座席予約システムの概要	下道彰；伊藤佑二	50〜60
短縮ダイヤル用情報転送回線集約装置類の概要	竹中正州；小林嘉一；佐久間信行；紅林芳夫	61〜67
テープ情報変換書込装置の概要	竹中正州；小林嘉一；佐久間信行；紅林芳夫	68〜72
新しい時報サービス装置	竹中正州；小林嘉一；東山福男	73〜78
広帯域対形ケーブル	福富秀雄；如沢清；高島秀行	79〜87
浅海用 CS-36M 形海底同軸ケーブル中継方式の商用試験結果	石野文雄；堀口孝雄；秦英遠	88〜95
信用金庫システム（その 3）	城戸利熙；奥田秀一；川上達郎	96〜105
技術のはなし 電子交換の ABC(3)	式場英	107〜115
施設人のための事業知識 (92) 著作権	岩佐直正	116〜117
新工法シリーズ J-3050 料金計算システムにおける工事および性能試験について	佐藤忠敬；杉山晃也	118〜125
＜新仕様書の紹介＞宅内関係	技術局仕様課	126〜128
海外連絡室ニュース		132〜132
昭和 47 年度「施設」編集モニター募集	編集部	130〜130
画像通信時代	植田義明	129〜129
交換方式	山内正弥	131〜131
研究実用化報告第 21 巻第 2 号掲載予定論文		133〜133
次号目次 3 月号掲載予定目次		106〜106

Vol.24　No.3
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞これからの保全技術	中久保卓治	8〜11
Ⅰ. 総説	田中潤一	12〜14
Ⅱ. 設備の高度化, 複雑化に対応する保全技術	中谷邦夫；吉沢孟次	15〜17
Ⅲ. 省力施策と安全対策	斎藤芳雄	18〜21
Ⅳ. 宅内設備の多彩化と保全業務	渡辺義彦；大野伝次	22〜24
Ⅴ. 防災対策の推進	川上育夫；三石庄一郎	25〜26
Ⅵ. これからの通信網の保全	今野彦正	27〜28
電気通信研究所の活動状況	川又晃	29〜35
第 12 回技術成果発表会から	木庭功；高橋清	36〜44
シールド式とう道設計指針の改定について	安部孝；山田達之；山岸康利	45〜52
共架線路設計のパターン化について	三満盛雄；鈴木尚孝；高野和生	53〜61
国際電話の自動即時化	村上治；大野茂	62〜68
新しい保全統計システム	滑川義人；高橋滋；因幡彰三	69〜78
＜昭和 46 年度保全成果発表会発表論文から＞隣接局相互協力による直営工事体制の試行実施について	小山保；佐藤弘；山下徳治	79〜83
改良 C11 形自動交換装置の概要	竹中正州；三好明義；塩見栄次郎；岩本実	84〜97
電子交換ハードウェア設計の標準化	倉地光男；三原種昭；田島久彰	98〜105
スポットネットワーク受電設備	今泉敏；武田俊長	106〜112
搬送ケーブル・市外ケーブルおよび中継架空ケーブルのガス連続供給方式の適用	加藤正明；庄司新一；大谷正之	113〜122
主群切替装置 (MG·SW) の運用と効果	大坪勝；谷山昇一；窪島秀雄	123〜136
データ通信システムの評価	北村喜義；山本順一；柿沼正一	137〜142
技術のはなし 新しい準ミリ波無線中継方式 (1)	二宮康明	143〜148
施設人のための事業知識 (93) 施設用物品の在庫管理	鈴木敏之	152〜153
改良 C11 形自動交換装置の建設工法について	豊田正生；黒瀬初彦	154〜160
＜新仕様書の紹介＞電信関係	技術局仕様課	149〜151
海外連絡室ニュース		162〜162
研究実用化報告第 21 巻第 3 号掲載予定論文		163〜163
次号目次 4 月号掲載予定目次		161〜161

Vol.24　No.4

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞社会の変化に対応して	浦川親直	8〜9
座談会 若き線路マン大いに語る	大崎雅弘；戸板保典；上沼明夫；谷秀明；吉田正継；清水友一；藤信幸造；川村富清；下条利一；田中馨；大内正；安部孝；斎藤芳雄	28〜43
公社の被服	前島敏郎	44〜53
全国銀行データ通信システムの概要	岩山政敏；近藤謙造；松村邦雄	54〜64
設備計画業務の機械化	岡本克一；西原純郎	65〜77
置局計画標準の改定について	倉石順司；川上庄造；藤村英雄；吉田和人	78〜86
＜第 12 回技術成果発表会発表論文から＞欠相による電源装置の異常動作について	渡辺明広	87〜89
＜昭和 46 年度保全成果発表会発表論文から＞無人局保守の省力化施策とその成果について	河西保郎；北沢速雄；熊谷幹男	90〜95
通信局特集 四国電気通信局 躍動する四国		10〜27
音声帯域の群遅延ひずみについて	楠五月；加藤勇；菊池尚一；沖見勝也	96〜102
電力設備の耐震工法	栃本卓；山崎健蔵；丹羽義寿	103〜119
搬送路を用いた 12kHz 帯模写伝送試験結果	折井正好；池部剛次；古閑次郎；山田協右	120〜128
テレビ回線自動試験装置の商用試験結果	矢野常俊；山本孝美；村田成実	129〜135
DT-1234 形文字表示装置の概要	富田正典；稲田勇	136〜141
技術のはなし 新しい準ミリ波無線中継方式 (2)	二宮康明	143〜148
施設人のための事業知識 (94) 電信電話債券の買入消却	平岡寿一	150〜151
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	152〜153
ニュースフラッシュ		154〜155
昭和 47 年度工事成果発表会論文募集		149〜149
海外連絡室ニュース		156〜156
研究実用化報告第 21 巻第 4 号掲載予定論文		157〜157
次号目次 5 月号掲載予定目次		142〜142

Vol.24　No.5
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞大いに考えよう	三宅正男	8〜9
昭和 47 年度建設勘定工事実施計画の概要	池沢英夫	10〜15
交換設備の近代化と宅内サービスの多様化	丹野武宣	16〜17
ダイナミックな伝送路構成	青江茂	18〜20
データ通信のための回線開放に備えて	近藤光洋	21〜23
集約化, 標準化を考慮した線路設計	岡田清	24〜26
防災施策の推進と移動無線サービスの拡充	岩崎昇三	27〜28
大規模化する電源設備	有馬憲一	29〜30
総合通信網への布石	土橋英生	31〜33
広域時分制工事	斎藤浄	34〜36
座談会 多様化する電話宅内サービス	植田義明；丹野武宣；大和信夫；木村豊；半沢巌；児島仁；古都勝寿；渡辺義彦；河野常生；片山博雄	37〜54
高速道路用通信保守の現状と将来	小松康展；三露晃	55〜60
映像伝送サービスの近況	青江茂；松本道夫	61〜66
MAPS システムの完成をめざして	斎藤寿美男；増田恒夫；小林克良；増田幹朗	67〜77
データ通信システムのソフトウェア工事の概要	田村昭	78〜82
＜第 12 回技術成果発表会発表論文から＞東京体育館における臨時電話省力化工法について	渡辺睦彦；吉田録之真；榎本貞之；中島偉雄	83〜85
C23 形交換機の建設工事を直営で実施して	室田敏雄	86〜88
PCM-24 方式の建設工事を直営で実施して	王田博康；田村精志；高見順進	89〜94
＜昭和 46 年度保全成果発表会発表論文から＞ 55 形有極リレーの簡易試験方法について	藤原清一	95〜99
高速道路通信方式（その 1）	飯村治；稲田干樹；松本壮夫	100〜107
情報処理装置用静止形交流電源装置	本間哲夫；坂本誠也；島田善二	108〜115
とう道内ケーブル布設装置	丸山芳春；室勝広；田中憲次；山本博	117〜123
P-4M-1 形伝送路切替装置	池部剛次	124〜127
小型化された無線個別呼出受信機	菊池芳男；佐田新一郎；椿功；植村博	128〜133
技術のはなし 新しい準ミリ波無線中継方式 (3)	二宮康明	134〜140
施設人のための事業知識 (95) 負担加入数	柚木昌弘	142〜143
新工法シリーズ PFT 形ファクシミリ伝送方式の線路建設工法	横溝久人；斎藤忠美	146〜153
＜新仕様書の紹介＞交換関係	技術局仕様課	158〜159
ニュースフラッシュ		144〜144
読書案内 電波とエレクトロニクス	岩崎昇三	145〜145
「施設」企画・編集・技術講座担当委員会委員名簿		141〜141
海外連絡室ニュース		160〜160
研究実用化報告第 21 巻第 5 号掲載予定論文		161〜161
第 9 回「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	154〜155
昭和 47 年度機関誌「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	156〜156
第 13 回技術成果発表会論文募集		157〜157
次号目次 6 月号掲載予定目次		116〜116

Vol.24　No.6

日本電信電話公社施設局編集

沖縄の本土復帰にあたって	米澤滋	8〜9
＜論説＞データ通信事業の現状と問題点	朴木実	10〜11
沖縄における電気通信	井深次郎	12〜27
ナショナル・プロジェクトと公社のデータ通信	白根礼吉；荒野龍一	28〜32
公社における CAI について	鈴木正和；山口昭穂；阪口亘	33〜41
昭和 47 年度技術調査研究実用化計画の概要	五嶋一彦；大西靖雄	42〜51
札幌オリンピックをふりかえって	山口美英；阿部盛男	52〜61
電柱敷地補償料の改正について	西島輝治	62〜65
＜第 12 回技術成果発表会発表論文から＞短波海岸局用受信機の改善について	諸富鎮雄	66〜68
合理的作業体制の推進	川口邦男	69〜71
そう入工具による避雷器弾器の切替えについて	岸宗一郎；児玉藤介；片見泰光	72〜76
＜昭和 46 年度保全成果発表会発表論文から＞電力異常障害演習について	猪口昭彦	77〜79
＜職場の改善例＞障害等に伴う苦情申告の早期解消策について	芦川政晴；志村茂；菅沼二美夫	80〜86
高速道路通信方式（その 2）	飯村治；稲田千樹；前田勲治；塩見栄次郎；松本壮夫；別所義夫	87〜95
新しい公衆電話機（その 1）	木村豊；久我泰三郎；小川正気；堤茂樹	97〜104
地下多対ケーブル用心線接続機	福富秀雄；江川宏；大矢根邦彦；花田宏	105〜109
4,800bit/s データ伝送用変復調装置	石川光雄；篠田康明；山本隆	110〜119
本土－沖縄間見通し内マイクロ通信方式	多田寛五；田中澄澈；神谷清美	121〜129
技術のはなし 電話網のデータ伝送特性 (1)	楠五月	130〜139
施設人のための事業知識 (96) 有線放送電話接続通話	伊勢坊偲	140〜141
新工法シリーズ 柱列式土留工法・アースオーガ工法	岡淳一；境賢治	142〜145
沖縄電信電話管理局管内職員に対する教育訓練の実施について		120〜120
ニュースフラッシュ		148〜149,150〜150
仕事の知恵 (2)	小野要一郎	146〜147
タイムシェアリング・システム	渡辺卓哉	151〜151
海外連絡室ニュース		152〜152
研究実用化報告第 21 巻第 6 号掲載予定論文		153〜153
次号目次 7 月号掲載予定目次		96〜96

Vol.24　No.7

日本電信電話公社施設局編集

電気通信自主技術開発史の刊行にあたって	米澤滋	8〜9
＜論説＞転換期にある検査	種村省三	10〜11
検査特集		12〜32
電気通信自主技術開発史発行にあたって	松島信雄；杉山利光	33〜37
昭和 47 年度施設用物品調達計画	花木充夫；河野常生	38〜43
昭和 46 年度における武蔵野電気通信研究所技術協力部の活動	新木諒三	44〜53
伝送路収容設計の EDPS 化	青江茂；津田勝；柴田正三郎	54〜61
超高圧地中送電線設置に伴う誘導対策について（その 1）	斎藤芳男；後藤征男；清水一男	62〜66
C-12M 方式帯域外利用による C-4M 方式の 1SG 救済方法について	鈴木正憲；岡田之男	67〜69
搬信装置自動試験器の作成	徳武芳久；上野清；秋山義雄	70〜72
静止形負荷電圧補償器	塩見栄次郎；森勇	73〜79
新しいさく進機	大橋弘之；西野博；佐藤啓次郎	80〜86
5GHz-2,700ch マイクロウェーブ通信方式（SF-E1 方式）	多田寛五；田中澄澈；松橋昭一	87〜95
技術のはなし 電話網のデータ伝送特性 (2)	楠五月	96〜108
施設人のための事業知識 (97) 自動車損害賠償責任保険	阿部勇行	118〜119
D10 号形自動交換機建設工法	井上隆；田辺広士	110〜117
ニュースフラッシュ		120〜121
読書案内 オンラインシステム概要	広田憲一郎	122〜123
海外連絡室ニュース		124〜124
研究実用化報告第 21 巻第 7 号掲載予定論文		125〜125
次号目次 8 月号掲載予定目次		109〜109

Vol.24　No.8

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞施工と安全	原田安雄	8〜9
建設工事の完遂と施工の安全確保	上久保忠男	10〜13
安全へのアプローチ	佐藤義雄	14〜17
安全な通信土木工事を目ざして	深瀬鋭次郎	18〜24
宅内工事における安全	塩月昭義	25〜28
伝送, 無線, 電力工事の安全対策	小野要一郎	29〜33
建設工事における品質管理	中川金次郎；青木武司；高村雅一	34〜40
新しい監督事務処理要領	大和田貞雄；山成昇次	41〜45
即時網建設工事のあゆみ	福増満広；坪井実	46〜54
第 39 回電気通信技術委員会の審議から	山崎要；田村恵一	55〜65
回線呼称方法の改訂について	牧山武一；倉島渡	66〜75
超高圧地中送電線設置に伴う誘導対策について（その 2）	斎藤芳雄；後藤征男；清水一男	76〜81
座談会 電気通信自主技術開発史の発刊をかえりみて	田中浩太郎；川原田安夫；石原治；松島信雄；杉山利光；小西一郎	82〜92
＜第 12 回技術成果発表会発評論文から＞狭あいルートに併設する超高圧電線からの誘導軽減対策について	小島良和；池東雄；前田照雄	93〜95
D10 形自動交換機施設設計（その 1）	上遠野浩；松尾勇二	96〜103
ダイヤル部品のプラスチック化	木村豊；忠津宏；清水勲	104〜107
電話網の受話者エコーの実態	早川孝久；柿原英人	108〜113
C-60M 方式（その 1）	石野文雄；池部剛次；榎並章三；庄司滋彦	114〜124
全銀システム用 1,200bit/s データ宅内装置	田中義昭；山本敏晶；近藤賀洋；米野和則	125〜130
技術のはなし 電話網のデータ伝送特性 (3)	楠五月	132〜144
施設人のための事業知識 (98) 前金払	前田寛	146〜147
新工法シリーズ 可搬形交換装置の耐震対策	豊田正生；井手靖治	148〜153
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	154〜156
海外連絡室ニュース		158〜158
電子交換機の部品	長田武彦	145〜145
データ伝送システム	杉浦淳一郎	157〜157
研究実用化報告第 21 巻第 8 号掲載予定論文		159〜159
次号目次 9 月号掲載予定目次		131〜131

Vol.24　No.9

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞発想の転換	小口文一	8〜9
広域時分制の先行実施	斎藤浄；村山俊一	10〜16
災害時における通信の確保対策	井深次郎；大石文彬	17〜27
昭和 46 年度技術調査研究実用化の成果概要	松村正一；安永治男；鈴木邦男	28〜40
建設技術開発室の発足にあたって	桜木俊彦	41〜45
DIPS-1 を用いた汎用技術計算サービス（DEMOS-E）の概要	長谷川寿彦；伊藤雅信；佐藤完二	46〜52
パラグァイ国マイクロ波回線網建設計画の調査に参加して	庄司正志；塩田文夫	53〜59
＜第 12 回技術成果発表会発表論文から＞ C31 交換機異常障害防止対策の一環としてのマーカ改造	石川健二；清水民弥	60〜62
D10 形自動交換機施設設計（その 2）	上遠野浩；松尾勇二	63〜74
C-60M 方式（その 2）	石野文雄；池部剛次；榎並章三；庄司滋彦	75〜82
IC 化された新 PCM-24 端局装置	副島俊雄；川上大三；栗山正雄	83〜91
G, SG, MG 回線モニタ盤	池部剛次；大坪勝；田部賢司；鈴木勝彦	93〜97
JS 形情報処理装置（その 1）	水内清；酒井美高；松本裕；伊藤宏	98〜107
電気通信自主技術開発史の紹介（その 1）	松島信雄；杉山利光	108〜111
技術のはなし 空中線 (1)	苅込正敞；進士昌明	112〜117
施設人のための事業知識 (99) 建設工事の品質管理	中川金次郎	118〜121
新工法シリーズ CD 形監視統制装置建設工法	小川真澄	122〜127
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	128〜129
海外連絡室ニュース		130〜130
研究実用化報告第 21 巻第 9 号掲載予定論文		131〜131
次号目次 10 月号掲載予定目次		92〜92

Vol.24　No.10
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉広域時分制への移行開始にあたって	北原安定	8〜9
広域時分制移行計画について	水沢慶太郎；斎藤浄；鈴木貞三	10〜16
入選発表	施設編集部	17〜17
情報化社会における伝送保全技術者のあり方について	惣戸吉男	18〜22
加入電話 2,000 万突破におもう ── 完全な設計のために考えること	真壁芳郎	23〜26
加入電話 2,000 万突破におもう	後藤忠昭	27〜30
記念論文の審査を終えて	宇留賀嘉文	31〜31
保全業務改善 3 ヵ年計画の成果について	関根敏雄	32〜38
マイクロウェーブによる海上長距離回線の特性について	小田茂；川淵竜弥；高木邦寛	39〜46
税務会計システムの概要	原哲夫；中村祐介	47〜57
市外回線算出方法について	田島光之；広田真一郎；栗原宏栄；秋月正義	58〜64
座談会／ T 形交換機建設・保守の思い出	信越電気通信局保全部市内機械課	65〜68
関東電気通信局におけるケーブル方式計画標準について	森永範興；秋間薫；古田博；有馬亮一；佐野強；岩崎紀光；神谷康司	69〜71
通信線に現われる雷現象と加入者保安に対する一考察	鈴木真一；岡野辰也；堀賀雄	72〜77
ガスタービン式移動発電装置	中島宏；佐田新一郎	78〜87
JS 形情報処理装置（その 2）	渋谷多喜夫；高月敏晴；大工谷国夫；宍戸宥干	88〜95
PCM ハイブリッド端局装置	副島俊雄；川上大三；小宮菱一	96〜103
特仕化された 48kbit/s データ伝送方式（専用回線用）	石川光雄；古屋昭義；真柄成一；下条義康	105〜112
電気通信自主技術開発史の紹介（その 2）	松島信雄；杉山利光	113〜116
施設人のための事業知識 (100) 共済組合の経理状況	金井謙三	120〜121
技術のはなし 空中線 (2)	苅込正敞；進士昌明	122〜125
新工法シリーズ ACTF による工事試験	石橋好二；及川昌幸	130〜136
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	137〜137
ニュースフラッシュ		117〜117,118〜119,126〜128,129〜129
海外連絡室ニュース		138〜138
研究実用化報告第 21 巻第 10 号掲載予定論文		139〜139
次号目次 11 月号掲載予定目次		104〜104

Vol.24　No.11

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉ゆとり	山本孝	8〜9
本実施を迎えた広域時分制工事	斎藤浄	10〜19
世界の電子交換機実用化の動向	城水元次郎；式場英	20〜25
D10 形自動交換機の建設工事をふりかえって	塩月昭義；篠原裕；井上隆	26〜42
クウェイトコンサルタントの活動	坂口正人；近藤政造；池上藤雄；豊義秀；松本文郎；大竹和虎	43〜54
座談会 熱砂の国のフロンティア	沼倉忠男；川口水城；新井俊一；沖塩荘一郎；塩月昭義；坂口正人；栗木富男；輿寛次郎	55〜72
拡充される運輸省自動車局データ通信システム	東千昭；上田泰司；深井康平	73〜80
館山市の教育用テレビジョンシステム	陸川泰志；福富秀雄；平塚憲一；高島征二；樋口秀昭	81〜91
新規格蓄電池の放電特性と容量算出係数	中島宏；陰山照男；志田久光	92〜98
中継 PEF-LAP ケーブル	福富秀雄；江川宏；田村義秋	100〜104
機能改善された伝送路切替装置	石野文雄；堀口孝雄；松田英男	105〜111
4GHz マイクロ波方式無人局の高信頼化	田中澄澈；佐田新一郎；若生憲司；永田睦義	112〜115
電気通信自主技術開発史の紹介（その 3）	松島信雄；杉山利光	117〜120
技術のはなし 空中線 (3)	苅込正敞；進士昌明	121〜125
施設人のための事業知識 (101) 新しい公募債	宇田川勝	126〜127
新工法シリーズ ディーゼル機関発電機自動並行運転装置の建設工法について	土橋敏男	128〜132
ニュースフラッシュ		99〜99
海外連絡室ニュース		134〜134
読書案内 電子交換システムの基礎	池本晴雄	133〜133
研究実用化報告第 21 巻第 11 号掲載予定論文		135〜135
次号目次 12 月号掲載予定目次		116〜116

Vol.24　No.12
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉施設と建築	大澤秀行	8〜9
アンテナ搭載施設について	望月一郎；小峯茂樹；今野知則；森重秋；佐藤雄二；鈴木泰哉；松田正司；篠原康夫；出崎徹；大熊堅之	10〜36
施設局舎の防災	飯塚裕；三宅敏郎	37〜47
環境と工業を結ぶ	三宅敏郎；星野和弘	48〜54
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	田村恵一；岩本久弘	55〜68
公社における仕様書の役割	田場實；松本英一	69〜75
座談会 沖縄における電気通信事業の発展をめざして	植田義明；浅村伊佐男；関根敏雄；井深次郎；森本三雄；平島一郎；豊岡勇；新城広；友利清一；津堅房信；兼城守；比嘉勝美；宮城安秀；宮城章	76〜92
現場機関管理者の海外研究報告（その 1）	厚生局訓練課	93〜98
回線開通工事品質管理方式について	福増満広；根本昭二	99〜107
情報処理技術の動向	浅原元次郎；渋谷多喜夫	108〜115
工事成果発表会から（第 4 回）昭和 47 年度	大和田貞雄；高橋通泰	116〜120
4 号宅内リレー函	木村豊；忠津宏；篠原好記	121〜126
新しい公衆電話機（その 2）	木村豊；久我泰三郎；埴生信一	127〜136
泥水加圧式シールド工法	小田切武郎；花田光登；志村正治	137〜147
本仕化された新 PCM-24B 中継装置	副島俊雄；田崎公郎；鈴木康之	148〜154
同期式汎用データ宅内装置	田中義昭；金井一夫；山本敏晶；里見一誠	155〜159
施設人のための事業知識 (102) 長期金利体系	北浦和蔵	166〜167
既設蓄電池のフレキシブル導帯そう入工法について	手島長生；土橋敏男	160〜163
海外連絡室ニュース		168〜168
研究実用化報告第 21 巻第 12 号掲載予定論文		169〜170
次号目次 1 月号掲載予定目次		164〜164
昭和 47 年施設総目次		2〜11

Vol.25　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	8〜9
＜論説＞情報環境と人間	庄司茂樹	10〜11
横須賀電気通信研究所の発足	山内正弥	12〜16
電信電話拡充第 5 次 5 ヵ年計画	新川吉雄；若本孝雄；倉石順司；浅村伊佐男；杉坂好；星正也	17〜52
座談会 施行日における広域時分制への移行をかえりみて	水澤慶太郎；五十嵐規矩義；坂本初男；飯塚政広；加藤明；福田幸雄；安本忠夫；中本芳夫；岩崎正朔；福井彦助；堀川賢一；小林邦二；斎藤浄	54〜74
データ通信システムにおける周辺装置の動向	浅原元次郎；高月敏晴	75〜83
現場機関管理者の海外研修報告（その 2）	厚生局訓練課	84〜87
押しボタンダイヤル式ホームテレホン	大和信夫；奥野淑；佐藤幸雄	88〜92
全固体電子化された SF-T2-1 方式	小口廸夫；菊池敬昭	93〜99
大規模データ通信システム（その 1）	安倍尚一郎；池辺哲哉；山口昭；佐々木修三；槇平康尚；中尾宏	100〜109
科学技術計算システム (DEMOS) 商用試験結果	伊藤雅信；佐藤完二；立花佑介；加来億一	110〜119
連載講座 施設人のための事業知識 (103) 電柱広告	浜潔	126〜127
新工法シリーズ グラウト注入工法	近本昇太郎	121〜125
ニュースフラッシュ		53〜53
海外連絡室ニュース		128〜128
研究実用化報告第 22 巻第 1 号掲載予定論文		129〜129
次号目次 2 月号掲載予定目次		120〜120

Vol.25　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新しい研究体制の課題	緒方研二	8〜9
技術開発の長期展望	五嶋一彦	10〜18
公衆網を利用するデータ通信のための技術基準について	丹野武宣；近藤光洋；牧野正男；石原勇	19〜26
オンライン・バンキング・システムの標準化	大塚順三；松沢弥八郎	27〜37
≪座談会≫データ通信の保全を担当して	大野伝次；金原日和；田中一馬；垣原正紀；中舎喜久造；冥加章文；桜井兵吾；斉藤保夫；小川昭二；中田博；近藤恭平；元石幸男；中尾信雄	38〜52
マレーシアより帰りて	三島義郎	53〜60
世界の 60MHz 同軸ケーブル方式	石野文雄	61〜67
アルミ導体ケーブル	福富秀雄	68〜73
データ伝送技術の動向	杉浦淳一郎；石川光雄	74〜83
加入電信交換網の伝送品質	早川孝久；柿原英人；加藤正美	84〜88
本実施される新地下配線方式	福富秀雄；寺内賢一；野田馨；小松幸三	90〜97
催物会場における臨時電話用コードレス電話方式	高萩和行；志村喜昭；斉藤茂；植村博；巻山哲雄；北野達郎	98〜103
大規模データ通信システム（その 2）	安倍尚一郎；池辺哲哉；山口昭；佐々木修三；伊東悠治；吉田圭助；信田昭弘	104〜112
施設人のための事業知識 (104) 道路管理者と道路の種類	白木和雄	114〜115
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	116〜117
CAI システム	植田義明	121〜121
ニュースフラッシュ		118〜120
海外連絡室ニュース		122〜122
研究実用化報告第 22 巻第 2 号掲載予定論文		123〜123
次号目次 3 月号掲載予定目次		89〜89
昭和 48 年度「施設」編集モニター募集		113〜113

Vol.25　No.3
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞変化に対応して変化を創造する	井上俊雄	8〜9
電話網の開放と音響結合装置	伊香恒夫；宮崎末広；陸川直則	10〜16
「47.7 豪雨」を契機とする災害対策について	三石庄一郎；長崎勝	17〜22
データ宅内技術の動向	木植和夫；茂出木孝男	23〜30
データ通信における標準化	浅原元次郎；水内清	31〜38
第 13 回技術成果発表会から	松村正一；高橋清	39〜46
＜第 13 回技術成果発表会発表論文から＞ V-1 形 2 号 NA 通話路搬供装置の高調波発生盤改造後における特異障害の調査	高倉義一；伊藤三郎；井手幸孝；野口英司	47〜50
私たちはこのようにして広域時分制改造工事に取り組み成果をあげた	川向博；田中実；木村貴美	51〜55
昭和 47 年度保全成果発表会から	海老根和男；大久保凱博	56〜62
＜昭和 47 年度保全成果発表会発表論文から＞データ通信宅内装置の長時間障害対策について	金原日和；斉藤幹生；小杉次雄	63〜65
網制御装置（その 1）	大和信夫；真竹芳樹；前田勲治；樋口寿宏；別所義夫；西村雅寛	66〜78
網制御装置（その 2）	岡田行雄；佐川秀行；山森俊彦；新井章治；佐藤徹郎	79〜87
電話回線の瞬断特性	早川孝久；小池章三	88〜94
PCM-100M 方式（その 1）	副島俊雄；田崎公郎	95〜98
都市内マイクロ波方式（SF-F3 方式）	高村充；池内健浩；菊池敬昭	100〜106
施設人のための事業知識 (105) 経済成長率	古川勇	112〜113
新工法シリーズ 中継 PEF-LAP ケーブル建設工法	池田始；本並上一	107〜111
＜新仕様書の紹介＞データ通信関係	技術局仕様課	114〜115
海外連絡室ニュース		116〜116
研究実用化報告第 22 巻第 3 号掲載予定論文		117〜117
次号目次 4 月号掲載予定目次		99〜99

Vol.25　No.4

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞今こそ再出発の時	清水通隆	8〜9
横須賀電気通信研究所の設計について	沖塩荘一郎	10〜16
衛星通信実験所の工事を完成して	佐々木敏夫；更田博昭	17〜23
米国における事務計算分野の動向	辻岡健	24〜29
データ通信ソフトウェア技術の動向	伊藤宏	30〜37
可搬無線機の保守運用の現状	川上育夫；篠原敏浩	38〜45
情報処理用記録媒体の現状と問題点	高月敏晴	46〜54
＜第 13 回技術成果発表会発表論文から＞静電気の情報処理装置に及ぼす影響と予防対策	山田次郎；山田康雄；海野豊孝	55〜59
＜昭和 47 年度工事成果発表会発表論文から＞橋梁下 500m 無接続布設工事を実施して	望月隆光；春日井次夫；上部勝久	60〜63
＜昭和 47 年度保全成果発表会発表論文から＞複局地保全体制の定着化に取り組んで	中山勇夫；長谷川光男；三村信夫	64〜68
可搬形交換機等収容箱の耐震対策	三好明義；石橋好二；井手靖治	69〜74
10,000kVA ガスタービン式発電装置	中島宏；佐田新一郎；武田俊長	75〜84
乾燥剤方式による乾燥空気供給装置	滝沢純；小西隆雄；伊藤誠二	86〜90
PCM-100M 方式（その 2）	副島俊雄；田崎公郎；川上大三	91〜96
新しい群・超群変換装置	榎並章三；瀬戸口純允；広部睦雄	97〜103
PCM-24B 形中継装置（IC 化中継器）の施設設計	大蔵恭仁夫；大塚敬三郎；古谷秀雄；高橋清昭	104〜109
施設人のための事業知識 (106) 資本勘定	内山恵輔	110〜111
新工法シリーズ PEX20 形交換装置建設	高田貢；竹内善宗	112〜116
ニュースフラッシュ		117〜119
昭和 48 年度工事成果発表会論文募集		122〜122
機関誌「施設」各委員会委員名簿		120〜121
研究実用化報告第 22 巻第 3 号掲載予定論文		123〜123
研究実用化報告第 22 巻第 4 号掲載予定論文		124〜124
海外連絡室ニュース		125〜125
次号目次 5 月号掲載予定		85〜85

Vol.25　No.5

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞いつでもどこでも	山本孝	8〜9
昭和 48 年度建設勘定工事実施計画の概要	池沢英夫	10〜14
通信網の信頼性向上と宅内サービスの多様化	式場英	15〜17
魅力ある伝送路を	青江茂	18〜20
公衆通信回線サービスの実施	近藤光洋	21〜23
社会環境の変化に対応した線路設計	岡田清	24〜27
次の飛躍に備えて	桑原守二	28〜30
社会の変化に適応する電力設計	有馬憲一	31〜32
融通性ある通信網の形成	土橋英生	33〜35
公衆網利用のデータ通信制度ならびに新しい型式認定制度の実施について	牧野正男	36〜42
屋外作業の安全対策について	鈴木真；白石典久	43〜48
国際電信電話諮問委員会 (CCITT) 第 5 回総会の報告	津田勝	49〜59
東京 MA 広域時分制工事を顧みて	加納実；石井昭一；西尾力	60〜68
D10 形電子交換機（市内局用）設備数算出法について	岩井義人；石井一成；竹林正熙；福王寺忠一	69〜78
＜第 13 回技術成果発表会発表論文から＞ 112 形受信装置 (SF-T2-1) の障害対策について	藤吉昭一	79〜82
＜昭和 47 年度工事成果発表会発表論文から＞大口径ヒューム管推進工法について	島田和彦；小西康雄	83〜89
＜昭和 47 年度保全成果発表会発表論文から＞ PCM24 方式再生中継器障害分析と改善成果について	岩田義男；矢野恒司；伊藤治幸	90〜93
代替基幹回線設定に伴う交換機の機能付与	東直毅；水芦一哲；笠原正昭；小村好治；伊藤宜史	94〜104
PCM-100M 方式（その 3）	副島俊雄；富田邦明；小宮菱一	105〜112
PCM 方式保守のための新しい測定器	副島俊雄；北村隆；田部賢司	113〜117
高密度化を図った J3000 形用磁気テープ装置	渋谷多喜夫；大工谷国夫；平野泰宏	118〜127
座席予約システムの設計と評価	布施功男；金井一夫；佐川秀行	128〜135
＜投稿＞猟銃被害による通信ケーブル障害防止対策について	宍戸直司；安部力雄	136〜140
施設人のための事業知識 (107) 工事用自動車	吉田章	142〜143
市外 PEF-CS ケーブルの建設工法およびラッシングロッドの取付工法	中溝正彦	150〜154
＜新仕様書の紹介＞	技術局仕様課	156〜157
ニュースフラッシュ		144〜148
読書案内 電子交換機の建設・保守	水澤慶太郎	141〜141
＜質問箱＞アルミ導体ケーブルについて		155〜155
海外連絡室ニュース		160〜160
研究実用化報告第 22 巻第 5 号掲載予定論文		161〜161
「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	158〜15
8 第 14 回技術成果発表会論文募集		159〜159
次号目次 6 月号掲載予定		149〜149

Vol.25　No.6

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞保全サービス上での新たな問題	水澤慶太郎	8〜9
線路技術開発の動向	福富秀雄	10〜28
昭和 48 年度技術調査研究実用化計画の概要	牧山武一；高田雄二	29〜39
中米を旅して	千野孝	40〜46
電子交換用ファイル類の作成と供給	守家一夫；高村真司；安藤高範；牧野詔一	47〜59
プレハブ無駐在局舎について	望月一郎；長尾時紀；宮崎勝盛	60〜67
DEMOS ECHO-A4 による日照計算	石神絢夫	68〜73
＜第 13 回技術成果発表会発表論文から＞伝送路の異常障害時における交換機側措置について	清水秀男；今井輝勝	74〜78
＜昭和 47 年度工事成果発表会発表論文から＞日田－津江間 PCM-24 方式 IC 化中継装置建設工事に参加して	野上信男；大東九二生	79〜83
＜昭和 47 年度保全成果発表会発表論文から＞ K 形ボタン電話装置の電源ヒューズ断線障害とその対策について	川南統；上村喜一郎；小幡喜一郎；中崎義雄	84〜87
非常用移動電話局装置の概要（その 1）	油井隆弘；飯野嘉郎；長崎勝	88〜92
平衡対ケーブルを用いたカラーテレビ信号伝送方式	堀口孝雄；江尻正義	93〜100
統一されたハンドホール鉄蓋	志村博正；前田喜和；木村幸夫	101〜106
新しい AR-11 形遠隔監視制御装置の概要	小口廸夫；田辺正	107〜110
施設人のための事業知識 (108) 調査研究費	千葉貞夫	112〜113
新工法シリーズ エンジンの騒音防止	手島長生；山中敬史	114〜126
データ通信関係	技術局仕様課	130〜131
海外連絡室ニュース		132〜132
読書案内 生活に役だつ電話計算のいろいろ	植田義明	127〜127
研究実用化報告第 22 巻第 6 号掲載予定論文		133〜133
第 10 回「施設」編集モニターの任期を終えて		128〜129
次号目次		111〜111

Vol.25　No.7

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新サービスと総合通信網	三宅正男	8〜9
海底線の動向	綾塔猛；横井時成；門武	10〜26
新しい敷設船のあらまし	竹井幸男；桑原慎二郎	27〜31
〈座談会〉海底線マン大いに語る	千葉芳毅；馬場忠孝；会田勇雄；蒔田道男；早瀬清市；安倍忠弘；金野裕成；宮本増揮；松本善守；藤原亀次；道向清；峰正敏；蓮尾文武	32〜46
第 41 回電気通信技術委員会の審議から	神宮司順；久保田俊昭	47〜59
昭和 48 年度施設用物品調達計画	花木充夫；河野常生	60〜65
昭和 47 年度の検査結果から	片山博雄；杉本健	66〜73
電気通信研究所における最近のトピックス	関口良雅	74〜83
私たちが見てきた「アメリカの電話」── 第 2 回現場機関管理者の海外研修報告	武井正道；高橋六良夫；片桐益夫；嶋田孝；布川匡士；高橋敏男；長南隆安	84〜94
データ通信局舎設計資料の改訂にあたって	吉田邦彦；加藤吉男；望月一郎；深井英一	95〜99
＜第 13 回技術成果発表会発表論文から＞同軸ケーブルコア移動監視方式の考案について	松本博；吉岡正男；中野孝市；園部勇；林正男	100〜101
建設工事における EDPS 化業務の紹介	高村雅一；北島健次	102〜109
非常用移動電話局装置（その 2）	堀場信雄；愛沢慎一；栗山政雄；山本孝美；永田睦美	110〜116
遠隔制御による呼量測定装置の概要	油井隆弘；堀場信雄；須藤順市	117〜122
ポリエチレン被覆鋼管	志村博正；前田喜和；田所富男；虻川哲夫	123〜127
5GHz 帯 2,700ch 方式（SF-E1 方式）の伝送特性	山田幸輝；松橋昭一	129〜132
施設人のための事業知識 (109) 公共事業費	福間利治	134〜135
新工法シリーズ 同軸用 9 システムきょう体の建設工法	森本厚志	140〜144
＜新仕様書の紹介＞搬送関係	技術局仕様課	146〜147
ニュースフラッシュ		128〜128,136〜139
読書案内 通信土木施工技術概論	杉田昭	145〜145
海外連絡室ニュース		148〜148
研究実用化報告第 22 巻第 7 号掲載予定論文		149〜149
次号目次 8 月号掲載予定		133〜133

Vol.25　No.8
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞安全のモラル	中久保卓治	8〜9
安全対策の推進	三野昇	10〜13
安全への思考	西岡末章	14〜20
通信土木工事の安全施工をめざして	深瀬鋭次郎	21〜27
機械・宅内工事の安全	木下光一	28〜30
伝送無線工事の人身事故は絶滅しうるか	小野要一郎	31〜33
直営工事における安全対策	東京電気通信工事事務所	34〜3
通信部ぐるみの安全パトロール	千葉電気通信部	39〜45
全員参加の安全管理へ	福岡都市管理部	46〜53
座談会／施工の安全対策	鈴木清；三野昇；西岡末章；木下光一；小野要一郎；深瀬鋭次郎；中村重政；大林四郎；佐藤正和；木戸三男; 今井論；鍛治岡博昭；武部藤湖；古庄清；富樫昇；堀尾泰明；林侃一；小川定一	54〜73
昭和 47 年度技術調査研究実用化の成果概要	松村正一；鈴木邦男；中込四郎	74〜87
最近における線路工事近代化活動について	出村喜蔵；高橋宏造；佐藤利男	88〜97
昭和 47 年度における武蔵野電気通信研究所技術協力部の活動	富田泰夫	98〜107
災害時における広域応援体制について	中村立身；長崎勝	108〜113
空中線建設作業における安全対策	藤井一明	114〜118
最近の自営機器の適合審査・認定から	伊香恒夫；桑原清人；陸川直則；米田信之	119〜125
＜第 13 回技術成果発表会発表論文から＞ボタン電話装置を収容した RC 形交換機の不接対策について	竹花一雄；近藤清二；池田和夫	126〜130
本仕化された D10 形自動交換機	石井孝；吉岡正紀；伊藤義雄；田島久彰	131〜138
新しい加入者保安器	大島宏彦；七尾和彦	139〜142
シミュレータによる電話回線の伝送品質調査	畔上佳三；増田威；今井恒雄；大野亮三	143〜152
新規格レジンコンクリート製ブロックマンホール	志村博正；寺内賢一；岡淳一；山本博	153〜158
施設人のための事業知識 (110) 出資勘定	酒井偉雄	160〜161
新工法シリーズ CCP ケーブル外被接続スリーブ取付工法	池田始	166〜170
海外連絡室ニュース		172〜172
研究実用化報告第 22 巻第 8 号掲載予定論文		173〜173
ニュースフラッシュ		162〜164
データ通信のための通信回線利用マニュアル	高橋澄夫	165〜165
CATV の新世界	植田義明	171〜171
次号目次 9 月号掲載予定		159〜159

Vol.25　No.9
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞国際協力に思う	太田勇	8〜9
昭和 47 年度の保全成果について	関根敏雄；塩田敬次郎	10〜18
高速道路通信方式の施設設計について	田村恵一；細川哲男；内山登；毛部川立五；秋葉勇次；美谷島休三	19〜34
海外技術協力活動の現状	鈴木慶泰	35〜40
米国／最近の通信界の話題から	半田恵一；宮脇陞	41〜45
ヨーロッパ／体質改善を迫られる各国	岡部恒雄	46〜49
タイ／期待になう 5 ヵ年計画	岡裕	50〜53
メキシコ／不思議な活力を秘めて	梶原明	54〜58
エチオピア／マイクロ回線に実る技術援助の成果	大沢一允；河本昌泰；仲尾将	59〜64
インドネシア／豊かな資源と遅れた電気通信	飯島幸雄	65〜69
座談会／海外技術協力活動に従事して	東勝俊；伊藤雄一；近藤光洋；山形進；飯田光夫；戸田尚志；斉藤雄一	70〜90
料金局情報処理装置の耐震対策について	小野要一郎；土橋敏徳；佐藤忠敬；杉山晃也	91〜95
＜第 13 回技術成果発表会発表論文から＞無人局電源自動点検装置の考案について	松尾寛；田中良仁；進藤靖夫；渡辺保則	96〜100
D10 形交換機 (LS) の負荷特性	中島汎仁；中沢八郎；鈴木輝信；片山勁	101〜108
電話網における位相ジッタの発生原因とその実態	畔上佳三；増田威；広部睦雄；武井務	109〜116
新屋内配線方式	小西隆雄；前田勲治；北川正道；鯨井忠；佐々木弘昭	117〜121
マンホール鉄蓋保守の問題点と対策	高橋洋一；高島久男；海瀬弘司；柴田元宏	122〜128
電話ファックス（VF9 形）の概要	折井正好；今井恒雄	129〜134
施設人のための事業知識 (111) 整備取替費	横山市太郎	136〜139
＜新仕様書の紹介＞無線関係	技術局仕様課	141〜143
海外連絡室ニュース		144〜144
研究実用化報告第 22 巻第 9 号掲載予定論文		145〜145
読書案内 続やさしい電子交換機	池谷寛	140〜140
次号目次 10 月号掲載予定		135〜135

Vol.25　No.10

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉発展する社会と技術開発	小口文一	8〜9
海外におけるデータ端末技術の動向（その 1）	副島弘暉；村田忠明；田中義昭；山下昭蔵	10〜18
コンピュータネットワークサービスの現状と将来	高月敏晴；伊藤宏	19〜29
集積回路技術の動向	小野員正	30〜38
回線開通工事の現状と将来	福増満広；佐藤宗二良	39〜47
即時網保全管理の現状について	今野彦正	48〜55
通信制御装置の技術動向	浅原元次郎；井田智雄	56〜63
画像信号のディジタル伝送	副島俊雄；川上大三	64〜72
新しいマイクロ波中継ルートの置局方法	広川三雄；都倉満	73〜79
とう道方式	福富秀雄	80〜92
電話網における減衰ひずみ・非直線ひずみの実態	古屋昭義；増田威	93〜102
電力設備の騒音防止対策	佐田新一郎；足立泰男；本間哲夫；和光聶二；井下政数；伊東正夫	103〜111
同軸ケーブル用（FDM 方式用）9 システム中継きょう体	小西隆雄；榎並章三；野田馨	112〜119
技術のはなし 画像通信（I）	陸川泰志	120〜125
施設人のための事業知識 (112) 公社の事務近代化	西村正	126〜127
新工法シリーズ CCP-JF ケーブル地下配線建設（土木）	末永茂	128〜135
ニュースフラッシュ		136〜139
海外連絡室ニュース		140〜140
研究実用化報告第 22 巻第 10 号掲載予定論文		141〜141
次号目次 11 月号掲載予定		139〜139

Vol.25　No.11
日本電信電話公社施設局編集

広域時分制への移行完了に際して	米澤滋	12〜13
発揮された公社の総力	秋草篤二	14〜15
＜論説＞広域時分制への切替えを完遂して	北原安定	16〜17
広域時分制工事の実施経過について	斎藤浄	18〜30
広域時分制工事を顧みて	宮川喬；篠原寿人；本田重則；浅野進；三浦洋三；冨士広司	31〜45
＜座談会＞広域時分制の歩んだ道	斎藤浄；高橋承雄；丹野武宣；大橋幸雄；尾崎元彦；武部綱介；式場英；木下光一；山県武夫；河野常夫	46〜60
海外におけるデータ端末技術の動向（その 2）	藤原緝；村田忠明；宮崎末広；山下昭蔵	61〜69
データ通信等のための公衆網利用の実態	式場英；近藤光洋	70〜76
地域気象観測データ通信システムの概要	野口昭雅；山中豊美	77〜86
D10 形自動交換機の商用実績	丹野武宣；石井孝；高村真司	87〜98
最近における商用電力事情	吉沢孟次；鈴木剛次	99〜105
D10 形自動交換機の増設方式	海老原初夫；田島久彰；山本武；吉田稔；大谷裕	108〜115
ラミネートシース化された市内 CCP-AP ケーブル	滝沢純；大島一征；西村憲一	117〜121
本仕化された 4,800bit/s 変復調装置	石川光雄；今城斌；下條義康	122〜131
データ宅内用紙カード入出力装置の概要	田中義昭；近藤賀洋；米野和則；林正博	132〜137
技術のはなし 画像通信（II）	陸川泰志	138〜143
施設人のための事業知識 (113) 諸施設費	長場恒夫	144〜145
新工法シリーズ 高圧ケーブルのプレハブ端末処理工法について	土橋敏男	146〜149
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	153〜155
ニュースフラッシュ		106〜107,150〜152
海外連絡室ニュース		156〜156
研究実用化報告第 22 巻第 11 号掲載予定論文		157〜157
次号目次 12 月号掲載予定		116〜116

Vol.25　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞建築をとりまく最近の情勢	大澤秀行	8〜9
環境問題と建築	沖塩荘一郎；真木昭；谷所藤雄	10〜22
増築工事の実態と対策	小原誠	23〜28
大規模廃熱利用暖房設備の実用化	北川鴻一郎	29〜31
電算機室専用空調機の開発実用化について	高田一	32〜35
「DEMOS 用建築技術計算ライブラリ・プログラムの開発とサービス」の建築学会賞（業績部門）受賞について	桑形松夫	36〜38
オーストラリアおよびタイを視察して	米澤滋	45〜60
グラビア 米澤総裁, オーストラリアおよびタイを視察		39〜44
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	神宮司順；久保田俊昭；岩本久弘	61〜72
大型通信土木工事における安全への技術指針	森本三雄；森本恵二	73〜82
電子交換機の保全状況とその保守について	山縣武夫；佐田衛；根矢一三	83〜89
アルミ導帯の“たわみ”について	小野要一郎；片山強	90〜96
新しい公衆電話機（その 3）	山上功；久我泰三郎；原昭史	97〜105
硬質ビニル管周辺埋戻し材料の試用試験結果	志村博正；虻川哲夫；木原恒彦；福島順一	106〜111
X 線テレビ伝送方式	野口理彦；中島晃；相馬治；今井貞次；折井正好；立松稔	112〜116
技術のはなし 画像通信（III）	陸川泰志	118〜123
施設人のための事業知識 (114) 給与総額	中崎啓祐	127〜127
電気通信関係法詳解	山本孝	117〜117
明日の通信と技術	池本晴雄	125〜126
海外連絡室ニュース		128〜128
研究実用化報告第 22 巻第 12 号掲載予定論文		129〜129
次号目次 1 月号掲載予定		124〜124
昭和 48 年度施設総目次		2〜10

Vol.26　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	8〜9
〈論説〉自信を取り戻そう	庄司茂樹	10〜11
世界のディジタル伝送技術の動向	副島俊雄；冨田邦明	12〜23
座談会 武蔵野通研技術協力部の活動	奈良富三郎；富田泰夫；川本久之助；青柳恵三；谷井琢也；宇治義郎；松前一義；土方昭治；福永顕；川島昭夫; 菅谷繁治；瀬嵐昭四郎；広田欣二；伊井正享；菅原輝雄；平野正弘；松村正一	24〜41
シールド工事における立坑築造の考察	深瀬鋭次郎；姫野梶彦；中村重政	42〜52
本仕化された D10 形自動交換機	石井孝；吉岡正紀；桜井晃；村田正晴；玉利俊一	53〜58
加入電信用トラヒック測定装置	佐川秀行；新井章治；谷公夫	60〜67
本仕化されたアルミ防食鋼より線	志村博正；寺内賢一；佐藤慎；富永秀一	68〜73
青森－函館間海底同軸ケーブル方式布設工事結果	鈴木欽也；三宅将善；岡川忠茂；堀口孝雄；松田秀男；高見沢淳夫；小鷹融	74〜85
新機構を採用した 100bit/s データ宅内装置	野口修；村主義三郎	86〜94
施設人のための事業知識 (115) 総係費	原田道貫	104〜105
市内 CCP-JF ケーブル地下配線建設工法（線路）（その 1）	池田始	95〜103
海外連絡室ニュース		106〜107
研究実用化報告第 23 巻第 1 号掲載予定論文		108〜109
次号目次 2 月号掲載予定		59〜59

Vol.26　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞今後のデータ通信のありかた	朴木実	8〜9
通信局特集 伸びゆく東海	東海電気通信局	10〜27
国内衛星通信の動向	渡辺正信	28〜37
公社データ通信サービスの現状と課題	白根禮吉	43〜55
電気通信技術標準実施方法の現状と今後の課題	加藤晋平	56〜60
最近の線近活動による開発物品について	志村博正；寺内賢一；小西隆雄	61〜68
EDPS 化された伝送路収容設計の実施	柴田正三郎；岸聡一；小山武志；坂部宰一郎；三枝勝美	69〜78
100 万回線突破に寄せて	鈴木立之；浅村伊佐男；青江茂；小野要一郎；出口富義；岡田秀夫；浅野宇一	79〜90
座談会／市外電話回線の建設と保全の現状と課題	鈴木立之；小野要一郎；福増満広；岡田秀夫；浅野宇一；畠山秀勝；吉本健三；千葉昇二；平井新一郎；坂恭一；登米長生；沖谷勇郎；安楽三男	91〜101
昭和 48 年度工事成果発表会から	大和田貞雄；笹岡信一	102〜105
昭和 48 年度保全成果発表会から	小俣典文；大久保凱博	106〜109
民間航空路レーダ情報処理システムの概要	塚本和孝	110〜117
D10 形自動交換機用標準プログラムシステム	川島浩；畠山秀久；後藤俊邦	118〜124
度数計フィルム読取装置	樋口寿宏；山本正浩	125〜129
改良された MK 形 PBX	大和信夫；忠津宏	130〜135
沖縄本島－宮古島間見通し外テレビジョン伝送試験結果	小口廸夫；橋本明；田辺正	136〜143
DT-201 形データ端局装置	石川光雄；篠田康明；黒岩憲二	144〜151
800 メガバイトの記憶容量を有する大容量磁気ディスク記憶装置	高月敏晴；西川正明；川俣勉；岩下安男	152〜157
技術のはなし 画像通信（IV）	陸川泰志	158〜163
施設人のための事業知識 (116) 一般会計・特別会計	古川勇	164〜167
新工法シリーズ 市内 CCP-JF ケーブル地下配線建設工法（線路）（その 2）	池田始；秋山捷正	168〜175
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	177〜178
海外連絡室ニュース		179〜180
研究実用化報告第 23 巻第 2 号掲載予定論文		181〜181
次号目次 3 月号掲載予定		176〜176
昭和 49 年度「施設」編集モニター募集		38〜42

Vol.26　No.3
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞資材業務とロジスティクス	田中浩太郎	8〜9
資材流通体系の改善について	長尾泰一郎	10〜18
私の見てきた中国	植田義明	19〜24
第 14 回技術成果発表会から	松村正一；橋本七郎	25〜29
ヨーロッパの現場機関を訪問して	西山雅雄；森嘉門；田中俊治；伊井正享；大野淳；浅倉典彦；小林義春；庄司喜勝	30〜39
MDF の現状と課題	式場英；大岡睦夫	40〜45
磁気テープ管理プログラム	湯野勉；大内光雄；梶山真一	46〜50
「特殊携帯ウインチ工法」による高層用ケーブル垂直布設工事を施工して	小浜幸央；北村英夫；川口邦男	51〜54
災害応急復旧措置要領の作成	湯浅勝正；川原利勝；土井寿	55〜57
D10 形共通線信号方式	中島汎二；上田正弘；小川喜祥	58〜65
D10 形自動交換機用訓練システム	栗原武雄；秋野吉郎	67〜70
油圧式ケーブルベンダ	北川正道；河嶋稔；志村博正；寺内賢一；長尾史雄	71〜75
IC 化されたデータ伝送用変復調装置	今城斌；土師克巳；下條義康	76〜83
27 チャネル CATV 方式	平塚憲一；滝沢純；立松稔；栩木浩司；吉川光高；山崎芳次	84〜93
カセット磁気テープ装置	金井一夫；堀越政美	94〜99
技術のはなし ソフトウェア（Ｉ）	森岡武	100〜108
施設人のための事業知識 (117) 技術基準	片浦實	110〜111
海外連絡室ニュース		112〜112
研究実用化報告第 23 巻第 3 号掲載予定論文		113〜113
次号目次 4 月号掲載予定		66〜66
質問箱 PCM-24 方式の給電について		109〜109

Vol.26 No.4

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞伝統の上に飛躍を	土井博之	8〜9
新周波数帯の開発とマイクロ回線網の拡大	桑原守二	10〜14
マイクロ回線の建設を推進した工事体制	佐々木敏夫	15〜21
装置の安定化と保全サービスの向上	岡田秀夫	22〜26
マイクロ回線を支える局舎, 鉄塔建築の変遷	高橋滋；河合浩；小泉延樹	27〜34
無線通信技術の動向	渡辺正信	35〜44
「東端」から「TRC」への変身	林義昭	45〜51
大阪 1 統の変遷と今後の問題	中川金次郎	52〜56
鹿児島－沖縄間見通し内回線を保守して	西野孝平	57〜61
マイクロ回線保守に思う	四戸稔	62〜64
医用データ伝送システムの動向	杉浦淳一郎；岡田行雄	65〜72
弾性波測定器による岩石地盤の調査方法	柴田明広；高橋良明	73〜78
PCM-24-1 形 FB 端局装置の警報回路の問題とその対策について	中村巻義	79〜82
急傾斜地におけるショートカット工法について	石原慶治郎；中村正美	83〜86
共通機器閉塞装置を利用しての④回線トーキ挿入方法の改善	福島章元；平林武二；玉木孝司	87〜90
電話網の位相変動の実態－位相跳躍と位相ジッタ	古屋昭義；増田威	91〜97
本仕化された中継 PEF-LAP ケーブル	滝沢純；大島一征；西村憲一；大垣明男	98〜105
テレビ回線制御方式 (MASCOT) の商用試験結果	松本芳郎；碓井孝義；金島正基；酒井克行	107〜114
大容量電力集中監視装置	足立泰男；武井務	115〜122
運輸省自動車登録検査データ通信システムにおけるオンライン端末試験方式 (LATTS)	東千昭；北郷猛；中村泰雄；松下晃	123〜128
240kbit/s データ伝送方式	篠田康明；真柄成一；岡田嘉之	129〜138
販売在庫管理システムの利用者プログラム記述言語 PG/1	羽田正二；藤倉勇；高崎雄三；榎孝芳	139〜145
技術のはなし ソフトウェア（Ⅱ）	森岡武	146〜152
施設人のための事業知識 (118) 公社の仕様書	佐藤清	153〜153
新工法シリーズ 新レジンコンクリート製ブロックマンホールの築造工法	岡淳一；宮本太；福田和宏；松山柾夫	155〜160
＜新仕様書の紹介＞機械関係	技術局仕様課	161〜161
ニュースフラッシュ		162〜163
海外連絡室ニュース	樋口寿宏	164〜164
読書案内 構内電話交換装置	式場英	154〜154
研究実用化報告第 23 巻第 4 号掲載予定論文		165〜165
次号目次 5 月号掲載予定		106〜106

Vol.26　No.5

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞現場に期待する	清水通隆	8〜9
建設技術開発室の最近の動向	桜木俊彦	10〜15
電子交換ソフトウェアの標準化	丹野武宣；村田忠明	16〜27
専用回線保守の現状と今後の課題	岡田秀夫；桜井義郎	28〜31
即時架設体制に備えた加入者線路設備管理方式	武部綱介；近藤正；田中満	33〜43
座談会／即時架設体制をめざして	吉田一弘；谷井良臣；川又浩；横山定吉；金井広義；中川芳栄；先名清；新沢伸夫；福井正之；浅水敏之；谷村三七男；式部綱介	44〜58
PC31 形交換機の CSSF パルス発生供給部障害監視回路の改造について	小倉利行；渥美強；小池孝	59〜62
豊島五丁目団地宅内設備先行配線工事を実施して	本澤登；高石正男；秋山純男	63〜68
T-12SR 中間中継所浸水に対する復旧措置施策	田中謙蔵；金重昭治；国久健一	69〜71
局外統制度装置	大島宏彦；山根堯；宇垣雅秋	72〜76
新しい線路用検電器	北川正直；小橋川格；栩木浩司	77〜80
11GHz2,700ch 方式（SF-T5 方式）	小口廸夫；山本正美	82〜89
調整用標準磁気テープ	橋本正直；川俣勉；横田充	90〜92
技術のはなし ソフトウェア（Ⅲ）	森岡武	93〜101
施設人のための事業知識 (119) 内部資金・外部資金	木原光則	102〜104
海外連絡室ニュース		112〜112
研究実用化報告第 23 巻第 5 号掲載予定論文		113〜113
ニュースフラッシュ		106〜109
新船名は「黒潮丸」に決定		32〜32
「施設」編集モニターの選考発表		105〜105
機関誌「施設」各委員会委員		110〜111
次号目次 6 月号掲載予定		81〜81

Vol.26　No.6
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞くふう	山本孝	8〜9
昭和 49 年度施設計画の概要	池沢英夫	10〜15
豊かなネットワーク作りのために	式場英	16〜17
弾力的な設計	副島俊雄	18〜20
審査課の発足	近藤光洋	21〜24
社会との調和を求めて	岡田清	25〜27
技術と経済性の調和に基づく無線設計	桑原守二	28〜30
経済化と安定化を目標とした電力設計	田川啓次郎	31〜32
生成発展する通信網	一色博	33〜35
昭和 49 年度技術調査研究実用化計画の概要	牧山武一；高田雄二	36〜46
公社柱への線条添架の取扱いについて	西島輝治；白木和雄；越野征人	47〜51
電子交換機のソフトウェア関連業務	村田忠明；青木武司；深海健三；向井暉二	52〜58
海外におけるディジタル交換方式の動向	高橋徹；中村紀典	59〜67
同軸ケーブルしぼり工具の開発について	渡辺武	68〜70
加入者発着信試験等の作業能率の向上について	三浦誠二；小実美知子	71〜74
電話網における PAR（ピーク／平均比）特性の実態	古屋昭義；直井学	75〜81
高損失加入者用プッシュホン	山上功；倉島渡；仲田淳嗣	82〜85
新形支線アンカ	貝渕俊二；浅田和男；長尾史雄	86〜90
テレビ会議方式 ── 方式の概要と試用試験結果	平塚憲一；立松稔；楡井文夫	91〜98
技術のはなし ソフトウェア（Ⅳ）	森岡武	99〜105
施設人のための事業知識 (120) 技術調査研究実用化計画	高田雄二	106〜107
新工法シリーズ 凍結障害防止用 PE パイプの布設工法	森本厚志	108〜110
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	111〜112
海外連絡室ニュース		116〜116
研究実用化報告第 23 巻第 6 号掲載予定論文		117〜117
第 11 回「施設」編集モニターの任期を終えて		114〜115
次号目次 7 月号掲載予定		113〜113

Vol.26　No.7

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新しい立場で考えよう	三宅正男	8〜9
第 43 回電気通信技術委員会の審議から	神宮司順；久保田俊昭	10〜21
将来の線路土木施設	福富秀雄	22〜35
昭和 49 年度施設用物品調達計画	安部孝；田中康弘	36〜42
電電公社の物品購入検査	高橋右一；篠田康明	44〜50
番号計画の動向と課題	浅村伊佐男；阿部正之；倉島渡	51〜64
広域災害時の即時網緊急措置	今野彦正	65〜72
信頼性管理体系の検討	楠五月；阿部安利；渡辺明正	73〜79
電子交換機における局データ設計および局ファイル作成について	井上和夫；福田正憲	80〜84
可搬形局（C1，地集）における蓄電池の均等充電廃止について	佐田新一郎；下平明	85〜91
エンジン燃料系統故障時における燃料ろ出防止対策について	若林友昌	92〜94
直営工事を実施して	加藤宰博；渡辺博志	95〜97
同軸ケーブルクリーピングの検出器	遠田潤也；飯村好朗；村田隆；後藤征男；野田馨	98〜102
市内 JF-LAP 海底ケーブル	鈴木欽也；江口誠；岡川忠茂；大金錬	103〜107
マイクロ波の見通し内海上長距離伝ぱん特性	山田幸輝；松木隆明	109〜114
VTR-24 形搬信端局装置	今城斌；黒岩憲二	115〜122
科学技術計算システム (DEMOS-E) のソフトウェア概要（その 1）	星野孔昭；高橋保之；大川真久；高倉慶充	123〜127
施設人のための事業知識 (121) 積滞管理	田中寿雄	132〜133
新工法シリーズ 局内安全帯	田村建二	129〜131
＜新仕様書の紹介＞宅内関係	技術局仕様課	134〜135
海外連絡室ニュース		136〜136
米澤総裁, 科学技術会議議員に任命される		43〜43
読書案内 通信システムと伝送方式	副島俊雄	108〜108
研究実用化報告第 23 巻第 7 号掲載予定論文		137〜137
次号目次 8 月号掲載予定		128〜128

Vol.26　No.8
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞考える建設を	中久保卓治	8〜9
線路施工上の問題点とその対策	西岡末章	10〜12
“考える施工技術”をめざして	木下光一	13〜21
施工技術の複合化と広い視野での創意工夫	半田重雄	22〜26
大形通信土木における施工技術の現状と将来	及川陽	27〜31
これからの回線開通試験	武内宏允；石山正三郎	32〜36
海上移動通信に関する世界無線主管庁会議に出席して	桑原守二；西野孝平；北倉正一	37〜43
昭和 48 年度技術調査研究実用化の成果概要	荒木宏；中込四郎；橋本七郎	44〜59
昭和 48 年度における武蔵野電気通信研究所協力部の活動	吉田善三	60〜69
C400TNG の回路改造	田嶋力；山下利一；福田年延；浜野茂；関屋武司；高橋保富；小沢寿雄	70〜72
既設局導帯へのフレキシブル導帯挿入工事を実施して	大野英男；野内昭二	73〜75
市内中継アルミ導体ケーブル	滝沢純；大島一征；西村憲一	76〜82
プラスチックケーブル接続点の新しい防食材料	遠田潤也；飯村好朗；浅田和男	83〜86
4〜6GHz 帯用長尺可とう導波管	米岡泰；橋本明	88〜93
高速多重転送を可能とした改良形チャネル	田沼佳夫；松永俊雄；浅野友；小河原武	94〜97
科学技術計算システム (DEMOS-E) のソフトウェア概要（その 2）	星野孔昭；高橋保之；大川真久；高倉慶充	98〜105
携帯形ファックス試験器	折井正好；今井恒雄；三浦明	107〜112
施設人のための事業知識 (122) 利子および債券取扱費	林善治郎	118〜119
新工法シリーズ 搬送機械室における全面ケーブルラック工法の適用範囲の拡大について	山田協右；近松洋三	113〜116
海外連絡室ニュース		120〜120
ニュースフラッシュ		87〜87
質問箱 設備管理値等について		106〜106
研究実用化報告第 23 巻第 8 号掲載予定論文		121〜121
次号目次 9 月号掲載予定論文		117〜117

Vol.26　No.9

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞プロセスの重視	今村徳輔	8〜9
昭和 48 年度の保全成果	坂本貞雄；塩田敬次郎	10〜17
伝送部門の新保全体制について	岡田秀夫	18〜22
伝送技術の動向	坂下隆義	23〜24
東名阪 C-60M ルートの完成	栗林勝；滝沢純；副島俊雄；早野元一	25〜30
同軸ディジタル伝送方式の幕あけ	大蔵恭仁夫；山縣淳	31〜35
座談会／これからの伝送技術	前田光治；福富秀雄；大蔵恭仁夫；栗林勝；副島俊雄；重井芳治；岩橋栄治；田畑晴男；青江茂；坂下隆義	36〜54
量の拡大, 質の向上と伝送設備	副島俊雄	55〜61
同軸伝送方式の草分け	都倉通朗；矢合博；本間猪一郎；三戸部実	62〜63
日本最北端における同軸保守の現状	菅野忠志	64〜66
これからの伝送保全の問題	岡田秀夫	67〜68
昭和 48 年度監査の状況について	中村伸；但馬昭	69〜75
都市災害対策用可搬無線方式（その 1）	高村充；稲田干樹；大坂健；佐野忍	76〜84
新周波数配置による C-60M 方式	榎並章三；後藤征男；野田馨；瀬戸口雅夫；高島元	85〜94
新しい同軸用パルス試験器	滝沢純；後藤征男；野田馨	96〜101
感熱式ノンインパクトプリンタ	平野一哉；石井茂樹；熊元秀次郎	102〜107
科学技術計算システム (DEMOS-E) のソフトウェア概要（その 3）	山口欣二；木原敏明；杉本種男；竹之内篤男	108〜115
技術のはなし 線路・土木（Ｉ）	岡山孝昭	116〜123
施設人のための事業知識 (123) 災害復旧工事	澤口利昭	124〜125
新工法シリーズ 鉄筋構造の共同住宅等へのケーブル配線	山崎一男	126〜129
＜新仕様書の紹介＞データ関係	技術局仕様課	130〜131
海外連絡室ニュース		132〜132
研究実用化報告第 23 巻第 9 号掲載予定論文		133〜133
次号目次 10 月号掲載予定		95〜95

Vol.26　No.10
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉国民福祉の実現のために	米澤滋	12〜15
「施設」創刊 25 周年記念〈座談会〉これからの社会と電気通信	尾佐竹徇；小林宏治；林雄二郎；村野賢哉；小口文一；清水通隆；白根禮吉；輿寛次郎	16〜37
ファイバケーブル伝送の動向	大蔵恭仁夫；貝淵俊二；山縣淳	38〜50
電気通信研究所における最近の活動状況	野田健一	51〜59
網開放に伴う加入電信の技術動向	岡田行雄	60〜66
市外 PEF-P ケーブル保守方法の改善	沢井邦之；幸長敏尚	67〜72
料金局工事における工事試験の改善	三谷安治；折目旭男；杉山晃也	73〜78
JS 形ソフトウェアの基準書制度について	古賀一徳；福岡宣禎；倉地光男；原田昭；大川勉；岡本国弘	79〜84
JS 形／ DIPS ソフトウェア作成に関する作業の標準化	島崎恭一；曽根信義；石部弘一	85〜90
C82 形交換機フレーム識別リード誤地気による異常障害防止回路について	岡崎謙吾；楠幹雄；小林正俊；立川暁宏	91〜94
都市災害対策用可搬無線方式（その 2）	高村充；稲田干樹；大坂建；佐野忍	95〜101
DIPS 用の新しいラインプリンタ	橋本正直；川俣勉；横田充	103〜106
データ宅内装置の保守用試験器	平野一哉；米野和則；村主義三郎；熊元秀次郎	107〜113
PCM1 次群用 PCM-FDM 方式	大蔵恭仁夫；千本倖生；白川英俊	114〜121
民間航空路レーダ情報処理システムのデータ伝送制御手順	中野俊夫；中田博；島谷正三	122〜127
臨時公衆電話の設置方法について	増田淳一	128〜133
烽（奈良時代の緊急通信システム）	中谷邦夫	134〜135
技術のはなし 線路・土木（Ⅱ）	岡山孝昭	136〜142
施設人のための事業知識 (124) 施設建設と自然環境の保護	越野征人	146〜147
〈新仕様書の紹介〉無線関係	技術局仕様課	145〜145
海外連絡室ニュース		148〜148
研究実用化報告第 23 巻 10 号掲載予定論文		149〜149
ニュースフラッシュ		143〜144
次号目次 11 月号掲載予定		102〜102

Vol.26　No.11
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞通信の発展と災害対策	緒方研二	8〜9
事務近代化の課題	鈴木錠造	10〜18
事務近代化 EDP システムの現状	伊藤慎三郎；倉田元稔	19〜29
事務近代化 EDP システムのプログラム	杉原隆；深井康平	30〜37
座談会／事務近代化の推進のために	鈴木錠造；佐藤和夫；中村晴永；倉田元稔；岩本善雄；矢野捷；中矢孝明；大森俊之；関口昌弘；牟田口将人；佐々木信博；鈴木茂	38〜52
国際無線通信諮問委員会 (CCIR) 第 13 回総会の報告	渡辺正信	53〜60
電子交換機における工事試験	木下光一	61〜69
国際自即の現状と今後の課題	丹野武宣；吉田庄司	70〜76
特殊装置付自動車の現状について	貝淵俊二	77〜83
音声帯域用 9,600bit/s 変復調装置	今城斌；土師克己	84〜89
改良された D10 形自動交換機用装置試験プログラム	石井孝；金田好人；榊原一郎；野村幸嗣	90〜95
都市災害対策用可搬無線方式（その 3）	高村充；稲田干樹；大坂建；佐野忍	96〜104
11/15GHz 帯無線 PCM 方式	平林忠夫；向井正	105〜116
技術のはなし 線路・土木（Ⅲ）	岡山孝昭	117〜122
施設人のための事業知識 (125) ソフトウェアセンタ	星野省	124〜126
新工法シリーズ 改版された加入者度数計自動撮影装置の建設工法	石橋好二；阿尾忠信	130〜133
＜新仕様書の紹介＞データ通信関係	技術局仕様課	134〜135
海外連絡室ニュース	加田五千雄	136〜136
研究実用化報告第 23 巻第 11 号掲載予定論文		137〜137
ニュースフラッシュ		127〜129
次号目次 12 月号掲載予定		123〜123

Vol.26　No.12

日本電信電話公社施設局編集

米澤総裁, 米国を視察＜写真集＞		3〜11
米国の電気通信事情	米澤滋	12〜39
＜論説＞建築と命数	大澤秀行	40〜46
変動期を迎えた建築界	宮恭	47〜49
建築標準類の改正	小原誠	50〜58
DEMOS と建築ライブラリ	桑形松夫	59〜64
建築関係法規の動きと局舎建築	沖塩荘一郎	65〜68
建築工法の動向	吉田邦男；新井益喜	69〜77
大阪堂島電電ビル	松田正司	78〜83
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	神宮司順；久保田俊昭；大矢根邦彦	84〜92
過疎地域用加入者線伝送方式（その 1）	栗林勝；榎並章三；広部睦雄	93〜99
アルミ導体防水形 CCP ケーブル	滝沢純；大島一征；尾野憲治	100〜104
DT-202 形通信路変換装置	今城斌；加藤光夫	105〜110
技術のはなし伝送（Ｉ）	栗林勝	111〜119
施設人のための事業知識 (126) 圃場整備と支障移転	白木和雄	128〜129
無線中継所の雷害防止対策建設工法	手島長生；風間信昭	121〜127
海外連絡室ニュース		130〜130
研究実用化報告第 23 巻第 12 号掲載予定論文		131〜132
次号目次 1 月号掲載予定		120〜120
昭和 49 年施設総目次		2〜10

Vol.27　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	8〜11
＜論説＞昭和 50 年代を迎えて	北原安定	12〜13
世界各国の交換技術の動向	丹野武宣；池田博昌	14〜21
海底同軸伝送方式の動向	鈴木欽也；栗林勝	22〜33
最近における異常障害の傾向と対策	坂本貞雄；松尾義明	34〜41
最近における宅内保全の動向	小畑昭雄；守田久雄；秋庭弘；本田六郎	42〜48
青年海外協力隊に参加して ── ザンビア技術協力	関谷俊雄	49〜53
伝送局内装置設計（機器算出）の EDPS 化	宮津純一郎；窪田千秋；小井手明典；酒井小雪；服部功；岡博己	54〜59
クロスバ交換機用新接点保護素子	稲益三夫；鈴木真一；森下俊三	60〜67
過疎地域用加入者線伝送方式（その 2）	大蔵恭仁夫；冨田邦明；石川俊行	68〜75
新しい海底ケーブル埋設装置	鈴木欽也；江口誠；森健二；馬場忠孝	76〜83
本格導入される心線接続機	滝沢純；大島一征；西村憲一；浜谷喜広	84〜93
絶縁バスダクト	小林巽；増田勉	94〜103
フローチャート作成用プログラムの概要	市川貞雄；小関登	104〜111
＜投稿＞無残なつめ跡 ── 小豆島災害	鎌田茂喜；矢井邦夫	112〜116
技術のはなし 伝送（Ⅱ）	大蔵恭仁夫	117〜123
施設人のための事業知識 (127) ジョブエンリッチメント	国府田重遠	124〜125
「本仕化された高速道路用交換装置」の建設工法	五味十四昭；笠井富士彦	126〜128
＜新仕様書の紹介＞データ通信関係	技術局仕様課	130〜131
海外連絡室ニュース		132〜132
研究実用化報告第 24 巻第 1 号掲載予定論文		133〜133
次号目次 2 月号掲載予定		129〜129

Vol.27　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新しい豊かさを探求する創造性の育成	小口文一	8〜9
通信局特集 躍進する中国	中国電気通信局	10〜27
公社データ通信サービスの現状と課題	谷池宏	28〜40
ディジタル伝送方式の 10 年と将来動向	坂下隆義；大蔵恭仁夫	41〜48
屋外作業の安全対策について	矢野光信；坂本松蔵；吉田英一	49〜56
昭和 49 年度工事成果発表会から	岩崎匡利；西田吾郎	57〜60
プッシュホンによる国鉄の座席予約システム	式場英；本田重則；稲益三夫	61〜69
＜座談会＞欧米の現場機関を訪ねて	小原明；坂井奨；木村忠男；寺木長司；藤本利夫；宮崎昭平；郡山運五郎；浦山重郎；山内伸一郎；柴多稔；木村訓朗；池内敏明；秋元由五郎；橋爪敏二	70〜85
ABCDE コード表（全国局名局番等異動状況一覧表）作成業務の機械化	坂井哲雄；高島武男；小林国次	86〜93
広帯域回線におけるインパルス性雑音の実態	古屋昭義；直井学	94〜98
度数計回路試験装置	菅原潔；森田智加生；上野恒夫	99〜102
海底ケーブル巻取装置	江口誠；岡川忠茂；渡辺健二	103〜108
J2045 形料金計算システム用試験プログラム	三谷安治；嶺仁；折目旭男；杉山晃也；谷口功	109〜116
科学技術計算システム (DEMOS-E) の新しいプログラミング言語 PL/I（その 1）	木原敏明；小松清作	117〜122
民間航空路レーダ情報処理システム（その 1）	三好徹；中野俊夫；中田博；鎌田靖彦；島谷正三	124〜135
技術のはなし 伝送（Ⅲ）	大蔵恭仁夫；栗林勝	137〜144
施設人のための事業知識 (128) 予算の流用	新谷正	150〜151
新工法シリーズ 同軸ケーブル防水工法	森本厚志	146〜148
ニュースフラッシュ		145〜145
海外連絡室ニュース		152〜152
読書案内 通信ネットワーク概論	山本孝	149〜149
研究実用化報告第 24 巻第 2 号掲載予定論文		153〜153
昭和 50 年度「施設」編集モニター募集		123〜123
次号目次 3 月号掲載予定		136〜136

Vol.27　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉これからの保全サービス	今村徳輔	8〜9
総論	坂本貞雄	10〜14
複雑・高密度化する交換システムにおける保全	山縣武夫	15〜18
信頼性を高めるための電力保全	川本久之助	19〜21
需給均衡期を迎えての線路保全	鈴木真	22〜23
多様化する宅内保全	小畑昭雄	24〜25
搬送・無線システムの計画的・広域的保全	岡田秀夫	26〜27
これからの電信・データ通信の保全	桜井義郎	28〜30
これからの保全管理	坂本貞雄；山本僖一；塩田敬次郎	31〜37
中央即時網保全管理室発足 10 周年と今後の課題	今野彦正	38〜44
昭和 49 年度保全成果発表会から	小俣典丈；宮脇理	45〜47
現金自動支払データ通信システムの概要	秋山勝；江口宏；有馬七郎	48〜56
車道横断引込線地上高確保対策の試行実施について	木下光一；浅野進	57〜62
JS 形／ DIPS プログラム言語の標準化について	森岡武；住谷永夫；江口景三	63〜68
廃棄プラスチックを利活用した管路用枕木	貝淵俊二；前田喜和；八木高司	69〜73
超高層ビルを利用した無線回線の作成	橋本了；友田耕二	74〜79
新しい整流装置の系列化	小林巽；永田睦義	80〜86
科学技術計算システム (DEMOS-E) の新しいプログラミング言語 PL/I（その 2）	木原敏明；小松清作	87〜92
民間航空路レーダ情報処理システム（その 2）	落合政幸；若井孝光；阿江勉；林知正；滝一郎	94〜103
CRT 形文字表示装置とプラズマ形文字表示装置	大高安弘；中村直司；稲田勇	104〜110
電子交換機直営工事を施工して	東京電気通信工事事務所機械部	111〜116
長距離伝送路網における誘発障害防止方法について	菊井統制電話中継所	117〜122
技術のはなし 伝送（Ⅳ）	大蔵恭仁夫；栗林勝	123〜131
施設人のための事業知識 (129) 部外折衝	白木和雄	138〜139
新工法シリーズ 長・中・短波関係装置の建設工法	田村建二；山内賀喜正	132〜137
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	140〜142
海外連絡室ニュース		144〜144
質問箱 C460A-MFIRL 増設時のチェーン回路の工注について		143〜143
研究実用化報告第 24 巻第 3 号掲載予定論文		145〜145
次号目次 4 月号掲載予定		93〜93

Vol.27　No.4
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞自動交換 50 年にあたって	三宅正男	8〜9
自動交換 50 年のあゆみ	式場英	10〜15
電話網におけるデータ伝送特性	黒田耕司；古屋昭義	16〜21
技術予測をめぐる最近の動向	鍋田衛	22〜30
第 15 回技術成果発表会から	荒木宏；橋本七郎	31〜35
テレビ回線制御方式導入とテレビジョン中継サービス	岡田秀夫；小沢恒夫	36〜39
「構内交換設備等の技術基準」の改正について	牧野正男；浜野憲児；小林詠史	40〜44
公衆通信回線（電話）使用契約に係る技術基準の改正	牧野正男；米田信之	45〜49
シールド工事における裏込注入圧送方式の試行について	中村重政；水沢三代司	50〜54
ITV-4M 方式スタブケーブルの接続による漏話特性について	中村羨保；川上富佐夫；中野雅章；福田正夫；佐藤達一；川澄高一	55〜57
市外機械課で実施した異常時対策とその取組み方について	椋下光成	58〜60
広帯域回線における減衰ひずみ・群遅延ひずみの実態	古屋昭義；小林政樹	61〜66
電子交換先行システム局のファイル入替え	渋谷久夫；上田正弘；船木敏郎；畑山光明	67〜74
新しい海底ケーブルルート調査用機器	鈴木欽也；江口誠；小山忠男；福居一郎	75〜81
科学技術計算システム (DEMOS-E) の新しいプログラミング言語 BASIC	木原敏明；稲毛文夫	82〜89
技術のはなし 交換 (1)	若本孝雄	91〜97
施設人のための事業知識 (130) 電気通信設備工事の契約	吉田信幸	98〜99
プラスチックケーブル接続部の絶縁防護工法	川合清	100〜102
海外連絡室ニュース		103〜104
研究実用化報告第 24 巻第 4 号掲載予定論文		105〜105
次号目次 5 月号掲載予定		90〜90

Vol.27　No.5

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉技術開発の長い道	山内正彌	8〜9
電力技術の動向	山田雅朗	10〜16
電力施設経済設計の推進	田川啓次郎	17〜21
電力施工技術動向	半田重雄	22〜28
転換期に対応する電力保全	川本久之助	29〜34
座談会／電力工事に従事して	半田重雄；富田幹雄；庄本稔；大野英男；近藤昭男；樽井貞行；奥村昭；及川庄孝；藤井康	36〜48
立坑築造における地下連続壁工法の考察	及川陽；三輪充彦	49〜56
市外回線はいかに計画されるか	古田幸作；野村龍夫；片山龍治；菊池隆	57〜67
大阪市外電話局における熱回収方式	渡辺豊；真崎登；黒崎昭雄；豊富博晟	68〜70
DEX 局増設工事における問題点とその対策	吉沢正人；吉見富徳	71〜75
ボイラ制御回路の改造を直営工事で実施して	大久保電話局電力業務改善グループ	76〜77
入選発表	施設編集部	78〜78
記念論文の審査を終えて	佐田衛	79〜79
将来の電気通信技術	奥野淑	80〜83
積滞解消後の事業運営	篠原昭	84〜87
団地における効率的な開通工事と電話機残置方法の試行について	蔦木登；加賀信雄；津坂茂	88〜92
技術講座 C-60M 方式によるテレビ多重伝送	堀口孝雄；高島元	93〜101
技術のはなし 交換（Ⅱ）	若本孝雄	102〜110
施設人のための事業知識 (131) 業務提供物品	渡辺重成	116〜117
新工法シリーズ「加入者線搬送方式（宅内)」の建設工法	鈴木信幸	111〜113
〈新仕様書の紹介〉電信関係	技術局仕様課	118〜118
ニュースフラッシュ		120〜122
海外連絡室ニュース		123〜124
研究実用化報告第 24 巻第 5 号掲載予定論文		125〜125
次号目次 6 月号掲載予定		119〜119
「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	35〜35
機関誌「施設」各委員会委員		114〜115

Vol.27　No.6

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞ちえを生かす	山本孝	8〜9
昭和 50 年度施設計画の概要	宮津純一郎	10〜15
新サービスの拡充と交換・宅内設計	式場英	16〜17
将来を展望した伝送路設計	副島俊雄	18〜20
通信網利用の進展	石野文雄	21〜23
経済化と信頼性を求めて	林実信	24〜26
豊かな社会をつくる移動通信システム	藤岡宏衛	27〜28
通信設備に適合した経済的な電力設計	田川啓次郎	29〜31
長期的視野に立つ通信網計画	一色博	32〜34
昭和 50 年度技術調査研究実用化計画の概要	加藤隆；宍戸宥千	35〜45
クウェイトコンサルタント業務を終えて	豊義秀	46〜49
電気通信科学館のあらまし	加藤隆；長倉功；宍戸宥千	50〜56
ディジタルデータ交換網の概要	川端久喜；千葉正人；安藤高範	57〜66
最近における電子交換機の保全状況	山縣武夫；弓削光雄；山下重雄	67〜71
市内クロスバ用自動集中試験装置における加入者回線試験機能の改善について	広田三郎；島田孝	72〜74
T3 方式切替工事を実施して	金子光徳	75〜77
C-12M 方式無監視局中継所 1 局スルー時における伝送路特性について	岡崎隆次	78〜82
CT-222 形データ宅内装置	平野一哉；石井茂喜；熊元秀次郎	83〜88
2GHz 無線 PCM 方式 (2S-P2)	細田彰；向井正	89〜103
技術のはなし交換（Ⅲ）	若本孝雄	104〜112
施設人のための事業知識 (132) 資金計画	今井晴夫	126〜127
新工法シリーズ SM-D1, SM-A1 方式線路の建設工法	鈴木敏夫	113〜122
ニュースフラッシュ		123〜125
海外連絡室ニュース		128〜128
研究実用化報告第 24 巻第 6 号掲載予定論文		132〜132
読書案内	林義昭	133〜133
次号目次 7 月号掲載予定		129〜129
編集モニターを終えて	編集部	130〜131

Vol.27　No.7

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞資材部門の新しい使命	小西一郎	8〜9
第 45 回電気通信技術委員会の審議から	林義昭；二宮克好	10〜19
転換期の資材業務とその改善	安部孝；田中康弘；石川謙三；松尾紀義	20〜27
昭和 50 年度施設用物品調達計画	安部孝；田中康弘	28〜32
検査部門における物品の品質保証	高橋右一；五十嵐愛武	33〜41
座談会／「黒潮丸」の就航とこれからの海底線技術	益尾興；鈴木欽也；宮原昇一郎；副島俊雄；増田保次；松浦芳久；小島伸哉；蓮尾文武；桑原慎二郎；小泉茂	42〜56
ケーブル敷設船黒潮丸とその布設自動化システム	鈴木欽也；江口誠；松本喜一；竹村慶治郎	57〜73
新装なった黒潮丸の基地横浜海底線工事事務所	飯田光夫；宝木冨士夫	74〜82
電子交換方式の動向	若本孝雄	83〜88
回線開通工事の現状と課題	武内宏允；加藤信之	89〜96
社内システムにおけるオペレーション管理	宮城祐幸	97〜102
東信協システムにおけるセンタ障害時の端末一斉通報方式について	菊池宏；中村二朗；高橋幸一	103〜107
ハンドホール鉄蓋の補修方法の改善	川木曽建吾	108〜110
真空管方式無線機械の保守方法の改善	相原精一	111〜114
D20 形自動交換機（その 1）	稲益三夫；飯野嘉郎；針木篤	115〜122
電子交換プログラム試験システム	村田忠明；畠山秀久；石川秀樹；岡田良一	123〜130
48kbit/s 用 PCM データ端局装置	大蔵恭仁夫；冨田邦明；山下孚；池辺裕昭	131〜138
垂直布設用ケーブル送出し装置の概要	中込四郎；大久保凱博；河島稔；浅田和男	139〜147
沖縄－宮古島間見通し外通信方式	橋本了；松木雅嗣	148〜153
施設人のための事業知識 (133) 工事認証	長場恒夫	154〜155
「電電形さく進工法」	菊池；山北；近藤	156〜162
＜新仕様書の紹介＞	技術局仕様課	163〜164
海外連絡室ニュース		165〜165
研究実用化報告第 24 巻第 7 号掲載予定論文		167〜167
次号目次 8 月号掲載予定		166〜166

Vol.27　No.8
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞これからの計画	輿寛次郎	10〜11
座談会／公社における長期計画の回顧と展望	輿寛次郎；佐々木卓夫；伊藤誠；宮崎政義；井上俊雄；浦川親直；清水通隆	12〜29
公害問題から見た通信土木工事	及川陽；本田健	30〜36
昭和 49 年度技術調査研究実用化の成果概要	荒木宏；太田基晴；橋本七郎	37〜53
昭和 49 年度における武蔵野電気通信研究所技術協力部の活動	青柳恵三	54〜63
最近におけるデータ宅内装置保全の動向	東千昭；金井一夫；松葉猛	64〜69
旭川東光電話交換局火災被害の応急復旧を顧みて	黒田静雄；山口美英；中川栄吉	70〜79
審査から見たデータ通信等の動向	石野文雄；曽根信義	80〜86
販売在庫管理システム保守の改善事例	鳴神康夫	87〜88
電話回線における周波数偏差の実態	古屋昭義；片山孝彦；大森祐逸	89〜93
D20 形自動交換機（その 2）	稲益三夫；飯野嘉郎；高野義朗	94〜100
D10 形自動交換機 R1 方式	高橋徹；栗原武雄	101〜107
改良された市内 CCP-SS ケーブル	後藤征男；野田馨；澤橋剛志；松木健郎	108〜112
全固体化された 11GHz 帯無線方式	橋本了；友田耕二	113〜118
技術のはなし 無線（Ｉ）	西野孝平	119〜124
施設人のための事業知識 (134) 物価変動と請負契約	横山博	130〜131
特殊構造局舎における補強等の建設工法	五味；宮沢	125〜128
ニュースフラッシュ		132〜132
海外連絡室ニュース		133〜133
読書案内	加来億一	134〜134
研究実用化報告第 24 巻第 8 号掲載予定論文		135〜135
次号目次 9 月号掲載予定		129〜129

Vol.27　No.9
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞線路工事近代化に想う	山口開生	8〜9
最近における線路工事近代化活動		10〜10
線路工事近代化連絡会の概要	線路工事近代化連絡会	10〜11
体制分科会の活動概要	曽我部龍夫	11〜13
機器装備分科会の活動概要	貝淵俊二	14〜17
工法分科会の活動概要	大島昭三	18〜20
環境普及分科会の活動概要	斎藤孝市	21〜23
通信土木分科会の活動概要	福井泰之	24〜26
安全分科会の活動概要	矢野光信	27〜29
特別分科会の活動概要	深瀬鋭次郎	30〜33
座談会／線路工事近代化を語る	佐々木卓夫；橋本真澄；妻藤達夫；鈴木清；山野政信；岩永三樹男；山口開生；山崎要；福富秀雄；曽我部龍夫	34〜52
多様化しつつある工事用車両	矢田孝；小澤修一	53〜59
国際協力活動に従事して（その 1）	伊藤義三	60〜65
昭和 49 年度の保全成果	坂本貞雄；塩田敬次郎	66〜72
昭和 49 年度監査の状況について	伊藤和美；但馬昭	73〜79
KJ 法を応用した重要加入者等の障害防止対策について	谷口俊昭	80〜82
D20 形自動交換機（その 3）	稲益三夫；飯野嘉郎；坂田好男	83〜88
限定圧気式シールド工法 (S-101)	西野博；青木輝雄；山田敏夫	89〜96
シルバーホン（あんしん）	山上功；大島宏彦；宇垣雅秋	97〜103
D20 形及び D10 形 R1 方式の電源装置	山村久；小林巽	104〜109
＜投稿＞私達の局で実施している加入者線路設備管理	情野義雄；長谷川強	110〜113
技術のはなし 無線（Ⅱ）	西野孝平	114〜122
施設人のための事業知識 (135) 仮払金と未払金	船岡靖央	126〜128
新工法シリーズ 同軸心の口出し工法	森本	123〜125
海外連絡室ニュース		129〜129
読書案内	山縣武夫	131〜132
研究実用化報告第 24 巻第 9 号掲載予定論文		133〜133
次号目次 10 月号掲載予定		130〜130

Vol.27　No.10

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞国際会議における国際協力活動	緒方研二	8〜9
特集 PCM-100M 方式		10〜28
特集 CCITT 京都会合をめぐって		29〜58
国際協力活動に従事して（その 2）	宮地通	59〜64
保全部門における安全管理の考え方	矢野光信；吉田和人；坂本松蔵	65〜71
スタルペスケーブルの障害減少対策	鈴木重次；桐山朗；大島一征	72〜82
建設工法普及のための一施策	黒田二郎；萩田清一；金本重忠	83〜89
D20 形自動交換機（その 4）	稲益三夫；飯野嘉郎；針木篤；野村純一；春日俊六	90〜96
PCM-100M 方式の商用試験結果及び本仕化予定について	山縣淳；鈴木康之；八木剛	97〜104
応急市内ケーブル	滝沢純；後藤征男；野田馨	105〜110
機械掘さく時の管路土留装置	川崎嘉達；渡辺由美；南出恭孝	111〜116
シルバーホン（めいりょう）	山上功；大島宏彦	117〜123
技術のはなし 無線（Ⅲ）	高村充	125〜130
施設人のための事業知識〔工程管理〕	川野嘉徳	136〜137
新工法シリーズ 心線接続機による接続工法	水口章彦；松浦幹二	131〜134
ニュースフラッシュ		138〜139
海外連絡室ニュース		140〜141
研究実用化報告第 24 巻第 10 号掲載予定論文		135〜135
次号目次 11 月号掲載予定		124〜124

Vol.27　No.11

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉データ通信事業の当面の課題	朴木実	8〜9
ソフトウェア技術の現状と動向	星野孔昭	10〜15
ハードウェア技術の現状と動向	浅原元次郎	16〜20
データ宅内装置の現状と動向	木植和夫；茂出木孝男	21〜25
全国信用金庫データ通信システムの概要	工藤英男；高木良政；天野明；高瀬明	26〜33
〈座談会〉よりよきデータ通信サービスの提供をめざして	谷池宏；茂出木孝男；東千昭；立花佑介；工藤英男；秋山勝；伊藤祐亮；山内淳行；杉山武司; 高橋亨寿；真田悦三郎；工藤一；久保孝真；小林公；山本格；伊藤実	34〜47
保全業務近代化の成果	坂本貞雄	48〜55
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	林義昭；二宮克好；大矢根邦彦	56〜66
福祉対策用宅内装置開発の現状と動向	佐々木幸彦；山上功；大島宏彦	68〜75
国際協力活動に従事して（その 3）	梶原明	77〜81
交換機のトラヒックふくそうに対する考察	向井暉二；松本精六	82〜88
D10 形自動交換機の増設工事	木下光一	89〜96
広帯域対形ケーブル	滝沢純；大島一征；関口明良	97〜102
データ宅内用作図装置	里見一誠；堀越政美；渡辺俊明	103〜107
亜鉛空気電池	山村久；浅埜正吾	108〜111
ファックス自動試験装置	折井正好；稲垣裕也；三浦明	112〜116
〈投稿〉DT-121 形データ宅内装置の宅内対向通信開始時における雑音受信の除去について	田中善八；松本昌臣；目静夫	117〜118
技術のはなし 無線（IV）	高村充	119〜125
施設人のための事業知識 (137) テクノロジー・アセスメント	古屋昭義	126〜127
新工法シリーズ H 形鋼による空中線基礎げた工法	佐々木昭；山内賀喜正	128〜132
海外連絡室ニュース		133〜134
ニュースフラッシュ		135〜136
質問箱 自動公衆電話機パッド等について		76〜76
研究実用化報告第 24 巻第 11 号掲載予定論文		137〜137
次号目次 12 月号掲載予定		67〜67

Vol.27　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞建築と美しさ	小野哲男	8〜9
電電建築技術の現状と動向	関谷辰延	10〜14
最近の局舎建築構造とその技術	木村栄一	15〜23
建築の工事品質管理について	厨川昭二；吉田邦男；河合正雄；新井益喜	24〜35
横浜仏向無線中継所コンクリートタワーの施工	杉山正禧；河合浩；池田正夫；岩城守男；迫英介	36〜42
局舎の防火設備	青川清治	43〜47
電気通信網の大規模障害時の回復措置のあり方	平野元一	48〜56
米国における最近の医療情報システムの動向	飯田徳雄	57〜62
PCM 方式に関する電話伝送基準の改定	黒田耕司；片山孝彦；畔上佳三	63〜71
マンホールのダクト部分破砕工法	寺尾礼二；岩田美人	72〜76
ケーブル移動現象の調査結果	後藤征男；村山元；武藤政雄；河島稔；大内一也；塚田栄雄；大橋仁視	77〜83
下部帯域データ伝送方式	細田彰；杉田裕次；松本正；石川俊	84〜89
新しい信号電源装置	山田雅朗；陰山照男；浅野昇	90〜97
連続帳票を使用する加入電信宅内装置	野口修；名波光彦	98〜101
技術のはなし 無線（V）	伊藤雄一	103〜108
施設人のための事業知識〔投資効率〕	鈴木昶夫	114〜115
新工法シリーズ 市外電話回線開通工法「一般」	竹内哲彦	109〜113
＜新仕様書の紹介＞線路関係	技術局仕様課	116〜117
海外連絡室ニュース		118〜118
研究実用化報告第 24 巻第 12 号掲載予定論文		119〜119
昭和 50 年施設総目次		1〜10
次号目次 1 月号掲載予定		102〜102

Vol.28　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	8〜11
＜論説＞電話誕生 100 年にあたって	北原安定	12〜13
DIPS-11 の概要	山田正計；信国弘毅	14〜18
DIPS-11 の導入に伴う諸問題	谷池宏；塚本和孝	19〜24
電気通信研究所における最近の活動状況	森永隆広	25〜35
諸外国における映像通信システムの動向	小林登；平塚憲一；稲塚和郎；石川定義	36〜43
自動通知案内装置を利用した不在案内	式場英；北居猛夫；稲益三夫；鈴木真一	44〜49
住宅電話の美観と省力化を目指して	式場英；谷島厚吉	50〜54
公衆電話の保全の現状と課題	竹内清三郎；本田六郎；山崎浩	55〜63
マイクロ無線中継所の雷害対策	上池啓一；向笠和夫；小林巽；腕木治；秩父清；打土井和夫	64〜74
加入者度数計監査装置の小形化	稲益三夫；鈴木真一；武智伸三	75〜79
D20 形自動交換機の施設設計の概要	中田静馬；浜野紘一；山本武	80〜86
為替通信用 DT-237 形データ宅内装置	平野一哉；石井茂喜	87〜92
CT-27 形 CATV 方式	平塚憲一；柿原英人；加藤洋一；滝沢純；大島一征；高江洲文雄	94〜100
技術のはなし－宅内（Ｉ）	佐々木幸彦	101〜105
施設人のための事業知識 (139) 会計決算システム	阿部清	107〜108
新工法シリーズ C14 形（局舎形式）の建設工法	川井泉美；谷内博司	109〜112
新仕様書の紹介		113〜114
海外連絡室ニュース		115〜116
研究実用化報告第 25 巻第 1 号掲載予定論文		117〜117
次号目次		106〜106
昭和 51 年度「施設」編集モニター募集		93〜93

Vol.28　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞よりよい保全への道	今村徳輔	8〜9
通信局特集 日本海時代を迎える北陸	北陸電気通信局	10〜27
最近の建設工事品質	井深次郎	28〜35
整理品利活用の推進について	安部孝；田中康弘；藤井昭吉；平栗要	36〜44
通信ケーブルのガス保守技術の動向	福富秀雄；鈴木真	45〜55
可搬無線機運用の現状と今後のあり方	野口昭雅；四戸稔	56〜61
災害時における同軸ケーブル方式の応急復旧方法	江島已治；江尻正義；内川治昌	62〜69
第 5 回現場管理者海外派遣研修報告	長谷川明男；村山惇樹；長谷川慎；白井泰哲；白石冨士男；中野正照	70〜80
国際協力活動に従事して（その 4）	三島義郎	81〜86
広帯域ファクシミリの画像品質	黒田耕司；庄司滋彦；小林政樹	87〜96
旭川東光電話交換局火災被害の本復旧工事を顧みて	稲田邦雄；平工賢太郎；大門幸徳；石原久男；渡会市四郎；丸山勉	97〜103
地域気象観測データ通信システムの設計とその効用をめぐって	榎田久夫；大前義次；松井敬久	104〜110
公衆電気通信設備工事担任者資格試験の現状	広瀬正雄；水芦一哲；斉藤恒夫	111〜116
回線開通工事線表の EDPS 化	安永治男；太刀川健一；小林国治	117〜124
D20 形自動交換機の施設設計概要（その 2）	中田静馬；浜野紘一；山本武	125〜135
過疎地域用加入者交換方式	稲益三夫；飯野嘉郎；針木篤	136〜141
過疎地域用加入者線無線方式	萩原忠利；山添哲郎；鈴木雄二；上原譲治	143〜148
中容量局用電力集中監視装置	陰山照男；浅野昇	149〜153
画像処理システム用シミュレータ	大石洋太郎；前田宜志；安川克彦；大井田孝	154〜161
技術のはなし 宅内（Ⅱ）	佐々木幸彦	162〜169
施設人のための事業知識 (140) 橋梁添架	川原修庸；大泉清	174〜176
ラッシングマシンによるケーブル架渉	荒川	171〜173
ニュースフラッシュ		177〜179
海外連絡室ニュース		180〜180
研究実用化報告第 25 巻第 2 号掲載予定論文		181〜181
昭和 51 年度「施設」編集モニター募集		142〜142
次号目次 3 月号掲載予定		170〜170

Vol.28　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉新しい通信網への布石	三宅正男	8〜9
公社データ通信サービスの現状と課題	谷池宏	10〜22
電気通信自主技術開発史（交換編）について（その 1）	伊藤慎三郎	23〜28
加入者ケーブルの新しい配線管理	鈴木重次；桐山朗；山根堯	29〜34
宅内工事に即応するための設備保留方法	野村昭五郎；坂口康美；前田恒雄	35〜38
国際協力活動に従事して（その 5）	黒田寿彦	39〜44
第 5 回現場管理者海外派遣研修報告（その 2）	鳥之海伊助；小林拓夫；乃美清吉；山口孝延；山田克己	45〜50
大阪堂島電電ビルの通信用電力設備	森勇；広井悟；富田幹雄；吉沢務	51〜60
農林省生鮮食料品流通情報データ通信システムの概要	高嶺安雄；田村文彦；三上宣昭	61〜76
D10 形自動交換機 R1 方式の施設設計	中田静馬；浜野紘一	77〜89
長距離用 CS-36M-D2 海底同軸ケーブル方式（その 1）	堀口孝雄；篠原進；松田英男；中浜博；佐藤登	90〜97
長距離用 CS-36M-D2 海底同軸ケーブル方式沖縄－宮古間布設工事結果	鈴木欽也；岡川忠茂；篠原進；蓮尾文武；杉谷叡彦	98〜107
20 字／秒キーボードプリンタ並びに DT-3E 形入出力試験器	平野一哉；熊元秀次郎；日向実	108〜112
20GHz 無線 PCM 方式（その 1）	西野孝平；細田彰；向井正；山崎文昭	113〜121
〈投稿〉ボリビアの電気通信事情と ITU 電気通信訓練センタ	原口正美	122〜125
技術のはなし 宅内（Ⅲ）	山上功	126〜135
施設人のための事業知識 (141) 技術管理	橋本七郎	136〜137
度数計フィルム読取装置の建設	杉山晄也	138〜142
新仕様書の紹介	技術局仕様課	143〜144
海外連絡室ニュース		146〜146
研究実用化報告第 25 巻第 3 号掲載予定論文		147〜147
次号目次 4 月号掲載予定		145〜145

Vol.28　No.4

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞クリーンリサイクル活動について	緒方研二	8〜9
電気通信設備に必要な資源の将来	福富秀雄	10〜20
内外のエネルギー問題と公社における取組み	渡辺義彦	21〜29
最近の通信土木工事における工事折衝の諸問題	佐々木康雄；本田健	30〜36
電気通信自主技術開発史（交換編）について（その 2）	伊藤慎三郎	37〜42
MDF の問題点とその対策を求めて	式場英；波若雅夫	43〜51
「供給線路の技術基準」の改正について	篠崎一也；濱野憲児	54〜59
データ通信センタ保全の最近の動向	東千昭；上村安雄；川野辺一清	60〜66
通信回線におけるデータトラヒックの調査結果	清水博一；河野信一	67〜73
長距離用 CS-36M-D2 海底同軸ケーブル方式（その 2）	堀口孝雄；松田英雄；中浜博；江口誠	74〜84
新しい局内成端隔壁用混和物	後藤征男；中嶋龍史	85〜90
20GHz 帯無線 PCM 方式（その 2）	西野孝平；細田彰；向井正；小林巽	92〜100
JS1010 形情報処理装置本体装置	塩月安朗；田沼佳夫；小河原武	101〜110
投稿 D10 形自動交換機（市外）のファイル入替及びネットワーク増設工事を施工して	東京電気通信工事事務所機械部	111〜116
技術のはなし－宅内（IV）	牧野正男	117〜127
施設人のための事業知識 (142) 公共投資	高橋国広	128〜129
新工法シリーズ 新しい住宅用埋込配線の施工方法	森田千三	130〜136
海外連絡室ニュース		138〜138
研究実用化報告第 25 巻第 4 号掲載予定論文		139〜139
次号目次 5 月号掲載予定		91〜91
機関誌「施設」各委員会委員		52〜53
読書案内	関根敏雄	137〜137

Vol.28　No.5
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞メーカとの相互信頼	糸井榮一	8〜9
物品購入検査における「試験」から「検査」への発展とその原理	田中英一郎	10〜20
座談会／物品購入検査の近代化を振返って	茅野健；東忠夫；肥後大介；唐津一；佐々木正俊；阿部正雄；小西省三；糸井榮一；山本太郎；大前義次；高橋右一	22〜40
高信頼性物品の購入検査	篠田康明；五十嵐愛武；小泉重二；竹川明	41〜50
大束伝送路障害時のサービス確保	野口昭雅；長瀬勝巳	51〜57
広帯域回線における単一周波雑音の実態	庄司滋彦；小林政樹；加藤斉	58〜62
C45 形自動交換機へのプッシュホン収容機能付与について	鈴木真一；館山栄蔵；波若雅夫；石井正已	63〜68
長時間監視が可能な有毒ガス警報器	中込四郎；大久保凱博；青鹿詔一；後藤征男	69〜74
ハードウェアモニタによるコンピュータシステムの評価方法	島谷正三；斉藤薫	75〜82
局内火災に対する復旧事例を作成して	安田寛；大野哲男；長野守郎；土本時康；池川清；野村嘉彦；藤村平男；川島克之；松原正克	83〜89
技術のはなし 電力（Ｉ）	山田雅朗	91〜97
施設人のための事業知識 (143) 約定整理品〔(E) 整理品〕	平栗要	98〜99
新工法シリーズ 加入者度数計回路試験装置の建設工法	川井泉美	100〜103
ニュースフラッシュ		104〜105
海外連絡室ニュース		106〜106
研究実用化報告第 25 巻第 5 号掲載予定論文		107〜107
次号目次 6 月号掲載予定		90〜90
「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	21〜21

Vol.28　No.6

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞これからの公社の技術開発について	前田光治	12〜13
“電話 1 世紀”を経て	村井勇夫	14〜21
最近におけるデータ伝送用回線保全の動向	東千昭；金井一夫；長沢彰	22〜30
国際協力活動に従事して（その 6）	栗木富男	31〜37
屋内配線を探索する宅内用索線器	山上功；鈴木邦男；中村信吾	42〜45
改良された無駐在交換局用の障害転送・制御装置	竹原一夫；奥山鞆造	46〜53
銃弾及び鳥虫獣害を防止する市内 CCP-CS ケーブル	石原広司；高江洲文雄；石井隆義；滝沢佑吉	54〜58
環境情報データ通信システムの情報検索方式	松木光晴；正津禎男；大橋旦；桑原信夫	59〜69
MSC-17A 伝送路切替装置を利用した搬送波供給系統の瞬時切替方法の紹介	野島信則；原英雄；佐味豊治；山下進	70〜80
ACTF 試験作業の効果的な進め方について	芦川政晴	81〜95
技術のはなし 電力（Ⅱ）	山田雅朗	96〜101
施設人のための事業知識 (144) 外貨電信電話債券（外債）	棚橋信之	102〜106
新工法シリーズ 柔構造局舎内の搬送機械室基礎建設工法	山田協右	108〜111
海外連絡室ニュース		112〜112
研究実用化報告第 25 巻第 6 号掲載予定論文		113〜113
次号目次 7 月号掲載予定		107〜107
第 13 回「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	38〜41

Vol.28　No.7

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞これからの建設投資	長田武彦	8〜9
昭和 51 年度施設計画の進め方について	宮津純一郎	10〜15
有機的なネットワークを目指した交換宅内設計	高橋徹	16〜17
現在と将来の調和を求めた伝送路設計	橋爪敏二	18〜20
変化する需要構造に対応して	石野文雄	21〜22
需給均衡時における線路設計	林実信	23〜25
線から面への転換	藤岡宏衛	26〜27
きめ細かな設計	田川啓次郎	28〜31
電話網の充実と新しい網	小泉洋次	32〜33
第 47 回電気通信技術委員会の審議から	林義昭；二宮克好	34〜44
昭和 51 年度技術調査研究実用化計画の概要	加藤隆；村田清六；水野谷大之進	45〜53
昭和 51 年度建設技術開発計画の概要	川上庄造	54〜58
昭和 50 年度における武蔵野電気通信研究所技術協力部の活動	青柳恵三	59〜68
昭和 50 年度の物品購入検査結果	福増満廣；黒田実	69〜74
データ伝送制御手順の動向	加来億一；田中義昭；松井嘉正；苗村憲司	75〜80
折曲げホーンリフレクタアンテナと小形群分波器	大井次郎；山田幸輝；及能調	81〜87
低騒音移動発電装置	山村久；浅埜正吾	88〜92
PCM-400M 方式（その 1）	大蔵恭仁夫；山縣淳；山下孚	93〜99
技術のはなし－電力（Ⅲ）	山田雅朗	100〜106
施設人のための事業知識 (145) 補正予算	澤口利昭	110〜111
新工法シリーズ 支線アンカの建設工法（改良すき形アンカ）	大沢達宏	107〜109
海外連絡室ニュース		115〜116
研究実用化報告第 25 巻第 7 号掲載予定論文		117〜117
ニュースフラッシュ		112〜113
次号目次 8 月号掲載予定		114〜114

Vol.28　No.8

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞国際協力を担う	太田勇	8〜9
国際協力の現状	坂口正人	10〜15
座談会「これからの海外技術協力」	斉藤雄一；上原亨；栗木富男；松本芳郎；福山潔；越川定夫	16〜28
国際無線通信諮問委員会 (CCIR) の活動状況	西野孝平	29〜36
資材業務の現状と今後の課題	西村通男；土屋治昭；石川謙三；小山周	37〜44
昭和 50 年度技術調査研究実用化の成果概要	水野健二；太田基晴；高畠一純	45〜60
光ケーブル伝送技術の展望	島田禎晉；山縣淳；小山正樹；三木哲也	61〜74
ディジタル伝送路網技術の将来展望	副島俊雄；田崎公郎	75〜82
電話網における FAX 伝送特性	黒田耕司；庄司滋彦；加藤斉	83〜90
電力設備の保全状況とこれからの電力保全	佐久間勇英；志田久光	91〜95
高周波交流を用いた大容量可搬形電源装置	古川正三；吉野隆	96〜102
JS1020 形情報処理装置本体装置	田沼佳夫；金子哲夫；中村孝；近藤清麿	103〜114
PCM-400M 方式（その 2）	山縣淳；浅田和男；山下孚；上野谷拓也	115〜125
D10 形自動交換機における TLS 局の階梯分離	大野茂；船木敏郎；佐野哲夫；堂前雅夫	126〜135
新しいケーブル架渉工法	松井真澄；石井隆義；高津須賀生	136〜141
技術のはなし データ通信（Ｉ）	木植和夫；高月敏晴	142〜148
施設人のための事業知識 (146) 電話帳	小林徹	154〜156
電話回線用網制御装置建設工法	鈴木信幸	149〜153
海外連絡室ニュース		157〜157
研究実用化報告第 25 巻第 8 号掲載予定論文		159〜159
次号目次 9 月号掲載予定		158〜158

Vol.28　No.9

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新しい前進のために	山口開生	8〜9
これからの建設工事のために		10〜10
岐路に立つ建設工事	井深次郎	10〜13
ゼロ災害を目指して	黒田二郎	14〜17
施工環境とシビルエンジニヤリング	村上文章	18〜21
より質的充実を	新井満男	22〜25
高度化・多様化する施工技術	岡島三郎	26〜29
巨大化したネットワークの建設工事	三浦洋三	30〜34
建設技術開発の新たな展開		35〜35
躍進する建設技術開発	川上庄造	35〜38
明日の線路技術を目指して	武部綱介	39〜44
通信土木技術の新たな展開	深瀬鋭次郎	45〜50
ユニークな筑波建技センターの活用	及川陽	51〜53
座談会「工事折衝苦心談」	斎伯哲；村上文章；及川勝夫；丹沢保盛；長原昭彦；土生順平；平山正彦；渡辺謹久；斎藤正和；桂一成；菅正義；友枝昭蔵	54〜67
今後における加入者線路設計方法	林実信；朝蔭裕；川瀬明博	68〜73
AIS 改造工事に伴う切替を終えて	宮城守夫；高橋功一；清水厚敬；寺本州宏	74〜80
諸外国の電気通信事情（その 1）	荒井幹雄；広田真一郎；松本芳郎；高木邦寛；池上藤雄；丸山五和男	81〜102
マイクロ波方式による電話・カラー画像同時伝送	西野孝平；小檜山賢二；小林忠男	103〜108
東京－大阪間テレビ会議方式	平塚憲一；柿原英人；瓜生延彦	109〜117
15MB 磁気ドラム記憶装置の概要	富田正典；江口景三；横田充	119〜125
プログラム制御による通信制御装置	加来億一；大原明雄；宇治則孝；前田英昭	126〜136
技術のはなし データ通信（Ⅱ）	伊藤宏	137〜143
施設人のための事業知識 (147) 第三者補償	村岡浩	148〜149
新工法シリーズ シールド式とう道内コンクリート巻立工法	近本昇太郎；中田忍；黒木俊一	144〜147
海外連絡室ニュース	冨田邦明	150〜150
研究実用化報告第 25 巻第 9 号掲載予定論文		151〜151
次号目次 10 月号掲載予定		118〜118

Vol.28　No.10
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞同軸方式 20 年に想う	山本孝	8〜9
同軸ケーブル伝送方式開通 20 年に際して	副島俊雄	10〜11
同軸ケーブル伝送方式の発展経緯	副島俊雄；立岡芳彦；橋爪敏二	12〜18
同軸ケーブルの開発・導入経緯について	貝淵俊二；林実信	19〜26
同軸ケーブル方式の建設を推進した施工技術の変遷	岡島三郎；加藤隆；広隆千歌夫	27〜31
同軸ケーブル方式の保全	野口昭雅；宮脇崇夫	32〜39
座談会「同軸ケーブル伝送方式 20 年の歩み」	北原安定；緒方研二；山本孝；前田光治；重井芳治；青江茂；妻藤達夫；朴木実；伊佐進	40〜56
データ通信システム開発技術の現状と動向	星野孔昭；藤井友位	57〜62
昭和 50 年度監査の状況について	伊藤和美；山田達之	63〜68
米国における付加価値通信業者とその通信処理サービスの動向	高月敏晴	69〜77
神奈川県救急医療情報データ通信システムの概要	飯田徳雄；豊田成；栗本武	78〜84
諸外国の電気通信事情（その 2）	岡部恒雄；冨田邦明；池上藤雄；本多慶成；庄司正志；橋口幸生；小林一之助	85〜103
昭和 50 年度の保全成果	渋谷多喜夫；石榑宣大	104〜110
無線施設の集中監視制御方式 CCD 形監視制御装置	渡辺健；津田志郎；熊谷力夫；渡辺敏夫	111〜117
新大容量インバータ	古川正三；塩見栄次郎；四元勝一；室山誠一	118〜124
オンラインシステムの障害復旧の自動化方式	阿江勉；木室貞彌	125〜130
技術のはなし データ通信（Ⅲ）	星野孔昭	131〜136
施設人のための事業知識 (148) 固定資産の受渡と管理	菅原城	138〜140
新工法シリーズ 非常用自動交換装置改良に伴う建設工法	川井泉美；谷内博司	142〜147
質問箱 高周波接栓（U リンク）について		141〜141
読書案内「マイクロ波通信」	林義昭	148〜148
海外連絡室ニュース		149〜150
研究実用化報告第 25 巻第 10 号掲載予定論文		151〜151
次号目次 11 月号掲載予定		137〜137

Vol.28　No.11
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞建築とコスト	小野哲男	8〜9
施設局舎等における防火対策の改善	喜多幸次郎	10〜16
公社における建築の工業化と最近の成果	栃本邦夫；桑原達雄；斎藤光巧	17〜22
マイクロ無線施設における建築新技術	望月一郎	23〜28
建築における省エネルギー	野口徳信	29〜33
武蔵野電気通信研究所の建築研究施設	石神絢夫；沢辺幸夫	34〜37
電気通信研究所における最近の活動状況	丸林元	38〜46
電話網の品質について	黒田耕司；片山孝彦；清水博一；藤井徹	47〜56
諸外国の電気通信事情（その 3）	荒井幹雄；広田真一郎；野口隆；飯島幸雄；池上藤雄；金谷喜代志；清水正能	57〜78
DIPS を用いた販売在庫管理システム（JS 形 DRESS）の概要	岩山政敏；伊藤祐亮；藤田宗太郎；佐藤博美	79〜84
改良された硬質ビニル管	奥村強；福鹿実	85〜88
全密閉形鉛蓄電池	塩見栄次郎；吉野隆	89〜92
DIPS を用いた販売在庫管理システムのソフトウェア（その 1）	伊藤祐亮；三上義隆；伊藤雅生；平博忠	93〜99
技術のはなし通信網（Ｉ）	式場英	100〜104
施設人のための事業知識 (149) 行政管理庁と行政監察	栗原武夫	106〜107
新工法シリーズ セメントコンクリート製ブロックマンホール築造工法	菊池征也；伊藤昭夫；宮川政秋	108〜111
海外連絡室ニュース		113〜114
研究実用化報告第 25 巻第 11 号掲載予定論文		115〜115
読書案内 現場における創造性開発手法	江副力	112〜112
次号目次 12 月号掲載予定		105〜105

Vol.28　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞電子交換への道	三宅正男	8〜9
電子交換機の開発を顧みて	城水元次郎	10〜15
電子交換技術の動向	若本孝雄	16〜22
電子交換機の導入と施設設計	小泉洋次；高橋徹	23〜29
電子交換機建設工事の歩み	新井満男	30〜35
100 ユニットを迎えた電子交換機の保全	上遠野浩	36〜40
座談会/交換技術の将来	福富礼治郎；若本孝雄；高月敏晴；高橋徹；小泉洋次；新井満男；上遠野浩；五嶋一彦；池田博昌；飯村二郎	41〜53
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	林義昭；二宮克好；片桐清志	54〜63
昭和 51 年度本社計画による防災演習の概要	黒田静雄；梶田豊	64〜68
DEMOS-E 土木ライブラリについて	今村宏司；島田承男；小泉文夫	69〜75
諸外国の電気通信事情（その 4）	高岡博之；池上藤雄；丸山五和男	76〜81
200MB 磁気ディスク記憶装置の概要	富田正典；江口景三；岩下安男	82〜88
DIPS を用いた販売在庫管理システムのソフトウェア（その 2）	伊藤祐亮；三上義隆；佐藤雅生；平博忠	89〜95
商用化された太陽電池式電源装置	斎藤礼一；山村久；浅埜正吾	96〜100
技術のはなし 通信網（Ⅱ）	式場英	101〜107
施設人のための事業知識 (150) 電話料金等の改定	岩井真	108〜110
新工法シリーズ 太陽電池式電源装置建設工法	佐原啓三；山内賀喜正	111〜113
海外連絡室ニュース		114〜114
昭和 51 年施設総目次		2〜10
次号目次 1 月号掲載予定		115〜116

Vol.29　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	米澤滋	8〜11
整備確立された DIPS 導入体制	谷池宏；塚本和孝	12〜17
ファクシミリ高速化の動向	小林登；折井正好；結城皖曠	18〜23
国際電信電話諮問委員会 (CCITT) 第VI回総会	岡部恒雄	24〜30
データ通信システムの保全	東千昭；脇阪隆夫；金井一夫；杉山進	31〜38
高信頼性物品の購入検査	去来川大；名小路晹之；窪島秀雄	39〜47
諸外国の電気通信事情（その 5）	池上藤雄；金谷喜代志；新国富生	48〜55
最近のケーブル接続技術	貝淵俊二	56〜65
一般用コードレス電話方式	高村充；萩平忠利；辻村清行	66〜70
搬送施設の集中監視制御方式（その 1）	江島巳治；江尻正義；宮崎勇	71〜76
TZ 形接続試験器	山添哲郎；宮内幸市	78〜81
ユニット化された直流電圧変更装置	陰山照男；村井喬	82〜85
DIPS を用いた販売在庫管理システムのソフトウェア（その 3）	吉井浩一；清宮茂述；細谷克也；春木孝文；井口友則	86〜92
JS1030 形情報処理装置本体装置	田沼佳夫；中村孝；鍋嶋義朗	93〜103
技術のはなし－通信網（Ⅲ）	式場英	104〜109
施設人のための事業知識 (151) 公社の内部監査	水王雅行	110〜111
市外 PEF-LAP ケーブルの建設工法	吉沢一；金子壬三	112〜118
海外連絡室ニュース		119〜120
研究実用化報告第 25 巻第 12 号掲載予定論文		121〜121
次号目次 2 月号掲載予定		77〜77

Vol.29　No.2
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉明日の無線を考える	松本高士	8〜9
ディジタル無線技術の動向	桑原守二	10〜17
無線周波数の開発と電波の有効利用	藤岡宏衛	18〜24
20GHz 帯無線 PCM 方式回線の建設工事を終えて	木村吉朗；清水直	25〜32
座談会／明日の無線を語る	土橋英生；西野孝平；高村充；二宮靖彦；田保瑞夫；斎藤健；川船武則；広川三雄；山本誠実；佐藤征紀；中村嘉男	33〜52
通信局特集 需給均衡を迎えた関東	関東電気通信局	53〜70
諸外国におけるデータ交換網サービスの動向	高月敏晴；千葉正人；石川宏	71〜79
DIPS 標準バンキングシステムの概要（その 1）	八橋主計；長谷川正雄；香村求	80〜87
電力設備における運転保全上の諸問題と対策	藤村晟一；伊島勲；佐藤俊彦	88〜92
諸外国の電気通信事情（その 6）	岡部恒男；冨田邦明	93〜98
本仕化された応急市内ケーブルシステム	石原広司；高江洲文雄；桐山朗	100〜106
6250 RPI 磁気テープ記憶装置	富田正典；江口景三；大沼猛光	107〜113
搬送施設の集中監視制御方式（その 2）	篠原進；高橋勇	114〜120
マイクロ波方式の伝送容量増大の技術	西野孝平；大井次郎；橋本明；山後純一	121〜128
施設人のための事業知識 (152) かし坦保責任	岡野実	130〜131
新工法シリーズ 岩盤地における共架柱の建設工法	佐久間実；中島敏治	132〜134
ニュースフラッシュ		135〜138
海外連絡室ニュース		139〜140
質問箱		129〜129
研究実用化報告第 26 巻第 1 号掲載予定論文		141〜141
次号目次 3 月号掲載予定		99〜99

Vol.29　No.3
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞電話宅内技術の発展の方向	小口文一	12〜13
電話宅内機器の需要構造の変化と技術開発	堀場信雄	14〜16
電話機研究の最近の動向	苗村明；浮津憲一	17〜19
顧客サービスの拡充を目指す宅内施設設計	高橋徹	20〜22
自営付属設備の最近の動向	石野文雄；篠崎一也	23〜25
多様化する宅内工事	新井満男	26〜29
新サービスと宅内保全	竹内清三郎	30〜33
座談会／これからの電話宅内技術の展望	城水元次郎；堀場信雄；山上功；牧野正男；高橋徹；石野文雄；苗村明；松田亮一；鈴木邦男；小畑昭雄；秋庭弘；竹原熙	34〜47
公社データ通信サービスの現状と課題	谷池宏	48〜61
審査からみたデータ通信等の動向	石野文雄；曽根信義	63〜69
網制御装置・回線保護装置等の保全について	成田譲；山崎浩	70〜76
DIPS 標準バンキングシステムの概要（その 2）	八橋主計；長谷川正雄；香村求	77〜83
第 6 回現場管理者海外派遣研修報告（その 1）	志川健一郎；坂野満郎；西尾淳；染矢茂；渡辺英治	84〜91
JS 形共通ソフトウェアのマスタファイル更新方式	高井啓；藤縄孝	92〜96
改良された C400 形自動交換機	鈴木真一；小川英一	97〜102
DAT-2C 方式の概要	松本正；高島元	103〜109
新しい管路ケーブル布設用車両	栩木浩司；林文雄；榎並誠	110〜115
施設人のための事業知識 (153) 需要調査	小野忠昭	116〜118
新工法シリーズ 伝送容量増大に伴うホーンリフレクタアンテナの建設工法	山内賀喜正；空克義	119〜122
海外連絡室ニュース		123〜124
研究実用化報告第 26 巻第 2 号掲載予定論文		125〜125
次号目次 4 月号掲載予定		62〜62

Vol.29　No.4
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新年度を迎えるにあたって ── 皆さんへのお願い	北原安定	8〜9
多様化するケーブル技術（その 1）	貝淵俊二	10〜20
線路設備の障害状況と今後の対策	石橋淳太郎	21〜25
TTS 交換機分散設置について	古田幸作；福田善一；岡本茂	26〜31
分散処理とネットワーク・アーキテクチャ	伊藤宏；加来億一	32〜39
沖縄県先島地域の全国即時網編入を終えて	伊藤芳文；小宮作；宮城安秀；石嶺真常	40〜49
自営用品認定規程の全面改正について	石野文雄；原田照男；田村善助；渋谷多喜男；桑原清人	50〜54
漢字情報処理システムの動向とドキュメント作成システム	古賀一徳	55〜60
第 6 回現場管理者海外派遣研修報告（その 2）	秋山雅夫；吉野東陽；鈴木茂雄；正田直；福田勉；鈴木啓之	61〜69
DIPS 標準バンキングシステムの自動リカバリ方式	八橋主計；香村求；野口勲	70〜78
音声帯域回線による写真伝送特性	庄司滋彦；加藤斉	79〜87
広帯域対形ケーブルを用いた ITV 方式	堀口孝雄；川上正幾；遊佐洋	88〜96
広帯域対形ケーブル	石原広司；山崎芳次；藤重雅志	97〜103
土留杭打設のための低振動・低騒音工法	志村幹夫；竹田芳正	104〜107
会計事務用データ宅内装置	里見一誠；谷口和道；斎藤幹雄	109〜115
施設人のための事業知識 (154) 電気通信設備請負工事における履行遅滞	時永周治	120〜121
新工法シリーズ 高層ビル用市内ケーブルの建設	斉藤武夫；熊沢幹二；石井隆義；滝沢佑吉	116〜119
海外連絡室ニュース		122〜122
研究実用化報告第 26 巻第 3 号掲載予定論文		123〜123
次号目次 5 月号掲載予定		108〜108

Vol.29　No.5

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞電話の世界的偏在について	前田光治	8〜9
PCM-400M 方式の開通に際して	副島俊雄	10〜13
ディジタル伝送技術の現状と動向	大蔵恭仁夫；岩崎匡利；江尻正義	14〜22
ディジタル伝送方式の導入	立岡芳彦；橋爪敏二	23〜28
PCM-400M 方式の建設工事に携わって	千葉昇二；土橋衛；井坂暉夫；村上利一；鷲田秀雄	29〜35
新入社員に対する総裁のことば	秋草篤二	36〜39
無線局の免許申請業務について	斎藤健；森永範興；大野満州雄；上岡猛	40〜46
公社における特許とその取扱いについて	甘利博夫	47〜50
多様化するケーブル技術（その 2）	貝淵俊二	51〜62
ドキュメント作成システムで採用した漢字情報処理技術	平本盛徳；神山秋史；浅海裕治	63〜69
とう道用市内中継ケーブル	沢井邦之；石崎幸助；大竹申一	70〜76
大容量可搬形電話局装置（その 1）	稲益三夫；竹原一夫	77〜83
災害対策用 5GHz 帯可搬形無線装置	大井次郎；及能調	84〜90
改良されたスチールセグメントの設計方法	境賢治；町清二；宮倉由紀夫	91〜95
最近のマイクロ波半導体素子とその応用回路	小檜山賢二；小林忠男	96〜100
講座 施設人のための事業知識 (155) 住宅用電話の先行配線	福永顕	106〜107
新工法シリーズ CP2「」形自動式構内交換装置への PB 機能付与に伴う改造方法について	小林国次	102〜105
次号目次 6 月号掲載予定		101〜101
読書案内 ソフトウェア開発の神話	木村豊	108〜108
「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	109〜109
「施設」各委員会委員		110〜111
ニュースフラッシュ		112〜115
質問箱		116〜116
海外連絡室ニュース		117〜118
研究実用化報告第 26 巻第 4 号掲載予定論文		119〜119

Vol.29　No.6
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞昭和 52 年度を進めるにあたって	長田武彦	8〜9
昭和 52 年度施設計画の概要	宮津純一郎	10〜14
転換期を迎えた交換・宅内設計	高橋徹	15〜17
ディジタル伝送路網への布石	橋爪敏二	18〜20
需要構造の変化は進む	原田照男	20〜22
線路設計の効率的な投資を目指して	徳永雅	23〜25
きめ細かい設計の実施	西野孝平	26〜28
電気通信を支える電力	田川啓次郎	28〜33
通信網の整備・拡充	小泉洋次	34〜35
パケット交換網とプロトコルの動向	高月敏晴；阿部正之；水沢純一	36〜45
テヘラン市内中継線の基本設計を完了して	岡田清；川下雄一；岡本正澄；日高出雲；伊藤靖士；岡野忠巳	46〜60
諸外国の電気通信事情（その 7）	岡部恒夫；吉原正大	61〜69
大容量可搬形電話局装置（その 2）	砺波修一；坂田好男；高橋英史	70〜74
新銀行用データ宅内装置の概要	平野一哉；大園康；永島基恭；菊田道夫	75〜82
改良された浸水障害測定器	石崎幸助；平良寛樹；佐竹大円	83〜87
土留杭打設のための無振動・無騒音工法	志村幹夫；中山重典；竹藤繁樹	88〜91
とう道内ケーブル布設工法	栩木浩司；林文雄；金崎昭次良；志賀拡一郎	93〜98
技術のはなし これからの単位 ── 国際単位系	田村善助；塩川亘	103〜108
施設人のための事業知識 (156) トラヒック管理	中嶋英明	117〜118
新工法シリーズ 小断面シールド工法	中山重典；野原博幸；谷知一男	109〜112
ニュースフラッシュ		113〜116
海外連絡室ニュース		119〜120
研究実用化報告第 26 巻第 5 号掲載予定論文		121〜121
次号目次 7 月号掲載予定		92〜92
第 14 回「施設」編集モニターの任期を終えて		99〜102

Vol.29　No.7
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉自主技術開発の重要性	山内正彌	8〜9
第 49 回電気通信技術委員会の審議から	桑原守二；石川宏	10〜20
昭和 52 年度技術調査研究実用化計画の概要	加藤隆；村田清六；水野谷大之進	21〜30
昭和 52 年度建設技術開発計画の概要	国枝正弘；小出美孝	31〜34
昭和 51 年度における武蔵野電気通信研究所技術協力部の活動	坪谷一郎	35〜44
昭和 51 年度の検査実施状況	福増満広；甲斐国夫	45〜51
宅内設備の雷障害対策	山上功；大木芳造；小川正気	52〜59
分線管路さく進工法の開発	志村幹夫；長谷川哲郎	60〜64
新しい電子交換ファイル作成システム	村田忠明；佐藤隆昭；浜田博	65〜69
11/15GHz 帯無線 PCM 方式（その 1）	山崎文昭；向井正	70〜76
押しボタンダイヤル化した 100 円公衆電話機	山上功；岩井晃；錦戸功	77〜80
CP2 形 PABX へのプッシュホン機能付与	西馬元美；辻国雄；竹中栄一	81〜89
短波局用ガスタービン発電装置	山村久；浅埜正吾；小山雄悟	90〜96
市街地におけるシールド工事の環境保全対策とその事例について	小竹繁；松本和夫；清水一雄	97〜106
小規模事務所における宅内配線方式の一考察	相馬靖郎；落合兼達；津曲忠敏；村井秋弘；麻生七郎	108〜111
技術のはなし 災害対策用機器について（その 1）	土田尚平；勝又謙三	112〜120
施設人のための事業知識 (157) 財政投融資	木原光則	126〜128
負荷状況表示装置の建設工法	川井泉美；笹岡信一	121〜125
海外連絡室ニュース		129〜130
次号目次 8 月号掲載予定		107〜107
案内「論文を募集しています」	「施設」編集部	131〜132
読書案内 新しい創造的リーダーシップ	中山隆夫	133〜133

Vol.29　No.8
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞決められたことを着実に守ろう	加藤秀夫	8〜9
昭和 51 年度技術調査研究実用化計画の成果概要	水野健二；高畠一純；原田哲夫	10〜24
昭和 51 年度建設技術開発計画の成果概要	国枝正弘；小出美孝	25〜34
中国を訪問して＜電子・通信関係技術について＞	前田光治	35〜45
広域災害時の網措置について	佐藤敏雄；黒田晴夫	46〜54
障害用予備ケーブルについて	宮脇崇夫；奈良一政；岩下湛光	55〜61
最近における災害対策用電力機器とその運用について	片山強；山中敬史；川久保利春	62〜66
関東電気通信局における防災演習のあらまし	清水登	68〜77
投稿 TZ-60 孤立防止用無線回線の信頼性向上について	岡山統制無線中継所試験課	78〜83
同一ケーブル内における PCM-100M 方式と C-12MTr 方式の共存について ── 同軸用 2 形汎用筐体・C-12MTr-R 形中継装置	江尻正義；石川俊行；原田充信；寺田紀之	84〜90
共架柱の設計のパターン化について	涌井裕；前田充彦；荻原照善	91〜97
新しいマンホール首部築造法	田中軍治；小沢幸四郎；小瀬真人	98〜105
11/15GHz 帯無線 PCM 方式（その 2）－ 11/15S-P2 方式－	山崎文昭；向井正	106〜111
技術のはなし 災害対策用機器について（その 2）	森永範興；吉田哲夫；脇武夫	112〜123
施設人のための事業知識 (158) 中間勘定	大串敏夫	132〜133
新工法シリーズ 中容量ガスタービン発電装置建設	船橋義雄	124〜129
ニュースフラッシュ		130〜131
次号目次 9 月号掲載予定		67〜67
質問箱		134〜134
海外短信		135〜135
海外連絡室ニュース		136〜137

Vol.29　No.9
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞線路工事近代化活動推進のために	山口開生	8〜9
最近における線路工事近代化活動について	増田利夫；小谷史朗	10〜15
昭和 52 年度施設用物品調達計画	西村通男；土屋治昭	16〜21
昭和 51 年度の保全成果	澁谷多喜夫；石榑宣大	22〜31
加入区域内における経済的な網構成について	佐藤仁彦；佐々木和夫；藤本博	32〜40
ハイレベルデータリンク制御手順（その 1）	田中義昭；板倉征男；松井嘉正	41〜47
長距離用 CS-36M-D1 海底同軸ケーブル方式 ── 方式概要	青柳勝；中浜博；成宮憲一；広岡明	48〜54
長距離用 CS-36M-D1 海底同軸ケーブル方式 ── 九州－沖縄間布設工事結果	植松秀雄；広岡明；中浜博；杉谷叡彦	55〜63
高速模写伝送回線における群遅延ひずみの等化 ── SGF 形超群群遅延特化装置及び SGD 形超群通過沪波装置の概要	青柳勝；高橋勇	64〜71
改良された PB 信号試験装置	家城明；館山栄蔵	72〜78
新しい無線呼出装置	高村充；渡辺松彦；島貫義太郎；小山稔	79〜89
真空管劣化による位相ジッタの発生	豊田貞夫；千野豊照	90〜96
C400 形自動交換機の優先選択に関係する工法についての一試み	久保田信義	97〜104
技術のはなし 災害対策用機器について（その 3）	大房三夫；千葉孝吉	105〜114
施設人のための事業知識 (159) 工事担任者制度	和田日出男	122〜123
ヒューム管内管布設工法	若松孝師	115〜121
ニュースフラッシュ		124〜126
海外短信		127〜127
次号目次 10 月号掲載予定		128〜128
海外連絡室ニュース		129〜131

Vol.29　No.10

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞点から線へ 線から網へ	山本孝	8〜9
国際通話の動向	小泉洋次；清水博一；大竹亨	10〜20
電気通信研究所における最近の活動状況 ── 光ファイバ伝送方式の研究実用化を中心として	荒谷孝夫	21〜29
DEMOS-E のライブラリプログラムについて（その 1）	山口欣二；内藤晶一；宮崎聖蔵；栗本恵一	30〜37
資材調達管理システムの改善について	住谷永夫；根元義夫；石原毅；関口義守	38〜44
情報処理装置における故障診断技術の動向	塩月安朗；永吉弘一	45〜51
審査からみた自営設備の動向	原田照男；篠崎一也；高井啓	52〜57
電圧変換直流供給方式用電源装置 −150V 給電による新しい直流供給方式−	桑島謙二；岡田良一	58〜63
改良された PCM・短搬形伝送路切替装置	水井元春；稲村美一郎；原田充信	64〜72
小形・軽量化された交換用送受器	大木芳造；宇垣雅秋	73〜80
ハイレベルデータリンク制御手順（その 2）	今西紀男；側見稔；宇治則孝	81〜92
大容量伝送方式のための新しい応急同軸ケーブルの開発	高島征二；上野谷拓也；東海三	93〜98
技術のはなし 災害対策用機器について（その 4）−線路宅内関係−	四方康夫；喜岡清一；滝内輝夫	99〜105
技術のはなし LSI（その 1）	片岡啓介	107〜111
施設人のための事業知識 (160) 電気通信設備の受託工事	川畑忠義	114〜115
新工法シリーズ D10 形磁気ドラム装置の増設工法	横野義和；西川重太郎	112〜113
次号目次 11 月号掲載予定		106〜106
海外短信		116〜116
海外連絡室ニュース		117〜119
読書案内 データ通信の基礎知識	市川勉	121〜

Vol.29　No.11

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞再利用技術	深瀬鋭次郎	8〜9
とう道建設技術の動向	松本哲男	10〜17
ディジタル電話交換技術の動向	石井孝；高木慶三	18〜27
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	桑原守二；石川宏；片桐清志	28〜37
固体電子化マイクロ波無線装置の信頼度調査について	森永範興；安村章；西田隆良；福田倚治	38〜50
DEMOS-E のライブラリプログラムについて（その 2）	石割浩司；小泉文夫；川隅誠一；片瀬深夫；豊島直樹	51〜60
電話網加入者線の実態	横田悦男；堀尾忠親；八木一成	62〜68
DAT(PCM-FDM) 方式のビット誤り長期測定結果	桜井伸篤；広田一身；小野伸治	69〜74
DIPS-11 の故障診断システム	鈴木弘道；中村孝	75〜82
中継ケーブル最終試験装置	森健二；中嶋龍史	83〜90
改善されたマイクロ波回線置局設計法（その 1）－置局設計計算手法の改善－	大井哲雄	91〜98
技術のはなし LSI（その 2）	片岡啓介	99〜103
施設人のための事業知識 (161) 国際電気通信連合 (ITU)	吉原正大	108〜111
新工法シリーズ 電圧変換直流供給方式用電源装置建設工法	鹿田慎作	104〜107
次号目次 12 月号掲載予定		61〜61
ニュースフラッシュ		112〜115
海外連絡室ニュース		116〜119
海外短信		120〜120
読書案内 匠師の心点	白根禮吉	121〜121

Vol.29　No.12

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉建築と維持保全	小野哲男	8〜9
通信機器室の新しい防火設備	松田翔	10〜15
建築基準法の改正と局舎建築	栃本邦夫；澤利夫	16〜18
局舎保全の現状と今後の課題	大園泰造	19〜25
最近における局舎構造設計の動向	杉本米夫；布谷竜司	26〜31
広島第二市外局	宝木冨士夫	32〜35
東日本レクリエーションセンター	福島秀雄	36〜38
施設局舎等空調装置設計指針の改正について	青川清治；宮崎勝盛	39〜43
諸外国における共通線信号方式の動向	式場英；石井孝	44〜51
伝送装置の保全状況	江島巳治；黒岩七生；山本勇雄	52〜61
公社柱への線条添加について ── 有線音楽放送線添架の現状と問題点	幸久司	62〜67
C82 形自動交換機の改良	板山勝奉；永井明	68〜74
とう道換気口からの雨水流入防止装置	斎藤忠美；空良明；坪内淳司；豊川一男	75〜83
立坑への高強度材料鉄筋コンクリートの適用について	田中軍治；会田暁生；境賢治	84〜90
改善されたマイクロ波回線置局設計法（その 2）－置局設計の機械計算システム－	大井哲雄；中目昭男	91〜97
新手動台方式（その 1）	石橋好二；小野隆夫；児玉雅俊	98〜105
施設人のための事業知識 (162) 加入電話の移転	岡健一	110〜112
新工法シリーズ 市内 CCP-CS ケーブルの建設工法	熊沢幹二	106〜107
案内 ポスター・標語募集	厚生局	109〜109
次号目次 1 月号掲載予定		108〜108
ニュースフラッシュ		113〜116
海外連絡室ニュース		117〜120
海外短信		121〜121
昭和 52 年施設総目次		1〜10
案内 モニター募集		123〜123

Vol.30　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	秋草篤二	8〜11
＜論説＞これからの電気通信網の発展	小口文一	12〜13
電電公社発足 25 年記念座談会 ── 新たな展開をめざす電気通信サービス	北原安定；小口文一；長田武彦；前田光治；福富禮治郎；山口開生；加藤秀夫；小原明；小野哲夫；山縣保；山内正彌；輿寛次郎	14〜37
良好で安定したサービスを提供していくために ── 電信電話拡充・改良第 6 次 5 カ年計画	平岡比与志；飯田八起；青木武司；佐藤仁彦；飯村治；立岡芳彦	38〜61
加入者線路網の変遷と将来展望	貝淵俊二	62〜74
相銀九州データ通信システムの概要	佐藤高明	75〜84
消防法の改正と電力設備設計	吉澤務；新里敦夫；船橋義雄	86〜94
ディジタル多重変換技術の展望 ── ディジタル端局装置の同期化	副島俊雄；田崎公郎	95〜101
建造物用ケーブル引留金物	上野至大；丸田守成；池田之彦；堀田豊	102〜108
PCM-400M 方式の商用試験結果について	江尻正義；八木剛；原田充信	109〜120
新銀行用データ宅内装置の業務処理プログラム開発	佐藤高明；末松堅治；山田勝幸	121〜133
新しい TZ-68 形可搬無線機	渡辺松彦；樫田和夫；青柳勝；高橋勇	134〜142
新手動台方式（その 2）	石橋好二；小野隆夫；児玉雅俊	143〜151
技術のはなし LSI（その 3）	片岡啓介	152〜158
施設人のための事業知識 (163) 列車電話サービス	渡辺松彦	163〜166
新工法シリーズ DJP 工法について	中田忍；阿南修平	159〜162
次号目次 2 月号掲載予定		85〜85
海外連絡室ニュース		167〜169
案内 モニター募集		171〜

Vol.30　No.2

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新しい時代に向かう無線	田中潤一	8〜9
大規模移動通信時代の幕あけ	室谷正芳	10〜16
移動通信網構成について	三原種昭	17〜24
新しい移動通信技術の動向	高村充	25〜35
移動通信交換技術の動向	横倉章	36〜46
移動通信方式の置局設計	西野孝平；清水直	47〜56
移動通信方式の保守について	広川三雄	57〜70
異常ふくそうに対するトラヒックの制御	高木慶三；堤茂樹	71〜80
最近における異常障害の発生状況及び今後の対策について	澁谷多喜夫；山口宏二	81〜90
ナイジェリア事情並びにその電気通信計画について	本郷璞；伊藤敏雄	91〜101
日本電信電話公社二十五年史から（その 1）	平岡比与志	102〜118
業務用自動ダイヤルアナウンス制御装置 ── 自動化された料金督促業務	大木芳造；羽石数美；谷井良臣；平川軍平	119〜125
改良された市外 PEF ケーブル ── 市外 PEF-LAP ケーブルと「GS テープ法」による外被接続工法	石原広司；小園文典	126〜132
DIPS データベース管理システムの概要	土井喜一；増井慶吉	133〜142
2GHz 帯小容量無線 PCM 方式 ── 2S-P3 方式	山崎文昭；橋本明；松田成就	143〜149
ディジタルデータ伝送方式（その 1）	沖見勝也；白川英俊；中浜博	150〜159
技術のはなし ネットワーク・アーキテクチャとプロトコル	板倉征男	161〜168
施設人のための事業知識 (164) 弁償責任検定	谷口秀俊	170〜172
新工法シリーズ 高層ビルへの同軸ケーブル垂直布設工法	佐久間雄一；鶴見茂；秋山秀雄	173〜176
次号目次 3 月号掲載予定		160〜160
案内 モニター募集		169〜169
海外連絡室ニュース		177〜178
海外短信		179〜180
読書案内 技術開発への道	前田光治	181〜

Vol.30　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉データ通信サービスの展望	輿寛次郎	8〜9
公社データ通信サービスの現状と課題	鈴木正和	10〜20
情報処理技術の動向	伊藤宏	21〜28
ソフトウェア技術の動向	島崎恭一	29〜39
変貌するデータ宅内技術	星野孔昭	40〜47
ディジタルデータ交換網を利用するデータ通信システムの新しい課題	高月敏晴	48〜54
社内システムの現状と展望	飯田勝二	55〜58
衛星通信地球局の概要 ── 実験用中容量静止通信衛星を用いた実験の開始にあたって	石田則明；更田博昭；岡島徹	59〜70
ITU 専門家としてアラブ地域電子交換コースを実施して	星元雄	71〜76
第 7 回現場管理者海外派遣研修報告 ── アメリカの電話会社を訪ねて	石井義晃；友澤克実；西村奘任；山内浩；河本明	77〜87
日本電信電話公社二十五年史から（その 2）－建築－	猪瀬善文	88〜100
日本電信電話公社二十五年史から（その 2）－データ通信－	長谷川寿彦	101〜112
低騒音マンホール撤去工法の開発	安延信一；福田和宏；河村浩二	113〜118
DT-4831 形制御装置を利用した銀行用データ宅内装置の概要	長澤一真；大園康；菊田道夫；安広徹	119〜128
DIPS 通信制御ソフトウェア ── HDLC の高位レベルプロトコル	大庭弘太郎；吉武静雄；武藤茂	129〜137
ディジタルデータ伝送方式（その 2）	沖見勝也；白川英俊；鷲山幾男	138〜145
新しい受配電システム	庄本稔；土方博；山田敢司；村井喬；小山雄悟	146〜156
技術のはなし 移動通信における選択呼出し制御技術（その 1）	高村充	158〜163
施設人のための事業知識 (165) 電話料金計算のしくみ	近藤九平	164〜165
新工法シリーズ D10 形自動交換機用高速中央処理系装置の建設工法	横野義和；坂口隆彦	166〜169
次号目次 4 月号掲載予定		157〜157
ニュースフラッシュ		170〜173
海外連絡室ニュース		174〜175

Vol.30　No.4
日本電信電話公社施設局編集

Vol.30　No.5

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞これからの資材業務	小原明	8〜9
資材業務の現状と今後の動向	西村通男；真竹芳樹	10〜15
公社における自動倉庫の現況	池田勉；星野省	16〜25
需給均衡時代の資材供給システム ── 米国 W.E. 社を調査して	土屋治昭	26〜34
600 系列電話機の改良	堀場信雄；苗村明；山上功；倉島渡	35〜40
財団法人 海外通信・放送コンサルティング協力 (JTEC) の発足	山縣保	41〜47
海外協力活動 ── ペルー運輸通信省に勤務して	嶋村正三郎	48〜53
第 7 回現場管理者海外派遣研修報告 ── ヨーロッパの現場機関を訪ねて	小野寺泰彦；丸山宗一；夏井坂盛人；鈴木正一；台木基博；内田志朗	54〜63
DRESS 利用者システム設計の標準化について	岩山政敏；佐藤博美	64〜70
日本電信電話公社二十五年史から（その 4）－資材－	池田勉	71〜79
日本電信電話公社二十五年史から（その 4）－海外協力－	岡田秀夫	80〜85
混成 IC 化した PB・MF 信号受信器	内山鈴夫；佐藤順	86〜92
20GHz 帯無線 PCM 方式の商用試験結果について	山崎文昭；向井正；岩本真	94〜103
とう道工事におけるコンクリートセグメントの使用について	垂水國博；山田俊介；今中利信	104〜108
宅内引込かん工法	大西靖夫；高橋俊英；八木東一；白髭博司	109〜114
ディジタルデータ交換網を構成する諸装置（回線交換）	曽根信義；城崎龍太郎；前島紘	115〜124
形式変更に伴う電子交換機への加入者収容替を終えて	深海健三	125〜128
技術のはなし 移動通信における選択呼出し制御技術（その 3）	横倉章	129〜136
施設人のための事業知識 (167) 米国における電話帳業務	久米順平	138〜140
新工法シリーズ 掘さく坑内ガス管の漏えいガス監視工法	中田忍；阿南修平	141〜143
次号目次 6 月号掲載予定		93〜93
ニュースフラッシュ		144〜145
海外連絡室ニュース		146〜147
「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	137〜137

Vol.30　No.6
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞電信電話拡充・改良第 6 次 5 カ年計画のスタートラインに立って	山口開生	8〜9
昭和 53 年度施設計画の概要	千葉正人	10〜14
質的発展を目指した交換・宅内設計	高橋徹	15〜18
ディジタル伝送路網へのアプローチ	佐々木邁	19〜21
ディジタル化時代を迎えた電信設計と審査業務	原田照男	22〜24
需給均衡維持と社会の変化に対応する線路設計	徳永雅	25〜28
多様化するニーズに応える無線設計	西野孝平	29〜31
設備の維持向上と改良のための電力設計	東濃勇	32〜35
通信網の質的充実と信頼性の向上	小泉洋次	36〜38
航空路レーダ情報処理システムの完成と今後の機能追加について	澁谷多喜夫；大江一郎；安川克彦	39〜53
顧客サービスデータ通信システムの概要	浅井治雄；杉原寛	54〜63
海外協力活動 ── 世界銀行に勤務して	横井満	64〜73
閉番号域の拡大について	花俣純吉；伊香恒夫；米田信之；富安良美	74〜81
日本電信電話公社二十五年史から（その 5）－施設・建設－	千葉正人；横田剛	82〜97
C45 形交換機への不在案内機能付与	水野忠；小川英一；針木篤	98〜102
機能向上された主群切替装置（MG-B 形 SW）	川上正幾；佐藤登；森田耕司	104〜113
市内 CCP ケーブル等の経年的な特性調査とその対策	横田悦男；田嶋惣作；大谷透	114〜119
JS105 オペレーティング・システムの概要	神山秋史；松田嘉博；石田勘太郎；柏尾敬秀	120〜129
ディジタル交換網を構成する諸装置（パケット交換）	水沢純一；高島洋一；小野喜世彦	130〜139
投稿 自然の猛威「無残なつめ跡」── 沖之永良部台風（台風 9 号）	横山公男；藤宮幸人	140〜144
施設人のための事業知識 (168) 固定資産と減価償却	久信田恵治	145〜147
新工法シリーズ ケーブル移動防止金物の取付	佐久間雄一；溝口広見	148〜151
第 15 回「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	152〜155
次号目次 7 月号掲載予定		103〜103
ニュースフラッシュ		156〜159
海外連絡室ニュース		160〜161

Vol.30　No.7
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉ファクシミリの大衆化を目指して	前田光治	8〜9
第 51 回電気通信技術委員会の審議から	桑原守二；大橋純	10〜24
昭和 53 年度技術調査研究実用化計画の概要	栩木浩司；下野譲；水野谷大之信；樋口秀昭	25〜35
昭和 53 年度建設技術開発計画の概要	国枝正弘；夢藤昌彦	36〜39
新しい電話伝送基準	船井一美；堀尾忠親	40〜47
異常障害の新しい管理方法	宮脇陞；松村繁男；篠原昭	48〜56
海外協力活動 ── タイ・モンクット王工科大学のコンピュータ教育について	伊藤悠治	57〜63
官庁会計事務データ通信システムの概要	大滝寿朗；山川秀次；日下達夫；北村統一	64〜72
衛星通信方式の技術動向	宮内一洋；三好徹	73〜78
日本電信電話公社二十五年史から（その 6）－技術開発－	桑原守二；松前一義	79〜95
ディジタル伝送によるステレオ放送中継方式	岡村敏光；三浦秀利	96〜102
ディジタルデータ網用のディジタル 1 次群伝送路切替装置	小野伸治；稲村美一郎；原田充信	103〜108
改良されたアナウンスマシン	家城明；田中敏夫	109〜113
セメントコンクリート製の L 形ブロックマンホール	伊藤芳文；鶴田秀典；会田暁生	114〜119
地下ケーブル撤去機	林文雄；北川誠；井上洋一；鈴木修一	120〜125
施設人のための事業知識 (169) 電電公社予算のしくみ	近藤勝也	126〜127
新工法シリーズ D50 形自動交換機建設工法	細谷輝夫；涌井仁志	129〜134
次号目次 8 月号掲載予定		128〜128
読書案内 データ交換の基礎知識	高橋徹	135〜135
海外連絡室ニュース		136〜137

Vol.30　No.8

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞第 2 世紀を迎えた検査業務	菊地信一郎	8〜9
電力技術の動向	平野允	10〜15
今後の電力設備設計	東濃勇	16〜20
最近における電力施工技術の動向	岡島三郎	21〜25
電力保全の成果と課題	向井暉二	26〜31
座談会 – これからの電力を語る	田川啓次郎；平野允；東濃勇；岡島三郎；向井暉二；大川五雄；五嶋久寿；武藤進；樋口直輝；名倉宗儀；尼崎伝	32〜43
昭和 53 年度施設用物品調達計画	西村通男；真竹芳樹	44〜48
昭和 52 年度検査実施状況	池上藤雄；黒田実	49〜55
昭和 52 年度技術調査研究実用化計画の成果概要	加藤裕；紅林芳夫；原田哲夫	56〜72
昭和 52 年度における武蔵野電気通信研究所技術協力部の活動	坪谷一郎	73〜82
昭和 52 年度建設技術開発計画の成果概要	国枝正弘；夢藤昌彦	83〜90
ハードウェアモニタによるデータ通信システムの性能評価について	春田和男；市川貞雄；河島敏明	91〜100
国際会議動向 ── CCITT 第Ⅶ研究委員会（公衆データ網）の活動状況 4 月会合の活動状況を中心として	加藤満左夫；長澤東四郎；富田修二；中村稔	101〜109
D10 形 LS 交換機の TLS 化	五味十四昭；堂前雅夫；阿部薫	110〜117
新しい住宅用電話装置	牧野正男；小川正気；菅谷喜智	118〜124
屋外線中間引留具	赤星敦；鬼束陽昭；山田博義；堀辺豊	125〜129
高規格化された 11GHz 帯短距離無線方式	片山修二；森廣	130〜135
静止形化された伝送用交流電源装置	塩見栄次郎；山井浩二	137〜142
技術のはなし アナログフィルタ技術	篠原進	143〜148
施設人のための事業知識 (170) 衛生管理者	影山和秀	149〜150
新工法シリーズ 床及び壁貫通部の耐火建設	吉田政弘；吉田七郎；井手孝久	151〜157
次号目次 9 月号掲載予定		136〜136
ニュースフラッシュ		158〜162
海外連絡室ニュース		163〜165

Vol.30　No.9

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞海外技術協力の進展に想う	山縣保	8〜9
第 XIV回 CCIR 京都総会概要	岡部恒雄	10〜17
CCIR における研究活動の動向	室谷正芳	18〜25
ディジタルデータ交換網とインタフェース条件	高月敏晴；石川宏；長澤東四郎	26〜35
審査からみた自営設備の動向	原田照男；但馬昭；高井啓	36〜41
昭和 52 年度の保全成果	宮脇陞；松村繁男；石榑宣大	42〜52
回線雑音の実態とその評価	川淵和彦；菊池万範	53〜58
改良された CS-10M 方式	青柳勝；植松秀雄；成宮憲一；小倉春雄	60〜66
屋内線接続スリーブ	森健二；中村育夫	67〜70
新しい小容量自動式構内交換装置 (CP10PABX)	江坂英紀；七尾和彦；村上満雄	71〜79
AM-101 形テレビ回線モニタ	渡辺健；安村章；谷川敏男；村上忠生	80〜88
限定圧気式シールド工法 (S-102)	三輪充彦；山田敏夫；石田和夫	89〜98
DEMOS-E の機能拡充（その 1）	斎藤豊；垣原正紀；中村英一；岩下安男	99〜107
同軸ケーブルの季節移動	鎌田茂喜	108〜114
搬送施設集中監視制御装置 (CSV) による SG AGC の遠隔制御について	加藤修；冨宿英一	115〜118
技術のはなし マイクロプロセッサ（その 1）－動作のしくみとハードウェア技術の特徴－	鈴木弘道	119〜125
施設人のための事業知識 (171) 物流コスト	北原論	126〜128
新工法シリーズ 伝送用静止形交流電源装置建設工法	岡田久；鹿田慎作	129〜132
次号目次 10 月号掲載予定		59〜59
海外連絡室ニュース		133〜135

Vol.30　No.10
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉これからの海底線	関根敏雄	8〜9
海底線業務の概要	和田元一；山口智男；原田茂	10〜20
海底線技術の動向	高島秀行；植松秀雄；挾間規	21〜30
新船建造計画のあらまし	桑原慎二郎；相馬正七美；西田勝	31〜36
座談会／海底線部門の昔と今	和田元一；山口智男；土田清；中島章；野田善一；牛島城造；中尾甚之助；飯塚政弘；宮田清；山村勇一；神盛英夫；大村勤；山下昭孝；徳島力太郎	37〜55
電気通信研究所における最近の活動状況 ── LSI の研究実用化を中心として	渡辺誠	56〜64
電気通信における誘導問題	貝淵俊二	65〜75
航空貨物通関情報処理システムの概要	小島喜八郎；川崎淳；鈴木国充；村岸力	76〜84
海外協力活動 ── サウジアラビアにおける建築技術協力活動	白井和成	85〜90
とう道換気装置の低騒音化	豊川一男；倉谷光一；井上和幸	91〜96
新しい心線対照器 ── 5 号心線対照器	徳岡正章；種野晴夫；中嶋龍史	97〜104
ITV-4M-E 方式の概要	水井元春；小倉春雄；板東信博	105〜113
DEMOS-E の機能拡充（その 2）	久保富司；中川泰雄；小口貢	114〜123
投稿 公衆電話機硬貨収納試験器の開発	郷右近啓介	124〜126
技術のはなし マイクロプロセッサ（その 2）－そのソフトウェアと応用の動向－	鈴木弘道	127〜135
施設人のため事業知識 (172) 資材の流通と倉庫	星野省	136〜137
ニュースフラッシュ		139〜139
会議もよう		140〜142
次号目次 11 月号掲載予定		138〜138
海外連絡室ニュース		143〜145

Vol.30　No.11

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞画像通信の発展と光伝送技術	山内正彌	8〜9
画像通信の現状と今後の課題	小林登	10〜14
ファクシミリ通信の動向	秦英遠；折井正好；小林一雄；稲田干樹	15〜22
画像情報システムの動向	中島汎仁；本間英夫	23〜30
映像伝送サービス及びテレビ会議システムの現状と動向	石川定美；篠田康明	31〜36
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	桑原守二；大橋純；山本勝己	37〜48
郵政省為替貯金業務総合機械化システムの概要	大前義次；奥田秀一；富田英雄；羽田正二；田中敏光	49〜55
海外協力活動 ── 中南米における農村電気通信の動向	吉永義雄；都倉満；胤森美延；相原良光；柏斉二；青木繁次	56〜63
新データ網サービスの技術基準	原田照男；辻昭	64〜71
DIPS 通信制御処理装置用ソフトウェア	吉武静雄；稲田英雄；池口政四郎；音成英明	72〜80
コアメモリ装置の転用を伴う IC メモリ装置増設方式の概要	奥田裕朗；船木敏郎	82〜92
DCNA の概要（その 1）－第 1 版について－	板倉征男；側見稔；竹内一正；藤本宗一	93〜103
改良されたとう道内防水壁	高山進三郎；沼生光雄；瀧ケ崎正；福鹿実	104〜111
工事用発電機の防音カバー	寺内賢一；高橋俊英；岡部道彦	112〜117
高密度実装通話路変換装置－ VR-2 形 CHTR	青柳勝；佐藤登；福井由郎	118〜124
土石流と豪雨禍と ── 5.18 妙高高原地すべり災害 ──－ 6.26 梅雨前線豪雨災害	浅岡満；石田武治；弦巻信雄	125〜132
部品劣化に起因する電源装置の障害について	水谷義明；犬飼常雄	133〜136
技術のはなし 最近の電力変換技術 ── インバータとコンバータの技術	斎藤礼一	137〜142
施設人のための事業知識 (173) 企業イメージ	黒田哲也	143〜145
新工法シリーズ 撮影用移動装置の建設工法	新添洋；今川稔	146〜150
ニュースフラッシュ		151〜153
次号目次 12 月号掲載予定		81〜81
海外連絡室ニュース		154〜155

Vol.30　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞建築と防災	小野哲男	8〜9
局舎の防災計画	松本文郎	10〜13
局舎の耐震設計 ── 発展の足どりと今後の課題	杉本米夫	14〜18
これからの局舎防火対策	喜多幸次郎	19〜24
局舎防火設備の概要とその強化整備	高田一；宮崎勝盛	25〜32
地域大火に際しての防火対策の教訓	大園泰造	33〜36
増築工事における防災対策	石井武則	37〜41
樽前・石崎コンクリートタワー	望月一郎	42〜47
道伯無線鉄塔	荒井健二	48〜52
現代社会におけるコンピュータと電気通信	北原安定	53〜56
ICCC-78 の開催をめぐって	岡部恒雄；安藤元紀；種田彬	57〜62
ICCC-78 にみるコンピュータ通信の動向	加藤満左夫；高月敏晴；隈元崟夫；吉田裕	63〜69
データ伝送技術の展望	橋爪敏二	70〜74
電話局等における停電状況と保全の対応	向井暉二；片山強；山中敬史	75〜86
C23 形可搬形交換機へのプッシュホン機能付与	水野忠；土肥幹夫	87〜91
JS 104-01 オペレーティング・システムの概要	香村求；花沢満；越智進	92〜101
DCNA の概要（その 2）－第 1 版について－	板倉征男；側見稔；竹内一正；藤本宗一	102〜110
同軸ケーブル A ガス連続供給 (AGAS-C) 方式	森健二；喜岡清一；寺西繁夫	112〜119
カラーテレビジョン信号用のフレーム間符号化装置（その 1）	水井元春；稲村美一郎	120〜127
投稿 転落防止装置を用いた安全対策	植松晴男；堀勝；米沢栄一；吉新節男	128〜134
施設人のための事業知識 (174) 公衆電話の設置標準	恩田勝己	135〜137
VR-2 形通話路変換装置建設工法	溝口寿々武；大場洋一	138〜142
会議もよう		143〜145,146〜148
次号目次 1 月号掲載予定		111〜111
海外連絡室ニュース		149〜151

Vol.31　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	秋草篤二	8〜11
規制と競争	北原安定	12〜15
通信網のディジタル化の意義	小口文一	16〜17
光ファイバ通信特集	橋爪敏二；貝渕俊二	18〜66
電子交換機ソフトウェアの維持管理	松尾勇二；五味十四昭	67〜72
ドキュメント作成システムの概要	北郷猛	73〜83
電子化が進む公衆データ通信サービス用データ宅内装置	松井嘉正	84〜92
電話の使用と受話器外しについて	本郷千里；中島一	93〜102
国際会議動向 交換技術に関する CCITT の活動状況	松尾勇二；加納貞彦；丸山勝己	103〜109
改良された地気線カバ	高山進三郎；谷口三郎；飯室秀憲；寺西繁夫	110〜114
電線離隔距離測定尺	寺内賢一；杉谷叡彦；鈴木等	115〜118
新しい受配電系制御装置 ── 安全で能率的な設備点検を目指して	米岡泰；池辺裕昭	119〜124
本仕化された DAT-2C 方式	岡村敏光；三浦秀利	126〜131
改良された DIPS-11 本体装置	鈴木弘道；近藤清磨；平山尚文	132〜143
カラーテレビジョン信号用のフレーム間符号化装置（その 2）	水井元春；稲村美一郎	144〜151
架空送電線誘導予測計算の簡素化についての一考察	横須賀宏輔；田口昌夫	152〜159
技術のはなし ディジタル伝送技術（その 1）	田崎公郎	160〜164
施設人のための事業知識 (175) 加入電話の譲渡と承継	清水巳三太	165〜166
新工法シリーズ 騒音振動の防止工法	渋谷重信；本多広二	167〜170
施設編集モニターから		171〜174
次号目次 2 月号掲載予定		125〜125
海外連絡室ニュース		175〜177

Vol.31　No.2

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉新しい時代の建設を目指して	高橋敏朗	8〜9
建設工事の現状と今後の課題	横田剛	10〜13
高信頼性と安全に対応した線路施工技術	目黒梧朗	14〜18
多様化, 高度化する機械・宅内施工技術	武内宏允	19〜23
技術の複合化に対応する施工技術 ── 伝送, 無線, 電信・データ, 電力	岡島三郎	24〜28
これからの通信土木工事 ── とう道工事を中心として	西野博	29〜35
新しい展開を目指す通信網建設工事	三浦洋三	36〜39
通信設備の災害対策	岡本高則；牧野詔一；安倍幸夫	40〜51
最近の地震被害とその応急復旧について	岡本高則；片寄昇；木村晴雄；佐藤博司	52〜63
最近におけるデータ通信システム保全の動向	小野秋一；石田耕；阿部英雄；西村雅寛	64〜70
海外協力活動 ── メキシコにおける第三国研修に協力して	吉永義雄；板橋邦夫；嶺仁	71〜80
改良形時間パルス供給装置	板山勝奉；伊東則昭	81〜86
改良された加入者線伝送方式	小野伸治；石川俊行；平池均	88〜94
ドキュメント作成システムで開発したソフトウェア	平本盛徳；鈴木隆司；西村信毅；宮地英彦	96〜104
レジンコンクリート製の L 形マンホール	豊川一男；堀辺豊；河野貞男	105〜109
自動化された内航船舶電話方式	菊池敬昭；辻村清行	110〜117
技術のはなし ディジタル伝送技術（その 2）	田崎公郎	118〜124
施設人のための事業知識 (176) 有線音楽放送事業	幸久司；小澤春雄	128〜129
新工法シリーズ 改良張線工法について	矢島和夫；津田博徳	125〜127
会議もよう		130〜134
次号目次 3 月号掲載予定		87〜87
質問箱		95〜95
海外連絡室ニュース		135〜139

Vol.31　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉データ通信サービスの展望	輿寛次郎	8〜9
公社データ通信サービスの現状と課題	鈴木正和	10〜22
総合化された運輸省自動車登録・検査システム	柳文治；中川良長；長田正造	23〜34
新全国銀行データ通信システム	吉野好展；井上正宏；福林隆；藤田吉之	35〜42
ディジタル同期端局方式の現状と課題	堀口孝雄；沖見勝也	43〜50
国際会議動向 世界無線通信主管庁会議（WARC-79）のための CCIR 特別準備会議（SPM）の報告	室谷正芳	51〜57
地下連続壁工法におけるコンクリート強度特性	福田和宏；塚原彰；小林芳雄	58〜64
2GHz 帯ディジタル無線方式ダイバーシチ装置 ── 2S-P3 方式 SD 装置	山崎文昭；岩本真；山崎吉晴	65〜71
経済化されたディスプレイ装置	里見一誠；重木昭信；斎藤幹雄；牧野兼明	72〜83
改良された市内クロスバ用自動集中試験装置	家城明；田中敏夫	84〜91
市外 PEF-P ケーブル整理品のガスチェック施策について	井上和彦；津吉貞次郎；池内高行	92〜96
技術のはなし 網構成技術（その 1）	三原種昭	97〜103
施設人のための事業知識 (177) 業務災害補償	川口寿男	105〜106
新工法シリーズ トラヒック制御方式の建設工法	新添洋；内田雅俊；古田昇	107〜111
次号目次 4 月号掲載予定		104〜104
海外連絡室ニュース		112〜113

Vol.31　No.4

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉電話の全国自動化達成の意義と今後の課題	北原安定	8〜9
座談会 全国自動改式を終えて ── 歴代計画局長その背景を語る	小島哲；佐々木卓夫；伊藤誠；宮崎政義；井上俊雄；浦川親直；清水通隆；輿寛次郎；福富禮治郎	10〜25
マイクロ波アナログ無線方式の技術動向 ── 大容量化の歩み	室谷正芳	26〜34
画像伝送技術の動向	川上大三	35〜44
PCM-24 方式の保全状況	川上正幾；黒岩七生；斎藤輝雄	45〜54
パラグァイ・コンサルタント業務に従事して	庄司正志；橋口幸生	55〜62
第 8 回現場管理者海外派遣研修報告 ── ヨーロッパの現場機関を訪ねて	山内満；水野富夫；詠郁夫；山本竹司；大上精美；工藤岐平	63〜70
アナログ・ディジタル混在実装可能な新しい同軸用はん用きょう体 ── 同軸用 3 形はん用きょう体	水井元春；高島征二；小山忠男；板東信博	71〜79
改良された接続端子かん端子防護キャップ	横田悦男；嶋野忠雄；高江州文雄	80〜85
とう道内換気設備の新しい設計方法	中村輝夫；森山茂；木佐人典	87〜92
救急医療業務用情報送出装置	里見一誠；重木昭信；斎藤幹雄；牧野兼明	93〜99
拡声電話機 ── 送受器を持たずに通話できる「スピーカホン」	大木芳造；羽石数美；加藤邦紘	100〜107
異常ふくそう対策用のトラヒック制御装置（その 1）− 加入者ふくそう制御 −	堤茂樹；三宅義康；針木篤；藍場達男	108〜116
技術のはなし 網構成技術（その 2）	三原種昭	117〜127
施設人のための事業知識 (178) 仮処分	川口寿男	128〜129
新工法シリーズ 限定圧気式シールド工法	若松孝師；近藤礼之	130〜135
質問箱		136〜136,137〜137
トピックス		138〜138,139〜140
次号目次 5 月号掲載予定論文		86〜86
海外連絡室ニュース		141〜143

Vol.31 No.5

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉これからの宅内技術の展開	長田武彦	8〜9
事業所電話技術の動向	友重澄雄；加藤隆	10〜14
事業所用電話サービスの拡充を目指す構内交換施設設計	上田裕	15〜22
設置環境に適合する建設工法	武内宏允	23〜27
事業所電話技術の進展と顧客ニーズに即応する保全業務	竹原凞；稲益三夫	28〜35
座談会 ── 事業所電話サービスの変遷と今後の展望	丹野武宣；友重澄雄；江坂英紀；上田裕；竹原凞；稲益三夫；武内宏允；戸田秀明；加藤隆；土方昭治；高橋勝見；細川恭三	36〜47
電子交換機の進歩	高橋徹；松尾勇二；中村紀典	48〜61
共同利用型病院情報システム ── 医療業務の EDPS 化	加来億一；川野辺一清；佐々木修三；吉田達明；高崎雄三	62〜70
海外協力活動 フィリピン・ルソン島北部電気通信網建設計画調査団に参加して	杉山安一；安藤三春；鈴木靖男	71〜85
投稿 プリンタ組立調整用試験器の考案	新井昭二；津守茂夫；石田護；折戸三也	86〜88
市内中継交換機能の拡大を図った D10 形自動交換機	五味十四昭；堂前雅夫；村松春彦	89〜94
改良されたマンホール鉄蓋	中野雅弘；倉谷光一	96〜101
携帯形のキーボードプリンタ	池田泰久；石黒義昭；岩永憲明	102〜107
ディジタルデータ伝送方式の商用試験結果	岡村敏光；中浜博；鷲山幾男；成宮憲一	108〜119
異常ふくそう対策用のトラヒック制御装置（その 2）－地域ふくそう制御－	榊原一郎；大西正克；伊東則昭；藍場達男	120〜127
技術のはなし 誘導と漏話（その 1）－誘導妨害とその対策	吉本孝光	128〜133
施設人のための事業知識 (179) 専用サービス	杉森雄二郎	134〜138
新工法シリーズ 搬送機械室における基礎工法の改定	溝口寿々武；竹内光人	139〜143
海外連絡室ニュース		144〜146
海外短信		147〜147
次号目次 6 月号掲載予定論文		95〜95
「施設」各委員会委員		148〜150
線近活動 20 周年記念論文募集		151〜

Vol.31　No.6
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉柳の下にどじょうはいない	山口開生	8〜9
昭和 54 年度施設計画の概要	千葉正人	10〜15
質的充実に向けてのきめ細かな交換・宅内設計	上田裕	16〜19
通信網の高度化・多様化を目指した伝送路設計	佐々木邁	20〜22
多様化する網利用に対応して	桑原清人	23〜25
需給均衡維持と基礎設備の質的充実を図るための線路土木設計	久保田俊昭	26〜28
新しいサービスの普及と拡大を目指す無線設計	木下隆介	29〜31
新しい時代に対応する電力設計	東濃勇	32〜38
電気通信網の高度化と整備・拡充	戸川晟	39〜42
屋外施設の信頼性 ── 架空ケーブルと風との闘い	貝淵俊二；石原広司	43〜51
イラン電気通信研究センターに勤務して	岩清水隆男；古賀一徳；小林新平	52〜59
第 8 回現場管理者海外派遣研修報告 ── アメリカの電話会社を訪ねて	松川宏幸；益塚清治；飯田晴洋；石井善四郎；谷中博二；中島竹次郎	60〜68
テレビジョン中継サービスの現状と動向	西野孝平	69〜76
投稿 ガス漏えい孔探索の一改良	圷正義；古荘勝郎	77〜80
トラヒック制御システムの施設設計概要	往西重俊；笹倉逸夫；松沢広明；安藤周三	81〜90
改良された通話停止装置	家城明；田中敏夫	91〜94
新しい接続端子かん突出工法	杉谷叡彦；今野重信；加納静夫	95〜99
新しい市内 CCP ケーブル方式	石崎幸助；高江洲文雄；福鹿実；山田孝司	100〜108
D-1S 回線用等化装置	青柳勝；高橋勇；福井由郎	109〜118
多様な業務に適用可能なプログラム制御形データ宅内装置	浅野友；中川順三；佐々木幹男	119〜124
技術のはなし 誘導と漏話（その 2）－漏話現象とその軽減策－	吉本孝光	126〜131
施設人のための事業知識 (180) 共済組合	高尾正紀	132〜134
新工法シリーズ IC メモリ装置置換増設工法	藤原政治；吉田賢二	135〜138
海外連絡室ニュース		139〜141
海外短信		142〜143
会議もよう		144〜147
次号目次 7 月号掲載予定論文		125〜125
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	148〜151
「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	152〜152
トピックス		153〜154
読書案内 でんでんミニパック	藤谷敏郎	155〜155

Vol.31　No.7

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉ネットワーク・サービスの展開	山内正彌	8〜9
〈解説〉ガット東京ラウンド政府調達問題について	前田光治；小原明	10〜18
新データ網の導入経緯 ── ディジタルデータ交換網導入推進委員会の動きを中心に	木村豊	19〜28
ディジタルデータ交換方式の開発と商用試験	高月敏晴；堀口孝雄；塚田啓一	29〜39
新データ網の利用動向と番号計画	村田忠明；水内清	40〜49
新データ網の技術基準と端末の審査	桑原清人	50〜55
新データ網の施設設計について ── 商用試験局における施設設計を中心として	戸川晟；佐々木邁	56〜66
新データ網に関する保全について	小野秋一；今村耕一	67〜74
新データ網の建設工事に携わって	堀栄一；岩瀬知；堀川喜与志；内田智充	75〜82
第 53 回電気通信技術委員会の審議から	寺西昇；大橋純	83〜98
昭和 54 年度技術調査研究実用化計画の概要	栩木浩司；樋口秀昭；米沢種之	99〜109
昭和 54 年度建設技術開発計画の概要	国枝正弘；夢藤昌彦	110〜114
最近の異常障害の傾向と対策	坂本貞雄；神山悳一；篠原昭；近藤正	115〜123
大規模災害に備えた応急同軸ケーブルの配備運用について	滝沢純；福居一郎；大木一夫	124〜129
海外協力活動 在アルジェリア日本大使館に勤務して	松本愼二	130〜137
投稿 千葉電気通信部の事故“0”への道程 ── 電気通信設備工事・千葉安全大会	宮脇理；神宮司春信；山口利雄；実方英雄；村山元；小笠原武	138〜143
改良形案内台	石橋好二；柳本隆人	144〜150
同期式回線分割装置	前島紘；納外幸	151〜155
改良された宅内用両面接着テープ	山崎芳次；寺西繁夫	157〜161
モータ制御式プリンタを用いた 300 ビット／秒系データ宅内装置	山本敏晶；池田泰久；林建二；岩永憲明	162〜168
技術のはなし データベース管理システム	中川優	169〜176
施設人のための事業知識 (181) 人間工学	石神絢夫	177〜178
新工法シリーズ とう道内防水壁の建設	渋谷重信；本多広二	179〜184
海外連絡室・ニュース		185〜187
海外短信	本間良紀	188〜188
次号目次 8 月号掲載予定論文		156〜156
読書案内 日本の自主技術	田村恵一	189〜189
「施設」編集モニターの任期を終えて（その 2）	編集部	190〜194
トピックス	海底線施設事務局	195〜195
新製品の紹介		197〜

Vol.31 No.8

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉技術開発に想う	村上治	8〜9
昭和 53 年度技術調査研究実用化計画の成果概要	加藤裕；紅林芳夫；原田哲夫	10〜26
昭和 53 年度における武蔵野電気通信研究所技術協力部の活動	枡野邦夫	27〜37
昭和 53 年度建設技術開発計画の成果概要	国枝正弘；夢藤昌彦	38〜46
昭和 53 年度検査実施状況	池上藤雄；榎義彦；飯田寛夫	47〜53
昭和 54 年度施設用物品調達計画	如沢清；真竹芳樹	54〜58
屋外施設の信頼性 ── ガス保守方式の技術動向	貝淵俊二；石原広司	59〜68
DEMOS-E によるソフトウェア流通サービスについて ── 利用者等が保有するプログラムの相互利用	岩山政敏；山口欣二；佐谷宏	69〜75
海外協力活動 インドネシアの電気通信事情 ── バンドン電気通信訓練センターに勤務して	稲野龍三郎；藤尾茂	76〜92
投稿 電子交換機におけるメモリ打出し方法の改善	青木茂雄；梶川浅吉；蕪木謙治；佐藤芳朗	93〜98
大容量 (3,600CH) 化された 4, 5GHz 帯無線方式 ── SF-B8 及び SF-E2 方式	片山修二；橋本明；二木治成	99〜109
伝送容量の増大を図った無線引込用搬送方式	青柳勝；高木誠一；福井由郎	110〜116
本仕化された DC-400M 方式	髙島元；寺田紀之；坂本昌往；愛甲宏明	117〜126
改良された 600P 形電話機	別所義夫；谷本佳己	127〜132
データ宅内装置用光学式文字読取装置	近藤賀洋；関公雄；伊藤寛治	134〜142
全銀ネットワークシステム ── 異機種計算機との接続	相川正克；藤田吉之；轟一郎	143〜151
技術のはなし 電子交換機を構成する技術（その 1）	畑政成	152〜159
施設人のための事業知識 (182) C 局等の格付変更標準	嶋田芳樹	160〜161
新工法シリーズ VF4800 形模写電送機建設工法	奥井良幸	162〜167
海外連絡室ニュース		168〜170
海外短信		171〜173
次号目次 9 月号掲載予定論文		133〜133
会議もよう		174〜178
新製品の紹介		179〜179

Vol.31　No.9

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉これからの保全	菊地信一郎	8〜9
昭和 53 年度の保全成果	宮脇陞；神山悳一；仲里朝勝	10〜16
トラヒック制御方式の保守運用方法について	宮田文雄；山中一男	17〜24
諸外国における電子交換機の動向 ── 電子交換国際会議 (ISS'79) に参加して	葉原耕平；榊原麻二	25〜33
電気通信研究所における最近の活動状況 ── ディジタル電話網の研究を中心に	葉原耕平；荒谷孝夫	34〜42
諸外国における通信用電源の動向	平野允；武井務	43〜49
ソフトウェア開発技法の動向	川田圭一；市川貞雄；那倉定幸	50〜56
海外協力活動 アラブ湾岸諸国の電気通信事情（その 1）	土屋博；大井次郎；星恒夫	57〜67
改良経済化された D20 形自動交換機	瀬上伸一郎；江藤哲夫；岡本豊一；山口敬一	68〜80
同軸ディジタル伝送方式の施設設計	江尻正義；渡辺武；中川宏伸	81〜89
シールド工法における裏込注入材の配合	山田敏夫；小林繁	90〜99
灯油式のマンホール温風器	持田光男；谷岡伸一	100〜103
マイクロ波帯電力増幅素子	橋本明；二木治成；木村康弘	105〜112
技術のはなし 電子交換機を構成する技術（その 2）	畑政成	113〜122
施設人のための事業知識 (183) 安全運転管理者	品川弘	123〜125
新工法シリーズ 中継ケーブル最終試験装置による測定方法	田儀茂	126〜133
海外連絡室ニュース		134〜136
海外短信		137〜138
次号目次 10 月号掲載予定論文		104〜104
読書案内	西野博	139〜140
ニュースフラッシュ	平林忠夫	141〜

Vol.31　No.10

日本電信電話公社施設局編集

創刊 30 周年を迎えて想う	北原安定	16〜19
電気通信の将来	米澤滋	20〜25
座談会／電気通信技術と「施設」 ── 山内企画委員長（技師長）を囲んで	山内正彌；岩崎昇三；田村和久；八巻剛正；坂井三郎；本山征二；小川義忠；首藤隆；広瀬和夫；戸田藤和；高橋文明	26〜37
創刊のころの想い出	米山守彦	38〜41
「施設」ができあがるまで	編集部	42〜45
ITU 加盟 100 周年を迎えて	岡田秀夫	46〜55
新しく制定された専用回線伝送基準	千本倖生；川渕和彦	56〜62
計量法の一部改正ついて	北村喜義；高西義雄	63〜67
審査からみた自営設備の動向	桑原清人；但馬昭；土師克己	68〜74
海外協力活動 ブラジル, パライバ電話会社に勤務して	近藤政造	75〜80
投稿 孤立防止無線方式におけるロック信号のレベル変化について	近畿通信局第一施設部無線課	81〜84
JS 形高速作図装置	木ノ内康夫；藤本宗一；羽生田文晴	85〜90
ケーブルリング撤去機	高橋秀靖；松尾豊；吉武正二	91〜95
電子化された構内交換装置 ── EP20 形 PABX	七尾和彦；高川雄一郎；村上満雄；斎藤武夫	96〜107
VF10 形模写電送機とその同報通信装置 ── 電話ファクス 20	今井恒雄；清水治光；森正英	109〜117
全固体電子化された 4GHz 帯 SF-B7 方式	橋本明；二木治成	118〜124
技術のはなし ファクシミリ（その 1）	折井正好	125〜131
施設人のための事業知識 (184) 防災対策	片寄昇	132〜134
新工法シリーズ 新しいマンホール撤去工法	小林正利；小瀬真人	135〜140
海外連絡室ニュース		141〜143
海外短信		144〜146
次号目次 11 月号掲載予定論文		108〜108
新製品の紹介		147〜147
記念懸賞論文募集		148〜

Vol.31　No.11
日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞線路工事近代化活動の 20 周年に想う	高橋敏朗	8〜9
記念行事における総裁あいさつ		10〜11
〔特別講演〕線路工事近代化活動 20 周年にあたって	北原安定	12〜16
80 年代の線路を考える	山本千治	17〜23
線路工事近代化活動 20 年の歩み	滝沢純	24〜31
最近における線路工事近代化活動について	大河原三郎；栗原隆一	32〜40
座談会／線路工事近代化活動の現状と将来を語る	山本千治；大河原三郎；大井三郎；大井茂夫；西川徳二；岡田幸助；足立徳蔵；小栗寿夫；箕作健三；大槻勇作；北川正道	41〜52
線路工事近代化 20 周年記念入選論文発表	線路工事近代化連絡会事務局	53〜66
電気通信フォーラムにおける招待講演		67〜67
〔講演〕情報化社会と電気通信	北原安定	68〜76
電気通信展（テレコム’79）の概要	中野総一；長澤拓也	77〜82
電気通信フォーラムにみる技術の動向	寺西昇；大橋純	83〜86
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	寺西昇；大橋純；山本勝己	87〜99
投稿 重複障害の減少対策を実施して	八幡電報電話局	100〜104
D100A プログラムシステムのファイル統合	設楽勝美；及川昌幸；元木輝男	105〜111
機能拡張された DCNA	側見稔；竹内一正	113〜119
実用化されたガス圧遠隔測定システム	山崎芳次；寺西繁夫	120〜131
技術のはなし ファクシミリ（その 2）	折井正好	132〜137
施設人のための事業知識 (185) 前渡資金出納員	内田滋夫	138〜139
新工法シリーズ EP20 形自動式構内交換装置建設	大石宏；亀井公顕	140〜144
海外連絡室ニュース		145〜147
海外短信		148〜148
会議もよう		149〜152
次号目次 12 月号掲載予定論文		112〜112
読書案内	高橋徹	153〜154
記念懸賞論文募集	「施設」編集部	155〜

Vol.31　No.12

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉建築と環境	小野哲男	8〜9
施設局舎をめぐる環境問題	松本文郎	10〜17
再開発と地域環境	岩附昇	18〜21
マイクロ無線用施設と自然環境	沖塩荘一郎	22〜26
局舎保全と環境整備 ── 局舎保全強化計画の実施にあたって	大園泰造	27〜30
通信設備と局舎空間の整合	小原誠	31〜37
建築設備設計における省エネルギー	栃本邦夫	38〜42
国際ダイヤル通話サービスの概要 ── クロスバ交換機収容のプッシュホン加入者へのサービス提供	戸川晟；後藤豊弘；嶋崎博文	43〜47
電気通信自主技術開発史（線路編）について（その 1）	戸塚昌男	48〜55
海外協力活動 アラブ湾岸諸国の電気通信事情（その 2）	藤倉琢尉	56〜69
投稿 D10 形 LS 交換機の TLS 化工事を施工して	浅井省三；植田英雄；石田芳明	70〜77
舵付埋設装置「VICS」	植松秀雄；広岡明	78〜85
改良・経済化された D20 形自動交換機の施設設計	阿部安利；柳本和良；宮本金生；瓜生昌昭	86〜94
本仕化された自動内航船舶電話方式	西邑省三；小山稔；片岡増美；辻村清行	95〜103
骨伝導電話機 ── 鼓膜がなくても受話できる電話機	中島一；秋山博	104〜108
技術のはなし 電子交換機を構成する技術（その 3）	佐藤隆昭	110〜115
施設人のための事業知識 (186) 工事目的物の引渡し	島津孝俊	116〜117
新工法シリーズ 既設局舎の搬送装置基礎の耐震対策	溝口寿々武；竹内光人；種本宏	118〜123
海外連絡室ニュース		124〜126
海外短信		127〜128
次号目次 1 月号掲載予定論文		109〜109
ニュースフラッシュ		129〜130
総目次		2〜10
記念懸賞論文募集	「施設」編集部	141〜141

Vol.32　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	秋草篤二	8〜11
〈論説〉1980 年代の挑戦	山内正彌	12〜13
自動車電話方式開発の概要	西野孝平；高橋徹；友重澄雄	14〜21
自動車電話の導入計画と網構成について	飯村治；村田忠明；緑川清	22〜27
自動車電話方式の施設設計	木下隆介；戸川晟	28〜36
自動車電話方式の建設工事について	青木武司；十一家洋一	37〜44
自動車電話方式の保全	今村耕一；竹原凞	45〜52
データテレホンとその利用システム	寺井正明；水芦一哲；吉岡正紀；松井嘉正；宮内宰治	53〜62
通信網のディジタル化と伝送路網保守技術の動向	堀口孝雄；冨田邦明；小野伸治	63〜70
電気通信自主技術開発史（線路編）について（その 2）	戸塚昌男	71〜79
海外協力活動 ケニヤ郵電公社の技術協力に従事して	前田勲治	80〜93
新しい管路とマンホールとの接続工法	中野雅弘；鶴田秀典；倉谷光一；松本敏和	94〜100
プログラマブルデータ宅内装置における効率的な業務処理プログラムの開発方法	溝部悦夫；北野雅弘；山本学	101〜106
自動車電話方式を構成する技術（その 1）	大井哲雄；武内正史；菊池敬昭；小山稔	107〜117
技術のはなし 電子交換機を構成する技術（その 4）	佐藤隆昭	118〜124
施設人のための事業知識 (187) 公的年金制度	川口寿男	125〜126
新工法シリーズ ゲーブルリング撤去機によるケーブルリング撤去工法	佐藤慎；長谷川優	127〜132
海外連絡室ニュース		133〜134
海外短信		136〜136
編集モニター募集		137〜138
次号目次 2 月号掲載予定論文		135〜135
新製品の紹介		139〜

Vol.32　No.2

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉これからの通研	高原靖	8〜9
DIPS 開発の経緯と展望	戸田巌	10〜20
DIPS ソフトウェア開発の動向	伊吹公夫	21〜27
レジンコンクリートを用いた土木構造物の現状と今後の動向	今村宏司；中野雅弘；辻和勝	28〜32
通信用自立電源の現状と将来	陰山照男；江口則男	33〜40
電気通信網を支える技術基準の動向 ── 伝送・接続・安定基準	飯村治；千本倖生	41〜51
国際会議動向 CCITT 第ⅩⅣ研究委員会の京都会合 ── ファクシミリ伝送及び装置に関する審議	小林一雄；小林登	52〜57
海外協力活動 パラグァイ電気通信学園での技術協力に従事して	甲斐格	58〜65
投稿 電話回線算出（TA 内）システムの開発について（対象業務コード JOB395）	野上昭彦；田中達男；宇津原昭	66〜73
改良した押しボタンダイヤル信号受信器	内山鈴夫；中村雅範	74〜79
4 号ボタン電話装置	小川正気；吉沢謙作	80〜91
改良された 9,600bit/s 変復調装置	前島紘；納外幸；土井聡之	92〜101
新しい管路点検器	杉山稔郎；広瀬昇；松繁幸平	103〜107
大容量化された 6GHz 帯可搬無線装置 ── 新 TY-6P	橋本明；木村康弘；片山龍夫	108〜115
自動車電話方式を構成する技術（その 2）	菊池敬昭；小山稔；木村茂；児玉雅俊	116〜130
ガス絶縁形特別高圧受電装置	武井務；池辺裕昭	131〜138
技術のはなし 電話機（その 1）	山上功	139〜145
施設人のための事業知識 (188) 物品出納役・物品出納員	行定良友	146〜147
新工法シリーズ 加入ファクシミリ通信建設	田中一寿；新添洋；原田幸夫；福永健二	148〜153
海外連絡室ニュース		154〜157
海外短信		158〜159
次号目次 3 月号掲載予定論文		102〜102
会議もよう		160〜162
ニュースフラッシュ		163〜163,164〜164,167〜
編集モニター募集		165〜166

Vol.32　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉データ通信の役割	高橋敏朗	8〜9
公社データ通信サービスの現状と課題	辻岡健	10〜19
最近の周辺装置技術	信国弘毅	20〜28
最近のデータ宅内技術	星野孔昭	29〜39
JS 形共通ソフトウェアの維持管理技術	島崎恭一；金光秀夫	40〜51
社会保険データ通信システムの概要	平位忠郎；竹之内篤男	52〜61
共同利用型医療情報システム ── 診療補助業務の EDPS 化	横山純一郎；土屋浩一；沖野隆一；中田勲；福田昭	62〜67
総合化された信用金庫協会データ通信システム	江口宏；福林隆；阿部保之；石井久雄	68〜77
CCITT 第ⅩⅧ研究委員会（ディジタル網）の活動状況	井上伸雄；沖見勝也；青山友紀	78〜87
無線中継所の雷害対策	上池啓一；吉沢務；腕木治；安村章；尾形努	88〜98
投稿 D10 形自動交換機のソフト切替について	横浜都市管理部機械保全課	99〜102
D30 形自動交換機（その 1）	畑政成；内山鈴夫；松井国利；広川雄二；上野晴夫	103〜114
屋外用乾燥空気供給装置（AGAS-O 方式）	山崎芳次；星田三也	115〜120
掘削土の再利用技術	進藤太美雄；杉山稔郎；吾郷一房	121〜126
燃料電池式電源装置	江口則男；小笠原政教	128〜134
VF4800 形模写電送機の概要 ── 電話ファクス 10	今井恒雄；滝沢芳春	135〜142
技術のはなし 電話機（その 2）	寺井正明	143〜152
施設人のための事業知識 (189) 消費者物価指数・卸売物価指数	田中章二	153〜155
新工法シリーズ同軸ケーブル切替工法	宮下裕治	156〜159
海外連絡室ニュース		160〜161
次号目次 4 月号掲載予定論文		127〜127
海外短信		162〜164
ニュースフラッシュ	高橋清	165〜

Vol.32　No.4
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉1980 年代の課題	北原安定	8〜9
加入ファクシミリ通信システムについて	原島進；秦英遠；石井定美；折井正好；吉岡正紀；松尾勇二	10〜19
キャプテン実験システムの概要	隈元崟夫；川西俊治	20〜28
画像応答システム (VRS) の概要	稲塚和郎	29〜40
新しい加入者配線方式	貝淵俊二；久保田俊昭	41〜47
最近のアンテナ技術の動向	西野孝平；石田則明	48〜56
国際会議動向 世界無線通信主管庁会議 (WARC-79) に出席して	木下隆介；千代田昭；松本慎二；山崎文昭	57〜69
海外協力活動 パキスタン電気通信研究センターの技術協力に従事して	松木昭；中田静馬；佐藤忠政；平松勝之	70〜78
第 9 回現場管理者海外派遣研修報告 ── ヨーロッパの現場機関を訪ねて	大賀弘紀；藤澤俊寿；篠原樹男；江利川米造；大矢庄一郎；前嶋武	79〜86
D30 形自動交換機（その 2）	畑政成；内山鈴夫；腕木治；松井国利；広川雄二	87〜93
統一された ITV-4M 方式	高島元；板東信博	94〜104
市内 PEC ケーブル ── カラーコード化された市内多対ケーブル	德岡正章；中嶋龍史	105〜112
社会保険業務用データ宅内装置の概要	米野和則；金子茂；高橋幸一；関公雄；瀬谷正二；佐々木幹男	113〜126
技術のはなし ケーブルの接続（その 1）	植松秀雄	127〜131
施設人のための事業知識 (190) 顧客志向	高山巖	133〜134
66kV 特別高圧受電装置建設 ── ガス絶縁形特別高圧受電装置 –	岡田久；吉田政弘	135〜141
海外連絡室ニュース		142〜143
次号目次 5 月号掲載予定論文		132〜132
海外短信		144〜144
会議もよう		145〜148
ニュースフラッシュ	松尾勇二	149〜

Vol.32　No.5

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉効率的な資材業務	松尾士郎	8〜9
需給均衡下における資材流通システムの近代化 ── MIDIS の導入	牧絵義尚；桜間卓	10〜16
高速道路通信サービスの現状と今後の課題	別所義夫；後藤光輝	17〜26
DEMOS-E ライブラリ・プログラムの開発状況について	福岡宣禎；川隅誠一	27〜32
DRESS 標準プログラムの開発状況について	戸村公憲；今村順平	33〜37
国際会議動向 CCITT 第 XIV 研究委員会の活動状況 ── ディジタル交換方式を中心にして	高橋徹；江川哲明；愛澤慎一	38〜45
海外協力活動 ペルー電気通信訓練センターの発足にあたって	杉浦文雄；片山龍治；坂上隆男	46〜55
第 9 回現場管理者海外派遣研修報告 ── アメリカの電話会社を訪ねて	西田吾郎；吉野昭二；増田弘夫；野口文男；桑原信夫；佐藤忠夫	56〜63
名古屋都市高速道路通信システム ── その設計・建設・保全	井上一彦；川本章孝；近藤伸年	64〜71
機関誌「施設」創刊 30 周年記念懸賞論文発表	「施設」編集部	72〜72
記念懸賞論文の審査を終えて	別所義夫	73〜73
浸水障害ケーブル早期復旧方法の一考察	落合重美；酒井博	74〜77
異常ふくそうの体験から	西田博美	78〜83
DK 式マンホール土留装置	山本博；三山孝	84〜88
き線点機能の拡大を図った FD 配線盤	石崎幸助；高江洲文雄	89〜95
販売在庫管理システムにおける機能拡充	黒住恭司；佐藤雅生；伊東洋一；金澤孚；山崎正	96〜100
技術のはなし ケーブルの接続（その 2）	植松秀雄	101〜105
施設人のための事業知識 (191) 自動車電話	国森洋	106〜106
新工法シリーズ D30 形自動交換機の建設	田中一寿；塚谷信雄	108〜114
海外連絡室ニュース		115〜117
海外短信		118〜119
次号目次「施設」6 月号掲載予定論文		107〜107
「施設」各委員会委員		120〜122
新製品の紹介		123〜

Vol.32　No.6
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉ディジタル総合サービス網 (ISDN) に向けて	前田光治	8〜11
昭和 55 年度施設計画の概要	千葉正人	12〜17
新サービス拡大と機能高度化を目指す交換・宅内設計	上田裕	18〜21
ディジタル伝送路網の本格的形成に向けて	岡田成俊	22〜24
ニーズの多様化に対応した電信設計・審査業務	桑原清人	25〜27
基礎設計の信頼性向上とサービスの多様化に対処する線路土木設計	久保田俊昭	28〜31
ディジタル化の促進と新サービスの導入に対応する無線設計	木下隆介	32〜34
安定したサービスと保守性の向上を目指す電力設計	本間哲夫	35〜38
長期的視野に立った電気通信網の高度化と整備・拡充	戸川晟	39〜42
共通線信号方式の動向	松尾勇二；水芦一哲	43〜50
ディジタル伝送方式の技術的背景と今後の動向	西野孝平；堀口孝雄	51〜66
日本語情報処理の技術動向	黒住恭司；手島和夫	67〜74
海外協力活動 ソロモン諸島の電気通信事情と拡充計画	安藤元紀；宮川久仁雄；樋口寿宏	75〜84
投稿 #番号サービス提供に伴う集中記憶装置（メモリ）の有効利用について	板垣六郎；島田和彦；荒木定利	85〜91
行政電話網用専用回線自動交換機の概要	村田正晴；堂前雅夫；湯浅晴喜	92〜100
海底ケーブル用耐摩耗性防食外装鉄線	関口明良；北島秀樹	102〜107
新しい 400MHz 帯可搬形多重無線装置	椿功；木原達朗；青柳勝；福井由郎	109〜115
新しい音声応答装置	溝尻由美夫；木ノ内康夫；藤本宗一；羽生田文晴	116〜122
技術のはなし ディジタルデータ交換技術（その 1）− 回線交換 −	篠崎哲雄	123〜129
施設人のための事業知識 (192) 施設記録	長尾儀昭	130〜132
新工法シリーズ 小容量ガスタービン発電装置建設	岡田久；塚原保	133〜137
海外連絡室ニュース		138〜141
海外短信		142〜143
会議もよう		144〜146
次号目次 7 月号掲載予定論文		101〜101
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	147〜150
「施設」編集モニターの選考発表	編集部	151〜152
質問箱		108〜108
瀬戸内丸を見学して	播本昌宏	153〜

Vol.32　No.7

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉建設工事はたゆみなく	齋伯哲	8〜9
第 55 回電気通信技術委員会の審議から	宮脇陞；中山浩	10〜25
昭和 55 年度技術調査研究実用化計画の概要	堀崎修宏；米沢種之；樋口由文	26〜37
昭和 55 年度建設技術開発計画の概要	吉田修；赤星敦	38〜42
最近の磁気記録技術	伊藤陽之助；金子礼三；富田正典	43〜52
オフィス・オートメーションの技術動向	大庭弘太郎	53〜64
海外協力活動 フィジー国に対する技術協力について	上田至	65〜72
D30 形自動交換機の施設設計について	阿部安利；柳本和良；池田義郎	73〜79
電子化された加入者度数計監査装置	瀬上伸一郎；高野義朗；粟野友文	80〜84
100 円硬貨併用卓上公衆電話の概要	仲田淳嗣；水野忠；冨田昭治；寺村英明；大岡忠男；藍場達男	85〜97
改善されたビデオ信号切替・制御装置 ── AO-3, AF-7	坂本武夫；谷川敏男	98〜104
技術のはなし ディジタルデータ交換技術（その 2）－パケット交換－	大山茂	108〜114
施設人のための事業知識 (193) 計算証明	栗原武夫	115〜116
新工法シリーズ 非常用 D10 形自動交換機建設工法	新添洋；東原芳信	117〜122
海外連絡室ニュース		123〜125
海外短信		126〜127
次号目次 8 月号掲載予定論文		105〜105
「施設」編集モニターの任期を終えて（その 2）	編集部	128〜132
質問箱		106〜107
読書案内	佐田啓助	133〜133

Vol.32　No.8
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉これからの検査	青江茂	8〜9
新しい検査方式	平野允；角田克彦	10〜18
昭和 54 年度検査実施状況	竹原熙；榎義彦	19〜25
昭和 55 年度施設用物品調達計画	如澤清；真竹芳樹	26〜31
昭和 54 年度技術調査研究実用化計画の成果概要	土肥英郎；廣瀬駿一；杉村俊夫	32〜50
昭和 54 年度建設技術開発計画の成果概要	吉田修；赤星敦	51〜61
昭和 54 年度における武蔵野電気通信研究所技術協力部の活動	枡野邦夫	62〜71
自動車電話システムの現況と今後の技術動向	西野孝平；高橋徹	72〜76
海外協力活動 グァテマラ電気通信公社に勤務して	高橋洋一	77〜82
経済化された電子交換機用磁気テープ装置	畑政成；金尾静一	83〜89
電子化された宅内機器を保護する ── 加入者用 3 極避雷器	中島一；秋山博	90〜96
商用同期式交流電源装置	塩見栄次郎；山井浩二	97〜101
高速漢字印刷装置	溝尻由美夫；藤本宗一；小野直義	103〜108
技術のはなし 衛星通信（その 1）	小野寺正	109〜116
施設人のための事業知識 (194) 建ぺい率	堀之内信正	117〜118
新工法シリーズ 市内 PEC ケーブル及び FD 配線盤の建設工法（商用試験）	秋山正則；深沢正博	119〜123
海外連絡室ニュース		124〜126
次号目次 9 月号掲載予定論文		102〜102
海外短信		127〜128
ニュースフラッシュ	高月敏晴	129〜130
新製品の紹介		131〜

Vol.32　No.9
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉不安のない社会実現のために ── 電気通信と防災対策	菊地信一郎	8〜9
公社の大規模地震対策の概要	坂本貞雄	10〜18
大規模地震の情報伝達と応急復旧	松尾紀義；片寄昇；矢島和夫	19〜27
通信設備・局舎の地震対策	福井敏明；岡村敏光；小池章三	28〜38
地震の被害と耐震設計	滝野文雄	39〜46
座談会／公社の地震対策について	菊地信一郎；坂本貞雄；宮田文雄；倉石里美；山崎栄；小沢知義；鈴木勝夫；館野宏；内山健吾	47〜62
昭和 54 年度の保全成果	鍋田衛；高澤敏之；仲里朝勝	63〜73
ディジタル網同期方式の展望	沖見勝也；白川英俊	74〜82
審査からみた自営設備の動向	桑原清人；水野茂；土師克己；石黒晃	83〜89
宅内配線における建築上の諸問題	小原誠	90〜102
国際会議動向 新しいサービス品質の国際動向 ── CCITT 第 XII, XVI 研究委員会の活動状況	苗村明；堀口孝雄；筧一彦；千本倖生	103〜113
自動着信転送サービスの方式概要	村田正晴；水野忠；沢田哲雄；湯浅文司；湯浅晴喜；大岡忠男；小倉春雄	114〜124
MF1 形ファクシミリ	中野泰造；清水治光；滝沢芳春	125〜131
A4 号加入電信宅内装置	山本敏晶；奥中淳三；岩永憲明；藤本肇	132〜137
技術のはなし 衛星通信（その 2）	小野寺正	139〜147
施設人のための事業知識 (195) 異常障害措置計画	市姫久富	150〜151
新工法シリーズ 新しい管路点検工法	小林正利；小瀬真人	152〜154
海外連絡室ニュース		155〜155
海外短信		156〜157
次号目次 10 月号掲載予定論文		148〜149
会議もよう		158〜160
質問箱		138〜138
ニュースフラッシュ	松尾紀義	161〜

Vol.32　No.10

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉新たな発想を求めて	村上治	8〜9
衛星通信方式の実験実施状況	西野孝平；宮内一洋	10〜18
これからの事業所電話装置	江坂英紀；寺井正明	19〜30
MG・SW 網の現状と保守・運用状況	増田威；稲田寛；小野鉄太郎	31〜37
ISO における最近のデータ通信関連標準化活動	北村喜義；高井啓	38〜46
安全性が向上した民間航空路レーダ情報処理システム	大江一郎；新井章治；松島信一郎；堀信一	47〜55
海外協力活動 パプア・ニューギニア国電気通信調査団に参加して	岩清水隆男；近藤政造；鈴木靖男	56〜64
自動着信転送サービスの通話品質	片岡増美；石原信秋	65〜70
橋りょう添架管路耐火防護工法の改良	菊池征也；白髭博司；白川淳一	71〜76
改良された同軸用パルス試験器	上野谷拓也；大森健介	78〜83
JS104-02 オペレーティングシステムの概要	志賀正；鈴木義伯；中出正範；両角誠	84〜94
通信管理プログラム (CMP-1) の概要	白石旭；鈴木邦弘；福原俊雄；音成英明	95〜104
技術のはなし 画像ファイル（その 1）	竹井誠；星野肇夫	105〜111
施設人のための事業知識 (196) 道路の占用	水王雅行	112〜113
新工法シリーズ 地下ケーブルけん引機によるケーブル撤去	秋山正則；深沢正博	114〜118
海外連絡室ニュース		119〜121
次号目次 11 月号掲載予定論文		77〜77
海外短信		122〜124
読書案内	葉原耕平	125〜

Vol.32　No.11
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉今後の国際協力	田代穣次	8〜9
座談会 青年海外協力隊に参加して	田代穣次；飯島幸雄；渡辺栄一；前田伸雄；遠藤和彦；手島孝治；水関幹正；亀井義政；佐々木春雄	10〜25
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	宮脇陞；中山浩；立和田斉	26〜38
電気通信研究所における最近の活動状況 ── 光ファイバケーブル伝送方式の研究を中心に	岩橋栄治	39〜49
「PBX 技術基準」等の一部改正について	但馬昭；菅原潔；小野寺徳雄	50〜55
金融機関を結ぶ CD 提携システム	大畑巖；中村滋；木幡丈二	56〜68
海外協力活動 ビルマ国に対する技術協力について	本多慶成；清水正能	69〜82
投稿 臨時専用市外電話回線作成の現状と改善	東京統制電話中継所	83〜86
D10 形自動交換機用 D100B プログラムシステムの概要（その 1）	井上修；松岡稔	87〜98
新壁掛電話機	仲田淳嗣；木村賢一	99〜104
新しい誘導しゃへいケーブル	山崎芳次；高橋篤哉；福沢嘉言；日隈康行	105〜112
改築用ブロックマンホール	中野雅弘；佐藤啓次郎；辻和勝；在家勝美	113〜119
高信頼度・高規格化された 2GHz 帯 UF-B5 方式	橋本明；三村尚史	120〜125
JS1005 形本体装置	鈴木弘道；松縄睦夫	127〜133
技術のはなし 画像ファイル（その 2）	竹井誠；星野肇夫	134〜140
施設人のための事業知識 (197) 新データ網サービスの料金	小野寺昭夫	141〜144
新工法シリーズ トラヒック制御方式の建設工法	新添洋；今村祥治	145〜150
海外連絡室ニュース		151〜154
次号目次 12 月号掲載予定論文		126〜126
海外短信		155〜157
ニュースフラッシュ		158〜158,159〜159,161〜

Vol.32　No.12
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉建築と技術	関谷辰延	8〜9
建築設計計画の課題と技術動向	堀竹英弘	10〜18
建築構造の耐震技術	滝野文雄	19〜27
建築設備における省エネルギー技術	青川清治	28〜39
建築工事の品質管理と施工技術の動向	田中順三	40〜45
マイクロ無線施設における建築新技術	望月一郎	46〜53
ディジタル同期端局方式の設計構想	沖見勝也；白川英俊	54〜64
機能拡充が進むデータ通信網アーキテクチャ ── DCNA 第 3 版	高井啓；森野和好；強谷隆彦；小宮章夫	65〜76
夜間割引料金改定工事の実施経過について	戸川晟；大岡睦夫；近藤健策；佐藤忠；松沢清和	77〜87
国際会議動向 テレテックス・サービスの国際標準化動向 ── CCITT 第Ⅷ研究委員会の活動状況	島崎恭一	88〜94
海外協力活動 タンザニア郵電公社での技術協力活動に従事して	田村志郎	95〜102
投稿 豊平川に架けるでんでん大橋の設計	八木浩；梅村正佳；佐藤厚司	103〜113
D10 形自動交換機用 D100B プログラムシステムの概要（その 2）	井上修；岡政秀	114〜123
トラヒックデータ収集記録装置	森田昌夫；加瀬一朗；柳本隆人	125〜129
直埋同軸ケーブルの耐震特性	上野谷拓也；古川清二	130〜134
技術のはなし 漢字データ宅内技術（その 1）	西村良一	135〜139
施設人のための事業知識 (198) 静電誘導対策	福居一郎	140〜142
新工法シリーズ TEX-2 形 C 自動集信装置の建設工法	西島亨；小倉千信	143〜147
海外連絡室ニュース		148〜152
海外短信		153〜154
次号目次 1 月号掲載予定論文		124〜124
会議もよう		155〜158
総目次		159〜168
ニュースフラッシュ	夜間割引料金改定実施委員会事務局	169〜

Vol.33　No.1

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新しい目標の実現に向かって	山内正彌	12〜13
福祉対策用宅内装置開発の歩みと今後の動向	友重澄雄；山上功；中島一	14〜22
交換方式における蓄積プログラム制御技術	高橋徹；河合正晃	23〜32
新データ網サービスの技術基準（その 1）－回線交換サービス－	長澤東四郎；北村允保；林健二	33〜38
国際会議動向 公衆データ網の国際標準化動向 ── CCITT 第Ⅶ研究委員会の活動状況	加藤満左夫；高月敏晴；塚田啓一	39〜52
海外協力活動 サウジアラビアの電気通信事情について	高岡博之	53〜62
中華人民共和国を初めて訪問して ── 日中両国の電気通信技術交流の礎を築く	北原安定	63〜69
〔基調講演〕電話社会建設への道程	北原安定	70〜83
統一化された同軸用汎用筐体	高島元；板東信博	84〜91
新しい土留工法 ── 鋼矢板不連続箇所の土留工法	山本博；山口清人；岩井好之	92〜97
加入ファクシミリ通信システムを構成する諸装置（その 1）	下田久男；小菅康晴；矢内栄樹；萩原弘行；広瀬春彦	98〜109
800MB 磁気ディスク記憶装置の概要	溝尻由美夫；藤本宗一；松井悦夫	110〜115
技術のはなし 漢字データ宅内技術（その 2）	山本敏晶	117〜121
施設人のための事業知識 (199) 事業外費用	渡辺登	122〜124
新工法シリーズ 共通線信号方式の建設工法	藤原政治；金子勝	125〜132
海外連絡室ニュース		133〜134
海外短信		135〜137
次号目次 2 月号掲載予定論文		116〜116
投稿（随想）職場周辺－そして保全最前線	関口良太郎	138〜142
編集モニター募集		143〜143
新製品の紹介		145〜

Vol.33　No.2

日本電信電話公社施設局編集

総裁就任あいさつ	真藤恒	8〜9
＜論説＞超 LSI 革命	高原靖	10〜11
雷防護技術の展望	福富秀雄	12〜19
防護素子及び保安装置の研究	坪谷一郎	20〜25
ディジタルデータ伝送方式の今後の動向	沖見勝也；小塚誠一郎；林郁央	26〜33
新データ網サービスの技術基準（その 2）－パケット交換サービス－	長澤東四郎；北村允保；林健二	34〜39
電力設備の保全状況と今後の対策	仲沢英憲；福田正憲	40〜47
通信設備の防護に関する国際動向 ── CCITT 第Ⅴ・第Ⅵ研究委員会の活動状況	岩崎匡利	48〜58
東北地方南部を襲った暴風雪害から通信サービスを確保して	坂下定夫；熊沢元三郎	59〜65
一般住宅まで拡大した宅内設備保留方法の試行について	希望が丘電報電話局	66〜74
データテレホン ── 簡易なデータ入出力機能を有する電話機	小佐井茂則；米川達也；瀬谷正二	75〜84
局内マンホール用防火壁	中野雅弘；澤田純	85〜92
新しいディスプレイ装置の概要	沼田満；山本二朗；長沢保雄	93〜104
技術のはなし 過疎地用通信方式（Ⅰ）－加入者線伝送技術－	沖見勝也	105〜113
施設人のための事業知識 (200) 市町村納付金の現状	吉田重雄	114〜115
新工法シリーズ 誘導しゃへいケーブルの建設工法（商用試験）	秋山正則；五社谷俊幸；田儀茂	116〜121
海外連絡室ニュース		122〜123
海外短信		124〜124
次号目次 3 月号掲載予定論文		125〜125
編集モニター募集	「施設」編集部	126〜126
読書案内	真田大；小栗寿夫	127〜127,129〜129

Vol.33　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉日米交渉解決の意義	山口開生	8〜9
〈論説〉ソフトウェア重視の時代へ	高橋敏朗	10〜11
ガット東京ラウンド政府調達問題について	池田勉	12〜18
公社データ通信サービスの現状と課題	佐々木幸彦	19〜30
DIPS の導入状況と今後の展望	近藤久	31〜38
データ端末の利用動向	島崎恭一；安田耕吉郎	39〜45
視聴覚情報処理技術の動向	信国弘毅	46〜54
社内システムの現状とデータベースの構築	田場實	55〜59
座談会／データ通信の新たな発展をめざして	木村豊；信国弘毅；高月敏晴；小野秋一；瀬谷重信；松木光晴；林清史；田中嘉信；鈴木武人；村岡洋一；阿部英雄；河本健二；高岸秀康	60〜77
諸外国におけるデータ交換網の動向	高月敏晴；遠藤力；柿沼正一	78〜87
国際電信電話諮問委員会 (CCITT) 第Ⅶ回総会の報告	岡部恒雄；小畑昭雄	88〜94
第 10 回現場管理者海外派遣研修報告 ── アメリカの電話会社を訪ねて	常田正；大槻勇作；村上二郎；小田晴彦；高田茂；石田太一	95〜104
〈投稿〉関東電気通信工事事務所直営土木工事の現状	増田淳一	105〜110
改良された屋外線高上金物	持田光男；藤田秀雄；井上芳信	111〜117
移動通信方式置局設計システム	浜野高義；松井房樹；工藤峰利；浅野春夫	118〜126
DEMOS-E の機能拡充（その 1）− 104-02OS & 163-10TSP を用いた DEMOS-E −	中村英一；中川泰雄；小口貢	127〜136
漢字データ宅内装置 ── DT-308 形, DT-9658 形データ宅内装置	山本敏晶；山崎真一；岩永憲明；國廣義高；藤本肇	137〜146
加入ファクシミリ通信システムを構成する諸装置（その 2）	冨田昭治；水野忠；藍場達男；大岡忠男	147〜156
技術のはなし 過疎地用通信方式（Ⅱ）− 加入者線集線技術 −	水野忠	157〜163
施設人のための事業知識 (201) 夜間割引制度の改定	田中錦造	165〜168
新工法シリーズ 改築用ブロックマンホールの築造	小林正利；小瀬真人	169〜171
海外連絡室ニュース		172〜173
海外短信		174〜175
次号目次 4 月号掲載予定論文		164〜164
会議もよう		176〜176
新製品の紹介		179〜179

Vol.33　No.4

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉高度情報通信システムの形成	北原安定	10〜11
光ファイバケーブル伝送方式の展望	堀口孝雄；岩崎匡利	12〜18
中容量光ファイバケーブル伝送方式	三木哲也；山下孚；森正英	19〜26
光ファイバケーブル線路技術	高島秀行；上野谷拓也	27〜35
光ファイバケーブルを用いた画像伝送方式	山縣淳；高島元	36〜44
マイクロ波方式のフェージング対策技術の動向	松本慎二；橋本明	45〜50
ガス圧遠隔測定システムの導入に伴うガスケーブル保守について	森田恒雄；大木一夫；宮川政秋	51〜58
第 10 回現場管理者海外派遣研修報告 ── ヨーロッパの現場機関を訪ねて	吉川源吉；瀬戸好和；宮浦宏治；今村衛；磯部尚久；三上幸彦	59〜70
加入者線路におけるパルス性雑音の実態	菊池尚一；比留間茂	71〜77
C14 形自動交換機へのプッシュホン機能付与	水野忠；高橋英史	78〜81
新ボックス形公衆電話機の概要 − 679 号公衆電話機	仲田淳嗣；寺村英明	82〜86
フレキシブルディスク入出力装置の概要	溝尻由美夫；堀米誠一；鈴木淳一	87〜92
DEMOS-E の機能拡充（その 2）− 104-02 & 163-10TSP を用いた DEMOS-E −	加藤博；本間督；清田満夫	93〜101
技術のはなし 過疎地用通信方式（Ⅲ）−加入者線無線方式−	大井哲雄	102〜107
施設人のための事業知識 (202) 業務執行点検委員会答申	山之内章	109〜111
新工法シリーズ トラヒックデータ収集記録装置の建設工法	奥村一夫；今村祥治	112〜116
海外連絡室ニュース		117〜118
海外短信		119〜122
次号目次 5 月号掲載予定論文		108〜108
ニュースフラッシュ	水野茂	123〜124
新製品の紹介		125〜125

Vol.33　No.5

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉新たな飛躍への道標	岩崎昇三	8〜9
共通線信号網計画について	村田忠明；小林哲夫；守川光敏	10〜17
画像伝送における符号化技術の動向	山縣淳；松岡毅	18〜25
画像応答システムの機能拡充について	真柄成一	26〜33
とう道管理システムの概要	高島秀行；上野谷拓也；大森健介	34〜44
「56 豪雪」による電気通信設備の被害と復旧	菱田英二郎；正津禎男；市姫久富	45〜52
災害対策規程等の改正について	中津都臣；佐藤昭	53〜59
国際会議動向 国際無線通信諮問委員会 (CCIR) の活動状況 ── 第 15 会期中間会議の報告	松本愼二；大井哲雄；細田彰；久保庄二	60〜69
海外協力活動 エジプトの電気通信事情について	池上藤雄；田中秀穂；伊藤敏雄；佐藤修一	70〜76
投稿 神戸ポートアイランド博覧会 ── テレカルチャ'81 拡げよう電話社会 育てようポーアイ	山田就将；渡辺健	77〜85
クレジット通話サービスの方式概要	村田正晴；大森栄；堂前雅夫；柳本隆人；鈴木哲哉	86〜94
ボタン電話形拡声電話装置	中島一；木村賢一；石山聡	95〜101
EK50 形ボタン電話装置	宇垣雅秋；工藤賢；橋本渉	102〜112
改良された VSB-12M 形テレビ変換装置	沢田哲雄；小柳典生	113〜121
GI 型光ファイバケーブル	上野谷拓也；伊藤卓志	122〜131
JS4500 形大容量記憶装置の概要	溝尻由美夫；松井悦夫；小野直義；鈴木淳一	132〜140
技術のはなし 最近の土木技術（Ｉ）	福鹿実；佐藤啓次郎	141〜149
施設人のための事業知識 (203) 多国籍企業	柳本和良	150〜152
新工法シリーズ 市内 CCP-SS（G 形）ケーブルの建設工法	秋山正則；岡裕孝	153〜157
海外連絡室ニュース		159〜160
海外短信		161〜162
次号目次 6 月号掲載予定論文		158〜158
会議もよう		163〜167
「施設」各委員会委員		168〜172
ニュースフラッシュ	神戸博運営本部事務局	173〜

Vol.33　No.6

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉設備の更改・改良投資について ── サービスと経営効率向上の原点	前田光治	8〜9
昭和 56 年度施設計画の概要	千葉正人	10〜17
昭和 56 年度施設設計方針の展望	上田裕；岡田成俊；桑原清人；久保田俊昭；木下隆介；本間哲夫；戸川晟	18〜42
公社における新技術訓練の動向	佐々木邁；無州清	43〜50
アメリカの電気通信事情 ── ニューヨーク海外駐在事務所の勤務から	上原亨	51〜62
家庭における情報化 ── ホームインフォマティクス	浅村伊佐男；浜田正則；本間仁史	63〜72
伝送路収容設計の現状と今後の課題	松尾重喜；遊佐洋；成宮憲一；出口弘；久保信昭	73〜82
大規模災害時の網措置について ── 東海地震を想定した網措置について	間中幸一；船窪静夫	83〜89
海外協力活動 ブラジル国バイア州電話会社での技術協力活動に従事して	関口明信	90〜100
多相位相変調方式データ回線の一評価法	宮川佳久	101〜105
C410 形自動交換機に対するファクシミリ通信機能付加工事を実施して	本村好美；笠井喜三雄；長崎浩一；堀田和男	106〜111
同軸ケーブル用ガス圧遠隔測定システム	山崎芳次；高畠宏一；横江敏政	112〜119
GI 型光ファイバケーブルの布設・接続技術	上野谷拓也；伊藤卓志；酒井輝隆；原田正晴	120〜132
大容量 (3,600CH) 化された 11, 15GHz 帯無線方式 ── SF-T7 及び SF-F5 方式	中谷清一郎；戸塚晶一	133〜139
販売在庫管理システムの機能拡充（その 1）－ 104-02OS を用いた DRESS －	河野通弘；篠原源康；仲田憲二；大岩達也	140〜148
技術のはなし 最近の土木技術（II）	福鹿実；佐藤啓次郎	149〜155
施設人のための事業知識 (204) 試用試験と商用試験	樋口由文	156〜157
新工法シリーズ 端電池方式サイリスタ整流装置建設工法	岡田久；高橋佳男；鹿田慎作	158〜161
海外連絡室ニュース		162〜163
海外短信		165〜166
会議もよう		167〜170
次号目次 7 月号掲載予定論文		164〜164
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	171〜174
「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	175〜176
ニュースフラッシュ	三輪隆司	177〜

Vol.33　No.7

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉技術開発の潮流	村上治	8〜9
第 57 回電気通信技術委員会の審議から	宮脇陞；中山浩	10〜24
昭和 56 年度技術調査研究実用化計画の概要	堀崎修宏；吉雄一三；樋口由文	25〜32
昭和 56 年度建設技術開発計画の概要	吉田修；赤星敦	33〜36
ジュネーブから眺めたヨーロッパ	坂下隆義	37〜43
ディジタル交換方式の動向	高橋徹；愛澤慎一；小林隆男	44〜51
最近の海底線技術と布設工事	松沢久一；渡辺和文；桐山朗；岩井康也	52〜62
国際会議動向 CCITT 第Ⅶ研究委員会の京都会合 ── 公衆データ交換網に関する審議	加藤満左夫；高月敏晴	63〜71
海外協力活動 メキシコ国立電気通信学園に勤務して	大塚敬三郎	72〜78
書籍案内 電気通信革命「電気通信革命」における私の思想	北原安定	79〜82
投稿 私はビル対策担当	渡辺紀子	83〜91
EP20 形自動式構内交換装置の施設設計	深津勲己；酒井圭介；鈴木茂；依光俊一	92〜101
中容量光ファイバケーブル伝送方式（その 1）－ F-32M 方式－	山下孚；井口善史	102〜109
GI 型光ファイバケーブルの測定技術	上野谷拓也；伊藤卓志	110〜122
新しい管路の曲線布設工法	佐藤修一；窪川正文；河村浩二	124〜130
販売在庫管理システムの機能拡充（その 2）－ 104-02OS を用いた DRESS －	伊藤路夫；宮阪忠夫；信沢可昭；湯沢吉之助	131〜140
技術のはなし 電池（その 1）	陰山照男	141〜146
施設人のための事業知識 (205) 電気通信技術委員会	穴田光昌	147〜148
GI-A 型及び GI-B 型光ファイバケーブルの建設工法（商用試験用）	高浜暁；鈴木等	149〜154
海外連絡室ニュース		155〜156
海外短信		157〜160
次号目次 8 月号掲載予定論文		123〜123
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	161〜166
読書案内	仲沢英憲	167〜167
新製品の紹介		168〜170
ニュースフラッシュ	長澤東四郎	171〜

Vol.33　No.8
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉新しい建設工事体制を目指して	齋伯哲	8〜9
座談会 技術開発について ── 真藤総裁を囲んで	真藤恒；桑原守二；宮脇陞；高橋徹；堀口孝雄；西野孝平；島崎恭一；千葉正人；末冨裕；角田忠久；松本哲男	10〜24
昭和 55 年度技術調査研究実用化計画の成果概要	土肥英郎；廣瀬駿一；杉村俊男	25〜40
昭和 55 年度建設技術開発計画の成果概要	吉田修；赤星敦	41〜50
昭和 55 年度検査実施状況	竹原凞；立田耐二；成田芳久	51〜59
昭和 55 年度における武蔵野電気通信研究所技術協力部の活動	佐藤秀吉	60〜69
新しい調達手続について	前田勲治；糸日谷彰	70〜77
労働省データ通信システムの概要	河合輝欣；横田秀樹；柴田喬司；横山助	78〜91
海外協力活動 タイ・モンクット王工科大学のプロジェクトに従事して	久保田浩資	92〜99
市内中継用 D10 形自動交換機の施設設計概要	阿部安利；浜田博；池田義郎	100〜104
大規模地震対策のためのクロスバ交換機への機能付与	水野忠；大森栄；大岡忠男；小川亮夫	105〜115
中容量光ファイバケーブル伝送方式（その 2）－ F －100M 方式及び監視制御系－	山下孚；井口善史；石川隆夫	116〜123
小型化された心線接続機	徳岡正章；川村裕士	124〜128
11GHz 帯オフセットパラボラアンテナ	中谷清一郎；丸山弘之	129〜134
孤立防止用無線方式の干渉対策アンテナ	椿功；木村茂	135〜140
技術のはなし 電池（その 2）	陰山照男	141〜147
「施設人のための事業知識」の監修を終えて	小澤春雄	148〜148
施設人のための事業知識 (206) MIDIS（オンライン方式による在庫管理システム）	桜間卓	149〜151
新工法シリーズ 中容量光ファイバケーブル伝送方式装置の建設工法（商用試験）	安永正晴；北川治正	152〜158
海外連絡室ニュース		159〜159
次号目次 9 月号掲載予定論文		160〜160
海外短信		161〜162
ニュースフラッシュ	通話料金改定実施委員会事務局；編集部	163〜163,165〜

Vol.33　No.9
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉電子交換機事故の教訓	菊地信一郎	10〜11
昭和 55 年度の保全成果	鍋田衛；高澤敏之；仲里朝勝	12〜21
電子交換機の保全 ── 現状と課題	角田忠久；後藤俊邦	22〜28
これからの屋外施設の設備管理	水野健二	29〜39
昭和 56 年度施設用物品調達計画	高萩和行；東直毅	40〜45
自営設備の動向と審査	曽根信義；安川克彦；石黒晃；小野寺徳雄	46〜53
通話料金改定工事の実施経過について	大岡睦夫；近藤健策；佐藤忠；松沢清和	54〜64
ブラジルの通信産業政策と研究開発の現状 ── ブラジリア海外駐在事務所に勤務して	松本芳郎	65〜73
新しいケーブル外被接続技術 ── 屋外施設の信頼性向上を目指して	中込四郎；片桐清志	74〜85
テレビ会議方式の動向	菊池通博；遊佐洋	86〜95
音声照会通知システムの概要	大畑巖；今井郁次；安藤誠；関行裕	96〜108
中容量光ファイバケーブル伝送方式（その 3）－測定器及び部品技術－	山下孚；井口善史；須貝利幸	109〜117
市外系ディジタル同期端局方式（その 1）－基本構成及び方式基本設計－	中浜博；笹平敏昭；国枝俊成	118〜128
改良された JS 形通信制御処理装置	安藤誠；張替克美	129〜137
労働省データ通信システム（その 1）	柴田喬司；横山助；鈴木弘三；越智司	138〜149
技術のはなし 画像データベース技術（その 1）	若菜忠；真柄成一	150〜156
施設人のための事業知識 (207) 職場訓練	望月武	158〜159
新工法シリーズ D60 形自動交換機の建設	奥村一夫；林眞一	160〜164
海外連絡室ニュース		165〜166
海外短信		167〜167
次号目次 10 月号掲載予定論文		157〜157
会議もよう		168〜172
新製品の紹介		173〜

Vol.33　No.10
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉ファクシミリ通信網サービスの開始にあたって ── その完成までを振り返る	北原安定	8〜9
ファクシミリ通信システムの導入経緯について	副島俊雄	10〜15
ファクシミリ通信システムの開発と商用試験について	原島進；岩井義人	16〜22
ファクシミリ通信網サービスの需要動向と拡大計画について	阿部正之；佐藤征紀	23〜31
ファクシミリ通信システムの施設設計について	水芦一哲；吉岡正紀；岡田成俊；曽根信義	32〜43
ファクシミリ通信システムの建設工事について	飯野理；片山栄清；太田慎吾	44〜55
ファクシミリ通信システムの保全について	角田忠久；松本英一；稲益三夫	56〜63
機能を拡充したキャプテンシステム	磯崎澄；高野英仁	64〜72
「政府調達に関する協定」に基づく国際調達の概要について	鈴木龍平；高木利正	73〜79
海外協力活動 ボリビアの国内電話網計画策定に協力して	松本道夫	80〜86
投稿 橋りょう添架ケーブルの布設工事を直営で実施して ── 本州四国連絡橋（大三島橋）	野田正身；平岡秀夫；村上栄	87〜91
D60 形自動交換機の概要（その 1）－方式構成－	水野俊郎；中山久男；上田恵	92〜105
本仕化されたトラヒック制御装置	加瀬一朗；大西正克；黒岩邦夫	106〜114
大容量化された乾燥剤方式乾燥空気供給装置	山崎芳次；横江敏政	115〜120
労働省データ通信システム（その 2）－労働保険業務用データ宅内装置の概要－	西村良一；長澤一真；長倉恵一；武田郁夫	122〜132
技術のはなし 画像データベース技術（その 2）	若菜忠；真柄成一	133〜138
施設人のための事業知識 (208) 日照権	堀之内信正	139〜141
新工法シリーズ 心線接続機による接続工法	秋山正則；五社谷俊幸	142〜146
海外連絡室ニュース		147〜150
次号目次 11 月号掲載予定論文		121〜121
読書案内	岡田成俊	151〜

Vol.33　No.11

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉今後の無線通信について ── INS 構築を目指して一層の努力を	林義昭	8〜9
座談会 顧客サービスを中心としたこれからの保全活動について ── 真藤総裁を囲んで	真藤恒；山本千治；秦博記；菅谷武司；戸田勲；鈴木進；谷口俊男；宮崎徹；古南秋雄；十川進；小泉艶子；敦賀雄幸；松崎義広	10〜24
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	宮脇陞；中山浩；立和田斉	25〜37
電気通信研究所における最近の活動状況 ── 無線通信技術の研究実用化を中心に	宮内一洋	38〜53
国際トンネル技術シンポジウムと欧州諸国のトンネル工法	柴田明廣	54〜58
今後の試験業務に適応する試験台システム	森下俊三；東山福男；角田忠久	59〜66
海外協力活動 シンガポールの電気通信事情について	原田誠二	67〜78
D60 形自動交換機の概要（その 2）－装置概要－	水野俊郎；中山久男；上田恵	79〜94
市外系ディジタル同期端局方式（その 2）－ 2 次群同期多重変換装置の概要－	中浜博；笹平敏昭；国枝俊成	95〜106
専用回線遠隔試験方式 ── 専用回線の自動試験を可能とした LCTS	高橋勝己；久我寿幸	107〜115
平衡対用パルス試験器	関口明良；北島秀樹	116〜122
労働省データ通信システム（その 3）	横田秀樹；長谷川源幸；坪井秀樹	124〜136
プログラム制御形集中監視制御装置	鈴木弘道；沖原俊宗；佐々木康志	137〜145
技術のはなし 画像データベース技術（その 3）	若菜忠；真柄成一	146〜151
施設人のための事業知識 (209) 河川占用	岩谷明男	152〜154
新工法シリーズ 簡易鋼矢板打抜工法	桜井高義；浦弘	155〜157
海外連絡室ニュース		158〜160
次号目次 12 月号掲載予定論文		123〜123
新製品の紹介		161〜161

Vol.33　No.12

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞局舎は生きている	関谷辰延	8〜9
建築資産の維持保全と活性化	小原誠	10〜17
既存局舎の改良, 再生, 再開発	松本文郎	18〜26
改修工事の現状と将来展望	折笠彌	27〜34
建築保全管理システムについて	大園泰造	35〜38
高発熱通信機器室の省エネルギー空調装置	小峯茂樹	39〜44
厚木電気通信研究所の建築計画	川那部昭；今野知則	45〜51
鹿児島〜那覇第 2LS ルート無線中継所 ── 道路・局舎・鉄塔の建設	望月一郎	52〜56
最近における LSI 技術の動向	堀崎修宏；大橋純；斎藤久太	57〜65
オフィスオートメーションの現状と今後の課題	大滝寿朗；長田眞	66〜75
最近の中近東事情 ── 在イラク日本大使館に勤務して	上田正弘	76〜82
D60 形自動交換機の概要（その 3）－ソフトウェアの概要－	水野俊郎；中山久男；上田恵	83〜93
D10 形自動交換機中央処理系装置の置換方式	松下清広；金尾静一；山本博伸	94〜104
商用化された ITV 用画像符号化装置 ── VC-32M 形フレーム内差分符号化端局装置	星野隆資；板東信博；野本忍	105〜112
アナログ網からディジタル網への円滑な移行に有効な 2GHz 帯ディジタル無線方式（2S-D4 方式）	山後純一；小川重訓；渡部伸一	113〜119
DIPS-11 & 5 シリーズ ── モデル 15, 25, 35	鈴木弘道；佐藤和夫	120〜130
技術のはなし 最近の記憶技術（その 1）	小菅康晴；大森康生	131〜138
施設人のための事業知識 (210) 電気通信政策懇談会	徳丸末男	139〜141
新工法シリーズ ディジタル同期端局方式装置の建設工法（商用試験用）	安永正晴；望月辰喜	142〜146
海外連絡室ニュース		147〜147
次号目次 1 月号掲載予定論文		148〜148
会議もよう		149〜152
総目次		2〜10
編集モニター募集		163〜

Vol.34　No.1

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞新しい飛躍に向けて	山口開生	8〜9
対談 21 世紀へ向けての飛躍 ── 高度情報化社会の実現を目指して	牧野昇；北原安定；山口開生	10〜27
諸外国における電子交換機の動向 ── 電子交換国際会議 (ISS'81) に参加して	東山福男；角田忠久；坂井陽一；吉田健一郎	28〜40
ディジタルデータ交換網の現状と今後の展望	遠藤力	41〜51
海外協力活動 最近のケニアの電気通信事情について	塩月安朗	52〜59
東京電気通信局における線近・機改合同展示会の概要	足立明弘；糟谷敬二	60〜69
新しい試験台方式の概要	岡本國弘；冨田昭治；得井慶昌；青木清児	70〜87
肢体不自由者用電話機 ── HC 形電話機	中島一；坂本正章	88〜98
市外系ディジタル同期端局方式（その 3）－ディジタル回線終端装置及び PCM 多重変換装置の概要－	中浜博；愛甲宏明；国枝俊成	99〜112
中継間隔の延長を図った DC-100M-R 方式	山下孚；石川隆夫；坂本昌往	113〜124
技術のはなし 最近の記憶技術（その 2）	佐藤勇武；広野侃史	125〜130
施設人のための事業知識 (211) 外部依頼検査	一鍬田教雄	132〜133
新工法シリーズ 鋼矢板不連続箇所の土留工法	渋谷重信；岩井好之	134〜138
海外ニュース		139〜140
編集モニター募集		141〜142
次号目次 2 月号掲載予定論文		131〜131
読書案内	田宮忠雄	143〜143
新製品の紹介		144〜146
ニュースフラッシュ	技術局光ケーブル伝送担当	147〜

Vol.34　No.2

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉通研の今年の課題	高原靖	8〜9
座談会 これからの技術者の育て方 ── 真藤総裁を囲んで	真藤恒；小川伸夫；三浦邦保；吉沢照恭；宇治正高；関原克年；高橋要；西山次郎；江藤克巳；首藤隆；江島光一；橋本安正；松本昇洋；田下佳彦	10〜23
電気通信研究所における基礎研究の動向 ── 知能入出力・知能情報処理の研究を中心に	畔柳功芳	24〜32
情報通信におけるマン・マシン・インタフェース	浅村伊佐男；香月泰	33〜47
最近の特許管理の動向	甘利博夫	48〜51
大規模災害時における応急復旧について ── 広域応援体制の運用を中心として	中津都臣；佐藤昭	52〜57
国際会議動向 CCIR における研究活動の動向 ── 第15 会期最終会議の審議から	松本愼二；大井哲雄；久保庄二	58〜65
保全業務を進めつつ取り組むマーケティング活動とその成果について	坂野満郎；馬場秀明；石川隆昭	66〜74
発信停止解除装置を利用した宅内設備保留方法の一考察について	岡崎敏輝；高橋功	75〜81
新しい 11GHz 帯 100Mb/s ディジタル無線方式 ── 11G-D2 方式	中谷清一郎；丸山弘之	82〜89
可搬形ガスタービン発電装置	江口則男；古室嘉明	90〜95
技術のはなし 変調方式（その 1）	松本愼二	97〜102
施設人のための事業知識 (212) 通信・放送衛星機構	稲村安正	103〜104
新工法シリーズ 新試験台方式の建設工法	奥村一夫；今村祥治	105〜108
海外ニュース		109〜110
編集モニター募集		111〜111
次号目次 3 月号掲載予定論文		96〜96
会議もよう		112〜114
書籍案内	「施設」編集部	115〜115

VOl34-03

Vol.34　No.3

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞信用こそデータ通信サービスの基盤	高橋敏朗	8〜9
公社データ通信サービスの現状と課題	伊藤宏	10〜21
DIPS 共通ソフトウェアの現状と今後の方向	安田耕吉郎	22〜31
金融機関における第 3 次オンラインシステムの動向	八橋主計；田村堯弘；吉野好展	32〜43
新 DIPS バンキング・システムの開発	柳文治；川村幸雄；登米端穂；高石清	44〜56
INS 構築を目指すデータ通信網アーキテクチャ	刑部稔；苗村憲司	57〜64
データ宅内装置の入出力技術動向 ── 図形の入出力	島崎恭一	65〜73
アジア－太平洋電気通信共同体について ── 第 2 回総会出席報告	坂下隆義	74〜80
ディジタル伝送路網構成上の技術的課題とその考え方	山縣淳；松本愼二	81〜90
国際会議動向 CCITT 第Ⅷ（非電話系サービス用の端末装置）研究委員会の活動状況について	島崎恭一	91〜95
D20 形自動交換機の機能拡充	瀬上伸一郎；粟野友文；亀井公顕	96〜110
改良された中継所用統制台	沢田哲雄；藤崎薫	112〜117
シールド式とう道に用いるセグメントとその設計方法	津田俊雄；土谷泰道；鶴田幸	118〜126
技術のはなし 変調方式（その 2）	松本愼二	127〜133
施設人のための事業知識 (213) トラヒック営業	山賀豊	134〜135
新工法シリーズ STAC 法によるケーブル外被接続	秋山正則；村上健一	136〜139
海外ニュース		140〜141
次号目次 4 月号掲載予定論文		111〜111
新製品の紹介		142〜144
読書案内	北村隆	145〜145

Vol.34 No.4

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉INS の早期形成を目指す建設投資の課題	北原安定	8〜9
INS 形成のための技術について	吉田庄司	10〜19
モデルシステム ── 高度情報通信システムの実現に向けて	桑原守二	20〜25
英国の電気通信事情	伊藤宏	26〜36
自動車電話の技術動向	菊池敬昭；後藤俊邦	37〜45
昆虫による屋外施設の被害	松尾重男；小笠原治	46〜53
米国班	吉羽貞夫；嶋雅男；乗本康敏；福田征夫；関亦喜美男；栗栖健二；高嶋宏紀	54〜61
欧州班	植松栄一；山藤浩作；黒金進；沢野善則；福川充夫；広瀬成男；遠藤茂	62〜70
D70 形自動交換機の概要 ── 方式構成（その 1）	榊原一郎；池尻稔；原隆一	71〜83
共通線信号方式の概要	冨田昭治；佐野幸男	84〜93
東北・上越新幹線列車公衆電話方式の概要	椿功；加瀬一朗；木村茂；鈴木康之	94〜99
市外系ディジタル同期端局方式 ── 同期端局制御システム及び測定器（その 4）	白川英俊；越智正昭；愛甲宏明	100〜114
6L-A1 方式概要	橋本明；二木治成；小林一義	115〜123
技術のはなし 最近の災害対策用機器について ── 交換機関係（その 1）	石橋好二；中村信吾；岩切高明	124〜137
施設人のための事業知識 (214) 調達手続「トラックⅠ, Ⅱ, Ⅲ」	高木利正	138〜139
新工法シリーズ 新しい引上げケーブルの建設工法	中沢秀典；木村勝	141〜147
海外ニュース		148〜150
次号目次 5 月号掲載予定論文		140〜140
ニュースフラッシュ	菱田英二郎	151〜151

Vol.34　No.5

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉INS 形成へ向けての資材業務	松尾士郎	8〜9
新しい手続による公衆電気通信設備の調達	高村充；松尾義一	10〜15
整理品利活用の推進について－利活用状況と今後の課題－	北村八郎	16〜20
中容量光ファイバケーブル伝送方式の商用試験実施状況	橋本国生；片桐清志	21〜29
中容量光ファイバケーブル伝送方式商用試験の線路工事を実施して	竹内良一；斎藤実	30〜35
中容量光ファイバケーブル伝送方式商用試験の外機工事を実施して	桜井博；藤本元彦；福島太一郎	36〜41
海底ケーブル方式の現状と動向	鈴木康之；片桐清志	42〜47
〈投稿〉外気冷房方式を応用した省エネルギー施策について	八木豊寿	48〜50
D70 形自動交換機の概要（その 2）－ハードウェア－	榊原一郎；池尻稔；原隆一	51〜62
改良形手動構内交換装置	伊藤宜史；小林秀雄；奥村穂	63〜69
改良形加入者保安器 ── 5 号加入保安器	中島一；坂本正章；山口茂樹	70〜76
市外回線遠隔試験方式 ── ディジタル中継線交換機に適用する CCTS	高橋勝己；水野俊郎；西村久夫；飯塚稔	77〜85
光ファイバケーブル映像伝送方式 ── FV-4M-P 方式の商用化	星野隆資；板東信博；野本忍	86〜93
小形軽量化された 11GHz 帯可搬形テレビジョン中継装置	坂本武夫；藤井繁	94〜99
プリンタホンとディスプレイホン	長倉恵一；佐々木幹男	100〜108
技術のはなし 最近の災害対策用機器について（その 2）	宮崎武次郎；徳永悟	109〜118
施設人のための事業知識 (215) 業務執行改善推進委員会活動	栗原武夫	120〜121
管路とマンホールとの接続工法	桜井高義；浦弘	122〜129
海外ニュース		130〜132
会議もよう		133〜137
次号目次 6 月号掲載予定論文		119〜119
「施設」各委員会委員		138〜140
新製品の紹介		141〜142
読書案内	刑部稔	143〜143

Vol.34　No.6

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉INS へ向けて建設投資の質的転換を	齋伯哲	8〜9
昭和 57 年度施設計画の概要	立川敬二	10〜15
昭和 57 年度施設設計の展望	吉岡正紀；北村隆；曽根信義；久保田俊昭；斎藤健；足立泰男；水芦一哲；桑原清人	16〜37
屋外施設の信頼性 ── 線路・土木施設の耐震性	三輪充彦；奥村強	38〜47
公社における半導体素子等の信頼性評価方法について	三原種昭；杉村俊男；森信夫；平岡一則	48〜54
品質保証管理システムについて	成松誠；川端潔	55〜63
国際会議動向 国際無線通信諮問委員会 (CCIR) 第ＸＶ回総会報告	田中良一；池内健浩；菊池敬昭	64〜72
日仏科学技術シンポジウムにおける講演 ── 21 世紀に向けての電気通信		73〜73
北原副総裁講演要旨		74〜75
21 世紀に向けての電気通信	北原安定	76〜81
D70 形自動交換機の概要（その 3）－ソフトウェア－	榊原一郎；池尻稔	82〜90
4, 5GHz 帯ディジタル無線方式（その 1）－ 4 & 5L-D1 方式－	山後純一；瀬川純	91〜98
自動車電話方式中小都市用基地局系諸装置の概要	西垣内俊治；大軒民権；徳広清志；吉澤和広	99〜107
小形高密度磁気ディスク記憶装置の概要	溝尻由美夫；松井悦夫	108〜114
感熱式 G2 形ファクシミリの概要 ── 電話ファクス 2000	神谷研二；白羽真；坂本美智男	115〜118
技術のはなし 最近の災害対策用機器について（その 3）	江口孝；鈴木末光；境孝	120〜125
施設人のための事業知識 (216) 直接検査と間接検査	大久保元司	126〜128
海外ニュース	北米地域担当	129〜131
会議もよう		132〜135
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	136〜139
「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	140〜140
次号目次 7 月号掲載予定論文		119〜119
新製品の紹介		141〜142
記念懸賞論文募集	「施設」編集部	143〜

Vol.34　No.7

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉国際化の中の電電公社	田代穣次	8〜9
国際協力活動の現状と今後の課題	井上良一	10〜15
中国郵電部との間の技術交流について	佐谷宏	16〜17
座談会 日中技術交流初年度を振り返って	鄭維民；劉平源；李広玉；林基富；厳昌森；山口開生；稲見保；山本千治；伊藤史朗；小川伸夫；坂下隆義	18〜32
第 59 回電気通信技術委員会の審議から	宮脇陞；宇治則孝	33〜51
昭和 57 年度技術調査研究実用化計画の概要	真柄成一；小川喜祥；吉雄一三	52〜58
昭和 57 年度建設技術開発計画の概要	長倉功；森本忠善	59〜61
データ通信に関する事故防止対策委員会の審議結果について	委員会事務局	62〜65
投稿 大規模電力工事を直営で実施して	植薗晃；和田昇	66〜71
D70 形自動交換機の概要（その 4）－遠隔制御交換装置－	榊原一郎；池尻稔；原隆一	72〜84
4,5GHz 帯ディジタル無線方式（その 2）－ 4 & 5L-D1 方式－	山後純一；瀬川純；小山泰雄	85〜94
11GHz 帯小容量ディジタル無線方式 ── 11S-D3 方式	小林忠男；田中和則；竹村修一	95〜101
感熱式 G3 形ファクシミリの概要 ── 電話ファクス 3000	神谷研二；滝沢芳春；坂本美智男	102〜108
現場計測管理システム ── マイコンによる立坑, 開削とう道工事の施工管理方法	吉川直樹；長谷部厚；滝口正洋	109〜115
屋外施設における腐食とその対策について	市村雅弘；宮田恵守	116〜124
技術のはなし 最近の災害対策用機器について（その 4）－線路宅内関係－	今村祥二；池田正博	125〜131
施設人のための事業知識 (217) オフィス・オートメーション	大庭弘太郎	132〜134
新工法シリーズ 新しいスパイキボルト工法	小泉保；山本隆司	135〜136
海外ニュース		138〜140
次号目次 8 月号掲載予定論文		137〜137
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	141〜146
記念懸賞論文募集	「施設」編集部	147〜147

Vol.34　No.8
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉長期的視野に立った技術開発	村上治	8〜9
3 ヵ年事業計画の大綱について ── INS の形成を目指して	杉本省吾；林紘一郎；阿部正之；後藤征男；佐藤征紀；新原満生	10〜24
昭和 56 年度技術調査研究実用化計画の成果概要	真柄成一；小川喜祥；杉村俊男	25〜42
昭和 56 年度建設技術開発計画の成果概要	長倉功；森本忠善	43〜51
昭和 56 年度検査実施状況	成松誠；奥村源太郎	52〜58
現場の問題解決に取り組む研究所の活動 ── 昭和 56 年度技術協力活動概要	佐藤秀吉	59〜68
電話宅内機器における電子化の動向	宇留賀嘉文；加藤邦紘	69〜79
最近のマイクロ波集積回路技術の動向	片山修二；小林忠男	80〜87
横須賀電気通信研究所における省エネルギー施策	斎藤二男	88〜93
EK20 形ボタン電話装置	宇垣雅秋；工藤賢；鹿野隆	94〜103
レジンハンドホール	福鹿実；辻和勝	104〜109
改善されたマイクロ波方式の監視制御装置	山本孝美；藤井繁	110〜119
音声認識装置の概要	安藤誠；諏訪剛	120〜125
映像伝送サービス用の新しい制御信号伝送装置	遊佐洋；高橋幸二；美馬智	126〜132
静電式 G3 形ファクシミリ及び G3 形ファクシミリ同報装置の概要 ── 電話ファクス 3300，電話ファクス G3 同報装置	神谷研二；滝沢芳春；坂本美智男	133〜140
技術のはなし 品質管理（その 1）	角田克彦；加藤洋一	141〜145
施設人のための事業知識 (218) 大規模地震対策	佐藤昭	147〜149
新工法シリーズ EK20 形ボタン電話装置の建設工法	坂本辰男；榎本正雄	150〜154
海外ニュース		155〜156
次号目次 9 月号掲載予定論文		146〜146
読書案内	前田光治	157〜158
ニュースフラッシュ	「施設」編集部	159〜

Vol.34　No.9
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉保全部門の飛躍を目指して ── 保全性の追求	山本千治	8〜9
昭和 56 年度の保全成果	高橋鶴次郎；冨永秀一；堀尾健人	10〜18
本社計画防災演習について	比嘉勝美；内田志朗	19〜26
昭和 57 年度近畿総合防災演習を実施して	角田喜宏	27〜32
異常障害等発生時における網措置について	小田切金造	33〜36
伝送路の異常障害に対する取組みについて	吉岡博昭	37〜39
無人局の電力故障時における取組みについて	高尾博之	40〜41
電子交換機故障に占めるヒューマンファクタ（人為的要因）の分析とその対策について	角田忠久；板倉繁信；田中信吾	42〜48
昭和 57 年度施設用物品調達計画	高萩和行；東直毅	49〜55
審査からみた自営設備の動向	曽根信義；安川克彦；藤本毅；小野正俊	56〜63
インドネシアの電気通信事情と海外協力 ── ジャカルタ海外駐在事務所の勤務から	海老原勇夫	64〜69
小形化された自動車電話用移動機	西垣内俊治；徳広清志	70〜76
改良された TZ-60 形移動無線機	椿功；鈴木雄二；木村茂	77〜81
DT-1223 形データ宅内装置の概要	石黒義昭；金子茂；金内益実	82〜89
新しい試験台方式の施設設計について	中山久男；高橋茂夫；居波茂義；長江正博	90〜101
時事通信社データ通信システムの概要	高橋保之；岡村定男；山口修一	102〜111
技術のはなし 品質管理（その 2）	角田克彦；加藤洋一	112〜118
施設人のための事業知識 (219) 料金収納業務	布施喜夫	119〜121
新工法シリーズ 光ファイバケーブル映像伝送方式装置（FV-4M-P 方式）の建設工法（商用試験用）	山田精一；北川治正	122〜125
海外ニュース		126〜127
次号目次 10 月号掲載予定論文		128〜129
会議もよう		130〜134
ニュースフラッシュ	菱田英二郎	135〜

Vol.34　No.10
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉公社発足 30 年を迎えて ── 国際化時代にふさわしい事業経営を	真藤恒	16〜19
座談会／新たな出発 ── INS の実現に向けて	山口開生；前田光治；村上治；岩崎昇三；齋伯哲；花木充夫；山本千治；高原靖；高橋敏朗；桑原守二	20〜49
技術でみた 30 年の歩み	宮脇陞；真柄成一	50〜109
公社発足 30 周年記念懸賞論文発表	「施設」編集部	110〜110
記念懸賞論文の審査を終えて	大友誠一	111〜111
INS 技術者への道のり	安達信男	112〜115
営業窓口にて	神田良子	116〜118
新形ホームテレホン ── E104 形ボタン電話装置	宇垣雅秋；工藤賢；野口人司	119〜126
JS1045 形本体系装置	鈴木弘道；佐藤和夫	127〜131
技術のはなし品質管理（その 3）	角田克彦；加藤洋一	132〜137
施設人のための事業知識 (220) 法定料金と認可料金	小沢隆弘	138〜139
新工法シリーズ レジンハンドホール築造	桜井高義；古賀順二	141〜144
海外ニュース		145〜146
次号目次 11 月号掲載予定論文		140〜140
読書案内	北村隆	147〜148
ニュースフラッシュ	技術局モデルシステム試験実施対策室	149〜

Vol.34　No.11

日本電信電話公社施設局編集

＜論説＞先端技術の国際協力について	前田光治	8〜9
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	宮脇陞；宇治則孝；加藤薫	10〜22
電気通信研究所における最近の活動状況 ── 宅内技術の研究実用化を中心に	松田亮一	23〜34
解説・目次		35〜35
屋外施設の点検・管理	水野健二；熊倉建男；藤本治郎	36〜44
公衆電話機の汚損対策及び故障修理について	三村清澄；山口恒夫；中込孝治；今井秀秋	45〜57
非電話系回線サービスの保全状況と今後の課題		58〜67
DT 形心線チェッカを使用したデータ回線保守方法	小宮政雄；松本欣一；杉本喜美	68〜74
電力故障の撲滅を目指して ── アルミニウム電解コンデンサの劣化対策	仲沢英憲	75〜85
データ通信に関する事故防止対策委員会の答申について	データ通信に関する事故防止対策委員会事務局	86〜88
投稿 愛媛県における風圧荷重の考察	村上護	89〜96
押しボタンダイヤル式卓上公衆電話機の概要 ── 677 号 P 公衆電話機及び 678 号 P 公衆電話機	仲田淳嗣；江原正光	97〜100
信頼性向上を目的としたディジタル伝送路網切替方式	高橋勝己；山岸運夫	101〜110
電子交換機用架内コンバータの技術動向	腕木治；井上由基	112〜119
改良された DDX 集線多重化装置の概要	往西重俊；林健二；木村伸一；張替一雄	120〜126
加入電話網を利用した遠隔検針システム	佐野功；田中恒夫；高橋享寿；吉村辰久	127〜134
技術のはなし 光通信技術（その 1）	鷲山幾男；井口善史	135〜143
施設人のための事業知識 (221) 検査業務	谷本佳己	144〜146
新工法シリーズ D70 形自動交換機の建設工法	奥村一夫；薗田徹弥；植木幸雄	147〜153
海外ニュース		154〜156
新製品の紹介		157〜157
次号目次 12 月号掲載予定論文		111〜111
書籍案内	「施設」編集部	158〜158
ニュースフラッシュ		159〜159,163〜163
オレンジライン・シンボルマーク募集	広報部	161〜162

Vol.34　No.12

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉検査のこれから	青江茂	8〜9
ソフトウェアの品質保証	成松誠；北郷猛	10〜16
音声符号化方式の開発動向	沖見勝也；小塚誠一郎	17〜25
発展する移動通信サービスの現状について	宮崎武次郎；徳永悟	26〜34
明日の海底通信を担う新鋭敷設船	桑原慎二郎；山崎一男；岩井康也	35〜43
INS 構築と局舎再開発の視点	松本文郎	44〜50
建築地下工事の設計・施工管理の電算化	桑形松夫；石井武則；三梨彰	51〜62
サイリスタ化された増設整流器	坂本健一；山中敬史；川原裕之	63〜69
ディジタルデータ交換網（回線交換）における局間信号方式の概要	往西重俊；奥田晃	70〜76
DIPS を用いた農業協同組合総合データ通信システムの開発	相原明彦；芝山茂男；里見一誠；竹村紀義	77〜87
技術のはなし 光通信技術（その 2）	鷲山幾男；井口善史	88〜97
施設人のための事業知識 (222) データ通信回線利用の自由化	高井豊	99〜102
新工法シリーズ 誘導しゃへいケーブルの建設工法	小泉保；野口剛嗣	103〜106
海外ニュース		107〜108
会議もよう		109〜112
オレンジライン・シンボルマーク募集	広報部	113〜113
次号目次 1 月号掲載予定論文		98〜98
新製品の紹介		114〜114
編集モニター募集		115〜116
総目次		2〜10
ニュースフラッシュ	足立邦彦	127〜

Vol.35　No.1

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉公社の国際活動とその役割	山口開生	8〜9
衛星通信方式の開発	田中良一；岡田成俊；向井暉二	10〜18
衛星通信方式の利用方法と導入計画	田崎公郎；佐藤征紀；新原満生	19〜23
衛星通信方式の施設設計	斎藤健；北村隆；足立泰男；水芦一哲	24〜34
衛星通信方式の建設工事	飯野理；池内健浩	35〜41
衛星通信方式の保全	菅原光宏；角田忠久；菱田英二郎；小田切金造	42〜48
衛星通信方式の局舎	松倉祐次；勝田伸久；渡部誠；工藤健一郎	49〜55
静止衛星軌道の国際調整と軌道有効利用技術	細田彰；久保庄二；初田健	56〜64
将来の電気通信サービスへの期待	宮内宰治；石川定美	65〜77
CS-2 衛星通信方式（その 1）－準ミリ波固定局方式－	林崎博樹；諸富仁	78〜87
磁気カード式公衆電話機の概要 ── MC-1 号公衆電話機	仲田淳嗣；石山聡	88〜92
シールド発進時における坑口処理工法	塚原彰；倉橋渡	93〜99
技術のはなし 光通信技術（その 3）	上野谷拓也；山内修	100〜105
施設人のための事業知識 (223) 国際標準化機構と国際電気標準会議	青山義信	106〜108
ディジタル伝送路網切替方式装置の建設工法（商用試験用）	山田精一；山口央	109〜111
海外ニュース		113〜114
次号目次 2 月号掲載予定論文		112〜112
新船名の募集	海底線施設事務所	115〜115
ニュースフラッシュ	小林隆男；編集部	116〜116,117〜117
編集モニター募集		119〜

Vol.35　No.2

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉局舎の信頼性	関谷辰延	8〜9
総裁を囲む座談会 作業現場を中心とした安全活動の推進について	真藤恒；山本千治；香林晴夫；小野功雄；武隈勝美；米澤周二朗；川崎重信；柏倉信哉；西村道一	10〜24
電子交換設備の雷害被災状況とその対策	角田忠久；板倉繁信；田中信吾	25〜33
線路設備管理業務の EDPS 化について	水野健二；田村義秋；池田正博	34〜43
通信機械室用空調技術の動向	小峯茂樹	44〜48
建築設備の耐震対策	高田一	49〜60
通信用電源に関する災害対策委員会の審議結果について（中間報告）	通信用電源に関する災害対策委員会事務局	61〜65
市内 PEC ケーブル電気特性実態調査	北島憲一郎	66〜72
携帯用ガソリン機関発電機 2 台同時運転による C460 局への給電を実施して	高倉俊孝；廣田武司；今村文夫	73〜78
新試験台に適用する加入者情報ファイルシステムの概要	金克能；武藤文雄	79〜85
メモリダイヤル電話機の概要 ── M-1P 形電話機	吉沢謙作；吉田光男	86〜91
CS-2 衛星通信方式（その 2）－マイクロ波固定局通信方式－	佐藤健二郎；星義隆	92〜99
電力装置のより効率的な遠隔監視を目指して ── 電力遠隔集中監視システム	池辺裕昭；長谷川健	100〜106
独立運転等を可能とした通信管理プログラム (CMP2) の概要	大野徹夫；沼田力；成田久夫；藤丸源治	107〜114
技術のはなし 光通信技術（その 4）	上野谷拓也；山内修	115〜122
施設人のための事業知識 (224) クロスライセンス契約	竹井透	123〜124
新工法シリーズ 改築用レジンブロックマンホール築造工法	桜井高義；浦弘	125〜128
海外ニュース		129〜130
次号目次 3 月号掲載予定論文		131〜132
読書案内	松井真澄	133〜134
新製品の紹介		135〜

Vol.35　No.3

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉新たな発展を目指して	松尾士郎	8〜9
公社データ通信サービスの現状と課題	三角岑生	10〜23
社内システムの現状と今後の展望	岩山政敏；甲光一一	24〜29
データベース管理技術の開発及び導入状況	田中義昭	30〜38
発展する周辺装置	刑部稔；富田正典	39〜47
東京ソフトウェアセンタの発足	信國弘毅	48〜53
電話交換網の SPC 技術による高度化	森下俊三；吉岡正紀；角田忠久	54〜64
高度化されるファクシミリ通信システム	中島汎仁；江尻正義；東俊彦；堀尾忠親；川出隆司；東山福男	65〜75
国際会議動向 ITU 全権委員会議報告	冨田邦明	76〜81
CS-2 衛星通信方式（その 3）− 車載局通信方式及び回線監視制御方式 −	佐藤健二郎；猪口守弘	82〜89
新しいファクシミリ通信システム（その 1）− FCAP 及び TS-FX −	瀬戸口雅夫；野村純一；滝沢紀雄；近藤泰史	90〜101
JS104-03 オペレーティングシステムの概要 ── 適用領域の拡大を図ったオペレーティングシステム	深井康平；津野勝仁；中出正範；加藤璋市郎	102〜110
技術のはなし エコー制御技術	鈴木康之	111〜115
施設人のための事業知識 (225) オレンジライン	伊藤幸蔵	116〜117
新工法シリーズ D 形自動交換機の耐震補強工法	大岡義孝；福永健二	119〜124
海外ニュース		125〜126
会議もよう		128〜130
次号目次 4 月号掲載予定論文		118〜118
ニュースフラッシュ		131〜131,133〜133
オレンジライン・シンボルマークの入賞者発表	広報部オレンジセンター	127〜127

Vol.35　No.4
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉新しい情報化社会の確立と INS の意義	北原安定	8〜10
科学万博－つくば'85 に向けて	高橋徹	11〜18
オフィスオートメーションと画像技術	中島汎仁；江尻正義	19〜24
光ファイバケーブル技術の新たな展開	片桐清志；林文雄；上野谷拓也	25〜37
電気通信機器の品質向上と検査業務	成松誠；角田克彦	38〜43
国際会議動向 CCITT SG XⅧ（ディジタル網）ISDN 専門家京都会議の活動	山下孚；真野捷司；加納貞彦；富田修二	44〜50
第 12 回現場管理者海外派遣研修報告－米国班－	坂部武；林佐幸；高橋新己；高橋進；古屋靖夫；野村武彦；平野宗雄；井上隆記	51〜57
第 12 回現場管理者海外派遣研修報告－欧州班－	岡田幸助；時田好弘；久保規矩夫；郡山昌三；詫間仁；岩崎進；梶原春水；芳賀弘	58〜63
経済化を図ったパケット交換方式の概要	藍沢幹人；難波正樹；井ノ倉喜康；亀井清美	64〜71
実用化された風力発電 ── 風力発電式電源装置	江口則男；古室嘉明	72〜79
フレキシブルディスクの概要	佐藤知康；堀米誠一	80〜83
テレビ会議システム（その 1）－方式構成及び端末系－	遊佐洋；江口禎則；美馬智；長島祐之	84〜92
新しいファクシミリ通信システム（その 2）－ STOC －	伊藤弘；浅野元晴；山口雅明；与沢和紀；堀田英一	93〜102
技術のはなし ディジタル交換技術（その 1）	堂前雅夫；祖父江和夫	103〜113
施設人のための事業知識 (226) サービスステーション	遠藤一男	114〜115
新工法シリーズ GI 型及び SM 型光ファイバケーブルの建設工法	柴野泰；野口剛嗣	117〜122
海外ニュース		123〜125
次号目次 5 月号掲載予定論文		116〜116
ニュースフラッシュ	足立邦彦	126〜127

Vol.35　No.5

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉研究開発の飛躍に向けて	福富禮治郎	8〜9
厚木電気通信研究所の発足	渡邊誠	10〜12
電気通信研究所における最近の活動状況 ── 超 LSI の研究実用化を中心に	鈴木敏正	13〜19
座談会 電気通信設備の災害を体験して ── 早期復旧を目指して	堀場信雄；福増満廣；鶴田辰三；永井康雄；池谷広之；田宮美明；白石仁；水城晃	20〜32
通信用電源に関する災害対策委員会の審議結果から	通信用電源に関する災害対策委員会事務局	33〜38
施設局舎及び無線鉄塔の耐震性能判定と耐震対策	今野知則；木村信也	39〜46
投稿 移動電源車の長距離走行及び給電演習を実施して	佐原武親	47〜51
改良された CD 形監視制御装置	森正英；佐伯三郎	52〜56
施工性・経済性の向上を図った地下配線工法	島崎謙二；倉谷光一；渡辺和文；福鹿実	57〜62
機能拡充された DT-308 形データ宅内装置	重木昭信；國廣義高；玉木茂	63〜68
テレビ会議システム（その 2）− 伝送路, 予約接続方式の設計と装置概要 −	遊佐洋；土井俊一；野本忍	69〜78
新しいファクシミリ通信システム（その 3）− FDIC −	藤本宗一；辻川直輝；中川忠夫	79〜86
技術のはなし ディジタル交換技術（その 2）	堂前雅夫；祖父江和夫	87〜95
施設人のための事業知識 (227) 拡充法の廃止と資金調達	早川雅雄	96〜97
新工法シリーズ 橋りょう添架ロックウール巻付耐火防護工法	桜井高義；古賀順二	99〜105
海外ニュース		106〜108
会議もよう		109〜110
「施設」各委員会委員		111〜113
次号目次 6 月号掲載予定論文		98〜98
「施設」編集モニターの選考発表	「施設」編集部	114〜114
モニターから		115〜116
読書案内	堀場信雄	117〜

Vol.35　No.6
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉INS 形成へ向けての重点投資の展開	岩崎昇三	8〜9
昭和 58 年度施設計画の概要	立川敬二	10〜15
昭和 58 年度施設設計の展望	吉岡正紀；北村隆；曽根信義；涌井裕；小川圭祐；足立泰男；水芦一哲；桑原清人	16〜39
「座談会」 ── これからの施設設計の考え方	寺西昇；別所義夫；大山茂；秋山正則；芦田光基；小林峯夫；松本泰一；稲田寛；木村孝；菊地良保；中目昭男	40〜55
3 年目を迎えた国際調達	鈴木龍平；高村充；曽根信義	56〜62
電話料金の明細内訳方式に関する技術確認試験の実施について	松尾勇二；飯塚久夫；森下俊三；鈴木祐敏	63〜72
災害等に対する事前体制について	福増満廣	73〜77
日本縦貫ルートを形成する F-400M 方式	鷲山幾男；三浦秀利；山本尚嗣；石川隆夫	78〜88
日本縦貫ルートを支える光ファイバケーブル技術（その 1）－ SM 型光ファイバケーブル－	由木泰紀；佐藤公紀	89〜96
バンキング用カウンタ設置形窓口装置の導入	高石浄；生田修；古橋信夫；山田孝正	98〜103
技術のはなし ディジタル交換技術（その 3）	堂前雅夫；祖父江和夫	104〜115
施設人のための事業知識 (228) CAD·CAM	三上哲郎	116〜118
新工法シリーズ F-400M 方式装置の建設工法（商用試験用）	山田精一；北川治正	120〜125
海外ニュース		126〜127
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	128〜134
次号目次 7 月号掲載予定論文		97〜97
新造船の船名決定		119〜119
ニュースフラッシュ	久保庄二	135〜

Vol.35　No.7

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉国際的視野に立った技術開発	村上治	8〜9
昭和 58 年度技術調査研究実用化計画の概要	真柄成一；小川喜祥；小林勝美	10〜16
昭和 58 年度建設技術開発計画の概要	長倉功；森本忠善	17〜19
導入された D60 形自動交換機	小林隆男；藤田克孝；上田恵	20〜25
自然災害に伴う電気通信設備被害の地域特性について	前田充彦；堀尾健人；今村光弘	26〜31
局舎の水防対策	海野英晴	32〜36
可搬形交換局の水防対策を実施して	山田武義	37〜42
料金明細内訳機能付加工事を実施して	三島勝；富田周一；榊原安雄	43〜47
ディジタル通信網における伝送損失	伊藤清和；月尾修	48〜54
既存 D10 形交換機への D100B プログラムシステムの適用（その 1）	井上修；横田時雄；西野成一；金尾静一	55〜63
経済化を図ったディジタルデータ伝送方式関連諸装置の概要	林健二；影井良貴；吉村勝仙；武智俊憲	64〜69
日本縦貫ルートを支える光ファイバケーブル技術（その 2）－ SM 型光ファイバケーブル施工技術－	由木泰紀；酒井輝隆；佐藤公紀；笠原伸元	70〜79
GI 型海底光ファイバケーブルの概要	広岡明；本田信夫	80〜86
技術のはなし ディジタル交換技術（その 4）	堂前雅夫；祖父江和夫	87〜98
施設人のための事業知識 (229) CATV（ケーブルテレビジョン）	田中務	99〜101
新工法シリーズ 改良 UG 方式の建設	中沢秀典；千葉儀憲	102〜106
海外ニュース		108〜109
次号目次 8 月号掲載予定論文		107〜107
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	110〜114
ニュースフラッシュ	河田嗣郎	115〜

Vol.35　No.8

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉INS 批判に思う	前田光治	8〜10
通信用電力技術の動向	向井暉二	11〜17
電力設備設計の現状と今後の課題	足立泰男	18〜23
電力建設技術の動向	石川定美	24〜30
これからの電力保全	陰山照男	31〜35
第 61 回電気通信技術委員会の審議から	久保田俊昭；高橋勝己	36〜56
昭和 57 年度技術調査研究実用化計画の成果概要	真柄成一；小川喜祥；更井孝一	57〜74
昭和 57 年度建設技術開発計画の成果概要	長倉功；森本忠善	75〜81
昭和 57 年度検査実施状況	成松誠；土田隆	82〜88
ディジタル加入者線伝送方式の開発動向	高島元；片山修二	89〜97
現場の問題解決に取り組む研究所の活動 − 昭和 57 年度技術協力活動概要 −	深津良治	98〜105
米国における資材調達セミナー模様等について		109〜110
アナログ＆ディジタル混在網における回線設計法	伊藤清和；月尾修	111〜116
既存 D10 形交換機への D100B プログラムシステムの適用（その 2）	井上修；横田時雄；小野塚建；加藤広志	117〜126
土留杭引抜跡のモルタル充てん工法 ── 地盤沈下防止工法	佐藤修一；阿江治	127〜132
大規模データ通信システムにおける高信頼ソフトウェアの設計・建設技法	釜幹男；飽田裕志；石井正敏	134〜142
DRESS サービスにおける機能拡充	若木守；吉田純一；井口友則	143〜149
技術のはなし 移動通信技術（その 1）	西垣内俊治	150〜155
施設人のための事業知識 (230) 通話料金等の改定	里木勇	156〜159
新工法シリーズ XB 機能高度化装置の建設工法	畠山裕爾；植木幸雄	160〜163
次号目次 9 月号掲載予定論文		133〜133
ニュースフラッシュ		106〜106,164〜164,165〜165,167〜167

Vol.35　No.9
日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉保全活動の新しい管理方法の確立をめざそう ── 現場における作業記録が基礎	山本千治	8〜9
昭和 57 年度の保全成果	高橋鶴次郎；冨永秀一；堀尾健人；上岡正美	10〜19
最近の保全活動の展開	堀場信雄	20〜20
SO 工事関連業務処理の実態と改善施策	坂田雅夫	20〜21
Ⅰ. 真に顧客が満足できるサービスオーダ工事体制について	瀧正澄喜；小林孝	21〜22
Ⅱ.SO 工事の改善について	児玉昭；原本彰；竹内敏男；島田昭吾	23〜27
保全作業と OA	菅原光宏	28〜28
マイクロコンピュータを利用した MGSW 運用業務サポートシステムの開発	野村芳克；永谷和良；小木曽斉；後藤清人；近藤明彦	28〜35
防災訓練の効用と在り方		36〜36
Ⅰ. 防災訓練の効用と在り方	福増満廣	36〜38
Ⅱ. 渋谷区総合防災訓練に参加して	酒井正男；加治屋英司	39〜41
Ⅲ. 東海電気通信局計画準備警戒業務演習を実施して	横幕正久	42〜45
ニューヨーク海外駐在事務所からみた米国電気通信産業の動き	丹野武宣	46〜52
昭和 58 年度施設用物品調達計画	山田就将；東直毅	53〜58
審査からみた自営設備の動向	曽根信義；安川克彦；藤木毅；小野正俊	59〜67
光ファイバケーブル国際標準化の動向	片桐清志；由木泰紀	68〜77
通話料金改定工事の実施経過について	光山政雄；小林款；田川武治	78〜85
投稿 国際調達物品の国外検査を実施して	中島平；米田辰男	86〜89
ホームテレホン F 等の別棟配線を容易にする 4 心屋外線	島崎謙二；鈴木勉；松橋里志	90〜93
2GHz 帯高能率ディジタル無線方式 ── 2S-D5 方式	岩本真；広瀬広幸	94〜100
耐震性の向上を図った管路継手類	倉谷光一；澤橋剛志；澤田純；貝賀敏郎	101〜107
高度の処理機能を備えた汎用の制御処理装置 ── TCP-10	菊田道夫；竹内和哉；田島孝	108〜115
技術のはなし 移動通信技術（その 2）	鈴木雄二；江藤哲夫	116〜123
施設人のための事業知識 (231) プロトコル	谷公夫	124〜126
新工法シリーズ 宅内設置形テレビ会議システムの建設工法	山田精一；山崎武志	127〜131
海外短信		132〜134
次号目次 10 月号掲載予定論文		138〜138
会議もよう		135〜137
ニュースフラッシュ		139〜139,141〜141

Vol.35　No.10

日本電信電話公社施設局編集

〈論説〉企業と地域の INS	輿寛次郎	8〜9
画像通信の役割と今後の動向	中島汎仁	10〜16
ファクシミリ通信の動向	江尻正義；稲垣裕也	17〜23
映像通信会議の動向	田中務；中谷豊	24〜29
画像応答システムの展望	中田孝憲	30〜36
ビデオテックス通信サービスの動向	磯崎澄	37〜44
「1980 年代経済社会の展望と指針」と電気通信	東郷隆司；飯塚久夫	45〜49
全国どのサービスエリアに行ってもかけられる自動車電話サービス	後藤俊邦；江藤哲夫	50〜56
地方行政に貢献するデータ通信 ── 総合行政情報データ通信システムの概要	小澤純理；檜垣浩；阿子島清彦	57〜67
工事用自動車の効率的な使用例		68〜68
Ⅰ. 工事用自動車の効率的使用について	高橋鶴次郎	68〜71
Ⅱ. 工事用自動車の効率的使用施策について	郡司吉松	71〜72
Ⅲ. 工事用自動車の効率的使用について	中曽根寿昭；清水利夫；古屋仁	73〜77
データ宅内センタの活動状況	宍戸宥千	78〜78
東京データ宅内センタの紹介と取り扱った特異故障事例	渡辺誠実；斉藤正一；佐藤征三	78〜82
宅内修理技術の向上と修理の効率化施策	大和田貞雄	83〜83
Ⅰ. 重複故障の減少対策について	岡本直一；久島季章	83〜87
Ⅱ. 現地修理の推進施策について	鈴木金次	87〜90
C400 形自動交換機の機能高度化	田中恒夫；雄川一彦；武井伊佐夫；尾崎光則	91〜99
鮮明な 7 色記録が可能なカラーインクジェットプリンタ	徳永幸生；玉木茂	100〜105
難燃化ポリエチレン絶縁を採用した局内成端 FRPE ケーブル	島崎謙二；跡部直之	106〜111
ファクシミリの効用を拡大するファクシミリ応答変換装置	小杉信；辻川直輝；中川忠夫	112〜119
小形化・高速化を図った MF2 形ファクシミリ	神谷研二；滝沢芳春；坂本美智男	120〜126
止水性の向上を図ったとう道漏水箇所の補修工法	福鹿実；増田正也	127〜133
技術のはなし 移動通信技術（その 3）	川崎良治	134〜139
施設人のための事業知識 (232) 固定資産管理委員会	安倍孝雄	140〜141
新工法シリーズ 小断面シールド工法 (D1200-M11)	丸山仁章；前田穣	142〜145
海外短信		146〜146
次号目次 11 月号掲載予定論文		147〜147
読書案内	尾関弘直	148〜150
ニュースフラッシュ	桑原慎二郎	151〜

Vol.35　No.11
日本電信電話公社施設局編集

論説 ASK 活動の展開と安全の推進 ── 建設工事の遂行にあたって	藤田史郎	8〜9
ASK 活動の実践 ── 建設工事に関する業務改善施策の充実について	鈴木信吾；中沢正良；寺島暁一	10〜14
電気通信設備建設工事における人身事故撲滅推進運動（グリーンキャンペーン）について	川野嘉徳；田代道郎；中沢雅則	15〜19
職場における安全活動 ── 安全活動の実践	水野健二；熊倉建男；鈴木俊章	20〜23
職場における安全活動の実施状況		24〜24
Ⅰ. ゼロ災運動の取組み状況	斎藤乾一；川上富佐夫	24〜26
Ⅱ. 局内保全課におけるゼロ災小集団活動	酒井正男；吉田正治；菅野義一；高野春雄	26〜27
Ⅲ. 全員参加による安全づくり ── 局外部門の取組み	大内征也；向後達男；増島繁蔵；中川国男	28〜30
Ⅳ. セフティ・リーダ活動等による“ゼロ災”への推進	小山道朗；富樫昭吉	31〜33
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	久保田俊昭；高橋勝己；加藤薫	34〜47
加入電話網からのパケット交換サービス ── INS へ向けた網間接続方式	飯塚久夫；水沢純一	48〜54
SO 工事の即応性を支える新しい局内機器	森下俊三；愛沢慎一；坂田雅夫	55〜62
設備計画及び実施計画区分表の改正について	立川敬二；岩淵鉄雄；久保田靖彦	63〜68
トラヒックデータ収集記録方式	藤井敏孝；鈴木康之；宮原利行	69〜76
線路工事の信頼性の向上を目指して ── ケーブル心線接続部防水工法の改良	島崎謙二；加藤長生；岡廣仁	77〜82
機能向上を図った 2 号接続端子かん	島崎謙二；加藤長生；山下一正	83〜87
小形・経済化された自動車電話用無線基地局 ── 小容量無線基地局	西垣内俊治；田中清数	88〜94
技術のはなし 雷防護技術（その 1）	黒沢秀行；藤岡信照；木島均	95〜100
施設人のための事業知識 (233) 有線音楽放送線の無断添架	岩谷明男	101〜103
新工法シリーズ ビデオテックス通信処理装置の建設	大岡義孝；佐々木邦昭	104〜107
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	108〜109
海外短信		110〜110
次号目次 12 月号掲載予定論文		111〜112
ニュースフラッシュ「電気通信展’83」開催さる	データ通信本部営業部普及開発室	113〜113

Vol.35　No.12

日本電信電話公社施設局編集

論説 世界の通信網の健全な発展のために	田代穣次	8〜9
ディジタル化されるファクシミリ通信	江尻正義；稲垣裕也；遠藤隆也	10〜19
電話網における加入者線路の実態について	野田馨；菅谷潔	20〜27
新地域気象観測データ通信システムの概要	橋本正直；森光夫；田辺松太郎	28〜38
バンコック海外駐在事務所に勤務して	榎本博司	39〜45
直営工事等による技術力向上施策の実施状況	水野健二	46〜46
Ⅰ. 大規模直営工事を実施して	小原邦夫；川達男	46〜48
Ⅱ. ケーブル故障修理の完全直営実施について	須貝和彦	48〜50
パーソナルコンピュータを用いた保全業務の効率化施策	松本光生	51〜51
Ⅰ. 宅内設備保留管理業務にコンピュータを導入して	溝辺紘；地道博秀；森田秀敏	52〜54
Ⅱ. パーソナルコンピュータを活用した，SO 工事 MDF ジャンパ作業に関する効率化施策	磯崎共弘；内藤信二；尾崎利春	55〜62
テレコムフォーラム’83 模様	足立邦彦	63〜64
＜講演要旨＞高度情報社会へ向けての電気通信 ── INS	北原安定	65〜68
ラウドネス客観測定器の概要 ── 簡単になった伝送品質の測定法	谷本佳己；伊藤清和；斉藤雅明	69〜77
26GHz 帯を用いた加入者映像伝送方式 ── 26SS-A1 方式	小林忠男；田中和則	78〜83
新しい 20GHz 帯 400Mb/s ディジタル無線方式 ── 20G-D2 方式	小林忠男；田中和則；石塚慎二	84〜89
技術のはなし 雷防護技術（その 2）	蒲池忠善；藤岡信照	90〜94
施設人のための事業知識 (234) クレーム情報と品質モニタ情報	荒川宏；小倉春雄	95〜98
新工法シリーズ 防水工法の改良	中沢秀典；千葉儀憲	99〜103
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	105〜106
海外短信		107〜108
編集モニター募集		109〜120
次号目次 1 月号掲載予定論文		104〜104
総目次		2〜10
ニュースフラッシュ ディジタル形市内交換機サービス開始する	秋野吉郎	121〜

Vol.36　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって ── 事業経営は, 三方一両得で	真藤恒	8〜11
論説 INS 時代における公社技術の役割	山口開生	12〜13
INS のパイロットプラント ── モデルシステム	阿部正之；戸川晟	14〜21
国際科学技術博覧会への公社出展計画 ── INS がひらく夢のある暮らし	西畑正勝；星野和弘	22〜27
テレコム'83 展示会にみる各国の電気通信技術	岩場洋；伊東悠治	28〜37
将来の移動通信サービスへの期待	大井哲雄	38〜47
り障時間短縮のための各種施策	高橋鶴次郎	48〜48
Ⅰ. よりよい加入者サービスを目指して	島田欽司郎	48〜50
Ⅱ. ポケットベルの効率的使用による SO 工事・故障修理の円滑化	須田溢男；森隆泰	50〜50
Ⅲ. 電子交換機におけるメッセージ解析の効率化施策	竹之内忠；臼田稔；斉藤正夫	51〜52
Ⅳ. 専用線の端末区間監視システムの作成	後藤清人	53〜57
交換機の事故防止対策		58〜58
Ⅰ. 交換機の事故防止対策について	坂田雅夫	58〜60
Ⅱ. 現用機器にかかる工事完了後の保全側の確認試験方法について	秋山勝行	60〜63
Ⅲ. 電子交換機の誤操作防止策について	片山茂	64〜65
データ宅内設備の保守に関するサービスの向上施策	宍戸宥千	66〜66
Ⅰ. データ宅内設備の保守に関するサービス向上施策	竹中成宣；古田孝	66〜69
Ⅱ. データ端末工事に関するサービス向上施策	京都電報局	69〜72
電力設備オーバホール直営実施の推進	陰山照男	73〜73
Ⅰ. ディーゼル機関発電装置 ── 事前準備に十分な期間を	山田正延	73〜76
Ⅱ. 静止形信号電源装置 ── 完全な作業は正確な実施要領から	小森博；大石誠	76〜76
Ⅲ. 整流装置 ── 安全を最優先に	勝又達泰；風間繁孝	77〜78
デザインの多彩化と機能の多様化を図った電子化電話機 ── 800P 形電話機，800P 形時間表示電話機	吉沢謙作；吉田光男	83〜92
応急市外ケーブルの多対化	由木泰紀；江村義次；跡部直之	93〜99
診断機能付ディーゼル機関発電装置	江口則男；徳重隆一	100〜106
技術のはなし データ宅内装置の汎用ソフトウェア（その 1）	永島基恭	107〜112
施設人のための事業知識 (235) LAN	山本武	113〜116
新工法シリーズ EC 形反響消去装置の建設工法（商用試験用）	山田精一；横山克己	117〜120
オレンジレポート	裁判室広報部オレンジセンター	79〜80
海外短信		121〜130
編集モニター募集		82〜82
次号目次 2 月号掲載予定論文		81〜81
ニュースフラッシュ「でんでん INS 館」起工式	星野和弘	131〜

Vol.36　No.2
日本電信電話公社施設局編集

論説 これからの建築業務	岩附昇	8〜9
総裁を囲む座談会 これからの海外技術協力活動	真藤恒；坂下隆義；栩木浩司；加来億一；竹中市郎；伊藤芳文	10〜16
局舎の保全強化 ── INS 時代の局舎の基盤をつくる	鈴木重信	17〜24
コンクリート局舎の浸透水対策	折笠弥；安藤伸治	25〜33
公衆データ通信サービスにおけるライブラリの効果的活用	石割浩司；斎藤栄一	34〜43
部外工事に起因する異常障害防止の取組みについて		44〜44
Ⅰ. 部外工事に起因する異常障害防止の取組みについて	水野健二；清水信博；津堅房信	44〜46
Ⅱ. 部外工事に伴うケーブル故障の防止対策について	柳沢甚太郎；小林善光；鈴木清	46〜49
Ⅲ. 異常障害の防止について ── 土岐局加入者ケーブル故障を振り返って	宇野博	49〜52
Ⅳ. 部外工事進行管理カードによる設備事故防止施策と早期復旧について	植本博美；土井孝行	52〜55
Ⅴ. 部外工事に起因する大規模故障の未然防止施策	横江健司；佐藤喜三郎	55〜57
サービスオーダ工事等の改善		58〜58
Ⅰ. お客希望に即応するサービスオーダ工事体制の確立を目指して	大和田貞雄	58〜60
Ⅱ. 無人局における電話機保留の推進について	宮川晃；平田勇一郎	60〜63
線近の安全活動 ── 昭和 58 年度線路工事近代化全国連絡会から	田中憲次	64〜67
「安全活動を推進する会」の開催	熊倉建男	68〜70
投稿 C400 形自動交換機の機能高度化工事を実施して	久野勲；杉木豊；中山弘男	71〜75
電話網における信頼性の現状と課題	清原新治；飯塚稔	79〜88
ディジタル化された小容量構内交換装置 ── EP10-S 形 PABX	佐々木州治；芦川宏利	89〜96
自動減圧機構を付加した管路内通線器	倉谷光一；森山茂；西野龍太郎；藪原文雄	97〜102
新船光洋丸に搭載される海底作業艇「SEAB」	広岡明；山崎洋一	103〜111
D10 形自動交換機監視供給架におけるインタユニットの電子化	西野成一；金尾静一；杉井賢一	112〜118
施設人のための事業知識 (236) 経理情報システムについて	吉岡広志	119〜121
新工法シリーズ 圧力平衡式シールド工法	丸山仁章；小林太一；前田穣	122〜127
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	76〜78
海外短信		128〜129
会議もよう		130〜133
次号目次 3 月号掲載予定論文		134〜134
編集モニター募集		137〜

Vol.36 No.3

日本電信電話公社施設局編集

論説 データ通信サービスの充実を目指して	松尾士郎	8〜9
データ通信サービスの現状と課題	三角岑生	10〜25
発展するエレクトロニックバンキング ── ファームバンキングとホームバンキングを中心に	立花佑介；藤井友位；本多実	26〜38
最近の情報処理ハードウェア技術	刑部稔	39〜50
最近のオペレーティングシステムの動向	栗本恵一	51〜58
高度化するデータ通信ネットワーク	高田千俊；遠藤力	59〜69
ソフトウェアの生産性向上を目指して	田中義昭；田村堯弘	70〜77
社内システムの新たな展開	上野裕章；荻野滋生	78〜86
事業所通信技術とオフィスオートメーション	隈元崟夫	87〜94
テレビジョン放送にかかわる最近の動き	田中良一	95〜101
ケーブル心線故障探索技術の向上とその効率化施策	富沢伝次郎；細井充；松田幸雄	102〜105
ディジタル通信網における符号誤り特性規定について	伊藤清和；月尾修	108〜116
小容量光ファイバケーブル伝送方式 ── F-6M, FS-1.5M,FS-6M 方式	三浦秀利；古谷修一	117〜127
フラットフロアケーブルを用いたオフィス内配線システム	島崎謙二；臼井富栄；広崎徹；沢谷省治	128〜132
新しいコードレス電話	川崎良治；加藤薫；吉澤和弘	134〜141
技術のはなし 衛星通信（その 1）	林崎博樹	142〜148
施設人のための事業知識 (237) トラヒックセールス活動	吉松康夫	149〜151
新工法シリーズ EP10 形自動構内交換装置 (JV1) の建設工法	坂本辰男；首藤雄二	152〜157
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	106〜107
海外短信		158〜159
次号目次 4 月号掲載予定論文		133〜133

Vol.36　No.4

日本電信電話公社施設局編集

論説 国際化時代と INS	北原安定	8〜10
INS を支える技術	久保田俊昭；田崎公郎；松尾勇二；真柄成一；石原広司；田中良一；刑部稔；林信幸；足立泰男；隈元崟夫；遠藤力；荻野和郎；阿部正之	11〜56
国税事務の近代化に貢献するデータ通信サービス ── 国税庁総合オンラインシステムの概要	相原明彦；都築雄二；前田定男；柴崎泰三	57〜65
第 13 回現場管理者海外派遣研修報告 ── 米国班	高沢靖夫；中川賢一；竹内敏男；小坂正信；知念正浥；小橋祐三；鈴木幸弥；菊地孝	66〜73
第 13 回現場管理者海外派遣研修報告 ── 欧州班	渡部清次郎；小俣保彦；木村利行；桜井和典；近藤孝次；安藤雅夫；高橋慶治；今井典朗	74〜82
新たな水平線を目指す ── 新鋭敷設船 光洋丸	西田勝；西部和幸；竹内忠	83〜90
投稿 データ宅内装置の保全管理業務をオンライン化 ── データ宅内装置設備管理システム	上杉正良；永埜直勝；千葉聡；天内憲一	91〜95
機能が豊富になったボタン電話装置	谷本佳己；斉藤雅明	98〜105
重要専用回線の信頼性向上を目的とした専用回線切替装置	森正英；日根清和	106〜111
これからの置局設計 ── 無線方式置局総合設計システム	大塚正一；門崎智充；山崎一	112〜119
データ宅内装置の汎用ソフトウェア（その 2）	永島基恭	120〜128
衛星通信（その 2）	林崎博樹	129〜134
施設人のための事業知識 (238) ハローページとタウンページ	谷口幸正	135〜136
新工法シリーズ 鉄塔作業における安全ネットの工法	糸川好一；関俊一；平野義統	138〜141
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	96〜97
海外短信		142〜143
書籍案内	前田光治	144〜146
次号目次 5 月号掲載予定論文		137〜137
ニュースフラッシュ 自動車電話全国広域サービス切替工事行わる	本郷千里	147〜

Vol.36　No.5

日本電信電話公社施設局編集

論説 これからの資材 ── 関連部門にも働き掛け・連繋して	池田勉	8〜9
新段階に入った国際調達 ── 日米合意の 3 年延長について	鈴木眞一；高畠一純；長沢東四郎	10〜20
高速ディジタル伝送サービスの開始に向けて	高島元；中山浩；西本寛治	21〜29
加入者網への導入を目指す光ファイバケーブル	石原広司；西村憲一	30〜38
新しい非電話系通信 ── テレテックス	谷口和道；佐野忍	39〜49
建設工事管理の充実を目指して ── 建設工事総合管理システム (SCOPE) の構築	矢吹健介；矢野真孝；中浜友治；大谷好明	50〜56
通信設備のための最近の耐震設計技術	佐藤雄二；赤木久真	57〜65
職場での安全活動 ── 昭和 58 年度線路工事近代化全国連絡会から		66〜74
災害を体験して ── その教訓と対策	秋田電気通信部；島根電気通信部；飯山電報電話局；三宅電報電話局；三宅無線中継所	75〜82
東南アジアで海底同軸ケーブル工事を実施して	土田清	83〜90
大容量・無中継海底光ファイバケーブル ── 津軽海峡を横断する光	村上泰司；本田信夫	93〜99
新しいテレビ回線制御方式 (MASCOT-II)（その 1）− 方式概要 −	山本孝美；藤井繁	100〜109
VLSI を用いた小型プロセッサ DIPS-V20 ── JS2020 形本体装置	藤井裕一；沖原俊宗；吉田哲也	110〜117
軟弱湧水地盤に適用可能な非開削技術 ── 小断面シールド工法 (D1200-M11)	小倉健弘；松永広；石塚良治	119〜126
技術のはなし 衛星通信（その 3）	鈴木涼太	127〜133
施設人のための事業知識 (239) 通信教育	通堂重則	134〜135
新工法シリーズ 電子番号案内方式装置類の建設工法	佐藤英昭；佐々木邦昭	136〜139
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	91〜92
海外短信		140〜142
「施設」各委員会委員		143〜144
「施設」編集モニターの選考発表	編集部	145〜145
次号目次 6 月号掲載予定論文		118〜118
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	146〜148
お知らせ「西日本総合センター」が 7 月 1 日にオープン	厚生局厚生課	149〜

Vol.36　No.6

日本電信電話公社施設局編集

論説 社会のデマンドに合った新しい電気通信網の形成	岩崎昇三	8〜9
昭和 59 年度施設計画の概要	福井敏明	10〜16
昭和 59 年度施設設計の展望	愛澤慎一；江尻正義；長澤東四郎；涌井裕；小川圭佑；森勇；福田善一；松井嘉正	17〜45
設計業務の CAD & CAM 化	愛澤慎一；江尻正義；涌井裕	46〜53
サービス開始が近づいたビデオテックス通信サービス	磯崎澄	54〜62
INS と局舎利用上の諸問題	桑原達雄	63〜68
国民福祉に貢献するデータ通信 ── 社会保険データ通信システム	阿部英雄；山中孝昭；山川秀次；木村澄夫	69〜79
最近のグリーンキャンペーンの活動状況	田中一馬；田代道郎；金子勝	80〜84
豪雨被書に対する災書対策委員会の審議結果について	豪雨被害に対する災害対策委員会事務局	85〜90
実用化が進む加入者光ファイバケーブル技術	高江洲文雄；佐藤公紀；佐藤謙一	93〜101
超音波を用いた木柱腐朽診断器	倉谷光一；三谷進；川村裕士；岡田実	102〜106
新しいテレビ回線制御方式 (MASCOT-II)（その 2）− 業務処理と機能 −	小田切金造；仁田信義；小柳重	107〜115
技術のはなし 最近の空調技術（その 1）	松浦房次郎；末永徹夫	116〜123
施設人のための事業知識 (240) 新顧客サービスシステム	中沢耿一	124〜125
新工法シリーズ 加入者光ファイバケーブルの建設工法（商用試験用）について	奈良慎一；宮城智孝	127〜132
オレンジレポート	総裁室広報部	91〜92
海外短信		133〜134
会議もよう		135〜136
「施設」編集モニターの任期を終えて	編集部	137〜140
次号目次 7 月号掲載予定論文		126〜126
ニュースフラッシュ 第 2 回 ASK 活動推進担当者 全国連絡会開催される	ASK 活動推進会議事務局	141〜

Vol.36　No.7

日本電信電話公社施設局編集

論説 技術開発の今日の視点	桑原守二	6〜7
第 63 回電気通信技術委員会の審議から	久保田俊昭；高橋勝己；山本進二	8〜31
INS を築く技術 ── 昭和 59 年度技術調査研究実用化計画から	片山修二；更井孝一；岩崎文夫	32〜40
明日の建設技術を目指して ── 昭和 59 年度建設技術開発計画から	長倉功；吉田光雄	41〜44
座談会 INS 形成の一翼を担って ── ディジタル交換機の保守体験から	山本千治；坂田雅夫；安藤元久；〓功；奥谷建之；小合修二；園田和博；嶋守猛；糠谷誠	45〜54
メッセージ通信サービスの展望	植村哲夫；篠崎哲雄	55〜61
進展する光伝送方式 ── 技術動向とネットワークに与えるインパクト	真柄成一；山下孚；白川英俊	62〜72
最近における誘導対策技術の展開	石原広司	73〜79
局舎におけるエネルギー消費量の削減に挑む	松浦房次郎；日吉一彦	81〜89
機能高度化を図ったディジタル加入者線交換機 ── D70 ＜ D ＞ディジタル交換機	森陸；上田恵；小野亮治	92〜99
加入者系のディジタル化を図る 2 線時分割伝送方式（その 1）	八木剛；大洞崇裕；細川雅由	100〜107
技術のはなし 最近の空調技術（その 2）	松浦房次郎；末永徹夫	108〜113
施設人のための事業知識 (241) MI（エム・アイ）	田中嘉信	114〜116
新工法シリーズ 光屋外線・光屋内線・構内光ファイバケーブルの建設工法（商用試験用）について	平田雅人；小林美一；坊池隆嗣	117〜123
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	90〜91
海外短信		124〜126
読書案内	松浦昭一	127〜128
次号目次 8 月号掲載予定論文		80〜80
ニュースフラッシュ MASCOT センタ設備更改なる	小田切金造	129〜

Vol.36　No.8

日本電信電話公社施設局編集

論説 災害“0”への挑戦	森本三雄	6〜7
INS を築く技術 ── 昭和 58 年度技術調査研究実用化計画の成果概要	片山修二；更井孝一；小林勝美	8〜25
最近の建設技術開発状況 ── 昭和 58 年度建設技術開発計画の成果から	長倉功；吉田光雄	26〜32
購入物品の一層の品質向上を目指して ── 昭和 58 年度の検査部門業務実施概要	朝蔭裕；土田隆	33〜37
現場の問題解決に取り組む研究所の活動 ── 昭和 58 年度技術協力活動概要	坂本光	38〜46
より一層の経済化を図ったディジタル交換機	秋野吉郎；堂前雅夫	47〜55
新しい手動台方式	後藤俊邦；加藤善雄	56〜62
最近の都市内施工環境に適した管路建設技術の動向	渡部由美；三輪充彦	63〜71
データ通信網の国際標準化動向 ── CCITT 第Ⅶ研究委員会の活動状況	加藤満左夫；遠藤力；富田修二	72〜83
セーフティウェアの確立を目指して ── セーフティウェア旬間実施状況	田中一馬	84〜87
サービスオーダ工事に即応する遠隔制御開通装置	佐藤征義；岸川裕二；南川夏雄；井ノ口富啓	91〜99
マルチメディア通信を可能にした多機能装置 ── IT210 形宅内装置	三上哲郎；玉木茂；前川雅俊	100〜106
加入者系のディジタル化を図る 2 線時分割伝送方式（その 2）	小園文典；跡部直之；細川雅由	107〜114
自動車電話サービスの多様化 ── 公衆利用形（硬貨投入式）	辻村清行；大松澤清博	115〜118
安全性・作業性の向上を図った長スパン架空線路建設工法	飯島範夫；田尻辰夫	119〜123
円形立坑開口部の補強方法について	梶尾雄吾；滝口正洋；西岡尚夫	124〜129
技術のはなし ファクシミリ通信技術（その 1）	札ノ辻琢夫	130〜135
施設人のための事業知識 (242) 共済年金	小松修	137〜139
新工法シリーズ M20 形多重変換装置の建設工法	山田精一；望月辰喜	140〜144
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	88〜90
海外短信		145〜148
次号目次 9 月号掲載予定論文		136〜136
ニュースフラッシュ 通話料金改定実施さる	通話料金改訂工事連絡会事務局	149〜

Vol.36　No.9
日本電信電話公社施設局編集

論説 将来の望ましい保全の姿をめざして ── INS 時代の保全とは	山本千治	6〜7
昭和 58 年度の保全成果	秦英遠；成松眞；中村雅範	8〜18
メンテナンスコストによる保全活動の評価	秦英遠；松本光生；中村雅範	19〜25
最近の保全活動の展開	横田剛	26〜26
ユーザサービス向上施策		26〜26
お客様サービス向上のための活動・施策	東京電信施設所	26〜29
遠隔保守におけるマン・マシンインタフェース向上施策		29〜29
E-ALRCVE 受信機能の改善	富山電報電話局	29〜31
線路設備管理システムの運用開始	前田喜久男	31〜31
Ⅰ. 線路設備管理システム（1 次業務）の概要について	保全局線路課	32〜35
Ⅱ. 線路設備管理システムの導入に伴う施設記録の整備作業を実施して	松見電話局	36〜37
Ⅲ. 初期投入データ作成作業を実施して	瑞穂通電話局	38〜39
現場作業の効率化施策		40〜40
パソコンによる試験統制業務のシステム化について	札幌南電話局	40〜43
昭和 59 年度施設用物品調達計画	山田就将；上野至大	44〜49
審査からみた自営設備の動向	長澤東四郎；斎藤達雄；小山武志；吉沢謙作	50〜60
ファクシミリ通信網サービスの拡大工事	大和田貞雄；本郷千里	61〜68
販売から施工に至る宅内業務総合支援システムの構築を目指して ── 宅内業務現場モデル局の OA 化	樋川暢；佐々木克正；平田博康	69〜75
進展するクレジット情報ネットワーク	側見稔；加藤晴光	76〜83
電源品質の向上を目指した新しい基幹電源 ── 48V ブースタ式直流供給方式	坂本健一；玉木千太郎；松本健治	87〜92
信頼性に優れた橋りょう添架ケーブルの建設技術	長谷川泰孝；牟田功一	94〜100
設備品質の向上を図ったシールド式とう道の 2 次覆工	小倉健弘；山崎聡	101〜107
データ通信システムにおける遠隔監視制御方式	有冨和利；越智敬司；藤井裕一	108〜115
技術のはなし ファクシミリ通信技術（その 2）	平田昭生	116〜121
施設人のための事業知識 (243) 住宅対策	富沢進一	122〜124
新工法シリーズ 加入者情報ファイル専用システム建設工法	牧野哲也；清水健吾	125〜129
オレンジレポート		84〜86
海外短信		130〜132
次号目次 10 月号掲載予定論文		93〜93
ニュースフラッシュ INS モデルシステムの宅内工事進む	INS モデルシステム推進本部	133〜

Vol.36　No.10
日本電信電話公社施設局編集

論説 運用を開始した INS モデルシステム	村上治	6〜7
INS 体験のはじまり ── サービス開始したモデルシステム	高橋徹；井上伸雄；阿部正之；戸川晟	8〜15
モデルシステムにおける提供サービス	徳岡正章；沢栗達也；芳賀克己	16〜22
モデルシステムにおける実験参加者の動向	杢野和一；松本正；大庭雅敦	23〜28
モデルシステムの施設設計と建設工事	大山茂；水野忠；武田栄夫	29〜33
モデルシステムの保全・運用体制	森田昌夫；水谷明；伊藤博	34〜40
「座談会」－ INS モデルシステムのプロジェクトに現場機関から参加して	阿部正之；竹内正史；杢野和一；山木戸哲夫；横浜禎基；丸山真人；船水琢巳；伊藤満明；川路静雄；小田豊光；松浦良一	41〜48
諸外国における交換技術の動向 ── 1984 年電子交換国際会議 (ISS'84) に参加して	池田博昌；松尾勇二	49〜55
ディジタルサービス統合網の国際標準化動向 ── CCITT における研究成果	山下孚；加納貞彦；富田修二	56〜64
無線通信技術の国際標準化動向 ── CCIR 中間会議の報告から	菊池敬昭；林崎博樹；岩本真；島貫義太郎	65〜69
新しいサービス機能の拡大を図った加入者情報送出装置	田中恒夫；雄川一彦；武井伊佐夫；保村英幸	72〜81
機能高度化した交換ソフトウェア開発用サポートシステム	岩瀬康政；友野勝彦	82〜87
操作性・保守性を大幅に向上したシルバーホン“あんしん”	田中信吾；清水誠	88〜93
マルチアクセス閉域網を容易に実現する衛星ディジタル通信方式	林崎博樹；藤本直樹	94〜101
鉛蓄電池の新しい容量試験法	坂本健一；松本健治	102〜107
技術のはなし ファクシミリ通信技術（その 3）	佐藤登	108〜116
施設人のための事業知識 (244) 独禁法	柏谷誠	117〜119
新工法シリーズ ブースタ式直流供給方式電源装置の建設工法	近藤宣之；北林繁美	121〜124
オレンジレポート		70〜71
海外短信		125〜128
次号目次 11 月号掲載予定論文		120〜120
読書案内	岡村敏光	129〜

Vol.36　No.11
日本電信電話公社施設局編集

論説 これからの研究開発	城水元次郎	6〜7
電気通信研究所における最近の活動状況 ── 衛星通信技術を中心に	進士昌明	8〜19
本年度の総裁表彰に輝く発明考案から	久保田俊昭；高橋勝己；原田孝一	20〜34
ITU と欧州各国の動き	岡部恒雄	35〜37
INS 時代へ向けた屋内配線システム	石原広司；栩木浩司	38〜44
計画策定業務の効率化を目指して ── 設備計画管理システム	後藤征男；潮田邦夫	45〜52
土地・建物管理のオンライン化 ── 建築保全管理システム (MEDIAS)	岩田庸利；浅尾豊永；吉沢孝太	53〜58
生活環境の保護に寄与する大気汚染監視システム	寺岡正雄；山岸正雄；檜垣浩	59〜63
ディジタル回線伝送保守の現状と現場での工夫例	菅原光宏	64〜64
Ⅰ. 衛星通信サービスの保守運用状況について	中野統制無線中継所	64〜67
Ⅱ.F-400M 方式保守技術向上施策について	岐阜統制電話中継所	67〜68
ディジタル交換設備保守者の技術力向上施策	坂田雅夫；宍戸宥千	69〜69
Ⅰ. 付帯工事試験利用による技術力向上施策について	青森電話局	69〜71
Ⅱ. 西吹田局の技術力向上施策	西吹田電話局	71〜71
Ⅲ. ディジタルデータ交換設備保守者の技術力向上施策	大阪電信施設所	72〜73
Ⅳ.PMX 直営工事を実施して	静岡電報局	74〜75
光ファイバケーブル保守の実施状況	前田喜久男	76〜76
Ⅰ. 光ファイバケーブルの保守を担当して	奈良電報電話局	77〜77
Ⅱ. 光ファイバケーブルの保守作業から	近畿電気通信工事事務所	78〜80
新しい手動台方式	加藤善雄；桑原英治；岩崎明弘	83〜91
機能高度化を図ったディジタル式ビル電話 ── IPC30 形自動交換機	佐々木州治；大村佳久	92〜98
作業性を大幅に改善した新しい地盤支持力試験器	森山茂；磯貝博	99〜105
技術のはなし ビデオテックス（その 1）	寺山幸男；中村丈夫	106〜114
施設人のための事業知識 (245) 電気通信制度の改革	宇治則孝	115〜119
新工法シリーズ 高速ディジタル光加入者線伝送装置の建設工法（商用試験用）	山田精一；山崎武志	120〜124
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	81〜82
海外短信		126〜128
次号目次 12 月号掲載予定論文		125〜125
ニュースフラッシュ 高速ディジタル伝送サービスの開始	栗山正雄	129〜

Vol.36　No.12

日本電信電話公社施設局編集

論説 無線の新しい展開	伊藤史朗	6〜7
伸びゆく移動通信サービス	小川圭祐	8〜17
静止衛星軌道の国際調整と有効利用技術	森広芳照；久保庄二；向井正；初田健	18〜27
座談会 テレビジョン中継業務 30 年を振り返って ── サービス向上のために何をなすべきか	鈴井正洋；菅原光宏；村上保代；小泉利夫；鈴木祥一；（司会）平林忠夫；飯田康則；前田敏郎；浜辺正昭；川畑定生；後藤光臣	28〜40
現場機関を指向した品質保証活動	北郷猛	41〜48
進展するネットワーク・アーキテクチャ ── 汎用ネットワーク・アーキテクチャの適用例	金島正基；杉村俊男；荒井功	49〜58
INS を支える技術開発を目指して ── 新しい線路技術を追求する茨城電気通信研究所	小島伸哉	59〜65
コンサルティング活動	宍戸宥千	66〜66
コンサルティング活動への取組み	国分寺電報電話局	66〜70
現場における省エネルギー施策	陰山照男	70〜70
Ⅰ. 空調設備のスケジュール運転	瓦木電報電話局	70〜72
Ⅱ. タイマによる空調設備の制御	池袋電報電話局	72〜74
経済化されたテレビジョン信号符号化装置 ── 日本中央競馬会などに適用	稲村美一郎；野本忍；細川雅由	78〜86
広域集約保守体制を推進する電力遠隔集中監視装置	筒井清志；戸塚晶一	87〜93
施設人のための事業知識 (246) 電気通信制度の改革（その 2）	飯塚久夫	95〜97
新工法シリーズ 電話会議装置の建設	佐藤英昭；遠藤忠男	98〜100
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	75〜77
海外短信		101〜102
読書案内	倉地光男	103〜114
総目次		2〜10
次号目次 1 月号掲載予定論文		94〜94
ニュースフラッシュ 世田谷電話局とう道内で火災が発生, 全面的に通信不能	杉谷叡彦	115〜

Vol.37　No.1

日本電信電話公社施設局編集

年頭にあたって	真藤恒	6〜9
論説 新しい電気通信秩序と研究開発 ── 真の技術力が問われる	山口開生	10〜12
企業通信システムのコンサルティングと支援活動	倉地光男；福田善一	13〜22
INS に向けた品質基準の基本的考え方	田崎公郎；増田威	23〜28
トラヒック情報処理の一元化を目指して ── トラヒック総合管理システム (ATOMICS) の構築	後藤俊邦；竹之内篤男	29〜36
通信処理サービスの展望	中村紀典	37〜42
購入ソフトウェアの品質の現状と課題	干川正幸；藤田正	43〜50
CCITT（国際電信電話諮問委員会）第Ⅷ回総会の報告	川上正幾	51〜58
世田谷電話局とう道内火災被害の応急復旧	保全局災害対策室	59〜66
とう道内火災事故対策委員会の設置	とう道内火災事故対策委員会事務局	67〜68
投稿 パケット交換設備の直営工事を実施して	羽田伸；鳥海明雄；飯野敏雄	69〜73
プラス 1 の会話が楽しめる三者通話サービスの概要	西野成一；三浦秀利；佐野幸男；安永悦朗；森英俊	76〜82
高精度・高安定化を図った網同期方式	寺田紀之；高間徹	83〜91
ディジタル加入者無線方式 ── 26SS-D1 方式	吉田彰顕；田中和則	92〜98
内線容量の拡張を図った小容量ディジタル式構内交換装置 ── EP10-S Ⅱ形 PABX	佐々木州治；山口亮	99〜104
技術のはなし テレビ会議	中谷豊	105〜111
施設人のための事業知識 (247) CI	小林徹	112〜113
新工法シリーズ 本仕 D60 形・D70 形自動交換機の建設工法	畠山裕爾；元太輝幸；竹中重昭	115〜121
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	74〜75
海外短信		122〜124
次号目次 2 月号掲載予定論文		114〜114
ニュースフラッシュ キャプテンサービス開始さる	中田孝憲	125〜

Vol.37　No.2

日本電信電話公社施設局編集

論説 画像通信サービスの本格的普及を目指して	桑原守二	6〜7
キャプテンシステムの開発 ── ニューメディアの幕開け	荻野和郎；磯崎澄	8〜18
キャプテンシステムのソフトウェア開発	池田修；渡辺俊明	19〜29
ビデオテックス通信網の計画・設計・建設	大島一征；福田善一；愛澤慎一；江尻正義；大和田貞雄；本郷千里	30〜41
ビデオテックス通信網の保守	坂田雅夫；横田時雄	42〜47
キャプテンサービスの販売と利用動向	小出隆昭；若山富昭；小林正男	48〜58
ASK 活動の現状と今後の課題	矢吹健介；小川英一	59〜63
安全活動の推進		64〜64
Ⅰ. 安全活動の推進 ── 作業中の人身事故の撲滅を期して	保全局線路課	64〜67
Ⅱ. 我らが職場の安全活動	旭川電報電話局	67〜67
Ⅲ. 安全 ── 命と職場を守るために	巻電報電話局	68〜69
土木設備の点検・調査の実施	前田喜久男	70〜70
Ⅰ. 土木設備の点検・保守を実施して	串間電報電話局・宮崎電気通信部	70〜72
Ⅱ. 取扱局における地下管路点検調査を実施して	東京港地区管理部	72〜74
電子番号案内方式	加藤善雄；吉田伸雄；川崎正行；岩崎明弘	77〜85
機能が豊富になった改良形電子式ビジネスホン	谷本佳己；奥村穂	86〜95
MDF における撤去作業が容易な新しいジャンパ線	日野原庸人；佐藤謙一	96〜99
小形・経済化を図った自動車電話用トンネル内不感知対策装置	辻村清行；田中清数	100〜103
技術のはなし ビデオテックス（その 2）	片桐光一	105〜111
施設人のための事業知識 (248) 新しい財務会計制度における建設投資勘定	高橋進一；倉岡慶邦	112〜115
新工法シリーズ ディジタル回線終端装置の建設（商用試験用）について	平田雅人；小林美一；坊池隆嗣	116〜122
オレンジレポート	総裁室広報部 オレンジセンター	75〜76
海外短信	米田純	123〜124
編集モニター募集		125〜126
次号目次 3 月号掲載予定論文		104〜104
ニュースフラッシュ 急ピッチで工事が進む“でんでん INS 館”	林雄嗣	127〜

Vol.37 No.3

日本電信電話公社施設局編集

論説 高度情報社会にふさわしいデータ通信事業を目指して	松尾士郎	6〜7
データ通信サービスの現状と課題	三角岑生	8〜26
国民生活に寄与する公共システムの動向	杉山元伸；大滝寿朗；河合輝欣；今村耕一；板倉征男	27〜39
公衆データ通信サービスの新たな展開	安田耕吉郎	40〜47
社内システムの新展開 ── 新たな事業運営を目指して	上野裕章；橋本正直；荻野滋生	48〜54
データ通信を支える最近のソフトウェア技術	加来億一	55〜63
最近の情報処理用ハードウェア技術の動向	刑部稔	64〜72
ソフトウェアの生産性向上及び品質向上を目指して	広木正倫；河島敏明	73〜83
最近のデータ網技術の動向	遠藤力	84〜92
新しい企業イメージの展開 ── CI の導入	後藤通浩	93〜103
米国における電話網の事業者間接続の現状	高島秀行；河合正晃；森信夫	104〜115
ISO におけるデータ通信関連の標準化動向	谷公夫；川野繁一	116〜126
線近の安全活動 ── 昭和 59 年度線路工事近代化全国連絡会から	田中憲次	127〜132
マイクロ波小容量衛星通信方式 ── SC-30 方式	鈴木涼太；吉原正史	135〜140
進展する非開削技術（その 1）－管推進工法 (D101) －	橋本芳雄；本田健一；伊藤進	141〜148
技術のはなし 画像応答システム	野中和徳；鵜飼博光	149〜153
施設人のための事業知識 (249) 新規参入	宇治則孝	154〜156
新工法シリーズ GI 型及び SM 型光ファイバケーブルの建設工法	井出弘昭；緒方博	158〜161
オレンジレポート	総裁室広報部オレンジセンター	133〜134
海外短信		162〜164
次号目次 4 月号掲載予定論文		157〜157
ニュースフラッシュ 日本縦貫光ケーブル方式完工する		165〜